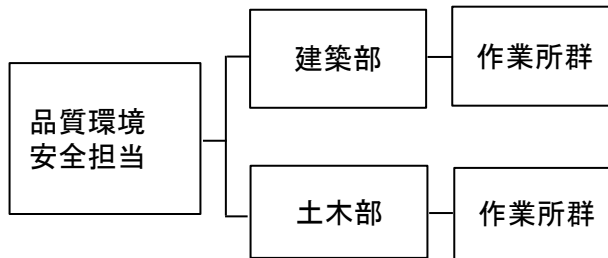


産業廃棄物処理計画書	
令和7年 6月 23日	
千葉県知事 熊谷 俊人 殿	
提出者 住 所 東京都新宿区中里町29-3 株式会社加賀田組東京支店 氏 名 執行役員支店長 後藤 和浩 (法人にあつては、名称及び代表者の氏名) 電話番号03-5206-5660	
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。	
事業場の名称	県内各所
事業場の所在地	県内各現場
計画期間	令和7年4月1日から令和8年3月31日まで
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	総合工事業
②事業の規模	230億円
③従業員数	96名
④産業廃棄物の一連の処理の工程	・汚泥：再生処理業者へ委託→再資源化 ・廃プラスチック：再生処理業者へ委託→再資源化・最終処分業者へ委託→埋立処分 ・紙くず：再生処理業者へ委託→再資源化・中間処理業者へ委託→焼却 ・木くず：再生処理業者へ委託→再資源化 ・金属くず：再生処理業者へ委託→再資源化 ・ガラスくず・コンクリートくず・陶磁器くず： 再生処理業者へ委託→再資源化・最終処分業者へ委託→埋立処分 ・がれき類：再生処理業者へ委託→再資源化 ・石膏ボード：再生処理業者へ委託→再資源化・最終処分業者へ委託→埋立処分 ・混合廃棄物：中間処理業者→分別、再資源化・最終処分業者へ委託→埋立処分

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)



役割

- 品質環境安全担当：・廃棄物処理方法の策定　・廃棄物管理ルール of 策定
・廃棄物処理に関する各種事項の決定、承認、監視
- 各　　部：・産業廃棄物管理状況の把握と改善策の検討
・処理業者、再生利用業者の調査、選定及び管理
- 作業所群：・廃棄物処理計画の作成　　・委託契約の締結
・産業廃棄物管理票の交付、管理　・監督官庁への各種報告

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	建設汚泥	廃プラスチック類
	排　　出　　量	3,486.80　t	5.10　t
	(これまでに実施した取組)		
	過大な梱包材は現場に持ち込まない。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	建設汚泥	廃プラスチック類
	排　　出　　量	3,000.00　t	2.00　t
	(今後実施する予定の取組)		
	上記に加え、材料のロスを削減することに注力する。		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 廃プラスチック、木くず、紙くず、金属くずの分別の実施。
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 廃プラスチック、木くず、紙くず、金属くず、がれき類の分別の実施する。

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項				
【前年度（令和 6 年度）実績】				
産業廃棄物の種類	金属くず	ガラス陶磁器等くず	コンクリート片	廃アスファルト
排 出 量	－ t	2.00 t	183.30 t	3,133.70 t
【目標】				
産業廃棄物の種類	金属くず	ガラス陶磁器等くず	コンクリート片	廃アスファルト
排 出 量	－ t	1.00 t	100.00 t	2,000.00 t

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項				
【前年度（令和 6 年度）実績】				
産業廃棄物の種類	紙くず	木くず	建設混合廃棄物	廃蛍光ランプ類
排 出 量	－ t	7.70 t	15.30 t	－ t
【目標】				
産業廃棄物の種類	紙くず	木くず	建設混合廃棄物	廃蛍光ランプ類
排 出 量	－ t	3.00 t	7.50 t	－ t

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項				
【前年度（令和 6 年度）実績】				
産業廃棄物の種類	廃電池類			
排 出 量	- t	- t	- t	- t
【目標】				
産業廃棄物の種類	廃電池類			
排 出 量	- t	- t	- t	- t

(第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	建設汚泥	廃プラスチック類
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	- t	- t
	(これまでに実施した取組) 特に実施していない。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	建設汚泥	廃プラスチック類
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	- t	- t
	(今後実施する予定の取組) 実施予定なし。		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	建設汚泥	廃プラスチック類
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	- t	- t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	- t	- t
	(これまでに実施した取組) 特に実施していない。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	建設汚泥	廃プラスチック類
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	- t	- t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	- t	- t
	(今後実施する予定の取組) 実施予定なし。		

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

【前年度（令和6年度）実績】				
産業廃棄物の種類	金属くず	ガラス陶磁器等くず	コンクリート片	廃アスファルト
自ら再生利用を行った 産 業 廃 棄 物 の 量	－ t	－ t	－ t	－ t
【目標】				
産業廃棄物の種類	金属くず	ガラス陶磁器等くず	コンクリート片	廃アスファルト
自ら再生利用を行う 産 業 廃 棄 物 の 量	－ t	－ t	－ t	－ t

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

【前年度（令和6年度）実績】				
産業廃棄物の種類	金属くず	ガラス陶磁器等くず	コンクリート片	廃アスファルト
自ら熱回収を行った 産 業 廃 棄 物 の 量	－ t	－ t	－ t	－ t
自ら中間処理により減 量した産業廃棄物の量	－ t	－ t	－ t	－ t
【目標】				
産業廃棄物の種類	金属くず	ガラス陶磁器等くず	コンクリート片	廃アスファルト
自ら熱回収を行う 産 業 廃 棄 物 の 量	－ t	－ t	－ t	－ t
自ら中間処理により減 量する産業廃棄物の量	－ t	－ t	－ t	－ t

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

【前年度（令和6年度）実績】				
産業廃棄物の種類	紙くず	木くず	建設混合廃棄物	廃蛍光ランプ類
自ら再生利用を行った 産 業 廃 棄 物 の 量	－ t	－ t	－ t	－ t
【目標】				
産業廃棄物の種類	紙くず	木くず	建設混合廃棄物	廃蛍光ランプ類
自ら再生利用を行う 産 業 廃 棄 物 の 量	－ t	－ t	－ t	－ t

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

【前年度（令和6年度）実績】				
産業廃棄物の種類	紙くず	木くず	建設混合廃棄物	廃蛍光ランプ類
自ら熱回収を行った 産 業 廃 棄 物 の 量	－ t	－ t	－ t	－ t
自ら中間処理により減 量した産業廃棄物の量	－ t	－ t	－ t	－ t
【目標】				
産業廃棄物の種類	紙くず	木くず	建設混合廃棄物	廃蛍光ランプ類
自ら熱回収を行う 産 業 廃 棄 物 の 量	－ t	－ t	－ t	－ t
自ら中間処理により減 量する産業廃棄物の量	－ t	－ t	－ t	－ t

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

【前年度（令和6年度）実績】				
産業廃棄物の種類	廃電池類			
自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量	- t	- t	- t	- t
【目標】				
産業廃棄物の種類	廃電池類			
自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	- t	- t	- t	- t

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

【前年度（令和6年度）実績】				
産業廃棄物の種類	廃電池類			
自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量	- t	- t	- t	- t
自ら中間処理により減 量した産業廃棄物の量	- t	- t	- t	- t
【目標】				
産業廃棄物の種類	廃電池類			
自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量	- t	- t	- t	- t
自ら中間処理により減 量する産業廃棄物の量	- t	- t	- t	- t

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	建設汚泥	廃プラスチック類
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	- t	- t
	(これまでに実施した取組) 特に実施していない。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	建設汚泥	廃プラスチック類
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	- t	- t
	(今後実施する予定の取組) 実施予定なし。		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	建設汚泥	廃プラスチック類
	全処理委託量	3,486.80 t	5.10 t
	優良認定処理業者 への処理委託量	- t	5.10 t
	再生利用業者への 処理委託量	3,486.80 t	5.10 t
	認定熱回収業者 への処理委託量	- t	- t
	認定熱回収業者以外 の熱回収を行う業者 への処理委託量	- t	- t
	(これまでに実施した取組) 産業廃棄物を委託できる業者を選定し、書面による契約を実施。 再生利用可能な廃棄物は、再生利用業者へ処理を委託。		

(第4面)－2

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

【前年度（令和6年度）実績】				
産業廃棄物の種類	金属くず	ガラス陶磁器等くず	コンクリート片	廃アスファルト
自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	－ t	－ t	－ t	－ t
【目標】				
産業廃棄物の種類	金属くず	ガラス陶磁器等くず	コンクリート片	廃アスファルト
自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	－ t	－ t	－ t	－ t

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

【前年度（令和6年度）実績】				
産業廃棄物の種類	金属くず	ガラス陶磁器等くず	コンクリート片	廃アスファルト
全処理委託量	－ t	2.00 t	183.30 t	3,133.70 t
優良認定処理業者 への処理委託量	－ t	2.00 t	6.70 t	－ t
再生利用業者への 処理委託量	－ t	2.00 t	183.30 t	3,133.70 t
認定熱回収業者 への処理委託量	－ t	－ t	－ t	－ t
認定熱回収業者以外 の熱回収を行う業者 への処理委託量	－ t	－ t	－ t	－ t

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

【前年度（令和6年度）実績】				
産業廃棄物の種類	紙くず	木くず	建設混合廃棄物	廃蛍光ランプ類
自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	－ t	－ t	－ t	－ t
【目標】				
産業廃棄物の種類	紙くず	木くず	建設混合廃棄物	廃蛍光ランプ類
自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	－ t	－ t	－ t	－ t

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

【前年度（令和6年度）実績】				
産業廃棄物の種類	紙くず	木くず	建設混合廃棄物	廃蛍光ランプ類
全処理委託量	－ t	7.70 t	15.30 t	－ t
優良認定処理業者 への処理委託量	－ t	7.70 t	15.30 t	－ t
再生利用業者への 処理委託量	－ t	7.70 t	15.30 t	－ t
認定熱回収業者 への処理委託量	－ t	－ t	－ t	－ t
認定熱回収業者以外 の熱回収を行う業者 への処理委託量	－ t	－ t	－ t	－ t

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

【前年度（令和6年度）実績】				
産業廃棄物の種類	廃電池類			
自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	- t	- t	- t	- t
【目標】				
産業廃棄物の種類	廃電池類			
自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	- t	- t	- t	- t

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

【前年度（令和6年度）実績】				
産業廃棄物の種類	廃電池類			
全処理委託量	- t	- t	- t	- t
優良認定処理業者 への処理委託量	- t	- t	- t	- t
再生利用業者への 処理委託量	- t	- t	- t	- t
認定熱回収業者 への処理委託量	- t	- t	- t	- t
認定熱回収業者以外 の熱回収を行う業者 への処理委託量	- t	- t	- t	- t

(第5面)

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	建設汚泥	廃プラスチック類
	全 処 理 委 託 量	3,000.00 t	2.00 t
	優良認定処理業者への処理委託量	500.00 t	2.00 t
	再生利用業者への処 理 委 託 量	3,000.00 t	2.00 t
	認定熱回収業者への処理委託量	- t	- t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	- t	- t
	(今後実施する予定の取組)		
	これまで通りの取り組みを行う。		
	※事務処理欄		

	【目標】				
	産業廃棄物の種類	金属くず	ガラス陶磁器等くず	コンクリート片	廃アスファルト
	全 処 理 委 託 量	- t	1.00 t	100.00 t	2,000.00 t
	優良認定処理業者 への処理委託量	- t	1.00 t	20.00 t	100.00 t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	- t	1.00 t	100.00 t	2,000.00 t
	認定熱回収業者 への処理委託量	- t	- t	- t	- t
	認定熱回収業者以外 の熱回収を行う業者 への処理委託量	- t	- t	- t	- t

	【目標】				
	産業廃棄物の種類	紙くず	木くず	建設混合廃棄物	廃蛍光ランプ類
	全 処 理 委 託 量	- t	3.00 t	7.50 t	- t
	優良認定処理業者 への処理委託量	- t	3.00 t	7.50 t	- t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	- t	3.00 t	7.50 t	- t
	認定熱回収業者 への処理委託量	- t	- t	- t	- t
	認定熱回収業者以外 の熱回収を行う業者 への処理委託量	- t	- t	- t	- t

	【目標】				
	産業廃棄物の種類	廃電池類			
	全 処 理 委 託 量	- t	- t	- t	- t
	優良認定処理業者 への処理委託量	- t	- t	- t	- t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	- t	- t	- t	- t
	認定熱回収業者 への処理委託量	- t	- t	- t	- t
	認定熱回収業者以外 の熱回収を行う業者 への処理委託量	- t	- t	- t	- t

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額(前年度実績)、建設業の場合における元請完成工事高(前年度実績)、医療機関の場合における病床数(前年度末時点)等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程(当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。)を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者)への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者)である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

産 業 廃 棄 物 処 理 計 画 書 の 〔 入 力 支 援 用 シ ー ト 〕

提出年度 令和 6 年度

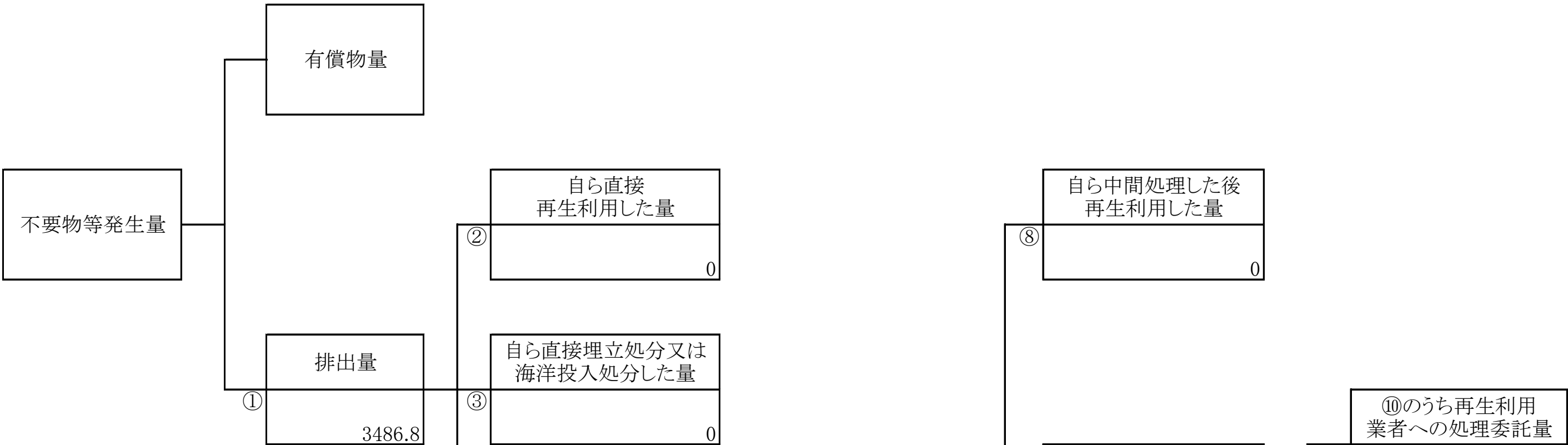
※最下行の名称は任意入力です。

		計 画									
		A 排出量	B 自ら再生利用	C 自ら熱回収を	D 自ら中間処理により	E 自ら埋立処分又は	F 産業廃棄物の				
名 称	現状／計画	(t)	行った量 (t)	行った量 (t)	減量した量 (t)	海洋投入処分を 行った量 (t)	全処理委託量 (t)	G 優良認定処理業者 への処理委託量(t)	H 再生利用業者への 処理委託量(t)	I 認定熱回収業者 への処理委託量(t)	J 認定熱回収業者以外の 熱回収業者への処理委託量(t)
産業廃棄物の種類	前年度実績 ／ 今年度の計画	当該事業場において生じた産業廃棄物の種類ごとの量	Aの量のうち、自ら再生利用した量	Aの量のうち熱回収を行った量	Aの量のうち、自ら中間処理により減量した量	Aの量のうち、自ら埋立処分又は海洋投入処分した量	中間処理及び最終処分を委託した量	Fの量のうち、優良認定処理業者への委託処理量	Fの量のうち、処理業者への再生利用委託量(I、J除く)	Fの量のうち、認定熱回収施設設置者である処理業者への焼却処理委託量	Fの量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量
建設汚泥	現状	3486.8						3486.8	0	3486.8	
	計画	3000.0						3000.0	500.0	3000.0	
廃プラスチック類	現状	5.1						5.1	5.1	5.1	
	計画	2.0						2.0	2.0	2.0	
金属くず	現状										
	計画										
ガラス陶磁器等くず	現状	2.0						2.0	2.0	2.0	
	計画	1.0						1.0	1.0	1.0	
コンクリート片	現状	183.3						183.3	6.7	183.3	
	計画	100.0						100.0	20.0	100.0	
廃アスファルト	現状	3133.7						3133.7	0.0	3133.7	
	計画	2000.0						2000.0	100.0	2000.0	
紙くず	現状										
	計画										
木くず	現状	7.7						7.7	7.7	7.7	
	計画	3.0						3.0	3.0	3.0	
建設混合廃棄物	現状	15.3						15.3	15.3	15.3	
	計画	7.5						7.5	7.5	7.5	
廃蛍光ランプ類	現状										
	計画										
廃電池類	現状										
	計画										
	現状										
	計画										
	現状										
	計画										
	現状										
	計画										
合計	現状	6833.9	0	0	0	0	6833.9	36.8	6833.9	0	0
	計画	5113.5	0	0	0	0	5113.5	633.5	5113.5	0	0

産業廃棄物処理計画実施状況報告書			
令和7年 6月 24日			
千葉県知事 熊谷 俊人 殿			
提出者			
住 所 東京都新宿区中里町29-3			
氏 名 株式会社加賀田組東京支店			
執行役員支店長 後藤 和浩			
電話番号 03-5206-5660			
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、令和6年度の産業廃棄物 処理計画の実施状況を報告します。			
事業場の名称	株式会社加賀田組東京支店		
事業場の所在地	東京都新宿区中里町29-3		
事業の種類	総合工事業		
産業廃棄物処理計画における 計 画 期 間	令和6年4月1日から令和7年3月31日まで		
産業廃棄物処理計画における目標値			
項目	目標値	項目	目標値
排 出 量	1591t	全 処 理 委 託 量	1591t
自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	t	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	1591t
自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量	t	再生利用業者への 処 理 委 託 量	1591t
自ら中間処理により減量する 産業廃棄物の量	t	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	t
自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	t	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	t
※事務処理欄			

計画の実施状況

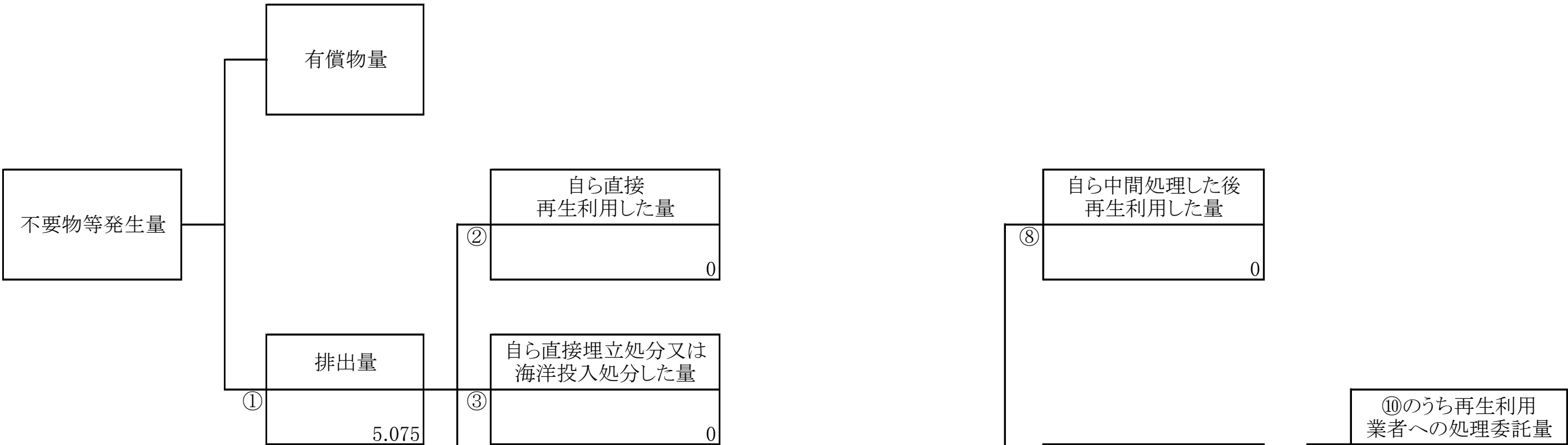
(産業廃棄物の種類：建設汚泥(水銀関連除く))



項目	実績値
①排出量	3486.8
②+⑧自ら再生利用を行った量	0
⑤自ら熱回収を行った量	0
⑦自ら中間処理により減量した量	0
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0
⑩全処理委託量	3486.8
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0
⑫再生利用業者への処理委託量	3486.8
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0

計画の実施状況

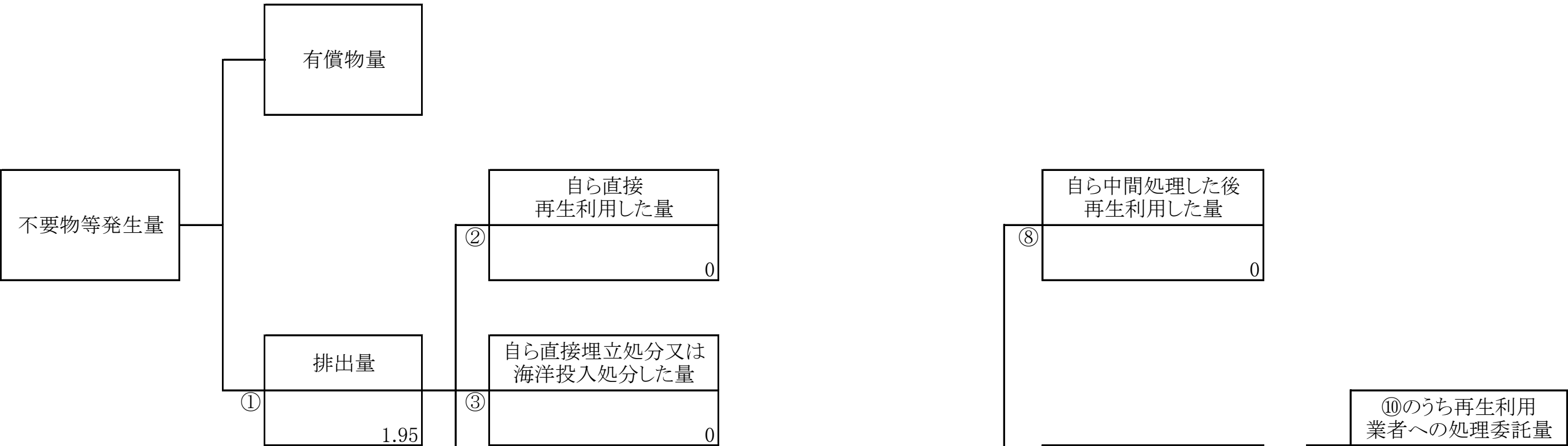
(産業廃棄物の種類：廃プラスチック類)



項目	実績値
①排出量	5.075
②+⑧自ら再生利用を行った量	0
⑤自ら熱回収を行った量	0
⑦自ら中間処理により減量した量	0
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0
⑩全処理委託量	5.075
⑪優良認定処理業者への処理委託量	5.075
⑫再生利用業者への処理委託量	5.075
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0

計画の実施状況

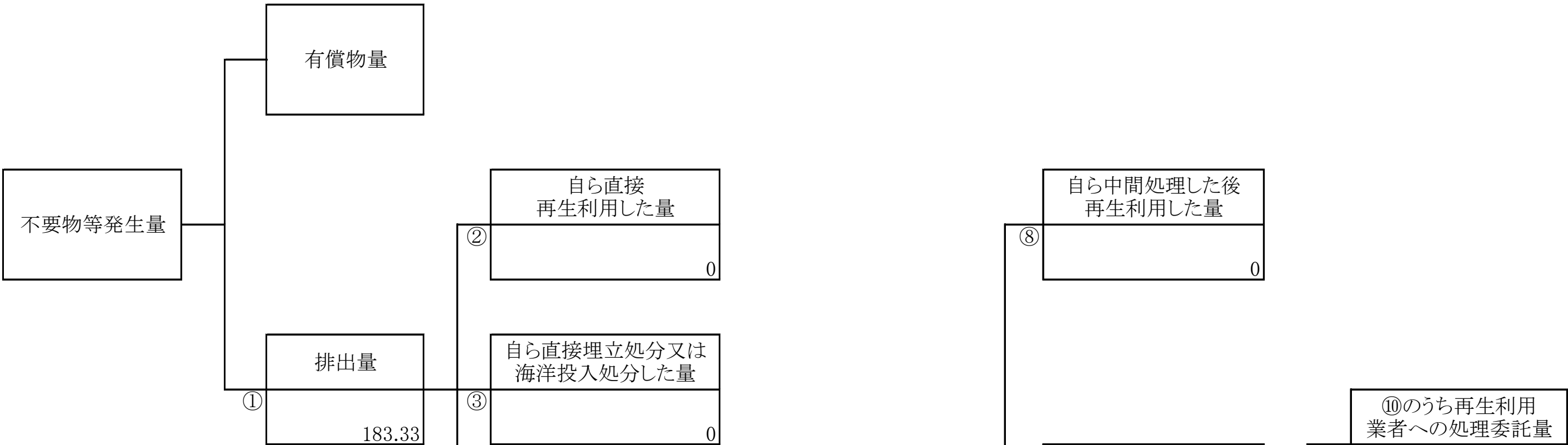
(産業廃棄物の種類：ガラス陶磁器等くず(水銀関連除く))



項目	実績値
①排出量	1.95
②+⑧自ら再生利用を行った量	0
⑤自ら熱回収を行った量	0
⑦自ら中間処理により減量した量	0
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0
⑩全処理委託量	1.95
⑪優良認定処理業者への処理委託量	1.95
⑫再生利用業者への処理委託量	1.95
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0

計画の実施状況

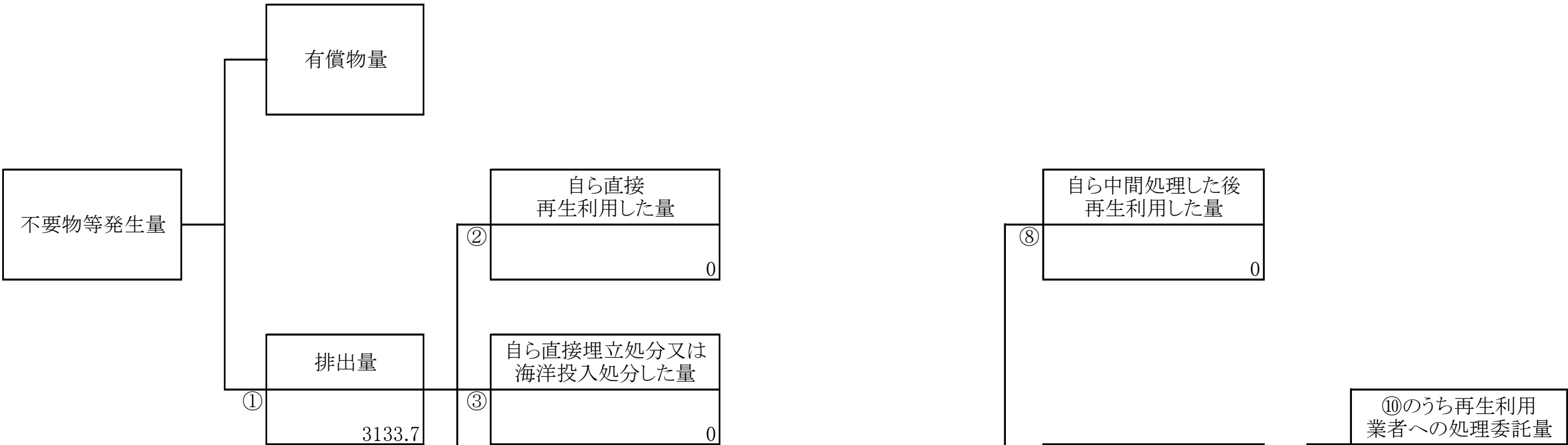
(産業廃棄物の種類:コンクリート片)



項目	実績値
①排出量	183.33
②+⑧自ら再生利用を行った量	0
⑤自ら熱回収を行った量	0
⑦自ら中間処理により減量した量	0
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0
⑩全処理委託量	183.3
⑪優良認定処理業者への処理委託量	6.66
⑫再生利用業者への処理委託量	183.3
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0

計画の実施状況

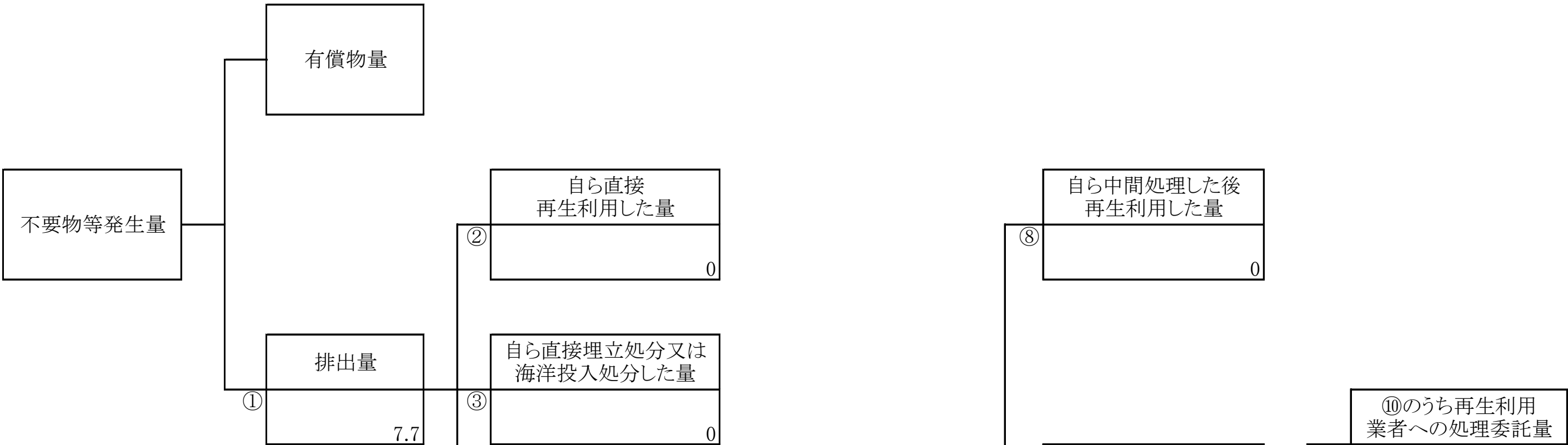
(産業廃棄物の種類：廃アスファルト)



項目	実績値
①排出量	3133.7
②+⑧自ら再生利用を行った量	0
⑤自ら熱回収を行った量	0
⑦自ら中間処理により減量した量	0
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0
⑩全処理委託量	3133.7
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0
⑫再生利用業者への処理委託量	3133.7
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0

計画の実施状況

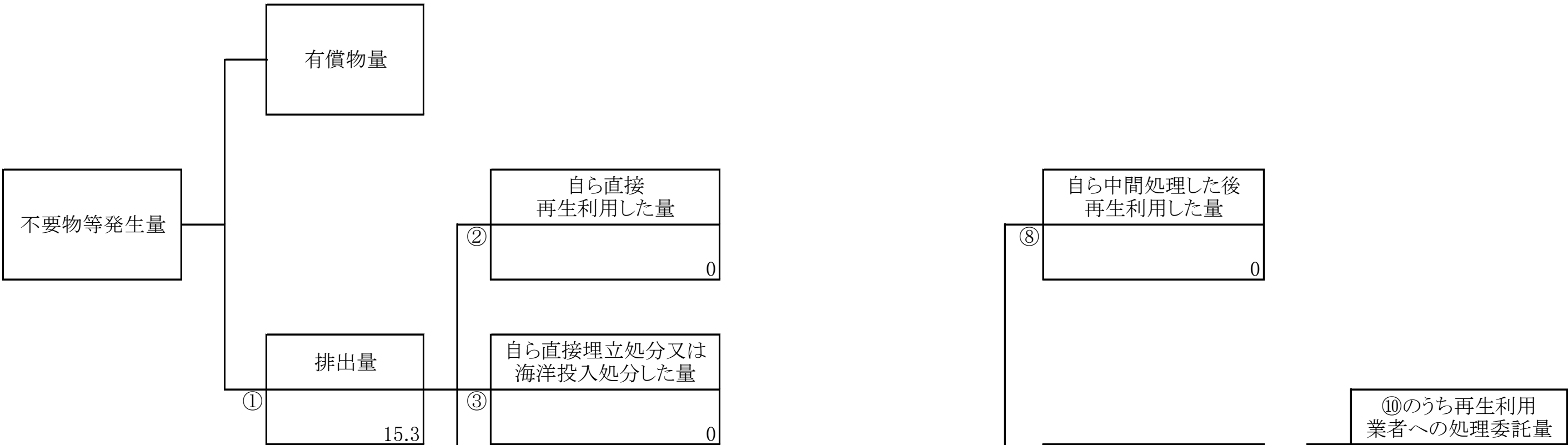
(産業廃棄物の種類: 木くず)



項目	実績値
①排出量	7.7
②+⑧自ら再生利用を行った量	0
⑤自ら熱回収を行った量	0
⑦自ら中間処理により減量した量	0
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0
⑩全処理委託量	7.7
⑪優良認定処理業者への処理委託量	7.7
⑫再生利用業者への処理委託量	7.7
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類：建設混合廃棄物)



項目	実績値
①排出量	15.3
②+⑧自ら再生利用を行った量	0
⑤自ら熱回収を行った量	0
⑦自ら中間処理により減量した量	0
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0
⑩全処理委託量	15.3
⑪優良認定処理業者への処理委託量	15.3
⑫再生利用業者への処理委託量	15.3
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0

⑩のうち再生利用業者への処理委託量	15.3
⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量	0
⑩のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0

備考

- 1 翌年度の6月30日までに提出すること。
- 2 「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
- 3 「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。
- 4 第2面には、前年度の産業廃棄物処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。
 - (1) ①欄 当該事業場において生じた産業廃棄物の量
 - (2) ②欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量
 - (3) ③欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
 - (4) ④欄 (1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量
 - (5) ⑤欄 (4)の量のうち、熱回収を行った量
 - (6) ⑥欄 自ら中間処理をした後の量
 - (7) ⑦欄 (4)の量から(6)の量を差し引いた量
 - (8) ⑧欄 (6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量
 - (9) ⑨欄 (6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量
 - (10) ⑩欄 中間処理及び最終処分を委託した量
 - (11) ⑪欄 (10)の量のうち、優良認定処理業者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者)への処理委託量
 - (12) ⑫欄 (10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量
 - (13) ⑬欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者)である処理業者への焼却処理委託量
 - (14) ⑭欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量
- 5 第2面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。
- 6 産業廃棄物の種類が2以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。
- 7 ※欄には、何も記入しないこと。

様式第二号の八（第八条の四の五関係）

(第1面)

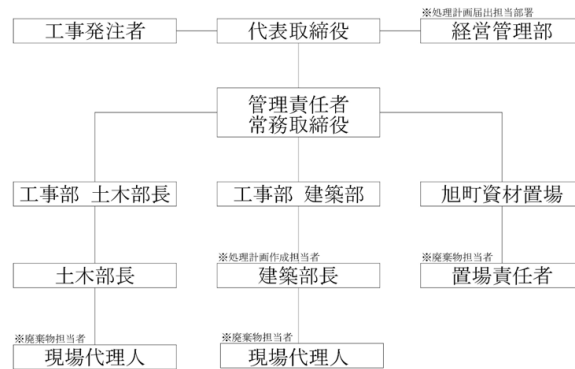
産業廃棄物処理計画書	
令和 7 年 5 月 22 日	
千葉県知事	
熊谷 俊人 殿	
提出者 〒271-0077	
住 所 千葉県松戸市根本124番地	
氏 名 輝建設 株式会社	
代表取締役 岡田 英夫	
電話番号 047-362-2164	
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。	
事業場の名称	輝建設 株式会社
事業場の所在地	千葉県松戸市根本124番地
計画期間	令和7年4月1日から令和8年3月31日まで
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
① 事業の種類	D06ー総合工事業
② 事業の規模	元請完成工事高：870,000千円
③ 従業員数	13名
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	工事現場 最終処分 破砕（リサイクル施設） コンクリートがら がれき類 ↓ 再生品販売 売却（リサイクル施設） 紙くず、金属くず コンクリートがら アスコンがら がれき類 金属くず 汚泥 紙くず 木くず 廃石膏ボード 混合廃棄物 がれき類・廃プラ （石綿含有産業廃棄物） 委託処理 中間処理業者 （分別・破砕・圧縮） ↓ 委託処理 再生処理施設 紙くず（段ボール）、金属くず 廃プラスチック（塩ビ管） 委託処理（再生品売却） 木くず、紙くず、繊維くず 廃プラスチック 委託処理（中間焼却施設） コンがら、廃プラ、ガラス 陶磁器くず、がれき類 委託処理（安定型埋立処分場） 管理型混合廃棄物 委託処理（管理型埋立処分場） -----> 自社運輸を示す

(日本産業規格 A列4番)

(第2面)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	コンクリートがら	アスコンがら
	排出量	4338.5 t	2320.0 t
	(これまでに実施した取組) ・受注する工事の内容により、産業廃棄物の品目と数量は変化するが、効率的な施工方法で産業廃棄物の減量に努めた。 ・過剰な包装や養生を止め、産業廃棄物を削減した。 ・資材は余剰材が発生しないよう、計画的に発注した。 ・有価物となる金属くずは、有価物として処分し、産業廃棄物としての金属くずを削減した。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	コンクリートがら	アスコンがら
	排出量	4121.6 t	2204.0 t
	(今後実施する予定の取組) ・産業廃棄物の減量を図るため、効率的な施工方法を継続する。 ・引き続き、過剰な包装や養生を止め、余剰材による産業廃棄物の排出を抑制する。 ・引き続き、金属くずは有価物と産業廃棄物との分別を徹底し産業廃棄物としての金属くず排出を抑制する。		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・紙くずと繊維くずは分別し再生処理施設の活用にも努めた。 ・施工方法の効率化を図り、混合廃棄物の減量化にも努めた。
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・混合廃棄物の減量化を目指し、再生利用できるものを増やす。

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	コンクリートがら	アスコンがら
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(これまでに実施した取組) —		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	コンクリートがら	アスコンがら
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組) —		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	コンクリートがら	アスコンがら
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0 t	0 t
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	コンクリートがら	アスコンがら
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組) —		

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	コンクリートがら	アスコンがら
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(これまでに実施した取組) —		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	コンクリートがら	アスコンがら
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組) —		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	コンクリートがら	アスコンがら
	全処理委託量	4338.5 t	2320.0 t
	優良認定処理業者への処理委託量	4053.0 t	0 t
	再生利用業者への処理委託量	4284.0 t	1343.0 t
	認定熱回収業者への処理委託量	0 t	0 t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	0 t
	(これまでに実施した取組) ・適正な産業廃棄物処理委託契約を結び、廃棄物処理を行った。		

(第5面)

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	コンクリートがら	アスコンがら
	全処理委託量	4121.6 t	2204.0 t
	優良認定処理業者への 処理委託量	3850.4 t	0 t
	再生利用業者への 処理委託量	4069.8 t	1275.9 t
	認定熱回収業者への 処理委託量	0 t	0 t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組) ・引き続き、適正な産業廃棄物処理委託契約を結び、廃棄物処理を行う。		
※事務処理欄			

(第6面)

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「一」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

別紙2)

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項									
①現状	【前年度（令和6年度）実績】								
	産業廃棄物の種類	がれき類	汚泥	木くず	建設混合廃棄物	管理型混合廃棄物	がれき類（石綿含有）	廃プラ（石綿含有）	
	排出量	735.9 t	3 t	15.4 t	27.6 t	21.5 t	14.3 t	1.4 t	t
	【目標】								
②計画	産業廃棄物の種類	がれき類	汚泥	木くず	建設混合廃棄物	管理型混合廃棄物	がれき類（石綿含有）	廃プラ（石綿含有）	
	排出量	699.1 t	2.9 t	14.6 t	26.2 t	20.4 t	13.6 t	1.3 t	t
自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項									
①現状	【前年度（令和6年度）実績】								
	産業廃棄物の種類	がれき類	汚泥	木くず	建設混合廃棄物	管理型混合廃棄物	がれき類（石綿含有）	廃プラ（石綿含有）	
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
	【目標】								
②計画	産業廃棄物の種類	がれき類	汚泥	木くず	建設混合廃棄物	管理型混合廃棄物	がれき類（石綿含有）	廃プラ（石綿含有）	
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項									
①現状	【前年度（令和6年度）実績】								
	産業廃棄物の種類	がれき類	汚泥	木くず	建設混合廃棄物	管理型混合廃棄物	がれき類（石綿含有）	廃プラ（石綿含有）	
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
②計画	【目標】								
	産業廃棄物の種類	がれき類	汚泥	木くず	建設混合廃棄物	管理型混合廃棄物	がれき類（石綿含有）	廃プラ（石綿含有）	
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t

別紙3)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項									
①現状	【前年度（令和6年度）実績】								
	産業廃棄物の種類	がれき類	汚泥	木くず	建設混合廃棄物	管理型混合廃棄物	がれき類（石綿含有）	廃プラ（石綿含有）	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
②計画	【目標】								
	産業廃棄物の種類	がれき類	汚泥	木くず	建設混合廃棄物	管理型混合廃棄物	がれき類（石綿含有）	廃プラ（石綿含有）	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
産業廃棄物の処理の委託に関する事項									
①現状	【前年度（令和6年度）実績】								
	産業廃棄物の種類	がれき類	汚泥	木くず	建設混合廃棄物	管理型混合廃棄物	がれき類（石綿含有）	廃プラ（石綿含有）	
	全処理委託量	735.9 t	3 t	15.4 t	27.6 t	21.5 t	14.3 t	1.4 t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	t
	再生利用業者への処理委託量	192 t	0 t	15.4 t	19.3 t	10.7 t	0 t	0 t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	t
②計画	【目標】								
	産業廃棄物の種類	がれき類	汚泥	木くず	建設混合廃棄物	管理型混合廃棄物	がれき類（石綿含有）	廃プラ（石綿含有）	
	全処理委託量	699.1 t	2.9 t	14.6 t	26.2 t	20.4 t	13.6 t	1.3 t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	t
	再生利用業者への処理委託量	182.4 t	0 t	14.6 t	18.3 t	10.2 t	0 t	0 t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	t

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

令和 7年 5月 22日

千葉県知事 熊谷 俊人 殿

提出者 〒271-0077
住 所 千葉県松戸市根本124番地
氏 名 輝建設 株式会社
代表取締役 岡田 英夫
電話番号 047-362-2164

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、令和 6 年度の産業廃棄物
処理計画の実施状況を報告します。

事業場の名称	輝建設 株式会社
事業場の所在地	千葉県松戸市根本124番地
事業の種類	D06－総合工事業
産業廃棄物処理計画における 計画期間	令和6年4月1日から令和7年3月31日まで

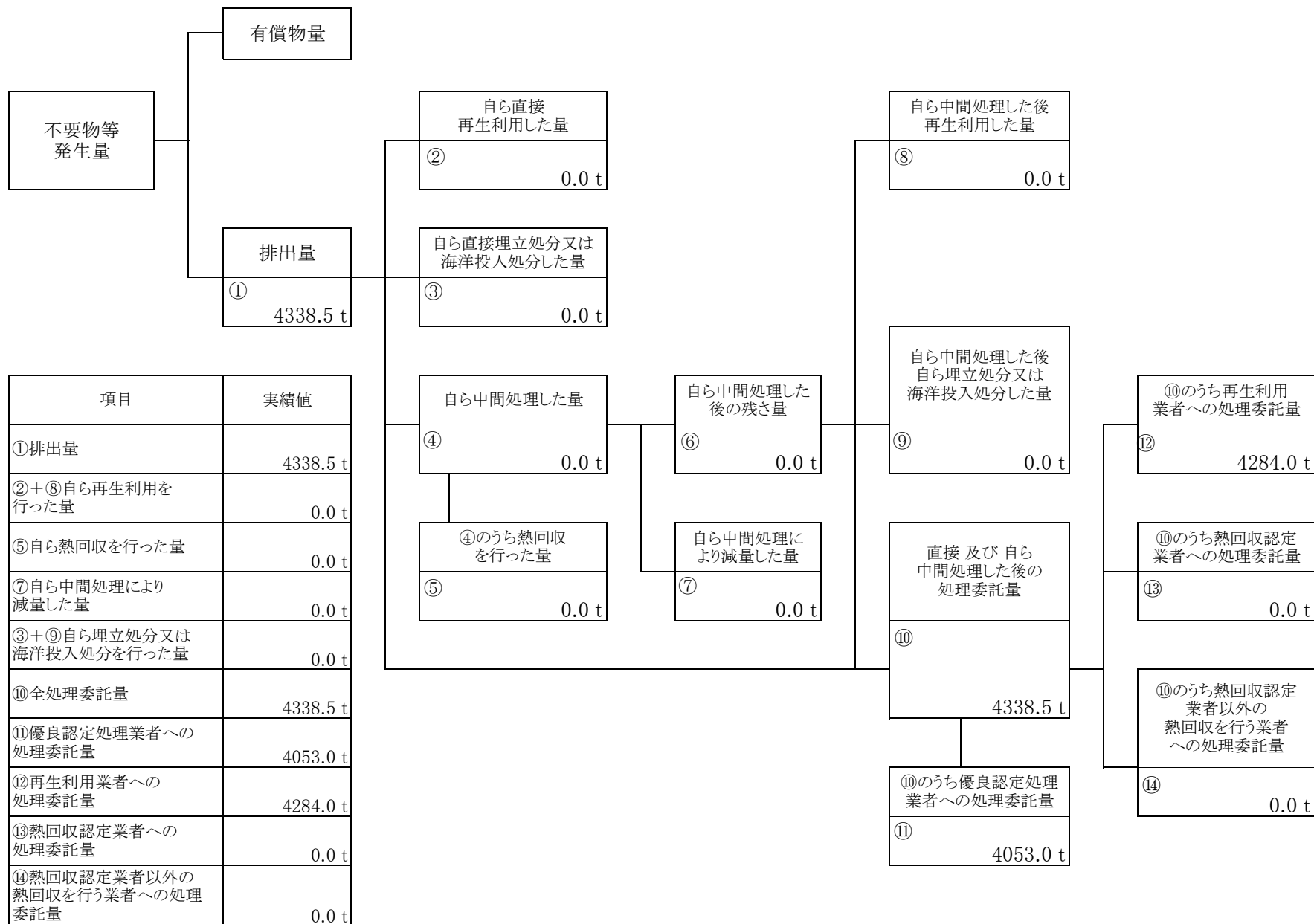
産業廃棄物処理計画における目標値

項目	目標値	項目	目標値
排出量	8672.8 t	全処理委託量	8672.8 t
自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	0.0 t	優良認定処理業者への 処理委託量	6844.2 t
自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量	0.0 t	再生利用業者への 処理委託量	8588.0 t
自ら中間処理により減量する 産業廃棄物の量	0.0 t	認定熱回収業者への 処理委託量	0.0 t
自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	0.0 t	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	0.0 t

※事務処理欄

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: コンクリートがら)

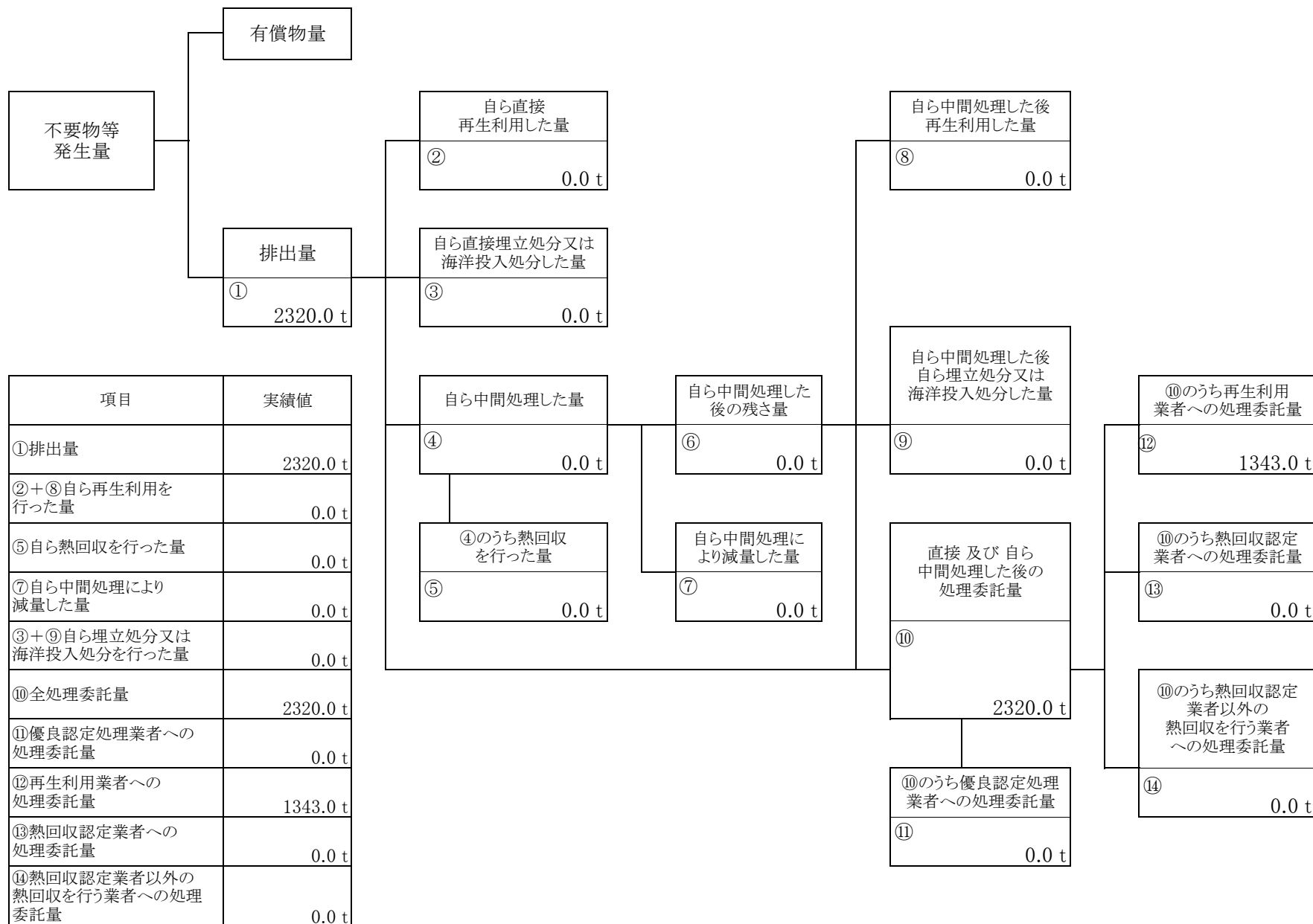


計画の実施状況

(産業廃棄物の種類:

アスコンがら

)



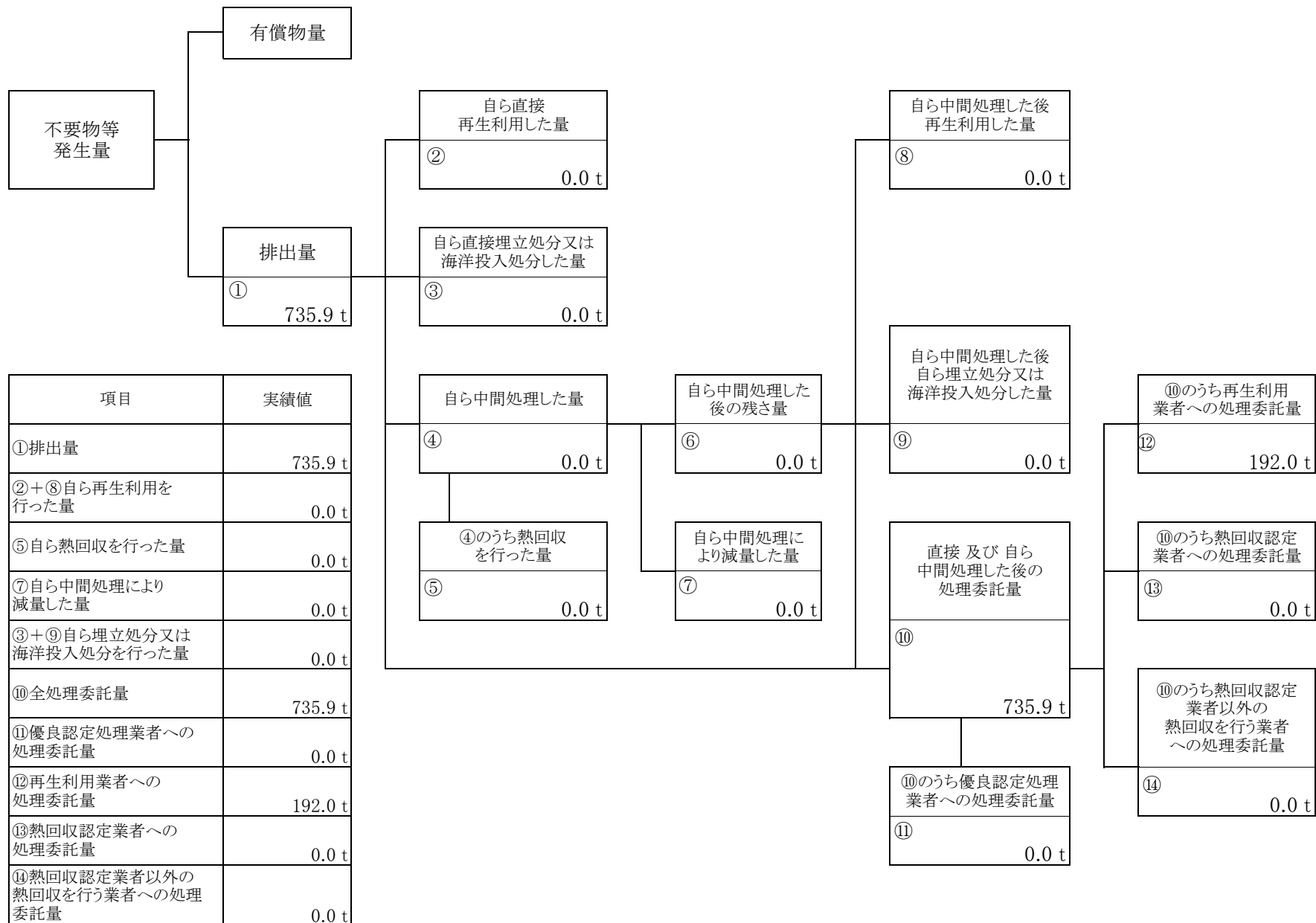
(第2面)

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類:

がれき類

)



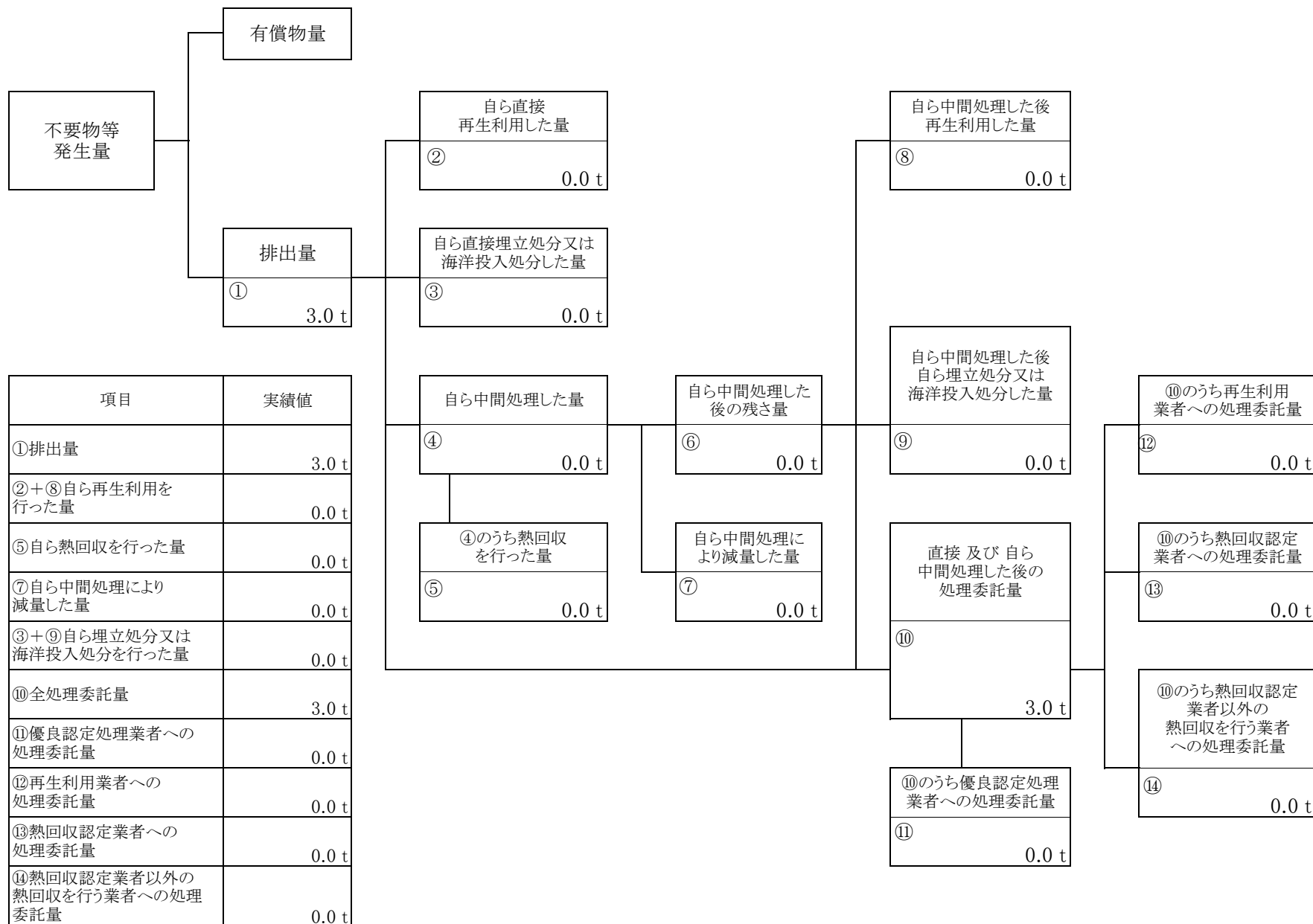
(第2面)

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類:

汚泥

)



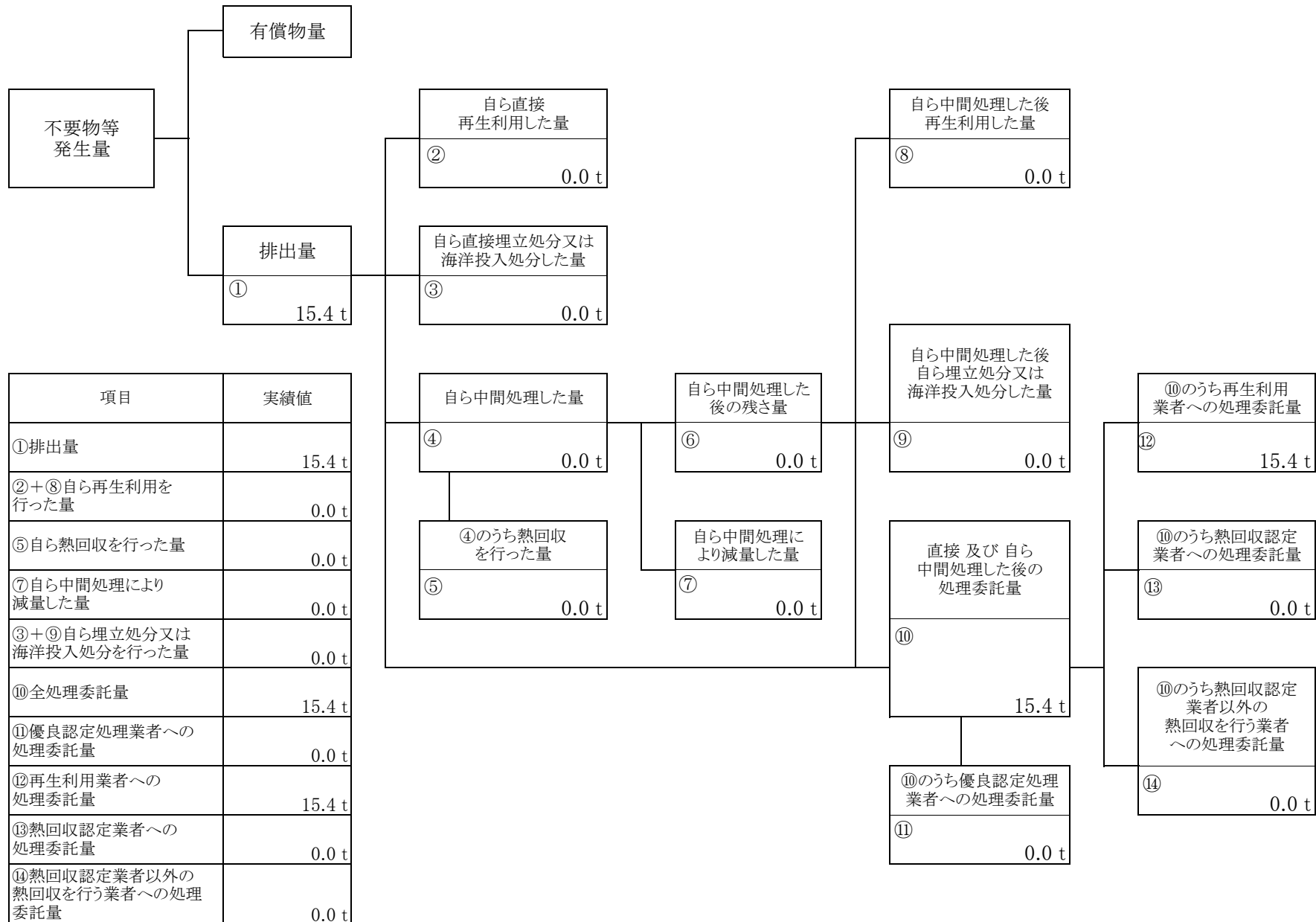
(第2面)

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類:

木くず

)



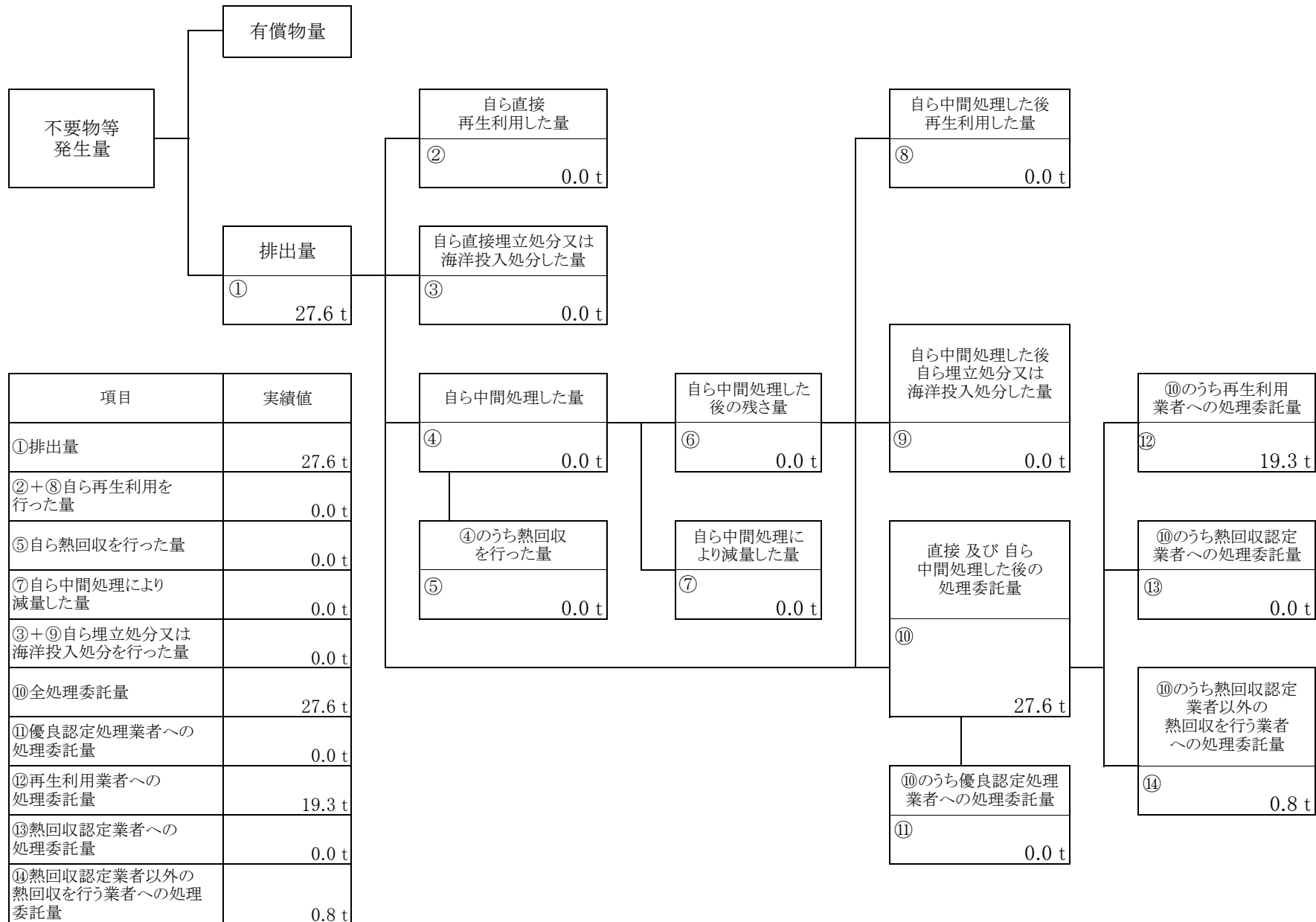
(第2面)

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類:

建設混合廃棄物

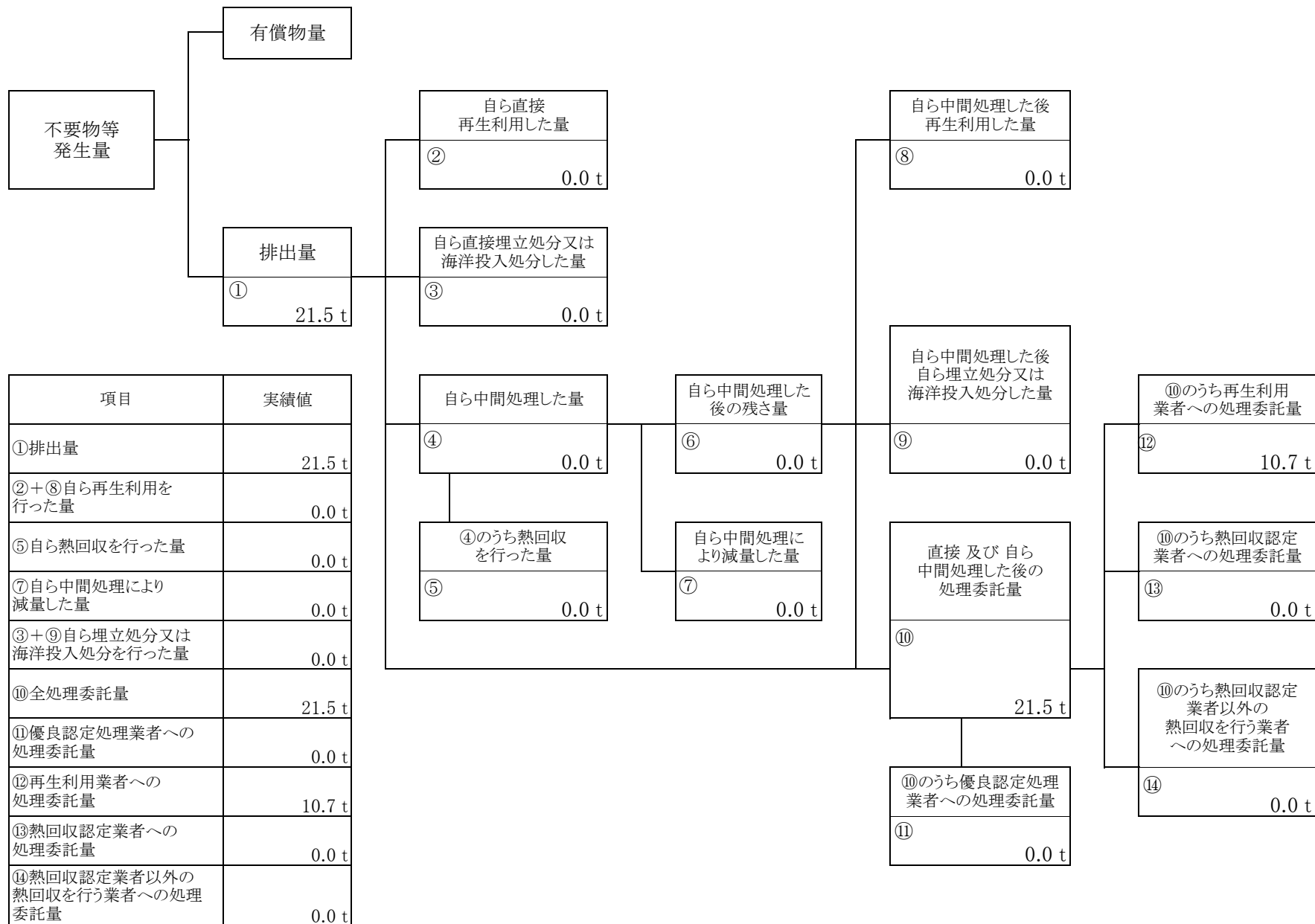
)



(第2面)

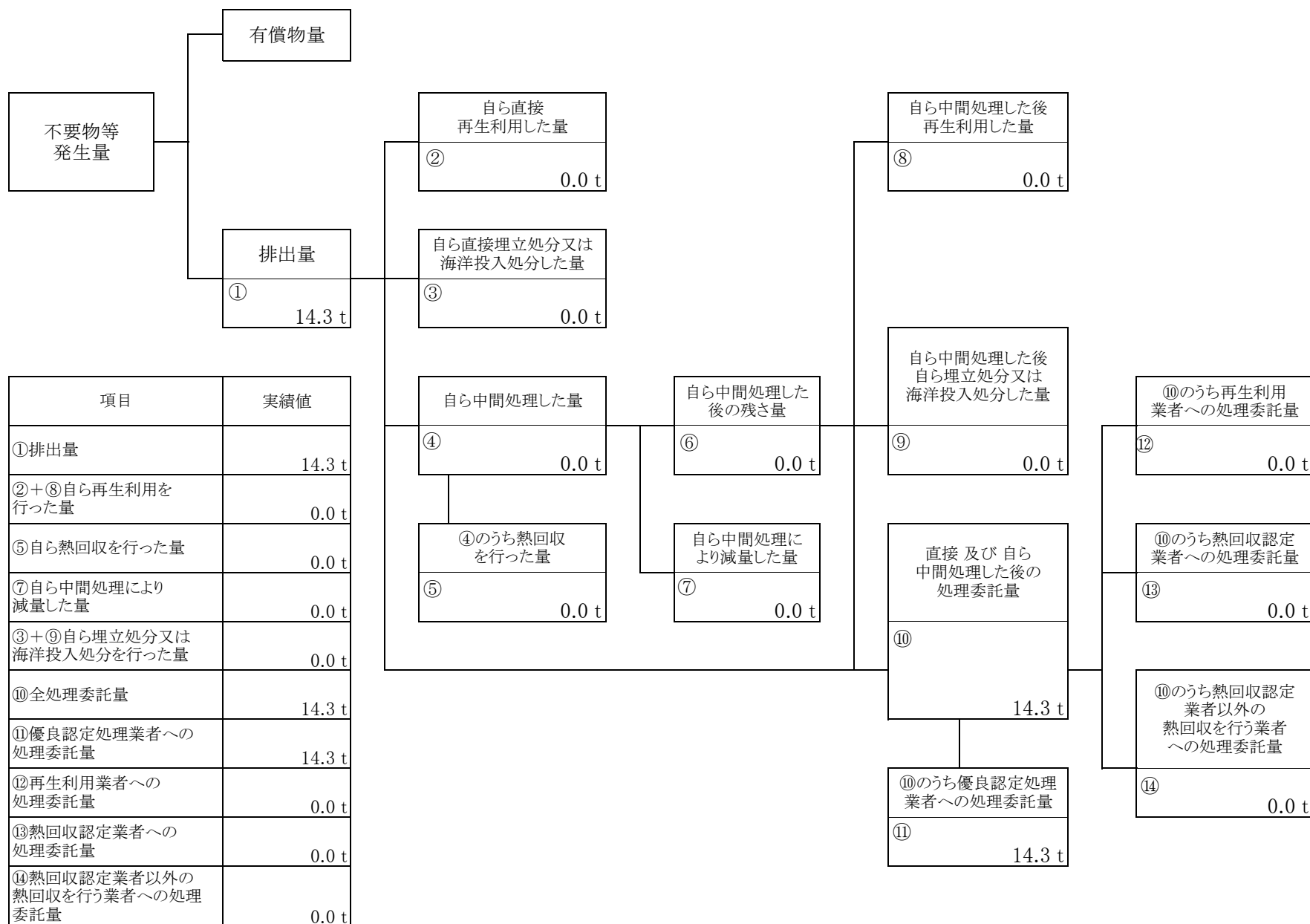
計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: 管理型混合廃棄物)



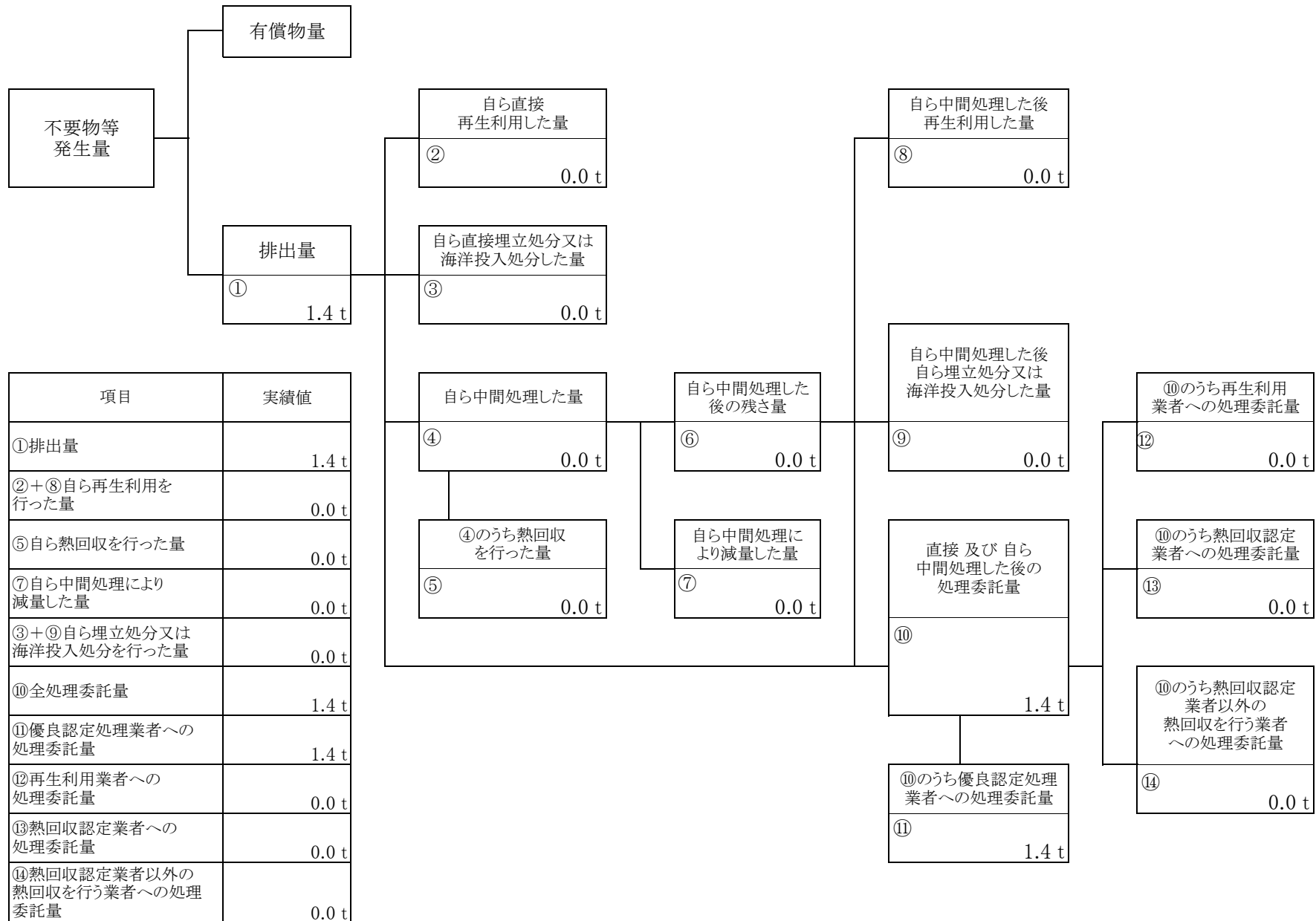
計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: がれき類(石綿含有))



計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: 廃プラスチック(石綿含有))



(第2面)

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

令和7年4月18日

千葉県知事 熊谷 俊人 殿

提出者

住 所 市川市八幡6丁目25番2号

氏 名 株式会社 加川水道

代表取締役 加川 明良

(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

電話番号

047(339)0044

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、令和6年度の産業廃棄物
処理計画の実施状況を報告します。

事業場の名称	株式会社 加川水道
事業場の所在地	市川市八幡6丁目25番2号
事業の種類	大分類:建設業 中分類:総合工事業
産業廃棄物処理計画における 計画期間	令和6年4月～令和7年3月

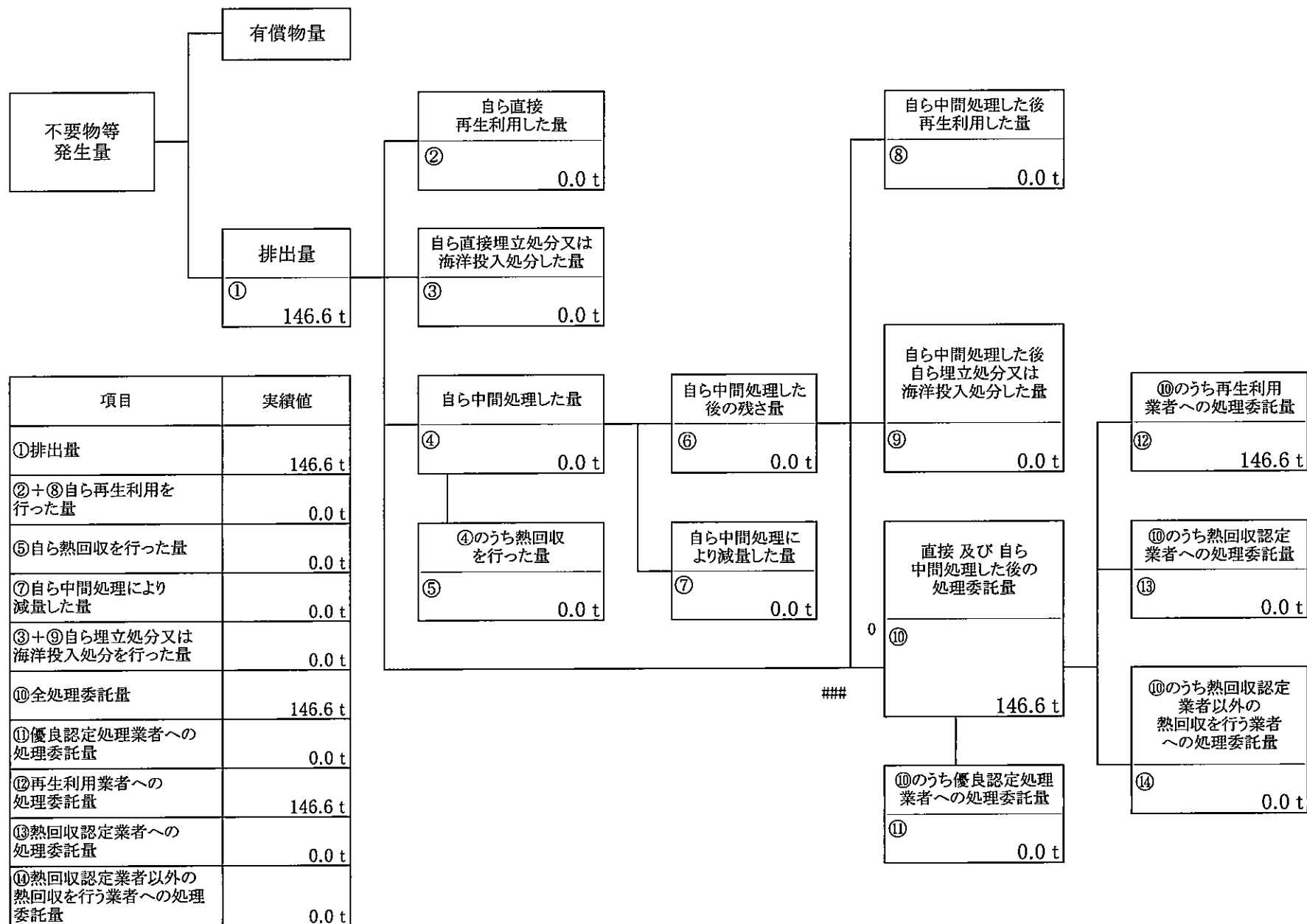


産業廃棄物処理計画における目標値

項目	目標値	項目	目標値
排 出 量	1,024.0 t	全 処 理 委 託 量	1,024.0 t
自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	0.0 t	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	0.0 t
自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量	0.0 t	再生利用業者への 処 理 委 託 量	1,024.0 t
自ら中間処理により減量する 産業廃棄物の量	0.0 t	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	0.0 t
自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	0.0 t	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	0.0 t
※事務処理欄			

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: アスファルト・コンクリートがら)



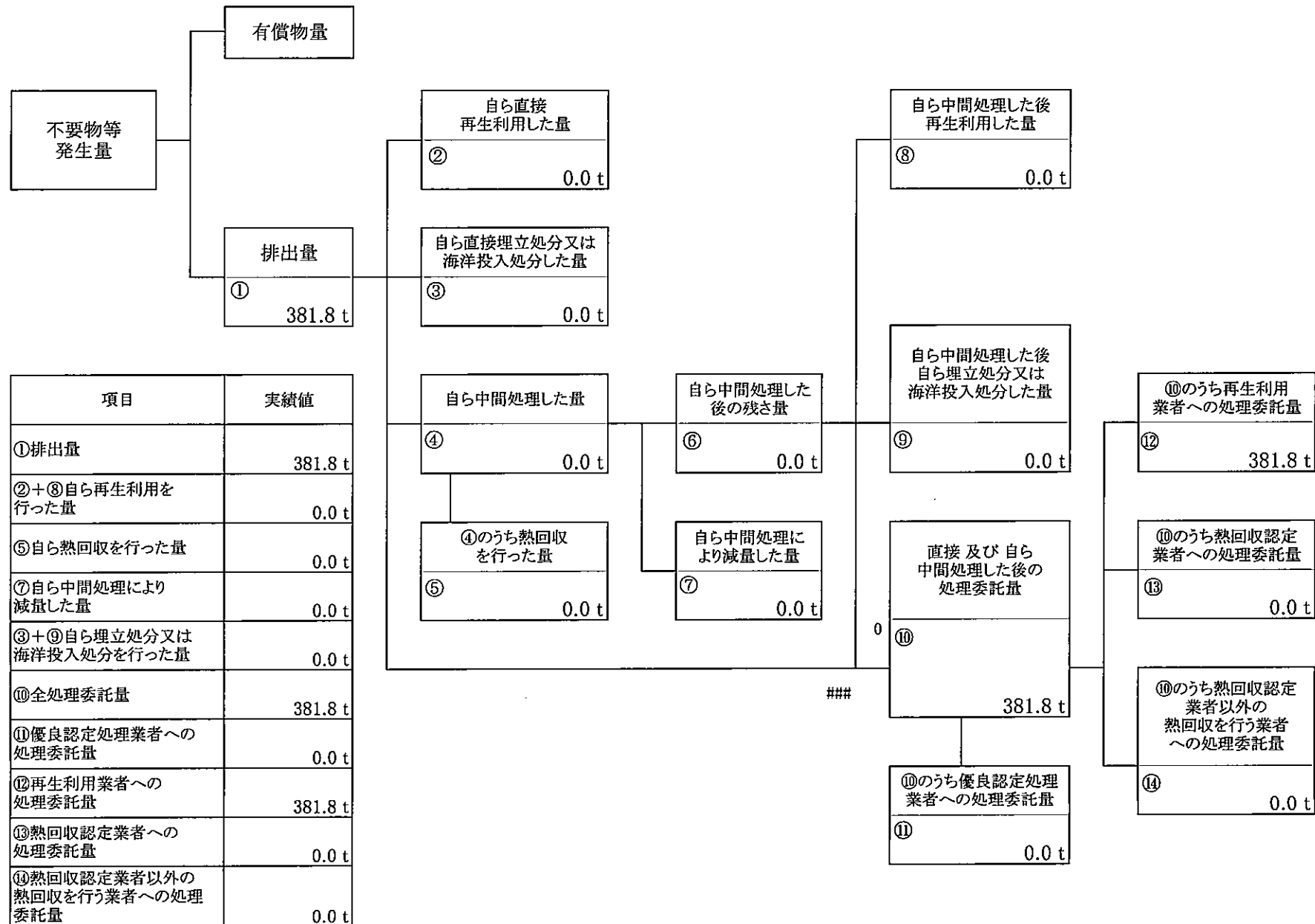
(第2面)

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類:

がれき類

)



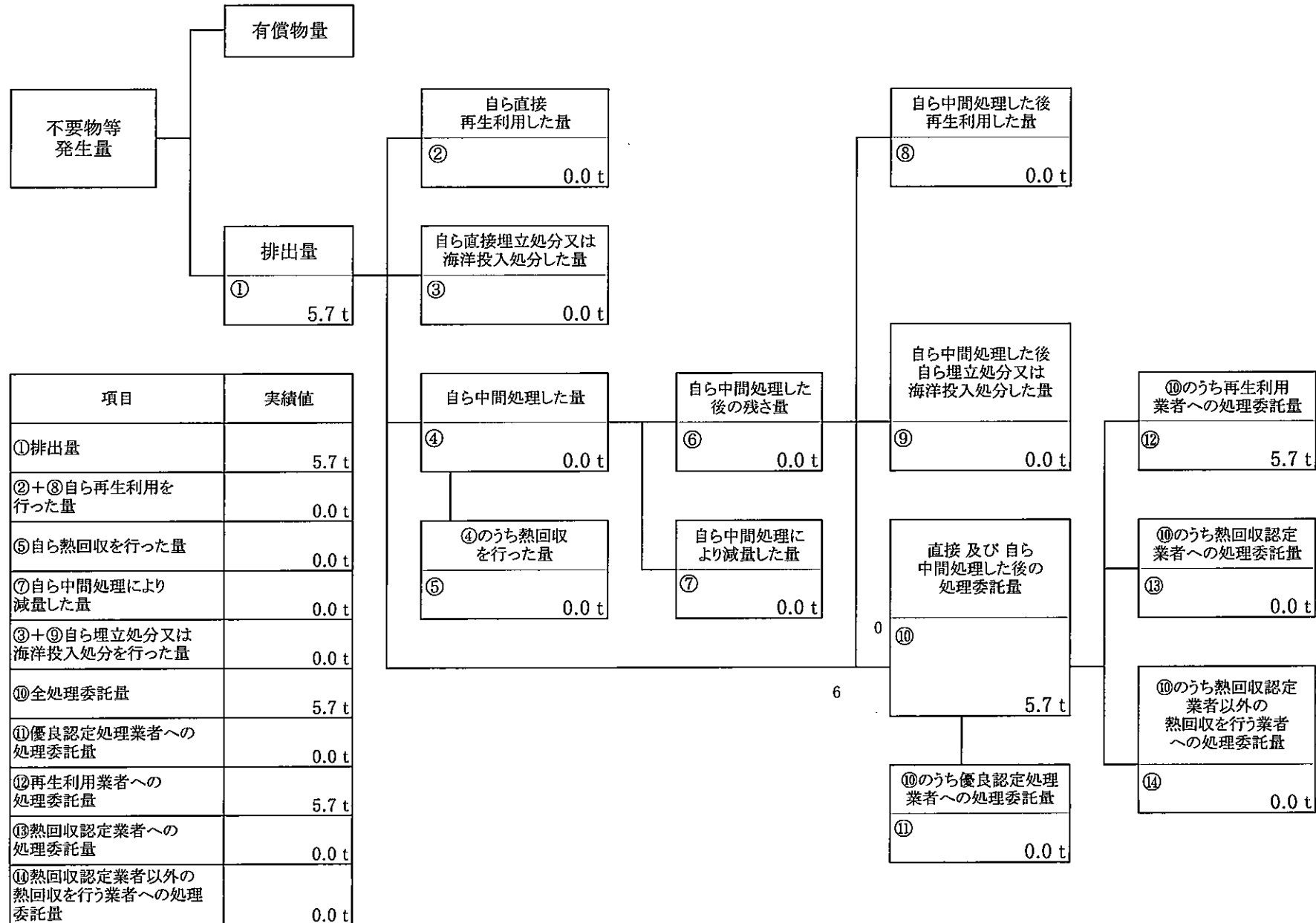
(第2面)

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類:

コンクリートがら

)

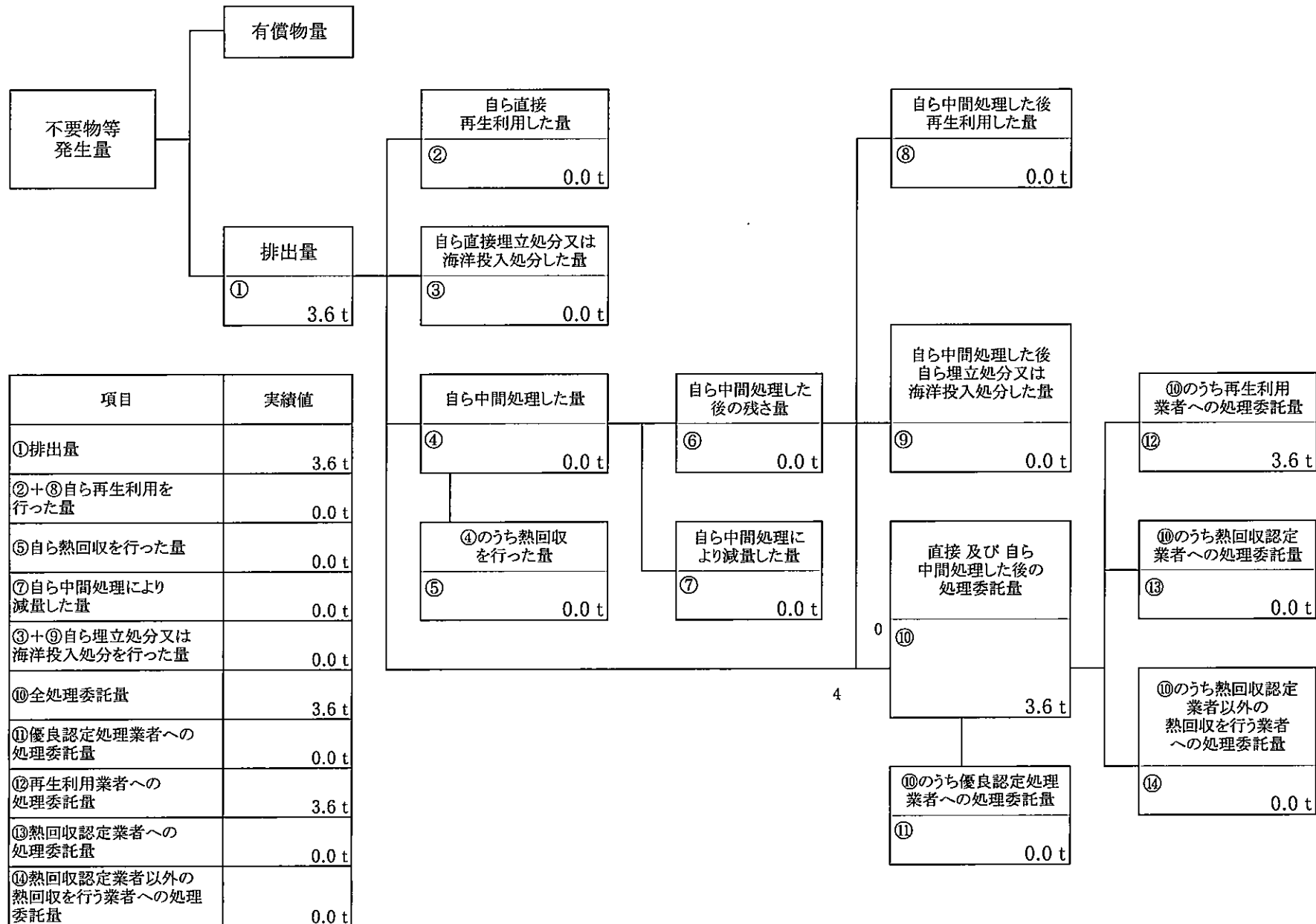


計画の実施状況

(産業廃棄物の種類:

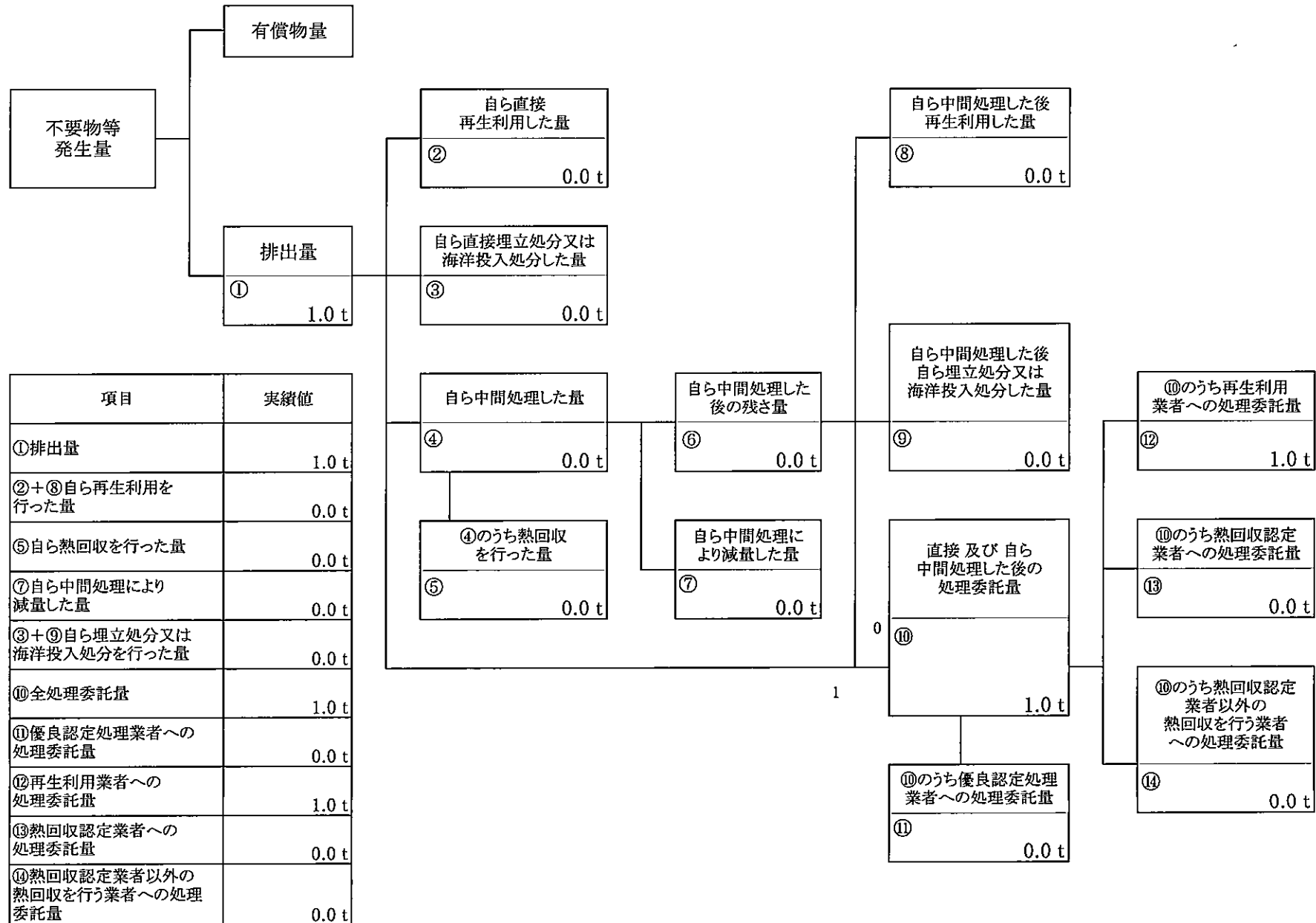
汚泥

)



計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: 廃プラスチック類)



備考

- 1 翌年度の6月30日までに提出すること。
- 2 「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
- 3 「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。
- 4 第2面には、前年度の産業廃棄物処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。
 - (1) ①欄 当該事業場において生じた産業廃棄物の量
 - (2) ②欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量
 - (3) ③欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
 - (4) ④欄 (1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量
 - (5) ⑤欄 (4)の量のうち、熱回収を行った量
 - (6) ⑥欄 自ら中間処理をした後の量
 - (7) ⑦欄 (4)の量から(6)の量を差し引いた量
 - (8) ⑧欄 (6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量
 - (9) ⑨欄 (6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量
 - (10) ⑩欄 中間処理及び最終処分を委託した量
 - (11) ⑪欄 (10)の量のうち、優良認定処理業者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者)への処理委託量
 - (12) ⑫欄 (10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量
 - (13) ⑬欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者)である処理業者への焼却処理委託量
 - (14) ⑭欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量
- 5 第2面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。
- 6 産業廃棄物の種類が2以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。
- 7 ※欄には、何も記入しないこと。

様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第1面）

産業廃棄物処理計画書	
令和7年6月20日	
千葉県知事	
熊谷 俊人 殿	
提出者 〒261-7105	
住 所 千葉県千葉市美浜区中瀬二丁目6番1号 ワールドビジネスガーデン マリブ・イースト棟5F	
氏 名 鹿島建設株式会社 東京建築支店 千葉営業所 所長 岡田 友良 (法人にあつては、名称及び代表者の氏名)	
電話番号 03-6838-0326	
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。	
事業場の名称	鹿島建設株式会社 東京建築支店 千葉営業所
事業場の所在地	千葉県千葉市美浜区中瀬二丁目6番1号 ワールドビジネスガーデン
計画期間	令和7年4月1日から令和8年3月31日まで
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
① 事業の種類	D06ー総合工事業
② 事業の規模	元請完成工事高 975.1億円
③ 従業員数	425名
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	別紙1「産業廃棄物の一連の処理工程」参照

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

支店長

安全環境部
(産業廃棄物管理責任者)
環境管理グループ長

建築工事管理部
(産業廃棄物管理責任者)
建築総括環境管理者

工事事務所
(統括環境管理者)
工事事務所長

教育訓練の実施状況
・「環境管理の手引」を全社員に配布すると共に、最新情報をイントラネットにて配信
・社員に対する環境研修を随時実施
・環境会議の開催 2回/年
・施工環境部会の開催 隔月開催

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項			
①現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	がれき類	木くず
	排出量	3241.1 t	622.3 t
	(これまでに実施した取組) ・計画搬入の徹底（端材の少ない割付、使う分のみ搬入、残コンの確実な読み等）及び、手待ち・非効率作業の排除を通して、無駄な副産物・仮設・機械・労務の削減		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	がれき類	木くず
	排出量	9400 t	550 t
	(今後実施する予定の取組) 以下の取組を継続して実施する。 ・計画搬入の徹底（端材の少ない割付、使う分のみ搬入、残コンの確実な読み等）及び、手待ち・非効率作業の排除を通して、無駄な副産物・仮設・機械・労務の削減		

産業廃棄物の分別に関する事項	
①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ■ゼロエミッション活動の継続実施 ・工種や施工段階に応じた分別を行い、再資源化を推進 ・廃プラの分別により、マテリアル・ケミカルリサイクルを促進
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 以下の取組を継続して実施する。 ■ゼロエミッション活動の継続実施 ・工種や施工段階に応じた分別を行い、再資源化を推進 ・廃プラの分別により、マテリアル・ケミカルリサイクルを促進

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
①現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	がれき類	木くず
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	がれき類	木くず
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
①現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	がれき類	木くず
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
(これまでに実施した取組)			
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	がれき類	木くず
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	t
(今後実施する予定の取組)			

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
①現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	がれき類	木くず
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	がれき類	木くず
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
①現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	がれき類	木くず
	全処理委託量	3241.1 t	622.3 t
	優良認定処理業者への処理委託量	1238.9 t	510.4 t
	再生利用業者への処理委託量	3241.1 t	622.3 t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
	・処理委託施設の定期的な施設確認の実施、二次処理先、再生委託先の把握、及び最終処分先の確認 ・特定建設資材のリサイクル率100%施設の確保 ・メーカーリサイクルの積極利用を軸としたゼロエミッション活動のさらなる推進 ・電子マニフェストによる運用を徹底し処理状況を管理		

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	がれき類	木くず
	全処理委託量	9400 t	550 t
	優良認定処理業者への 処理委託量	3000 t	450 t
	再生利用業者への 処理委託量	9400 t	550 t
	認定熱回収業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t	t
	(今後実施する予定の取組) 以下の取組を継続して実施する。 ・処理委託施設の定期的な施設確認の実施、二次処理先、再生委託先の把握、及び最終処分先の確認 ・特定建設資材のリサイクル率100%施設の確保 ・メーカーリサイクルの積極利用を軸としたゼロエミッション活動のさらなる推進 ・電子マニフェストによる運用を徹底し処理状況を管理		
※事務処理欄			

(第6面)

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1) ①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2) ②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3) ④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項										
	①現状	【前年度（令和6年度）実績】								
		産業廃棄物の種類	汚泥	混合廃棄物	石綿含有産業廃棄物	ガラス・陶磁器くず	廃プラスチック類	金属くず	紙くず	廃油
		排出量	3793.4 t	623.3 t	220.3 t	669.4 t	167.1 t	16.5 t	21.3 t	5.9 t
	②計画	【目標】								
		産業廃棄物の種類	汚泥	混合廃棄物	石綿含有産業廃棄物	ガラス・陶磁器くず	廃プラスチック類	金属くず	紙くず	廃油
排出量		4913 t	720 t	120 t	782 t	310 t	25 t	24 t	16 t	
自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項										
	①現状	【前年度（令和6年度）実績】								
		産業廃棄物の種類	汚泥	混合廃棄物	石綿含有産業廃棄物	ガラス・陶磁器くず	廃プラスチック類	金属くず	紙くず	廃油
		自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
	②計画	【目標】								
		産業廃棄物の種類	汚泥	混合廃棄物	石綿含有産業廃棄物	ガラス・陶磁器くず	廃プラスチック類	金属くず	紙くず	廃油
		自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項										
	①現状	【前年度（令和6年度）実績】								
		産業廃棄物の種類	汚泥	混合廃棄物	石綿含有産業廃棄物	ガラス・陶磁器くず	廃プラスチック類	金属くず	紙くず	廃油
		自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
		自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
	②計画	【目標】								
		産業廃棄物の種類	汚泥	混合廃棄物	石綿含有産業廃棄物	ガラス・陶磁器くず	廃プラスチック類	金属くず	紙くず	廃油
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量		t	t	t	t	t	t	t	t	
		自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	

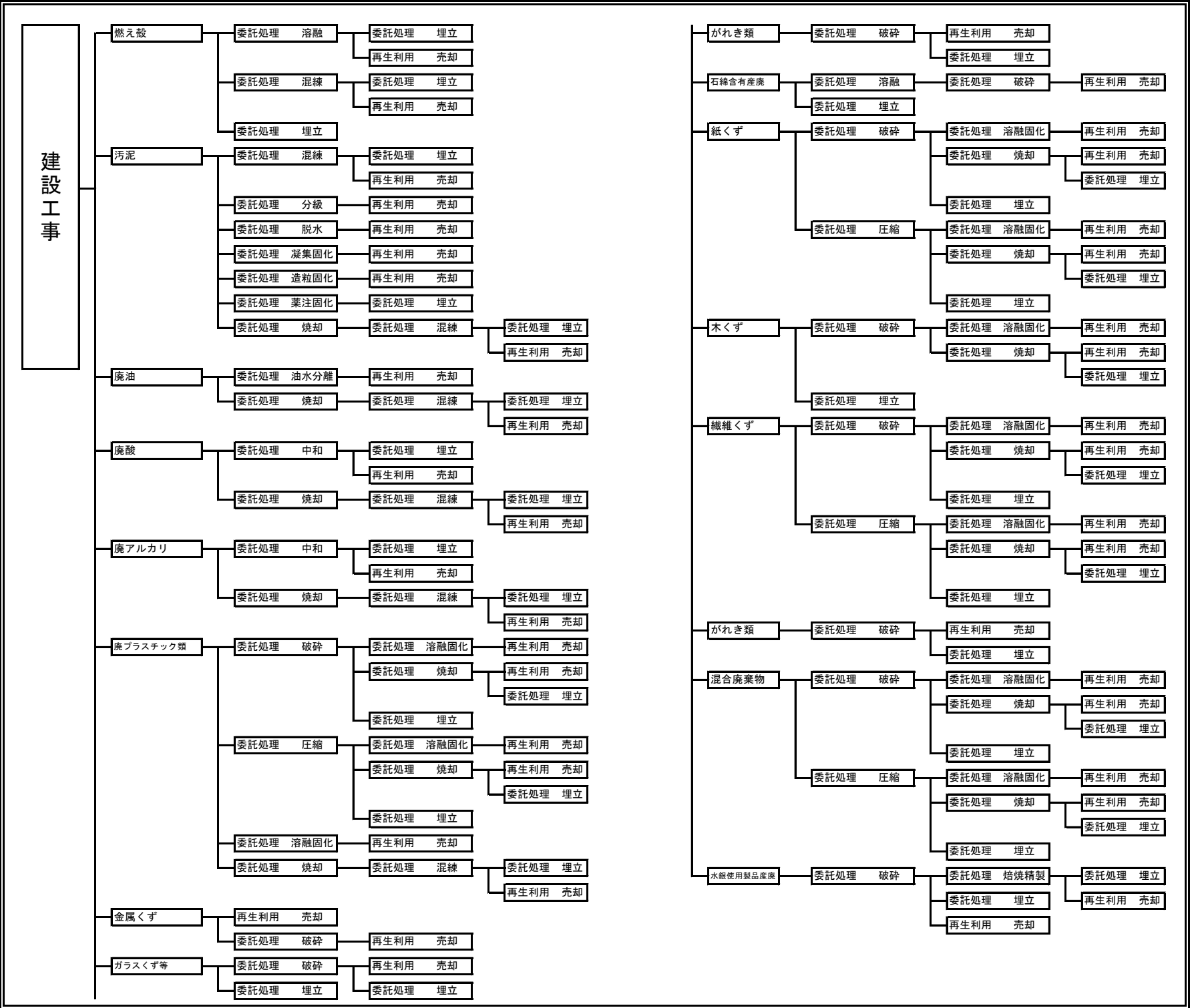
自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項									
①現状	【前年度（令和6年度）実績】								
	産業廃棄物の種類	汚泥	混合廃棄物	石綿含有産業廃棄物	ガラス・陶磁器くず	廃プラスチック類	金属くず	紙くず	廃油
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
②計画	【目標】								
	産業廃棄物の種類	汚泥	混合廃棄物	石綿含有産業廃棄物	ガラス・陶磁器くず	廃プラスチック類	金属くず	紙くず	廃油
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
産業廃棄物の処理の委託に関する事項									
①現状	【前年度（令和6年度）実績】								
	産業廃棄物の種類	汚泥	混合廃棄物	石綿含有産業廃棄物	ガラス・陶磁器くず	廃プラスチック類	金属くず	紙くず	廃油
	全処理委託量	3793.4 t	623.3 t	220.3 t	669.4 t	167.1 t	16.5 t	21.3 t	5.9 t
	優良認定処理業者への処理委託量	2998.9 t	600.1 t	220.3 t	480.4 t	148.4 t	16.3 t	21.3 t	5.9 t
	再生利用業者への処理委託量	3765.6 t	600.1 t	t	464.1 t	148.4 t	16.5 t	21.3 t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t
②計画	【目標】								
	産業廃棄物の種類	汚泥	混合廃棄物	石綿含有産業廃棄物	ガラス・陶磁器くず	廃プラスチック類	金属くず	紙くず	廃油
	全処理委託量	4913 t	720 t	120 t	782 t	310 t	25 t	24 t	16 t
	優良認定処理業者への処理委託量	4000 t	700 t	120 t	600 t	300 t	25 t	24 t	16 t
	再生利用業者への処理委託量	4900 t	700 t	t	600 t	300 t	25 t	24 t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項										
	①現状	【前年度（令和６年度）実績】								
		産業廃棄物の種類	廃アルカリ							
		排　出　量	1.3　t	t	t	t	t	t	t	t
	②計画	【目標】								
		産業廃棄物の種類	廃アルカリ							
排　出　量		3　t	t	t	t	t	t	t	t	
自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項										
	①現状	【前年度（令和６年度）実績】								
		産業廃棄物の種類	廃アルカリ							
		自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
		【目標】								
	②計画	産業廃棄物の種類	廃アルカリ							
		自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項										
	①現状	【前年度（令和６年度）実績】								
		産業廃棄物の種類	廃アルカリ							
		自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
		自ら中間処理により減量した 産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
	②計画	【目標】								
		産業廃棄物の種類	廃アルカリ							
		自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
		自ら中間処理により減量する 産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項									
①現状	【前年度（令和6年度）実績】								
	産業廃棄物の種類	廃アルカリ							
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
②計画	【目標】								
	産業廃棄物の種類	廃アルカリ							
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
産業廃棄物の処理の委託に関する事項									
①現状	【前年度（令和6年度）実績】								
	産業廃棄物の種類	廃アルカリ							
	全処理委託量	1.3 t	t	t	t	t	t	t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	1.3 t	t	t	t	t	t	t	t
	再生利用業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t
②計画	【目標】								
	産業廃棄物の種類	廃アルカリ							
	全処理委託量	3 t	t	t	t	t	t	t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	3 t	t	t	t	t	t	t	t
	再生利用業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への	t	t	t	t	t	t	t	t

処理委託量

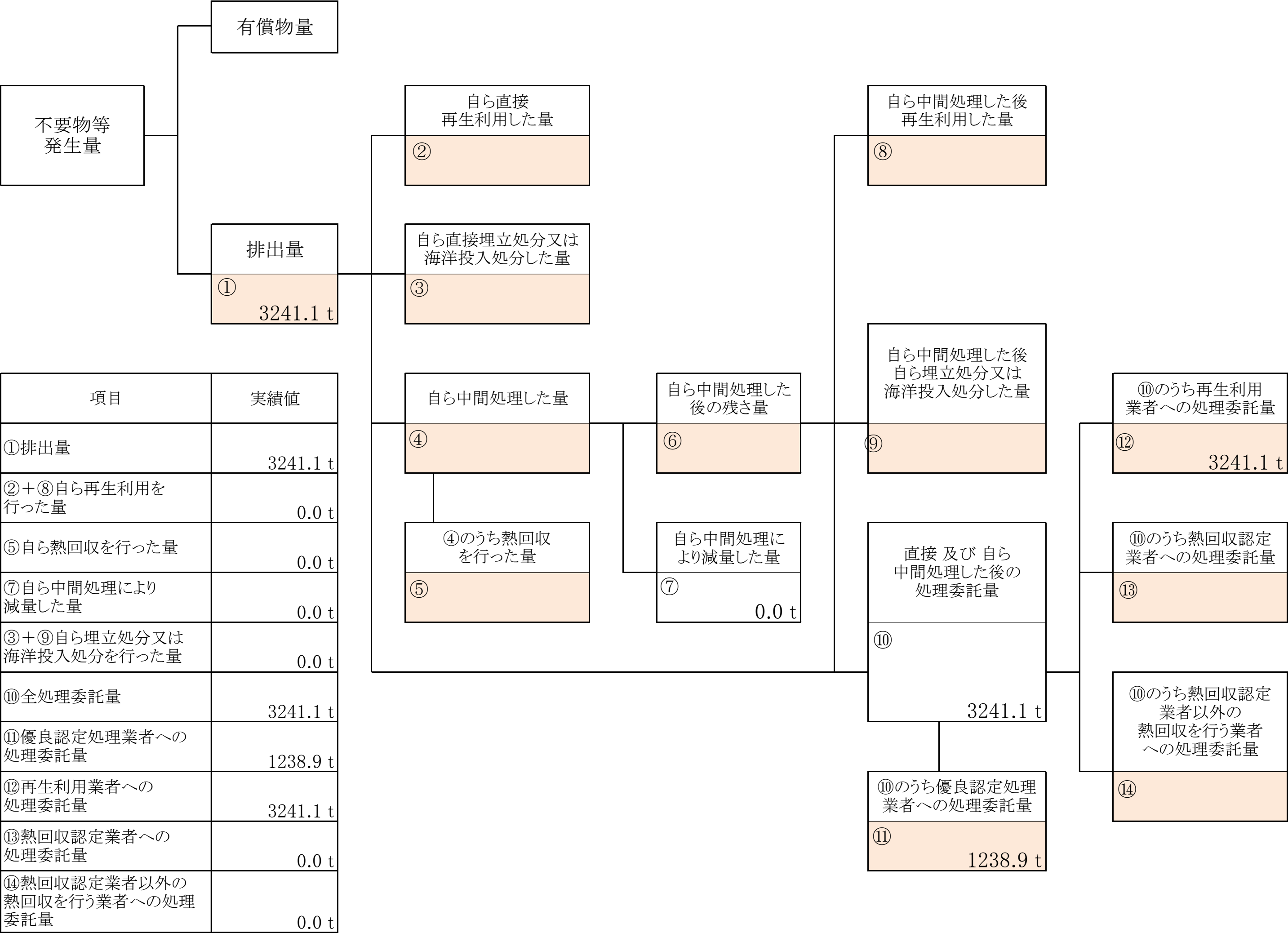
[illegible]



産業廃棄物処理計画実施状況報告書				
令和7年6月20日				
千葉県知事 熊谷 俊人 殿				
提出者 〒261-7105				
住 所 千葉県千葉市美浜区中瀬二丁目6番1号 ワールドビジネスガーデン マリブイースト棟5F				
氏 名 鹿島建設株式会社 東京建築支店 千葉営業所 所長 岡田 友良				
(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)				
電話番号 03-6838-0326				
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、令和6年度の産業廃棄物 処理計画の実施状況を報告します。				
事業場の名称		鹿島建設株式会社 東京建築支店 千葉営業所		
事業場の所在地		千葉県千葉市美浜区中瀬二丁目6番1号 ワールドビジネスガーデン マリブイースト棟5F		
事業の種類		D06－総合工事業		
産業廃棄物処理計画における 計 画 期 間		令和6年4月1日から令和7年3月31日まで		
産業廃棄物処理計画における目標値				
項目		目標値	項目	目標値
排 出 量		17675.5 t	全 処 理 委 託 量	17675.5 t
自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量			優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	10836.0 t
自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量			再生利用業者への 処 理 委 託 量	16076.0 t
自ら中間処理により減量する 産業廃棄物の量			認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	
自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量			認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	
※事務処理欄				

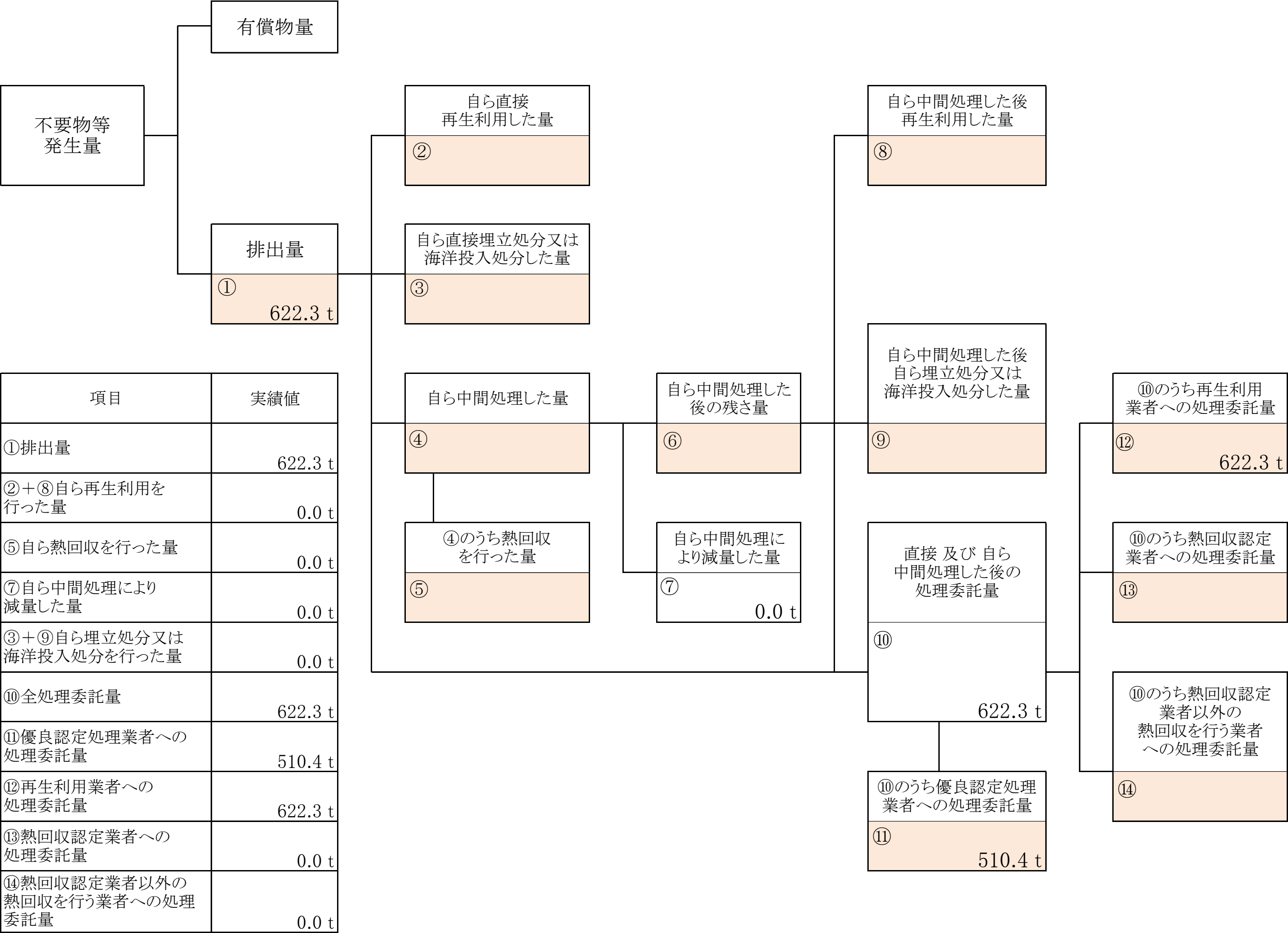
計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: がれき類)



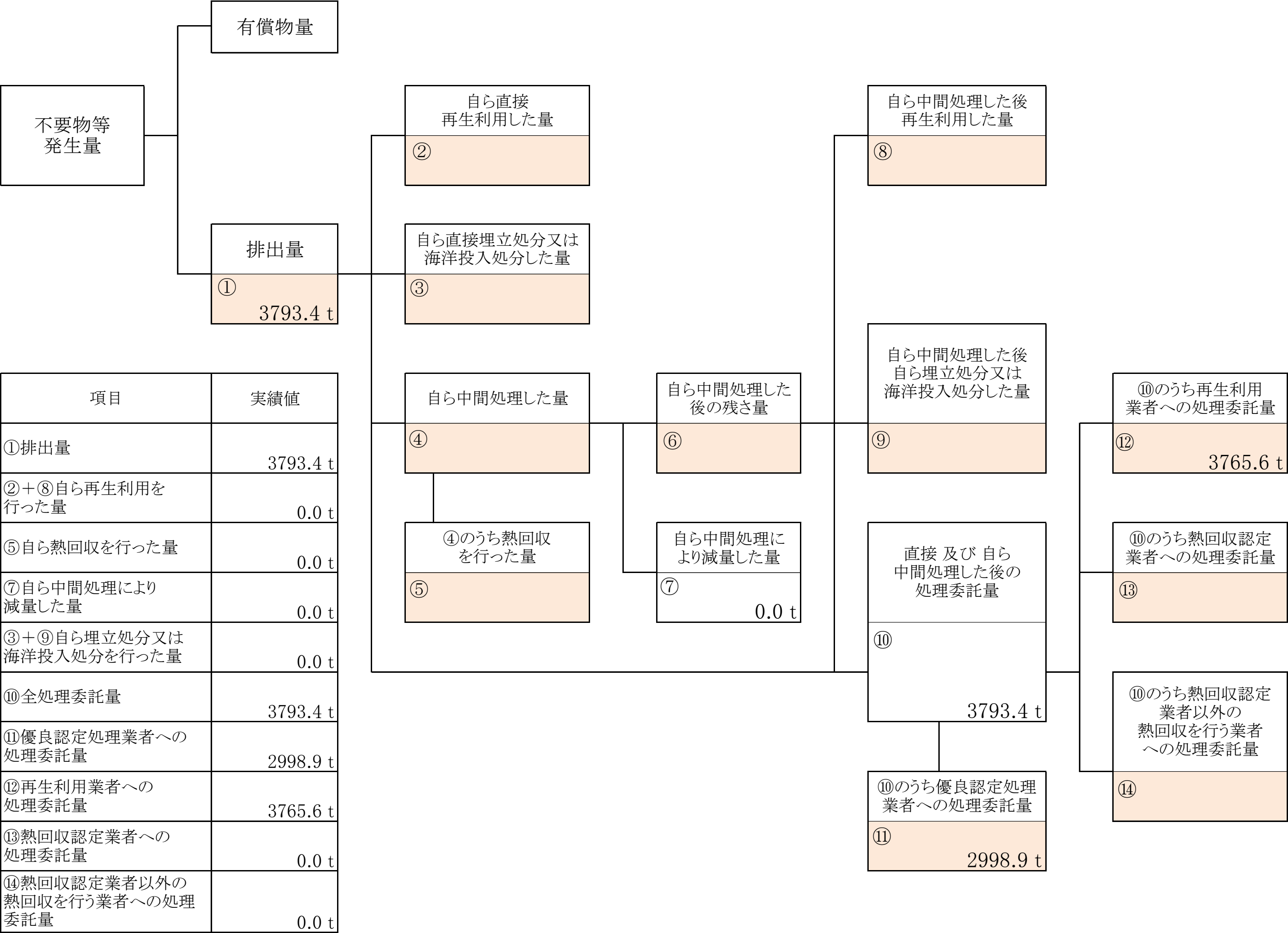
計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: 木くず)



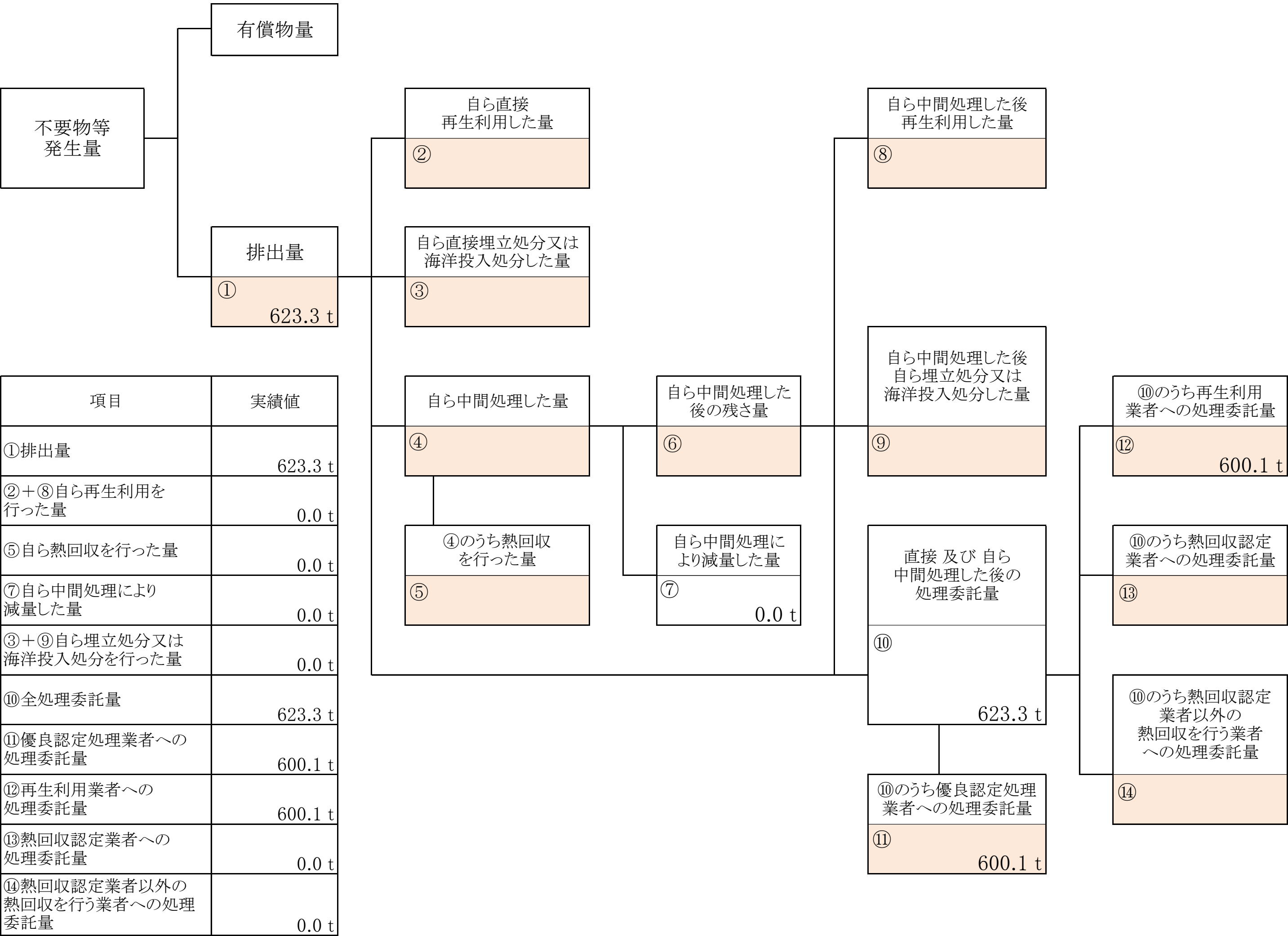
計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: 汚泥)



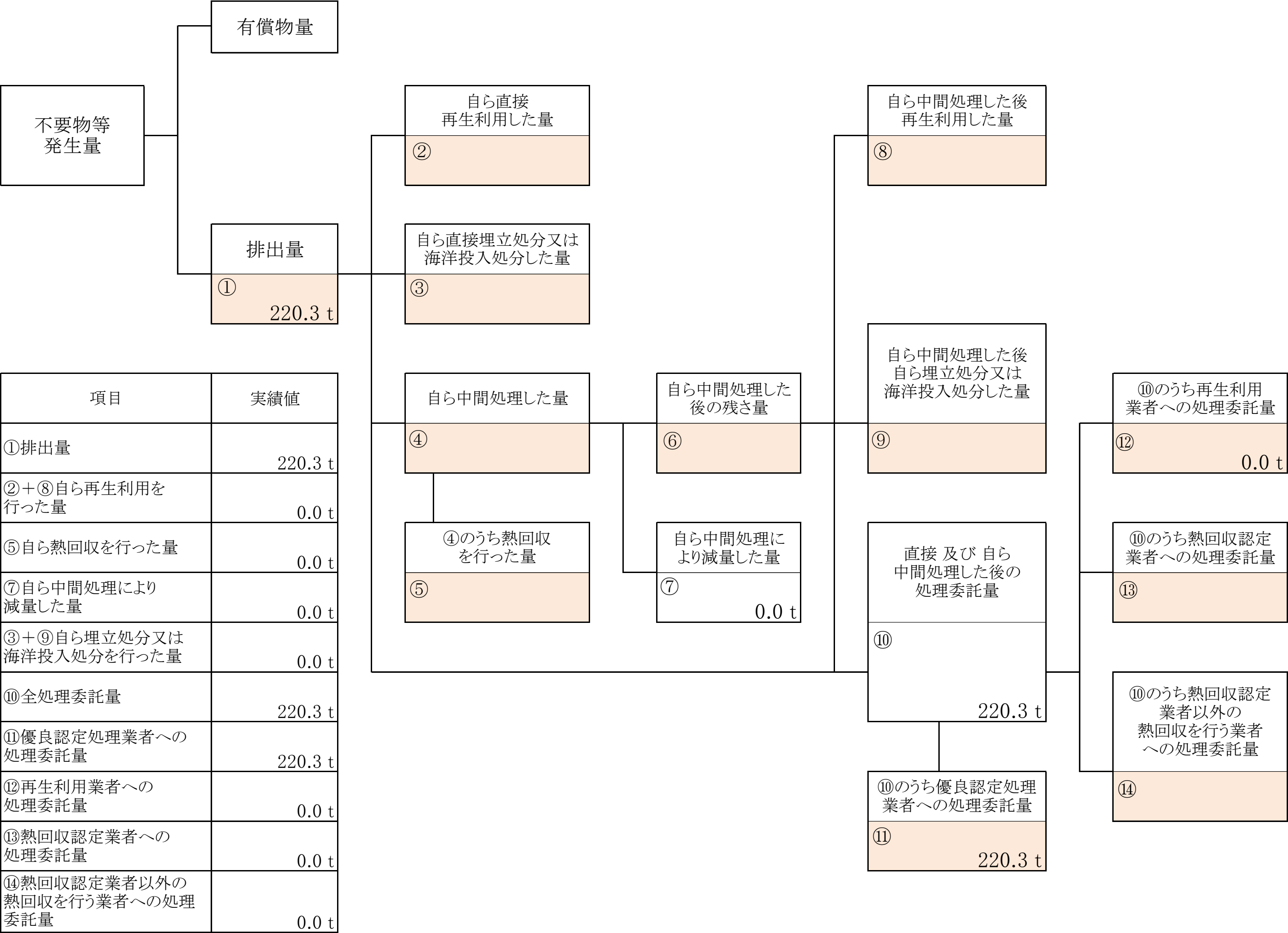
計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: 混合廃棄物)



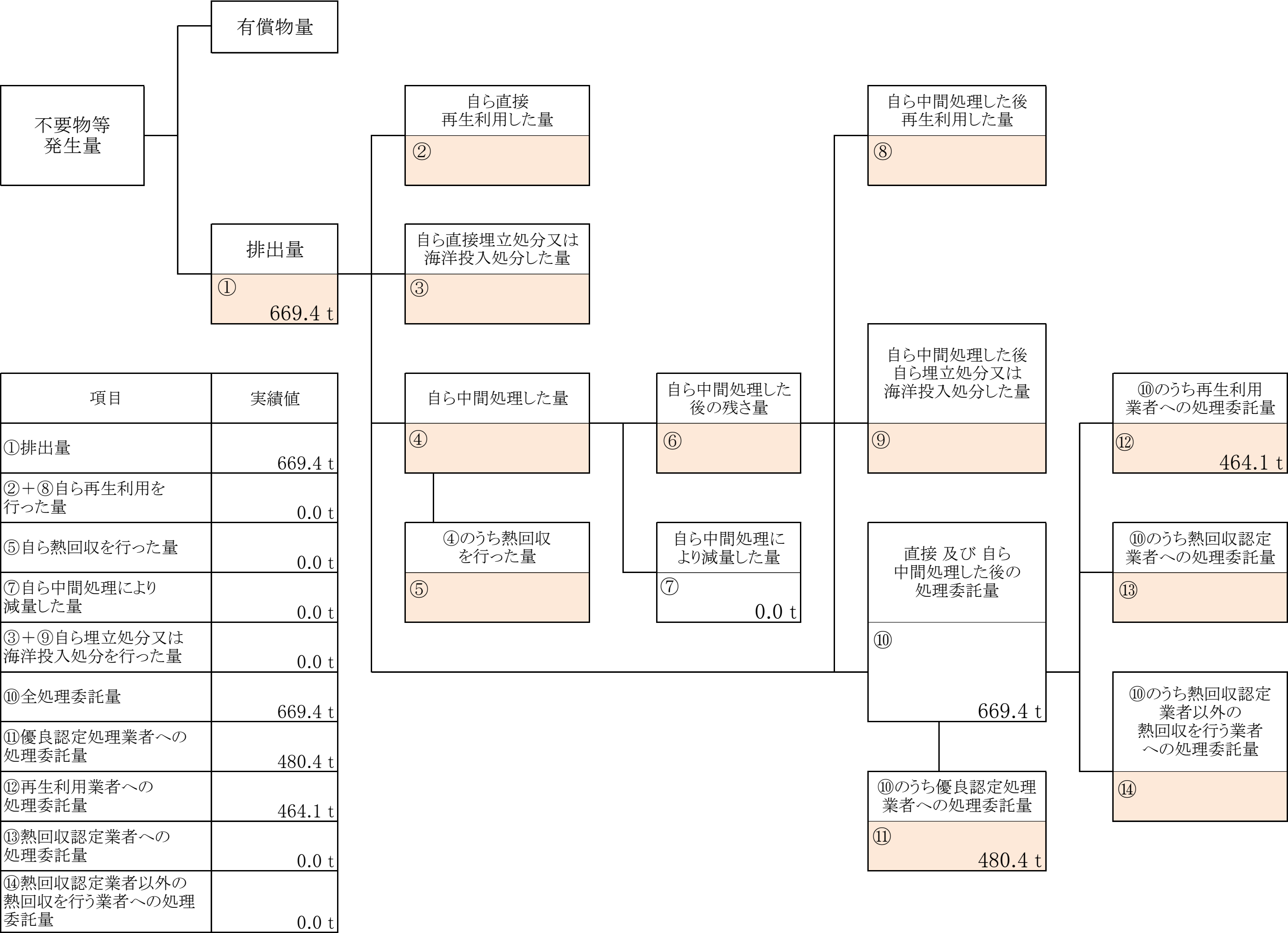
計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: 石綿含有産業廃棄物(非飛散性アスベスト))



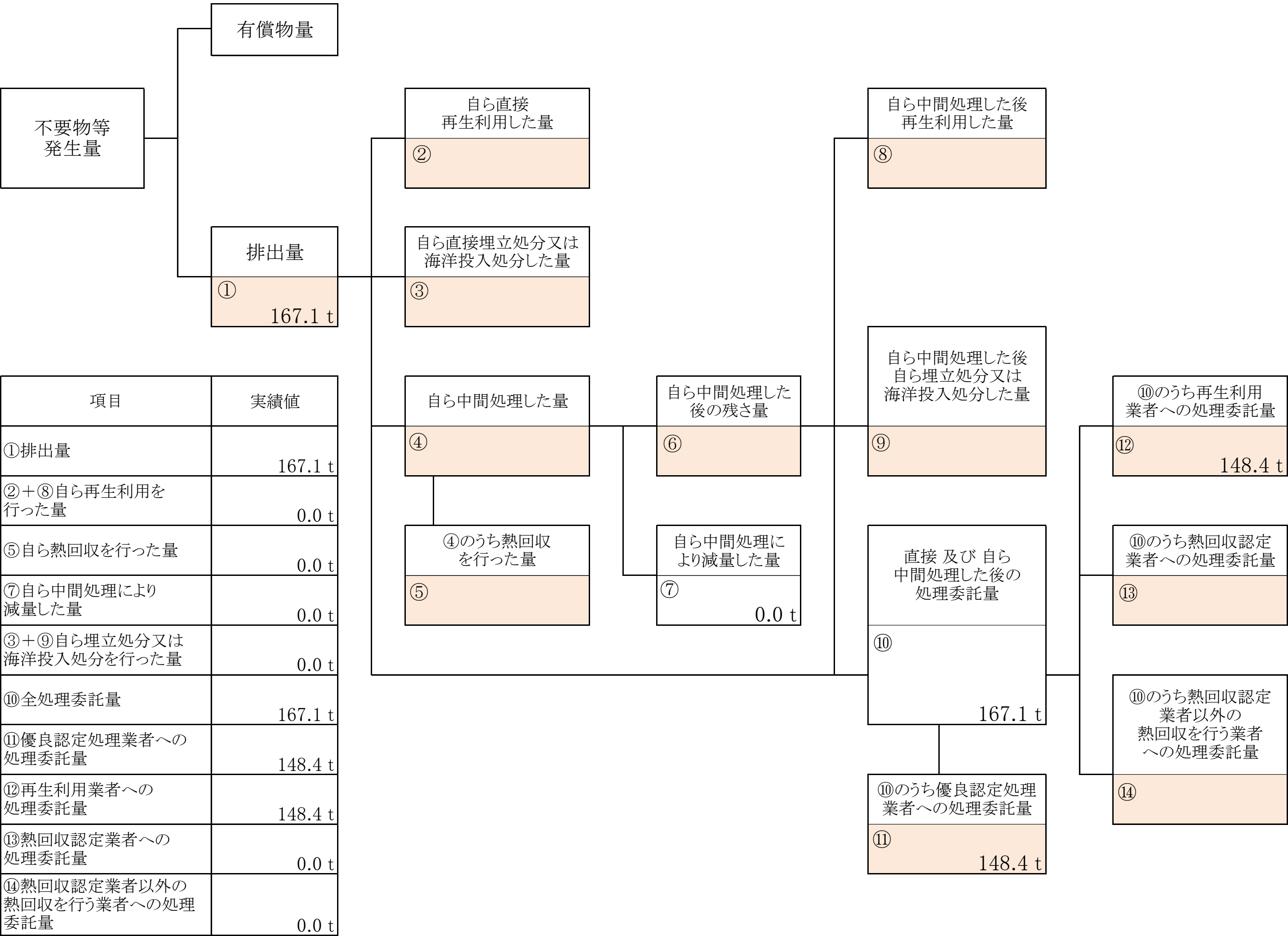
計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: ガラス・陶磁器くず)



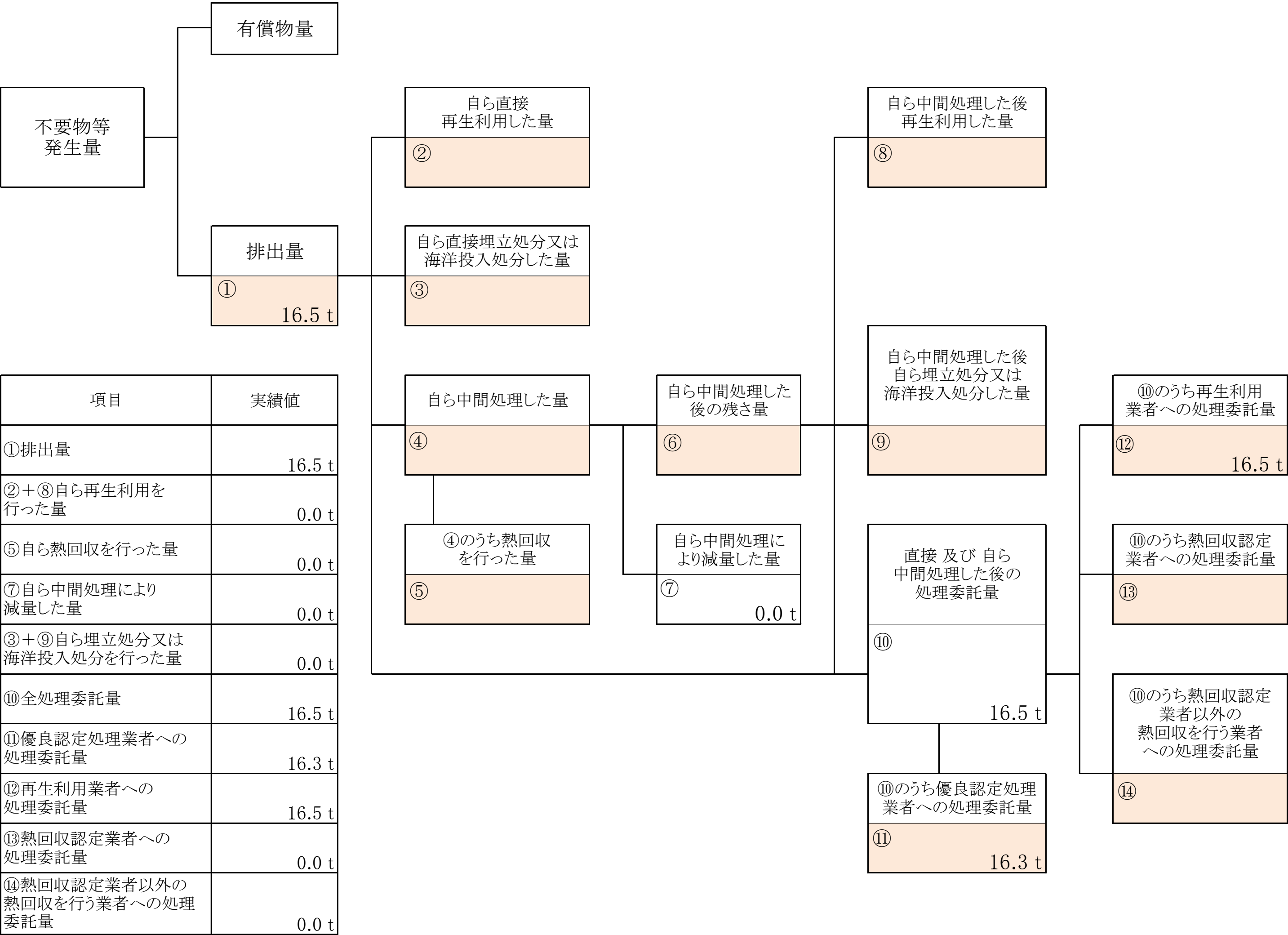
計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: 廃プラスチック類)



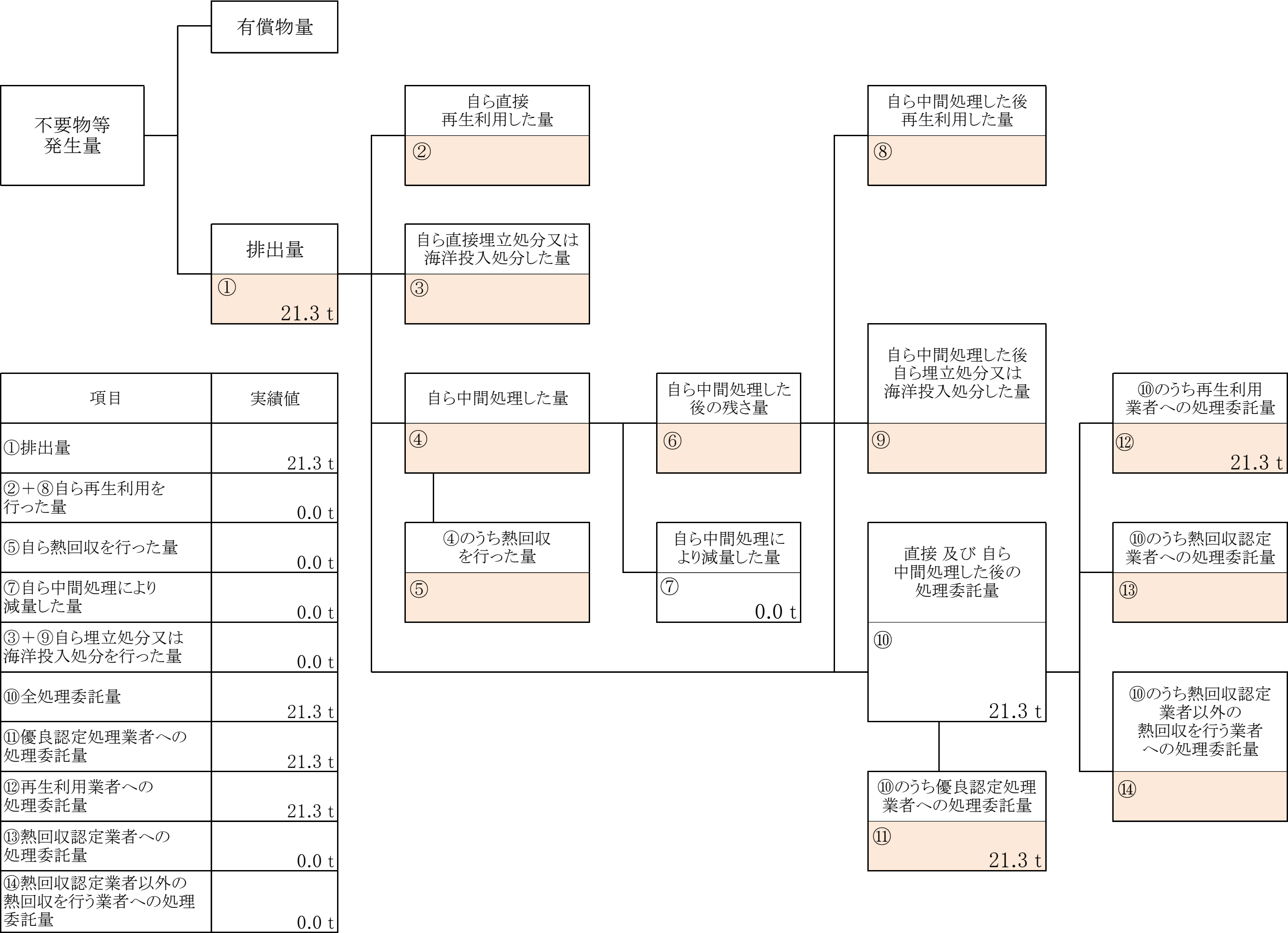
計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: 金属くず)



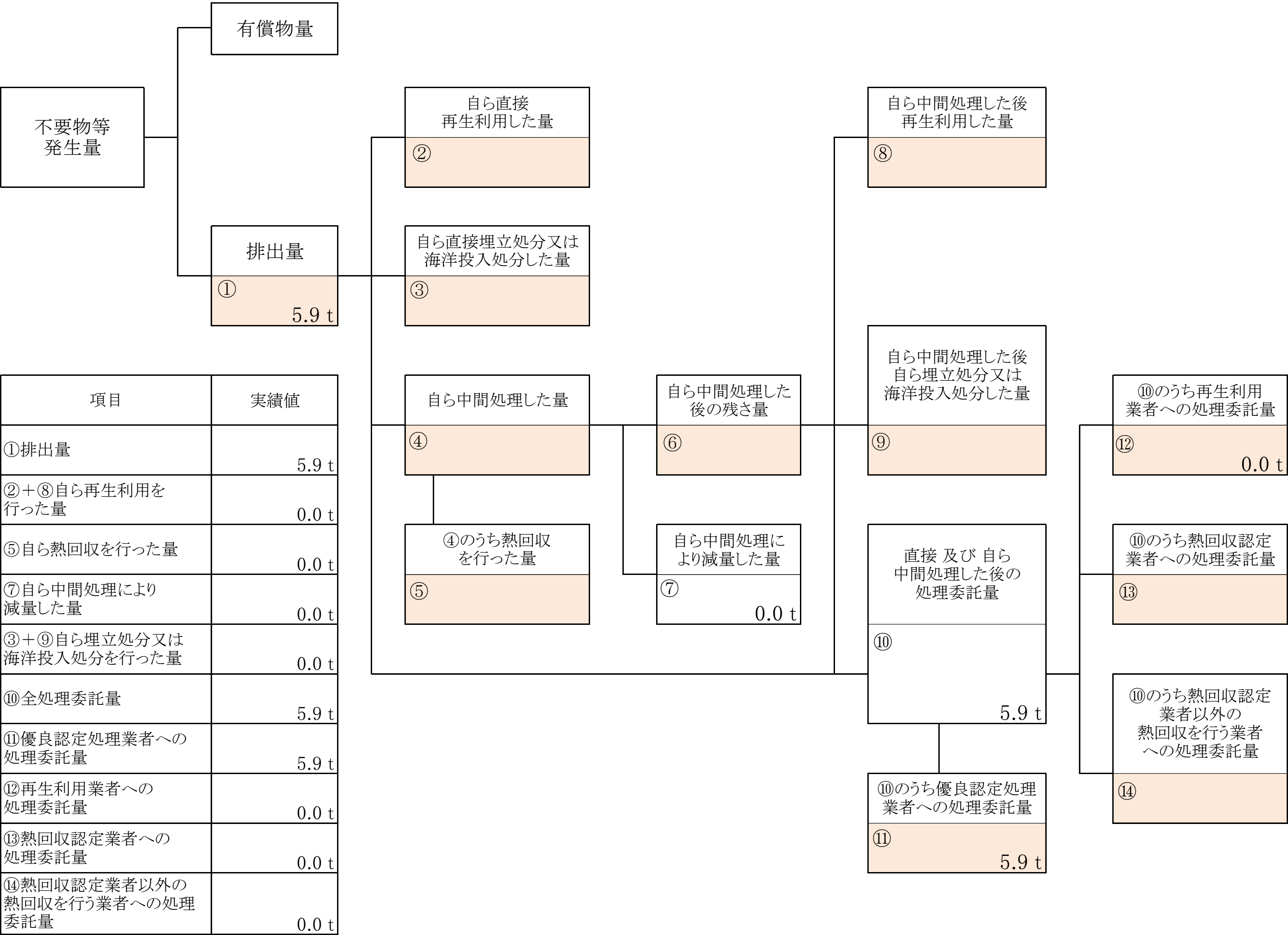
計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: 紙くず)



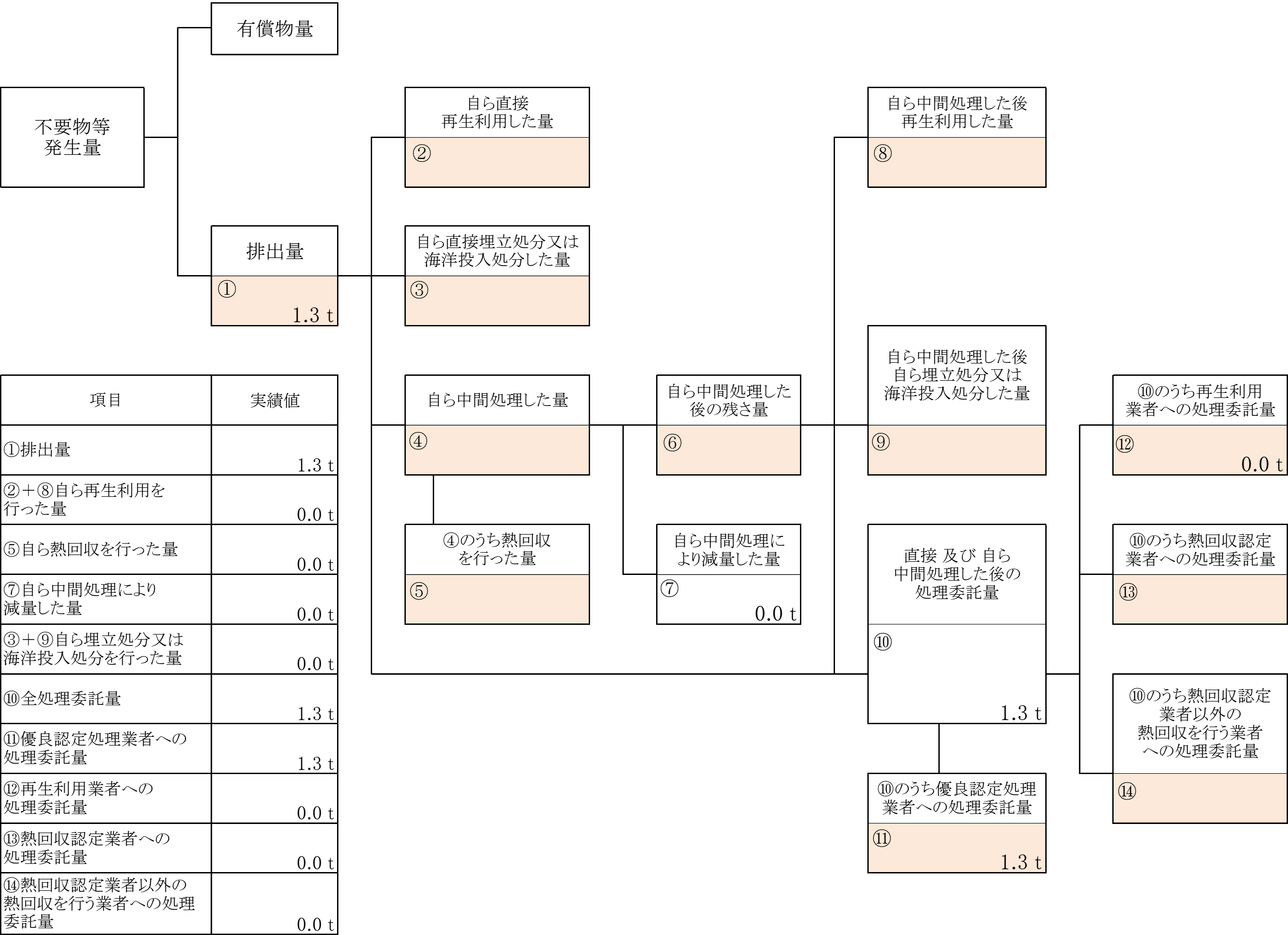
計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: 廃油)



計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: 廃アルカリ)



備考

- 1 翌年度の6月30日までに提出すること。
- 2 「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
- 3 「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。
- 4 第2面には、前年度の産業廃棄物処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。
 - (1) ①欄 当該事業場において生じた産業廃棄物の量
 - (2) ②欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量
 - (3) ③欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
 - (4) ④欄 (1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量
 - (5) ⑤欄 (4)の量のうち、熱回収を行った量
 - (6) ⑥欄 自ら中間処理をした後の量
 - (7) ⑦欄 (4)の量から(6)の量を差し引いた量
 - (8) ⑧欄 (6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量
 - (9) ⑨欄 (6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量
 - (10) ⑩欄 中間処理及び最終処分を委託した量
 - (11) ⑪欄 (10)の量のうち、優良認定処理業者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者)への処理委託量
 - (12) ⑫欄 (10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量
 - (13) ⑬欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者)である処理業者への焼却処理委託量
 - (14) ⑭欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量
- 5 第2面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。
- 6 産業廃棄物の種類が2以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第1面）

産業廃棄物処理計画書	
令和7年6月20日	
千葉県知事	
熊谷 俊人 殿	
提出者 〒261-7105	
住 所 千葉県千葉市美浜区中瀬二丁目6番1号 ワールドビジネスガーデン マリブイースト棟5F	
氏 名 鹿島建設株式会社 東京土木支店 千葉営業所 所長 岡田 友良 (法人にあつては、名称及び代表者の氏名)	
電話番号 03-6838-0326	
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。	
事業場の名称	鹿島建設株式会社 東京土木支店 千葉営業所
事業場の所在地	千葉県千葉市美浜区中瀬二丁目6番1号 ワールドビジネスガーデン マリブイースト棟5F
計画期間	令和7年4月1日から令和8年3月31日まで
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
① 事業の種類	D06ー総合工事業
② 事業の規模	元請完成工事高 89.9億円
③ 従業員数	97名
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	別紙1「産業廃棄物の一連の処理工程」参照

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項	
(管理体制図)	支店長 土木部 (産業廃棄物管理責任者) 土木総括環境管理者 安全環境部 (産業廃棄物管理責任者) 環境管理グループ長 工事事務所 (統括環境管理者) 工事事務所長 教育訓練の実施状況 ・「環境管理の手引」を全社員に配布すると共に、最新情報をイントラにて配信 ・社員に対する環境研修を随時実施 ・安全衛生環境会議の開催 2回/年 ・環境推進員会議の開催 隔月開催 ・施工環境部会の開催 隔月開催

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項			
①現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	がれき類	木くず
	排出量	5169.1 t	28.9 t
	(これまでに実施した取組) ・混合廃棄物減量化を推進（パトロール時に確認と指導） ・発生抑制の好事例の収集と水平展開		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	がれき類	木くず
	排出量	6360 t	70 t
	(今後実施する予定の取組) 以下の取組を継続して実施する。 ・混合廃棄物減量化を推進（パトロール時に確認と指導） ・発生抑制の好事例の収集と水平展開		

産業廃棄物の分別に関する事項	
①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・協力会社と一体となった廃棄物の分別を徹底 ・最終処分率 3%未満（リサイクル率 97%以上）
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 以下の取組を継続して実施する。 ・協力会社と一体となった廃棄物の分別を徹底 ・最終処分率 3%未満（リサイクル率 97%以上）

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
①現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	がれき類	木くず
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	がれき類	木くず
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
①現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	がれき類	木くず
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
(これまでに実施した取組)			
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	がれき類	木くず
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	t
(今後実施する予定の取組)			

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
①現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	がれき類	木くず
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	がれき類	木くず
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
①現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	がれき類	木くず
	全処理委託量	5169.1 t	28.9 t
	優良認定処理業者への処理委託量	628.2 t	25.9 t
	再生利用業者への処理委託量	5169.1 t	28.9 t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
	・処理委託施設の定期的な施設確認の実施、二次処理先、再生委託先の把握、及び最終処分先の確認 ・特定建設資材のリサイクル率100%施設の確保 ・電子マニフェストによる運用を徹底し処理状況を管理		

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	がれき類	木くず
	全処理委託量	6360 t	70 t
	優良認定処理業者への処理委託量	600 t	70 t
	再生利用業者への処理委託量	6360 t	70 t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	(今後実施する予定の取組) 以下の取組を継続して実施する。 ・処理委託施設の定期的な施設確認の実施、二次処理先、再生委託先の把握、及び最終処分先の確認 ・特定建設資材のリサイクル率100%施設の確保 ・電子マニフェストによる運用を徹底し処理状況を管理		
※事務処理欄			

(第 6 面)

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

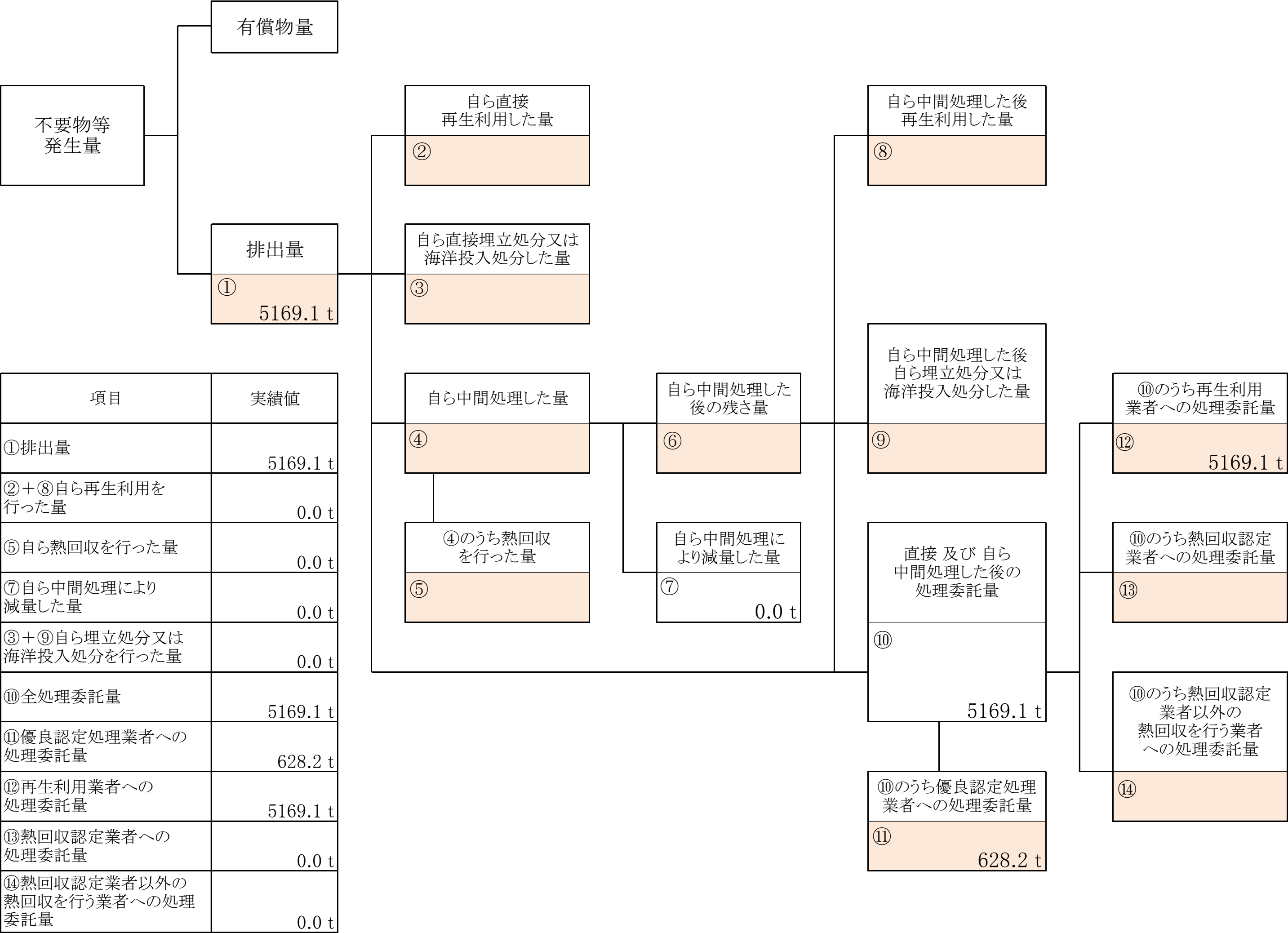
産業廃棄物の排出の抑制に関する事項										
	①現状	【前年度（令和6年度）実績】								
		産業廃棄物の種類	汚泥	混合廃棄物	廃プラスチック類	金属くず	紙くず	廃油	ガラス・陶磁器くず	
		排 出 量	1199.1 t	94.2 t	25.8 t	0.7 t	6.2 t	1.8 t	0.9 t	t
	②計画	【目標】								
		産業廃棄物の種類	汚泥	混合廃棄物	廃プラスチック類	金属くず	紙くず	廃油	ガラス・陶磁器くず	
排 出 量		7150 t	120 t	29 t	3 t	6 t	1 t	22 t	t	
自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項										
	①現状	【前年度（令和6年度）実績】								
		産業廃棄物の種類	汚泥	混合廃棄物	廃プラスチック類	金属くず	紙くず	廃油	ガラス・陶磁器くず	
		自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
	②計画	【目標】								
		産業廃棄物の種類	汚泥	混合廃棄物	廃プラスチック類	金属くず	紙くず	廃油	ガラス・陶磁器くず	
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量		t	t	t	t	t	t	t	t	
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項										
	①現状	【前年度（令和6年度）実績】								
		産業廃棄物の種類	汚泥	混合廃棄物	廃プラスチック類	金属くず	紙くず	廃油	ガラス・陶磁器くず	
		自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
		自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
	②計画	【目標】								
産業廃棄物の種類		汚泥	混合廃棄物	廃プラスチック類	金属くず	紙くず	廃油	ガラス・陶磁器くず		
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量		t	t	t	t	t	t	t	t	
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量		t	t	t	t	t	t	t	t	

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項									
①現状	【前年度（令和6年度）実績】								
	産業廃棄物の種類	汚泥	混合廃棄物	廃プラスチック類	金属くず	紙くず	廃油	ガラス・陶磁器くず	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
②計画	【目標】								
	産業廃棄物の種類	汚泥	混合廃棄物	廃プラスチック類	金属くず	紙くず	廃油	ガラス・陶磁器くず	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
産業廃棄物の処理の委託に関する事項									
①現状	【前年度（令和6年度）実績】								
	産業廃棄物の種類	汚泥	混合廃棄物	廃プラスチック類	金属くず	紙くず	廃油	ガラス・陶磁器くず	
	全処理委託量	1199.1 t	94.2 t	25.8 t	0.7 t	6.2 t	1.8 t	0.9 t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	617.8 t	94.2 t	25.8 t	0.7 t	6.2 t	0.3 t	0.9 t	t
	再生利用業者への処理委託量	1190.5 t	94.2 t	25.8 t	0.7 t	6.2 t	t	0.6 t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t	t	t	t	1.5 t	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t
②計画	【目標】								
	産業廃棄物の種類	汚泥	混合廃棄物	廃プラスチック類	金属くず	紙くず	廃油	ガラス・陶磁器くず	
	全処理委託量	7150 t	120 t	29 t	3 t	6 t	1 t	22 t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	3500 t	120 t	29 t	3 t	6 t	0.2 t	22 t	t
	再生利用業者への処理委託量	7000 t	120 t	29 t	3 t	6 t	t	20 t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t

産業廃棄物処理計画実施状況報告書				
令和7年6月20日				
千葉県知事 熊谷 俊人 殿				
提出者 〒261-7105				
住 所 千葉県千葉市美浜区中瀬二丁目6番1号 ワールドビジネスガーデン マリブイースト棟5F				
氏 名 鹿島建設株式会社 東京土木支店 千葉営業所 所長 岡田 友良 (法人にあつては、名称及び代表者の氏名)				
電話番号				
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、令和6年度の産業廃棄物 処理計画の実施状況を報告します。				
事業場の名称		鹿島建設株式会社 東京土木支店 千葉営業所		
事業場の所在地		千葉県千葉市美浜区中瀬二丁目6番1号 ワールドビジネスガーデン マリブイースト棟5F		
事業の種類		D06ー総合工事業		
産業廃棄物処理計画における 計画期間		令和6年4月1日から令和7年3月31日まで		
産業廃棄物処理計画における目標値				
項目		目標値	項目	目標値
排出量		17129.0 t	全処理委託量	17129.0 t
自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量			優良認定処理業者への 処理委託量	4311.0 t
自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量			再生利用業者への 処理委託量	17129.0 t
自ら中間処理により減量する 産業廃棄物の量			認定熱回収業者への 処理委託量	
自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量			認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	
※事務処理欄				

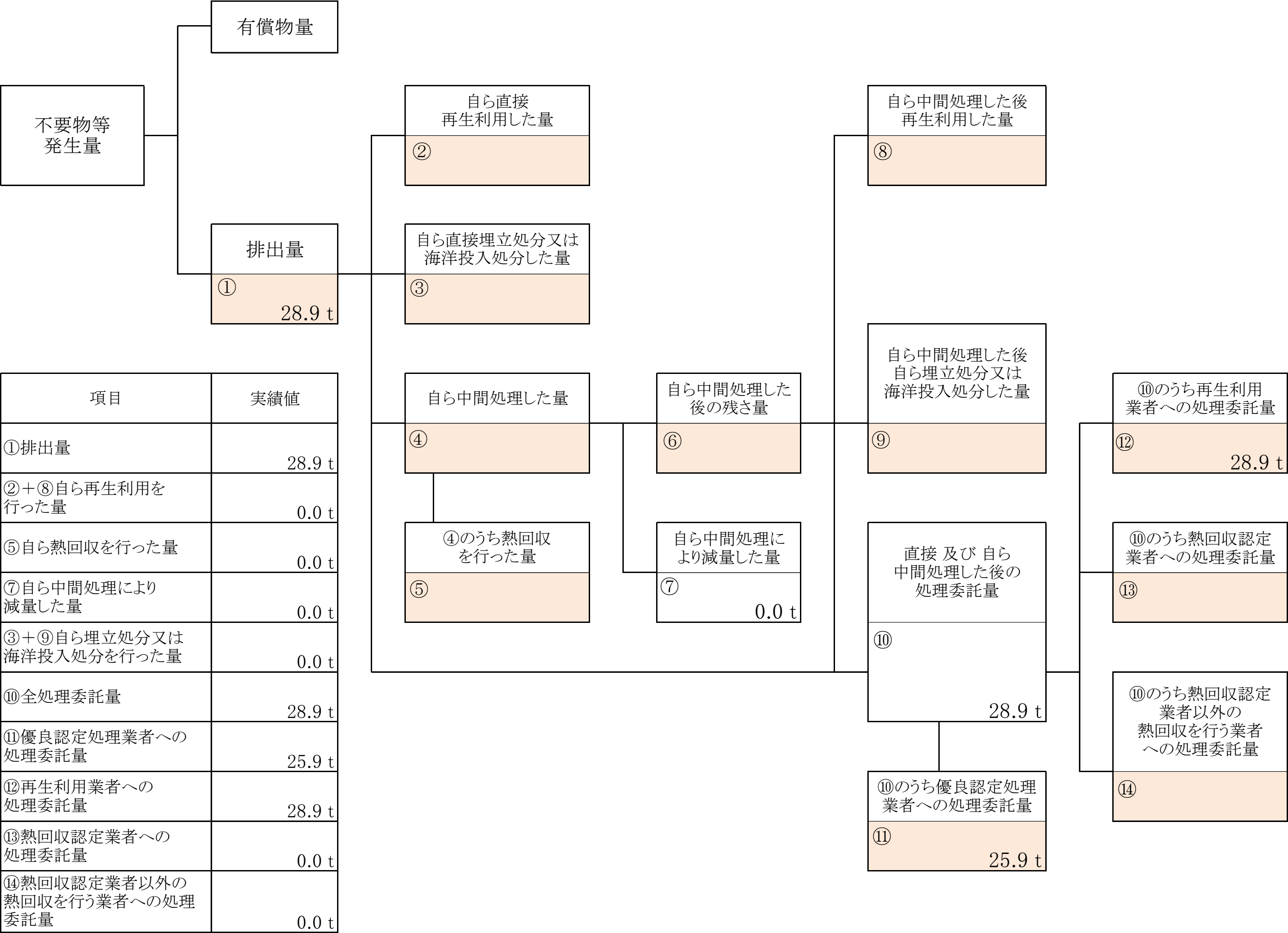
計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: がれき類)



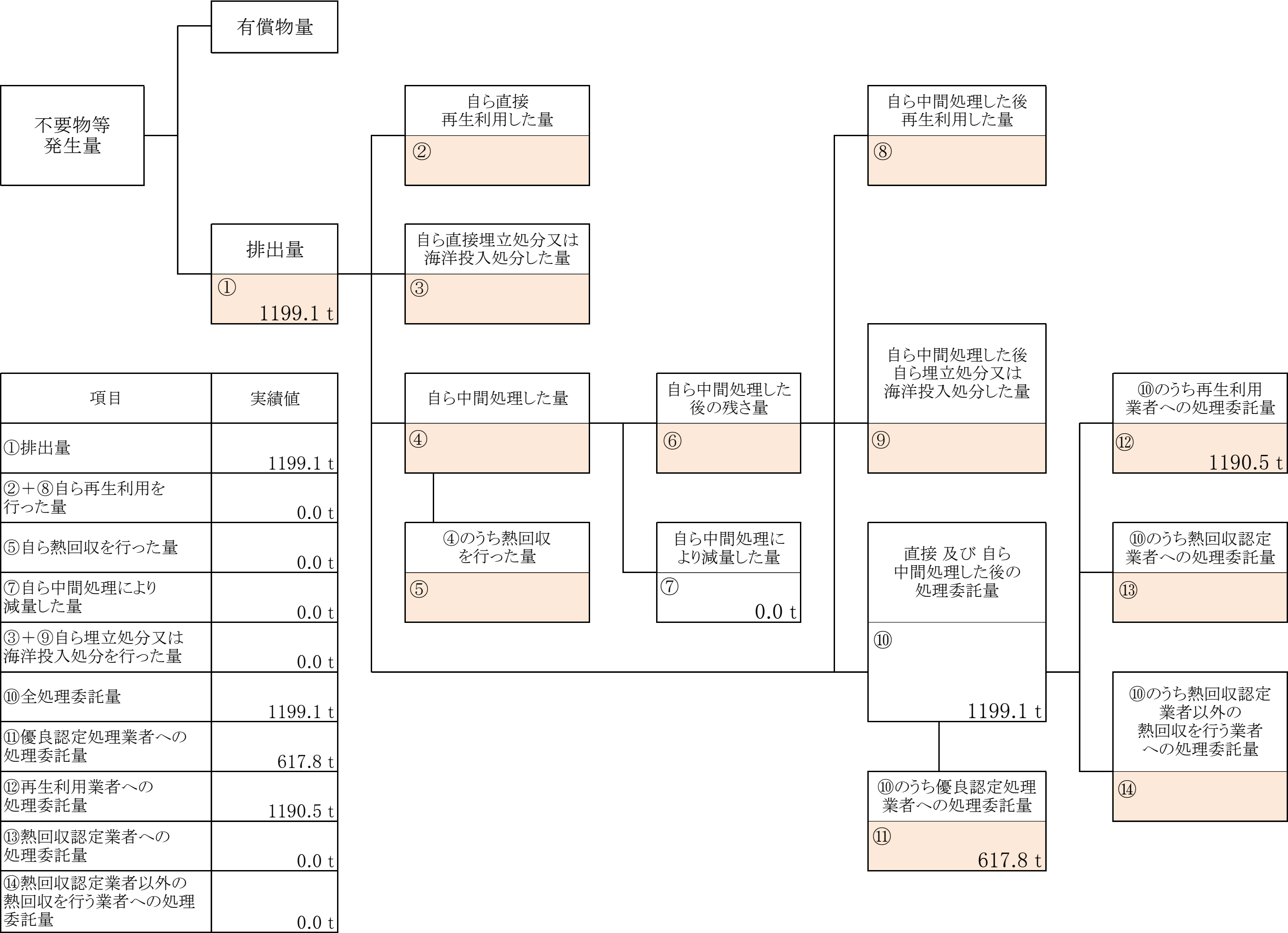
計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: 木くず)



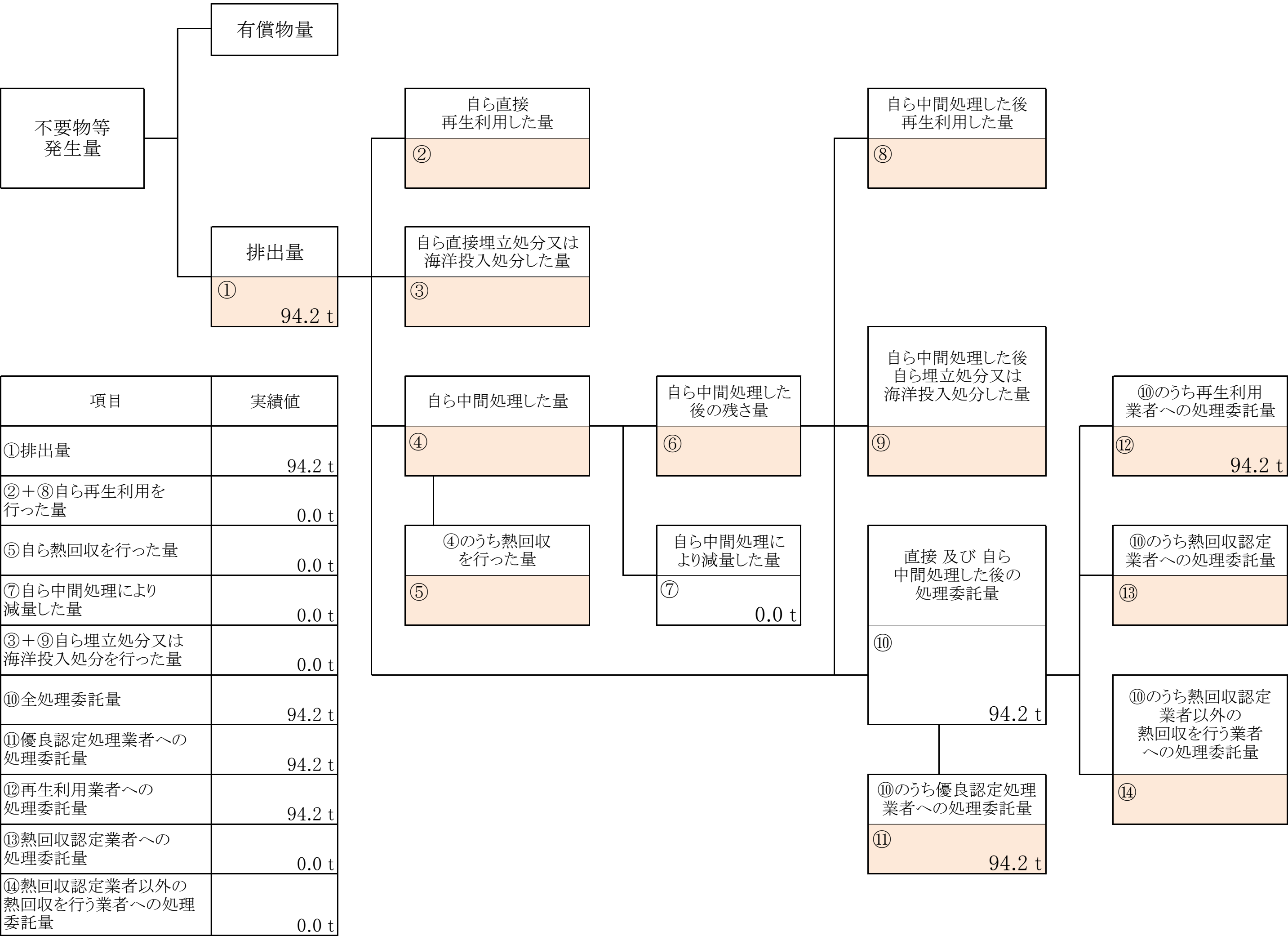
計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: 汚泥)



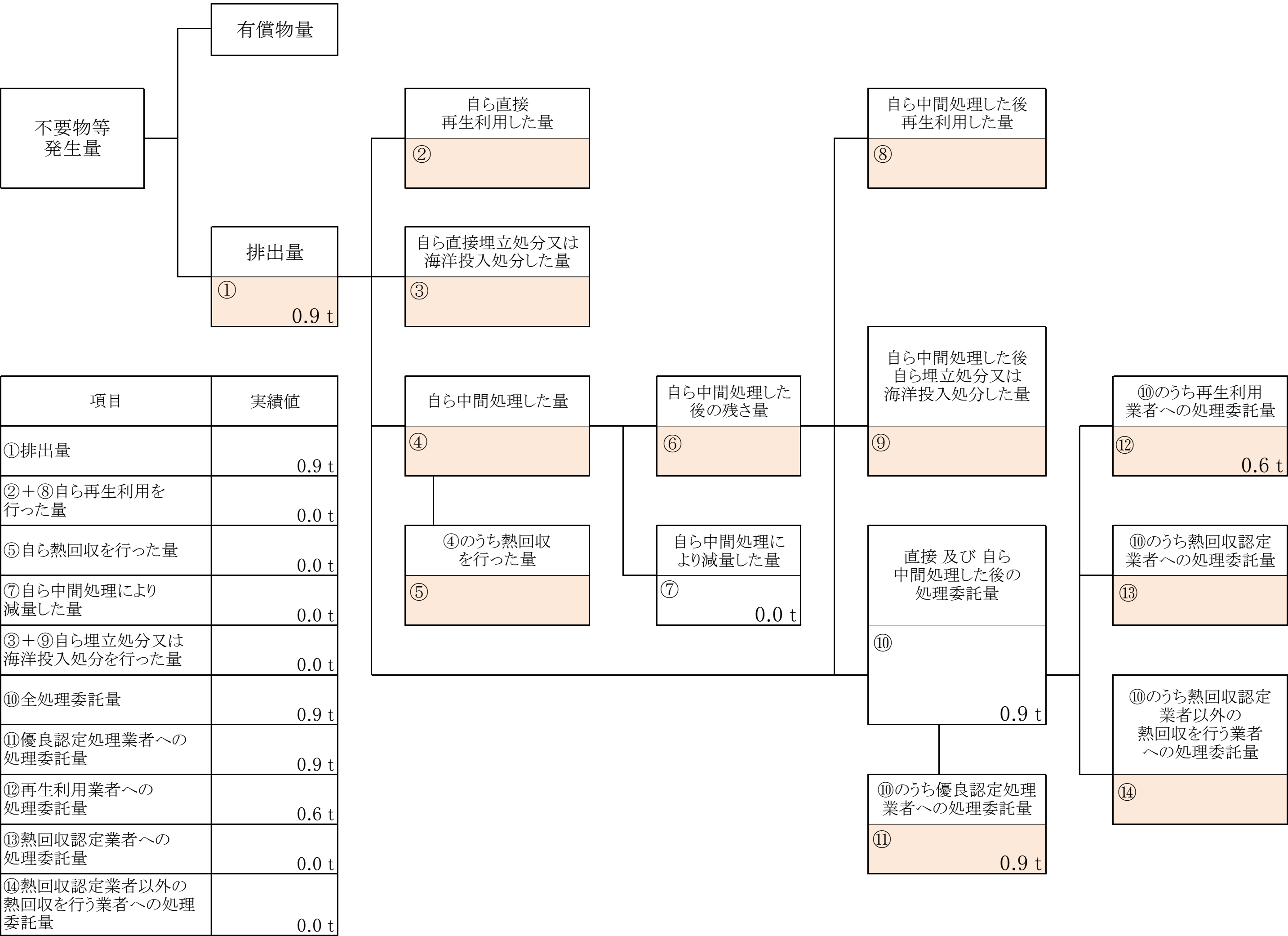
計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: 混合廃棄物)



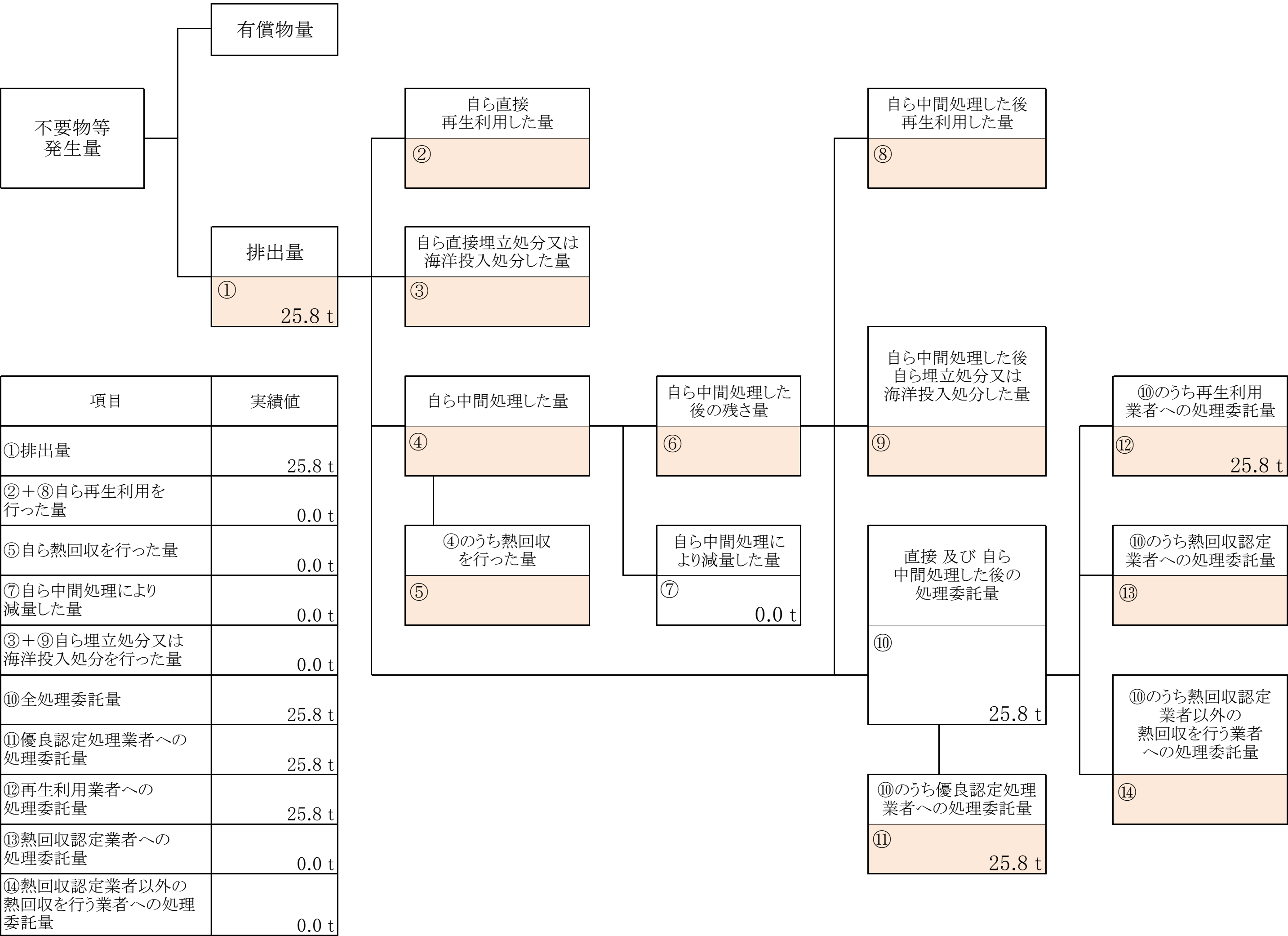
計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: ガラス・陶磁器くず)



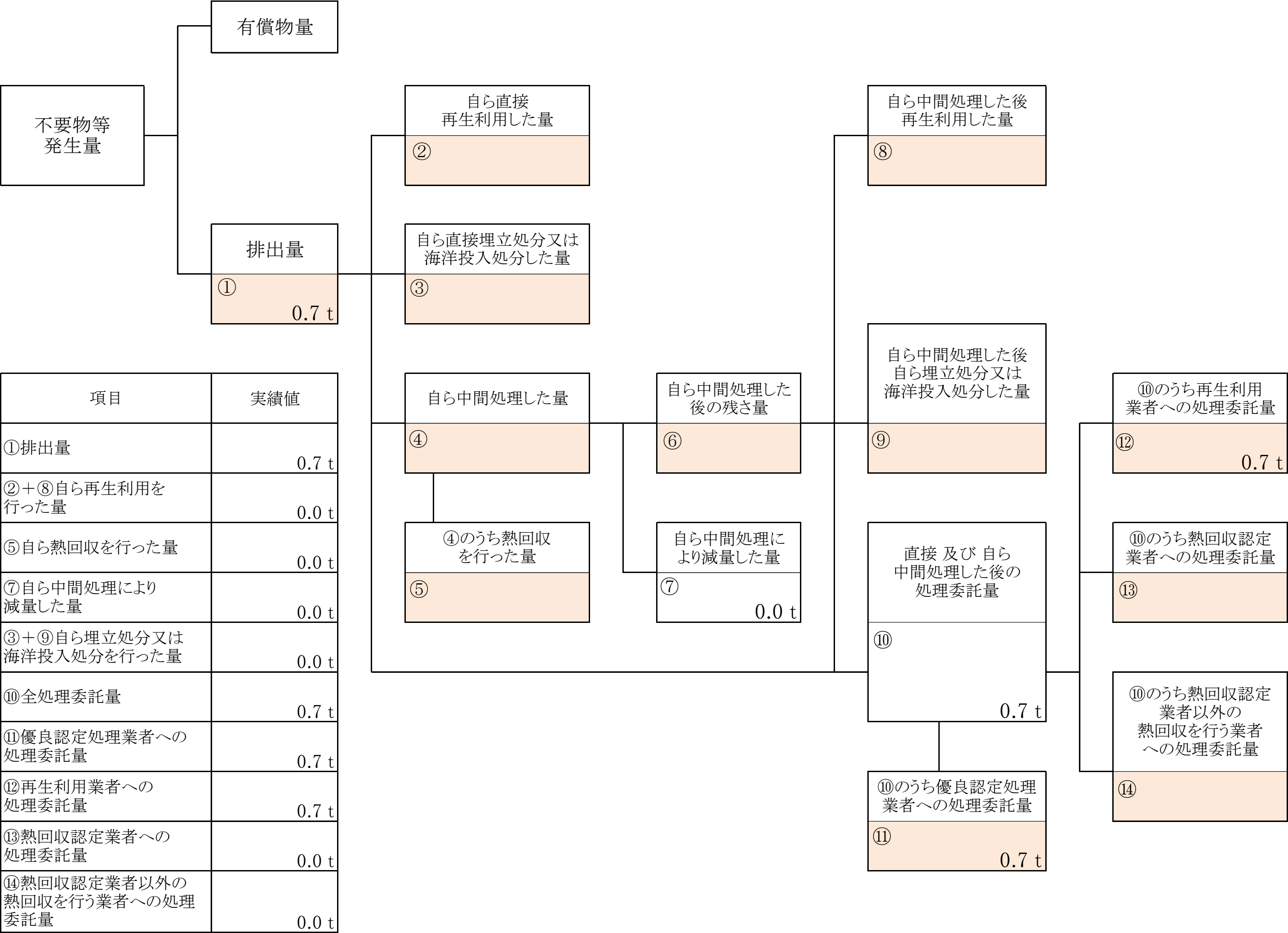
計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: 廃プラスチック類)



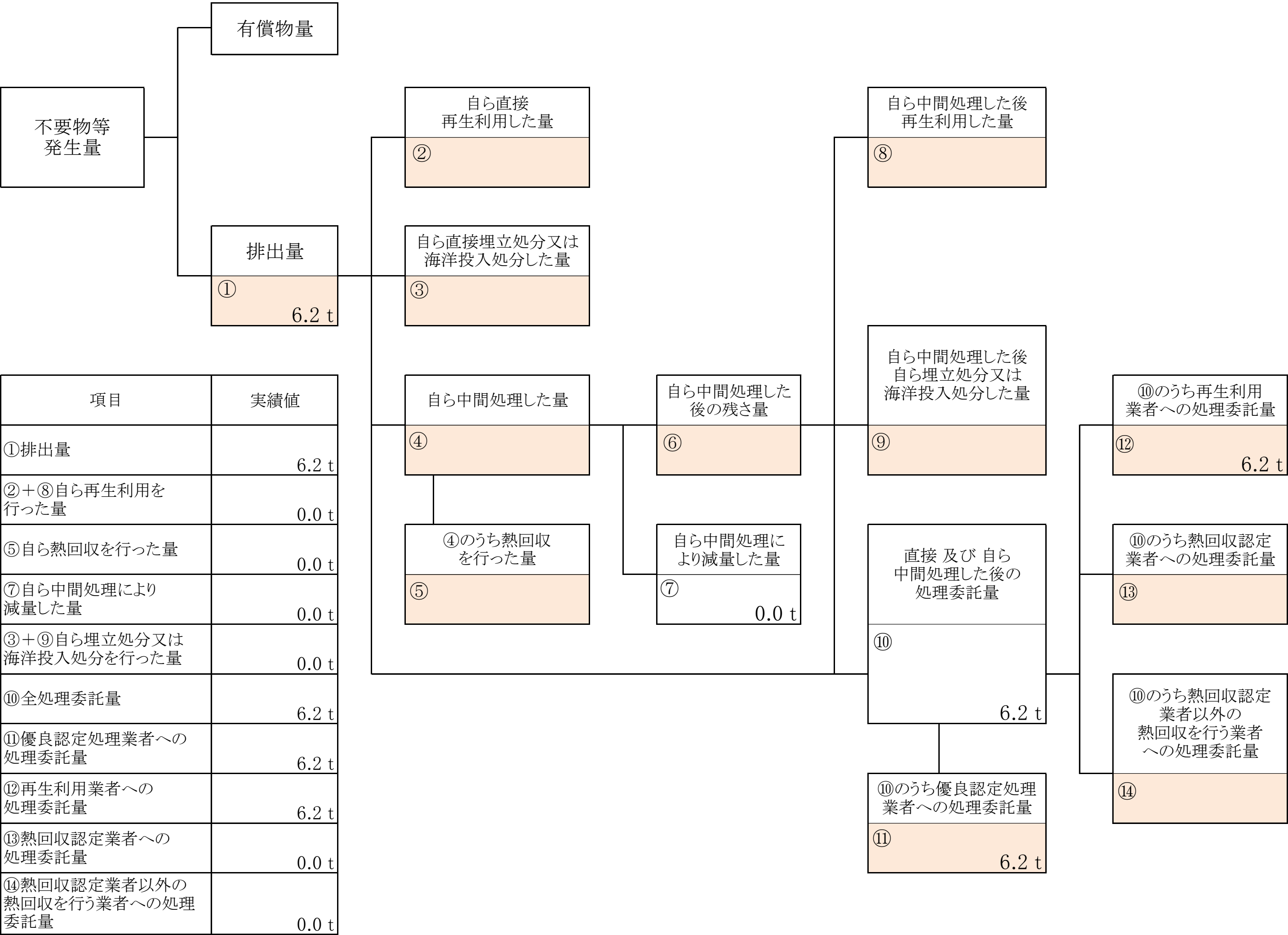
計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: 金属くず)



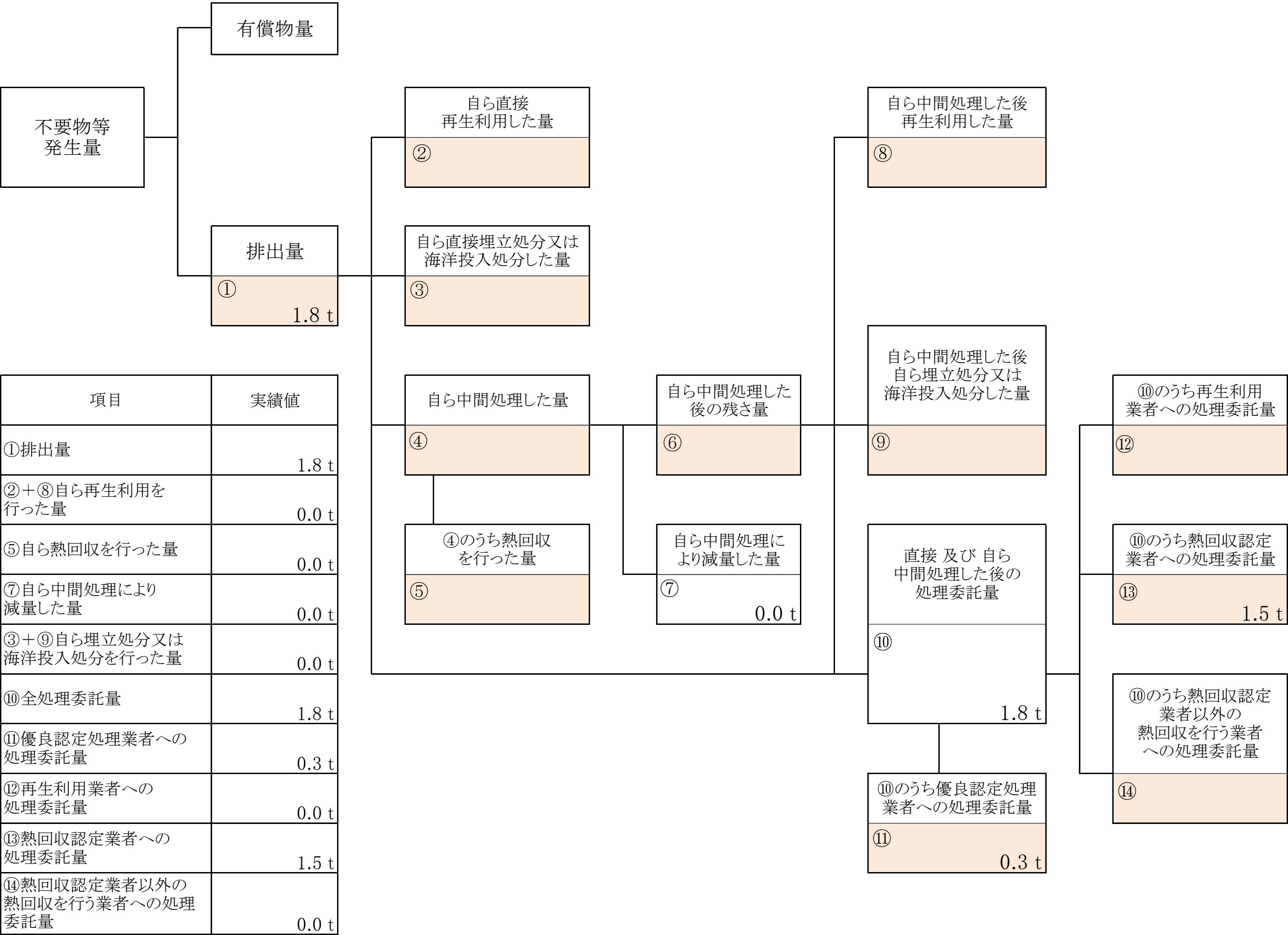
計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: 紙くず)



計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: 廃油)



備考

- 1 翌年度の6月30日までに提出すること。
- 2 「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
- 3 「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。
- 4 第2面には、前年度の産業廃棄物処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。
 - (1) ①欄 当該事業場において生じた産業廃棄物の量
 - (2) ②欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量
 - (3) ③欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
 - (4) ④欄 (1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量
 - (5) ⑤欄 (4)の量のうち、熱回収を行った量
 - (6) ⑥欄 自ら中間処理をした後の量
 - (7) ⑦欄 (4)の量から(6)の量を差し引いた量
 - (8) ⑧欄 (6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量
 - (9) ⑨欄 (6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量
 - (10) ⑩欄 中間処理及び最終処分を委託した量
 - (11) ⑪欄 (10)の量のうち、優良認定処理業者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者)への処理委託量
 - (12) ⑫欄 (10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量
 - (13) ⑬欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者)である処理業者への焼却処理委託量
 - (14) ⑭欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量
- 5 第2面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。
- 6 産業廃棄物の種類が2以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第1面）

産業廃棄物処理計画書

令和7年6月25日

千葉県知事
熊谷 俊人 殿

提出者 112-8566
住 所 東京都文京区後楽1-7-27
法人名 鹿島道路株式会社 東京支店
代表者 発地 保晴
（法人にあつては、名称及び代表者の氏名）
電話番号 03-5802-8024

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	鹿島道路株式会社 東京支店		
事業場の所在地	東京都文京区後楽1-7-27		
計画期間	令和7年4月1日	から	令和8年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項			
①事業の種類	大分類：	建設業	中分類： 総合工事業
②事業の規模	150億円		
③従業員数	213人		
④産業廃棄物の一連の処理の工程	道路建設工事（舗装工事）がれき類（アスファルト・コンクリート塊）、（コンクリート塊）自社施設にて再生骨材として再資源化		

（日本産業規格 A列4番）

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項			
(管理体制図) 【支店】 ・建設副産物管理者 ・支店建設副産物管理委員会 【営業所・現場】 ・営業所建設副産物管理者 ・建設副産物責任者			
産業廃棄物の排出の抑制に関する事項			
①現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	アスファルト・コンクリートがら	コンクリートがら
	排出量	6685.62 t	107.3 t
	(これまでに実施した取組) ・排出するアスファルト・コンクリートがら及びコンクリートがらは中間処理施設へ搬出し再利用する。 ・廃棄物分別の徹底を図り、生産性向上に取り組む。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	アスファルト・コンクリートがら	コンクリートがら
	排出量	6500 t	100 t
	(今後実施する予定の取組) ・自社の処理施設での再利用量を増やし、再利用に取り組む。		
産業廃棄物の分別に関する事項			
①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・アスファルト・コンクリートがら：搬出する際に選別し、中間処理施設へ搬出		
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・アスファルト・コンクリートがら：搬出する際に選別し、中間処理施設へ搬出		

(第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
①現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	アスファルト・コンクリートが ら	コンクリートがら
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	アスファルト・コンクリートが ら	コンクリートがら
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
①現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	アスファルト・コンクリートが ら	コンクリートがら
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	アスファルト・コンクリートが ら	コンクリートがら
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
①現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	アスファルト・コンクリートが ら	コンクリートがら
	自ら埋立処分又は海洋投入処分 を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	アスファルト・コンクリートが ら	コンクリートがら
	自ら埋立処分又は海洋投入処分 を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
①現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	アスファルト・コンクリートが ら	コンクリートがら
	全 処 理 委 託 量	6685.62 t	107.3 t
	優良認定処理業者への処理 委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託 量	6685.62 t	107.3 t
	認定熱回収業者への処理委 託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回 収を行う業者への処理委託 量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
	・運搬、処分業者の許可証及び処理方法の確認 ・推奨指定業者選定による委託処理		

(第5面)

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	アスファルト・コンクリートがら	コンクリートがら
	全 処 理 委 託 量	6500 t	100 t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	6500 t	100 t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	(今後実施する予定の取組) ・再生利用を実施している処理業者への委託処理推奨 ・推奨指定業者選定による委託処理		
	※事務処理欄		

(第6面)

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1) ①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2) ②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3) ④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項											
	①現状	【前年度（令和6年度）実績】									
		産業廃棄物の種類	汚泥	金属くず	廃プラスチック類	木くず	管理型混合廃棄物	建設混合廃棄物	安定型混合廃棄物	がれき類	
		排 出 量	0.55 t	2.32 t	4.38 t	6.88 t	15.01 t	4.3 t	9.62 t	131.85 t	
	②計画	【目標】									
		産業廃棄物の種類	汚泥	金属くず	廃プラスチック類	木くず	管理型混合廃棄物	建設混合廃棄物	安定型混合廃棄物	がれき類	
		排 出 量	0.5 t	2 t	4 t	5 t	10 t	4 t	9 t	100 t	
自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項											
	①現状	【前年度（令和6年度）実績】									
		産業廃棄物の種類	汚泥	金属くず	廃プラスチック類	木くず	管理型混合廃棄物	建設混合廃棄物	安定型混合廃棄物	がれき類	
		自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t	
	②計画	【目標】									
		産業廃棄物の種類	汚泥	金属くず	廃プラスチック類	木くず	管理型混合廃棄物	建設混合廃棄物	安定型混合廃棄物	がれき類	
		自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t	
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項											
	①現状	【前年度（令和6年度）実績】									
		産業廃棄物の種類	汚泥	金属くず	廃プラスチック類	木くず	管理型混合廃棄物	建設混合廃棄物	安定型混合廃棄物	がれき類	
		自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t	
		自ら中間処理により減量した 産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t	
	②計画	【目標】									
		産業廃棄物の種類	汚泥	金属くず	廃プラスチック類	木くず	管理型混合廃棄物	建設混合廃棄物	安定型混合廃棄物	がれき類	
自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量		t	t	t	t	t	t	t	t		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項											
	②計画	【目標】									
		産業廃棄物の種類	汚泥	金属くず	廃プラスチック類	木くず	管理型混合廃棄物	建設混合廃棄物	安定型混合廃棄物	がれき類	
		自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t	
		自ら中間処理により減量する 産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t	

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（令和6年度）実績】								
	産業廃棄物の種類	汚泥	金属くず	廃プラスチック類	木くず	管理型混合廃棄物	建設混合廃棄物	安定型混合廃棄物	がれき類
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
②計画	【目標】								
	産業廃棄物の種類	汚泥	金属くず	廃プラスチック類	木くず	管理型混合廃棄物	建設混合廃棄物	安定型混合廃棄物	がれき類
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（令和6年度）実績】								
	産業廃棄物の種類	汚泥	金属くず	廃プラスチック類	木くず	管理型混合廃棄物	建設混合廃棄物	安定型混合廃棄物	がれき類
	全処理委託量	0.55 t	2.32 t	4.38 t	6.88 t	15.01 t	4.3 t	9.62 t	131.85 t
	優良認定処理業者への 処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t
	再生利用業者への 処理委託量	0.55 t	2.32 t	4.38 t	6.88 t	15.01 t	4.3 t	9.62 t	131.85 t
	認定熱回収業者への 処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t
②計画	【目標】								
	産業廃棄物の種類	汚泥	金属くず	廃プラスチック類	木くず	管理型混合廃棄物	建設混合廃棄物	安定型混合廃棄物	がれき類
	全処理委託量	0.5 t	2 t	4 t	5 t	10 t	4 t	9 t	100 t
	優良認定処理業者への 処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t
	再生利用業者への 処理委託量	0.5 t	2 t	4 t	5 t	10 t	4 t	9 t	100 t
	認定熱回収業者への 処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t

(第1面)

産業廃棄物処理計画実施状況報告書			
令和7年6月25日			
千葉県知事 熊谷 俊人 殿			
提出者 112-8566			
住所 東京都文京区後楽1-7-27			
法人名 鹿島道路株式会社 東京支店			
代表者 発地 保晴			
(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)			
電話番号 03-5802-8024			
産業廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、令和 6 年度の産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。			
事業場の名称	鹿島道路株式会社 東京支店		
事業場の所在地	東京都文京区後楽1-7-27		
事業の種類	大分類 建設業 中分類 総合工事業		
産業廃棄物処理計画における計画期間	令和6年4月1日 から 令和7年3月31日		
産業廃棄物処理計画における目標値			
項目	目標値	項目	目標値
排出量	5038.4 t	全処理委託量	5038.4 t
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	優良認定処理業者への処理委託量	t
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	再生利用業者への処理委託量	5038.4 t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	認定熱回収業者への処理委託量	t
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: アスファルト・コンクリートがら)

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

不要物等発生量

有償物量

②自ら直接再生利用した量

③自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量

④自ら中間処理した量

⑤ ④のうち熱回収を行った量

⑥自ら中間処理した後の残さ量

⑦自ら中間処理により減量した量

⑧自ら中間処理した後再生利用した量

⑨自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量

⑩直接及び自ら中間処理した後の処理委託量

⑪ ⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量

⑫ ⑩のうち再生利用業者への処理委託量

⑬ ⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量

⑭ ⑩のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量

項目	実績値
①排出量	6685.6 t
②+⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	6685.6 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	6685.6 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: コンクリートがら)

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

不要物等発生量

有償物量

②自ら直接再生利用した量

③自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量

④自ら中間処理した量

⑤ ④のうち熱回収を行った量

⑥自ら中間処理した後の残さ量

⑦自ら中間処理により減量した量

⑧自ら中間処理した後再生利用した量

⑨自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量

⑩直接及び自ら中間処理した後の処理委託量

⑪ ⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量

⑫ ⑩のうち再生利用業者への処理委託量

⑬ ⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量

⑭ ⑩のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量

項目	実績値
①排出量	107.3 t
②+⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	107.3 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	107.3 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: 汚泥)

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

不要物等発生量

有償物量

②自ら直接再生利用した量

③自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量

④自ら中間処理した量

⑤ ④のうち熱回収を行った量

⑥自ら中間処理した後の残さ量

⑦自ら中間処理により減量した量

⑧自ら中間処理した後再生利用した量

⑨自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量

⑩直接及び自ら中間処理した後の処理委託量

⑪ ⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量

⑫ ⑩のうち再生利用業者への処理委託量

⑬ ⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量

⑭ ⑩のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量

項目	実績値
①排出量	0.6 t
②+⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.6 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.6 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: 金属くず)

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

不要物等発生量

有償物量

②自ら直接再生利用した量

③自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量

④自ら中間処理した量

⑤ ④のうち熱回収を行った量

⑥自ら中間処理した後の残さ量

⑦自ら中間処理により減量した量

⑧自ら中間処理した後再生利用した量

⑨自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量

⑩直接及び自ら中間処理した後の処理委託量

⑪ ⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量

⑫ ⑩のうち再生利用業者への処理委託量

⑬ ⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量

⑭ ⑩のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量

項目	実績値
①排出量	2.3 t
②+⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	2.3 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	2.3 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: 廃プラスチック類)

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

不要物等発生量

有償物量

②自ら直接再生利用した量

③自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量

④自ら中間処理した量

⑤ ④のうち熱回収を行った量

⑥自ら中間処理した後の残さ量

⑦自ら中間処理により減量した量

⑧自ら中間処理した後再生利用した量

⑨自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量

⑩直接及び自ら中間処理した後の処理委託量

⑪ ⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量

⑫ ⑩のうち再生利用業者への処理委託量

⑬ ⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量

⑭ ⑩のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量

項目	実績値
①排出量	4.4 t
②+⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	4.4 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	4.4 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類:

木くず

)

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

不要物等発生量

有償物量

②自ら直接再生利用した量

③自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量

④自ら中間処理した量

⑤ ④のうち熱回収を行った量

⑥自ら中間処理した後の残さ量

⑦自ら中間処理により減量した量

⑧自ら中間処理した後再生利用した量

⑨自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量

⑩直接及び自ら中間処理した後の処理委託量

⑪ ⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量

⑫ ⑩のうち再生利用業者への処理委託量

⑬ ⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量

⑭ ⑩のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量

項目	実績値
①排出量	6.9 t
②+⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	6.9 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	6.9 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: 管理型混合廃棄物)

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

不要物等発生量

有償物量

②自ら直接再生利用した量

③自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量

⑧自ら中間処理した後再生利用した量

①排出量

15.0t

④自ら中間処理した量

⑥自ら中間処理した後の残さ量

⑨自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量

⑤④のうち熱回収を行った量

⑦自ら中間処理により減量した量

0.0 t

⑩直接及び自ら中間処理した後の処理委託量

15.0 t

⑪⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量

⑫⑩のうち再生利用業者への処理委託量

15.0 t

⑬⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量

⑭⑩のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量

項目	実績値
①排出量	15.0 t
②+⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	15.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	15.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: 建設混合廃棄物)

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

不要物等発生量

有償物量

②自ら直接再生利用した量

③自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量

④自ら中間処理した量

⑤ ④のうち熱回収を行った量

⑥自ら中間処理した後の残さ量

⑦自ら中間処理により減量した量

⑧自ら中間処理した後再生利用した量

⑨自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量

⑩直接及び自ら中間処理した後の処理委託量

⑪ ⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量

⑫ ⑩のうち再生利用業者への処理委託量

⑬ ⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量

⑭ ⑩のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量

項目	実績値
①排出量	4.3 t
②+⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	4.3 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	4.3 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: 安定型混合廃棄物)

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

不要物等発生量

有償物量

②自ら直接再生利用した量

③自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量

⑧自ら中間処理した後再生利用した量

①排出量

9.6t

④自ら中間処理した量

⑥自ら中間処理した後の残さ量

⑨自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量

⑤④のうち熱回収を行った量

⑦自ら中間処理により減量した量

0.0t

⑩直接及び自ら中間処理した後の処理委託量

9.6t

⑪⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量

⑫⑩のうち再生利用業者への処理委託量

9.6t

⑬⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量

⑭⑩のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量

項目	実績値
①排出量	9.6 t
②+⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	9.6 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	9.6 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

No.10

(第2面)

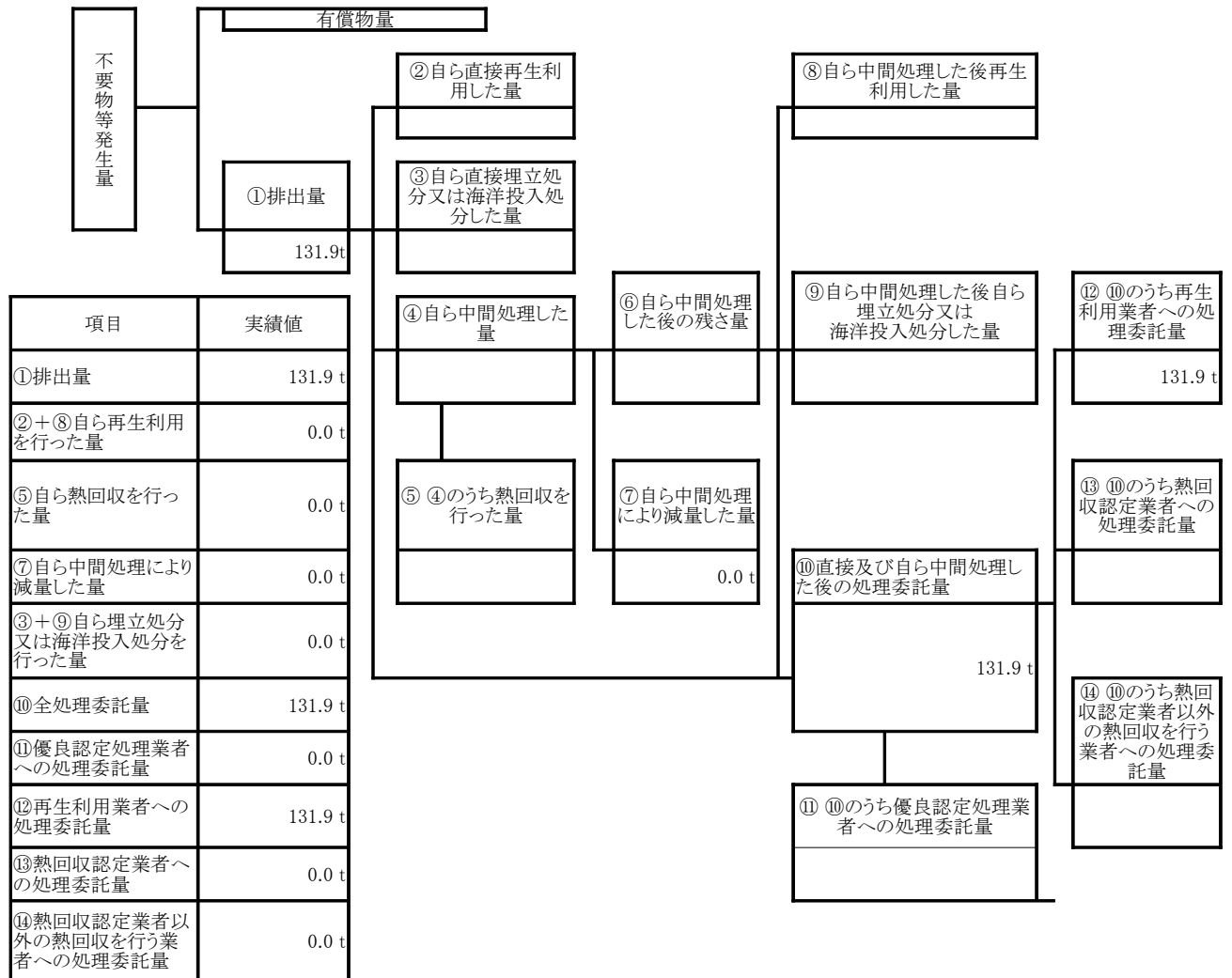
計画の実施状況

(産業廃棄物の種類:

がれき類

)

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。



計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: **ガラス・コンクリート・陶磁器くず**)

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

不要物等発生量

有償物量

②自ら直接再生利用した量

③自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量

④自ら中間処理した量

⑤ ④のうち熱回収を行った量

⑥自ら中間処理した後の残さ量

⑦自ら中間処理により減量した量

⑧自ら中間処理した後再生利用した量

⑨自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量

⑩直接及び自ら中間処理した後の処理委託量

⑪ ⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量

⑫ ⑩のうち再生利用業者への処理委託量

⑬ ⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量

⑭ ⑩のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量

項目	実績値
①排出量	2732.0 t
②+⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	2732.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	2732.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: 紙くず)

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

不要物等発生量

有償物量

②自ら直接再生利用した量

③自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量

④自ら中間処理した量

⑤ ④のうち熱回収を行った量

⑥自ら中間処理した後の残さ量

⑦自ら中間処理により減量した量

⑧自ら中間処理した後再生利用した量

⑨自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量

⑩直接及び自ら中間処理した後の処理委託量

⑪ ⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量

⑫ ⑩のうち再生利用業者への処理委託量

⑬ ⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量

⑭ ⑩のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量

項目	実績値
①排出量	3.0 t
②+⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	3.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	3.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: 廃アルカリ)

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

不要物等発生量

有償物量

②自ら直接再生利用した量

③自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量

④自ら中間処理した量

⑤ ④のうち熱回収を行った量

⑥自ら中間処理した後の残さ量

⑦自ら中間処理により減量した量

⑧自ら中間処理した後再生利用した量

⑨自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量

⑩直接及び自ら中間処理した後の処理委託量

⑪ ⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量

⑫ ⑩のうち再生利用業者への処理委託量

⑬ ⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量

⑭ ⑩のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量

項目	実績値
①排出量	0.9 t
②+⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.9 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.9 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: 鋳さい)

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

不要物等発生量

有償物量

②自ら直接再生利用した量

③自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量

④自ら中間処理した量

⑤ ④のうち熱回収を行った量

⑥自ら中間処理した後の残さ量

⑦自ら中間処理により減量した量

⑧自ら中間処理した後再生利用した量

⑨自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量

⑩直接及び自ら中間処理した後の処理委託量

⑪ ⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量

⑫ ⑩のうち再生利用業者への処理委託量

⑬ ⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量

⑭ ⑩のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量

項目	実績値
①排出量	4.0 t
②+⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	4.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	4.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

備考

- 1 翌年度の6月30日までに提出すること。
- 2 「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
- 3 「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。
- 4 第2面には、前年度の産業廃棄物処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。
 - (1) ①欄 当該事業場において生じた産業廃棄物の量
 - (2) ②欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量
 - (3) ③欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
 - (4) ④欄 (1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量
 - (5) ⑤欄 (4)の量のうち、熱回収を行った量
 - (6) ⑥欄 自ら中間処理をした後の量
 - (7) ⑦欄 (4)の量から(6)の量を差し引いた量
 - (8) ⑧欄 (6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量
 - (9) ⑨欄 (6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量
 - (10) ⑩欄 中間処理及び最終処分を委託した量
 - (11) ⑪欄 (10)の量のうち、優良認定処理業者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者)への処理委託量
 - (12) ⑫欄 (10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量
 - (13) ⑬欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者)である処理業者への焼却処理委託量
 - (14) ⑭欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量
- 5 第2面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。
- 6 産業廃棄物の種類が2以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。

様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第 1 面）

産業廃棄物処理計画書

令和7年6月2日

千葉県知事
熊谷 俊人 殿

提出者 299-4301
住 所 千葉県長生郡一宮町一宮 3 1 7 8 番地
法人名 片岡工業株式会社
代表者 内山 幹雄
（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）
電話番号 0475-42-3633

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	片岡工業株式会社		
事業場の所在地	千葉県長生郡一宮町一宮 3 1 7 8		
計画期間	令和7年4月1日	から	令和8年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項			
①事業の種類	大分類：	建設業	中分類： 総合工事業
②事業の規模	工事完成工事高 3 3 億		
③従業員数	40人		
④産業廃棄物の一連の処理の工程	別紙（処理工程）		

（日本産業規格 A列4番）

(第2面)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項			
(管理体制図) 別紙 (管理体制)			
産業廃棄物の排出の抑制に関する事項			
①現状	【前年度 (令和6年度) 実績】		
	産業廃棄物の種類	アスファルト・コンクリート殻	コンクリート殻
	排出量	2076.8 t	760.7 t
	(これまでに実施した取組) ・再生資源理化率100%を目指し、現場毎に適正な中間処理施設への運搬を計画し、実行した。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	アスファルト・コンクリート殻	コンクリート殻
	排出量	2200 t	1000 t
	(今後実施する予定の取組) ・今後も再生資源理化率100%を目指し、現場毎に適正な中間処理施設への運搬を計画する。		
産業廃棄物の分別に関する事項			
①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 廃棄物の品目ごとに適した場所及び養生を行い、保管している。		
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 引き続き、廃棄物の品目ごとに適した場所及び養生を行い、保管する。		

(第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
①現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	アスファルト・コンクリート殻	コンクリート殻
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	アスファルト・コンクリート殻	コンクリート殻
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
①現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	アスファルト・コンクリート殻	コンクリート殻
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	アスファルト・コンクリート殻	コンクリート殻
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
①現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	アスファルト・コンクリート殻	コンクリート殻
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	アスファルト・コンクリート殻	コンクリート殻
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
①現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	アスファルト・コンクリート殻	コンクリート殻
	全 処 理 委 託 量	2076.8 t	760.7 t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	2076.8 t	760.7 t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
	・再生資源理化率100%を目指し、現場毎に適正な中間処理施設への運搬を計画し、実行した。		

(第5面)

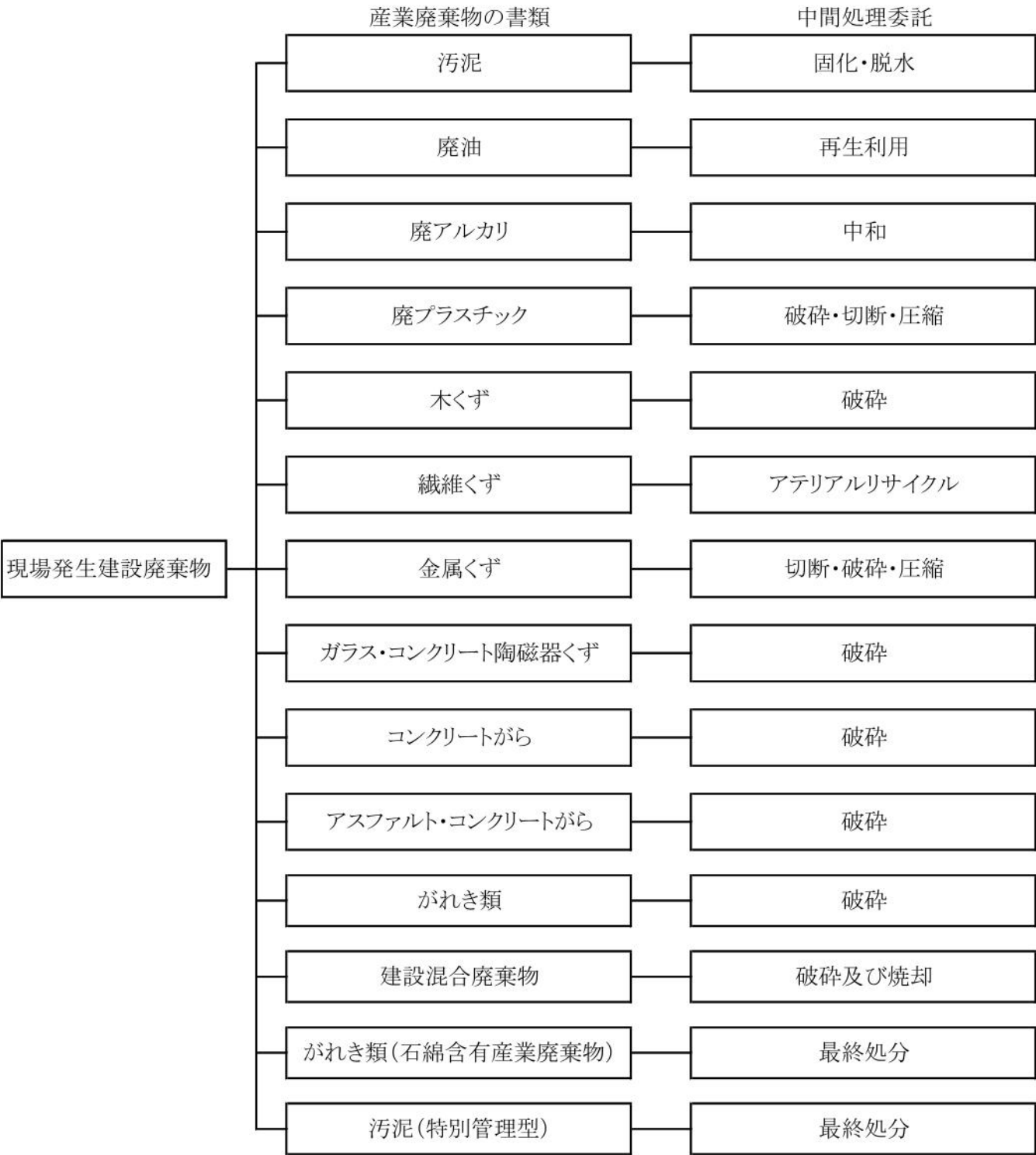
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	アスファルト・コンクリート殻	コンクリート殻
	全 処 理 委 託 量	2200 t	1000 t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	2200 t	1000 t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	(今後実施する予定の取組) ・今後も再生資源理化率100%を目指し、現場毎に適正な中間処理施設への運搬を計画する。		
※事務処理欄			

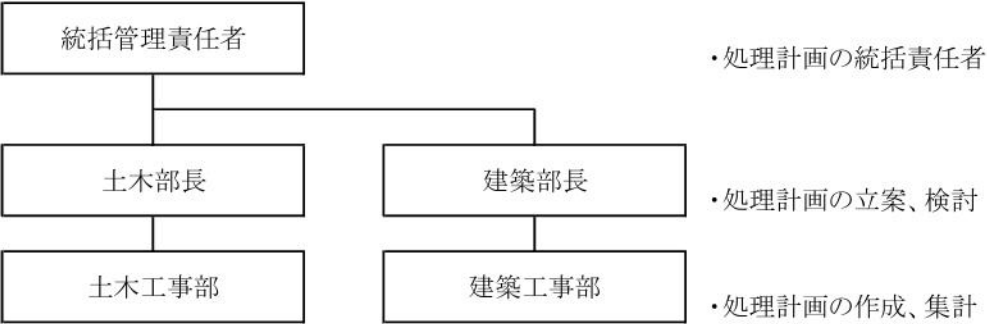
(第6面)

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1) ①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2) ②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3) ④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

別紙1





産業廃棄物の排出の抑制に関する事項									
①現状	【前年度（令和6年度）実績】								
	産業廃棄物の種類	がれき類	建設汚泥	廃プラスチック	木くず	ガラス・コンクリート・陶磁器く	その他混合物		
	排 出 量	126.5 t	143.6 t	11.2 t	6.3 t	0.3 t	11.6 t	t	t
②計画	【目標】								
	産業廃棄物の種類	がれき類	建設汚泥	廃プラスチック	木くず	ガラス・コンクリート・陶磁器く	その他混合物		
	排 出 量	130 t	150 t	12 t	7 t	0.5 t	12 t	t	t
自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項									
①現状	【前年度（令和6年度）実績】								
	産業廃棄物の種類	がれき類	建設汚泥	廃プラスチック	木くず	ガラス・コンクリート・陶磁器く	その他混合物		
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
②計画	【目標】								
	産業廃棄物の種類	がれき類	建設汚泥	廃プラスチック	木くず	ガラス・コンクリート・陶磁器く	その他混合物		
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項									
①現状	【前年度（令和6年度）実績】								
	産業廃棄物の種類	がれき類	建設汚泥	廃プラスチック	木くず	ガラス・コンクリート・陶磁器く	その他混合物		
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
②計画	【目標】								
	産業廃棄物の種類	がれき類	建設汚泥	廃プラスチック	木くず	ガラス・コンクリート・陶磁器く	その他混合物		
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項									
①現状	【前年度（令和6年度）実績】								
	産業廃棄物の種類	がれき類	建設汚泥	廃プラスチック	木くず	ガラス・コンクリート・陶磁器く	その他混合物		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
②計画	【目標】								
	産業廃棄物の種類	がれき類	建設汚泥	廃プラスチック	木くず	ガラス・コンクリート・陶磁器く	その他混合物		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
産業廃棄物の処理の委託に関する事項									
①現状	【前年度（令和6年度）実績】								
	産業廃棄物の種類	がれき類	建設汚泥	廃プラスチック	木くず	ガラス・コンクリート・陶磁器く	その他混合物		
	全処理委託量	126.5 t	143.6 t	11.2 t	6.3 t	0.3 t	11.6 t	t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	10 t	t	t	6.3 t	0.3 t	3.6 t	t	t
	再生利用業者への処理委託量	116.5 t	143.6 t	11.2 t	t	t	8 t	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t
②計画	【目標】								
	産業廃棄物の種類	がれき類	建設汚泥	廃プラスチック	木くず	ガラス・コンクリート・陶磁器く	その他混合物		
	全処理委託量	130 t	150 t	12 t	7 t	0.5 t	12 t	t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	30 t	t	t	7 t	0.5 t	5 t	t	t
	再生利用業者への処理委託量	100 t	150 t	12 t	t	t	7 t	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t

(第1面)

産業廃棄物処理計画実施状況報告書			
令和7年8月8日			
千葉県知事 熊谷 俊人 殿			
提出者 299-4301			
住所 千葉県長生郡一宮町一宮3178番地			
法人名 片岡工業株式会社			
代表者 内山 幹雄			
(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)			
電話番号 0475-42-3633			
産業廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、令和6年度の産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。			
事業場の名称	片岡工業株式会社		
事業場の所在地	千葉県長生郡一宮町一宮3178		
事業の種類	大分類 建設業 中分類 総合工事業		
産業廃棄物処理計画における計画期間	令和6年4月1日 から 令和7年3月31日		
産業廃棄物処理計画における目標値			
項目	目標値	項目	目標値
排出量	7911.2 t	全処理委託量	7911.2 t
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	優良認定処理業者への処理委託量	t
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	再生利用業者への処理委託量	7911.2 t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	認定熱回収業者への処理委託量	t
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t

N0.1

(第2面)

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: コンクリート殻)

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

不要物等発生量

有償物量

②自ら直接再生利用した量

③自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量

④自ら中間処理した量

⑤ ④のうち熱回収を行った量

⑥自ら中間処理した後の残さ量

⑦自ら中間処理により減量した量

⑧自ら中間処理した後再生利用した量

⑨自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量

⑩直接及び自ら中間処理した後の処理委託量

⑪ ⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量

⑫ ⑩のうち再生利用業者への処理委託量

⑬ ⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量

⑭ ⑩のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量

項目	実績値
①排出量	760.7 t
②+⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	760.7 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	760.7 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: アスファルト・コンクリート殻)

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

不要物等発生量

有償物量

②自ら直接再生利用した量

③自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量

④自ら中間処理した量

⑤ ④のうち熱回収を行った量

⑥自ら中間処理した後の残さ量

⑦自ら中間処理により減量した量

⑧自ら中間処理した後再生利用した量

⑨自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量

⑩直接及び自ら中間処理した後の処理委託量

⑪ ⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量

⑫ ⑩のうち再生利用業者への処理委託量

⑬ ⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量

⑭ ⑩のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量

項目	実績値
①排出量	2076.8 t
②+⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	2076.8 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	2076.8 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.3

(第2面)

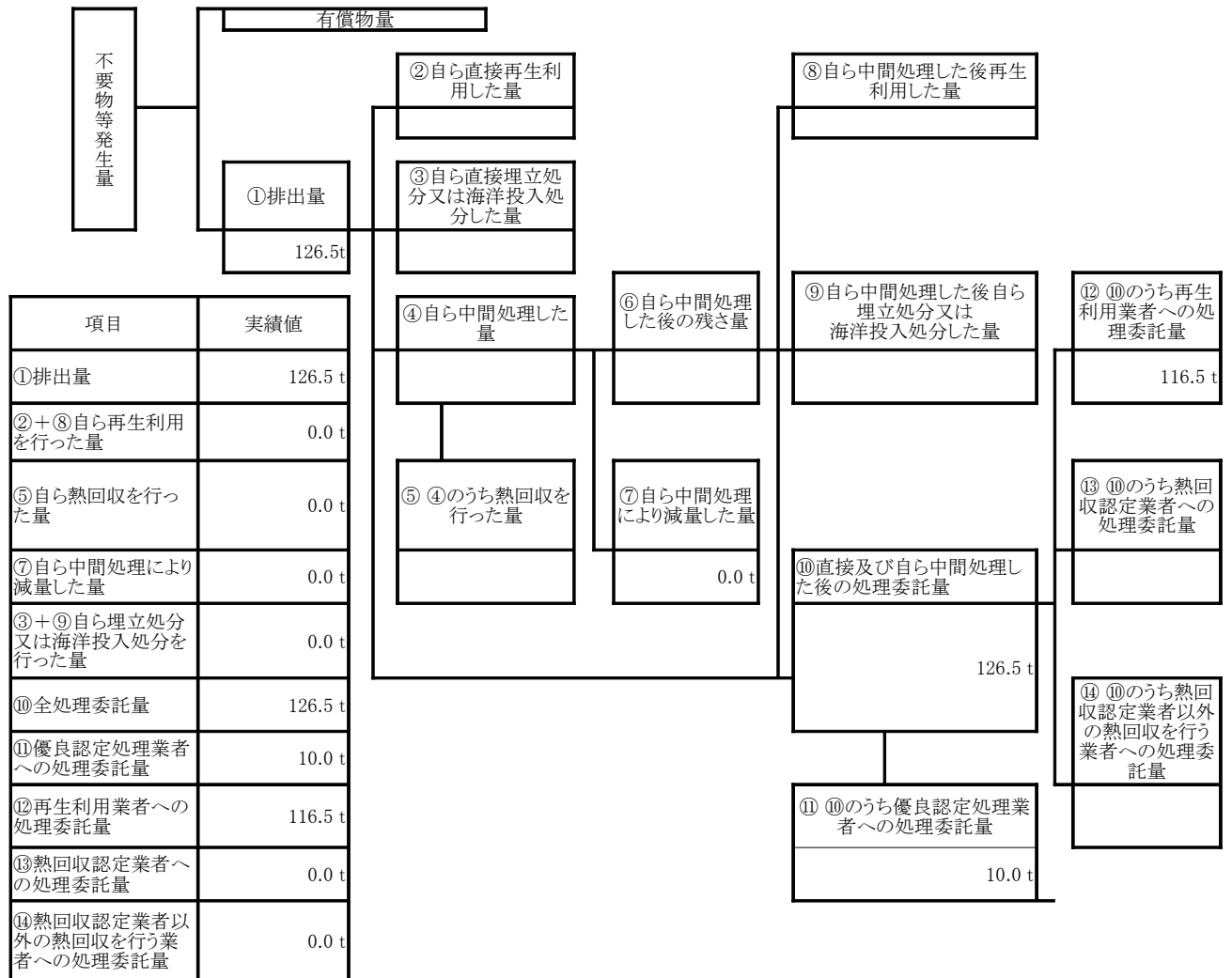
計画の実施状況

(産業廃棄物の種類:

がれき類

)

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。



計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: 建設汚泥)

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

不要物等発生量

有償物量

②自ら直接再生利用した量

③自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量

④自ら中間処理した量

⑤ ④のうち熱回収を行った量

⑥自ら中間処理した後の残さ量

⑦自ら中間処理により減量した量

⑧自ら中間処理した後再生利用した量

⑨自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量

⑩直接及び自ら中間処理した後の処理委託量

⑪ ⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量

⑫ ⑩のうち再生利用業者への処理委託量

⑬ ⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量

⑭ ⑩のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量

項目	実績値
①排出量	143.6 t
②+⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	143.6 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	143.6 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: 廃プラスチック)

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

不要物等発生量

有償物量

②自ら直接再生利用した量

③自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量

④自ら中間処理した量

⑤ ④のうち熱回収を行った量

⑥自ら中間処理した後の残さ量

⑦自ら中間処理により減量した量

⑧自ら中間処理した後再生利用した量

⑨自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量

⑩直接及び自ら中間処理した後の処理委託量

⑪ ⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量

⑫ ⑩のうち再生利用業者への処理委託量

⑬ ⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量

⑭ ⑩のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量

項目	実績値
①排出量	11.2 t
②+⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	11.2 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	11.2 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.6

(第2面)

計画の実施状況 (産業廃棄物の種類: 木くず)

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

不要物等発生量

有償物量

②自ら直接再生利用した量

③自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量

④自ら中間処理した量

⑤ ④のうち熱回収を行った量

⑥自ら中間処理した後の残さ量

⑦自ら中間処理により減量した量

⑧自ら中間処理した後再生利用した量

⑨自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量

⑩直接及び自ら中間処理した後の処理委託量

⑪ ⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量

⑫ ⑩のうち再生利用業者への処理委託量

⑬ ⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量

⑭ ⑩のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量

項目	実績値
①排出量	6.3 t
②+⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	6.3 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	6.3 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: ガラス・コンクリート・陶磁器くず)

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

不要物等発生量

有償物量

②自ら直接再生利用した量

③自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量

④自ら中間処理した量

⑤ ④のうち熱回収を行った量

⑥自ら中間処理した後の残さ量

⑦自ら中間処理により減量した量

⑧自ら中間処理した後再生利用した量

⑨自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量

⑩直接及び自ら中間処理した後の処理委託量

⑪ ⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量

⑫ ⑩のうち再生利用業者への処理委託量

⑬ ⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量

⑭ ⑩のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量

項目	実績値
①排出量	0.3 t
②+⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.3 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.3 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: その他混合廃棄物)

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

不要物等発生量

有償物量

②自ら直接再生利用した量

⑧自ら中間処理した後再生利用した量

①排出量

11.6t

③自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量

④自ら中間処理した量

⑥自ら中間処理した後の残さ量

⑨自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量

⑤④のうち熱回収を行った量

⑦自ら中間処理により減量した量

0.0 t

⑩直接及び自ら中間処理した後の処理委託量

11.6 t

⑪⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量

3.6 t

⑫⑩のうち再生利用業者への処理委託量

8.0 t

⑬⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量

⑭⑩のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量

項目	実績値
①排出量	11.6 t
②+⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	11.6 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	3.6 t
⑫再生利用業者への処理委託量	8.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

備考

- 1 翌年度の6月30日までに提出すること。
- 2 「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
- 3 「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。
- 4 第2面には、前年度の産業廃棄物処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。
 - (1) ①欄 当該事業場において生じた産業廃棄物の量
 - (2) ②欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量
 - (3) ③欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
 - (4) ④欄 (1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量
 - (5) ⑤欄 (4)の量のうち、熱回収を行った量
 - (6) ⑥欄 自ら中間処理をした後の量
 - (7) ⑦欄 (4)の量から(6)の量を差し引いた量
 - (8) ⑧欄 (6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量
 - (9) ⑨欄 (6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量
 - (10) ⑩欄 中間処理及び最終処分を委託した量
 - (11) ⑪欄 (10)の量のうち、優良認定処理業者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者)への処理委託量
 - (12) ⑫欄 (10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量
 - (13) ⑬欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者)である処理業者への焼却処理委託量
 - (14) ⑭欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量
- 5 第2面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。
- 6 産業廃棄物の種類が2以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。

様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第1面）

産業廃棄物処理計画書	
令和 7 年 6 月 1 7 日	
千葉県知事	
熊谷 俊人 殿	
提出者 〒 497-8501	
住 所 愛知県海部郡蟹江町 大字蟹江新田字下市場19-1	
氏 名 株式会社加藤建設 代表取締役社長 加藤 明 (法人にあつては、名称及び代表者の氏名)	
電話番号 0567-95-2181	
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。	
事業場の名称	株式会社加藤建設 コンストラクト事業部
事業場の所在地	千葉県四街道市大日大作岡1097-7
計画期間	令和7年4月1日から令和8年3月31日まで
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
① 事業の種類	D06ー総合工事業
② 事業の規模	元請完成高 90億300万円
③ 従業員数	130人
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	アスファルトがら →破碎 →再資源化 コンクリートがら →破碎 →再資源化 建設汚泥 →脱水・乾燥→再生利用 金属くず →破碎・切断→再資源化 廃プラスチック類 →破碎・圧縮→再資源化、埋立 混合廃棄物 →選別・破碎→再資源化、埋立

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

コンストラクト事業部

本部長
|
各工事部長（産業廃棄物処理総括責任者）
|
各担当課長
|
各現場担当者（産業廃棄物処理責任者）

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	アスファルトがら	コンクリートがら
	排出量	771 t	320 t
	(これまでに実施した取組)		
	・ 破碎して再利用 ・ 分別の徹底を図る		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	アスファルトがら	コンクリートがら
	排出量	700 t	300 t
	(今後実施する予定の取組) ・ 上記取組の徹底		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 廃プラスチック類、金属くず、木くず、がれき類はそれぞれに分別し保管
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 分別の徹底を図る

(第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	アスファルトがら	コンクリートがら
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(これまでに実施した取組)		
	・実施していない		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	アスファルトがら	コンクリートがら
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組)		
	・実施の予定なし		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	アスファルトがら	コンクリートがら
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(これまでに実施した取組)		
	・実施していない		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	アスファルトがら	コンクリートがら
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組)		
	・実施の予定なし		

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	アスファルトがら	コンクリートがら
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(これまでに実施した取組)		
	・実施していない		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	アスファルトがら	コンクリートがら
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組)		
	・実施の予定なし		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	アスファルトがら	コンクリートがら
	全処理委託量	771 t	320 t
	優良認定処理業者への処理委託量	0 t	0 t
	再生利用業者への処理委託量	771 t	320 t
	認定熱回収業者への処理委託量	0 t	0 t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	0 t
	(これまでに実施した取組)		
	・再生利用業者への委託を行い、最終処分量の低減を図る		

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	アスファルトがら	コンクリートがら
	全処理委託量	700 t	300 t
	優良認定処理業者への処理委託量	0 t	0 t
	再生利用業者への処理委託量	700 t	300 t
	認定熱回収業者への処理委託量	0 t	0 t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組)		
	・優良認定業者の調査を行い、可能であれば選定する		
※事務処理欄			

(第6面)

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項										
①現状	【前年度（令和6年度）実績】									
	産業廃棄物の種類	鋳さい	木くず	廃ﾌﾟﾗ	建設混合	紙くず				
	排 出 量	259 t	127 t	50 t	24 t	0.6 t	t	t	t	
②計画	【目標】									
	産業廃棄物の種類	鋳さい	木くず	廃ﾌﾟﾗ	建設混合	紙くず				
	排 出 量	230 t	100 t	45 t	20 t	0.5 t	t	t	t	
自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項										
①現状	【前年度（令和6年度）実績】									
	産業廃棄物の種類	鋳さい	木くず	廃ﾌﾟﾗ	建設混合	紙くず				
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	t	t	t	
	②計画	【目標】								
		産業廃棄物の種類	鋳さい	木くず	廃ﾌﾟﾗ	建設混合	紙くず			
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量		0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	t	t	t	
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項										
①現状	【前年度（令和6年度）実績】									
	産業廃棄物の種類	鋳さい	木くず	廃ﾌﾟﾗ	建設混合	紙くず				
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	t	t	t	
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	t	t	t	
②計画	【目標】									
	産業廃棄物の種類	鋳さい	木くず	廃ﾌﾟﾗ	建設混合	紙くず				
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	t	t	t	
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	t	t	t	

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（令和6年度）実績】								
	産業廃棄物の種類	鋳さい	木くず	廃ﾌﾟﾗ	建設混合	紙くず			
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	t	t	t
②計画	【目標】								
	産業廃棄物の種類	鋳さい	木くず	廃ﾌﾟﾗ	建設混合	紙くず			
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	t	t	t

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（令和6年度）実績】								
	産業廃棄物の種類	鋳さい	木くず	廃ﾌﾟﾗ	建設混合	紙くず			
	全処理委託量	259 t	127 t	50 t	24 t	0.6 t	t	t	t
	優良認定処理業者への 処理委託量	0 t	30 t	50 t	24 t	0.6 t	t	t	t
	再生利用業者への 処理委託量	259 t	127 t	50 t	24 t	0.6 t	t	t	t
	認定熱回収業者への 処理委託量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	t	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	t	t	t
②計画	【目標】								
	産業廃棄物の種類	鋳さい	木くず	廃ﾌﾟﾗ	建設混合	紙くず			
	全処理委託量	230 t	100 t	45 t	20 t	0.5 t	t	t	t
	優良認定処理業者への 処理委託量	0 t	30 t	45 t	20 t	0.5 t	t	t	t
	再生利用業者への 処理委託量	230 t	100 t	45 t	20 t	0.5 t	t	t	t
	認定熱回収業者への 処理委託量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	t	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	t	t	t

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

令和7年 6月 18日

千葉県知事 熊谷 俊人 殿

提出者 〒559-8559
住 所 大阪府大阪市住之江区南港北1丁目7番89号
氏 名 カナデビア株式会社 取締役社長 桑原道
(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)
電話番号 06-6569-0160

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、令和6年度の産業廃棄物
処理計画の実施状況を報告します。

事業場の名称	カナデビア株式会社 東京本社
事業場の所在地	東京都品川区南大井6丁目26番3号（現場:千葉県館山市ほか）
事業の種類	D06－総合工事業
産業廃棄物処理計画における計画期間	令和6年4月1日から令和7年3月31日まで

産業廃棄物処理計画における目標値

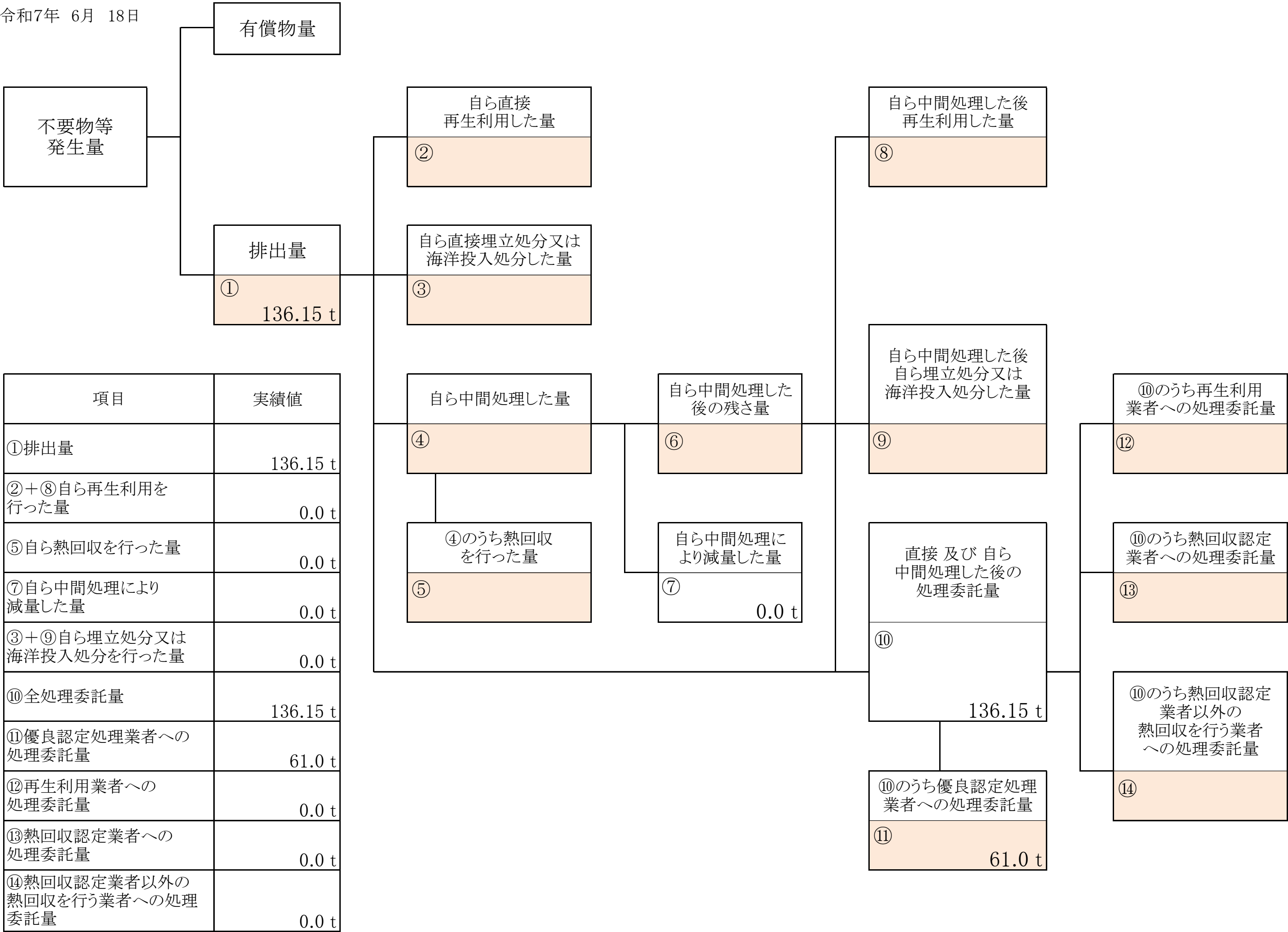
項目	目標値	項目	目標値
排出量	234.0 t	全処理委託量	234.0 t
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量		優良認定処理業者への処理委託量	92.3 t
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量		再生利用業者への処理委託量	14.4 t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量		認定熱回収業者への処理委託量	
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量		認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	

※事務処理欄

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: 汚泥)

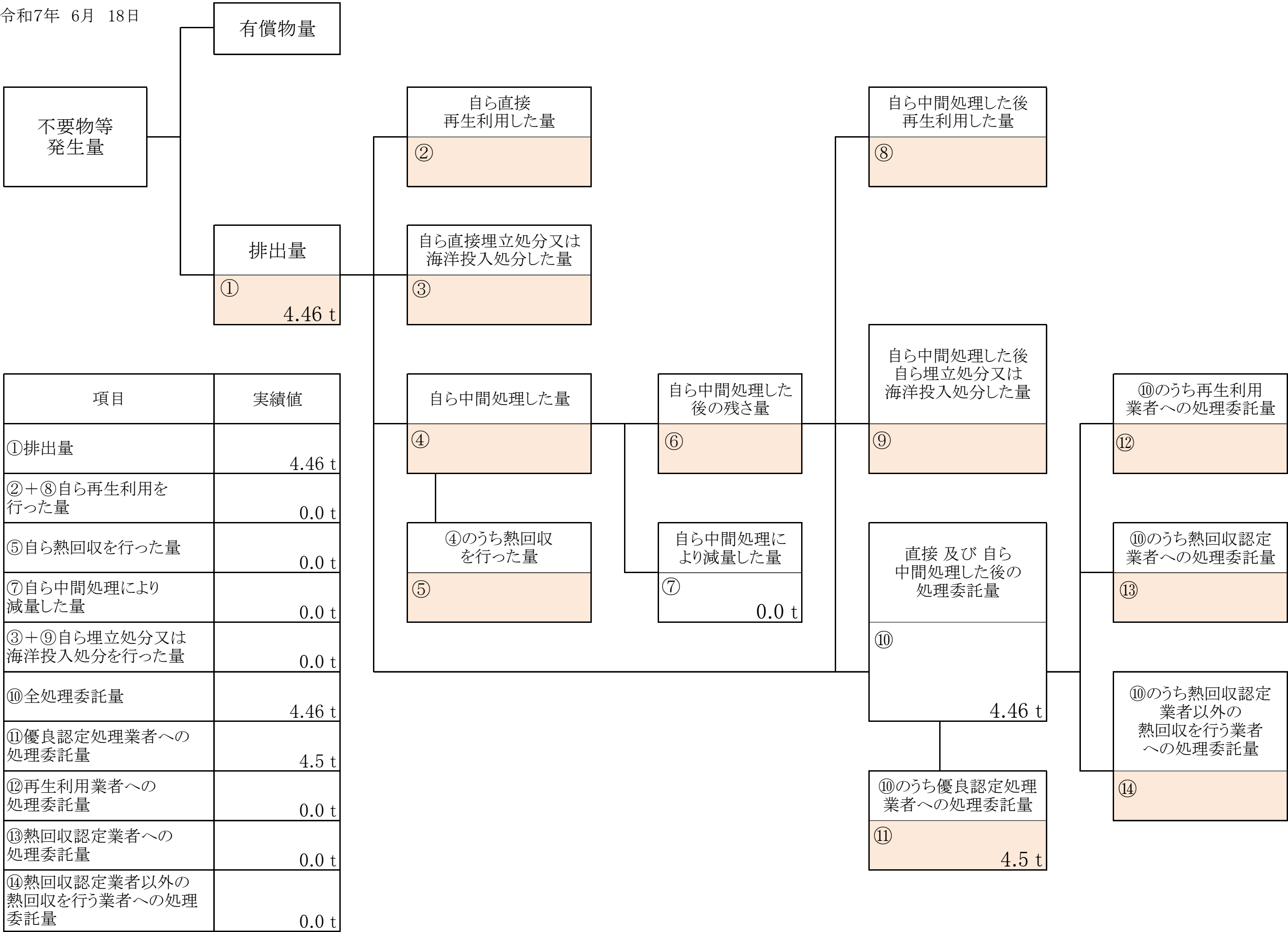
令和7年 6月 18日



計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: 廃油)

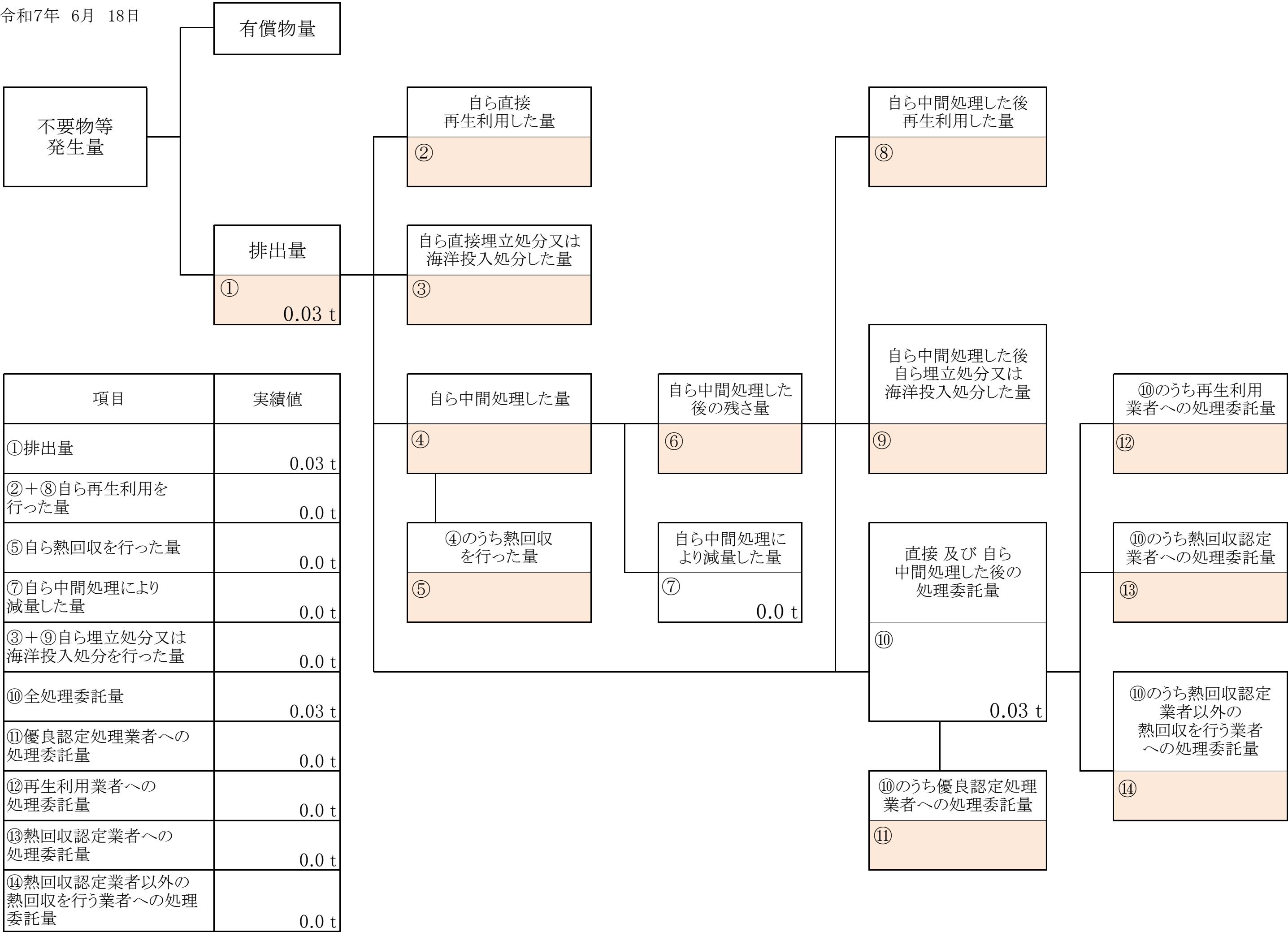
令和7年 6月 18日



計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: 廃アルカリ)

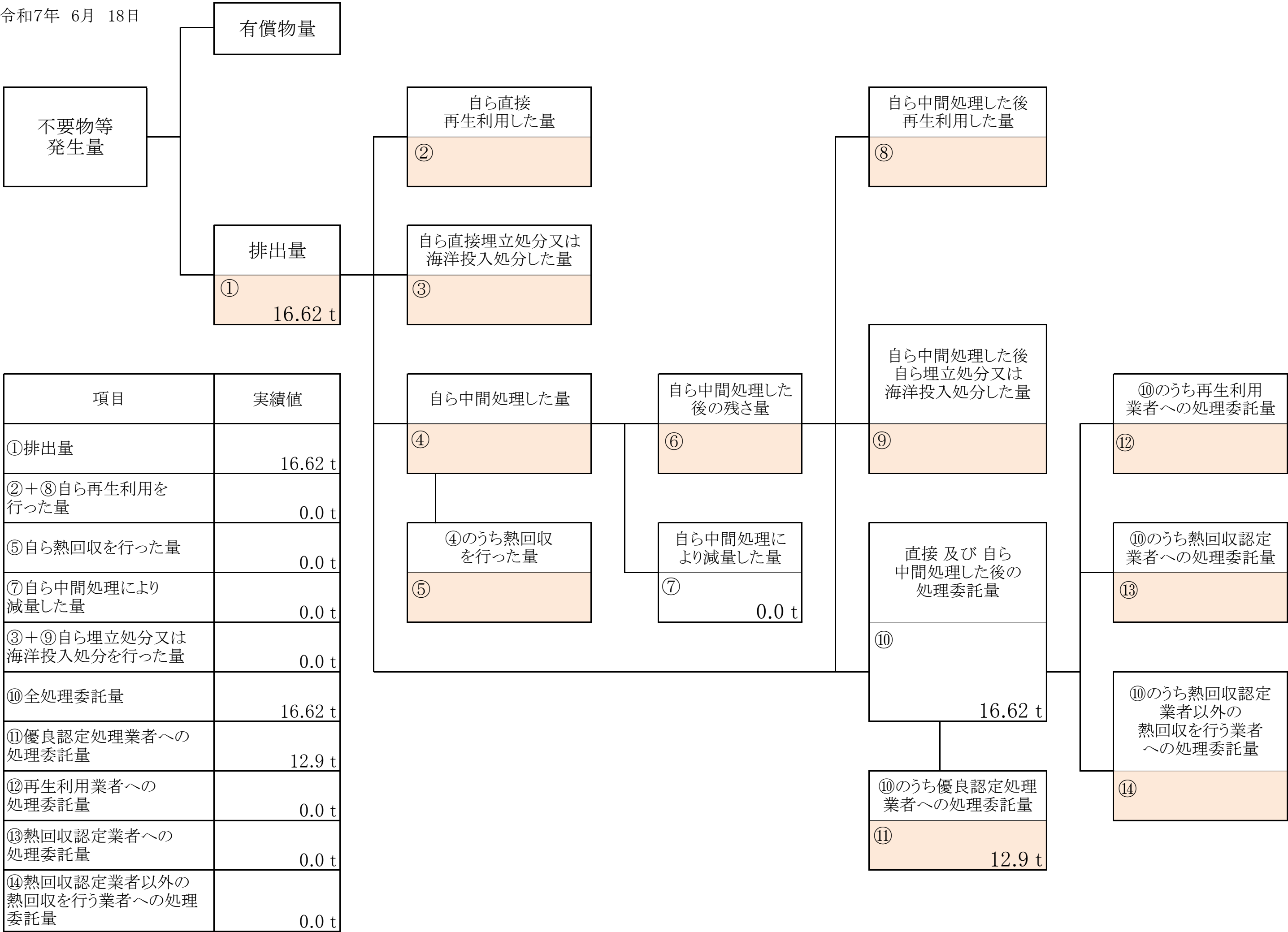
令和7年 6月 18日



計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: 廃プラスチック類)

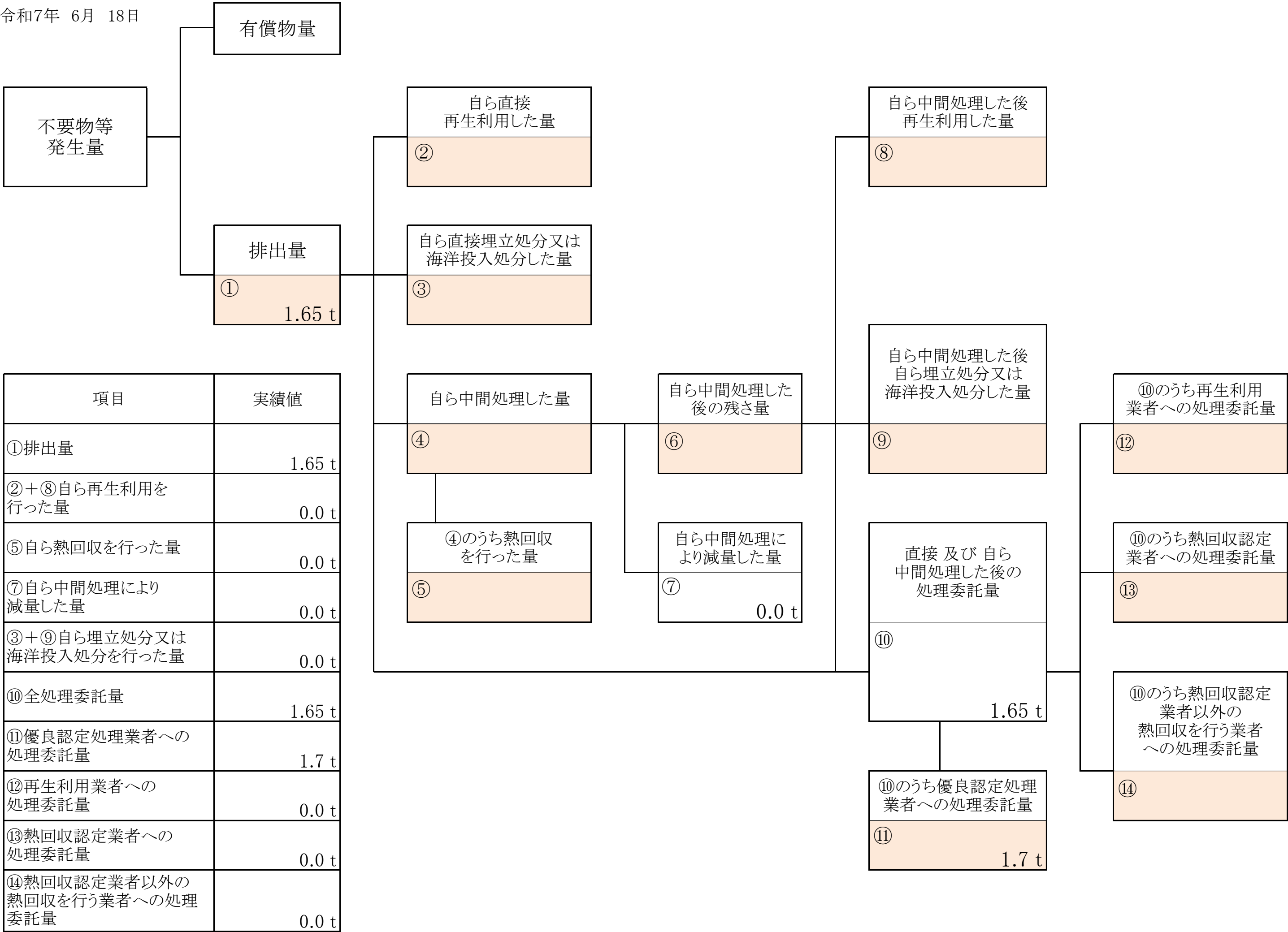
令和7年 6月 18日



計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: 紙くず)

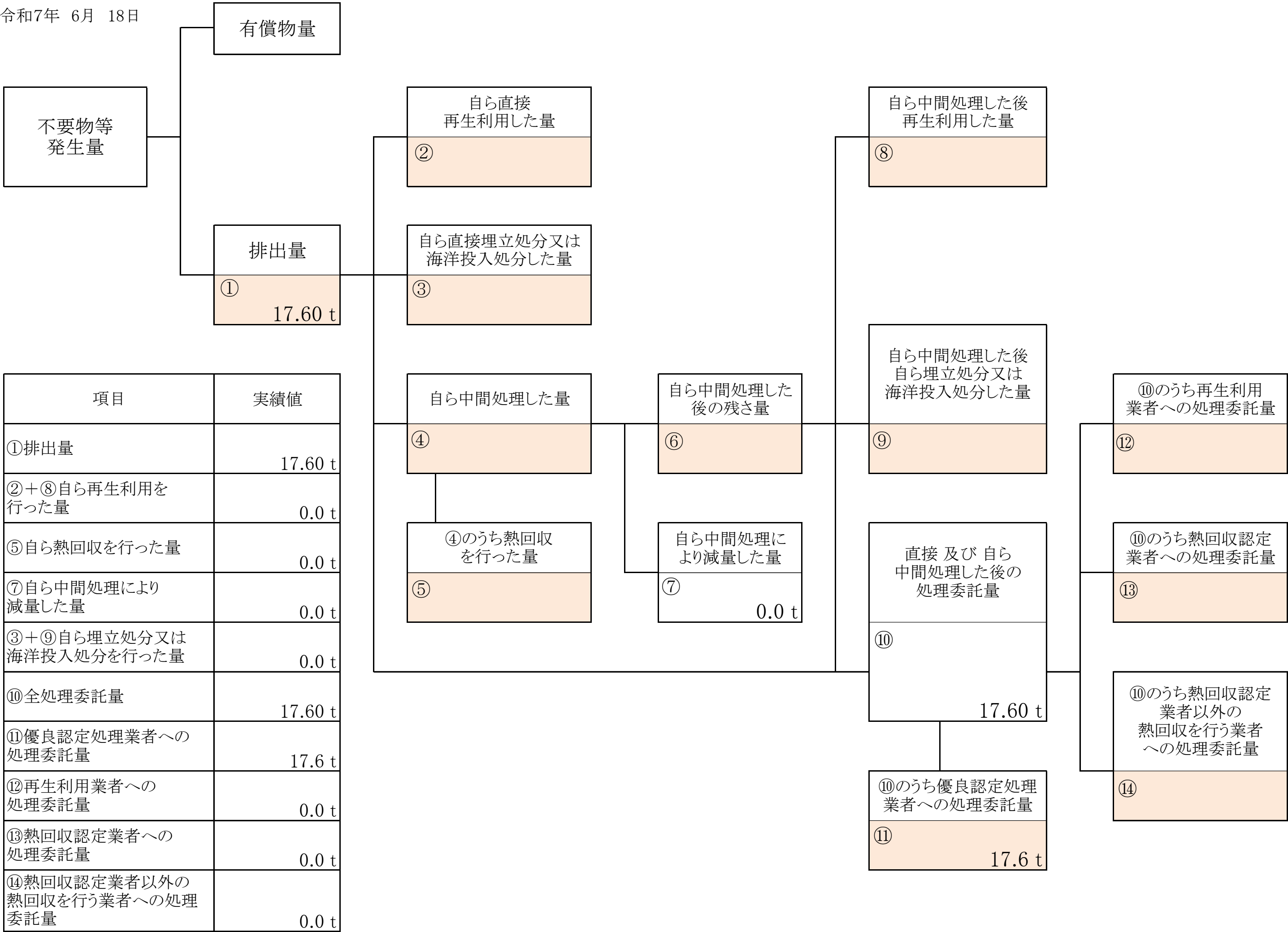
令和7年 6月 18日



計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: 木くず)

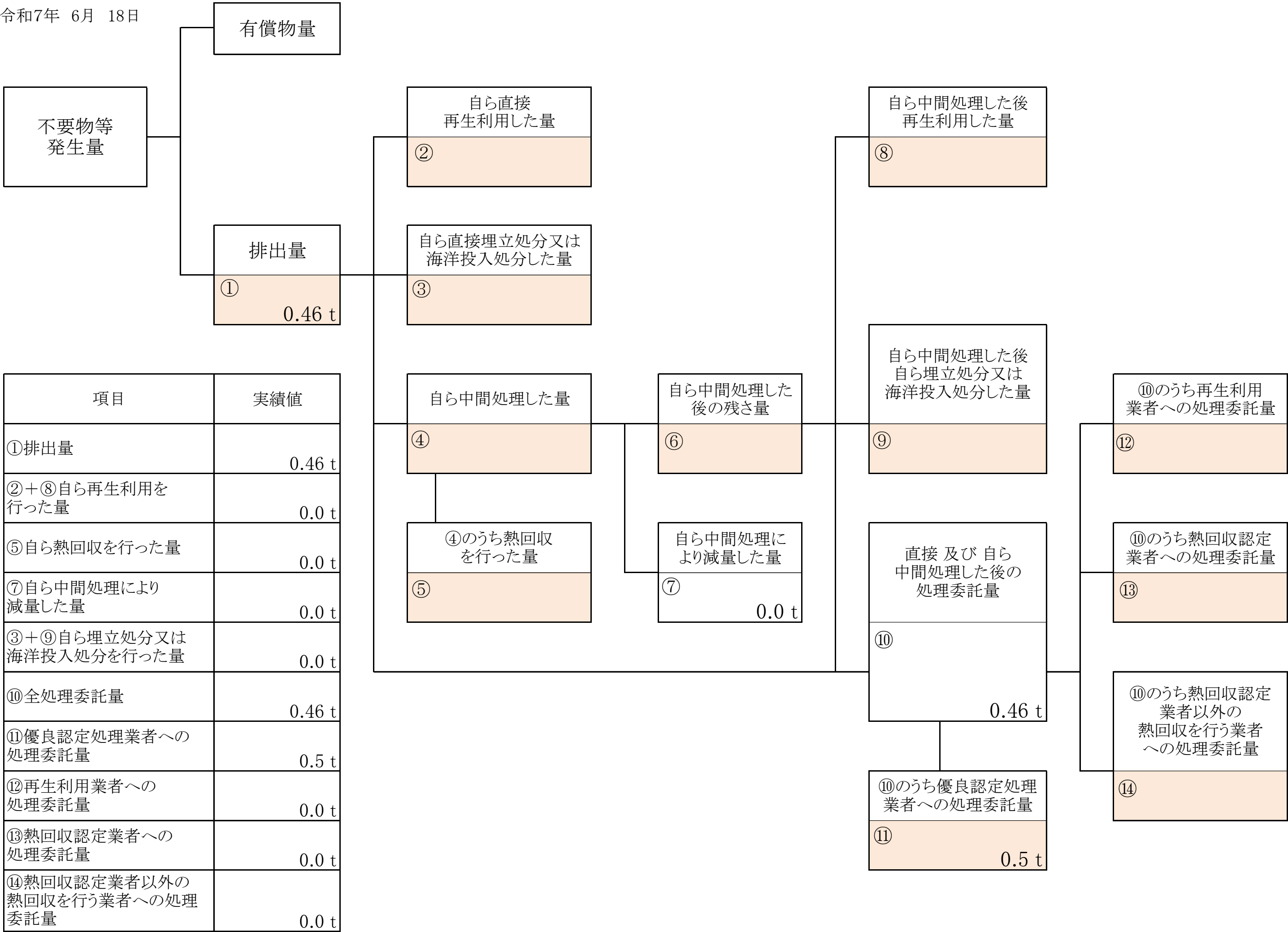
令和7年 6月 18日



計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: 金属くず)

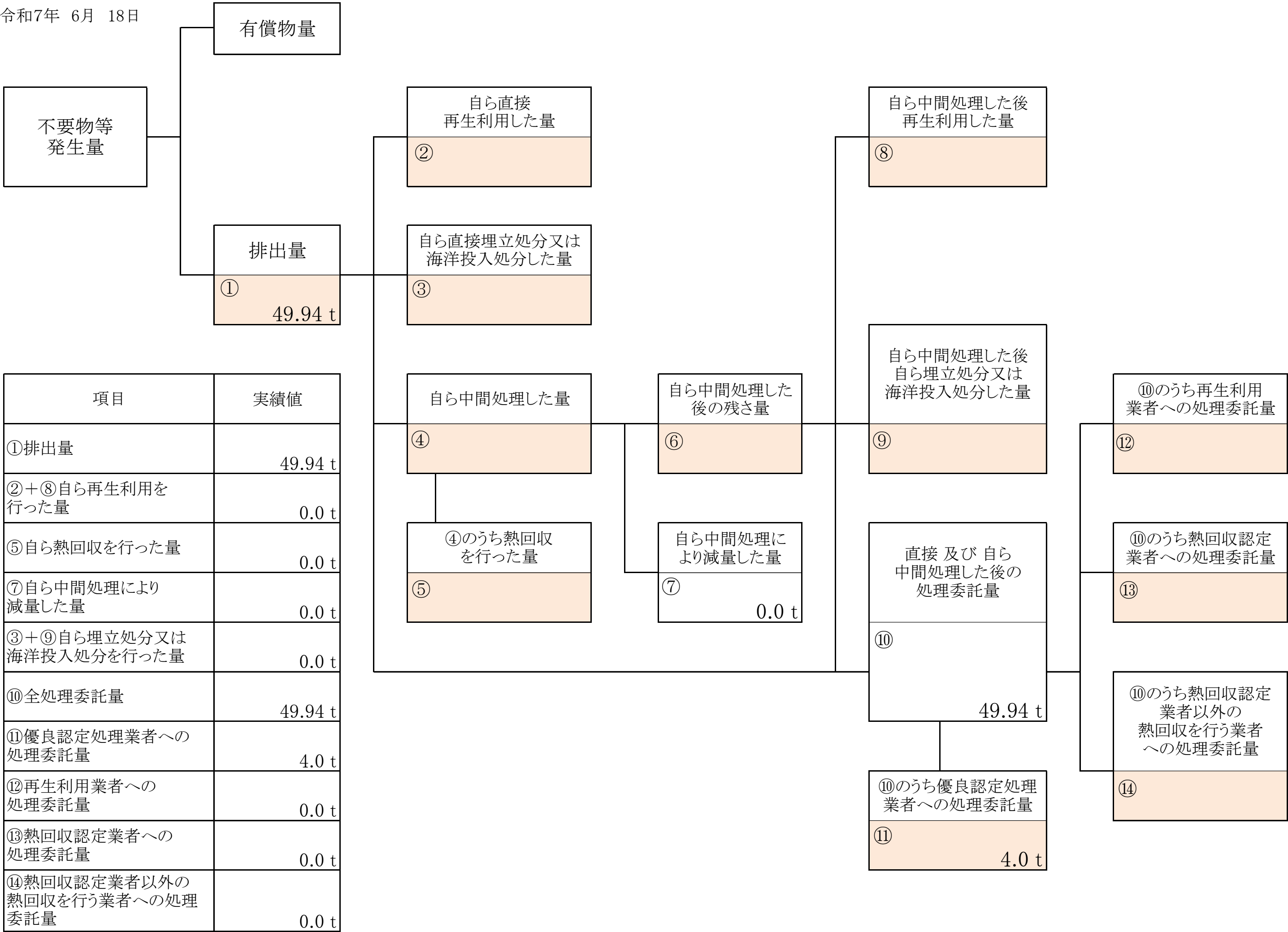
令和7年 6月 18日



計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず)

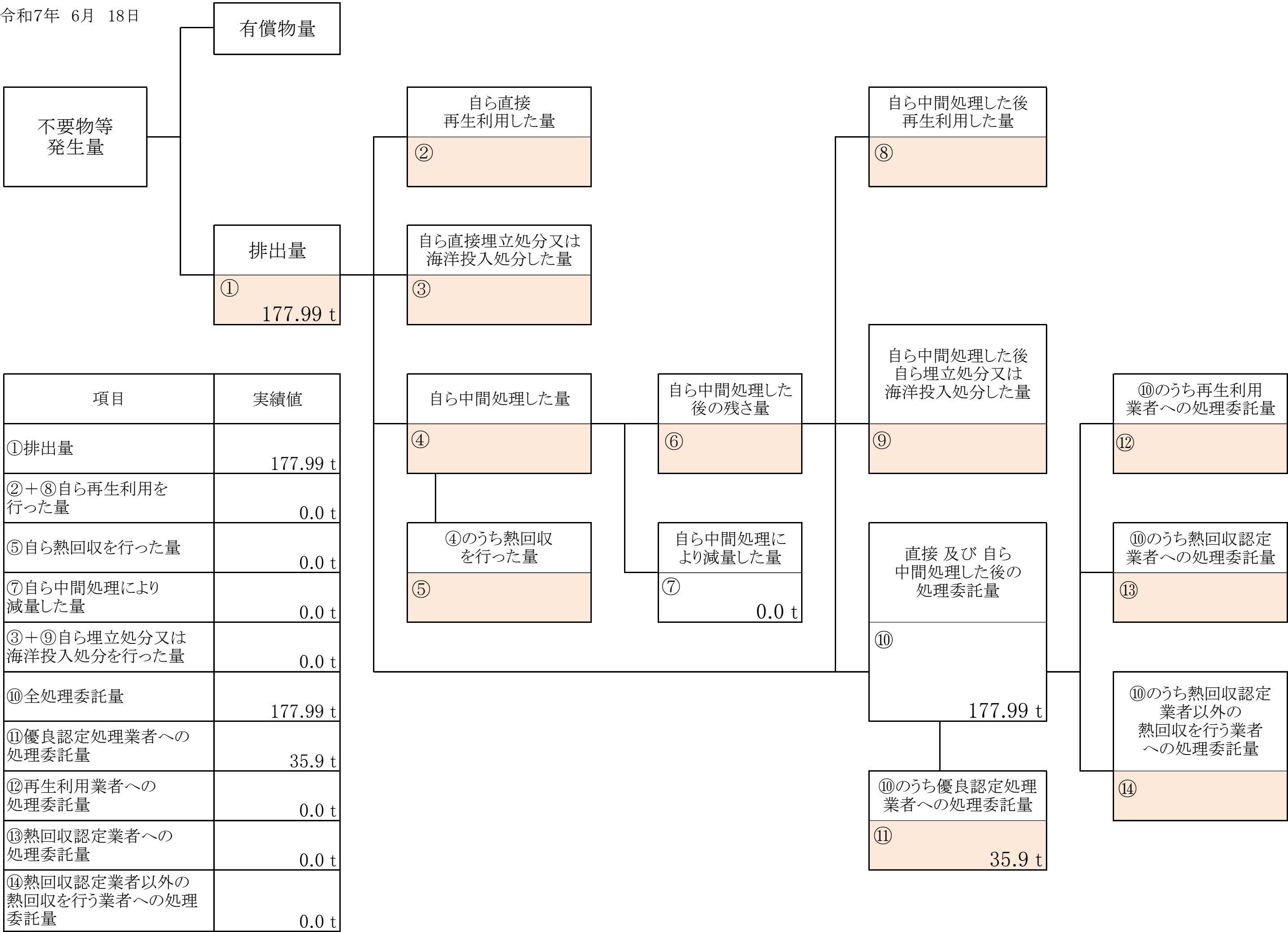
令和7年 6月 18日



計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: がれき類)

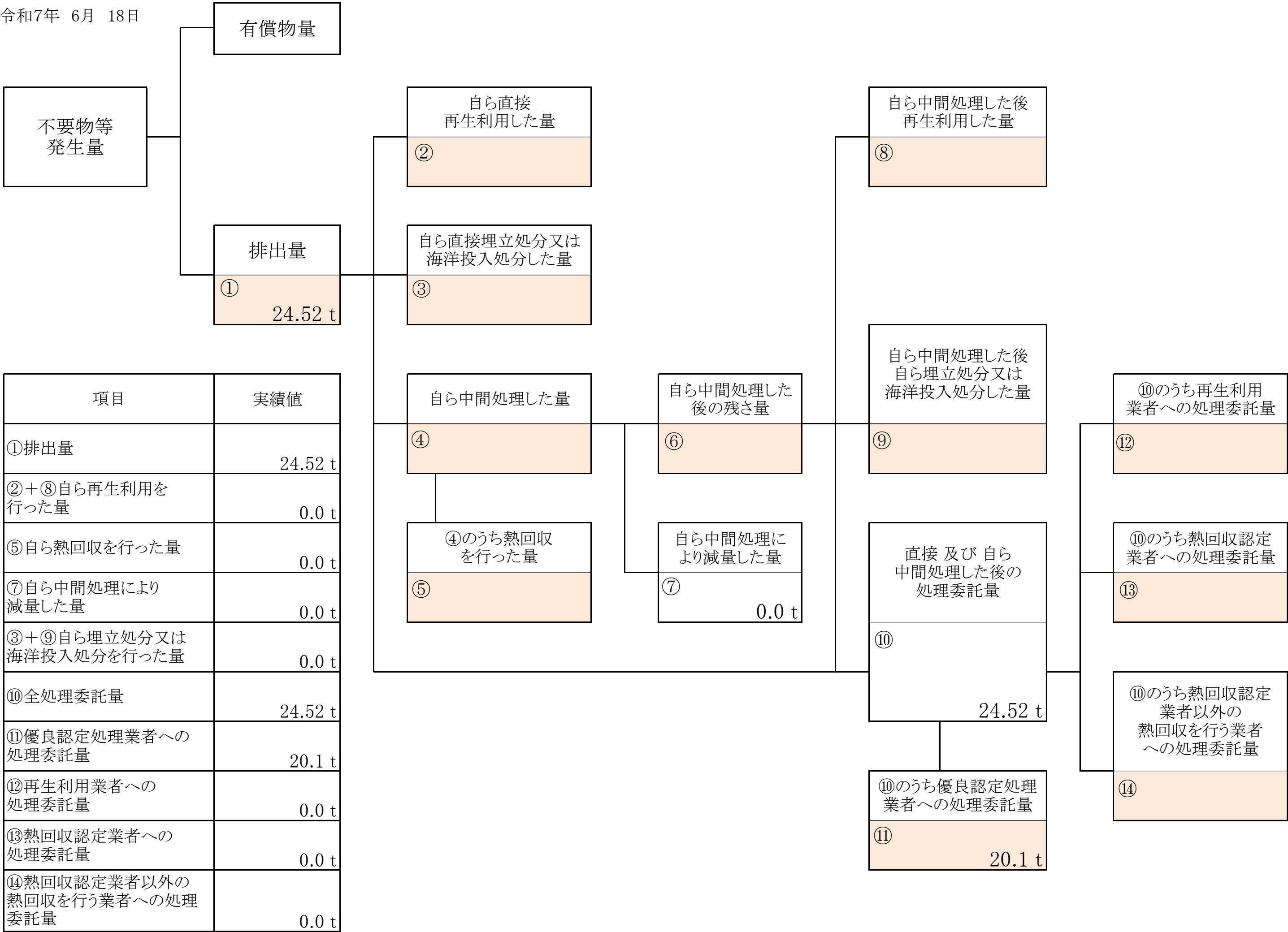
令和7年 6月 18日



計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: 混合廃棄物)

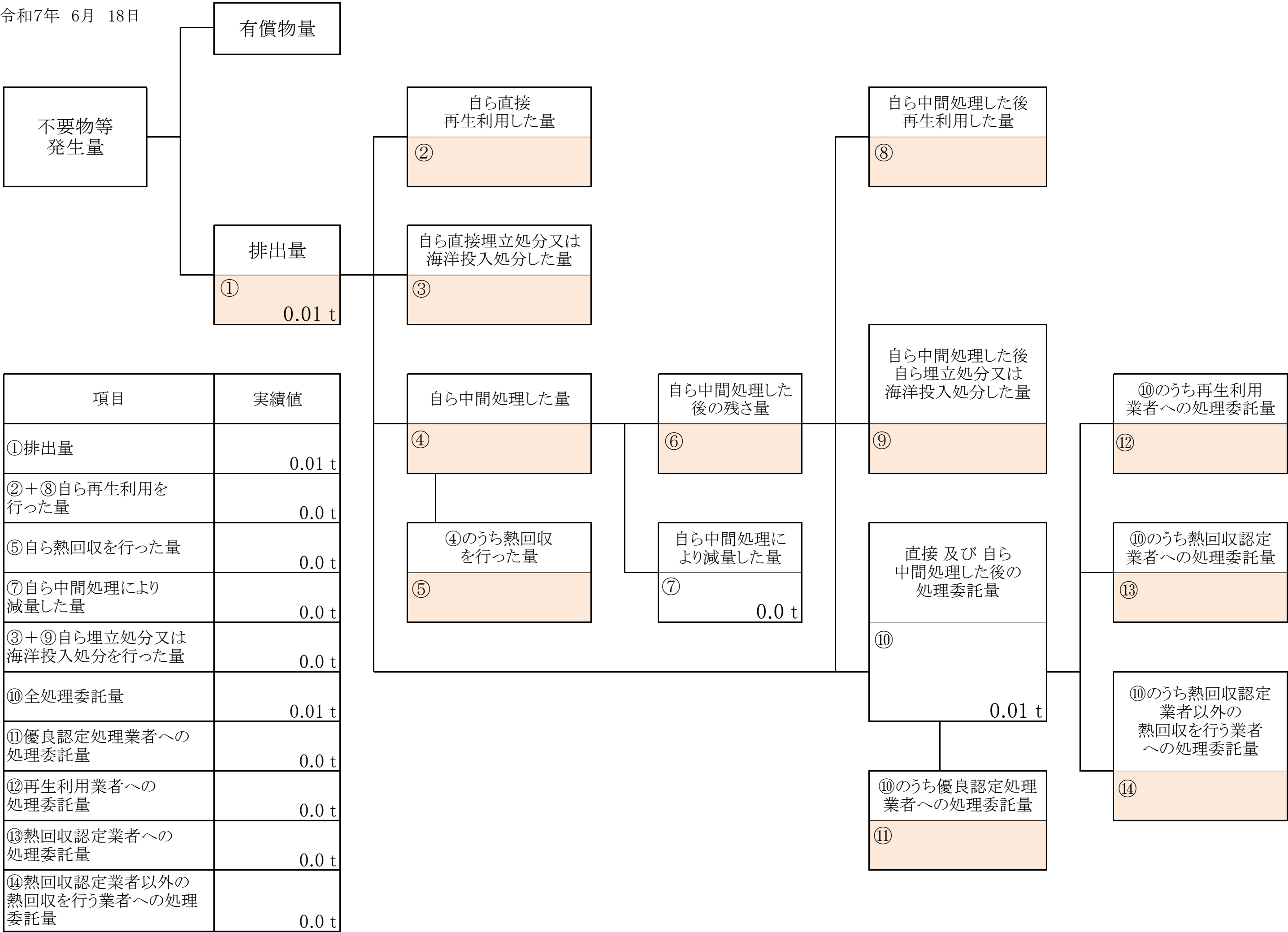
令和7年 6月 18日



計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: 水銀使用製品産業廃棄物)

令和7年 6月 18日



様式第二号の十三(第八条の十七の二関係)

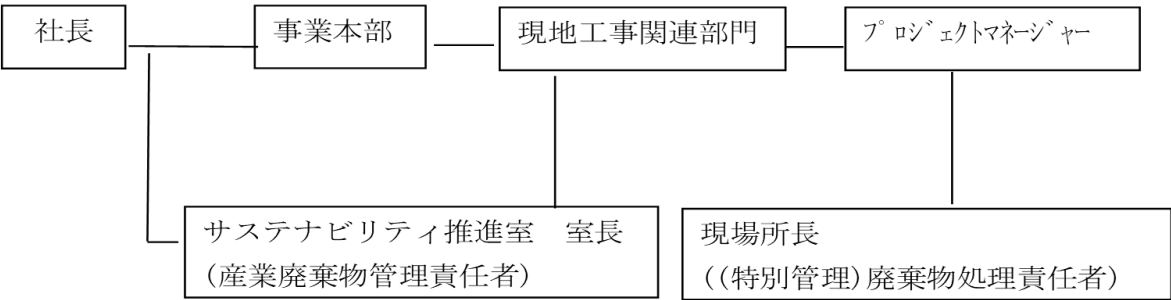
(第1面)

特別管理産業廃棄物処理計画書	
令和7年6月18日	
千葉県知事 殿	
提出者 〒559-8559	
住 所 大阪府大阪市住之江区南港北1丁目7番89号	
氏 名 カナデビア株式会社 取締役社長 桑原道 (法人にあつては、名称及び代表者の氏名)	
電話番号 06-6569-0160	
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条の2第10項の規定に基づき、特別管理産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。	
事業場の名称	カナデビア株式会社 東京本社
事業場の所在地	東京都品川区南大井6丁目2番3号(伊地山クリーンセンターほか)
計画期間	令和7年4月1日から令和8年3月31日まで
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	D06ー総合工事業
②事業の規模	元請完成工事高 ￥30,331,137,432-
③従業員数	647名
④特別管理産業廃棄物の一連の処理の工程	・燃え殻→混練→埋立

(第2面)

特別管理産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)



特別管理産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類	引火性廃油	強酸
	排出量	0.032 t	7.5 t
	(これまでに実施した取組) ・ごみ焼却施設の保守点検、補修工事が主であり、排出量を抑制することは難しい。		
②計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類	引火性廃油	強酸
	排出量	t	t
	(今後実施する予定の取組) ・ごみ焼却施設の保守点検、補修工事であり、昨年度よりも補修範囲が増えるため、排出量は昨年度と比べて増加する見込み（伊地山）。 ・定期点検により排出量の削減に努める。		

特別管理産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している特別管理産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・特別管理産業廃棄物の保管基準に従って種類毎に保管 ・保管場所は、分別特管名と処理責任者名を表示
②計画	(今後分別する予定の特別管理産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・維持管理

自ら行う特別管理産業廃棄物の再生利用に関する事項			
①現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類	引火性廃油	強酸
	自ら再生利用を行った特別管理産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組) ・自らは行っていない。		
②計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類	引火性廃油	強酸
	自ら再生利用を行う特別管理産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組) ・自らは行わない。		
自ら行う特別管理産業廃棄物の中間処理に関する事項			
①現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類	引火性廃油	強酸
	自ら熱回収を行った特別管理産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した特別管理産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組) ・自らは行っていない。		
②計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類	引火性廃油	強酸
	自ら熱回収を行う特別管理産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する特別管理産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組) ・自らは行わない。		

(第4面)

自ら行う特別管理産業廃棄物の埋立処分に関する事項			
①現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類	引火性廃油	強酸
	自ら埋立処分を行なった特別管理産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組) ・自らは行っていない。		
②計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類	引火性廃油	強酸
	自ら埋立処分を行う特別管理産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組) ・自らは行わない。		
特別管理産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
①現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類	引火性廃油	強酸
	全処理委託量	0.032 t	7.5 t
	優良認定処理業者への処理委託量	0.032 t	7.5 t
	再生利用業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	(これまでに実施した取組) 燃え殻：コンクリート固化処理、管理型埋立処理を行っている。		

②計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類	引火性廃油	強酸
	全 処 理 委 託 量	t	t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	t	t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者への処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱 回収を行う業者への処理 委 託 量	t	t
	(今後実施する予定の取組) 現状の取組を維持する。		
電子情報処理組織の使用 に関する事項	【前年度（令和6年度）実績】		
	特 別 管 理 産 業 廃 棄 物 排 出 量 (ポリ塩化ビフェニル廃棄物を除く。)	105.2	t
	(今後実施する予定の取組等) 特別管理産業廃棄物を排出する現場は、電子マニフェストを導入する。		
※事務処理欄			

特別管理産業廃棄物の排出の抑制に関する事項									
①現状	【前年度（令和6年度）実績】								
	特別管理産業廃棄物の種類	強アルカリ	廃石綿等	燃え殻	ばいじん				
	排出量	1.82 t	t	95.89 t	t	t	t	t	t
②計画	【目標】								
	特別管理産業廃棄物の種類	強アルカリ	廃石綿等	燃え殻	ばいじん				
	排出量	t	t	82 t	t	t	t	t	t
自ら行う特別管理産業廃棄物の再生利用に関する事項									
①現状	【前年度（令和6年度）実績】								
	特別管理産業廃棄物の種類	強アルカリ	廃石綿等	燃え殻	ばいじん				
	自ら再生利用を行った 特別管理産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
	【目標】								
②計画	特別管理産業廃棄物の種類	強アルカリ	廃石綿等	燃え殻	ばいじん				
	自ら再生利用を行う 特別管理産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
	【目標】								
自ら行う特別管理産業廃棄物の中間処理に関する事項									
①現状	【前年度（令和6年度）実績】								
	特別管理産業廃棄物の種類	強アルカリ	廃石綿等	燃え殻	ばいじん				
	自ら熱回収を行った 特別管理産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
	自ら中間処理により減量した 特別管理産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
②計画	【目標】								
	特別管理産業廃棄物の種類	強アルカリ	廃石綿等	燃え殻	ばいじん				
	自ら熱回収を行う 特別管理産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
	自ら中間処理により減量する 特別管理産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t

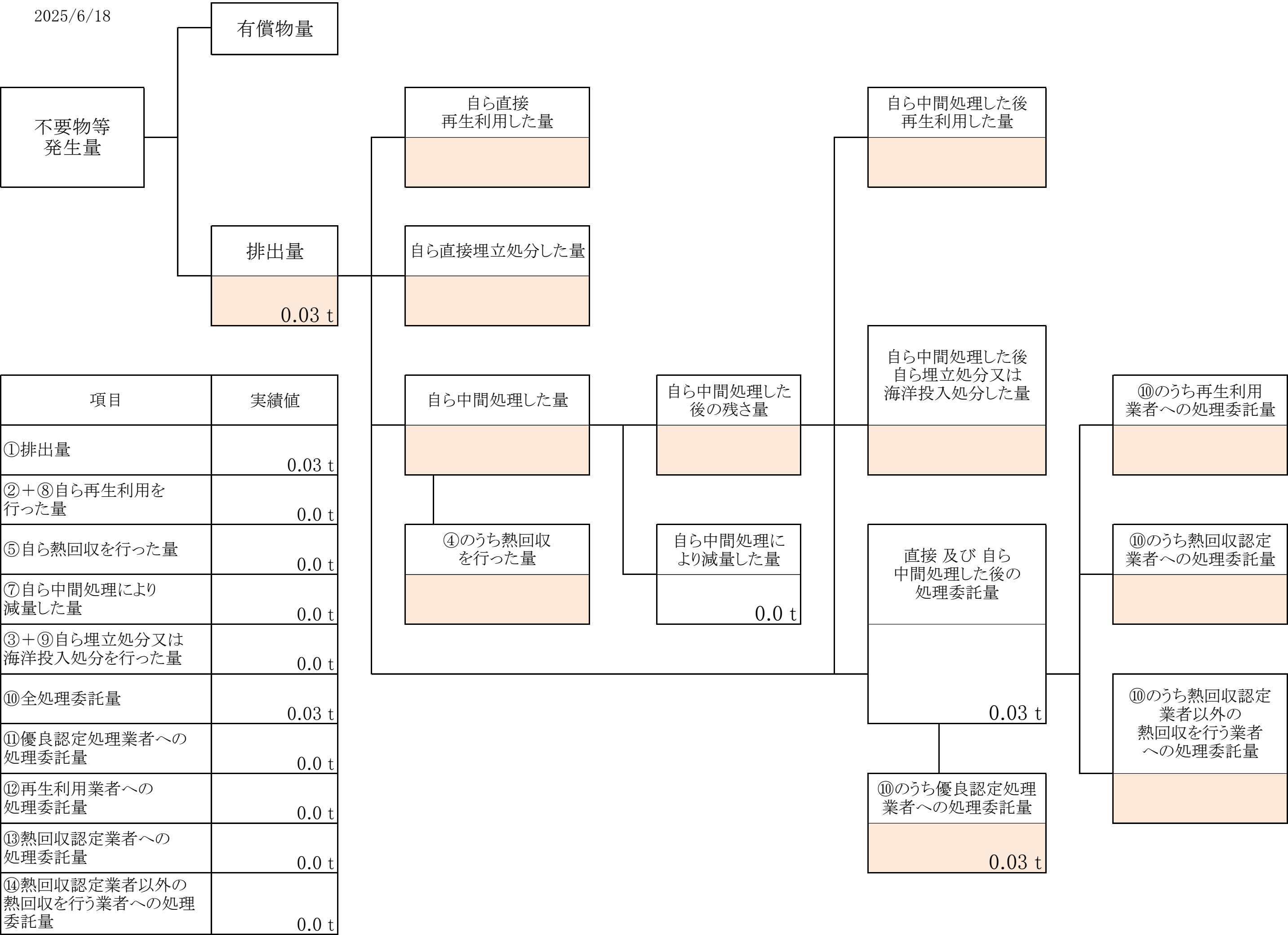
自ら行う特別管理産業廃棄物の埋立処分に関する事項									
①現状	【前年度（令和6年度）実績】								
	特別管理産業廃棄物の種類	強アルカリ	廃石綿等	燃え殻	ばいじん				
	自ら埋立処分を行った特別管理産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
②計画	【目標】								
	特別管理産業廃棄物の種類	強アルカリ	廃石綿等	燃え殻	ばいじん				
	自ら埋立処分を行う特別管理産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
特別管理産業廃棄物の処理の委託に関する事項									
①現状	【前年度（令和6年度）実績】								
	特別管理産業廃棄物の種類	強アルカリ	廃石綿等	燃え殻	ばいじん				
	全処理委託量	1.82 t	t	95.89 t	t	t	t	t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	1.82 t	t	t	t	t	t	t	t
	再生利用業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t
②計画	【目標】								
	特別管理産業廃棄物の種類	強アルカリ	廃石綿等	燃え殻	ばいじん				
	全処理委託量	t	t	82 t	t	t	t	t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t
	再生利用業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t

特別管理産業廃棄物処理計画実施状況報告書			
令和7年6月18日			
千葉県知事 熊谷 俊人 殿			
提出者 〒559-8559			
住 所 大阪府大阪市住之江区南港北1丁目7番89号			
氏 名 カナデビア株式会社 取締役社長 桑原道			
(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)			
電話番号 06-6569-0160			
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、令和 6年度の特別管理産業 廃棄物処理計画の実施状況を報告します。			
事業場の名称		カナデビア株式会社 東京本社	
事業場の所在地		東京都品川区南大井6丁目26番3号 (現場:千葉県館山市ほか)	
事業の種類		D06ー総合工事業	
特別管理産業廃棄物処理計画 における計画期間		令和6年4月1日から令和7年3月31日まで	
特別管理産業廃棄物処理計画における目標値			
項目		目標値	
排出量		67.0 t	
自ら再生利用を行う 特別管理産業廃棄物の量		優良認定処理業者への 処理委託量	
自ら熱回収を行う 特別管理産業廃棄物の量		再生利用業者への 処理委託量	
自ら中間処理により減量する 特別管理産業廃棄物の量		認定熱回収業者への 処理委託量	
自ら埋立処分 を行う 特別管理産業廃棄物の量		認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	
電子情報処理組織の使用に関する事項			
特別管理産業廃棄物排出量 (ポリ塩化ビフェニル廃棄物を除く。)		前々年度	175.8 t
		前年度	105.2 t
(電子情報処理組織の使用に関して実施した取組)			
特別管理産業廃棄物を排出する現場は、電子マニフェストを導入した。			
※事務処理欄			

計画の実施状況

(特別管理産業廃棄物の種類: 廃油(引火性廃油))

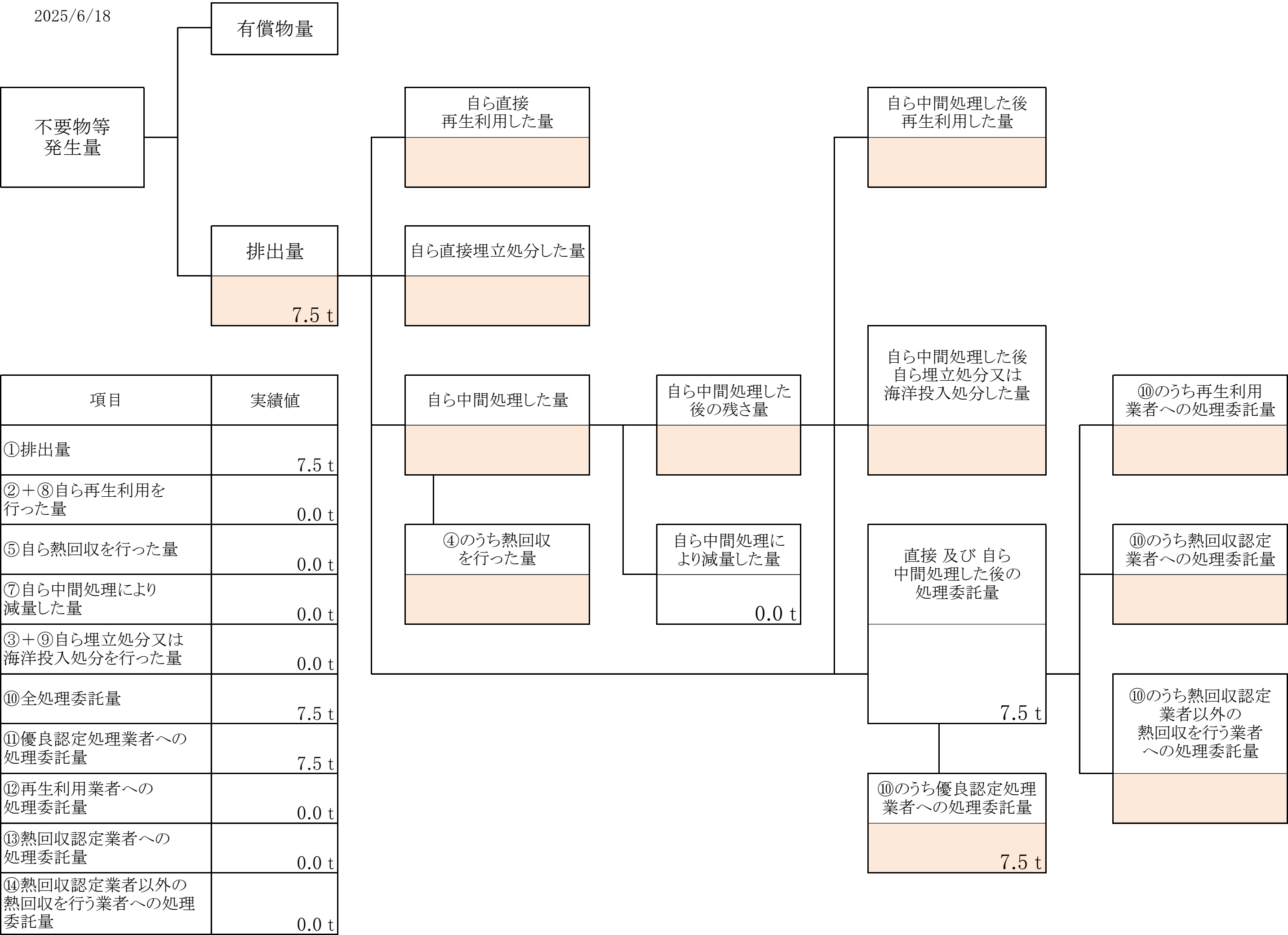
2025/6/18



計画の実施状況

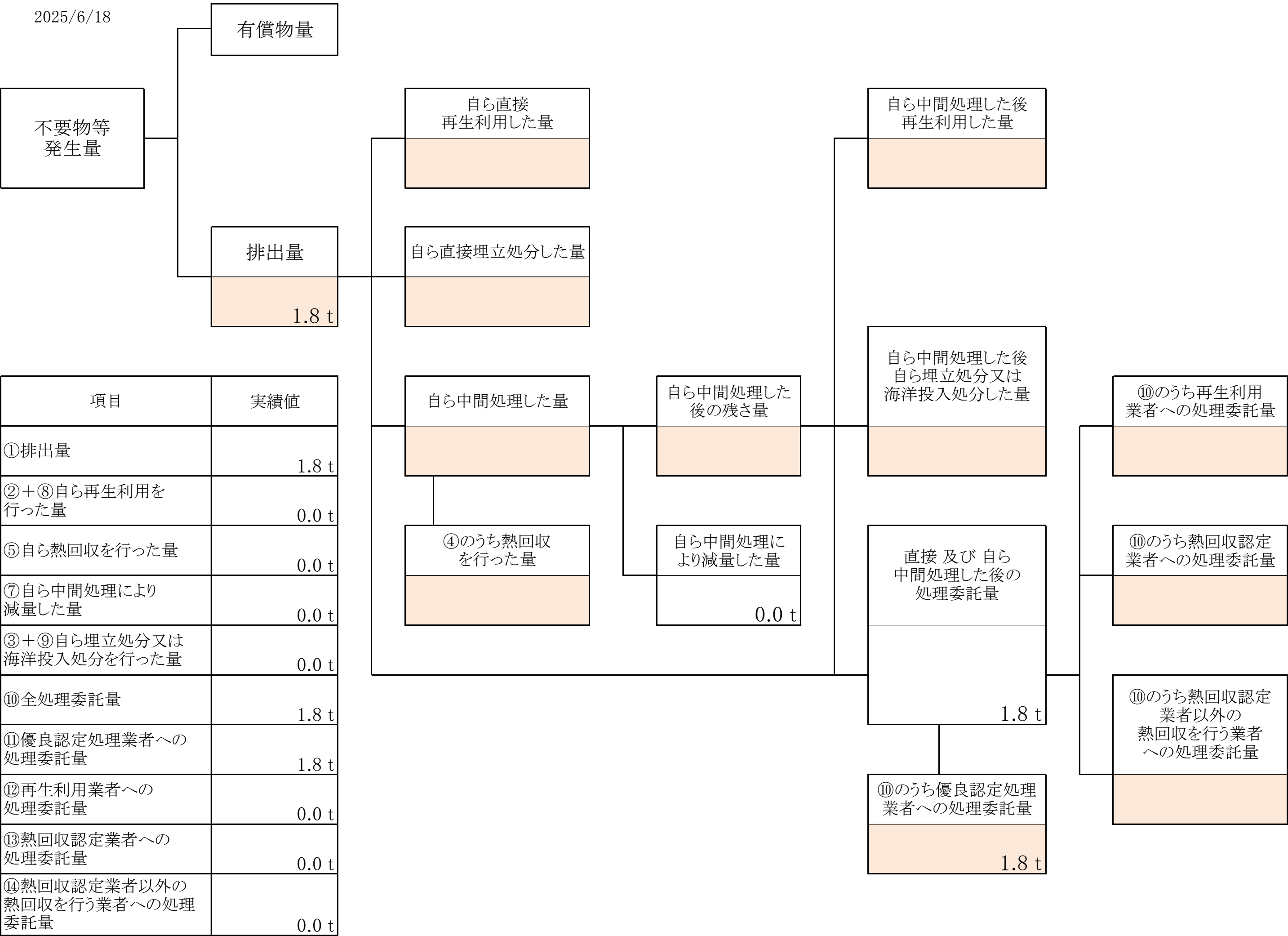
(特別管理産業廃棄物の種類: 廃酸(強廃酸))

2025/6/18



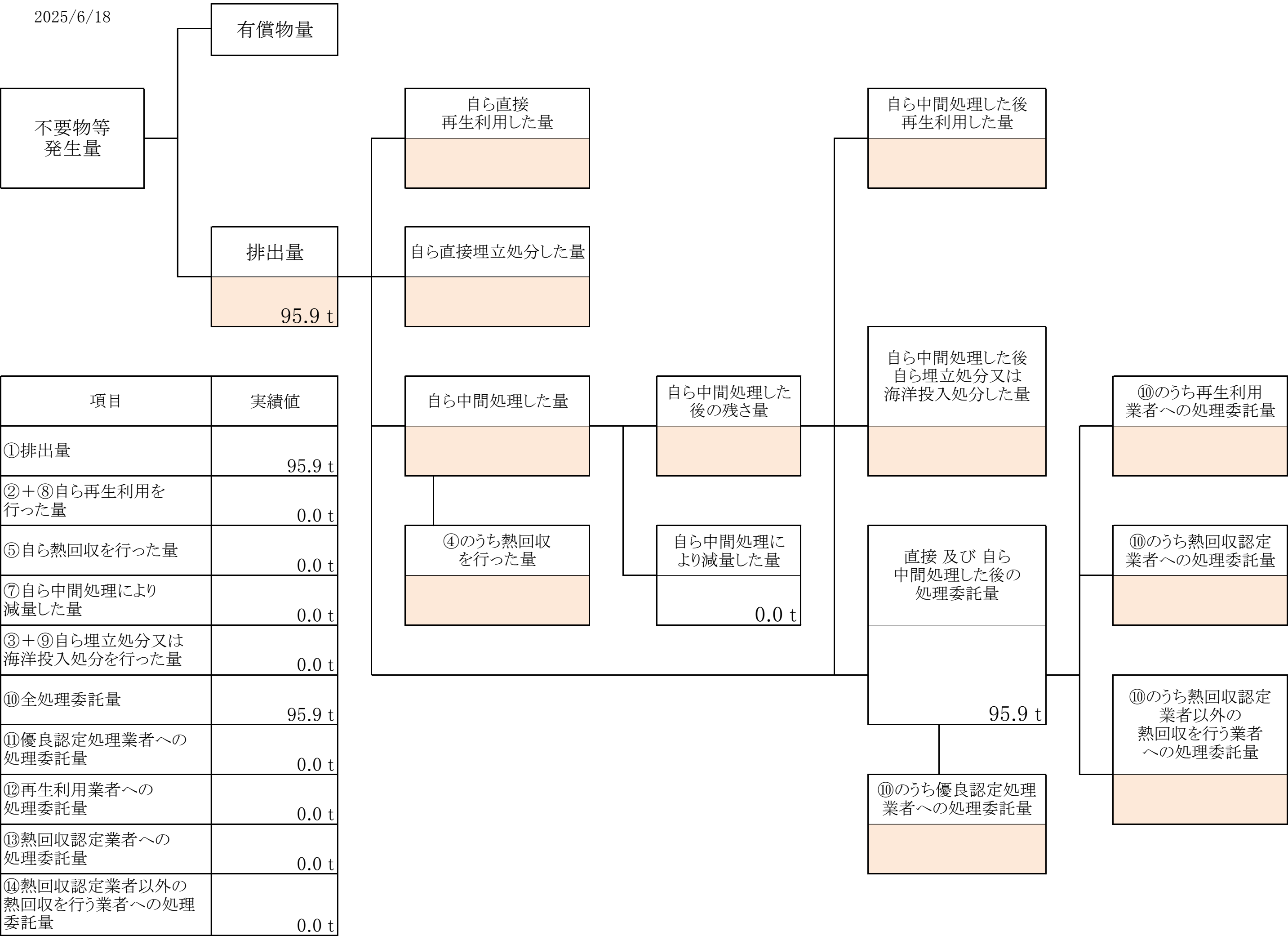
計画の実施状況

(特別管理産業廃棄物の種類: 廃アルカリ(廃強アルカリ))



計画の実施状況

(特別管理産業廃棄物の種類: 燃え殻(特定有害産業廃棄物))



様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第 1 面）

産業廃棄物処理計画書

令和7年5月26日

千葉県知事
熊谷 俊人 殿

提出者 289-2241
住 所 千葉県香取郡多古町多古591番地
法人名 鎌形建設株式会社
代表者 鎌形 憲一
（法人にあつては、名称及び代表者の氏名）
電話番号 0479-76-2225

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	鎌形建設株式会社		
事業場の所在地	千葉県香取郡多古町多古591番地		
計画期間	令和7年4月1日	から	令和8年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項			
①事業の種類	大分類：	建設業	中分類： 総合工事業
②事業の規模	69 億円（令和5年度 完成工事高）		
③従業員数	83名		
④産業廃棄物の 一連の処理の工程	別添 1 処理工程図による		

（日本産業規格 A列4番）

(第2面)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項			
(管理体制図) 別添2 管理体制図による			
産業廃棄物の排出の抑制に関する事項			
①現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙集計表による	
	排出量	6,675.5 t	t
	(これまでに実施した取組) 作業所：分別の強化及び梱包の簡素化、木製パレットの再利用、カタログ類の電子データ利用推奨 総務部：コピー用紙の裏紙使用推進活動、文房具の再利用、電子データ利用による印刷削減		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙集計表による	
	排出量	6,007.98 t	t
	(今後実施する予定の取組) 各取組の継続		
産業廃棄物の分別に関する事項			
①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) がれき類：混合産業廃棄物にならないように、専用コンテナを設置する。 工事敷地に余裕がある場合は、トンパックコンテナを複数設置し分別をする。		
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 各取組の継続		

(第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
①現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙集計表による	
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0 t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙集計表による	
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0 t	t
	(今後実施する予定の取組)		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
①現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙集計表による	
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0 t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0 t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙集計表による	
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0 t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0 t	t
	(今後実施する予定の取組)		

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
①現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙集計表による	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0 t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙集計表による	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0 t	t
	(今後実施する予定の取組)		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
①現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙集計表による	
	全 処 理 委 託 量	6,675.5 t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	602.88 t	t
	再生利用業者への処理委託量	6,582.17 t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	0 t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	t
	(これまでに実施した取組)		
	優良認定処理業者利用の推進、再生委託業者利用の推進		

(第5面)

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙集計表による	
	全 処 理 委 託 量	6007.98 t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	542.59 t	t
	再生利用業者への処理委託量	5,923.98 t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	0 t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	t
	(今後実施する予定の取組) 各取組の継続		
※事務処理欄			

(第6面)

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1) ①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2) ②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3) ④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

[illegible]

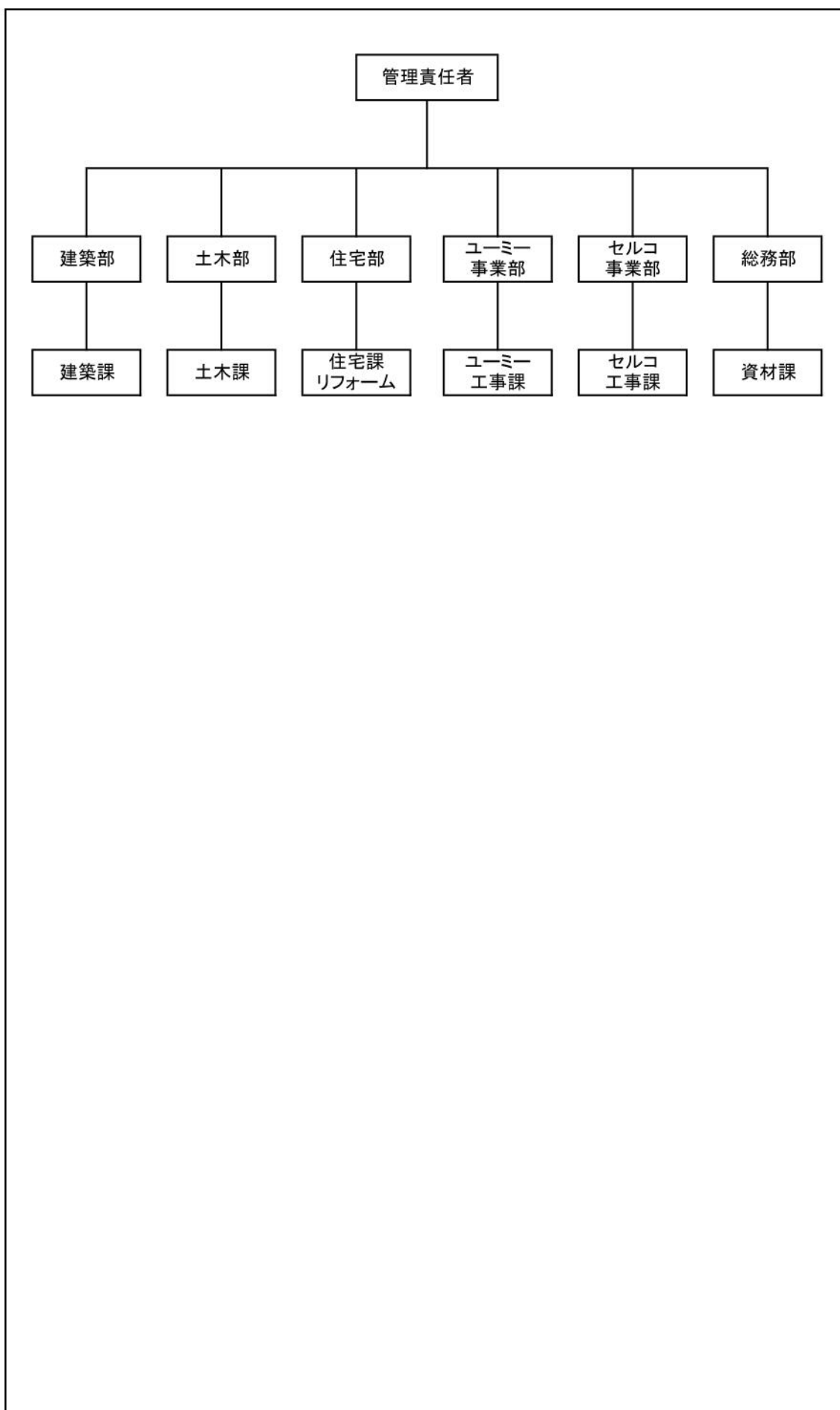
自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

[illegible]

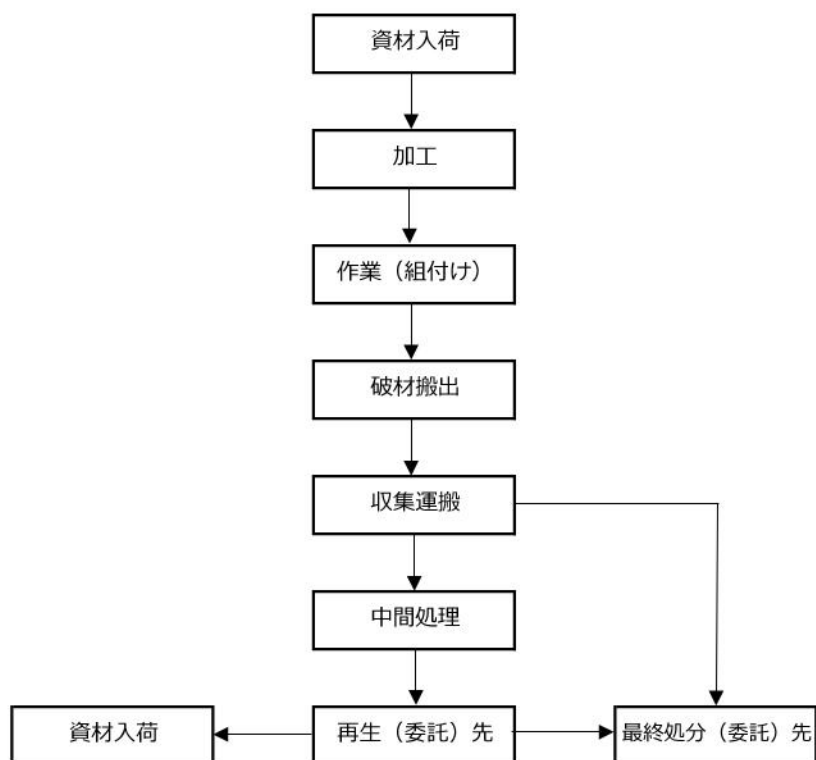
産業廃棄物の処理の委託に関する事項

[illegible]

別添2 管理体制図



別添 1 処理工程図



- ・ 汚泥
- ・ 廃アルカリ
- ・ 廃プラスチック類
- ・ ガラス・コンクリート・陶磁器くず
- ・ がれき類（コンクリート塊、アスファルトコンクリート塊）
- ・ 紙くず
- ・ 木くず
- ・ 繊維くず
- ・ 金属くず
- ・ 廃石膏ボード
- ・ 建設混合廃棄物（管理型混合廃棄物、安定型混合廃棄物）
- ・ 建設混合廃棄物（石綿含有）
- ・ がれき類（石綿含有）
- ・ 廃プラスチック（石綿含有）
- ・ ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず（石綿含有）（非飛散性）
- ・ 水銀使用製品

(第1面)

産業廃棄物処理計画実施状況報告書			
令和7年5月26日			
千葉県知事 熊谷 俊人 殿			
提出者 289-2241			
住所 千葉県香取郡多古町多古591番地			
法人名 鎌形建設株式会社			
代表者 鎌形 憲一			
(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)			
電話番号 0479-76-2225			
産業廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、令和 6 年度の産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。			
事業場の名称	鎌形建設株式会社		
事業場の所在地	千葉県香取郡多古町多古591番地		
事業の種類	大分類 建設業 中分類 総合工事業		
産業廃棄物処理計画における計画期間	令和6年4月1日 から 令和7年3月31日		
産業廃棄物処理計画における目標値			
項目	目標値	項目	目標値
排出量	4,701.79 t	全処理委託量	4,701.79 t
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0 t	優良認定処理業者への処理委託量	512.37 t
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0 t	再生利用業者への処理委託量	3,262.79 t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0 t	認定熱回収業者への処理委託量	0 t
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0 t	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t

N0.1

(第2面)

計画の実施状況 (産業廃棄物の種類: 汚泥)

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

不要物等発生量

有償物量

②自ら直接再生利用した量
0.0 t

③自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量
0.0 t

④自ら中間処理した量
0.0 t

⑤ ④のうち熱回収を行った量
0.0 t

⑥自ら中間処理した後の残さ量
0.0 t

⑦自ら中間処理により減量した量
0.0 t

⑧自ら中間処理した後再生利用した量
0.0 t

⑨自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
0.0 t

⑩直接及び自ら中間処理した後の処理委託量
2462.5 t

⑪ ⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量
0.0 t

⑫ ⑩のうち再生利用業者への処理委託量
2,462.50

⑬ ⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量
0.0 t

⑭ ⑩のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量
0.0 t

①排出量
2462.5t

項目	実績値
①排出量	2462.5 t
②+⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	2462.5 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	2,462.50
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: 廃プラスチック類)

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

不要物等発生量

有償物量

②自ら直接再生利用した量
0.0 t

③自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量
0.0 t

④自ら中間処理した量
0.0 t

⑤ ④のうち熱回収を行った量
0.0 t

⑥自ら中間処理した後の残さ量
0.0 t

⑦自ら中間処理により減量した量
0.0 t

⑧自ら中間処理した後再生利用した量
0.0 t

⑨自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
0.0 t

⑩直接及び自ら中間処理した後の処理委託量
85.2 t

⑪ ⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量
44.0 t

①排出量
85.2 t

③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量
0.0 t

⑩全処理委託量
85.2 t

⑪優良認定処理業者への処理委託量
44.0 t

⑫再生利用業者への処理委託量
85.2 t

⑬熱回収認定業者への処理委託量
0.0 t

⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量
0.0 t

⑫ ⑩のうち再生利用業者への処理委託量
85.2 t

⑬ ⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量
0.0 t

⑭ ⑩のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量
0.0 t

項目	実績値
①排出量	85.2 t
②+⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	85.2 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	44.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	85.2 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: 紙くず)

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

不要物等発生量

有償物量

②自ら直接再生利用した量
0.0 t

③自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量
0.0 t

⑧自ら中間処理した後再生利用した量
0.0 t

①排出量
34.1 t

④自ら中間処理した量
0.0 t

⑥自ら中間処理した後の残さ量
0.0 t

⑨自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
0.0 t

⑤④のうち熱回収を行った量
0.0 t

⑦自ら中間処理により減量した量
0.0 t

⑩直接及び自ら中間処理した後の処理委託量
34.1 t

⑪⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量
14.5 t

⑫⑩のうち再生利用業者への処理委託量
34.1 t

⑬⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量
0.0 t

⑭⑩のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量
0.0 t

項目	実績値
①排出量	34.1 t
②+⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	34.1 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	14.5 t
⑫再生利用業者への処理委託量	34.1 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: 木くず)

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

不要物等発生量

有償物量

②自ら直接再生利用した量
0.0 t

③自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量
0.0 t

④自ら中間処理した量
0.0 t

⑤ ④のうち熱回収を行った量
0.0 t

⑥自ら中間処理した後の残さ量
0.0 t

⑦自ら中間処理により減量した量
0.0 t

⑧自ら中間処理した後再生利用した量
0.0 t

⑨自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
0.0 t

⑩直接及び自ら中間処理した後の処理委託量
394.0 t

⑪ ⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量
161.6 t

①排出量
394.0 t

⑫ ⑩のうち再生利用業者への処理委託量
394.0 t

⑬ ⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量
0.0 t

⑭ ⑩のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量
0.0 t

項目	実績値
①排出量	394.0 t
②+⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	394.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	161.6 t
⑫再生利用業者への処理委託量	394.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: 繊維くず)

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

不要物等発生量

有償物量

②自ら直接再生利用した量
0.0 t

③自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量
0.0 t

⑧自ら中間処理した後再生利用した量
0.0 t

①排出量
0.3t

④自ら中間処理した量
0.0 t

⑥自ら中間処理した後の残さ量
0.0 t

⑨自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
0.0t

⑤自ら熱回収を行った量
0.0 t

⑦自ら中間処理により減量した量
0.0 t

⑩直接及び自ら中間処理した後の処理委託量
0.3 t

⑪ ⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量
0.0 t

⑫ ⑩のうち再生利用業者への処理委託量
0.3 t

⑬ ⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量
0.0 t

⑭ ⑩のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量
0.0 t

項目	実績値
①排出量	0.3 t
②+⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.3 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.3 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: 金属くず)

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

不要物等発生量

有償物量

②自ら直接再生利用した量
0.0 t

③自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量
0.0 t

④自ら中間処理した量
0.0 t

⑤ ④のうち熱回収を行った量
0.0 t

⑥自ら中間処理した後の残さ量
0.0 t

⑦自ら中間処理により減量した量
0.0 t

⑧自ら中間処理した後再生利用した量
0.0 t

⑨自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
0.0 t

⑩直接及び自ら中間処理した後の処理委託量
15.5 t

⑪ ⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量
4.0 t

①排出量
15.5 t

③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量
0.0 t

⑩全処理委託量
15.5 t

⑪優良認定処理業者への処理委託量
4.0 t

⑫再生利用業者への処理委託量
15.5 t

⑬熱回収認定業者への処理委託量
0.0 t

⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量
0.0 t

⑫ ⑩のうち再生利用業者への処理委託量
15.5 t

⑬ ⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量
0.0 t

⑭ ⑩のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量
0.0 t

項目	実績値
①排出量	15.5 t
②+⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	15.5 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	4.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	15.5 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: ガラス陶磁器等くず)

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

不要物等発生量

有償物量

②自ら直接再生利用した量
0.0 t

③自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量
0.0 t

⑧自ら中間処理した後再生利用した量
0.0 t

①排出量
88.6t

④自ら中間処理した量
0.0 t

⑥自ら中間処理した後の残さ量
0.0 t

⑨自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
0.0t

⑤ ④のうち熱回収を行った量
0.0 t

⑦自ら中間処理により減量した量
0.0 t

⑩直接及び自ら中間処理した後の処理委託量
88.6 t

⑪ ⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量
29.6 t

⑫ ⑩のうち再生利用業者への処理委託量
88.6 t

⑬ ⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量
0.0 t

⑭ ⑩のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量
0.0 t

項目	実績値
①排出量	88.6 t
②+⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	88.6 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	29.6 t
⑫再生利用業者への処理委託量	88.6 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: 廃石膏ボード)

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

不要物等発生量

有償物量

②自ら直接再生利用した量
0.0 t

③自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量
0.0 t

④自ら中間処理した量
0.0 t

⑤ ④のうち熱回収を行った量
0.0 t

⑥自ら中間処理した後の残さ量
0.0 t

⑦自ら中間処理により減量した量
0.0 t

⑧自ら中間処理した後再生利用した量
0.0 t

⑨自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
0.0 t

⑩直接及び自ら中間処理した後の処理委託量
105.5 t

⑪ ⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量
63.1 t

①排出量
105.5 t

③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量
0.0 t

⑩全処理委託量
105.5 t

⑪優良認定処理業者への処理委託量
63.1 t

⑫再生利用業者への処理委託量
105.5 t

⑬熱回収認定業者への処理委託量
0.0 t

⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量
0.0 t

⑫ ⑩のうち再生利用業者への処理委託量
105.5 t

⑬ ⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量
0.0 t

⑭ ⑩のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量
0.0 t

項目	実績値
①排出量	105.5 t
②+⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	105.5 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	63.1 t
⑫再生利用業者への処理委託量	105.5 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: コンクリート片)

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

不要物等発生量

有償物量

②自ら直接再生利用した量
0.0 t

③自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量
0.0 t

⑧自ら中間処理した後再生利用した量
0.0 t

①排出量
1118.1t

④自ら中間処理した量
0.0 t

⑥自ら中間処理した後の残さ量
0.0 t

⑨自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
0.0t

⑤④のうち熱回収を行った量
0.0 t

⑦自ら中間処理により減量した量
0.0 t

⑩直接及び自ら中間処理した後の処理委託量
1118.1 t

⑪⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量
20.4 t

⑫⑩のうち再生利用業者への処理委託量
1,118.10

⑬⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量
0.0 t

⑭⑩のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量
0.0 t

項目	実績値
①排出量	1118.1 t
②+⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	1118.1 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	20.4 t
⑫再生利用業者への処理委託量	1,118.10
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: アス・コン片)

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

不要物等発生量

有償物量

②自ら直接再生利用した量
0.0 t

③自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量
0.0 t

⑧自ら中間処理した後再生利用した量
0.0 t

①排出量
1875.3t

④自ら中間処理した量
0.0 t

⑥自ら中間処理した後の残さ量
0.0 t

⑨自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
0.0t

⑤④のうち熱回収を行った量
0.0 t

⑦自ら中間処理により減量した量
0.0 t

⑩直接及び自ら中間処理した後の処理委託量
1875.3 t

⑪⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量
3.7 t

⑫⑩のうち再生利用業者への処理委託量
1,875.34

⑬⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量
0.0 t

⑭⑩のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量
0.0 t

項目	実績値
①排出量	1875.3 t
②+⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	1875.3 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	3.7 t
⑫再生利用業者への処理委託量	1,875.34
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: その他がれき類)

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

不要物等発生量

有償物量

②自ら直接再生利用した量
0.0 t

③自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量
0.0 t

④自ら中間処理した量
0.0 t

⑤ ④のうち熱回収を行った量
0.0 t

⑥自ら中間処理した後の残さ量
0.0 t

⑦自ら中間処理により減量した量
0.0 t

⑧自ら中間処理した後再生利用した量
0.0 t

⑨自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
0.0 t

⑩直接及び自ら中間処理した後の処理委託量
254.4 t

⑪ ⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量
54.0 t

①排出量
254.4 t

⑫ ⑩のうち再生利用業者への処理委託量
168.6 t

⑬ ⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量
0.0 t

⑭ ⑩のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量
0.0 t

項目	実績値
①排出量	254.4 t
②+⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	254.4 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	54.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	168.6 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

計画の実施状況 (産業廃棄物の種類: 建設混合廃棄物(安定型))

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

不要物等発生量	有償物量		②自ら直接再生利用した量	⑧自ら中間処理した後再生利用した量																						
			0.0 t	0.0 t																						
	①排出量		③自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量																							
	1.2t		0.0 t																							
<table><thead><tr><th>項目</th><th>実績値</th></tr></thead><tbody><tr><td>①排出量</td><td>1.2 t</td></tr><tr><td>②+⑧自ら再生利用を行った量</td><td>0.0 t</td></tr><tr><td>⑤自ら熱回収を行った量</td><td>0.0 t</td></tr><tr><td>⑦自ら中間処理により減量した量</td><td>0.0 t</td></tr><tr><td>③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量</td><td>0.0 t</td></tr><tr><td>⑩全処理委託量</td><td>1.2 t</td></tr><tr><td>⑪優良認定処理業者への処理委託量</td><td>0.0 t</td></tr><tr><td>⑫再生利用業者への処理委託量</td><td>1.2 t</td></tr><tr><td>⑬熱回収認定業者への処理委託量</td><td>0.0 t</td></tr><tr><td>⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量</td><td>0.0 t</td></tr></tbody></table>	項目	実績値	①排出量	1.2 t	②+⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t	⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t	⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t	③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t	⑩全処理委託量	1.2 t	⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t	⑫再生利用業者への処理委託量	1.2 t	⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t	⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t	④自ら中間処理した量	⑥自ら中間処理した後の残さ量	⑨自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量	⑫ ⑩のうち再生利用業者への処理委託量
	項目	実績値																								
	①排出量	1.2 t																								
	②+⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t																								
	⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t																								
	⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t																								
	③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t																								
	⑩全処理委託量	1.2 t																								
	⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t																								
	⑫再生利用業者への処理委託量	1.2 t																								
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t																									
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t																									
	0.0 t	0.0 t	0.0t	1.2 t																						
	⑤ ④のうち熱回収を行った量	⑦自ら中間処理により減量した量		⑬ ⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量																						
	0.0 t	0.0 t		0.0 t																						
			⑩直接及び自ら中間処理した後の処理委託量	⑭ ⑩のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量																						
			1.2 t																							
			⑪ ⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量																							
			0.0 t	0.0 t																						

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: 建設混合廃棄物(管理型))

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

不要物等発生量

有償物量

②自ら直接再生利用した量
0.0 t

③自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量
0.0 t

④自ら中間処理した量
0.0 t

⑤ ④のうち熱回収を行った量
0.0 t

⑥自ら中間処理した後の残さ量
0.0 t

⑦自ら中間処理により減量した量
0.0 t

⑧自ら中間処理した後再生利用した量
0.0 t

⑨自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
0.0 t

⑩直接及び自ら中間処理した後の処理委託量
233.4 t

⑪ ⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量
200.5 t

①排出量
233.4 t

③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量
0.0 t

⑩全処理委託量
233.4 t

⑪優良認定処理業者への処理委託量
200.5 t

⑫再生利用業者への処理委託量
233.4 t

⑬熱回収認定業者への処理委託量
0.0 t

⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量
0.0 t

⑫ ⑩のうち再生利用業者への処理委託量
233.4 t

⑬ ⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量
0.0 t

⑭ ⑩のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量
0.0 t

項目	実績値
①排出量	233.4 t
②+⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	233.4 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	200.5 t
⑫再生利用業者への処理委託量	233.4 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

計画の実施状況 (産業廃棄物の種類: 石綿含有産業廃棄物)

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

不要物等発生量	有償物量		②自ら直接再生利用した量	⑧自ら中間処理した後再生利用した量	
			0.0 t	0.0 t	
	①排出量	7.5t	③自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量		
			0.0 t		
		④自ら中間処理した量	⑥自ら中間処理した後の残さ量	⑨自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量	⑫ ⑩のうち再生利用業者への処理委託量
		0.0 t	0.0 t	0.0t	0.0 t
		⑤ ④のうち熱回収を行った量	⑦自ら中間処理により減量した量		⑬ ⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量
		0.0 t	0.0 t		0.0 t
				⑩直接及び自ら中間処理した後の処理委託量	⑭ ⑩のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量
				7.5 t	
				⑪ ⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
				7.5 t	
項目	実績値				
①排出量	7.5 t				
②+⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t				
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t				
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t				
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t				
⑩全処理委託量	7.5 t				
⑪優良認定処理業者への処理委託量	7.5 t				
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t				
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t				
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t				

備考

- 1 翌年度の6月30日までに提出すること。
- 2 「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
- 3 「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。
- 4 第2面には、前年度の産業廃棄物処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。
 - (1) ①欄 当該事業場において生じた産業廃棄物の量
 - (2) ②欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量
 - (3) ③欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
 - (4) ④欄 (1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量
 - (5) ⑤欄 (4)の量のうち、熱回収を行った量
 - (6) ⑥欄 自ら中間処理をした後の量
 - (7) ⑦欄 (4)の量から(6)の量を差し引いた量
 - (8) ⑧欄 (6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量
 - (9) ⑨欄 (6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量
 - (10) ⑩欄 中間処理及び最終処分を委託した量
 - (11) ⑪欄 (10)の量のうち、優良認定処理業者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者)への処理委託量
 - (12) ⑫欄 (10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量
 - (13) ⑬欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者)である処理業者への焼却処理委託量
 - (14) ⑭欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量
- 5 第2面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。
- 6 産業廃棄物の種類が2以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。

（第1面）

産業廃棄物処理計画書

令和7年6月26日

千葉県知事 殿

提出者

住 所 愛知県名古屋市中村区千成通6丁目16番地

氏 名 株式会社 神谷商会

代表取締役 神谷哲治

（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）

電話番号 052-482-5662

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	株式会社 神谷商会
事業場の所在地	愛知県名古屋市中村区千成通6丁目16番地（現場：習志野市）
計画期間	令和7年4月1日～令和8年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	建設業/ 総合工事業
②事業の規模	元請完成工事高 129,000,000円
③従業員数	67人
④産業廃棄物の一連の処理の工程	別添1 処理工程図のとおり

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

別添2 管理体制図のとおり

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙集計表のとおり	—
	排 出 量	t	t
	（これまでに実施した取組） 分別解体を徹底し、金属くず、紙くずなどの専ら物は有価売却し、分別梱包した袋などは使いまわすことで産業廃棄物の排出の抑制をしている。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙集計表のとおり	—
	排 出 量	t	t
	（今後実施する予定の取組） 同上		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） がれき類、ガラス陶磁器くず、廃プラスチック類、金属くず、紙くず、木くず、繊維くず、廃石膏ボードを、現場にて重機選別及び人海戦術で手選別
②計画	（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） 同上

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量	— t	t
	（これまでに実施した取組） コンクリートがらの一部は自社処分にて破砕処理を行い、再生路盤材（RC40.0）にて再生利用している。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	— t	t
	（今後実施する予定の取組） 同上		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量	— t	t
	自ら中間処理により減量した 産業廃棄物の量	— t	t
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量	— t	— t
	自ら中間処理により減量する 産業廃棄物の量	— t	— t
③計画	（今後実施する予定の取組） 同上		

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	— t	t
	（これまでに実施した取組） なし		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	— t	t
	（今後実施する予定の取組） 予定なし		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙集計表のとおり	
	全 処 理 委 託 量	t	t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	t	t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	t	t
	（これまでに実施した取組） 分別を推進し、再生処理事業者への処理委託。		

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙集計表のとおり	
	全 処 理 委 託 量	t	t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	t	t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
	同上		
※事務処理欄			

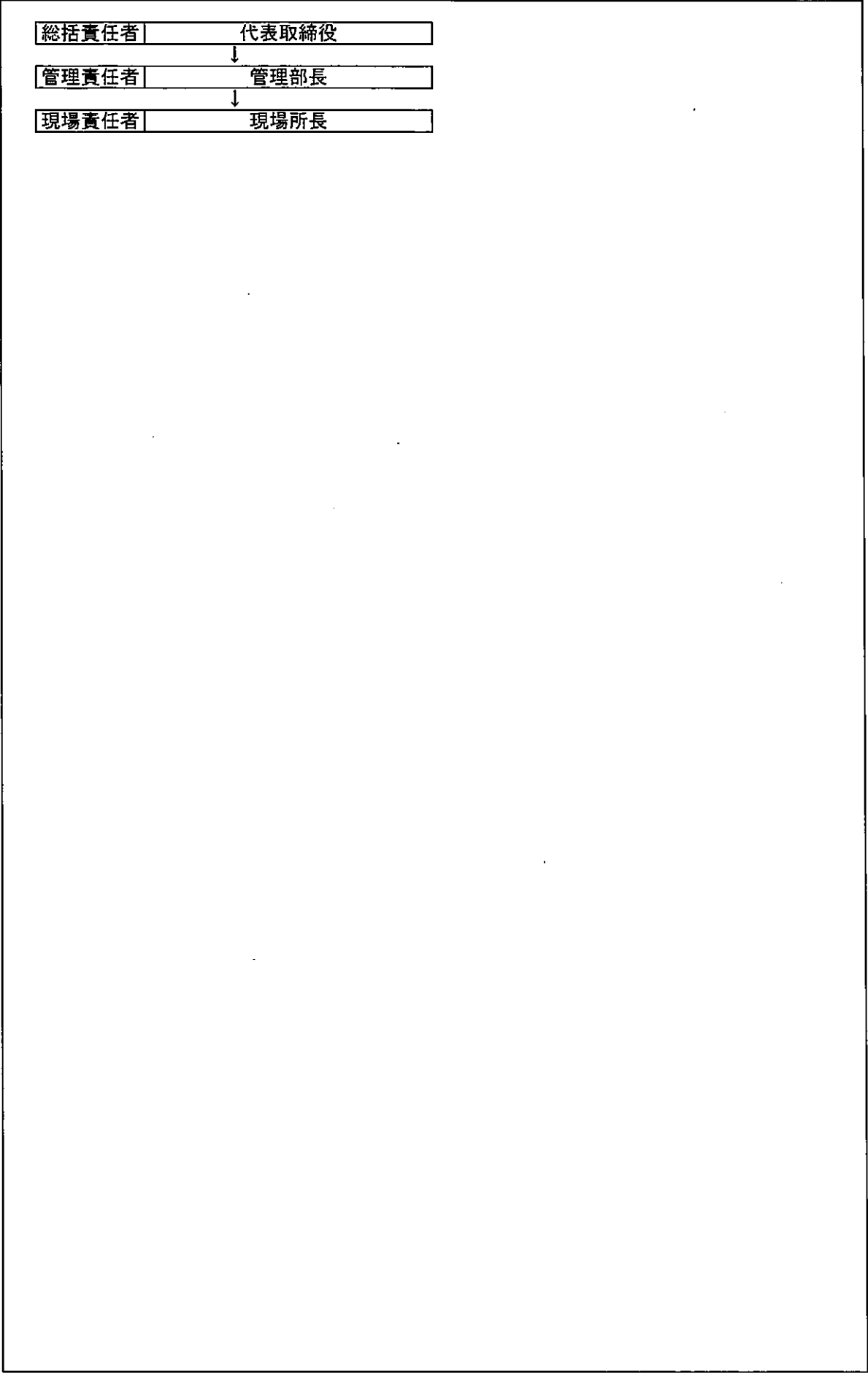
備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額(前年度実績)、建設業の場合における元請完成工事高(前年度実績)、医療機関の場合における病床数(前年度末時点)等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程(当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。)を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者)への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者)である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

別添 1 処理工程図

がれき類（コンクリートがら）	→自社運搬もしくは収集処理業者に委託 中間処理施設にて再生砕石として再資源化
がれき類（アスファルトがら）	→自社運搬もしくは収集処理業者に委託 中間処理施設にて再生合材として再資源化
がれき類	→自社運搬もしくは収集処理業者に委託 中間処理施設にて再生砕石として再資源化 中間処理施設にて選別後、再生処理施設へ搬出 埋め立て処分施設にて埋立
廃プラスチック類	→自社運搬もしくは収集処理業者に委託 中間処理施設にて再資源化 中間処理施設にて選別後、再生処理施設へ搬出 埋め立て処分施設にて埋立
金属くず	→自社運搬もしくは収集処理業者に委託 中間処理施設にて再資源化
紙くず	→自社運搬もしくは収集処理業者に委託 中間処理施設にて再資源化
木くず	→自社運搬もしくは収集処理業者に委託 中間処理施設にて再資源化 中間処理施設にて選別後、再生処理施設へ搬出
繊維くず	→自社運搬もしくは収集処理業者に委託 中間処理施設にて再資源化 中間処理施設にて選別後、再生処理施設へ搬出
廃石膏ボード	→自社運搬もしくは収集処理業者に委託 中間処理施設にて再資源化 中間処理施設にて選別後、再生処理施設へ搬出
石綿含有建材	→自社運搬もしくは収集処理業者に委託 埋め立て処分施設にて埋立

別添2 管理体制図



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項																
①現状	【前年度（令和6年度）実績】															
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	木くず	廃石膏ボード	コンクリート片	アス・コン片	その他がれき類	建設混合廃棄物（安定型）	建設混合廃棄物（管理型）	石綿含有産業廃棄物	水銀使用製品					
	排 出 量	34.50 t	113.05 t	84.45 t	4,062.00 t	84.60 t	617.45 t	16.51 t	56.67 t	25.16 t	24.00 t					
②計画	【目標】															
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	木くず	廃石膏ボード	コンクリート片	アス・コン片	その他がれき類	建設混合廃棄物（安定型）	建設混合廃棄物（管理型）	石綿含有産業廃棄物	水銀使用製品					
	排 出 量	31.05 t	101.75 t	76.01 t	3,655.80 t	76.14 t	555.71 t	14.86 t	51.16 t	22.64 t	21.60 t					
自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項																
①現状	【前年度（令和6年度）実績】															
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	木くず	廃石膏ボード	コンクリート片	アス・コン片	その他がれき類	建設混合廃棄物（安定型）	建設混合廃棄物（管理型）	石綿含有産業廃棄物	水銀使用製品					
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t					
②計画	【目標】															
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	木くず	廃石膏ボード	コンクリート片	アス・コン片	その他がれき類	建設混合廃棄物（安定型）	建設混合廃棄物（管理型）	石綿含有産業廃棄物	水銀使用製品					
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t					
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項																
①現状	【前年度（令和6年度）実績】															
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	木くず	廃石膏ボード	コンクリート片	アス・コン片	その他がれき類	建設混合廃棄物（安定型）	建設混合廃棄物（管理型）	石綿含有産業廃棄物	水銀使用製品					
	自ら無回収を行った産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t					
②計画	【目標】															
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	木くず	廃石膏ボード	コンクリート片	アス・コン片	その他がれき類	建設混合廃棄物（安定型）	建設混合廃棄物（管理型）	石綿含有産業廃棄物	水銀使用製品					
	自ら無回収を行う産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t					
③計画	【目標】															
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	木くず	廃石膏ボード	コンクリート片	アス・コン片	その他がれき類	建設混合廃棄物（安定型）	建設混合廃棄物（管理型）	石綿含有産業廃棄物	水銀使用製品					
	自ら中間処理を行う産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t					

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

[illegible]

(第1面)

産業廃棄物処理計画実施状況報告書			
令和7年6月19日			
千葉県知事 熊谷 俊人 殿			
提出者 332-0012			
住所 埼玉県川口市本町四丁目11番6号			
法人名 川口土木建築工業株式会社			
代表者 古川 元一			
(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)			
電話番号 048-224-5111			
産業廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、令和6年度の産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。			
事業場の名称	川口土木建築工業株式会社		
事業場の所在地	埼玉県川口市本町四丁目11番6号		
事業の種類	大分類 D-建設業 中分類 06-総合工事業		
産業廃棄物処理計画における計画期間	令和6年4月1日 から 令和7年3月31日		
産業廃棄物処理計画における目標値			
項目	目標値	項目	目標値
排出量	110 t	全処理委託量	110 t
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0 t	優良認定処理業者への処理委託量	33 t
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0 t	再生利用業者への処理委託量	110 t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0 t	認定熱回収業者への処理委託量	0 t
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0 t	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: コンクリートがら)

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

不要物等発生量

有償物量

②自ら直接再生利用した量
0.0 t

③自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量
0.0 t

⑧自ら中間処理した後再生利用した量
0.0 t

①排出量
210.7t

④自ら中間処理した量
0.0 t

⑥自ら中間処理した後の残さ量
0.0 t

⑨自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
0.0t

⑤④のうち熱回収を行った量
0.0 t

⑦自ら中間処理により減量した量
0.0 t

⑩直接及び自ら中間処理した後の処理委託量
210.7 t

⑪⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量
87.3 t

⑫⑩のうち再生利用業者への処理委託量
210.7 t

⑬⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量
0.0 t

⑭⑩のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量
0.0 t

項目	実績値
①排出量	210.7 t
②+⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	210.7 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	87.3 t
⑫再生利用業者への処理委託量	210.7 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: アスコン・がれき類)

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

不要物等発生量

有償物量

②自ら直接再生利用した量
0.0 t

③自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量
0.0 t

⑧自ら中間処理した後再生利用した量
0.0 t

①排出量
81.5t

④自ら中間処理した量
0.0 t

⑥自ら中間処理した後の残さ量
0.0 t

⑨自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
0.0t

⑤④のうち熱回収を行った量
0.0 t

⑦自ら中間処理により減量した量
0.0 t

⑩直接及び自ら中間処理した後の処理委託量
81.5 t

⑪⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量
22.9 t

⑫⑩のうち再生利用業者への処理委託量
81.5 t

⑬⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量
0.0 t

⑭⑩のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量
0.0 t

項目	実績値
①排出量	81.5 t
②+⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	81.5 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	22.9 t
⑫再生利用業者への処理委託量	81.5 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: 混合廃棄物)

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

不要物等発生量

有償物量

②自ら直接再生利用した量
0.0 t

③自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量
0.0 t

⑧自ら中間処理した後再生利用した量
0.0 t

①排出量
140.3t

④自ら中間処理した量
0.0 t

⑥自ら中間処理した後の残さ量
0.0 t

⑨自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
0.0t

⑤ ④のうち熱回収を行った量
0.0 t

⑦自ら中間処理により減量した量
0.0 t

⑩直接及び自ら中間処理した後の処理委託量
140.3 t

⑪ ⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量
140.3 t

⑫ ⑩のうち再生利用業者への処理委託量
140.3 t

⑬ ⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量
0.0 t

⑭ ⑩のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量
0.0 t

項目	実績値
①排出量	140.3 t
②+⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	140.3 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	140.3 t
⑫再生利用業者への処理委託量	140.3 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: 金属くず)

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

不要物等発生量

有償物量

②自ら直接再生利用した量
0.0 t

③自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量
0.0 t

④自ら中間処理した量
0.0 t

⑤ ④のうち熱回収を行った量
0.0 t

⑥自ら中間処理した後の残さ量
0.0 t

⑦自ら中間処理により減量した量
0.0 t

⑧自ら中間処理した後再生利用した量
0.0 t

⑨自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
0.0 t

⑩直接及び自ら中間処理した後の処理委託量
1.1 t

⑪ ⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量
1.1 t

⑫ ⑩のうち再生利用業者への処理委託量
1.1 t

⑬ ⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量
0.0 t

⑭ ⑩のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量
0.0 t

①排出量
1.1 t

項目	実績値
①排出量	1.1 t
②+⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	1.1 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	1.1 t
⑫再生利用業者への処理委託量	1.1 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: 木くず)

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

不要物等発生量

有償物量

②自ら直接再生利用した量
0.0 t

③自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量
0.0 t

④自ら中間処理した量
0.0 t

⑤ ④のうち熱回収を行った量
0.0 t

⑥自ら中間処理した後の残さ量
0.0 t

⑦自ら中間処理により減量した量
0.0 t

⑧自ら中間処理した後再生利用した量
0.0 t

⑨自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
0.0 t

⑩直接及び自ら中間処理した後の処理委託量
44.2 t

⑪ ⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量
44.2 t

⑫ ⑩のうち再生利用業者への処理委託量
44.2 t

⑬ ⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量
0.0 t

⑭ ⑩のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量
0.0 t

①排出量
44.2t

項目	実績値
①排出量	44.2 t
②+⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	44.2 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	44.2 t
⑫再生利用業者への処理委託量	44.2 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: 紙くず)

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

不要物等発生量

有償物量

②自ら直接再生利用した量
0.0 t

③自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量
0.0 t

④自ら中間処理した量
0.0 t

⑤ ④のうち熱回収を行った量
0.0 t

⑥自ら中間処理した後の残さ量
0.0 t

⑦自ら中間処理により減量した量
0.0 t

⑧自ら中間処理した後再生利用した量
0.0 t

⑨自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
0.0 t

⑩直接及び自ら中間処理した後の処理委託量
65.4 t

⑪ ⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量
65.4 t

⑫ ⑩のうち再生利用業者への処理委託量
65.4 t

⑬ ⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量
0.0 t

⑭ ⑩のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量
0.0 t

①排出量
65.4t

項目	実績値
①排出量	65.4 t
②+⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	65.4 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	65.4 t
⑫再生利用業者への処理委託量	65.4 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

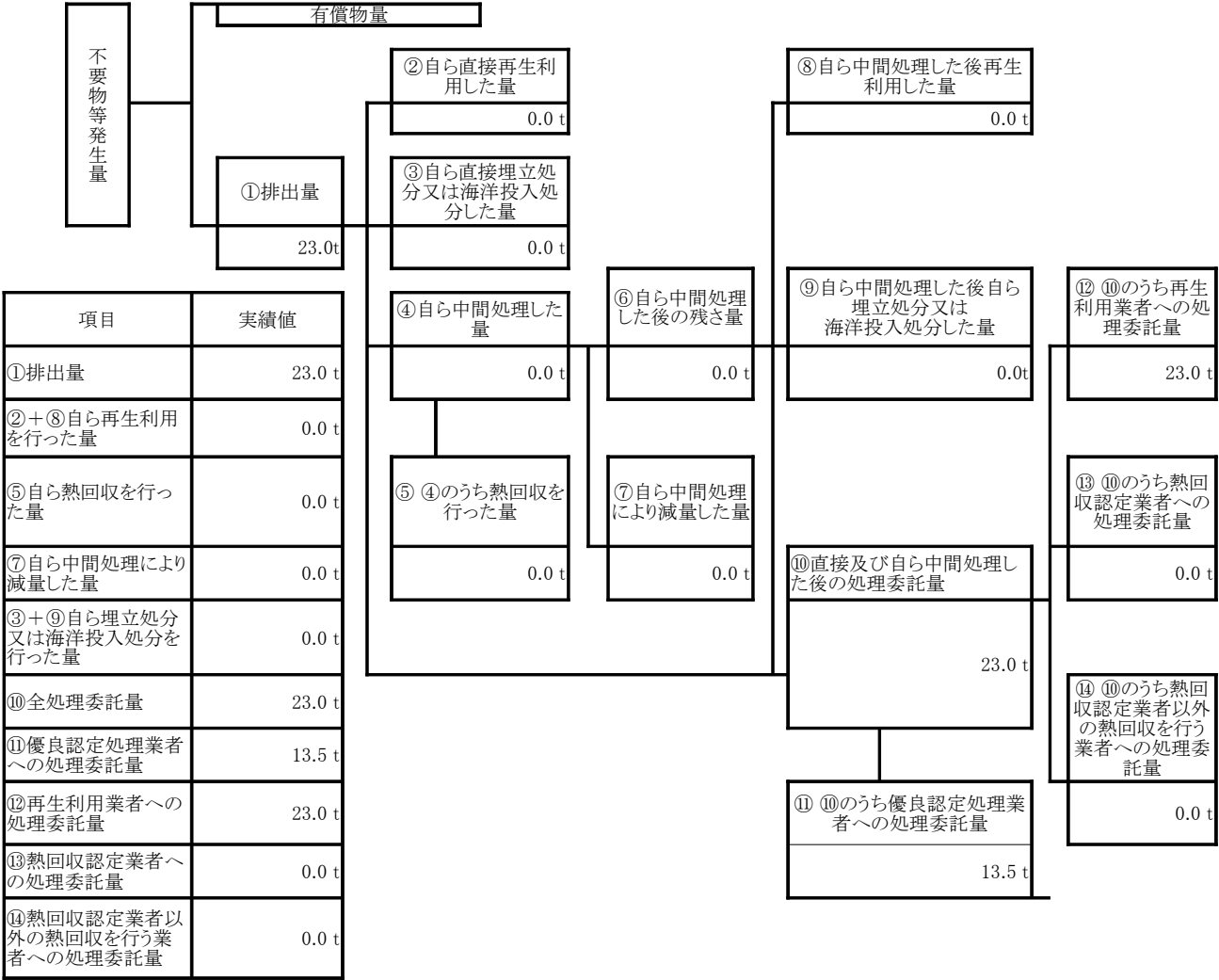
N0.7

(第2面)

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: 硝子・陶磁器)

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。



計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: 廃プラスチック)

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

不要物等発生量

有償物量

②自ら直接再生利用した量
0.0 t

③自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量
0.0 t

④自ら中間処理した量
0.0 t

⑤ ④のうち熱回収を行った量
0.0 t

⑥自ら中間処理した後の残さ量
0.0 t

⑦自ら中間処理により減量した量
0.0 t

⑧自ら中間処理した後再生利用した量
0.0 t

⑨自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
0.0 t

⑩直接及び自ら中間処理した後の処理委託量
26.5 t

⑪ ⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量
26.5 t

⑫ ⑩のうち再生利用業者への処理委託量
26.5 t

⑬ ⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量
0.0 t

⑭ ⑩のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量
0.0 t

①排出量
26.5 t

項目	実績値
①排出量	26.5 t
②+⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	26.5 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	26.5 t
⑫再生利用業者への処理委託量	26.5 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

備考

- 1 翌年度の6月30日までに提出すること。
- 2 「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
- 3 「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。
- 4 第2面には、前年度の産業廃棄物処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。
 - (1) ①欄 当該事業場において生じた産業廃棄物の量
 - (2) ②欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量
 - (3) ③欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
 - (4) ④欄 (1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量
 - (5) ⑤欄 (4)の量のうち、熱回収を行った量
 - (6) ⑥欄 自ら中間処理をした後の量
 - (7) ⑦欄 (4)の量から(6)の量を差し引いた量
 - (8) ⑧欄 (6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量
 - (9) ⑨欄 (6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量
 - (10) ⑩欄 中間処理及び最終処分を委託した量
 - (11) ⑪欄 (10)の量のうち、優良認定処理業者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者)への処理委託量
 - (12) ⑫欄 (10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量
 - (13) ⑬欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者)である処理業者への焼却処理委託量
 - (14) ⑭欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量
- 5 第2面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。
- 6 産業廃棄物の種類が2以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。

様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第1面）

産業廃棄物処理計画書

令和7年6月30日

千葉県知事
熊谷 俊人 殿

提出者 115-0055
住 所 東京都北区赤羽西1-7-1 パルロード
3 10階
法人名 川田工業株式会社 取締役建築事業
部長
代表者 長谷川 春信
（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）
電話番号 03-6757-7138

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	川田工業株式会社 建築事業部 県内各所（千葉市、船橋市、柏市を除く）
事業場の所在地	県内各現場（千葉市、船橋市、柏市を除く）
計画期間	令和7年4月1日 から 令和8年3月31日

当該事業場において現に行っている事業に関する事項

①事業の種類	大分類： 建設業 中分類： 総合工事業
②事業の規模	元請完成工事高 1,381百万円（千葉市、船橋市、柏市を除くを除く）
③従業員数	17人
④産業廃棄物の一連の処理の工程	産業廃棄物→産業廃棄物処理業者に委託して種類ごとに処理 （委託内容：焼却、破碎、圧縮、減容、梱包、脱水、造粒固化他） 中間処理完了後、再資源として利用又は最終処分（埋立等）

（日本産業規格 A列4番）

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項			
(管理体制図) 別紙 (管理体制)			
産業廃棄物の排出の抑制に関する事項			
①現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラ
	排出量	6333.8 t	14.2 t
	(これまでに実施した取組) ・作業所内分別ヤード確保による混合廃棄物の削減。 ・有価物及び専ら物処理の推進（金属、紙屑、廃プラスチック類他）。 ・場内天日乾燥による建設汚泥の減容。 ・各種余剰材の引き取り。 ・梱包材の簡素化（木屑、紙屑、廃プラスチック類他）。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラ
	排出量	6333.8 t	14.2 t
	(今後実施する予定の取組) ・作業所内分別ヤード確保による混合廃棄物の削減。 ・有価物及び専ら物処理の推進（金属、紙屑、廃プラスチック類他）。 ・場内天日乾燥による建設汚泥の減容。 ・各種余剰材の引き取り。 ・梱包材の簡素化（木屑、紙屑、廃プラスチック類他）。		
産業廃棄物の分別に関する事項			
①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 種類：コンクリート塊、アスファルト塊、その他瓦礫類、金属、木屑、紙屑、石膏ボード、繊維類、ダンボール、その他。 取組：作業所内状況により、分別ヤードを確保し、分別を行っている		
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・作業所内状況により、上記種類の分別を行う。 ・また、tバック等を利用し、狭小現場においても細かい分別に努める。		

(第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
①現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラ
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラ
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
①現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラ
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラ
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
①現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラ
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラ
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
①現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラ
	全 処 理 委 託 量	6333.8 t	14.2 t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	14.2 t
	再生利用業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	(これまでに実施した取組) 委託基準に従って産業廃棄物処理業者を選定し、契約を実施している。		

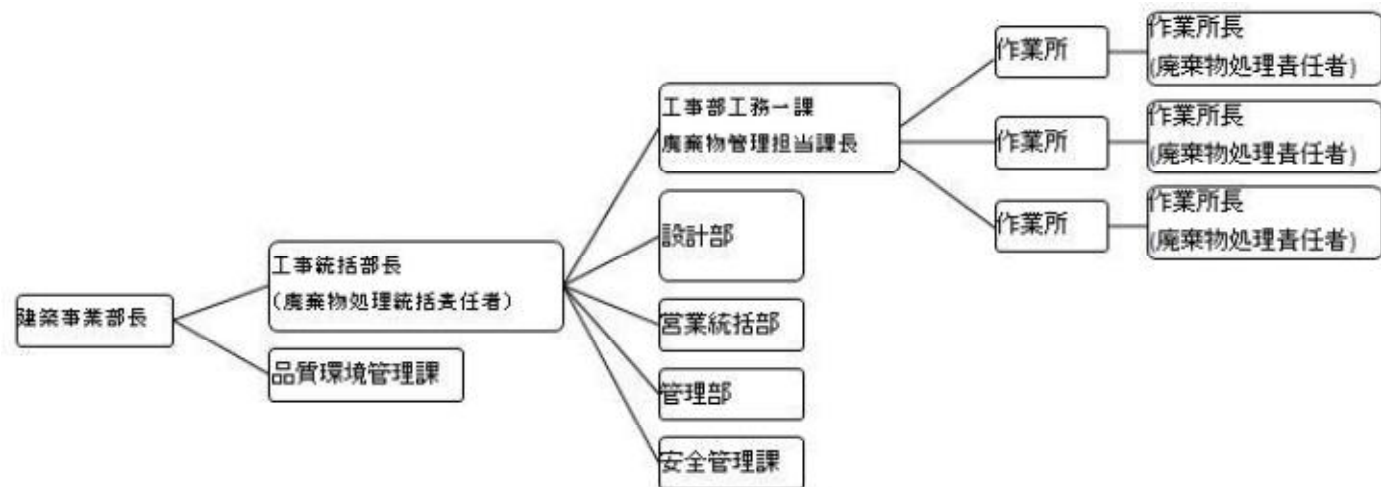
(第5面)

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラ
	全 処 理 委 託 量	6333.8 t	14.2 t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	14.2 t
	再生利用業者への処理委託量	6333.8 t	14.2 t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	(今後実施する予定の取組) ・処理委託業者は優良認定処理業者も考慮し選定する。 電子マニフェスト運用業者を選定する。 ・有価物及び専ら物処理を推進し、総排出量の低減を図る。		
	※事務処理欄		

(第6面)

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1) ①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2) ②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3) ④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。



セルが足りない場合は右側に追加をお願いします。

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項									
①現状	【前年度（令和6年度）実績】								
	産業廃棄物の種類	紙くず	木くず	金属くず	がれき類	混合廃棄物その他			
	排 出 量	3.3 t	6.5 t	1.8 t	342.5 t	24.4 t	t	t	t
②計画	【目標】								
	産業廃棄物の種類	紙くず	木くず	金属くず	がれき類	混合廃棄物その他			
	排 出 量	3.3 t	6.5 t	1.8 t	342.5 t	24.4 t	t	t	t
自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項									
①現状	【前年度（令和6年度）実績】								
	産業廃棄物の種類	紙くず	木くず	金属くず	がれき類	混合廃棄物その他			
	自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
②計画	【目標】								
	産業廃棄物の種類	紙くず	木くず	金属くず	がれき類	混合廃棄物その他			
	自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項									
①現状	【前年度（令和6年度）実績】								
	産業廃棄物の種類	紙くず	木くず	金属くず	がれき類	混合廃棄物その他			
	自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
	自ら中間処理により減量した 産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
②計画	【目標】								
	産業廃棄物の種類	紙くず	木くず	金属くず	がれき類	混合廃棄物その他			
	自ら熱回収を行う 産業廃棄物の種類	t	t	t	t	t	t	t	t
	自ら中間処理により減量する 産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項									
①現状	【前年度（令和6年度）実績】								
	産業廃棄物の種類	紙くず	木くず	金属くず	がれき類	混合廃棄物その他			
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
②計画	【目標】								
	産業廃棄物の種類	紙くず	木くず	金属くず	がれき類	混合廃棄物その他			
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
産業廃棄物の処理の委託に関する事項									
①現状	【前年度（令和6年度）実績】								
	産業廃棄物の種類	紙くず	木くず	金属くず	がれき類	混合廃棄物その他			
	全処理委託量	3.3 t	6.5 t	1.8 t	342.5 t	24.4 t	t	t	t
	優良認定処理業者への 処理委託量	3.3 t	6.5 t	1.8 t	1.5 t	24.4 t	t	t	t
	再生利用業者への 処理委託量	3.3 t	6.5 t	1.8 t	342.5 t	24.4 t	t	t	t
	認定熱回収業者への 処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t
②計画	【目標】								
	産業廃棄物の種類	紙くず	木くず	金属くず	がれき類	混合廃棄物その他			
	全処理委託量	3.3 t	6.5 t	1.8 t	342.5 t	24.4 t	t	t	t
	優良認定処理業者への 処理委託量	3.3 t	6.5 t	1.8 t	1.5 t	24.4 t	t	t	t
	再生利用業者への 処理委託量	3.3 t	6.5 t	1.8 t	342.5 t	24.4 t	t	t	t
	認定熱回収業者への 処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t

様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第1面）

産業廃棄物処理計画書

令和7年6月11日

千葉県知事 熊谷 俊人 殿

提出者

住 所 千葉県千葉市中央区新宿2-1-24

氏 名 株式会社関電工 東関東営業本部 千葉支店

常務執行役員 千葉支店長 中村 直樹

電話番号 050-3139-8100

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	千葉県管轄内工事
事業場の所在地	千葉県管轄内地域
計画期間	令和7年4月1日 ～ 令和8年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	大分類：建設業 中分類：設備工事業
②事業の規模	完工高：41,973百万円
③従業員数	644名
④産業廃棄物の一連の処理の工程	別紙 1 参照

（日本工業規格 A列4番）

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

別紙 2

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙の通り	
	排出量	別紙の通り t	t
	(これまでに実施した取組) 営業所・工事事務所から排出される産業廃棄物を分別・選別を行い、産業廃棄物の発生量の削減、有価物率化の向上に努めた。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙の通り	
	排出量	別紙の通り t	t
	(今後実施する予定の取組) さらなる、分別・選別に努め、産業廃棄物の発生量削減、有価物化の向上を目指す。		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 廃プラスチック、アスファルト、コンクリート、金属くず
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 廃プラスチック、アスファルト、コンクリート、金属くず

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙の通り	
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	別紙の通り	t
	(これまでに実施した取組)		
	これまでに自社で再生利用を行った産業廃棄物はない。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙の通り	
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	別紙の通り	t
	(今後実施する予定の取組)		
	これまでに自社で再生利用を行った産業廃棄物はない。		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙の通り	
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	別紙の通り	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	別紙の通り	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
	これまでに自社で再生利用を行った産業廃棄物はない。		

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙の通り	
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	別紙の通り t	t
	（これまでに実施した取組） これまでに自社で自ら埋立処分又は海洋処分を行った 産業廃棄物はない。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙の通り	
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	別紙の通り t	t
	（今後実施する予定の取組） これまでに自社で自ら埋立処分又は海洋処分を行った 産業廃棄物はない。		

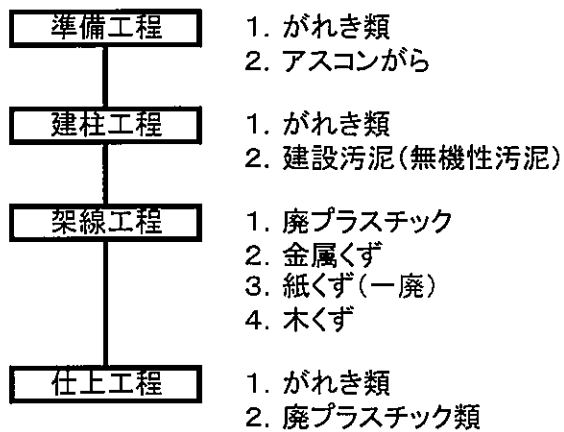
産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙の通り	
	全処理委託量	別紙の通り t	t
	優良認定処理業者への 処理委託量	別紙の通り t	t
	再生利用業者への 処理委託量	別紙の通り t	t
	認定熱回収業者への 処理委託量	別紙の通り t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	別紙の通り t	t
	（これまでに実施した取組） 電子マニフェストの取り組みに努めたが、紙マニフェストが いくつか、発行された。		

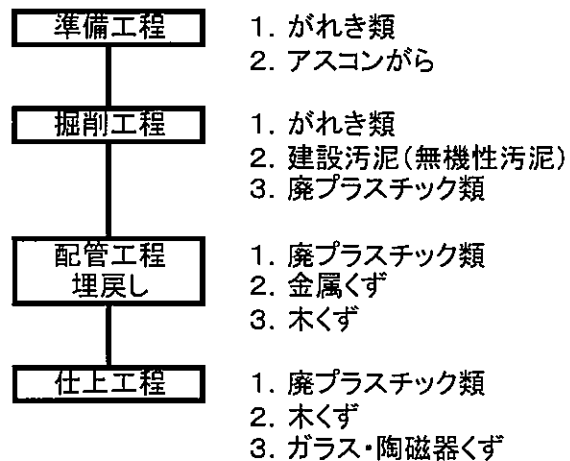
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙の通り	
	全処理委託量	別紙の通り t	t
	優良認定処理業者への 処理委託量	別紙の通り t	t
	再生利用業者への 処理委託量	別紙の通り t	t
	認定熱回収業者への 処理委託量	別紙の通り t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	別紙の通り t	t
	(今後実施する予定の取組)		
	産業廃棄物の分別・選別を行い発生量の削減、有価物率化の向上を目指す。 電子マニフェストの100%化を目指す。		
※事務処理欄			

事業工程図

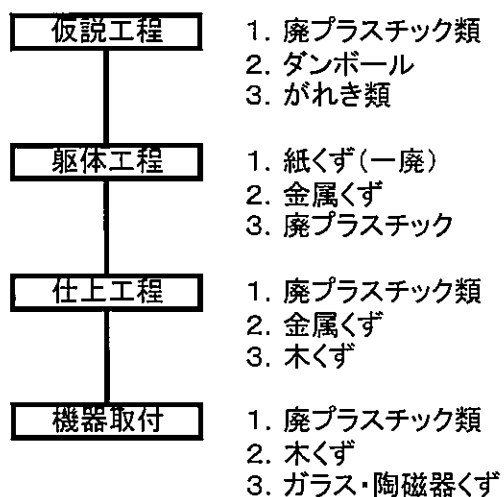
1. 配電線工事



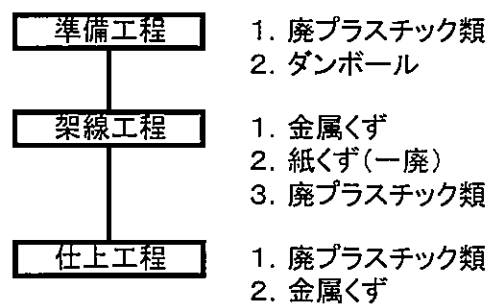
3. 工務工事・地中配電工事



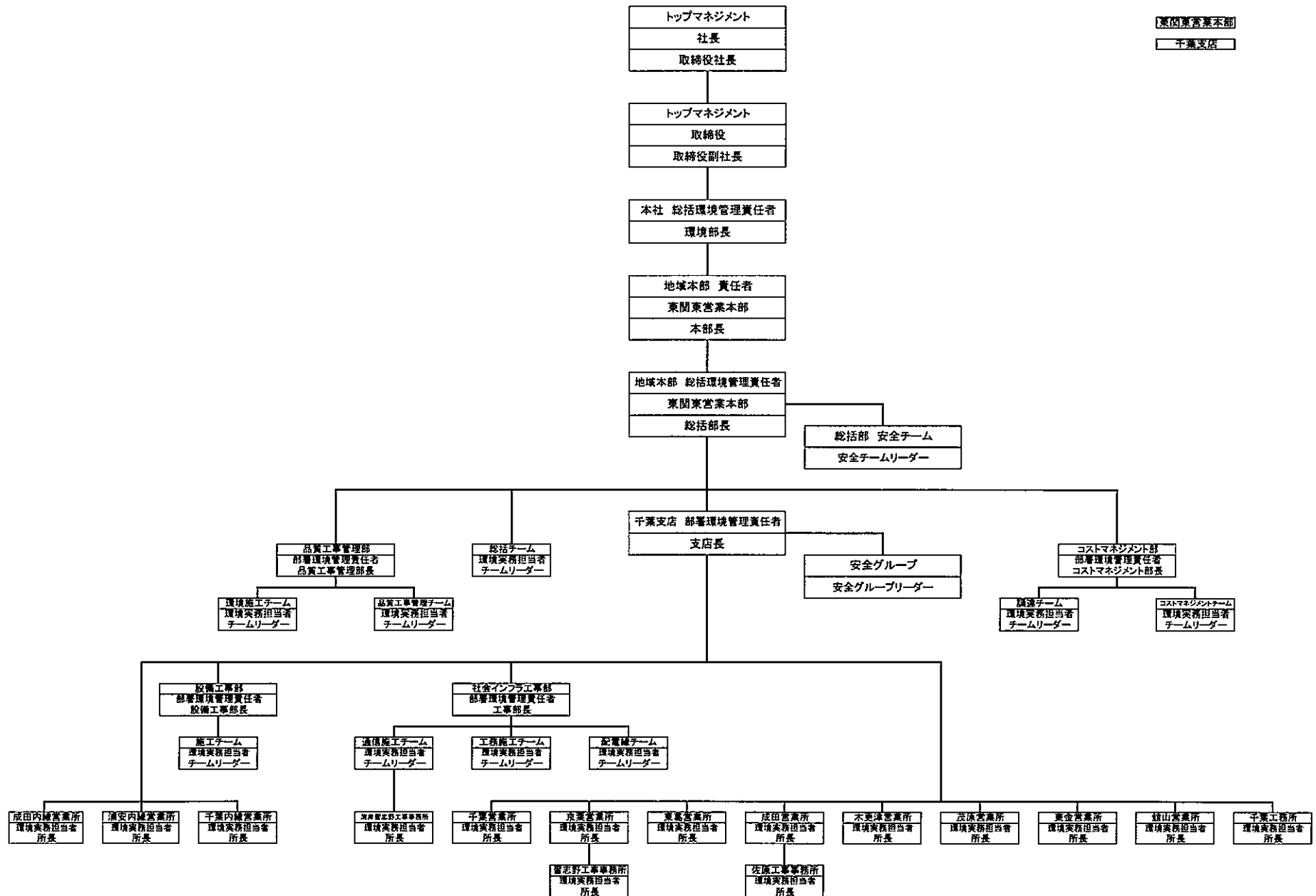
2. 内線工事



4. 情報・通信工事



別紙 2.
機関電工 東関東営業本部 千葉支店
2024年4月1日 制定



産業廃棄物の種類ごとの内訳
千トン[illegible]

産業廃棄物処理計画実施状況報告書			
令和7年6月11日			
千葉県知事 熊谷 俊人 殿			
提出者			
住 所 千葉県千葉市中央区新宿2-1-24			
氏 名 株式会社関電工 東関東営業本部 千葉支店			
常務執行役員 千葉支店長 中村 直樹			
電話番号 050-3139-8100			
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、令和6年度の産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。			
事業場の名称	千葉県管轄内工事		
事業場の所在地	千葉県管轄内地域		
事業の種類	大分類：建設業 中分類：設備工事業		
産業廃棄物処理計画における計画期間	令和6年4月1日 ～ 令和7年3月31日		
産業廃棄物処理計画における目標値			
項目	目標値	項目	目標値
排出量	6,800t	全処理委託量	6,800t
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	優良認定処理業者へ処理委託量	202t
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	再生利用業者への処理委託量	6,799t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	認定熱回収業者への処理委託量	t
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	認定熱回収業者以外熱回収を行う業者へ処理委託量	t
※事務処理欄			

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類： 汚泥(泥状のもの))

有 償 物 量

不要物等発生量

排 出 量

①
1.1

自ら直接
再生利用した量

②
0

自ら直接埋立処分又は
海洋投入処分した量

③
0

自ら中間処理した後
再生利用した量

⑧
0

自ら中間処理した後
自ら埋立処分又は
海洋投入処分した量

⑨
0

自ら中間処理
した量

④
0

自ら中間処理した
後の残さ量

⑥
0

④のうち熱回収
を行った量

⑤
0

自ら中間処理によ
り減量した量

⑦
0

直接及び自ら
中間処理した後の
処理委託量

⑩
1.1

⑩のうち優良認定
処理業者への
処理委託量

⑪
0.95

⑩のうち再生利用
業者への処理委託量

⑫
1.1

⑩のうち熱回収認定
業者への処理委託量

⑬
0

⑩のうち熱回収認定
業者以外の
熱回収を行う業者
への処理委託量

⑭
0

項目	実績値
①排出量	1.1
②+⑧自ら再生利用を行った量	0
⑤自ら熱回収を行った量	0
⑦自ら中間処理により減量した量	0
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0
⑩全処理委託量	1.1
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.95
⑫再生利用業者への処理委託量	1.1
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類： 建設汚泥(残土を除く))

有償物量

不要物等発生量

排出量

①

378.3

自ら直接
再生利用した量

②

自ら直接埋立処分又は
海洋投入処分した量

③

0

自ら中間処理
した量

④

0

④のうち熱回収
を行った量

⑤

自ら中間処理した
後の残さ量

⑥

0

自ら中間処理によ
り減量した量

⑦

0

自ら中間処理した後
再生利用した量

⑧

0

自ら中間処理した後
自ら埋立処分又は
海洋投入処分した量

⑨

0

直接及び自ら
中間処理した後の
処理委託量

⑩

378.3

⑩のうち優良認定
処理業者への
処理委託量

⑪

0

⑩のうち再生利用
業者への処理委託量

⑫

378.3

⑩のうち熱回収認定
業者への処理委託量

⑬

⑩のうち熱回収認定
業者以外の
熱回収を行う業者
への処理委託量

⑭

項目	実績値
①排出量	378.3
②+⑧自ら再生利用を行 った量	0
⑤自ら熱回収を行った量	
⑦自ら中間処理により減 量した量	0
③+⑨自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った量	0
⑩全処理委託量	378.3
⑪優良認定処理業者への 処理委託量	0
⑫再生利用業者への処理 委託量	378.3
⑬熱回収認定業者への処 理委託量	
⑭熱回収認定業者以外の 熱回収を行う業者への処 理委託量	

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類： 廃油)

有 償 物 量

不要物等発生量

排 出 量

①

2

自ら直接
再生利用した量

②

自ら直接埋立処分又は
海洋投入処分した量

③

0

自ら中間処理した後
再生利用した量

⑧

0

自ら中間処理した後
自ら埋立処分又は
海洋投入処分した量

⑨

0

自ら中間処理
した量

④

0

自ら中間処理した
後の残さ量

⑥

0

④のうち熱回収
を行った量

⑤

自ら中間処理によ
り減量した量

⑦

0

直接及び自ら
中間処理した後の
処理委託量

⑩

2

⑩のうち優良認定
処理業者への
処理委託量

⑪

0.06

⑩のうち再生利用
業者への処理委託量

⑫

2

⑩のうち熱回収認定
業者への処理委託量

⑬

⑩のうち熱回収認定
業者以外の
熱回収を行う業者
への処理委託量

⑭

項目	実績値
①排出量	2
②+⑧自ら再生利用を行なった量	0
⑤自ら熱回収を行なった量	
⑦自ら中間処理により減量した量	0
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行なった量	0
⑩全処理委託量	2
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.06
⑫再生利用業者への処理委託量	2
⑬熱回収認定業者への処理委託量	
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類： 廃アルカリ)

有 償 物 量

不要物等発生量

排 出 量

①
0.06

自ら直接
再生利用した量

②
0

自ら直接埋立処分又は
海洋投入処分した量

③
0

自ら中間処理した後
再生利用した量

⑧
0

自ら中間処理した後
自ら埋立処分又は
海洋投入処分した量

⑨
0

⑩のうち再生利用
業者への処理委託量

⑫
0.06

⑩のうち熱回収認定
業者への処理委託量

⑬

⑩のうち熱回収認定
業者以外の
熱回収を行う業者
への処理委託量

⑭

項目	実績値
①排出量	0.06
②+⑧自ら再生利用を行なった量	0
⑤自ら熱回収を行なった量	
⑦自ら中間処理により減量した量	0
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行なった量	0
⑩全処理委託量	0.06
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.06
⑫再生利用業者への処理委託量	0.06
⑬熱回収認定業者への処理委託量	
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	

自ら中間処理した量

④
0

自ら中間処理した後の残さ量

⑥
0

④のうち熱回収を行なった量

⑤

自ら中間処理により減量した量

⑦
0

直接及び自ら
中間処理した後の
処理委託量

⑩
0.06

⑩のうち優良認定
処理業者への
処理委託量

⑪
0.06

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類： 廃プラスチック類)

有 償 物 量

不要物等発生量

排 出 量

①

93.7

自ら直接
再生利用した量

②

自ら直接埋立処分又は
海洋投入処分した量

③

0

自ら中間処理した後
再生利用した量

⑧

0

自ら中間処理した後
自ら埋立処分又は
海洋投入処分した量

⑨

0

自ら中間処理
した量

④

0

自ら中間処理した
後の残さ量

⑥

0

④のうち熱回収
を行った量

⑤

自ら中間処理によ
り減量した量

⑦

0

直接及び自ら
中間処理した後の
処理委託量

⑩

93.7

⑩のうち再生利用
業者への処理委託量

⑫

93.7

⑩のうち熱回収認定
業者への処理委託量

⑬

⑩のうち熱回収認定
業者以外の
熱回収を行う業者
への処理委託量

⑭

⑩のうち優良認定
処理業者への
処理委託量

⑪

0.1

項目	実績値
①排出量	93.7
②+⑧自ら再生利用を行った量	0
⑤自ら熱回収を行った量	
⑦自ら中間処理により減量した量	0
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0
⑩全処理委託量	93.7
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.1
⑫再生利用業者への処理委託量	93.7
⑬熱回収認定業者への処理委託量	
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類： 建設工事の紙くず)

有償物量

不要物等発生量

排出量

①
0.15

自ら直接
再生利用した量

②

自ら直接埋立処分又は
海洋投入処分した量

③

0

自ら中間処理
した量

④

0

④のうち熱回収
を行った量

⑤

自ら中間処理した
後の残さ量

⑥

0

自ら中間処理によ
り減量した量

⑦

0

自ら中間処理した後
再生利用した量

⑧

0

自ら中間処理した後
自ら埋立処分又は
海洋投入処分した量

⑨

0

直接及び自ら
中間処理した後の
処理委託量

⑩

0.15

⑩のうち優良認定
処理業者への
処理委託量

⑪

0.15

⑩のうち再生利用
業者への処理委託量

⑫

0.15

⑩のうち熱回収認定
業者への処理委託量

⑬

⑩のうち熱回収認定
業者以外の
熱回収を行う業者
への処理委託量

⑭

項目	実績値
①排出量	0.15
②+⑧自ら再生利用を行った量	0
⑤自ら熱回収を行った量	
⑦自ら中間処理により減量した量	0
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0
⑩全処理委託量	0.15
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.15
⑫再生利用業者への処理委託量	0.15
⑬熱回収認定業者への処理委託量	
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類： 建設工事の木くず)

有 償 物 量

不要物等発生量

排 出 量

①
115

自ら直接
再生利用した量

②

自ら直接埋立処分又は
海洋投入処分した量

③

0

自ら中間処理
した量

④

0

④のうち熱回収
を行った量

⑤

自ら中間処理した
後の残さ量

⑥

0

自ら中間処理によ
り減量した量

⑦

0

自ら中間処理した後
再生利用した量

⑧

0

自ら中間処理した後
自ら埋立処分又は
海洋投入処分した量

⑨

0

直接及び自ら
中間処理した後の
処理委託量

⑩

115

⑩のうち優良認定
処理業者への
処理委託量

⑪

16

⑩のうち再生利用
業者への処理委託量

⑫

115

⑩のうち熱回収認定
業者への処理委託量

⑬

⑩のうち熱回収認定
業者以外の
熱回収を行う業者
への処理委託量

⑭

項目	実績値
①排出量	115
②+⑧自ら再生利用を行った量	0
⑤自ら熱回収を行った量	
⑦自ら中間処理により減量した量	0
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0
⑩全処理委託量	115
⑪優良認定処理業者への処理委託量	16
⑫再生利用業者への処理委託量	115
⑬熱回収認定業者への処理委託量	
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類： 金属くず)

有 償 物 量

不要物等発生量

排 出 量

①
0.01

自ら直接
再生利用した量

②

自ら直接埋立処分又は
海洋投入処分した量

③

0

自ら中間処理
した量

④

0

④のうち熱回収
を行った量

⑤

自ら中間処理した
後の残さ量

⑥

0

自ら中間処理によ
り減量した量

⑦

0

自ら中間処理した後
再生利用した量

⑧

0

自ら中間処理した後
自ら埋立処分又は
海洋投入処分した量

⑨

0

直接及び自ら
中間処理した後の
処理委託量

⑩

0.01

⑩のうち優良認定
処理業者への
処理委託量

⑪

0

⑩のうち再生利用
業者への処理委託量

⑫

0.01

⑩のうち熱回収認定
業者への処理委託量

⑬

⑩のうち熱回収認定
業者以外の
熱回収を行う業者
への処理委託量

⑭

項目	実績値
①排出量	0.01
②+⑧自ら再生利用を行 った量	0
⑤自ら熱回収を行った量	
⑦自ら中間処理により減 量した量	0
③+⑨自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った量	0
⑩全処理委託量	0.01
⑪優良認定処理業者への 処理委託量	0
⑫再生利用業者への処理 委託量	0.01
⑬熱回収認定業者への処 理委託量	
⑭熱回収認定業者以外の 熱回収を行う業者への処 理委託量	

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類： 鉄くず)

有償物量

不要物等発生量

排出量

①
0.03

自ら直接
再生利用した量

②
0

自ら直接埋立処分又は
海洋投入処分した量

③
0

自ら中間処理した後
再生利用した量

⑧
0

自ら中間処理した後
自ら埋立処分又は
海洋投入処分した量

⑨
0

自ら中間処理した
後の残さ量

⑥
0

自ら中間処理によ
り減量した量

⑦
0

自ら中間処理
した量

④
0

④のうち熱回収
を行った量

⑤
0

直接及び自ら
中間処理した後の
処理委託量

⑩
0.03

⑩のうち優良認定
処理業者への
処理委託量

⑪
0

⑩のうち再生利用
業者への処理委託量

⑫
0.03

⑩のうち熱回収認定
業者への処理委託量

⑬
0

⑩のうち熱回収認定
業者以外の
熱回収を行う業者
への処理委託量

⑭
0

項目	実績値
①排出量	0.03
②+⑧自ら再生利用を行 った量	0
⑤自ら熱回収を行った量	0
⑦自ら中間処理により減 量した量	0
③+⑨自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った量	0
⑩全処理委託量	0.03
⑪優良認定処理業者への 処理委託量	0
⑫再生利用業者への処理 委託量	0.03
⑬熱回収認定業者への処 理委託量	0
⑭熱回収認定業者以外の 熱回収を行う業者への処 理委託量	0

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類： ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず)

有償物量

不要物等発生量

排出量

①

0.1

自ら直接
再生利用した量

②

自ら直接埋立処分又は
海洋投入処分した量

③

0

自ら中間処理
した量

④

0

④のうち熱回収
を行った量

⑤

自ら中間処理した
後の残さ量

⑥

0

自ら中間処理によ
り減量した量

⑦

0

自ら中間処理した後
再生利用した量

⑧

0

自ら中間処理した後
自ら埋立処分又は
海洋投入処分した量

⑨

0

直接及び自ら
中間処理した後の
処理委託量

⑩

0.1

⑩のうち優良認定
処理業者への
処理委託量

⑪

0.1

⑩のうち再生利用
業者への処理委託量

⑫

0.1

⑩のうち熱回収認定
業者への処理委託量

⑬

⑩のうち熱回収認定
業者以外の
熱回収を行う業者
への処理委託量

⑭

項目	実績値
①排出量	0.1
②+⑧自ら再生利用を行なった量	0
⑤自ら熱回収を行なった量	
⑦自ら中間処理により減量した量	0
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行なった量	0
⑩全処理委託量	0.1
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.1
⑫再生利用業者への処理委託量	0.1
⑬熱回収認定業者への処理委託量	
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: アスファルト・コンクリート破片)

有償物量

不要物等発生量

排出量

①

5737.1

自ら直接
再生利用した量

②

自ら直接埋立処分又は
海洋投入処分した量

③

0

自ら中間処理
した量

④

0

④のうち熱回収
を行った量

⑤

自ら中間処理した
後の残さ量

⑥

0

自ら中間処理によ
り減量した量

⑦

0

自ら中間処理した後
再生利用した量

⑧

0

自ら中間処理した後
自ら埋立処分又は
海洋投入処分した量

⑨

0

直接及び自ら
中間処理した後の
処理委託量

⑩

5737.1

⑩のうち優良認定
処理業者への
処理委託量

⑪

36.2

⑩のうち再生利用
業者への処理委託量

⑫

5737.1

⑩のうち熱回収認定
業者への処理委託量

⑬

⑩のうち熱回収認定
業者以外の
熱回収を行う業者
への処理委託量

⑭

項目	実績値
①排出量	5737.1
②+⑧自ら再生利用を行 った量	0
⑤自ら熱回収を行った量	
⑦自ら中間処理により減 量した量	0
③+⑨自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った量	0
⑩全処理委託量	5737.1
⑪優良認定処理業者への 処理委託量	36.2
⑫再生利用業者への処理 委託量	5737.1
⑬熱回収認定業者への処 理委託量	
⑭熱回収認定業者以外の 熱回収を行う業者への処 理委託量	

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類： がれき類(工作物の新築、改築又は除去に伴って生じた不要物))

有償物量

不要物等発生量

排出量

①
1235.7

自ら直接
再生利用した量

②
0

自ら直接埋立処分又は
海洋投入処分した量

③
0

自ら中間処理した後
再生利用した量

⑧
0

自ら中間処理した後
自ら埋立処分又は
海洋投入処分した量

⑨
0

自ら中間処理
した量

④
0

自ら中間処理した
後の残さ量

⑥
0

④のうち熱回収
を行った量

⑤
0

自ら中間処理によ
り減量した量

⑦
0

直接及び自ら
中間処理した後の
処理委託量

⑩
1235.7

⑩のうち優良認定
処理業者への
処理委託量

⑪
58.6

⑩のうち再生利用
業者への処理委託量

⑫
1235.7

⑩のうち熱回収認定
業者への処理委託量

⑬
0

⑩のうち熱回収認定
業者以外の
熱回収を行う業者
への処理委託量

⑭
0

項目	実績値
①排出量	1235.7
②+⑧自ら再生利用を行 った量	0
⑤自ら熱回収を行った量	0
⑦自ら中間処理により減 量した量	0
③+⑨自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った量	0
⑩全処理委託量	1235.7
⑪優良認定処理業者への 処理委託量	58.6
⑫再生利用業者への処理 委託量	1235.7
⑬熱回収認定業者への処 理委託量	0
⑭熱回収認定業者以外の 熱回収を行う業者への処 理委託量	0

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類： コンクリート破片)

有償物量

不要物等発生量

排出量

①

669.9

自ら直接
再生利用した量

②

自ら直接埋立処分又は
海洋投入処分した量

③

0

自ら中間処理
した量

④

0

④のうち熱回収
を行った量

⑤

自ら中間処理した
後の残さ量

⑥

0

自ら中間処理によ
り減量した量

⑦

0

自ら中間処理した後
再生利用した量

⑧

0

自ら中間処理した後
自ら埋立処分又は
海洋投入処分した量

⑨

0

直接及び自ら
中間処理した後の
処理委託量

⑩

669.9

⑩のうち優良認定
処理業者への
処理委託量

⑪

0

⑩のうち再生利用
業者への処理委託量

⑫

669.9

⑩のうち熱回収認定
業者への処理委託量

⑬

⑩のうち熱回収認定
業者以外の
熱回収を行う業者
への処理委託量

⑭

項目	実績値
①排出量	669.9
②+⑧自ら再生利用を行なった量	0
⑤自ら熱回収を行なった量	
⑦自ら中間処理により減量した量	0
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行なった量	0
⑩全処理委託量	669.9
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0
⑫再生利用業者への処理委託量	669.9
⑬熱回収認定業者への処理委託量	
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類： 安定型建設混合廃棄物)

有 償 物 量

不要物等発生量

排 出 量

①
54.5

自ら直接
再生利用した量

②

自ら直接埋立処分又は
海洋投入処分した量

③

0

自ら中間処理
した量

④

0

④のうち熱回収
を行った量

⑤

自ら中間処理した
後の残さ量

⑥

0

自ら中間処理によ
り減量した量

⑦

0

自ら中間処理した後
再生利用した量

⑧

0

自ら中間処理した後
自ら埋立処分又は
海洋投入処分した量

⑨

0

直接及び自ら
中間処理した後の
処理委託量

⑩

54.5

⑩のうち優良認定
処理業者への
処理委託量

⑪

0.6

⑩のうち再生利用
業者への処理委託量

⑫

54.5

⑩のうち熱回収認定
業者への処理委託量

⑬

⑩のうち熱回収認定
業者以外の
熱回収を行う業者
への処理委託量

⑭

項目	実績値
①排出量	54.5
②+⑧自ら再生利用を行なった量	0
⑤自ら熱回収を行なった量	
⑦自ら中間処理により減量した量	0
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行なった量	0
⑩全処理委託量	54.5
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.6
⑫再生利用業者への処理委託量	54.5
⑬熱回収認定業者への処理委託量	
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類： 管理型建設混合廃棄物)

有 償 物 量

不要物等発生量

排 出 量

①
48.7

自ら直接
再生利用した量

②

自ら直接埋立処分又は
海洋投入処分した量

③

0

自ら中間処理
した量

④

0

④のうち熱回収
を行った量

⑤

自ら中間処理した
後の残さ量

⑥

0

自ら中間処理によ
り減量した量

⑦

0

自ら中間処理した後
再生利用した量

⑧

0

自ら中間処理した後
自ら埋立処分又は
海洋投入処分した量

⑨

0

直接及び自ら
中間処理した後の
処理委託量

⑩

48.7

⑩のうち優良認定
処理業者への
処理委託量

⑪

13.4

⑩のうち再生利用
業者への処理委託量

⑫

48.7

⑩のうち熱回収認定
業者への処理委託量

⑬

⑩のうち熱回収認定
業者以外の
熱回収を行う業者
への処理委託量

⑭

項目	実績値
①排出量	48.7
②+⑧自ら再生利用を行った量	0
⑤自ら熱回収を行った量	
⑦自ら中間処理により減量した量	0
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0
⑩全処理委託量	48.7
⑪優良認定処理業者への処理委託量	13.4
⑫再生利用業者への処理委託量	48.7
⑬熱回収認定業者への処理委託量	
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類： (石綿含有) がれき類)

有償物量

不要物等発生量

排出量

①

1.5

自ら直接
再生利用した量

②

自ら直接埋立処分又は
海洋投入処分した量

③

0

自ら中間処理した後
再生利用した量

⑧

0

自ら中間処理した後
自ら埋立処分又は
海洋投入処分した量

⑨

0

自ら中間処理した
後の残さ量

⑥

0

自ら中間処理によ
り減量した量

⑦

0

自ら中間処理
した量

④

0

④のうち熱回収
を行った量

⑤

直接及び自ら
中間処理した後の
処理委託量

⑩

1.5

⑩のうち優良認定
処理業者への
処理委託量

⑪

0

⑩のうち再生利用
業者への処理委託量

⑫

0

⑩のうち熱回収認定
業者への処理委託量

⑬

⑩のうち熱回収認定
業者以外の
熱回収を行う業者
への処理委託量

⑭

項目	実績値
①排出量	1.5
②+⑧自ら再生利用を行 った量	0
⑤自ら熱回収を行った量	
⑦自ら中間処理により減 量した量	0
③+⑨自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った量	0
⑩全処理委託量	1.5
⑪優良認定処理業者への 処理委託量	0
⑫再生利用業者への処理 委託量	0
⑬熱回収認定業者への処 理委託量	
⑭熱回収認定業者以外の 熱回収を行う業者への処 理委託量	

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類： (石綿含有) 廃プラスチック類)

有 償 物 量

不要物等発生量

排 出 量

①

0.35

自ら直接
再生利用した量

②

自ら直接埋立処分又は
海洋投入処分した量

③

0

自ら中間処理した後
再生利用した量

⑧

0

自ら中間処理した後
自ら埋立処分又は
海洋投入処分した量

⑨

0

自ら中間処理
した量

④

0

自ら中間処理した
後の残さ量

⑥

0

④のうち熱回収
を行った量

⑤

自ら中間処理によ
り減量した量

⑦

0

直接及び自ら
中間処理した後の
処理委託量

⑩

0.35

⑩のうち優良認定
処理業者への
処理委託量

⑪

0.35

⑩のうち再生利用
業者への処理委託量

⑫

0

⑩のうち熱回収認定
業者への処理委託量

⑬

⑩のうち熱回収認定
業者以外の
熱回収を行う業者
への処理委託量

⑭

項目	実績値
①排出量	0.35
②+⑧自ら再生利用を行 った量	0
⑤自ら熱回収を行った量	
⑦自ら中間処理により減 量した量	0
③+⑨自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った量	0
⑩全処理委託量	0.35
⑪優良認定処理業者への 処理委託量	0.35
⑫再生利用業者への処理 委託量	0
⑬熱回収認定業者への処 理委託量	
⑭熱回収認定業者以外の 熱回収を行う業者への処 理委託量	

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類： 廃電気機械器具)

有 償 物 量

不要物等発生量

排 出 量

①
1.2

自ら直接
再生利用した量

②

自ら直接埋立処分又は
海洋投入処分した量

③

0

自ら中間処理
した量

④

0

④のうち熱回収
を行った量

⑤

自ら中間処理した
後の残さ量

⑥

0

自ら中間処理によ
り減量した量

⑦

0

自ら中間処理した後
再生利用した量

⑧

0

自ら中間処理した後
自ら埋立処分又は
海洋投入処分した量

⑨

0

直接及び自ら
中間処理した後の
処理委託量

⑩

1.2

⑩のうち優良認定
処理業者への
処理委託量

⑪

0

⑩のうち再生利用
業者への処理委託量

⑫

1.2

⑩のうち熱回収認定
業者への処理委託量

⑬

⑩のうち熱回収認定
業者以外の
熱回収を行う業者
への処理委託量

⑭

項目	実績値
①排出量	1.2
②+⑧自ら再生利用を行 った量	0
⑤自ら熱回収を行った量	
⑦自ら中間処理により減 量した量	0
③+⑨自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った量	0
⑩全処理委託量	1.2
⑪優良認定処理業者への 処理委託量	0
⑫再生利用業者への処理 委託量	1.2
⑬熱回収認定業者への処 理委託量	
⑭熱回収認定業者以外の 熱回収を行う業者への処 理委託量	

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類： 複合材)

有 償 物 量

不要物等発生量

排 出 量

①
0.4

自ら直接
再生利用した量

②

自ら直接埋立処分又は
海洋投入処分した量

③

0

自ら中間処理した後
再生利用した量

⑧

0

自ら中間処理した後
自ら埋立処分又は
海洋投入処分した量

⑨

0

自ら中間処理
した量

④

0

自ら中間処理した
後の残さ量

⑥

0

④のうち熱回収
を行った量

⑤

自ら中間処理によ
り減量した量

⑦

0

直接及び自ら
中間処理した後の
処理委託量

⑩

0.4

⑩のうち再生利用
業者への処理委託量

⑫

0.4

⑩のうち熱回収認定
業者への処理委託量

⑬

⑩のうち熱回収認定
業者以外の
熱回収を行う業者
への処理委託量

⑭

⑩のうち優良認定
処理業者への
処理委託量

⑪

0.4

項目	実績値
①排出量	0.4
②+⑧自ら再生利用を行 った量	0
⑤自ら熱回収を行った量	
⑦自ら中間処理により減 量した量	0
③+⑨自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った量	0
⑩全処理委託量	0.4
⑪優良認定処理業者への 処理委託量	0.4
⑫再生利用業者への処理 委託量	0.4
⑬熱回収認定業者への処 理委託量	
⑭熱回収認定業者以外の 熱回収を行う業者への処 理委託量	

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類： (水銀製品) HID ランプ)

有 償 物 量

不要物等発生量

排 出 量

①
0.004

自ら直接
再生利用した量

②

自ら直接埋立処分又は
海洋投入処分した量

③

0

自ら中間処理
した量

④

0

④のうち熱回収
を行った量

⑤

自ら中間処理した
後の残さ量

⑥

0

自ら中間処理によ
り減量した量

⑦

0

自ら中間処理した後
再生利用した量

⑧

0

自ら中間処理した後
自ら埋立処分又は
海洋投入処分した量

⑨

0

直接及び自ら
中間処理した後の
処理委託量

⑩

0.004

⑩のうち優良認定
処理業者への
処理委託量

⑪

0

⑩のうち再生利用
業者への処理委託量

⑫

0.004

⑩のうち熱回収認定
業者への処理委託量

⑬

⑩のうち熱回収認定
業者以外の
熱回収を行う業者
への処理委託量

⑭

項目	実績値
①排出量	0.004
②+⑧自ら再生利用を 行った量	0
⑤自ら熱回収を行った量	
⑦自ら中間処理により減 量した量	0
③+⑨自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った量	0
⑩全処理委託量	0.004
⑪優良認定処理業者への 処理委託量	0
⑫再生利用業者への処理 委託量	0.004
⑬熱回収認定業者への処 理委託量	
⑭熱回収認定業者以外の 熱回収を行う業者への処 理委託量	

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: (水銀製品) 蛍光灯)

有償物量

不要物等発生量

排出量

①
0.12

自ら直接
再生利用した量

②

自ら直接埋立処分又は
海洋投入処分した量

③

0

自ら中間処理した後
再生利用した量

⑧

0

項目

実績値

①排出量	0.12
②+⑧自ら再生利用を行った量	0
⑤自ら熱回収を行った量	
⑦自ら中間処理により減量した量	0
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0
⑩全処理委託量	0.12
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.09
⑫再生利用業者への処理委託量	0.12
⑬熱回収認定業者への処理委託量	
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	

自ら中間処理した量

④

0

④のうち熱回収を行った量

⑤

自ら中間処理した後の残さ量

⑥

0

自ら中間処理により減量した量

⑦

0

自ら中間処理した後
自ら埋立処分又は
海洋投入処分した量

⑨

0

直接及び自ら
中間処理した後の
処理委託量

⑩

0.12

⑩のうち優良認定
処理業者への
処理委託量

⑪

0.09

⑩のうち再生利用
業者への処理委託量

⑫

0.12

⑩のうち熱回収認定
業者への処理委託量

⑬

⑩のうち熱回収認定
業者以外の
熱回収を行う業者
への処理委託量

⑭

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類： (水銀製品) 電池類)

有 償 物 量

不要物等発生量

排 出 量

①
0.01

自ら直接
再生利用した量

②
0

自ら直接埋立処分又は
海洋投入処分した量

③
0

自ら中間処理した後
再生利用した量

⑧
0

自ら中間処理した後
自ら埋立処分又は
海洋投入処分した量

⑨
0

⑩のうち再生利用
業者への処理委託量

⑫
0.01

⑩のうち熱回収認定
業者への処理委託量

⑬

⑩のうち熱回収認定
業者以外の
熱回収を行う業者
への処理委託量

⑭

項目	実績値
①排出量	0.01
②+⑧自ら再生利用を行った量	0
⑤自ら熱回収を行った量	
⑦自ら中間処理により減量した量	0
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0
⑩全処理委託量	0.01
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0
⑫再生利用業者への処理委託量	0.01
⑬熱回収認定業者への処理委託量	
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	

自ら中間処理した量

④
0

④のうち熱回収を行った量

⑤

自ら中間処理した後の残さ量

⑥
0

自ら中間処理により減量した量

⑦
0

直接及び自ら
中間処理した後の
処理委託量

⑩
0.01

⑩のうち優良認定
処理業者への
処理委託量

⑪
0

(第1面)

産業廃棄物処理計画書	
2025 年 6 月 11 日	
千葉県知事 熊谷 俊人 殿	
提出者 住 所 千葉県成田市大清水214番地15 氏 名 関東機工建設株式会社 (代表取締役 小松 茂生) 電話番号 0476-85-4688	
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。	
事業場の名称	関東機工建設株式会社
事業場の所在地	千葉県成田市大清水214番地15
計画期間	2025年4月1日 ～ 2026年3月31日まで
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
① 事業の種類	建設業 総合工事業
② 事業の規模	前年度の受注金額10億円(税別)
③ 従業員数	15人
④産業廃棄物の一連の処理の工程	工事現場→がれき類→中間処理「再生利用」 工事現場→木くず類→中間処理「チップ化」 工事現場→廃プラ類→中間処理「焼却」

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項				
(管理体制図) 処理計画統括責任者：工事課長→各現場担当者				
産業廃棄物の排出の抑制に関する事項				
① 現状	【前年度（ 2024 年度）実績】			
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	木くず類	がれき類
	排 出 量	7.80 t	25.3 t	3509.6 t
	(これまでに実施した取組) ・ 産業廃棄物処理業者の排出抑制確認し委託契約実施する。			
② 計画	【目標】			
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	木くず類	がれき類
	排 出 量	10 t	450 t	5000 t
	(今後実施する予定の取組) ・ 昨年度の工事受注件数の増加に伴い、がれき類の排出量が計画より上回ったので、今年度も可能な限り削減の努力を継続する。 ・ 産業廃棄物処理業者の排出抑制確認し委託契約実施する。			
産業廃棄物の分別に関する事項				
① 現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・ 建設副産物は100%分別している。			
② 計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・ 目標として、廃プラスチック類を極力減らす。			

(第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項				
① 現状	【前年度（ 2024 年度）実績】			
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	木くず類	がれき類
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0.0 t	0.0 t	0.0 t
	(これまでに実施した取組) ・ 産業廃棄物処理業者の再生利用確認し委託契約実施する。			
② 計画	【目標】			
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	木くず類	がれき類
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0.0 t	0.0 t	0.0 t
	(今後実施する予定の取組)			
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項				
① 現状	【前年度（ 2024 年度）実績】			
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	木くず類	がれき類
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0.0 t	0.0 t	0.0 t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0.0 t	0.0 t	0.0 t
	(これまでに実施した取組)			
②計画	【目標】			
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	木くず類	がれき類
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0.0 t	0.0 t	0.0 t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0.0 t	0.0 t	0.0 t
	(今後実施する予定の取組)			

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項				
① 現状	【前年度（ 2024 年度）実績】			
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	木くず類	がれき類
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0.0 t	0.0 t	0.0 t
	(これまでに実施した取組)			
②計画	【目標】			
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	木くず類	がれき類
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0.0 t	0.0 t	0.0 t
	(今後実施する予定の取組)			
産業廃棄物の処理の委託に関する事項				
① 現状	【前年度（ 2024 年度）実績】			
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	木くず類	がれき類
	全 処 理 委 託 量	7.80 t	25.3 t	3509.6 t
	優良認定処理業者への処 理 委 託 量	0.0 t	0.0 t	0.0 t
	再生利用業者への処 理 委 託 量	0.0 t	25.3 t	3509.6 t
	認定熱回収業者への処 理 委 託 量	7.80 t	0.0 t	0.0 t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処 理 委 託 量	0.0 t	0.0 t	0.0 t
	(これまでに実施した取組)			
	・ 産業廃棄物処理業者の処理確認し委託契約実施する。			

②計画	【目標】			
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	木くず類	がれき類
	全 処 理 委 託 量	10 t	450 t	5000 t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	0.0 t	0.0 t	0.0 t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	0.0 t	450 t	5000 t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	10 t	0.0 t	0.0 t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	0.0 t	0.0 t	0.0 t
	(今後実施する予定の取組) ・ 産業廃棄物処理業者の処理確認し委託契約実施する。 ・ がれき類を極力減らす。			
※事務処理欄				

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

2025年 6 月 11 日

千葉県知事 熊谷 俊人 殿

提出者
住 所 千葉県成田市大清水214番地15
氏 名 関東機工建設株式会社
(代表取締役 小松 茂生)
電話番号 0476-85-4688

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、令和 6 年度 の産業廃棄物
処理計画の実施状況を報告します。

事 業 場 の 名 称	関東機工建設株式会社
事 業 場 の 所 在 地	千葉県成田市大清水214番地15
事 業 の 種 類	建設業 総合工事業
産業廃棄物処理計画における 計 画 期 間	2024年 4月 1日 ～ 2025年 3月 31日

産業廃棄物処理計画における目標値

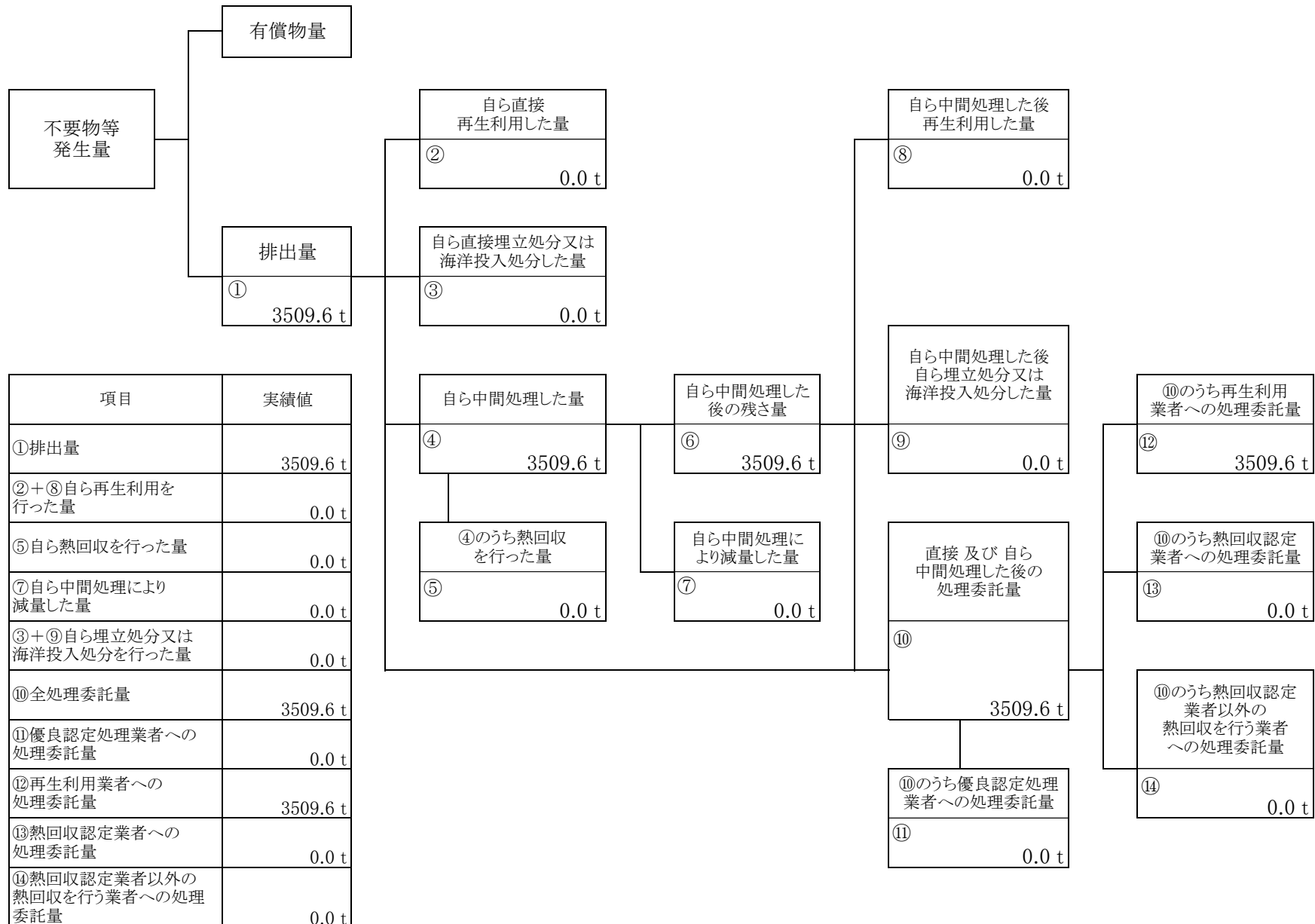
項目	目標値	項目	目標値
排 出 量	5460.0 t	全 処 理 委 託 量	5460.0 t
自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	0t	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	0t
自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量	0t	再生利用業者への 処 理 委 託 量	5450.0 t
自ら中間処理により減量する 産業廃棄物の量	0t	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	10.0 t
自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	0t	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	0t
※事務処理欄			

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類:

がれき類

)

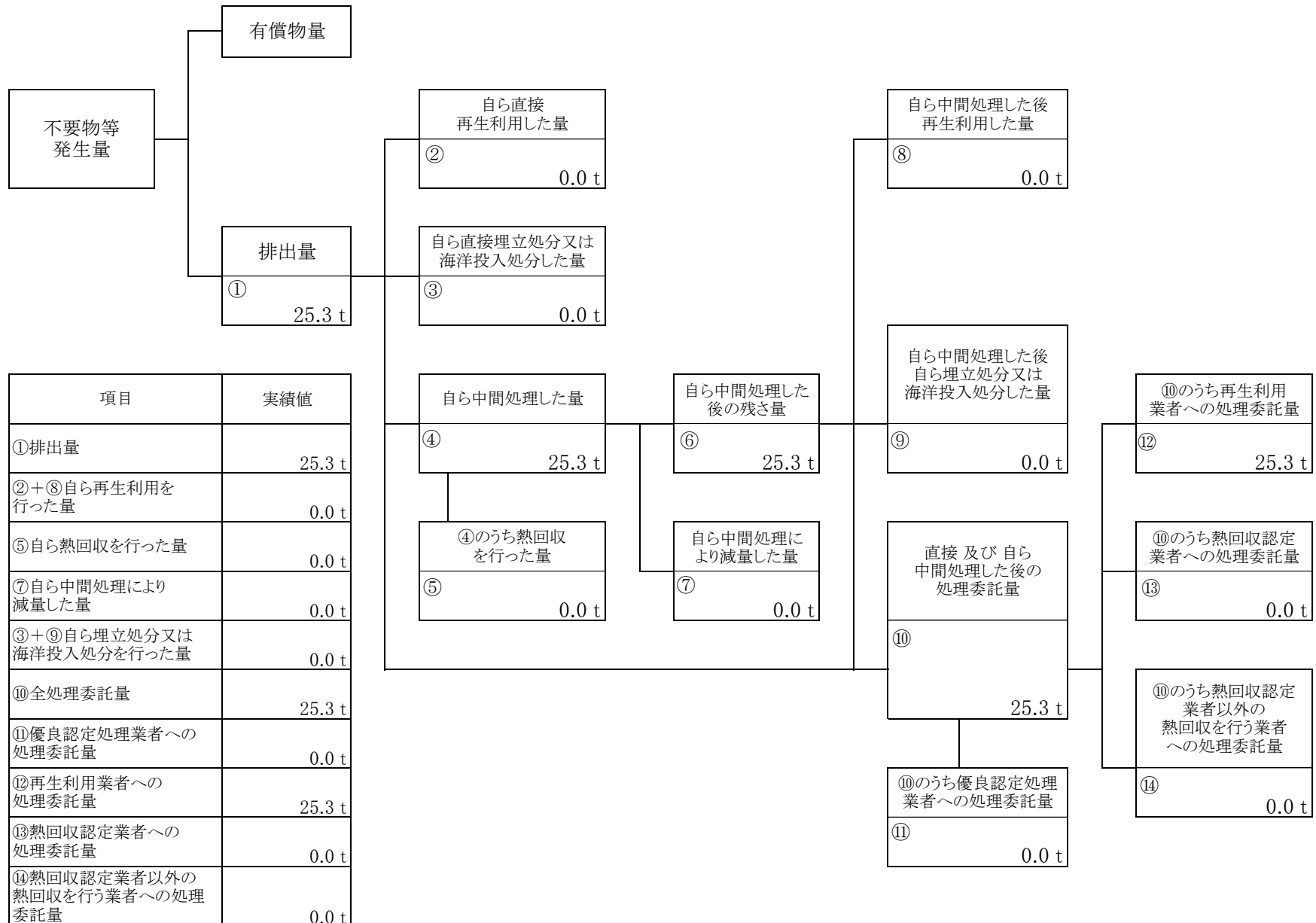


計画の実施状況

(産業廃棄物の種類:

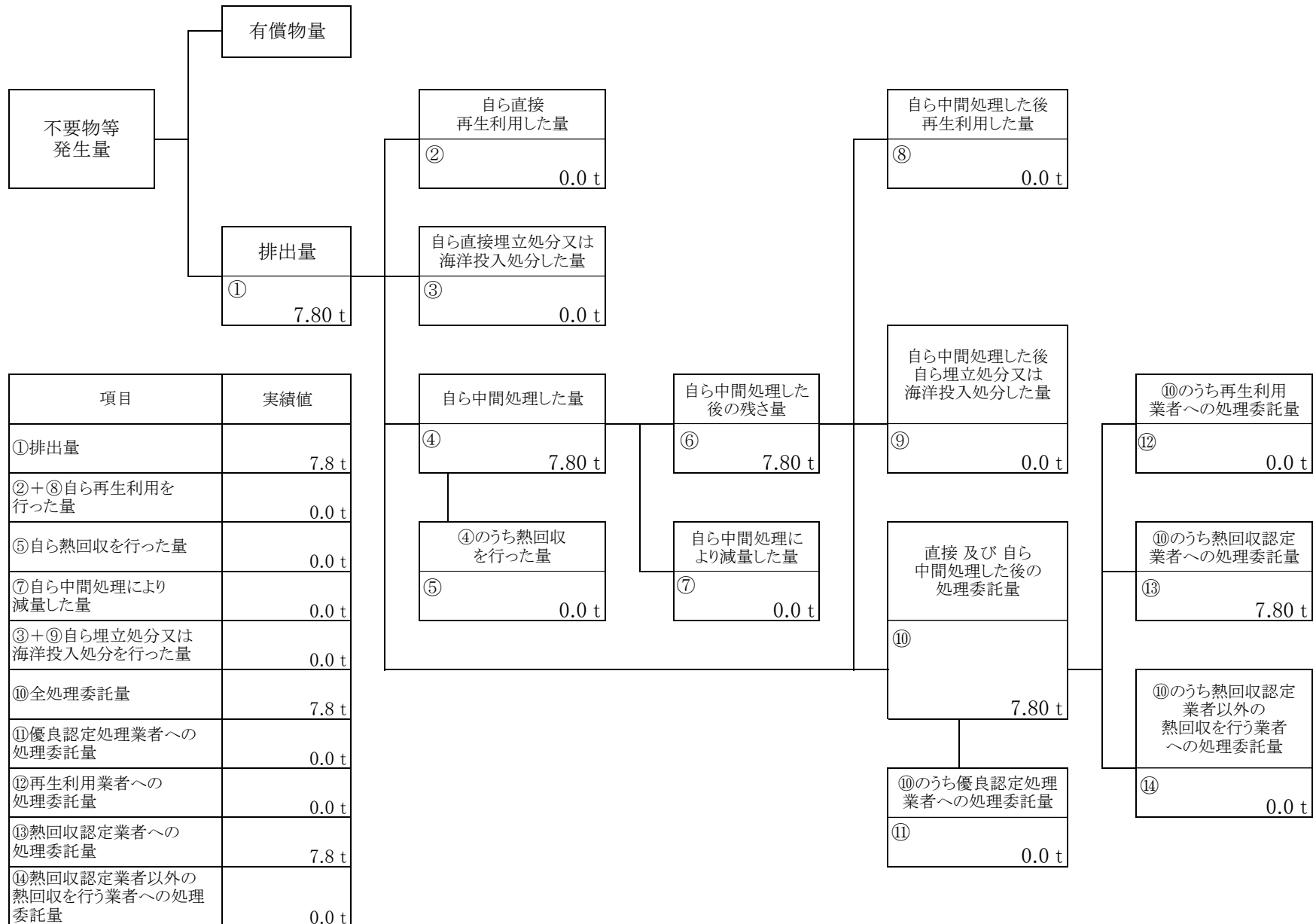
木くず

)



計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: 廃プラスチック類)



様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第 1 面）

産業廃棄物処理計画書

令和7年6月17日

千葉県知事
熊谷 俊人 殿

提出者 104-0031
住 所 東京都中央区京橋1-6-11 カンケン
京橋ビル
法人名 関東建設工業（株） 東京支店
代表者 小路 泰樹
（法人にあつては、名称及び代表者の氏名）
電話番号 03-3562-1711

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	関東建設工業（株） 東京支店 首都圏工事本部			
事業場の所在地	東京都中央区京橋1-6-11			
計画期間	令和7年4月1日	から	令和8年3月31日	
当該事業場において現に行っている事業に関する事項				
①事業の種類	大分類：	建設業	中分類：	総合工事業
②事業の規模	元請完成工事高	約279.0億円		
③従業員数	95人			
④産業廃棄物の 一連の処理の工程	別添 1 処理工程図のとおり			

（日本産業規格 A列4番）

(第2面)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項			
(管理体制図) 別紙 (管理体制)			
産業廃棄物の排出の抑制に関する事項			
①現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙集計表のとおり	
	排出量	1725.85 t	t
	(これまでに実施した取組) ・パレットの持ち帰り ・養生材及び梱包材削減呼び掛け		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙集計表のとおり	
	排出量	1622.3 t	t
	(今後実施する予定の取組) ・パレットの持ち帰り及び返却の強化 ・養生材及び梱包材の再利用の検討		
産業廃棄物の分別に関する事項			
①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・分別産廃種類 木くず、ダンボール、金属くず、廃プラスチック類、廃石膏ボード ・分別に関する取組 種類ごとのコンテナの設置及び表示、呼び掛け		
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・分別種類の追加予定は無し ・分別に関する取組 分別の強化、徹底 再利用の促進		

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
①現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙集計表のとおり	
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0 t	t
	(これまでに実施した取組) 特になし		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙集計表のとおり	
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0 t	t
	(今後実施する予定の取組) 予定なし		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
①現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙集計表のとおり	
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0 t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0 t	t
	(これまでに実施した取組) 特になし		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙集計表のとおり	
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0 t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0 t	t
	(今後実施する予定の取組) 予定なし		

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
①現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙集計表のとおり	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0 t	t
	(これまでに実施した取組) 特になし		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙集計表のとおり	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0 t	t
	(今後実施する予定の取組) 予定なし		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
①現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙集計表のとおり	
	全 処 理 委 託 量	1725.85 t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	1508.95 t	t
	再生利用業者への処理委託量	1725.85 t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	0 t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	t
	(これまでに実施した取組) 優良認定処理業者との委託契約を優先に行う		

(第5面)

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙集計表のとおり	
	全 処 理 委 託 量	1622.3 t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	1418.41 t	t
	再生利用業者への処理委託量	1622.3 t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	0 t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	t
	(今後実施する予定の取組) 優良認定処理業者との委託契約の比率を上げるようにする 電子契約を有効利用する		
	※事務処理欄		

(第6面)

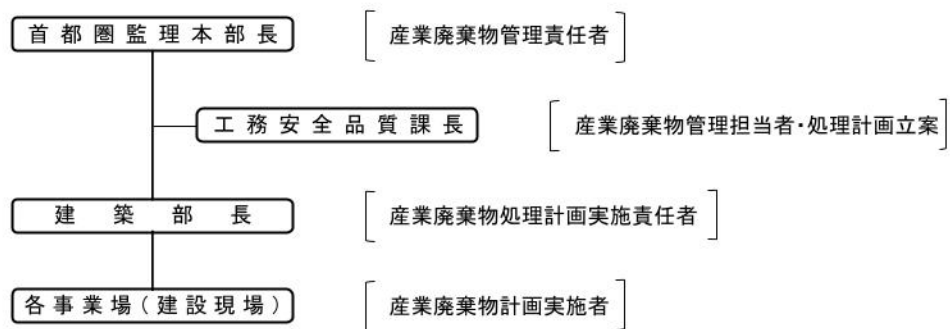
備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1) ①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2) ②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3) ④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

別添 1 処理工程図

- 建設汚泥 → 脱水、固化（凝集・造粒・薬注）→ 改良土
- a) 廃プラスチック類 → 破碎・圧縮 → 再生プラスチック原料、RPF原料
→ 破碎・焼成 → セメント燃料
→ 破碎・切断・圧縮 → 埋立
- b) 紙くず → 圧縮 → 製紙原料、RPF原料
- c) 木くず → 破碎 → 燃料チップ、セメント燃料、堆肥化
- d) 繊維くず → 破碎 → RPF原料、セメント燃料、堆肥化
- e) 金属くず → 圧縮 → 金属製品原料等
- f) がれき類 }
g) ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず } 破碎 → 再生骨材
→ 埋立
- h) 廃石膏ボード → 破碎 → (粉) 石膏ボード原料、土壤改良材
(紙) 製紙原料
- i) コンクリートがら、アスコンがら
- 建設混合廃棄物 → 分別 → a) ～ i)
- 石綿含有産業廃棄物 → 中間処分場にて溶融
最終処分場（管理型）にて埋立

別添2 管理体制図



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項																		
①現状	【前年度（令和6年度）実績】																	
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック類	紙くず	木くず	金属くず	ガラス陶磁器等くず	廃石膏ボード	コンクリート片	その他がれき類	建設混合廃棄物（管理型）							
	排 出 量	1,244.10 t	14.35 t	1.50 t	232.11 t	1.70 t	2.00 t	22.20 t	32.56 t	78.74 t	96.59 t							
②計画	【目標】																	
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック類	紙くず	木くず	金属くず	ガラス陶磁器等くず	廃石膏ボード	コンクリート片	その他がれき類	建設混合廃棄物（管理型）							
	排 出 量	1,169.45 t	13.49 t	1.41 t	218.18 t	1.60 t	1.88 t	20.87 t	30.61 t	74.02 t	90.79 t							
自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項																		
①現状	【前年度（令和6年度）実績】																	
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック類	紙くず	木くず	金属くず	ガラス陶磁器等くず	廃石膏ボード	コンクリート片	その他がれき類	建設混合廃棄物（管理型）							
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t							
②計画	【目標】																	
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック類	紙くず	木くず	金属くず	ガラス陶磁器等くず	廃石膏ボード	コンクリート片	その他がれき類	建設混合廃棄物（管理型）							
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t							
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項																		
①現状	【前年度（令和6年度）実績】																	
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック類	紙くず	木くず	金属くず	ガラス陶磁器等くず	廃石膏ボード	コンクリート片	その他がれき類	建設混合廃棄物（管理型）							
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t							
	自ら中間処理により減容した産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t							
	【目標】																	
②計画	産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック類	紙くず	木くず	金属くず	ガラス陶磁器等くず	廃石膏ボード	コンクリート片	その他がれき類	建設混合廃棄物（管理型）							
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t							
	自ら中間処理により減容する産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t							

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項																	
①現状	【前年度（令和6年度）実績】																
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック類	紙くず	木くず	金属くず	ガラス陶磁器等くず	廃石膏ボード	コンクリート片	その他がれき類	建設混合廃棄物（管理型）						
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t						
②計画	【目標】																
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック類	紙くず	木くず	金属くず	ガラス陶磁器等くず	廃石膏ボード	コンクリート片	その他がれき類	建設混合廃棄物（管理型）						
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t						
産業廃棄物の処理の委託に関する事項																	
①現状	【前年度（令和6年度）実績】																
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック類	紙くず	木くず	金属くず	ガラス陶磁器等くず	廃石膏ボード	コンクリート片	その他がれき類	建設混合廃棄物（管理型）						
	全処理委託量	1,244.10 t	14.35 t	1.50 t	232.11 t	1.70 t	2.00 t	22.20 t	32.56 t	78.74 t	96.59 t						
	※口留等処理業者への処理委託量	1,244.10 t	14.35 t	1.50 t	17.61 t	1.70 t	2.00 t	19.80 t	32.56 t	78.74 t	96.59 t						
	再生利用者への処理委託量	1,244.10 t	14.35 t	1.50 t	232.11 t	1.70 t	2.00 t	22.20 t	32.56 t	78.74 t	96.59 t						
	認定熱回収業者への処理委託量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t						
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t						
②計画	【目標】																
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック類	紙くず	木くず	金属くず	ガラス陶磁器等くず	廃石膏ボード	コンクリート片	その他がれき類	建設混合廃棄物（管理型）						
	全処理委託量	1,169.45 t	13.49 t	1.41 t	218.18 t	1.60 t	1.88 t	20.87 t	30.61 t	74.02 t	90.79 t						
	※口留等処理業者への処理委託量	1,169.45 t	13.49 t	1.41 t	16.55 t	1.60 t	1.88 t	18.61 t	30.61 t	74.02 t	90.79 t						
	再生利用者への処理委託量	1,169.45 t	13.49 t	1.41 t	218.18 t	1.60 t	1.88 t	20.87 t	30.61 t	74.02 t	90.79 t						
	認定熱回収業者への処理委託量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t						
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t						

(第1面)

産業廃棄物処理計画実施状況報告書			
令和7年6月17日			
千葉県知事 熊谷 俊人 殿			
提出者 104-0031			
住所 東京都中央区京橋1-6-11 カンケン京橋ビル			
法人名 関東建設工業(株) 東京支店			
代表者 小路 泰樹			
(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)			
電話番号 03-3562-1711			
産業廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、令和6年度の産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。			
事業場の名称	関東建設工業(株) 東京支店 首都圏工事本部		
事業場の所在地	東京都中央区京橋1-6-11		
事業の種類	大分類 建設業 中分類 総合工事業		
産業廃棄物処理計画における計画期間	令和6年4月1日 から 令和7年3月31日		
産業廃棄物処理計画における目標値			
項目	目標値	項目	目標値
排出量	1049.99 t	全処理委託量	1049.99 t
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0 t	優良認定処理業者への処理委託量	20.52 t
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0 t	再生利用業者への処理委託量	1049.99 t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0 t	認定熱回収業者への処理委託量	0 t
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0 t	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類：汚泥)

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

不要物等発生量

有償物量

②自ら直接再生利用した量
0.0 t

③自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量
0.0 t

④自ら中間処理した量
0.0 t

⑤ ④のうち熱回収を行った量
0.0 t

⑥自ら中間処理した後の残さ量
0.0 t

⑦自ら中間処理により減量した量
0.0 t

⑧自ら中間処理した後再生利用した量
0.0 t

⑨自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
0.0 t

⑩直接及び自ら中間処理した後の処理委託量
1244.1 t

⑪ ⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量
1244.1 t

⑫ ⑩のうち再生利用業者への処理委託量
1244.1 t

⑬ ⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量
0.0 t

⑭ ⑩のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量
0.0 t

①排出量
1244.1 t

項目	実績値
①排出量	1244.1 t
②+⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	1244.1 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	1244.1 t
⑫再生利用業者への処理委託量	1244.1 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: 廃プラスチック類)

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

不要物等発生量

有償物量

②自ら直接再生利用した量
0.0 t

③自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量
0.0 t

⑧自ら中間処理した後再生利用した量
0.0 t

①排出量
14.4t

④自ら中間処理した量
0.0 t

⑥自ら中間処理した後の残さ量
0.0 t

⑨自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
0.0t

⑤ ④のうち熱回収を行った量
0.0 t

⑦自ら中間処理により減量した量
0.0 t

⑩直接及び自ら中間処理した後の処理委託量
14.4 t

⑪ ⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量
14.4 t

⑫ ⑩のうち再生利用業者への処理委託量
14.4 t

⑬ ⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量
0.0 t

⑭ ⑩のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量
0.0 t

項目	実績値
①排出量	14.4 t
②+⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	14.4 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	14.4 t
⑫再生利用業者への処理委託量	14.4 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: 紙くず)

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

不要物等発生量

有償物量

②自ら直接再生利用した量
0.0 t

③自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量
0.0 t

④自ら中間処理した量
0.0 t

⑤ ④のうち熱回収を行った量
0.0 t

⑥自ら中間処理した後の残さ量
0.0 t

⑦自ら中間処理により減量した量
0.0 t

⑧自ら中間処理した後再生利用した量
0.0 t

⑨自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
0.0 t

⑩直接及び自ら中間処理した後の処理委託量
1.5 t

⑪ ⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量
1.5 t

①排出量
1.5 t

③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量
0.0 t

⑩全処理委託量
1.5 t

⑪優良認定処理業者への処理委託量
1.5 t

⑫再生利用業者への処理委託量
1.5 t

⑬熱回収認定業者への処理委託量
0.0 t

⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量
0.0 t

⑫ ⑩のうち再生利用業者への処理委託量
1.5 t

⑬ ⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量
0.0 t

⑭ ⑩のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量
0.0 t

項目	実績値
①排出量	1.5 t
②+⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	1.5 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	1.5 t
⑫再生利用業者への処理委託量	1.5 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: 木くず)

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

不要物等発生量

有償物量

②自ら直接再生利用した量
0.0 t

③自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量
0.0 t

④自ら中間処理した量
0.0 t

⑤ ④のうち熱回収を行った量
0.0 t

⑥自ら中間処理した後の残さ量
0.0 t

⑦自ら中間処理により減量した量
0.0 t

⑧自ら中間処理した後再生利用した量
0.0 t

⑨自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
0.0 t

⑩直接及び自ら中間処理した後の処理委託量
232.1 t

⑪ ⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量
17.6 t

①排出量
232.1 t

⑫ ⑩のうち再生利用業者への処理委託量
232.1 t

⑬ ⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量
0.0 t

⑭ ⑩のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量
0.0 t

項目	実績値
①排出量	232.1 t
②+⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	232.1 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	17.6 t
⑫再生利用業者への処理委託量	232.1 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: 金属くず)

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

不要物等発生量

有償物量

②自ら直接再生利用した量
0.0 t

③自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量
0.0 t

④自ら中間処理した量
0.0 t

⑤ ④のうち熱回収を行った量
0.0 t

⑥自ら中間処理した後の残さ量
0.0 t

⑦自ら中間処理により減量した量
0.0 t

⑧自ら中間処理した後再生利用した量
0.0 t

⑨自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
0.0 t

⑩直接及び自ら中間処理した後の処理委託量
1.7 t

⑪ ⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量
1.7 t

⑫ ⑩のうち再生利用業者への処理委託量
1.7 t

⑬ ⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量
0.0 t

⑭ ⑩のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量
0.0 t

①排出量
1.7 t

項目	実績値
①排出量	1.7 t
②+⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	1.7 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	1.7 t
⑫再生利用業者への処理委託量	1.7 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: ガラス陶磁器等くず)

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

不要物等発生量

有償物量

②自ら直接再生利用した量
0.0 t

③自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量
0.0 t

⑧自ら中間処理した後再生利用した量
0.0 t

①排出量
2.0t

④自ら中間処理した量
0.0 t

⑥自ら中間処理した後の残さ量
0.0 t

⑨自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
0.0t

⑤ ④のうち熱回収を行った量
0.0 t

⑦自ら中間処理により減量した量
0.0 t

⑩直接及び自ら中間処理した後の処理委託量
2.0 t

⑪ ⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量
2.0 t

⑫ ⑩のうち再生利用業者への処理委託量
2.0 t

⑬ ⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量
0.0 t

⑭ ⑩のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量
0.0 t

項目	実績値
①排出量	2.0 t
②+⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	2.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	2.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	2.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.7

(第2面)

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: 廃石膏ボード)

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

不要物等発生量

有償物量

②自ら直接再生利用した量
0.0 t

③自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量
0.0 t

⑧自ら中間処理した後再生利用した量
0.0 t

①排出量
22.2t

④自ら中間処理した量
0.0 t

⑥自ら中間処理した後の残さ量
0.0 t

⑨自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
0.0t

⑤ ④のうち熱回収を行った量
0.0 t

⑦自ら中間処理により減量した量
0.0 t

⑩直接及び自ら中間処理した後の処理委託量
22.2 t

⑪ ⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量
19.8 t

⑫ ⑩のうち再生利用業者への処理委託量
22.2 t

⑬ ⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量
0.0 t

⑭ ⑩のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量
0.0 t

項目	実績値
①排出量	22.2 t
②+⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	22.2 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	19.8 t
⑫再生利用業者への処理委託量	22.2 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: コンクリート片)

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

不要物等発生量

有償物量

②自ら直接再生利用した量
0.0 t

③自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量
0.0 t

⑧自ら中間処理した後再生利用した量
0.0 t

①排出量
32.6t

④自ら中間処理した量
0.0 t

⑥自ら中間処理した後の残さ量
0.0 t

⑨自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
0.0t

⑤ ④のうち熱回収を行った量
0.0 t

⑦自ら中間処理により減量した量
0.0 t

⑩直接及び自ら中間処理した後の処理委託量
32.6 t

⑪ ⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量
32.6 t

⑫ ⑩のうち再生利用業者への処理委託量
32.6 t

⑬ ⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量
0.0 t

⑭ ⑩のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量
0.0 t

項目	実績値
①排出量	32.6 t
②+⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	32.6 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	32.6 t
⑫再生利用業者への処理委託量	32.6 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.9

(第2面)

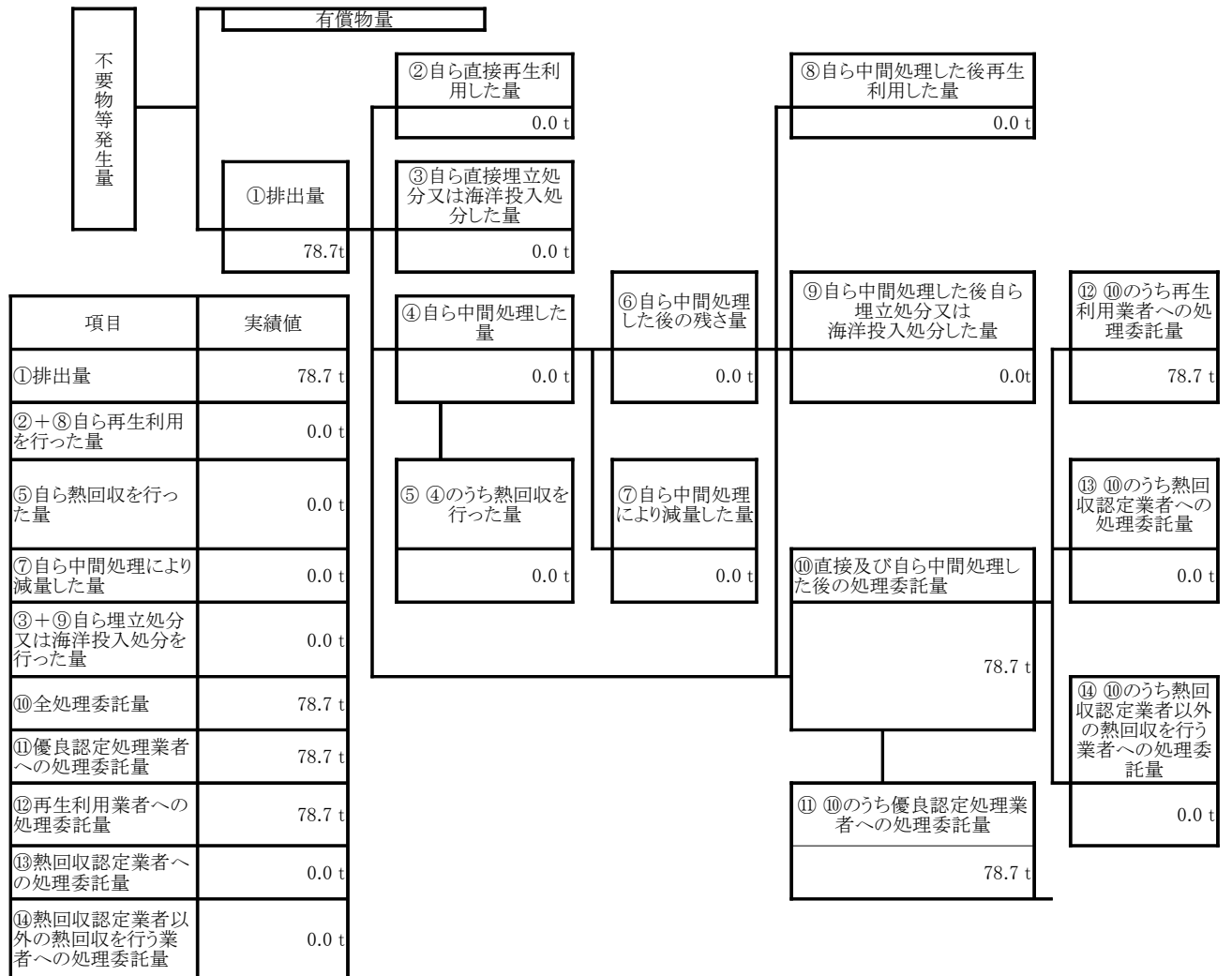
計画の実施状況

(産業廃棄物の種類:

その他がれき類

)

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。



計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: 建設混合廃棄物(管理型))

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

不要物等発生量

有償物量

②自ら直接再生利用した量
0.0 t

③自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量
0.0 t

④自ら中間処理した量
0.0 t

⑤ ④のうち熱回収を行った量
0.0 t

⑥自ら中間処理した後の残さ量
0.0 t

⑦自ら中間処理により減量した量
0.0 t

⑧自ら中間処理した後再生利用した量
0.0 t

⑨自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
0.0 t

⑩直接及び自ら中間処理した後の処理委託量
96.6 t

⑪ ⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量
96.6 t

⑫ ⑩のうち再生利用業者への処理委託量
96.6 t

⑬ ⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量
0.0 t

⑭ ⑩のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量
0.0 t

①排出量
96.6 t

項目	実績値
①排出量	96.6 t
②+⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	96.6 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	96.6 t
⑫再生利用業者への処理委託量	96.6 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

備考

- 1 翌年度の6月30日までに提出すること。
- 2 「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
- 3 「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。
- 4 第2面には、前年度の産業廃棄物処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。
 - (1) ①欄 当該事業場において生じた産業廃棄物の量
 - (2) ②欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量
 - (3) ③欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
 - (4) ④欄 (1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量
 - (5) ⑤欄 (4)の量のうち、熱回収を行った量
 - (6) ⑥欄 自ら中間処理をした後の量
 - (7) ⑦欄 (4)の量から(6)の量を差し引いた量
 - (8) ⑧欄 (6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量
 - (9) ⑨欄 (6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量
 - (10) ⑩欄 中間処理及び最終処分を委託した量
 - (11) ⑪欄 (10)の量のうち、優良認定処理業者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者)への処理委託量
 - (12) ⑫欄 (10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量
 - (13) ⑬欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者)である処理業者への焼却処理委託量
 - (14) ⑭欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量
- 5 第2面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。
- 6 産業廃棄物の種類が2以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。

様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第 1 面）

産業廃棄物処理計画書

令和7年6月26日

千葉県知事
熊谷 俊人 殿

提出者 336-0967
住 所 埼玉県さいたま市緑区美園4-14-11
法人名 株式会社カンドー東部・北部営業所
代表者 三輪 直人
（法人にあつては、名称及び代表者の氏名）
電話番号 048-711-7384

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	株式会社カンドー東部・北部営業所		
事業場の所在地	埼玉県さいたま市緑区美園4-14-11		
計画期間	令和7年4月1日	から	令和8年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項			
①事業の種類	大分類：建設業	中分類：設備工事業	
②事業の規模	昨年度の元請完成施工高	3,867百万円	
③従業員数	49		
④産業廃棄物の一連の処理の工程	別紙（処理工程）		

（日本産業規格 A列4番）

(第2面)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項			
(管理体制図) 別紙 (管理体制)			
産業廃棄物の排出の抑制に関する事項			
①現状	【前年度 (令和6年度) 実績】		
	産業廃棄物の種類	がれき類	コンクリート片
	排出量	1842.2 t	26 t
	(これまでに実施した取組) ●非開削工法の積極的推進 但し、これは、道路管理者及び工事発注者の承諾を得られることが前提となるため、承諾を得られた時だけ実施致しました。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	がれき類	コンクリート片
	排出量	1658 t	23 t
	(今後実施する予定の取組) ●非開削工法の適用範囲拡大に関する開発 現在施工している非開削工法の管種、口径、延長等の条件拡大を目指し、技術開発を行う。		
産業廃棄物の分別に関する事項			
①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)		
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)		

(第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
①現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	がれき類	コンクリート片
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	がれき類	コンクリート片
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
①現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	がれき類	コンクリート片
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	がれき類	コンクリート片
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
①現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	がれき類	コンクリート片
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	がれき類	コンクリート片
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
①現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	がれき類	コンクリート片
	全 処 理 委 託 量	1842.2 t	26 t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	1842.2 t	26 t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
	中間処理施設は、契約時に施設を実際に見学し、処理施設、保管、施設及び再生品目等を確認してから契約する。		

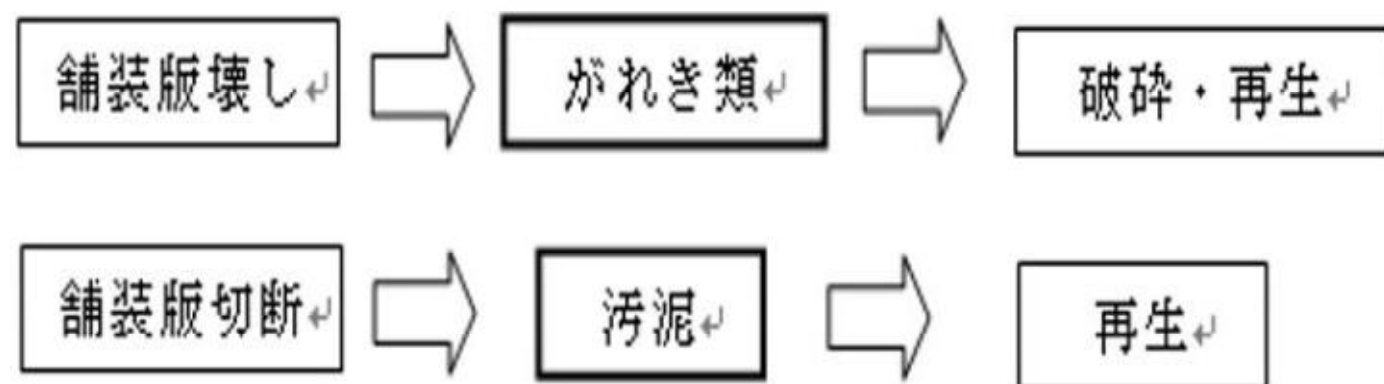
(第5面)

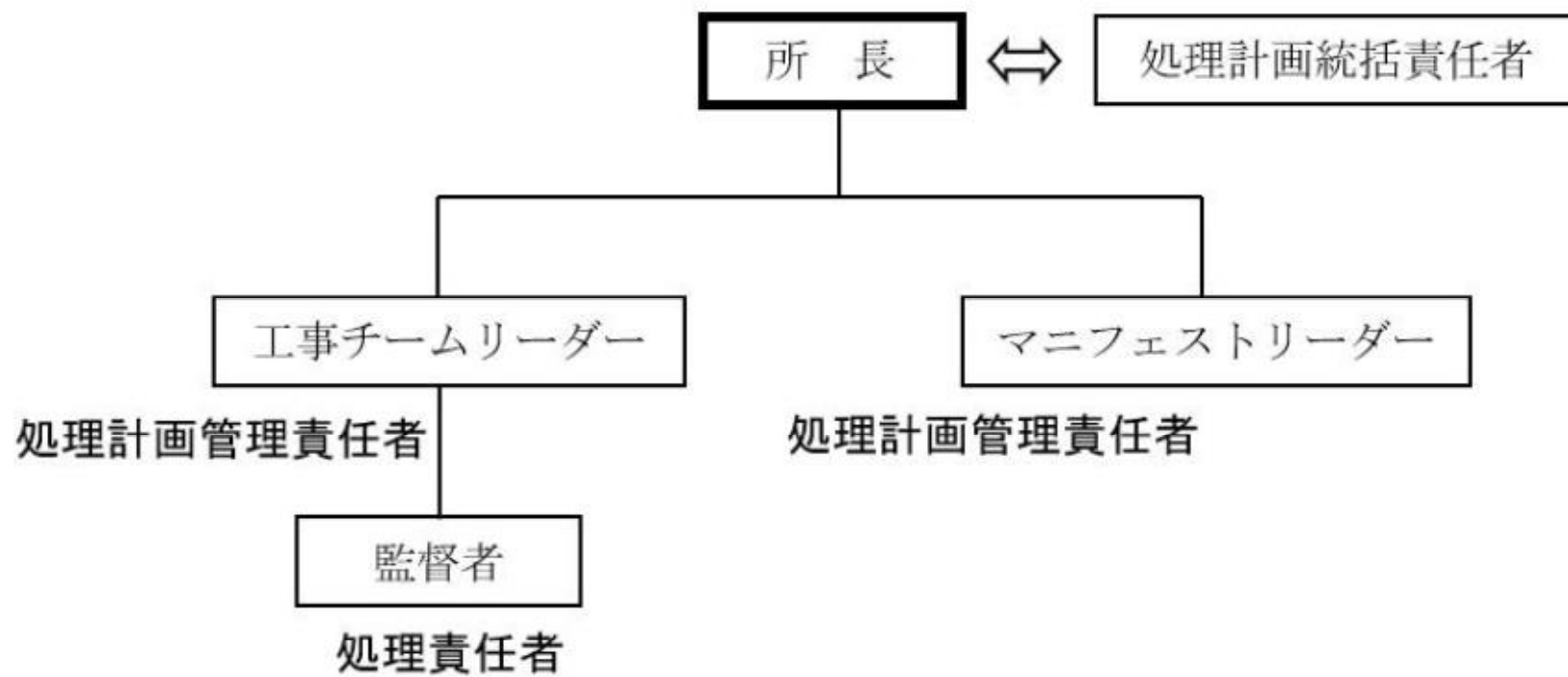
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	がれき類	コンクリート片
	全 処 理 委 託 量	1658 t	23 t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	1658 t	23 t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	(今後実施する予定の取組) 収集運搬業者及び中間処理施設との契約時に優良認定処理業者を積極的に採用する様にする。		
※事務処理欄			

(第6面)

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1) ①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2) ②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3) ④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。





産業廃棄物の排出の抑制に関する事項									
①現状	【前年度（令和6年度）実績】								
	産業廃棄物の種類	汚泥	その他混合廃棄物						
	排 出 量	8.9 t	460.5 t	t	t	t	t	t	t
	【目標】								
②計画	産業廃棄物の種類	汚泥	その他混合廃棄物						
	排 出 量	8 t	414.4 t	t	t	t	t	t	t
自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項									
①現状	【前年度（令和6年度）実績】								
	産業廃棄物の種類	汚泥	その他混合廃棄物						
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
	【目標】								
②計画	産業廃棄物の種類	汚泥	その他混合廃棄物						
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項									
①現状	【前年度（令和6年度）実績】								
	産業廃棄物の種類	汚泥	その他混合廃棄物						
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
②計画	【目標】								
	産業廃棄物の種類	汚泥	その他混合廃棄物						
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項									
①現状	【前年度（令和6年度）実績】								
	産業廃棄物の種類	汚泥	その他混合廃棄物						
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
②計画	【目標】								
	産業廃棄物の種類	汚泥	その他混合廃棄物						
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
産業廃棄物の処理の委託に関する事項									
①現状	【前年度（令和6年度）実績】								
	産業廃棄物の種類	汚泥	その他混合廃棄物						
	全処理委託量	8.9 t	460.5 t	t	t	t	t	t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t
	再生利用業者への処理委託量	8.9 t	460.5 t	t	t	t	t	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t
②計画	【目標】								
	産業廃棄物の種類	汚泥	その他混合廃棄物						
	全処理委託量	8 t	414.4 t	t	t	t	t	t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t
	再生利用業者への処理委託量	8 t	414.4 t	t	t	t	t	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t

(第1面)

産業廃棄物処理計画実施状況報告書			
令和7年6月26日			
千葉県知事 熊谷 俊人 殿			
提出者 336-0967			
住所 埼玉県さいたま市緑区美園4-14-11			
法人名 株式会社カンドー東部・北部営業所			
代表者 柴田 大生			
(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)			
電話番号 048-711-7384			
産業廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、令和6年度の産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。			
事業場の名称	株式会社カンドー東部・北部営業所		
事業場の所在地	埼玉県さいたま市緑区美園4-14-11		
事業の種類	大分類 建設業 中分類 設備工事業		
産業廃棄物処理計画における計画期間	令和6年4月1日 から 令和7年3月31日		
産業廃棄物処理計画における目標値			
項目	目標値	項目	目標値
排出量	1911 t	全処理委託量	1911 t
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	優良認定処理業者への処理委託量	t
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	再生利用業者への処理委託量	1911 t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	認定熱回収業者への処理委託量	t
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t

N0.1

(第2面)

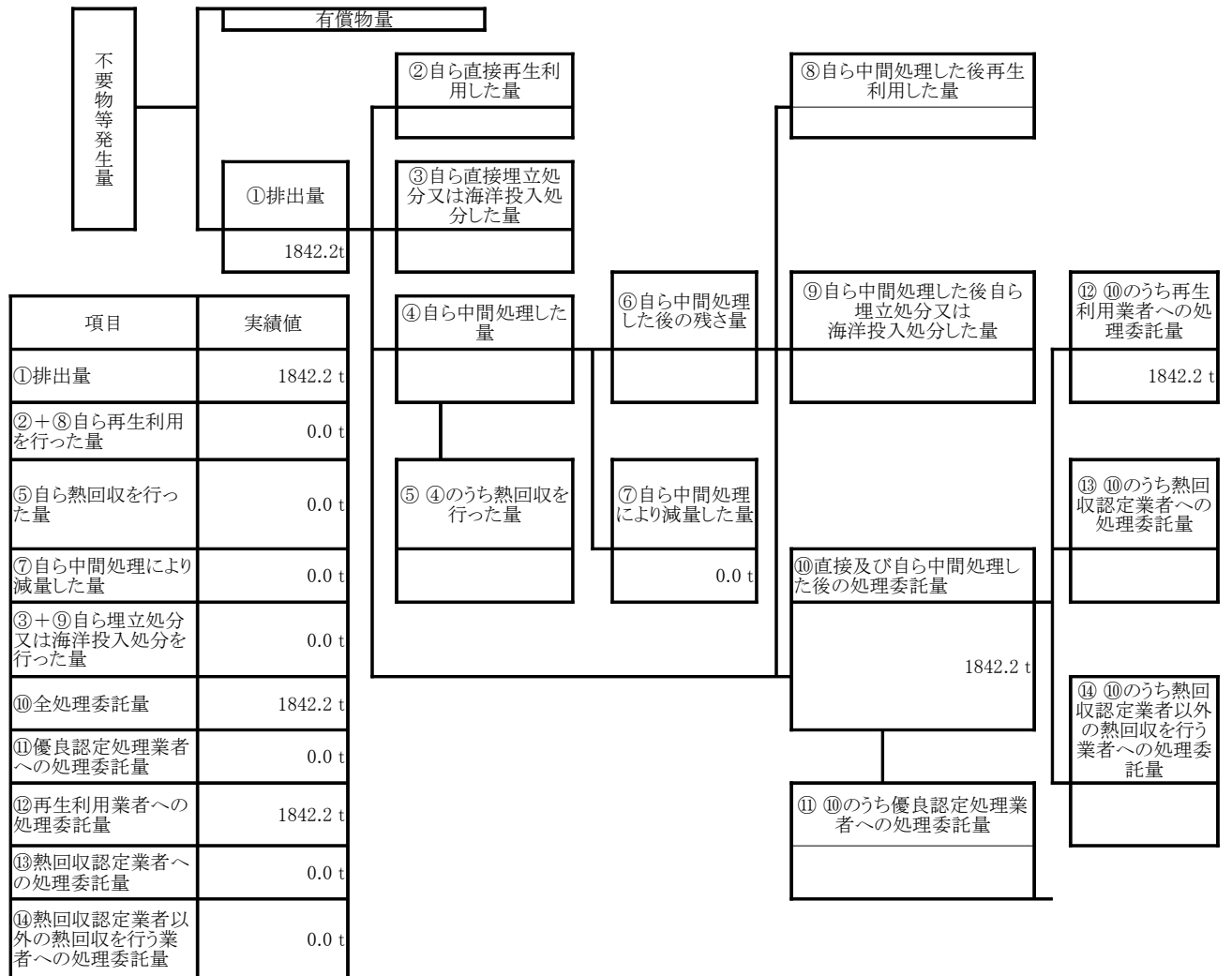
計画の実施状況

(産業廃棄物の種類:

がれき類

)

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。



計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: その他混合廃棄物)

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

不要物等発生量

有償物量

②自ら直接再生利用した量

③自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量

④自ら中間処理した量

⑤ ④のうち熱回収を行った量

⑥自ら中間処理した後の残さ量

⑦自ら中間処理により減量した量

⑧自ら中間処理した後再生利用した量

⑨自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量

⑩直接及び自ら中間処理した後の処理委託量

⑪ ⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量

⑫ ⑩のうち再生利用業者への処理委託量

⑬ ⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量

⑭ ⑩のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量

項目	実績値
①排出量	460.5 t
②+⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	460.5 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	460.5 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: 汚泥)

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

不要物等発生量

有償物量

②自ら直接再生利用した量

③自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量

④自ら中間処理した量

⑤ ④のうち熱回収を行った量

⑥自ら中間処理した後の残さ量

⑦自ら中間処理により減量した量

⑧自ら中間処理した後再生利用した量

⑨自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量

⑩直接及び自ら中間処理した後の処理委託量

⑪ ⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量

⑫ ⑩のうち再生利用業者への処理委託量

⑬ ⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量

⑭ ⑩のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量

項目	実績値
①排出量	8.9 t
②+⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	8.9 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	8.9 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: コンクリート片)

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

不要物等発生量

有償物量

②自ら直接再生利用した量

③自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量

④自ら中間処理した量

⑤ ④のうち熱回収を行った量

⑥自ら中間処理した後の残さ量

⑦自ら中間処理により減量した量

⑧自ら中間処理した後再生利用した量

⑨自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量

⑩直接及び自ら中間処理した後の処理委託量

⑪ ⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量

⑫ ⑩のうち再生利用業者への処理委託量

⑬ ⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量

⑭ ⑩のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量

項目	実績値
①排出量	26.0 t
②+⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	26.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	26.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

備考

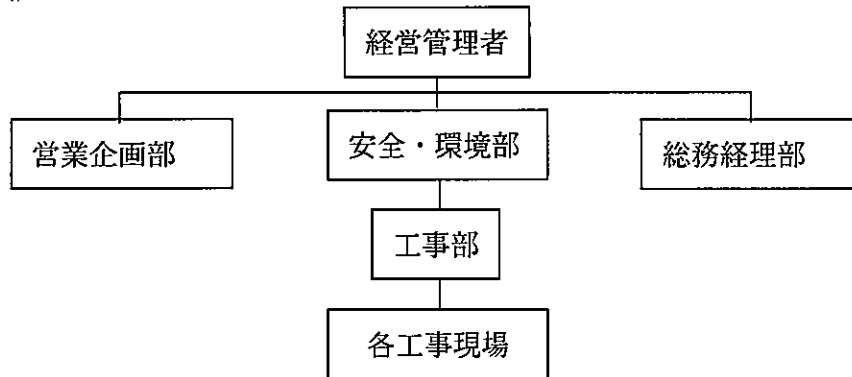
- 1 翌年度の6月30日までに提出すること。
- 2 「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
- 3 「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。
- 4 第2面には、前年度の産業廃棄物処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。
 - (1) ①欄 当該事業場において生じた産業廃棄物の量
 - (2) ②欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量
 - (3) ③欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
 - (4) ④欄 (1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量
 - (5) ⑤欄 (4)の量のうち、熱回収を行った量
 - (6) ⑥欄 自ら中間処理をした後の量
 - (7) ⑦欄 (4)の量から(6)の量を差し引いた量
 - (8) ⑧欄 (6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量
 - (9) ⑨欄 (6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量
 - (10) ⑩欄 中間処理及び最終処分を委託した量
 - (11) ⑪欄 (10)の量のうち、優良認定処理業者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者)への処理委託量
 - (12) ⑫欄 (10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量
 - (13) ⑬欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者)である処理業者への焼却処理委託量
 - (14) ⑭欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量
- 5 第2面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。
- 6 産業廃棄物の種類が2以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。

(第1面)

産業廃棄物処理計画書	
令和7年6月30日	
千葉県知事 熊谷俊人 殿	
提出者 住 所 千葉県市原市青柳北2丁目5番地21 氏 名 株式会社カンナ 代表取締役 漢那哲生 電話番号 0436-21-0808	
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。	
事業場の名称	株式会社カンナ
事業場の所在地	千葉県市原市青柳北2丁目5番地21 (千葉県市、船橋市及び柏市を除く千葉県内事業所分)
計画期間	令和7年4月1日～令和8年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	大分類：建設業 中分類：職別工事業 小分類：とび・土工・コンクリート・解体工事業
②事業の規模	¥2,431,416,995-
③従業員数	48名(全社)
④産業廃棄物の一連の処理の工程	別紙添付

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

① 現状	【前年度（令和6年度）実績】 別紙のとおり		
	産業廃棄物の種類	—	—
	排出量	— t	— t
	（これまでに実施した取組） ・ 排出抑制目標に基づき、適宜評価を行い、不都合又は不具合な点があれば問題点として計上し、対策を行う。 ・ 廃棄物の排出数量を品目毎に監視し、目標数値と比較を続ける。 ・ 工事現場内にて発生抑制可能な廃棄物については、可能な限り再利用等を推進する。		
②計画	【目標】 別紙のとおり		
	産業廃棄物の種類	—	—
	排出量	— t	— t
	（今後実施する予定の取組） ・ 排出抑制目標に基づき、適宜評価を行い、不都合又は不具合な点があれば問題点として計上し、対策を行う。 ・ 廃棄物の排出数量を品目毎に監視し、目標数値と比較を続ける。 ・ 工事現場内にて発生抑制可能な廃棄物については、可能な限り再利用等を推進する。		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） がれき類（コンクリート塊、アスファルト塊）、木くずは分別を確実に 行うとともに、石綿含有産業廃棄物についても、他の廃棄物に混入し ないように確実に分別、保管を実施。
②計画	（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） 管理型混合廃棄物：前年の取組の他に、混合廃棄物排出量を抑制する 為に、廃棄物の分別の徹底をより一層行う。

(第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

① 現状	【前年度（令和6年度）実績】 別紙のとおり		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	— t	— t
	（これまでに実施した取組） ・ 工事現場での3Rへの取り組み意識を向上させる活動を行う。 ・ 工事現場での再生利用（がれき類）を促進させ、排出抑制にも努める。		
②計画	【目標】 別紙のとおり		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	— t	— t
	（今後実施する予定の取組） ・ 工事現場内にて発生抑制可能な廃棄物については、可能な限り再利用等を推進する。		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

① 現状	【前年度（令和6年度）実績】 別紙のとおり		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	— t	— t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	— t	— t
	（これまでに実施した取組） ・ 当社にてがれき類の破碎による中間処理を行っている。		
②計画	【目標】 別紙のとおり		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	— t	— t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	— t	— t
	（今後実施する予定の取組） ・ がれき類中間処理施設を保有（千葉県市原市） ・ 処理施設での破碎、減量化に努める。		

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

① 現状	【前年度（令和6年度）実績】 別紙のとおり		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	— t	— t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】 別紙のとおり		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	— t	— t
	(今後実施する予定の取組)		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

① 現状	【前年度（令和6年度）実績】 別紙のとおり		
	産業廃棄物の種類	—	—
	全 処 理 委 託 量	— t	— t
	優良認定処理業者への処 理 委 託 量	— t	— t
	再生利用業者への処 理 委 託 量	— t	— t
	認定熱回収業者への処 理 委 託 量	— t	— t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処 理 委 託 量	— t	— t
	(これまでに実施した取組)		
	・可能な限りリサイクル率の高い処理業者を選定する。 ・分別の徹底により、再資源化できる廃棄物の利用促進を行う。		

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
	全 処 理 委 託 量	— t	— t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	— t	— t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	— t	— t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	— t	— t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	— t	— t
	(今後実施する予定の取組) ・可能な限り優良認定処理業者から選定する。 ・電子マニフェストの導入を進めるため、電子マニフェスト対応可能な処理業者から選定する。 ・また、再生利用可能である廃棄物については、再生利用業者へ処理を委託する。 ・委託先処理業者には定期的に現地確認を実施する。 ・施設見学、資料等を確認し適正な処理業者を選定する。		
※事務処理欄			

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1) ①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2) ②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3) ④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

別紙① 産業廃棄物処理計画書

・産業廃棄物の排出の抑制に関する事項 ①現状

・産業廃棄物の処理の委託に関する事項 ①現状

単位 : t

各処理項目 産業廃棄物の種類	産業廃棄物 発生量の 目標	①産業廃棄 物発生量	②自己直接 再生利用量	③自己直接 埋立処分又 は海洋投入 量	④自己中間 処理量	⑤ ④のうち 熱回収を行っ た量	⑥自己中間 処理残さ量	⑦自ら中間処 理により減量 した量	⑧自ら中間処 理後の再生 利用量	⑨自ら中間処 理後埋立処 分又は海洋 投入量	⑩直接委託し た処分量及び 自ら処理後の 委託処分量	⑪ ⑩のうち 優良認定処 理業者への 処理委託量	⑫ ⑩のうち 再生利用業 者への処理 委託量	⑬ ⑩のうち 熱回収認定 業者への処 理委託量	⑭ ⑩のうち 熱回収認定 業者以外の 熱回収を行う 業者への処 理委託量
1 がれき類 (コンクリート塊、アスファルト塊)	9258.23	20776.03			20776.03		20776.03		20776.03		0.00				
2 がれき類(ALC)	0.00	0.00									0.00				
3 ガラスくず・コンクリートくず 及び陶磁器くず	122.84	451.82									451.82				
4 がれき類(石膏ボード)	180.50	198.50									198.50		198.50		
5 がれき類(石綿含有)	0.00	0.00									0.00				
6 廃プラスチック類	31.83	45.78									45.78		45.78		
7 木くず	146.97	948.56									948.56		948.56		
8 伐採材、伐根材	1663.74	0.00									0.00		0.00		
9 繊維くず	11.97	33.30									33.30	33.30			
10 安定型混合廃棄物	0.00	115.94									115.94				
11 管理型混合廃棄物	462.08	530.80									530.80				
12 蛍光灯	0.38	0.25									0.25		0.25		
13 汚泥	663.58	1220.98									1220.98		1220.98		
14 廃油	13.11	0.72									0.72		0.72		
15 廃電池	0.02	0.00									0.00		0.00		
合 計	12555.25	24322.68	0.00	0.00	20776.03	0.00	20776.03	0.00	20776.03	0.00	3546.65	33.30	2414.79	0.00	0.00

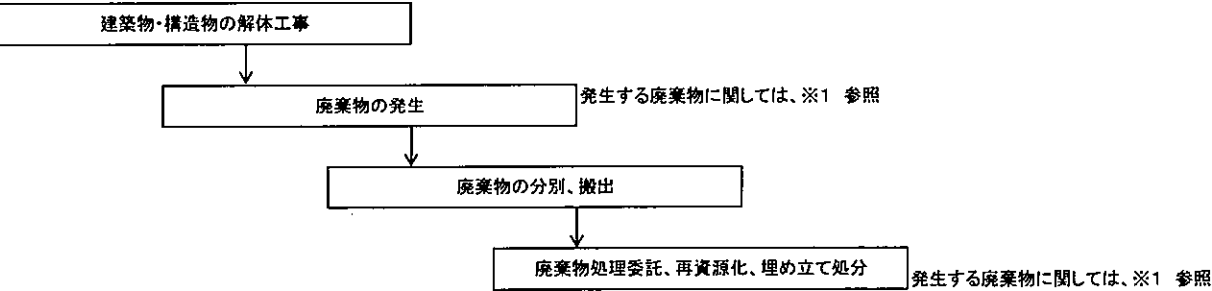
別紙② 産業廃棄物処理計画書

・産業廃棄物の排出の抑制に関する事項 ②計画
 ・産業廃棄物の処理の委託に関する事項 ②計画

単位 : t

	各処理項目 産業廃棄物の種類	前年度の 産業廃棄物 発生量	①産業廃棄 物発生量	②自己直接 再生利用量	③自己直接 埋立処分又 は海洋投入 量	④自己中間 処理量	⑤ ④のうち 熱回収を行っ た量	⑥自己中間 処理残さ量	⑦自ら中間処 理により減量 した量	⑧自ら中間処 理後の再生 利用量	⑨自ら中間処 理後埋立処 分又は海洋 投入量	⑩直接委託し た処分量及び 自ら処理後の 委託処分量	⑪ ⑩のうち 優良認定処 理業者への 処理委託量	⑫ ⑩のうち 再生利用業 者への処理 委託量	⑬ ⑩のうち 熱回収認定 業者への処 理委託量	⑭ ⑩のうち 熱回収認定 業者以外の 熱回収を行 う業者への 処理委託量
1	がれき類 (コンクリート塊、アスファルト塊)	20776.03	19737.23			9868.61				9868.61		9868.62	2960.59	6908.03		
2	がれき類(ALC)	0.00	0.00									0.00	0.00	0.00		
3	ガラスくず・コンクリートくず 及び陶磁器くず	451.82	429.23									429.23	85.85	343.38		
4	がれき類(石膏ボード)	198.50	188.58									188.58	37.72	198.50		
5	がれき類(石綿含有)	0.00	0.00									0.00	0.00	0.00		
6	廃プラスチック類	45.78	43.49									43.49	8.70	45.78		
7	木くず	948.56	901.13									901.13	180.23	948.56		
8	伐採材、伐根材	0.00	0.00									0.00	0.00	0.00		
9	繊維くず	33.30	31.64									31.64	6.33	25.31		
10	安定型混合廃棄物	115.94	110.14									110.14	22.03	88.11		
11	管理型混合廃棄物	530.80	504.26									504.26	100.85	403.41		
12	蛍光灯	0.25	0.24									0.24	0.05	0.25		
13	汚泥	1220.98	1159.93									1159.93	231.99	1220.98		
14	廃油	0.72	0.68									0.68	0.14	0.72		
15	廃電池	0.00	0.00									0.00	0.00	0.00		
	合 計	24322.68	23106.55	0.00	0.00	9868.61	0.00	0.00	0.00	9868.61	0.00	13237.94	3634.45	3275.00	0.00	0.00

○解体工事



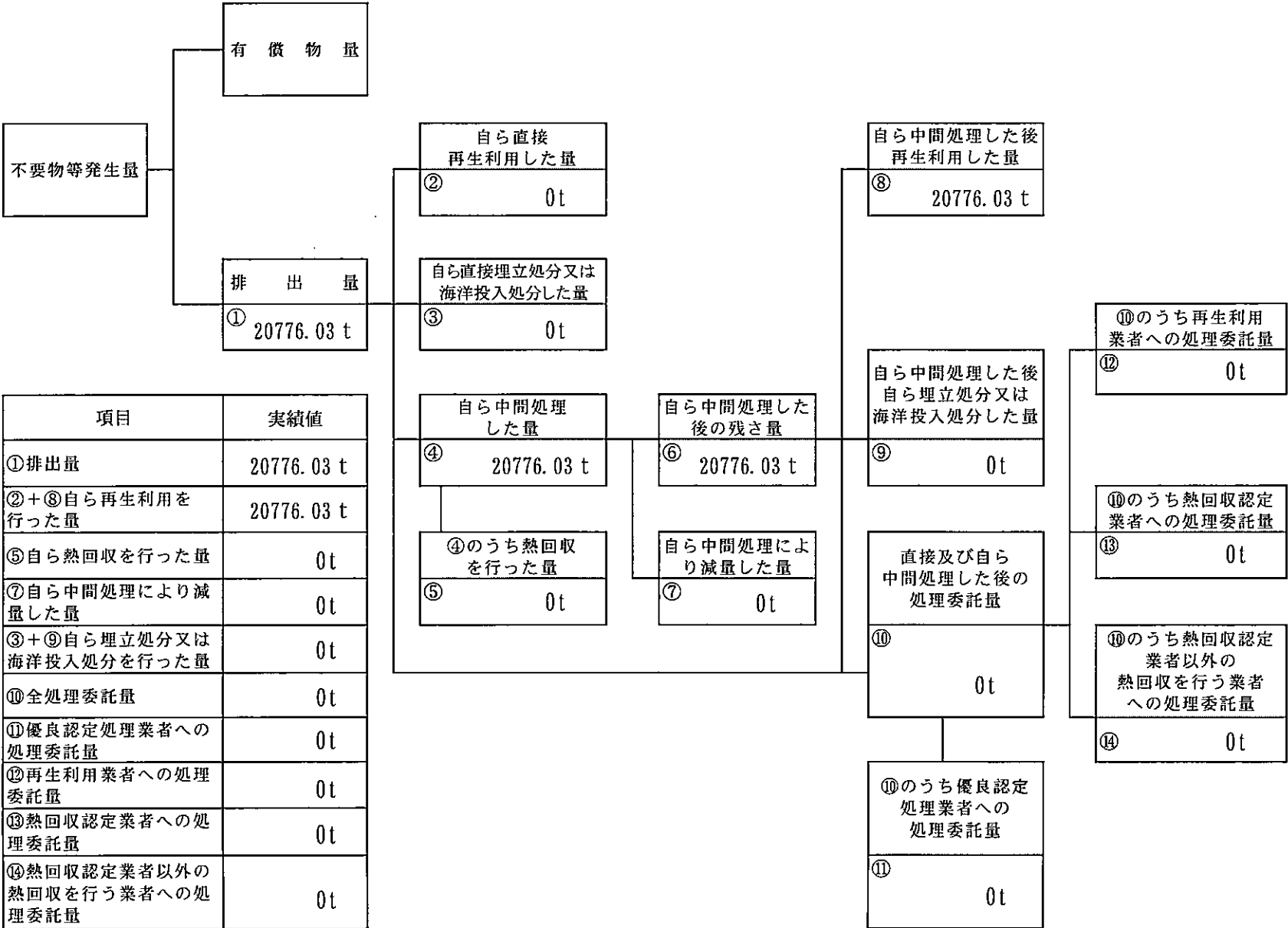
※1			
1	がれき類 (コンクリート塊、アスファルト塊)	破碎(委託又は自己中間処理)	再生砕石として再利用
2	がれき類(ALC)	破碎(委託)	最終処分場で埋立処分
3	ガラスくず・コンクリートくず 及び陶磁器くず	分別・破碎(委託)	再生砕石、再生砂として再利用
4	がれき類(石膏ボード)	分別・破碎(委託)	石膏ボード原料として再利用
5	がれき類(石綿含有)	ビニールシートにて二重梱包	最終処分場で埋立処分
6	廃プラスチック類	破碎、圧縮、梱包(委託)	固形燃料(RPF)、セメント原料、燃料として再利用
7	木くず	破碎(委託)	チップ化、堆肥や燃料等として再利用
8	伐採材、伐根材	破碎(委託)	チップ化、堆肥や燃料等として再利用
9	繊維くず	破碎(委託)	チップ化、堆肥や燃料等として再利用
10	安定型混合廃棄物	分別・破碎(委託)	各品目の原材料として再利用→残さ物:埋立処分
11	管理型混合廃棄物	分別・破碎(委託)	各品目の原材料として再利用→残さ物:埋立処分
12	蛍光灯	分解、水銀除去、回収	リサイクル製品として再利用(水銀、蛍光粉、ミックスメタル等)
13	汚泥	天日乾燥、固形化(委託)	埋戻し土として再利用
14	廃油	分析、分別、遠心分離等	サーマルリサイクルとして熱回収等
15	廃電池	解体、分地、熱処理	再利用製品としてリサイクル

(第 1 面)

産業廃棄物処理計画実施状況報告書			
令和 7 年 6 月 3 0 日			
千葉県知事 熊谷俊人殿			
提出者 住 所 千葉県市原市青柳北 2 丁目 5 番地 2 1 氏 名 株式会社カンナ 代表取締役 漢那哲生 (法人にあっては、名称及び代表者の氏名) 電話番号 0436-21-0808			
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第 12 条第 10 項の規定に基づき、令和 6 年度の産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。			
事業場の名称	株式会社カンナ		
事業場の所在地	〒299-0101 千葉県市原市青柳北 2 丁目 5 番地 2 1 (千葉県市、船橋市及び柏市を除く千葉県内事業場分)		
事業の種類	大分類：建設業 中分類：職別工事業 小分類：とび・土工・コンクリート・解体工事業		
産業廃棄物処理計画における計画期間	令和 6 年 4 月 1 日 ～ 令和 7 年 3 月 3 1 日		
産業廃棄物処理計画における目標値			
項目	目標値	項目	目標値
排出量	12, 555. 22 t	全処理委託量	7, 926. 11 t
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0 t	優良認定処理業者への処理委託量	2, 048. 13 t
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0 t	再生利用業者への処理委託量	2, 637. 60 t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	4, 629. 11 t	認定熱回収業者への処理委託量	0 t
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0 t	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t
※事務処理欄			

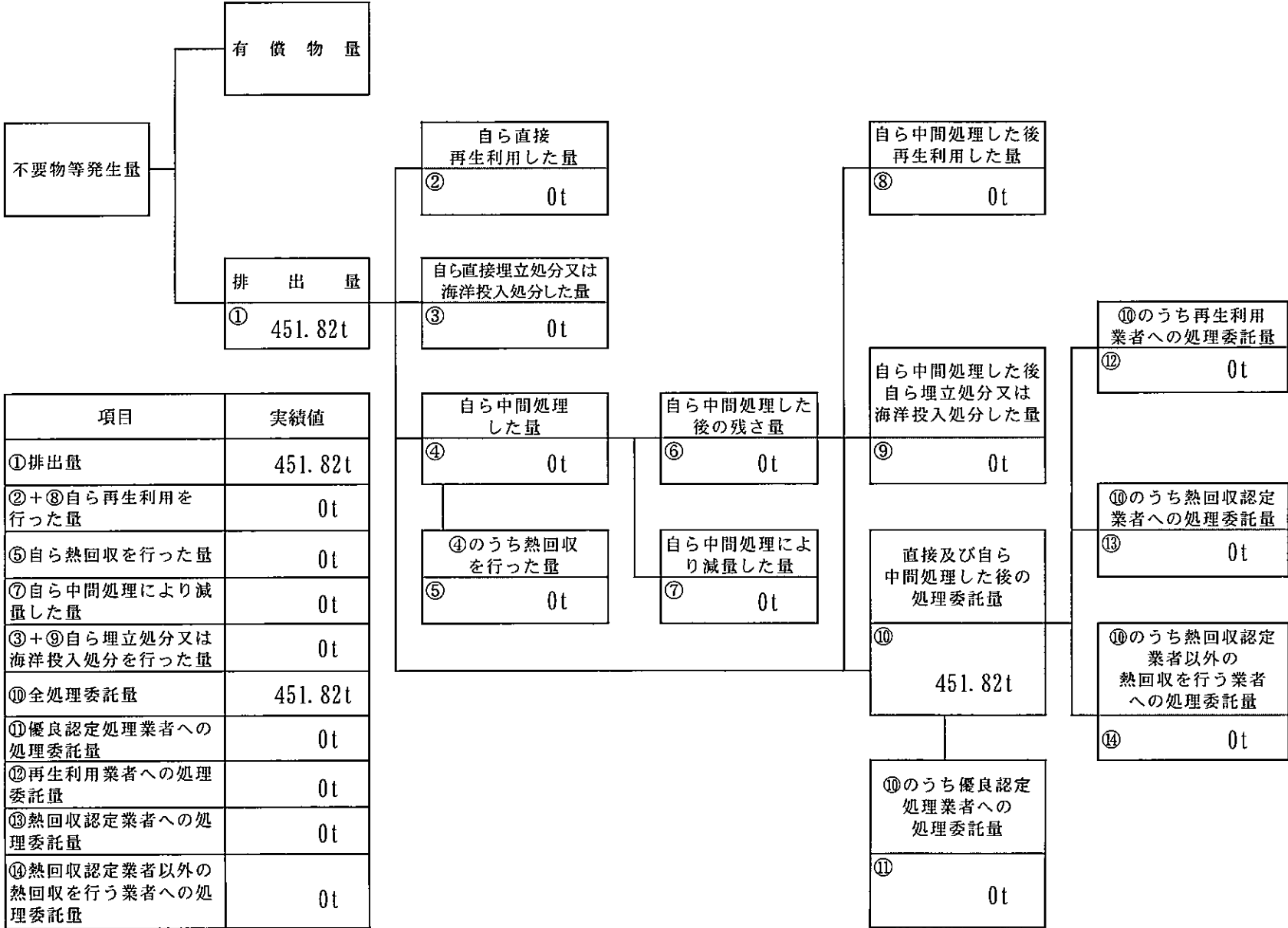
計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: がれき類(コンクリート、アスファルト塊))



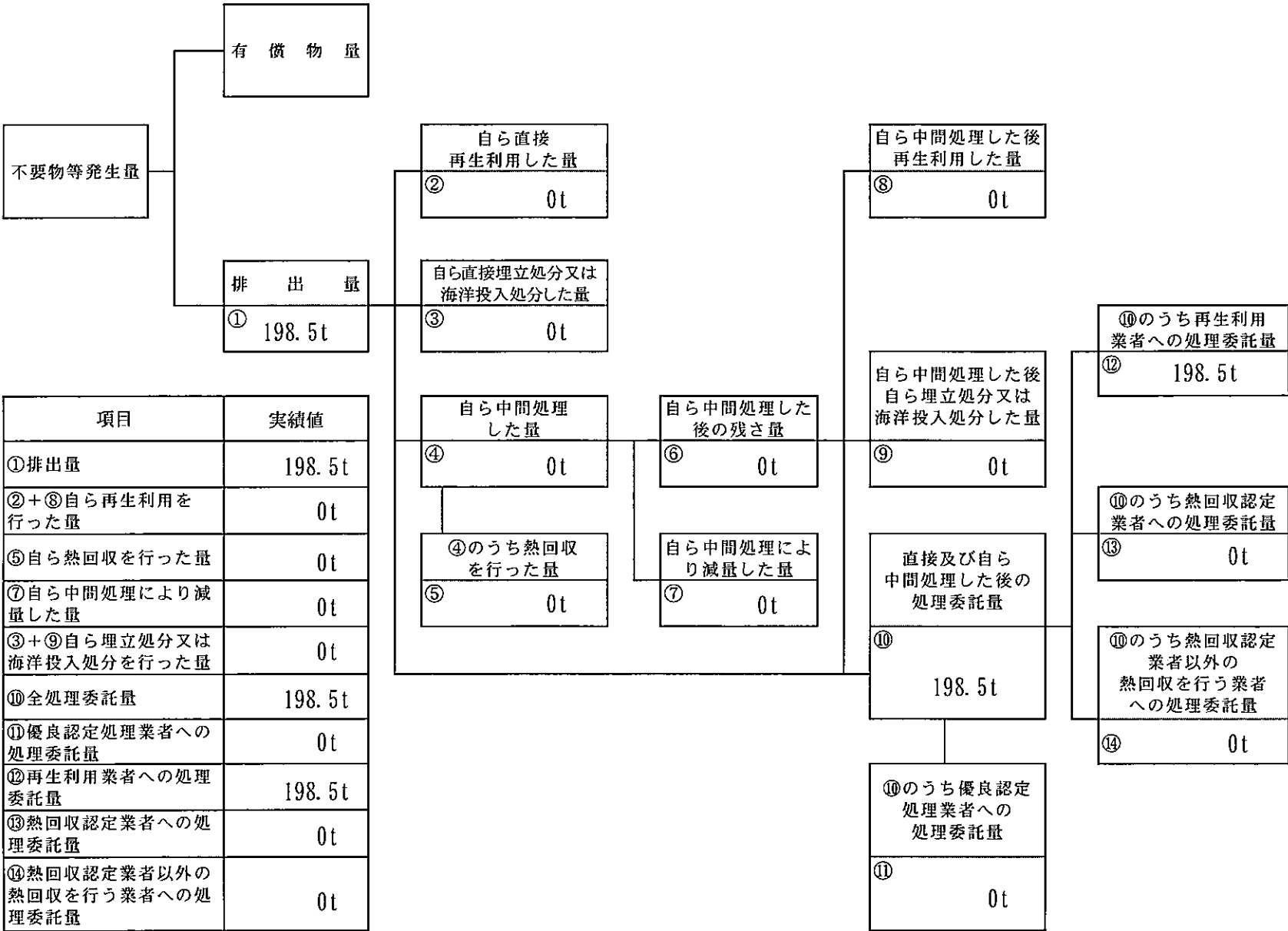
計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず)



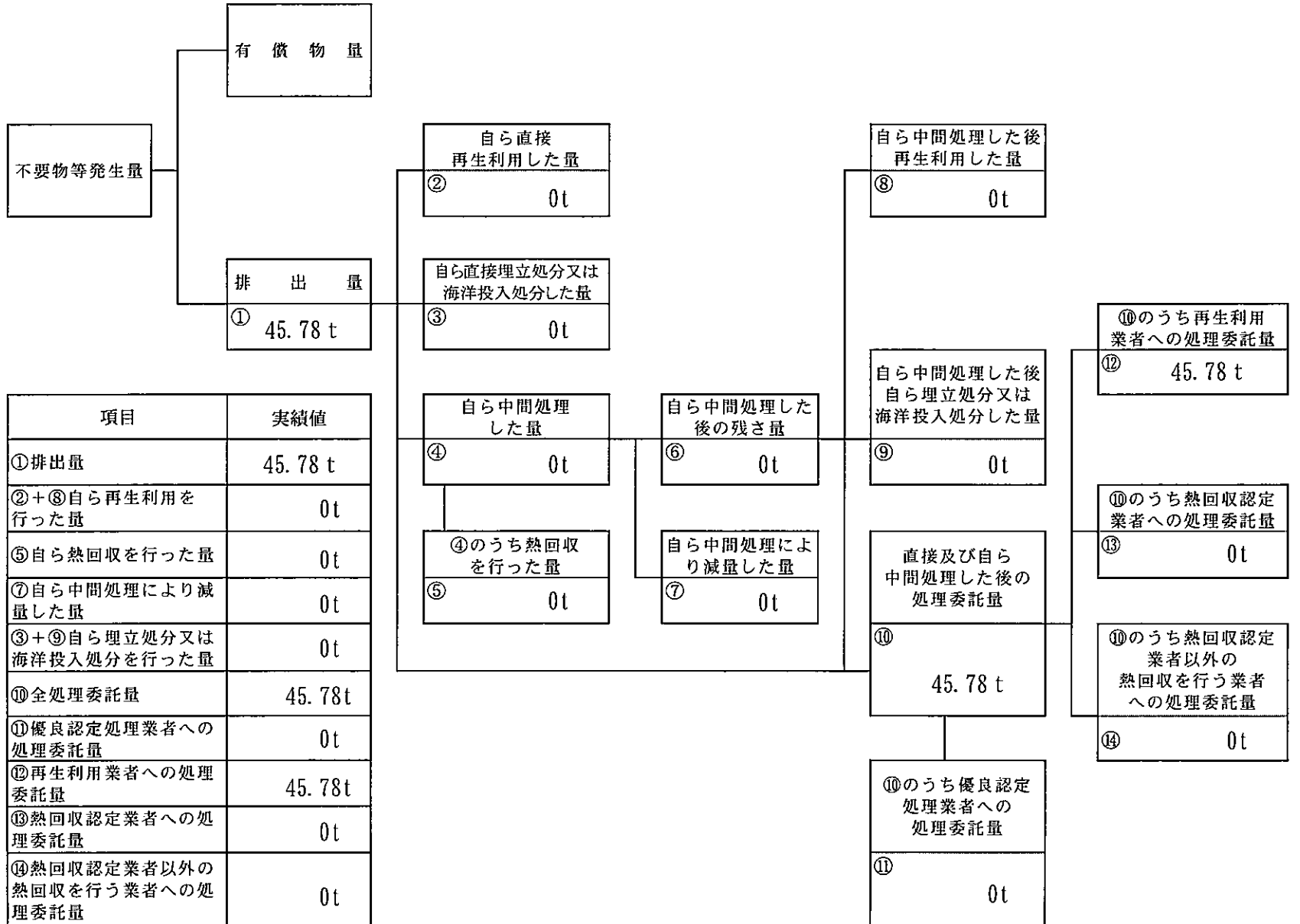
計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: がれき類(石膏ボード))



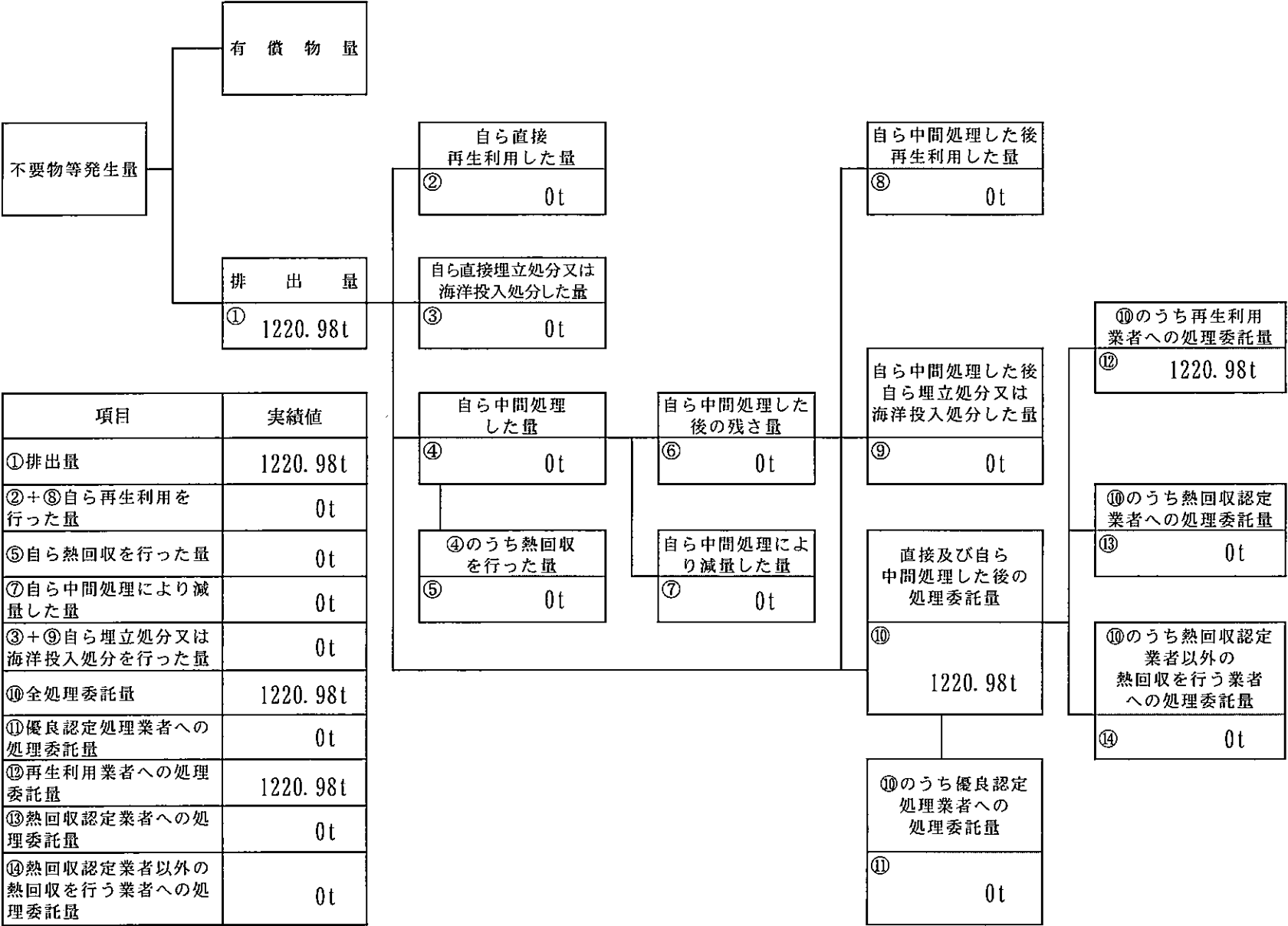
計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: 廃プラスチック類)



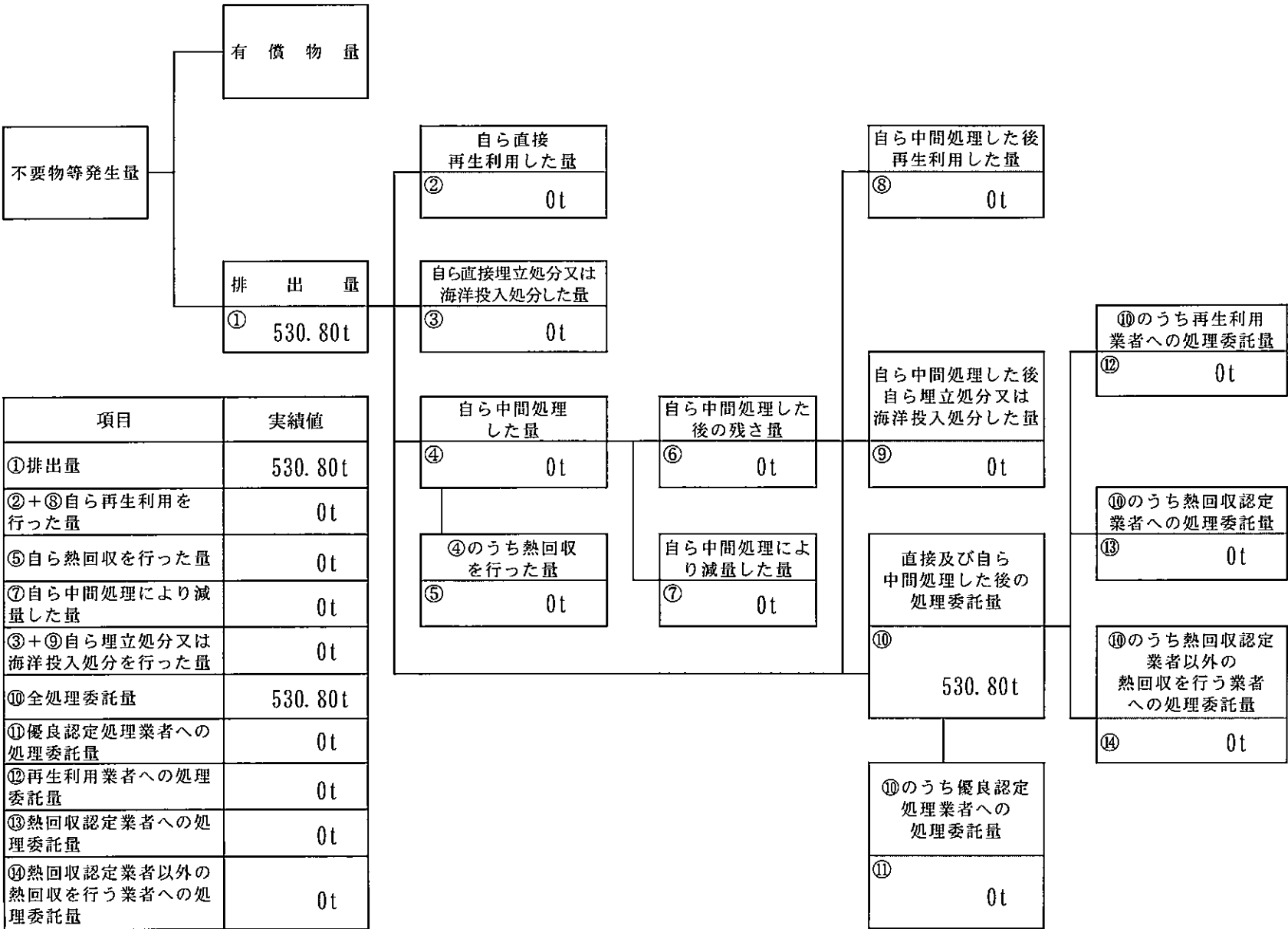
計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: 汚泥)



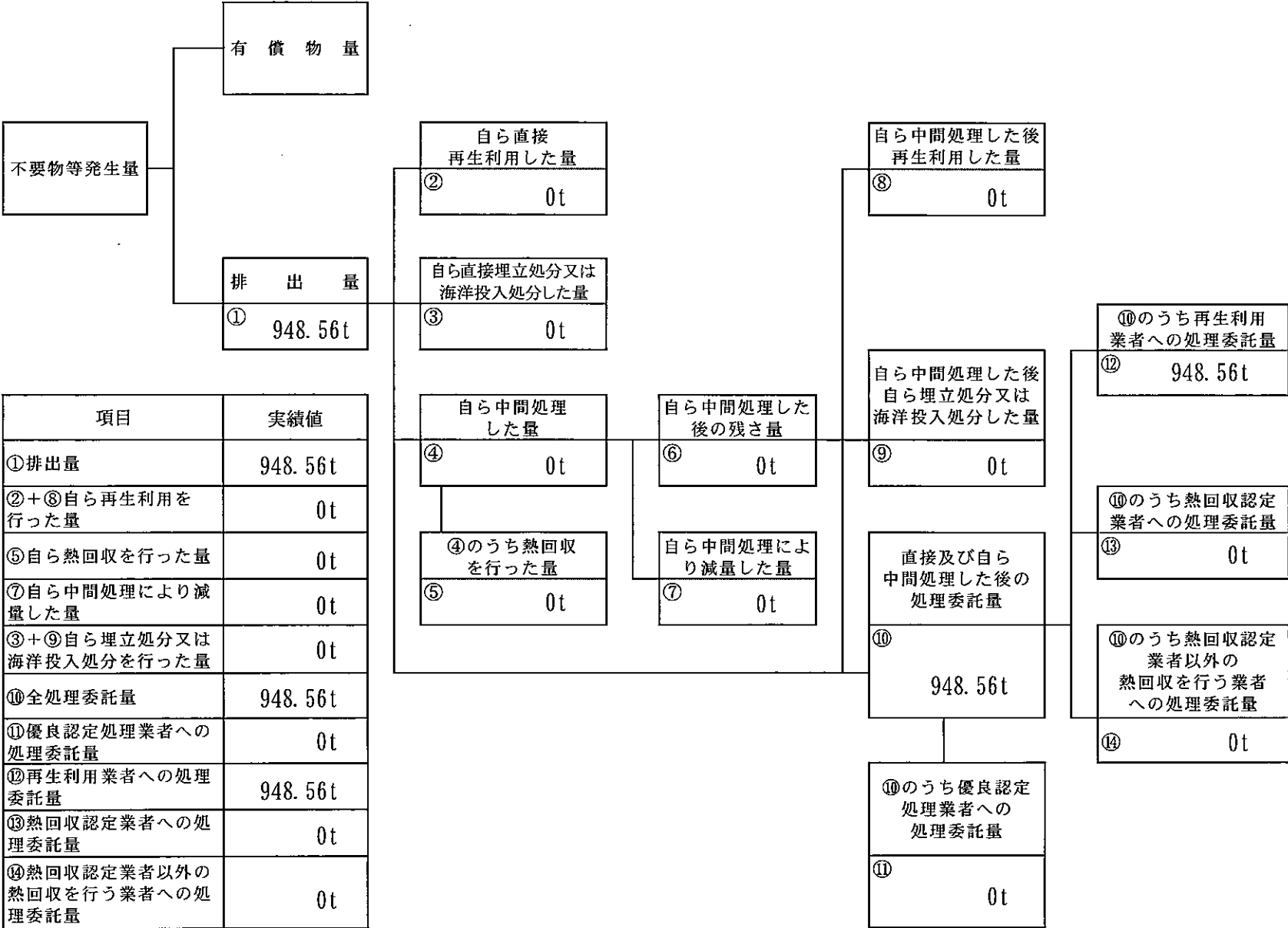
計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: 管理型混合廃棄物)



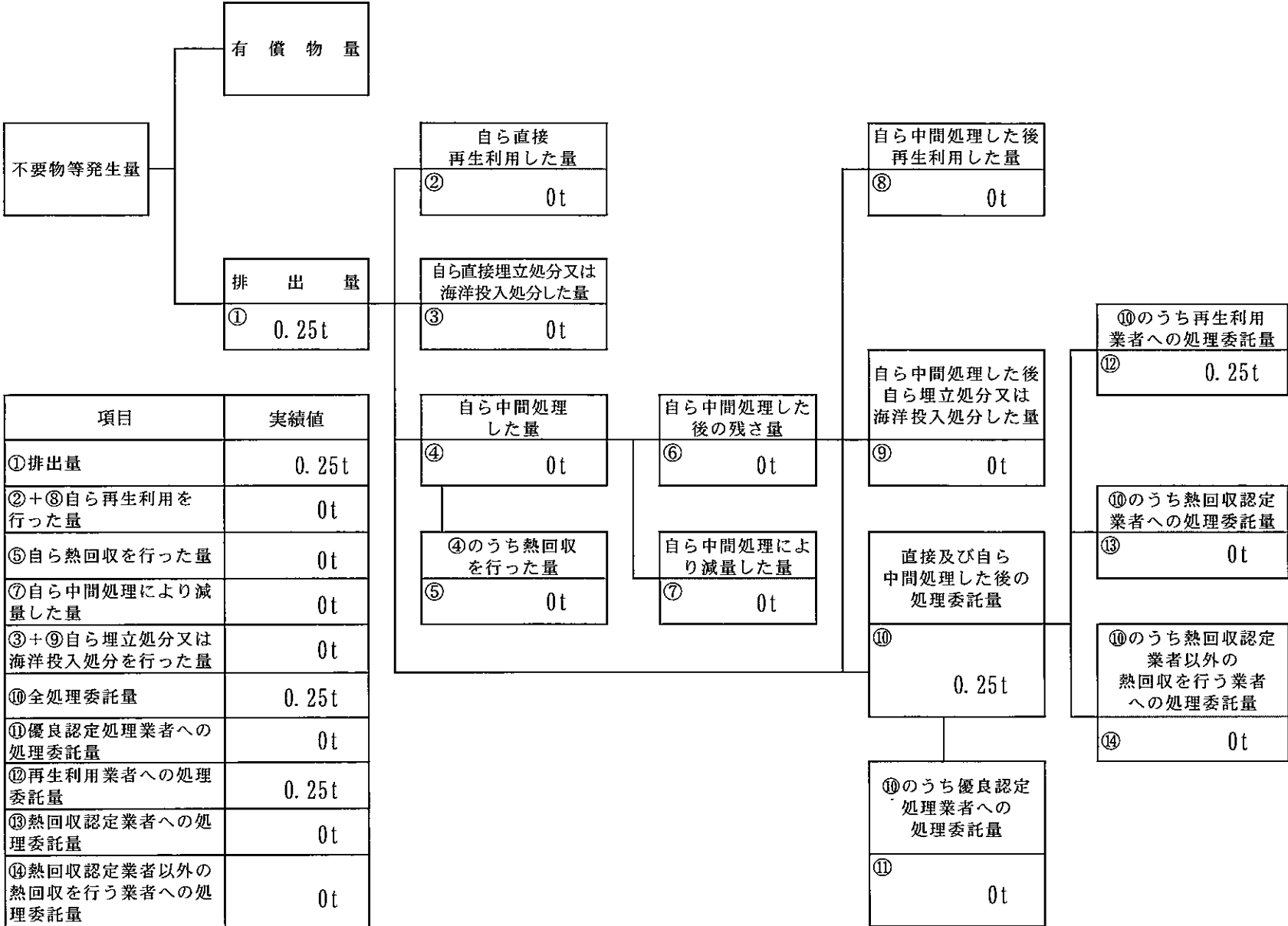
計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: 木くず)



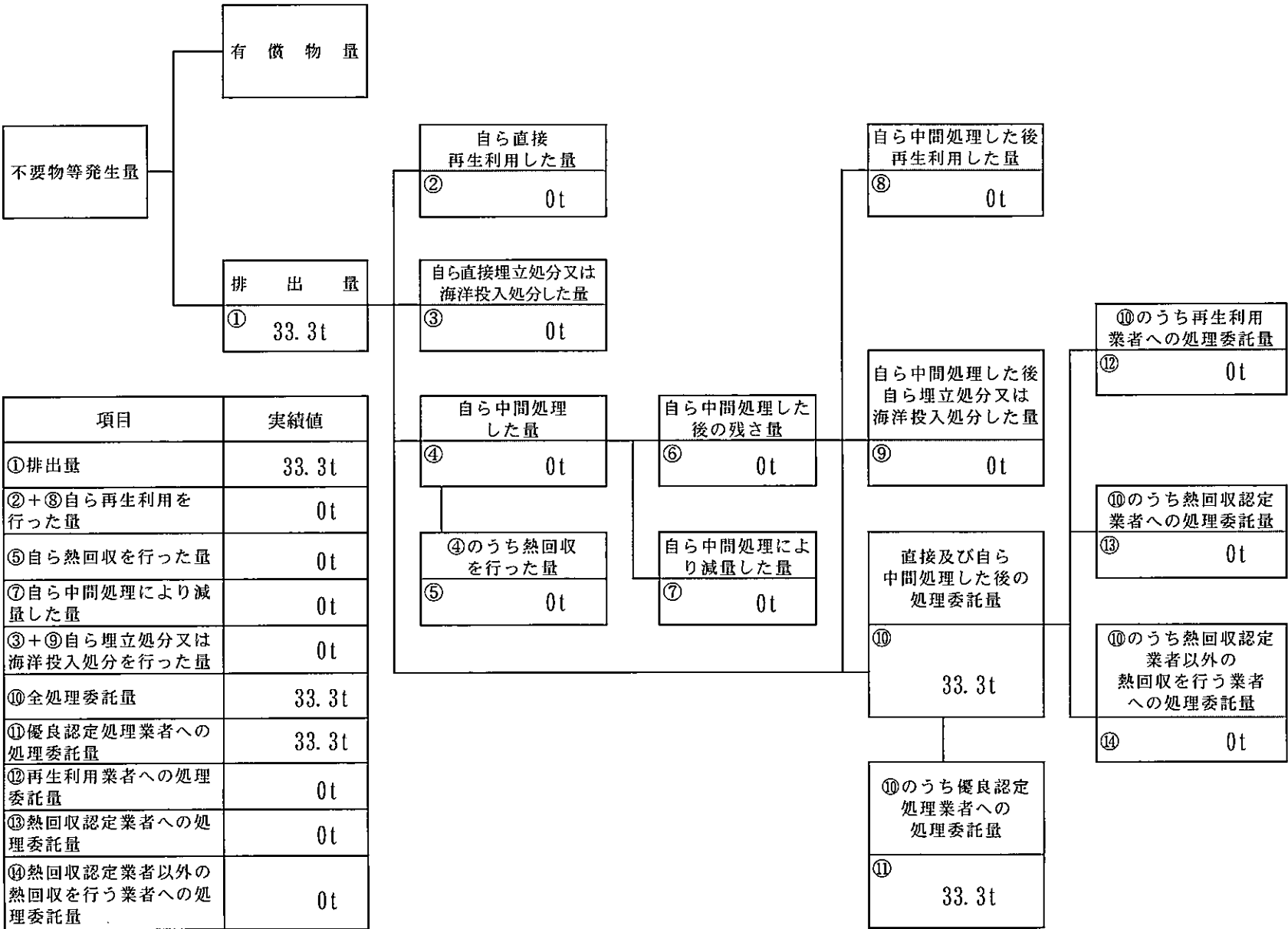
計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: 蛍光灯)



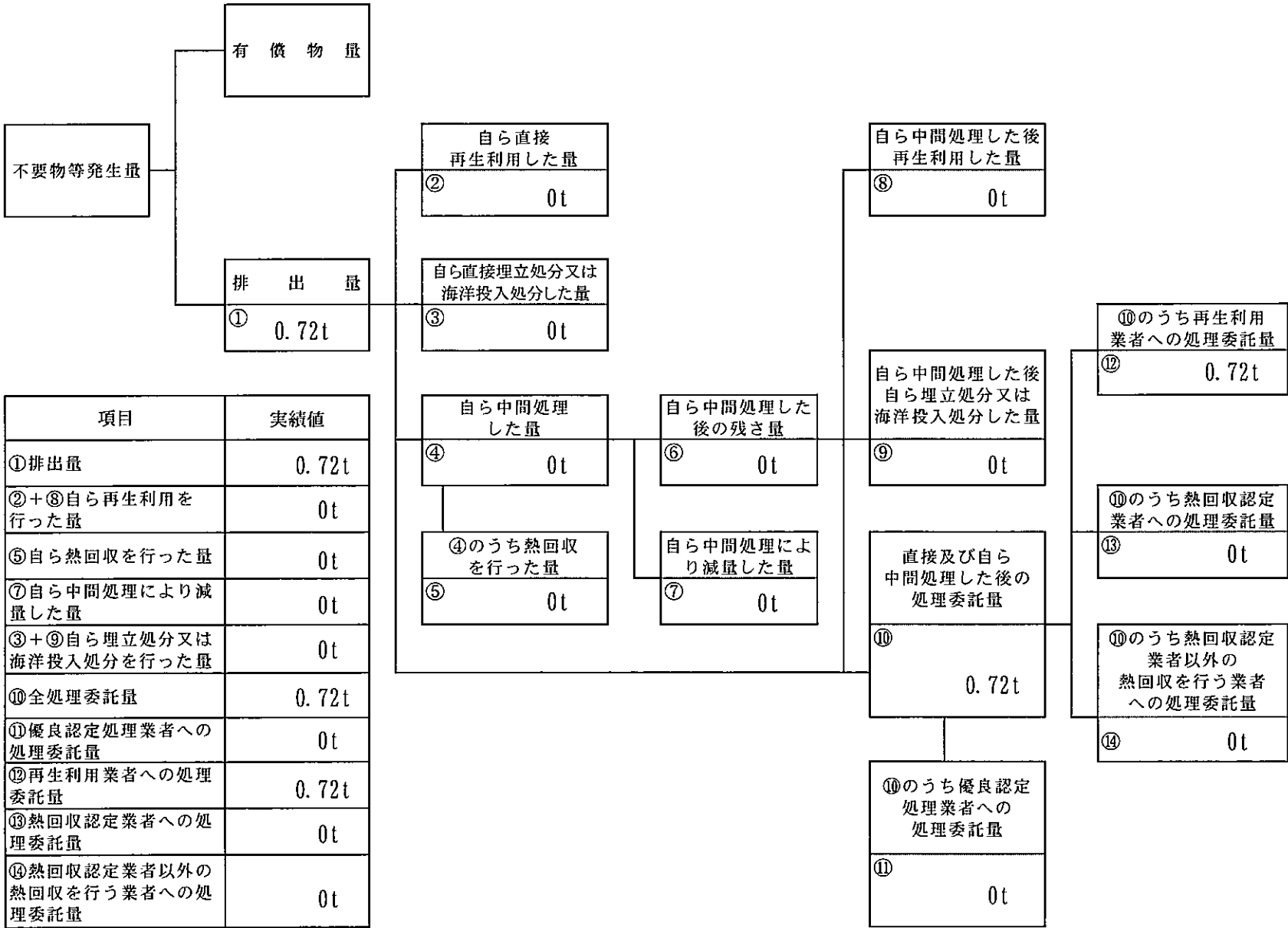
計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: 繊維くず)



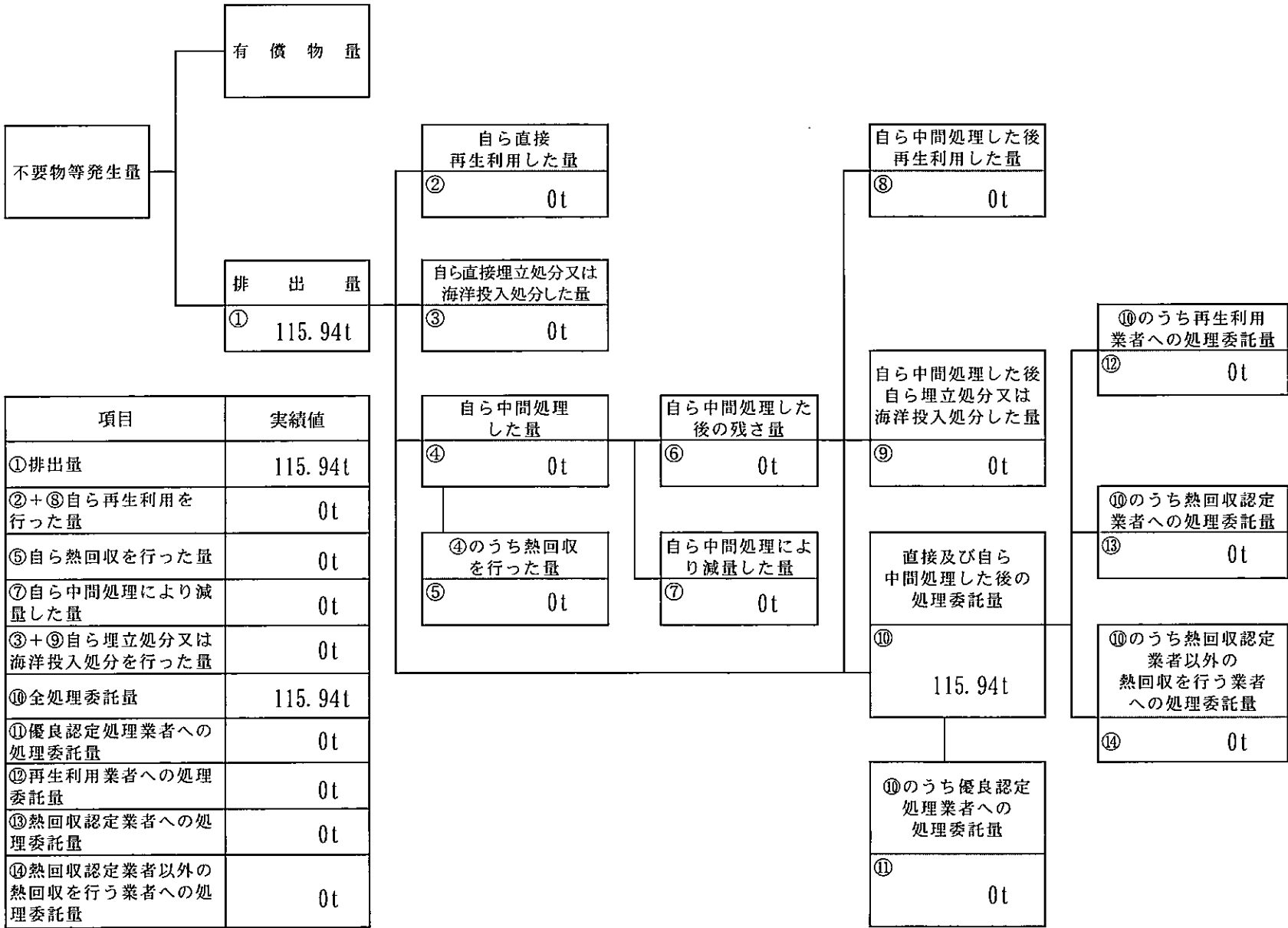
計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: 廃油)



計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: 安定型混合廃棄物)



備考

- 1 翌年度の6月30日までに提出すること。
- 2 「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
- 3 「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。
- 4 第2面には、前年度の産業廃棄物の処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。
 - (1) ①欄 当該事業場において生じた産業廃棄物の量
 - (2) ②欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量
 - (3) ③欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
 - (4) ④欄 (1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量
 - (5) ⑤欄 (4)の量のうち、熱回収を行った量
 - (6) ⑥欄 自ら中間処理をした後の量
 - (7) ⑦欄 (4)の量から(6)の量を差し引いた量
 - (8) ⑧欄 (6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量
 - (9) ⑨欄 (6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量
 - (10) ⑩欄 中間処理及び最終処分を委託した量
 - (11) ⑪欄 (10)の量のうち、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量
 - (12) ⑫欄 (10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量
 - (13) ⑬欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量
 - (14) ⑭欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量
- 5 第2面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。
- 6 産業廃棄物の種類が2以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

令和7年6月16日

千葉県知事 熊谷 俊人 殿

提出者 〒170-8441
住 所 東京都豊島区東池袋1丁目21番11号
オーク池袋ビルディング6階
氏 名 木内建設株式会社 東京本店
取締役本店長 佐野 靖
(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)
電話番号 03-5952-5521

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、令和6年度の産業廃棄物
処理計画の実施状況を報告します。

事業場の名称	木内建設株式会社 東京本店
事業場の所在地	東京都豊島区東池袋1丁目21番11号 オーク池袋ビルディング6階
事業の種類	D06－総合工事業
産業廃棄物処理計画における 計画期間	令和6年4月1日から令和7年3月31日まで

産業廃棄物処理計画における目標値

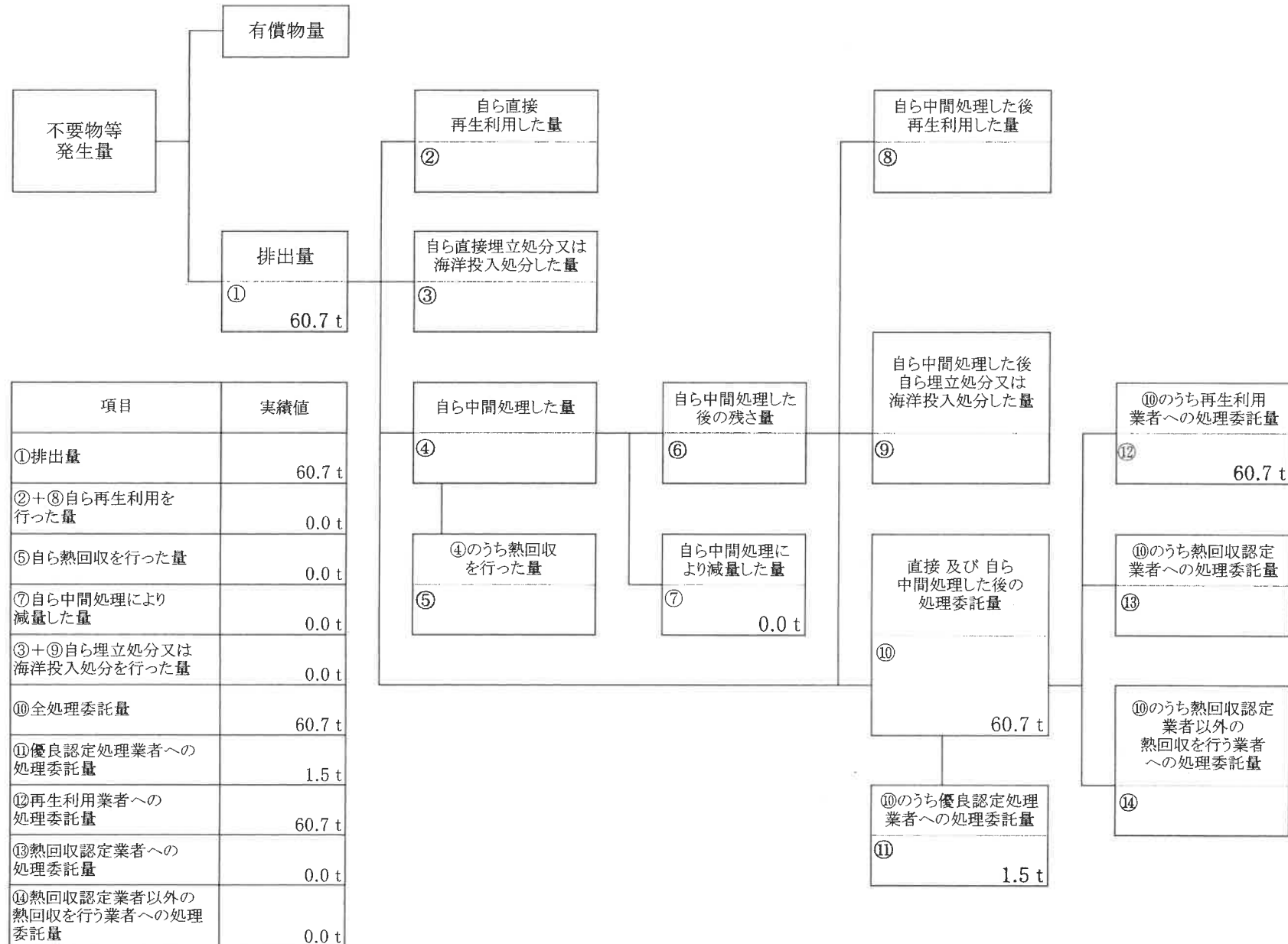
項目	目標値	項目	目標値
排出量	1808.1 t	全処理委託量	1808.1 t
自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量		優良認定処理業者への 処理委託量	1808.1 t
自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量		再生利用業者への 処理委託量	1808.1 t
自ら中間処理により減量する 産業廃棄物の量		認定熱回収業者への 処理委託量	
自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量		認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	
※事務処理欄			



-7.6.23 (日本産業規格 A列4番)

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: アスファルト・コンクリート破片)

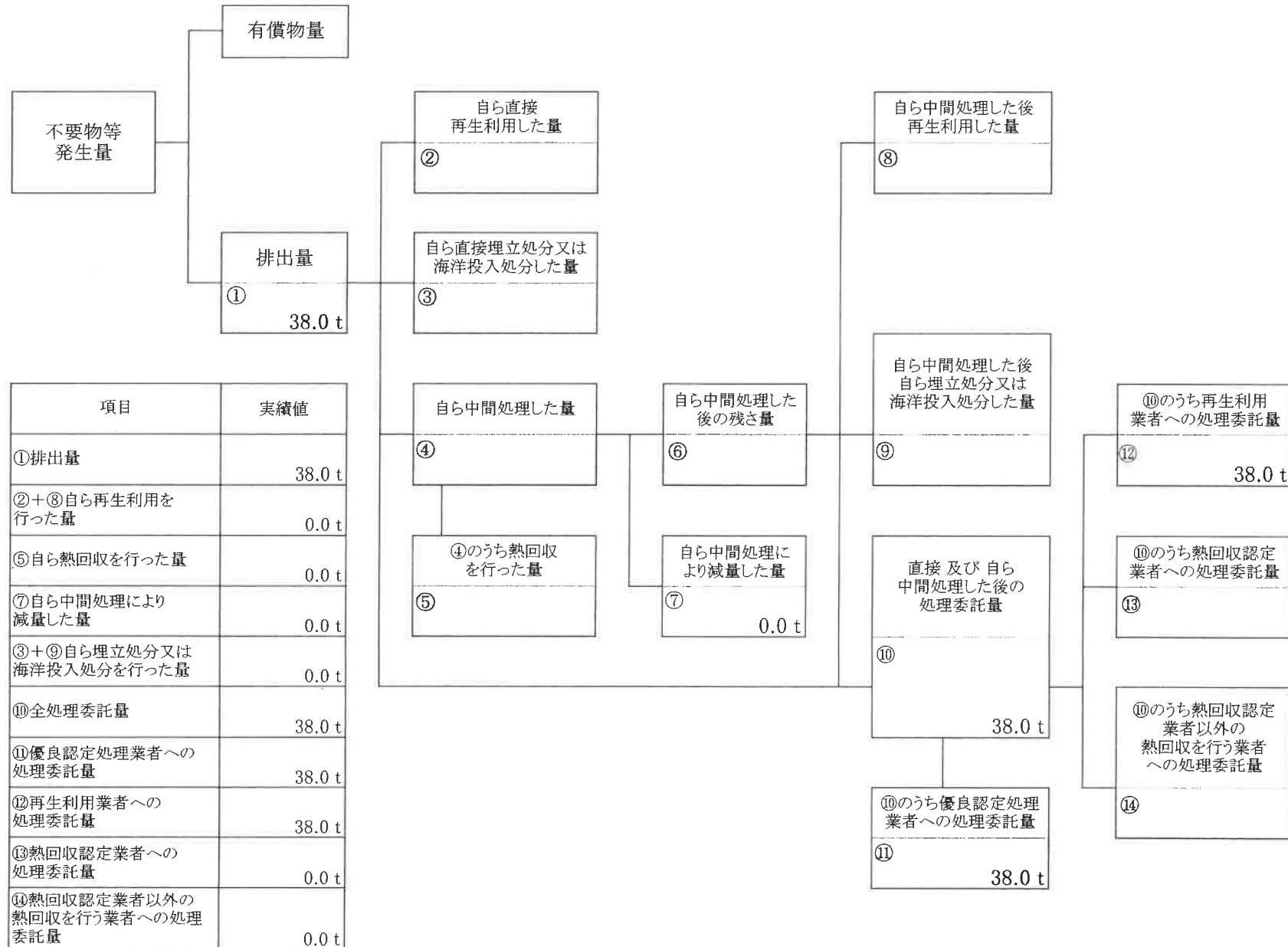


計画の実施状況

(産業廃棄物の種類:

がれき類

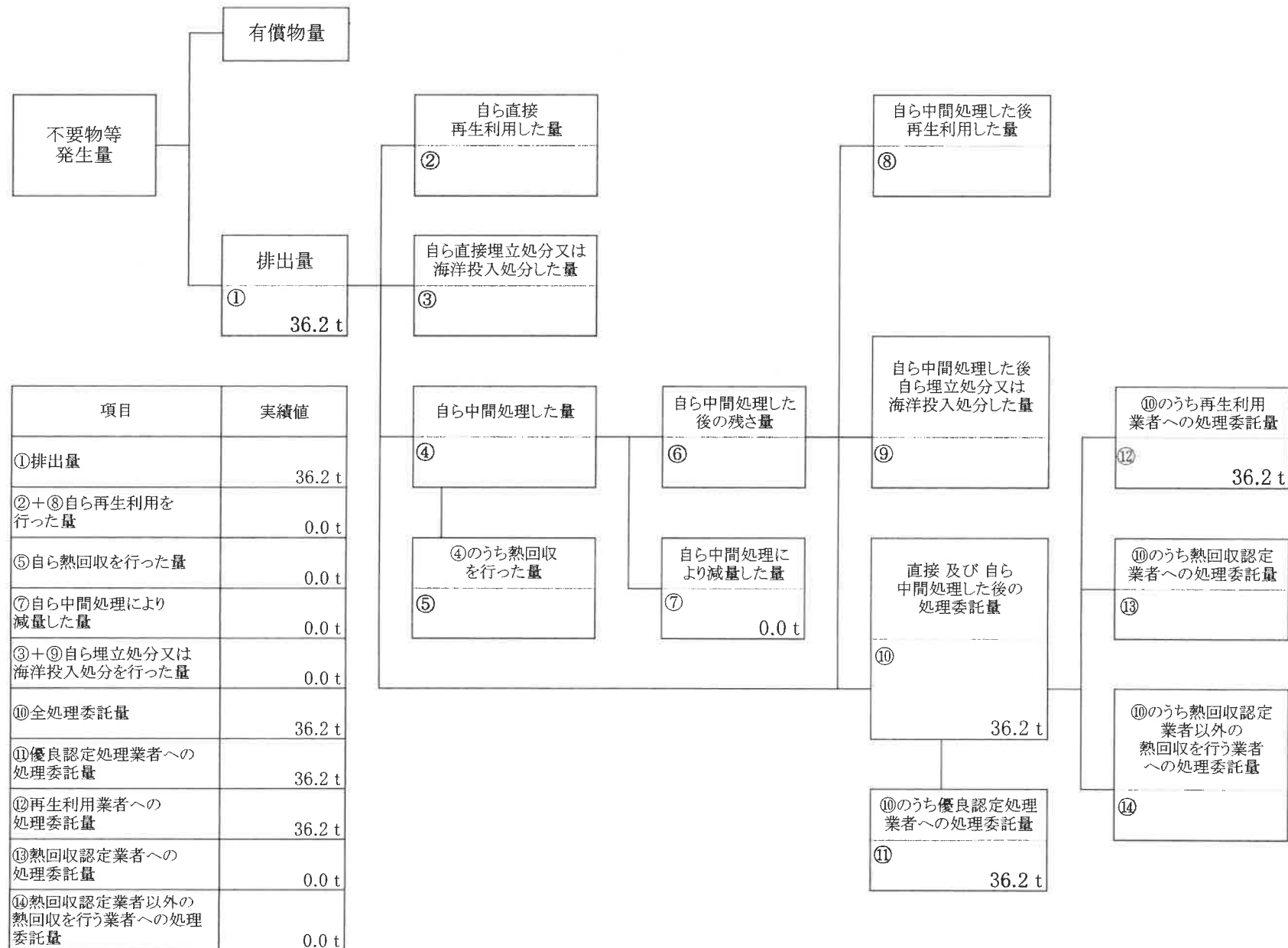
)



(第2面)

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: コンクリート破片)



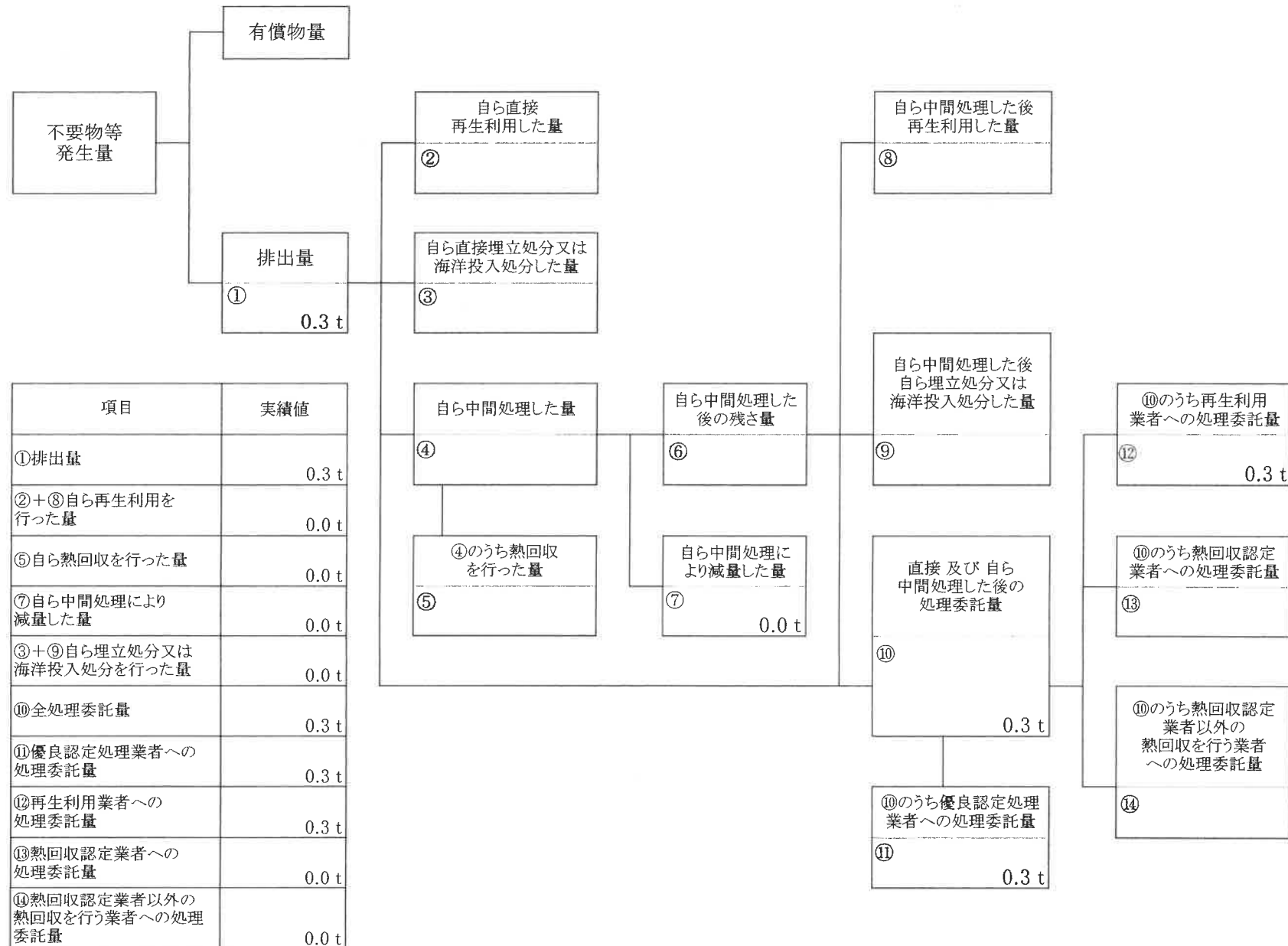
(第2面)

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類:

ダンボール

)



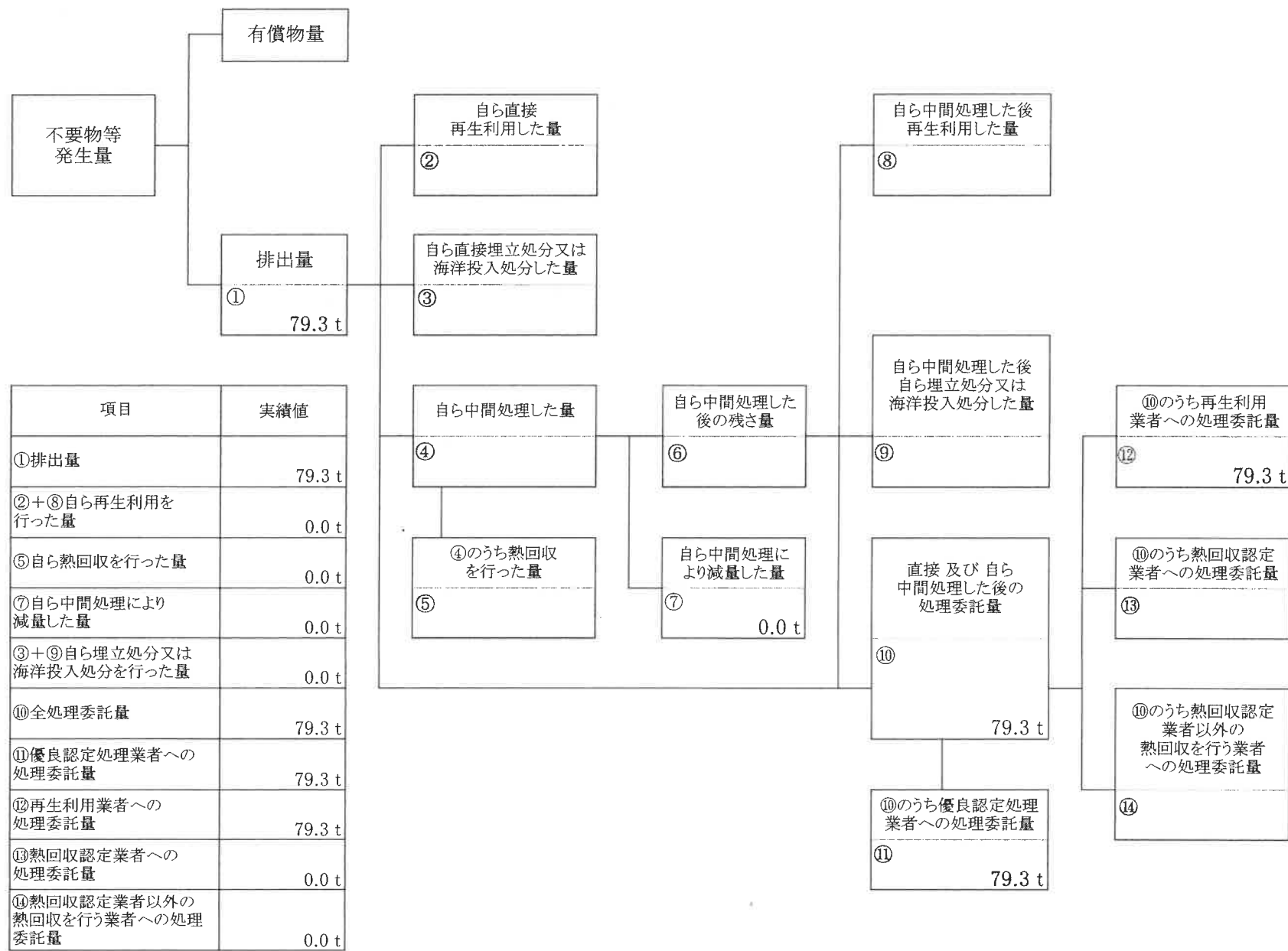
(第2面)

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類:

管理型建設混合廃棄物

)



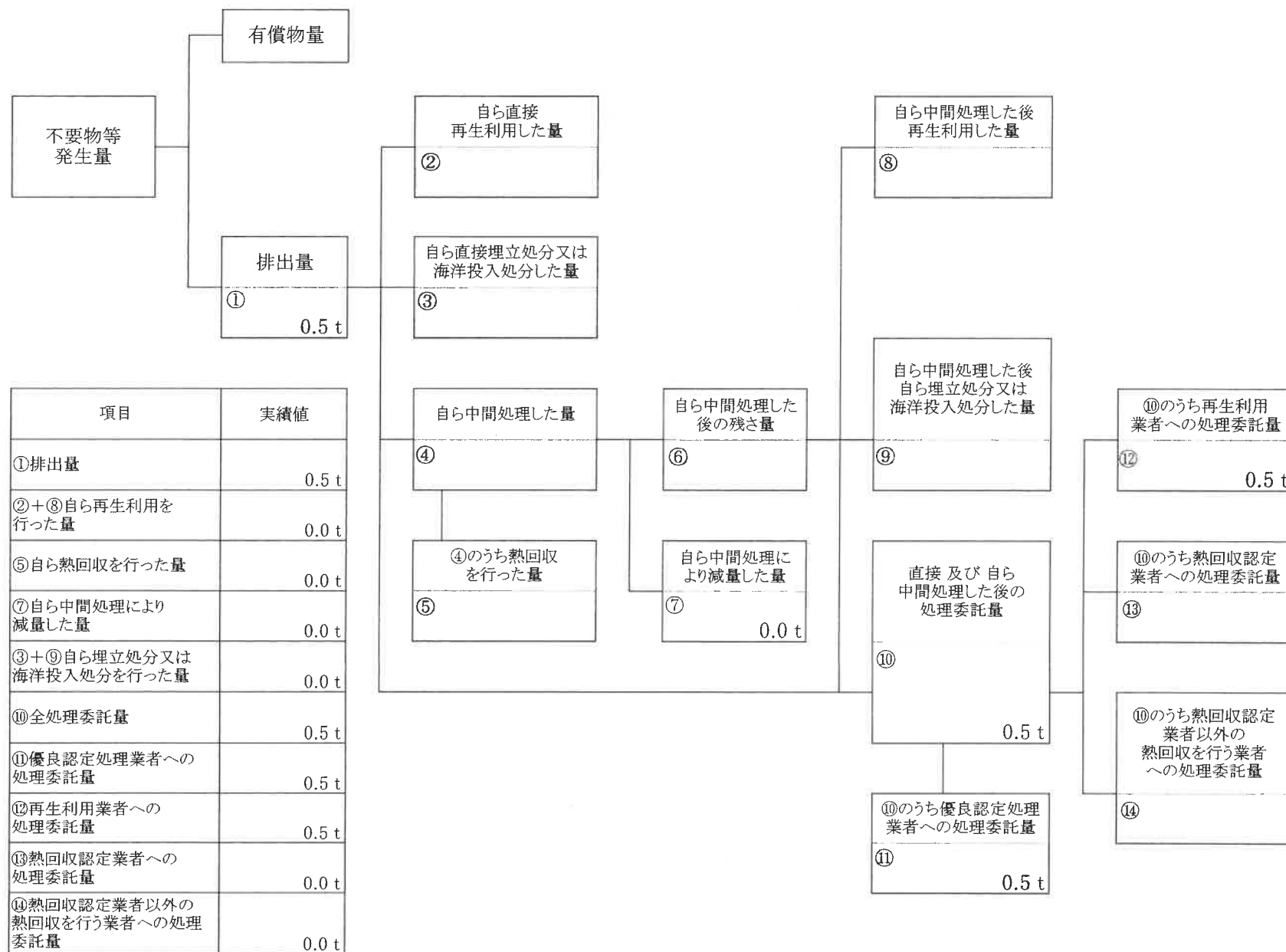
(第2面)

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類:

紙くず

)



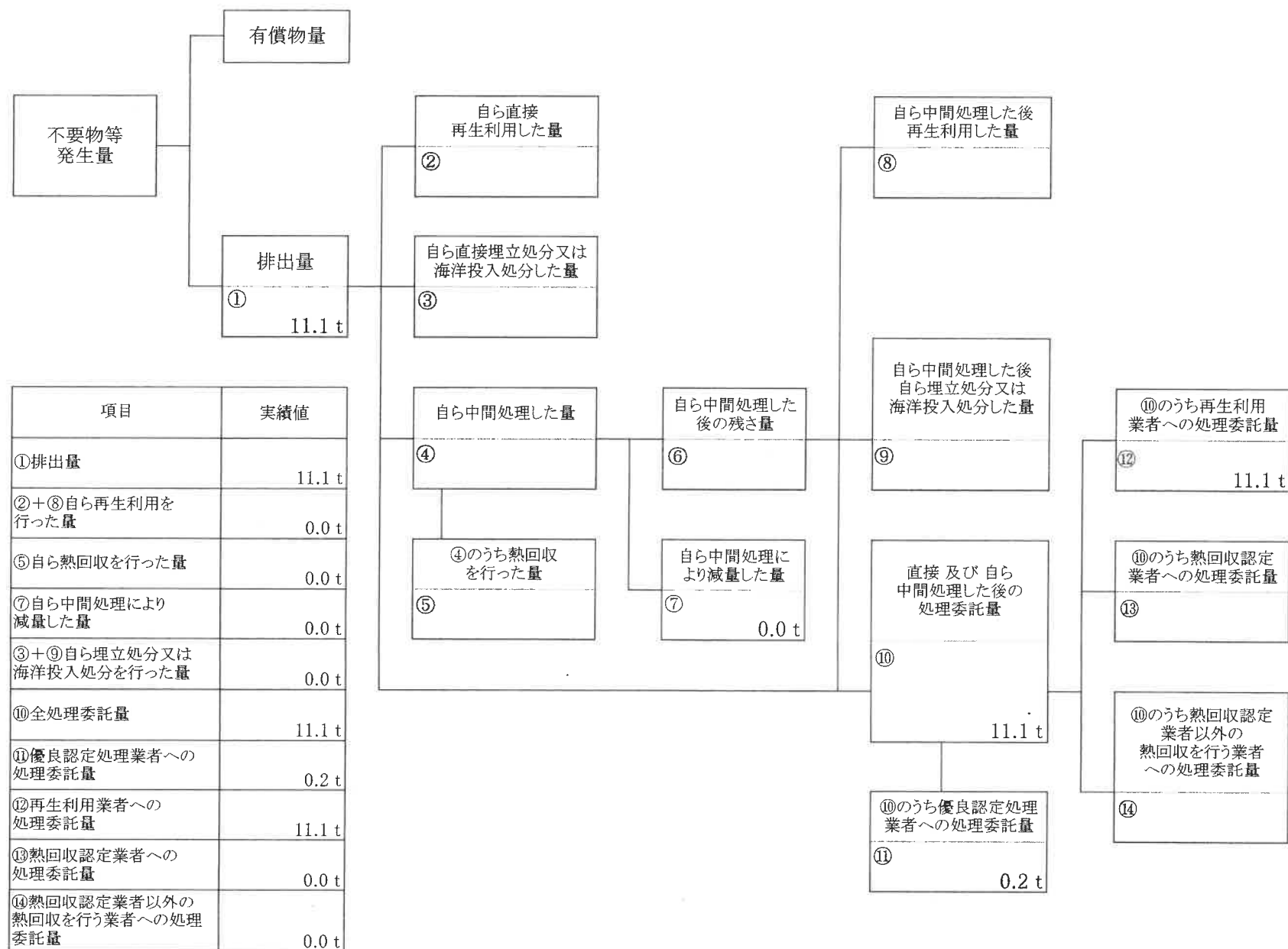
(第2面)

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類:

石膏ボード

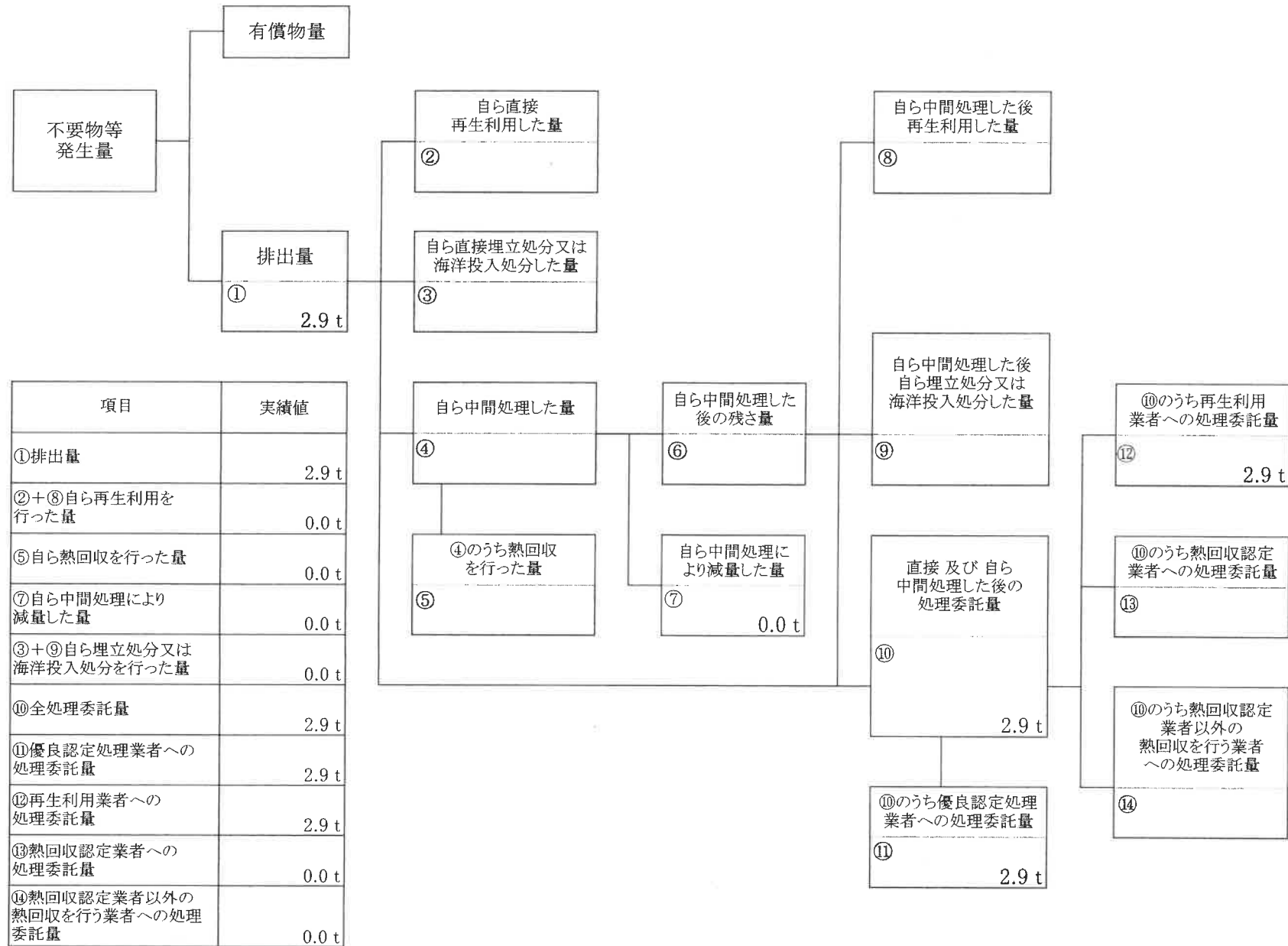
)



(第2面)

計画の実施状況

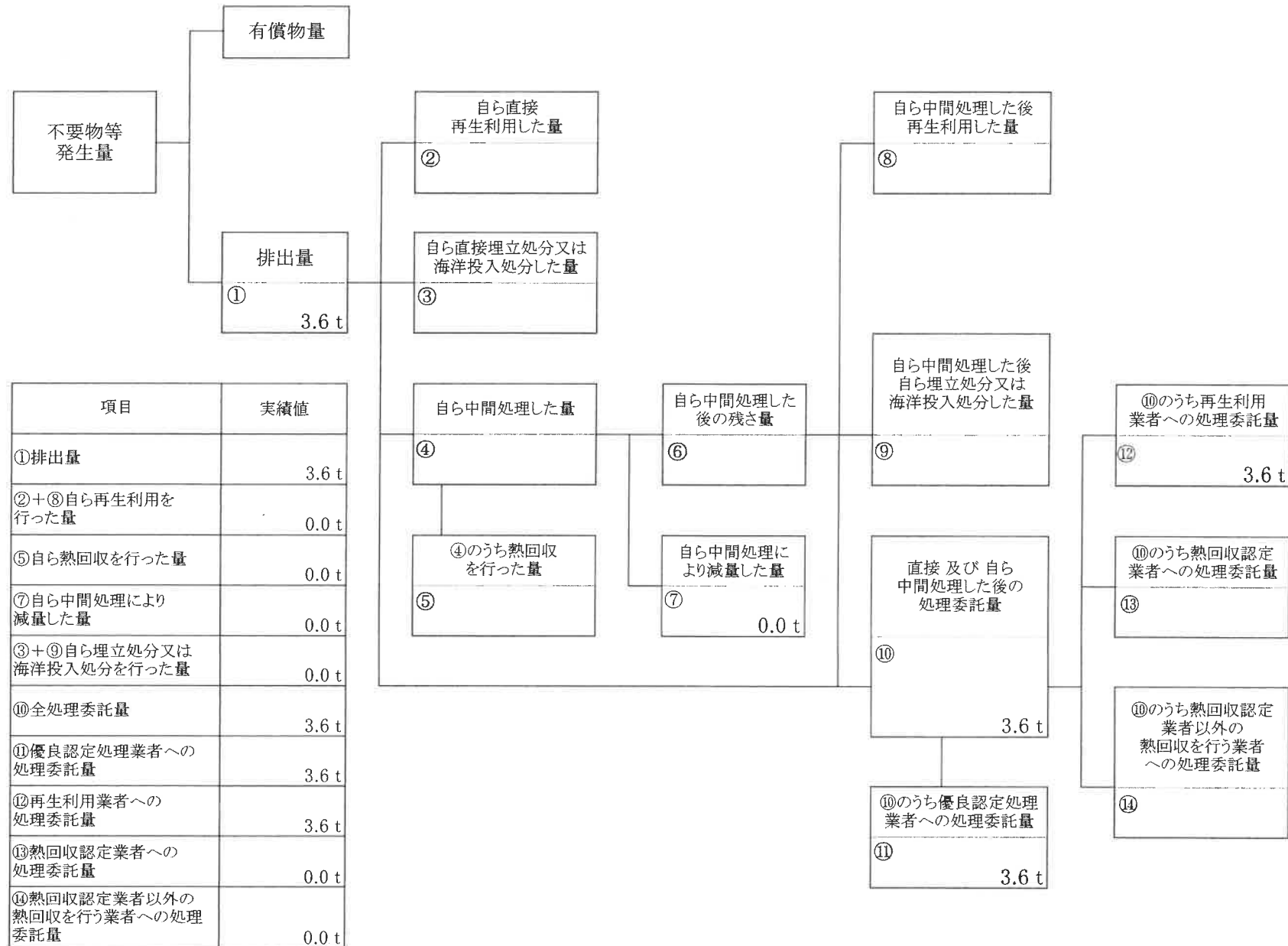
(産業廃棄物の種類: 廃プラスチック類)



(第2面)

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: 木くず)



(第2面)

備考

- 1 翌年度の6月30日までに提出すること。
- 2 「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
- 3 「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。
- 4 第2面には、前年度の産業廃棄物処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。
 - (1) ①欄 当該事業場において生じた産業廃棄物の量
 - (2) ②欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量
 - (3) ③欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
 - (4) ④欄 (1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量
 - (5) ⑤欄 (4)の量のうち、熱回収を行った量
 - (6) ⑥欄 自ら中間処理をした後の量
 - (7) ⑦欄 (4)の量から(6)の量を差し引いた量
 - (8) ⑧欄 (6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量
 - (9) ⑨欄 (6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量
 - (10) ⑩欄 中間処理及び最終処分を委託した量
 - (11) ⑪欄 (10)の量のうち、優良認定処理業者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者)への処理委託量
 - (12) ⑫欄 (10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量
 - (13) ⑬欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者)である処理業者への焼却処理委託量
 - (14) ⑭欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量
- 5 第2面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。
- 6 産業廃棄物の種類が2以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

（第1面）

産業廃棄物処理計画書	
令和7年6月26日	
千葉県知事 殿	
提出者	
住 所 東京都中央区銀座1-9-2	
氏 名 北野建設株式会社 東京本社	
執行役員 建築事業本部副本部長 守安修一	
（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）	
電話番号 03-3562-2331	
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。	
事業場の名称	北野建設株式会社 東京本社
事業場の所在地	東京都中央区銀座1-9-2
計画期間	令和7年4月1日～令和8年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	大分類→建設業、中分類→総合工事業
②事業の規模	完成工事高：366億6028万円（令和6年度東京本社管轄国内工事）
③従業員数	274名（東京本社管轄所属）
④産業廃棄物の一連の処理の工程	別添1 処理工程図のとおり

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項			
(管理体制図) 別添 2 管理体制図のとおり			
産業廃棄物の排出の抑制に関する事項			
①現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙集計表のとおり	—
	排 出 量	t	t
	(これまでに実施した取組) ・簡易梱包、工場加工の推進による廃棄物削減		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙集計表のとおり	—
	排 出 量	t	t
	(今後実施する予定の取組) ・さらなる分別の推進による排出量の削減		
産業廃棄物の分別に関する事項			
①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 各作業所における分別率の向上を図るべく、定期的の実績値の提供を行っている。また、運搬業者による現場での分別指導を行っている。		
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 上記活動を継続して行い、更なる分別率の向上を推進する。		

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
①現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら再生利用を行った 産 業 廃 棄 物 の 量	— t	t
	(これまでに実施した取組) 該当ありません。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら再生利用を行う 産 業 廃 棄 物 の 量	— t	t
	(今後実施する予定の取組) 予定はありません。		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
①現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら熱回収を行った 産 業 廃 棄 物 の 量	— t	t
	自ら中間処理により減量した 産 業 廃 棄 物 の 量	— t	t
	(これまでに実施した取組) 該当ありません。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量	— t	— t
	自ら中間処理により減量する 産 業 廃 棄 物 の 量	— t	— t
	(今後実施する予定の取組) 予定ありません。		

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	— t	t
	（これまでに実施した取組） 該当ありません。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	— t	t
	（今後実施する予定の取組） 予定ありません。		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

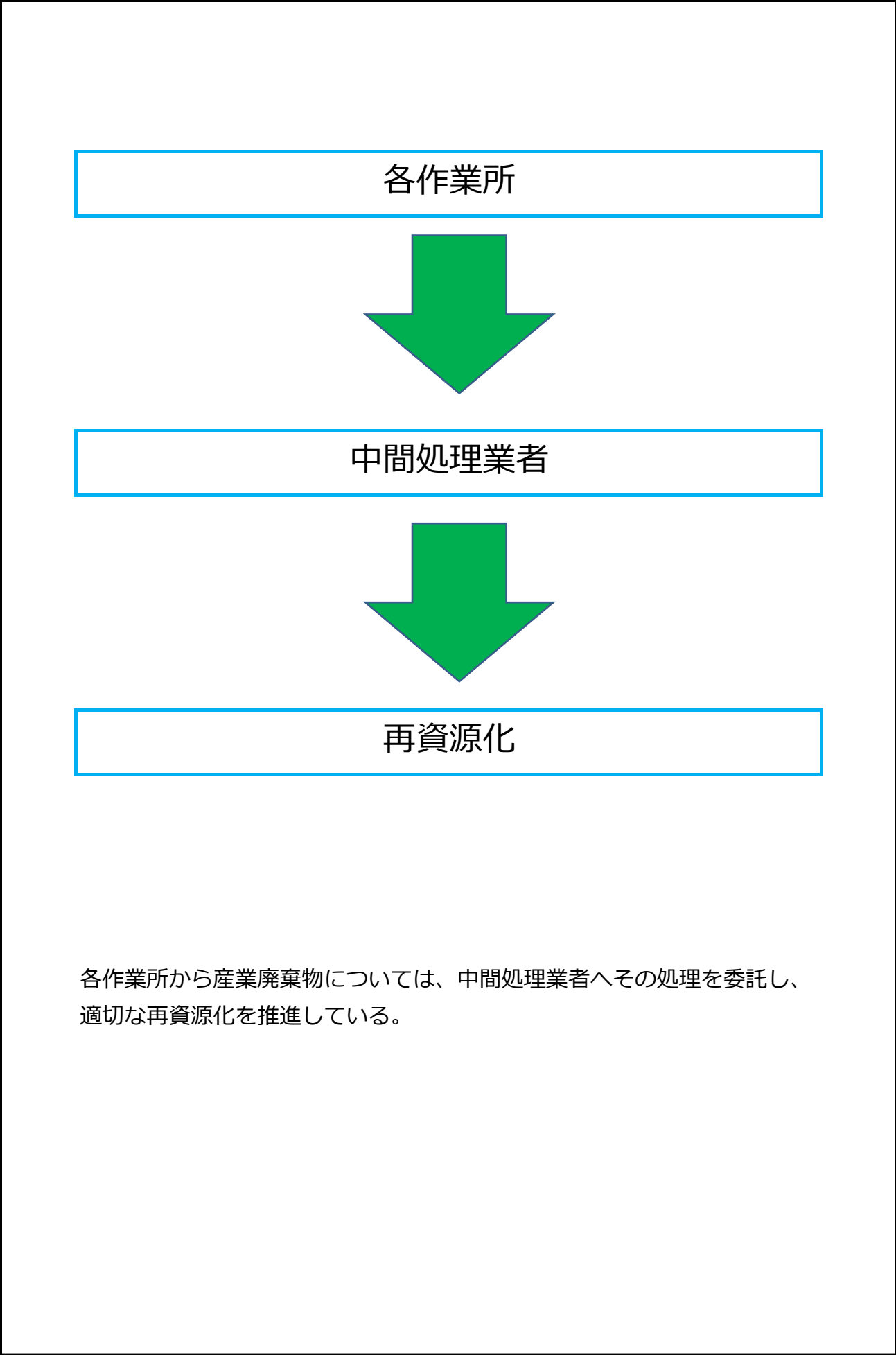
①現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙集計表のとおり	
	全 処 理 委 託 量	t	t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	t	t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	t	t
	（これまでに実施した取組） 優良認定処理業者、廃棄物再生事業者の優先採用。 電子マニフェストの使用率向上。		

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙集計表のとおり	
	全 処 理 委 託 量	t	t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	t	t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	t	t
	(今後実施する予定の取組) 優良認定処理業者、廃棄物再生事業者の優先採用。(継続) 電子マニフェストの使用率向上。(継続)		
※事務処理欄			

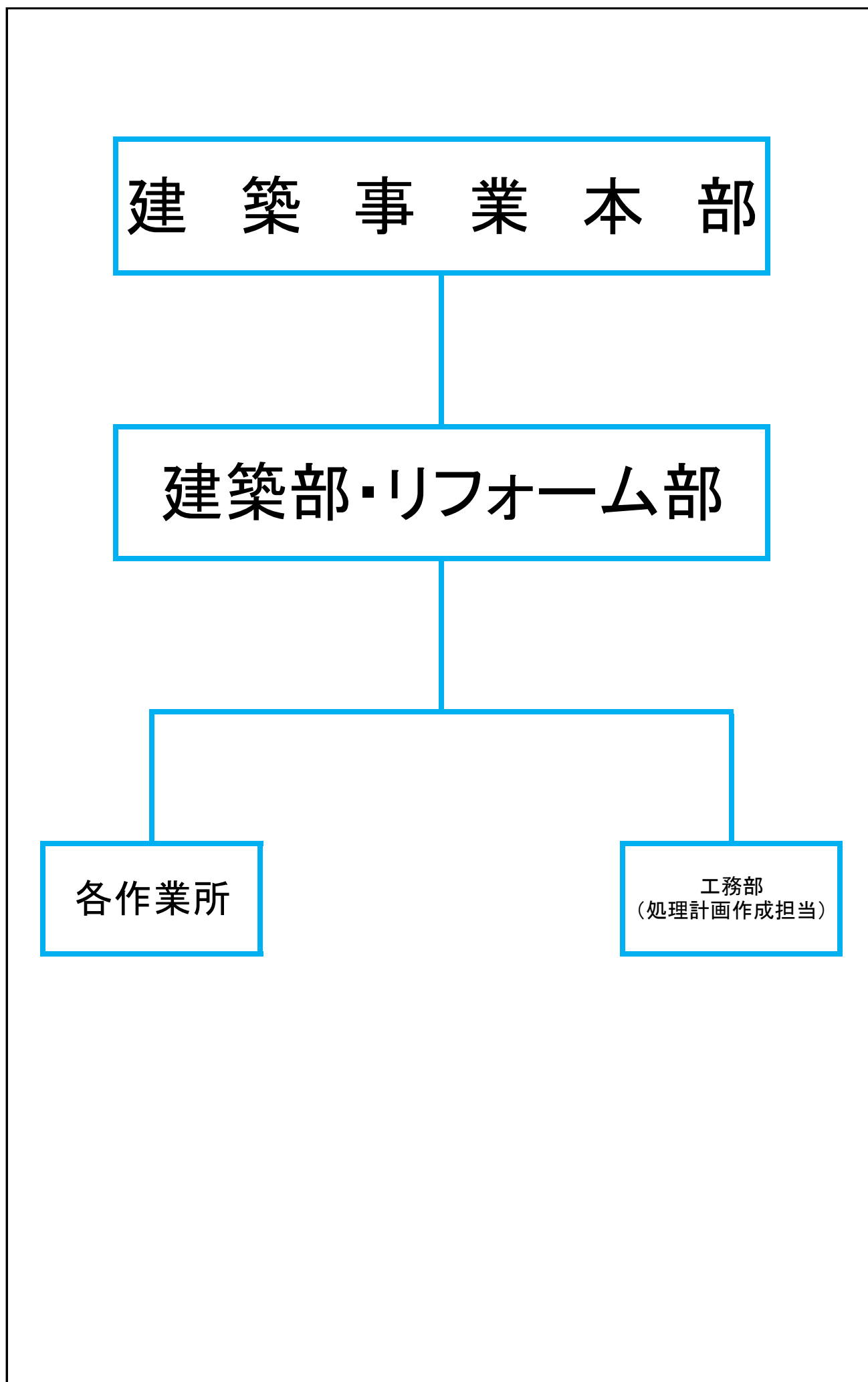
備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額(前年度実績)、建設業の場合における元請完成工事高(前年度実績)、医療機関の場合における病床数(前年度末時点)等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程(当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。)を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者)への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者)である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

別添 1 処理工程図



別添 2 管理体制図



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項																		
①現状	【前年度（令和6年度）実績】																	
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック類	紙くず	木くず	繊維くず	ガラス陶磁器等くず	コンクリート片	アス・コン片	その他がれき類	建設混合廃棄物（安定型）	建設混合廃棄物（管理型）	石綿含有産業廃棄物					
	排 出 量	2,037.75 t	6.39 t	12.90 t	61.95 t	0.80 t	37.32 t	212.40 t	23.62 t	47.36 t	0.50 t	24.25 t	10.36 t					
②計画	【目標】																	
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック類	紙くず	木くず	繊維くず	ガラス陶磁器等くず	コンクリート片	アス・コン片	その他がれき類	建設混合廃棄物（安定型）	建設混合廃棄物（管理型）	石綿含有産業廃棄物					
	排 出 量	1,935.86 t	6.07 t	12.26 t	58.85 t	0.76 t	35.45 t	201.78 t	22.44 t	44.99 t	0.48 t	23.04 t	9.84 t					
自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項																		
①現状	【前年度（令和6年度）実績】																	
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック類	紙くず	木くず	繊維くず	ガラス陶磁器等くず	コンクリート片	アス・コン片	その他がれき類	建設混合廃棄物（安定型）	建設混合廃棄物（管理型）	石綿含有産業廃棄物					
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t					
②計画	【目標】																	
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック類	紙くず	木くず	繊維くず	ガラス陶磁器等くず	コンクリート片	アス・コン片	その他がれき類	建設混合廃棄物（安定型）	建設混合廃棄物（管理型）	石綿含有産業廃棄物					
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t					
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項																		
①現状	【前年度（令和6年度）実績】																	
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック類	紙くず	木くず	繊維くず	ガラス陶磁器等くず	コンクリート片	アス・コン片	その他がれき類	建設混合廃棄物（安定型）	建設混合廃棄物（管理型）	石綿含有産業廃棄物					
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t					
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t					
②計画	【目標】																	
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック類	紙くず	木くず	繊維くず	ガラス陶磁器等くず	コンクリート片	アス・コン片	その他がれき類	建設混合廃棄物（安定型）	建設混合廃棄物（管理型）	石綿含有産業廃棄物					
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t					
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t					

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項																		
①現状	【前年度（令和6年度）実績】																	
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック類	紙くず	木くず	繊維くず	ガラス陶磁器等くず	コンクリート片	アス・コン片	その他がれき類	建設混合廃棄物(安定型)	建設混合廃棄物(管理型)	石綿含有産業廃棄物					
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t					
②計画	【目標】																	
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック類	紙くず	木くず	繊維くず	ガラス陶磁器等くず	コンクリート片	アス・コン片	その他がれき類	建設混合廃棄物(安定型)	建設混合廃棄物(管理型)	石綿含有産業廃棄物					
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t					
産業廃棄物の処理の委託に関する事項																		
①現状	【前年度（令和6年度）実績】																	
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック類	紙くず	木くず	繊維くず	ガラス陶磁器等くず	コンクリート片	アス・コン片	その他がれき類	建設混合廃棄物(安定型)	建設混合廃棄物(管理型)	石綿含有産業廃棄物					
	全処理委託量	2,037.75 t	6.39 t	12.90 t	61.95 t	0.80 t	37.32 t	212.40 t	23.62 t	47.36 t	0.50 t	24.25 t	10.36 t					
	優良認定処理業者への処理委託量	0.00 t	6.39 t	12.90 t	61.95 t	0.80 t	37.32 t	18.50 t	9.62 t	47.36 t	0.50 t	23.88 t	10.36 t					
	再生利用業者への処理委託量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t					
	認定熱回収業者への処理委託量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t					
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t					
②計画	【目標】																	
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック類	紙くず	木くず	繊維くず	ガラス陶磁器等くず	コンクリート片	アス・コン片	その他がれき類	建設混合廃棄物(安定型)	建設混合廃棄物(管理型)	石綿含有産業廃棄物					
	全処理委託量	1,935.86 t	6.07 t	12.26 t	58.85 t	0.76 t	35.45 t	201.78 t	22.44 t	44.99 t	0.48 t	23.04 t	9.84 t					
	優良認定処理業者への処理委託量	0.00 t	6.07 t	12.26 t	58.85 t	0.76 t	35.45 t	17.58 t	9.14 t	44.99 t	0.48 t	22.69 t	9.84 t					
	再生利用業者への処理委託量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t					
	認定熱回収業者への処理委託量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t					
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t					

様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第 1 面）

産業廃棄物処理計画書

令和7年5月26日

千葉県知事
熊谷 俊人 殿

提出者 104-0031
住 所 東京都中央区京橋 2 - 1 - 3
法人名 株式会社クボタ建設 東京支社
代表者 田中 竜二
（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）
電話番号 03-3245-4310

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	市川市発注の市川市北方地区公共下水道整備事業建設工事		
事業場の所在地	市川市市内 各工事現場		
計画期間	令和7年4月1日	から	令和8年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項			
①事業の種類	大分類：	建設業	中分類： 総合工事業
②事業の規模	契約金額 金1,663,488,200円		
③従業員数	7名		
④産業廃棄物の一連の処理の工程	(以下の収集運搬・処分は産業廃棄物処理業者に委託) ・建設汚泥→脱水→土壌改良材、再生土 ・廃プラスチック類→破砕→燃料化 ・コンクリート破片→破砕→再生コンクリート資材 ・アスファルトコンクリート破片→破砕→再生アスコン資材 ・がれき類→分別・破砕→再利用、安定型埋立		

（日本産業規格 A列4番）

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項			
(管理体制図) 別紙(添付ファイル) 参照			
産業廃棄物の排出の抑制に関する事項			
①現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	がれき類
	排出量	31.33 t	2661.7 t
	(これまでに実施した取組) 工事に必要な廃棄物の排出であるため、全量を中間処理委託業者に処理を委託し、全量をリサイクルに供している。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	がれき類
	排出量	30 t	2600 t
	(今後実施する予定の取組) 今後とも同様に、工事に必要な廃棄物の排出であるため、全量を中間処理委託業者に処理を委託し、全量をリサイクルに供している。		
産業廃棄物の分別に関する事項			
①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 全量を中間処理委託業者に委託している。		
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 今後とも同様に、全量を中間処理委託業者に委託する予定である。		

(第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
①現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	がれき類
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	がれき類
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
①現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	がれき類
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	がれき類
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
①現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	がれき類
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	がれき類
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
①現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	がれき類
	全 処 理 委 託 量	31.33 t	2661.7 t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	31.33 t	2661.7 t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
	工事に必要な廃棄物の排出であるため、全量を中間処理委託業者に処理を委託し、全量をリサイクルに供している。		

(第5面)

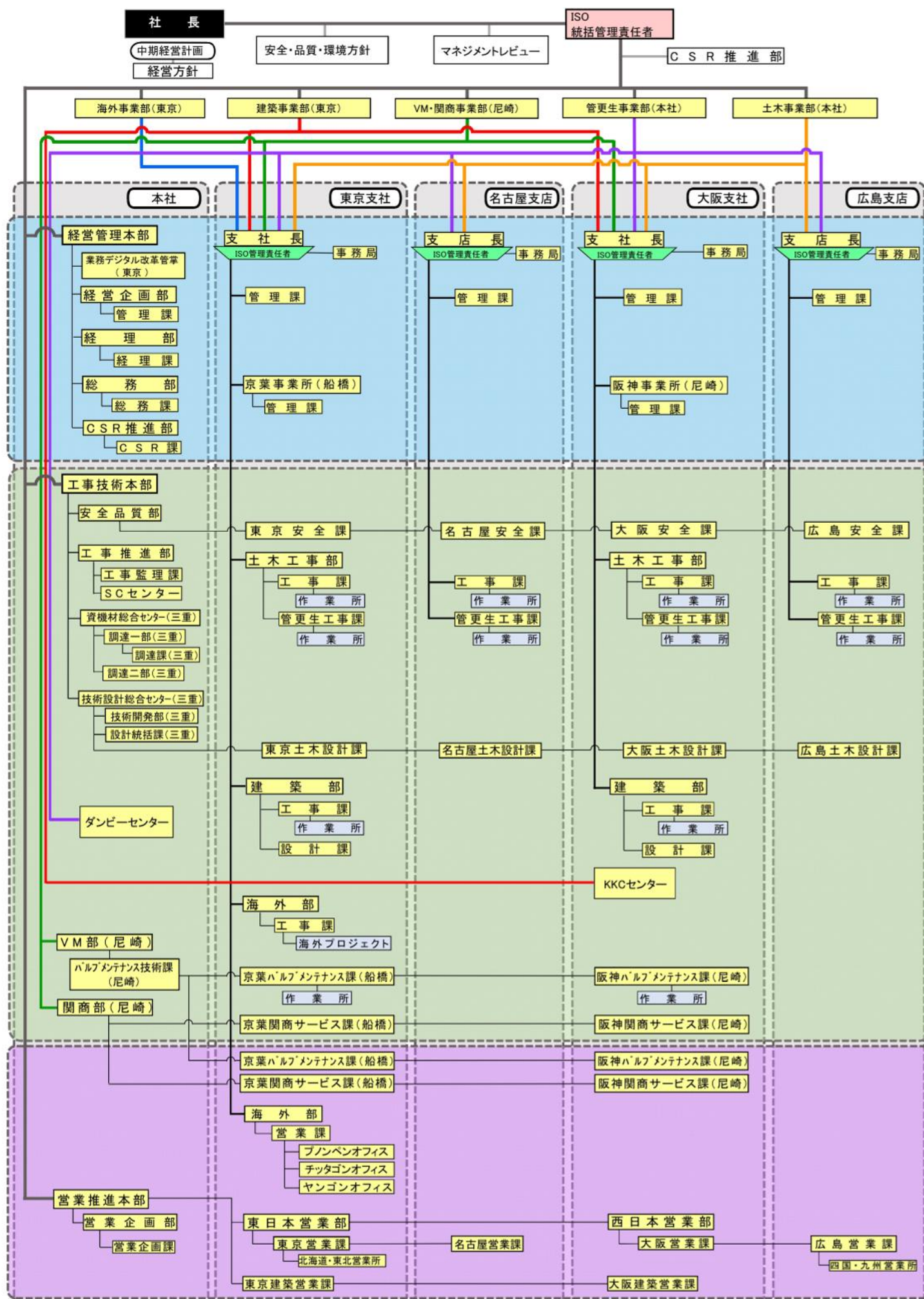
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	がれき類
	全 処 理 委 託 量	30 t	2600 t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	30 t	2600 t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	(今後実施する予定の取組) 今後とも同様に、工事に必要な廃棄物の排出であるため、全量を中間処理委託業者に処理を委託し、全量をリサイクルに供している。		
※事務処理欄			

(第6面)

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1) ①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2) ②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3) ④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

環境マネジメントシステム組織図



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項										
	①現状	【前年度（令和6年度）実績】								
		産業廃棄物の種類	コンクリート殻	アスコン殻						
		排 出 量	286.72 t	1128.01 t	t	t	t	t	t	t
	②計画	【目標】								
		産業廃棄物の種類	コンクリート殻	アスコン殻						
排 出 量		280 t	1100 t	t	t	t	t	t	t	
自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項										
	①現状	【前年度（令和6年度）実績】								
		産業廃棄物の種類	コンクリート殻	アスコン殻						
		自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
	②計画	【目標】								
		産業廃棄物の種類	コンクリート殻	アスコン殻						
		自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項										
	①現状	【前年度（令和6年度）実績】								
		産業廃棄物の種類	コンクリート殻	アスコン殻						
		自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
		自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
	②計画	【目標】								
		産業廃棄物の種類	コンクリート殻	アスコン殻						
		自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
		自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項									
①現状	【前年度（令和6年度）実績】								
	産業廃棄物の種類	コンクリート殻	アスコン殻						
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
②計画	【目標】								
	産業廃棄物の種類	コンクリート殻	アスコン殻						
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
産業廃棄物の処理の委託に関する事項									
①現状	【前年度（令和6年度）実績】								
	産業廃棄物の種類	コンクリート殻	アスコン殻						
	全処理委託量	286.72 t	1128.01 t	t	t	t	t	t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t
	再生利用業者への処理委託量	286.72 t	1128.01 t	t	t	t	t	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t
②計画	【目標】								
	産業廃棄物の種類	コンクリート殻	アスコン殻						
	全処理委託量	280 t	1100 t	t	t	t	t	t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t
	再生利用業者への処理委託量	280 t	1100 t	t	t	t	t	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t

様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第1面）

産業廃棄物処理計画書	
令和7年5月27日	
千葉県知事	
熊谷 俊人 殿	
提出者 〒162-8557	
住 所 東京都新宿区津久戸町2－1	
氏 名 株式会社熊谷組首都圏支店 専務執行役員支店長 柏原 貴彦 （法人にあっては、名称及び代表者の氏名）	
電話番号 03-4523-3527	
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。	
事業場の名称	株式会社熊谷組首都圏支店
事業場の所在地	東京都新宿区津久戸町2－1
計画期間	令和7年4月1日から令和8年3月31日まで
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
① 事業の種類	D06－総合工事業
② 事業の規模	元請完成工事高 1 1 5 4 億円（2024年度）
③ 従業員数	4 2 9 名（2025年3月31日現在）
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	別添1 処理工程図のとおり

（日本産業規格 A列4番）

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項		
(管理体制図) 別添2 管理体制図のとおり		

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項			
①現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙集計表のとおり	
	排出量	t	t
	(これまでに実施した取組) ・実寸発注の実施（木くず・がれき類） ・梱包材の減少化（廃プラスチック） ・工法の改善（がれき類・建設汚泥） ☐		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙集計表のとおり	
	排出量	t	t
	(今後実施する予定の取組) 上記に加え 下記の取組みを実施予定・梱包材の簡素化（廃プラスチック類、紙くず）・ユニット化の持込み（ガラス・陶磁器くず） ☐		

産業廃棄物の分別に関する事項	
①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 混合廃棄物の削減（産業廃棄物の適正分別など）と3Rの推進を実施。混合廃棄物排出量の目標を設定する。 ・建設廃棄物総排出量に占める混合廃棄物総排出量 2.0%以下
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 上記の目標を達成するために、廃石膏ボード、廃プラスチック、金属くず、紙くず、木くず、繊維くず、がれき類、石綿含有産業廃棄物等の分別保管を実施している。

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
①現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙集計表のとおり	
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙集計表のとおり	
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
①現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙集計表のとおり	
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
(これまでに実施した取組)			
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙集計表のとおり	
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	t
(今後実施する予定の取組)			

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
①現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙集計表のとおり	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙集計表のとおり	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
①現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙集計表のとおり	
	全処理委託量	t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
	・当社では業者選定方法を社則にて定めています。		
	・電子マニフェスト対応可能な処理業者から選定		
・電子契約締結の推進			
・中間処理業者のリサイクル等を定期的にヒアリング			

②計画	【目標】		
	産 業 廃 棄 物 の 種 類 _	別紙集計表のとおり	
	全 処 理 委 託 量 _	t	t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	t	t
	再 生 利 用 業 者 へ の 処 理 委 託 量	t	t
	認 定 熱 回 収 業 者 へ の 処 理 委 託 量	t	t
	認 定 熱 回 収 業 者 以 外 の 熱 回 収 を 行 う 業 者 へ の 処 理 委 託 量	t	t
	(今後実施する予定の取組) ・ 電子契約の使用率向上 ・ 廃プラスチック類のサーマルリサイクル以外（マテリアルリサイクル、 ケミカルリサイクル）業者の開拓		
※事務処理欄			

(第6面)

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1) ①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2) ②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3) ④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

産業廃棄物処理計画書 別紙集計表

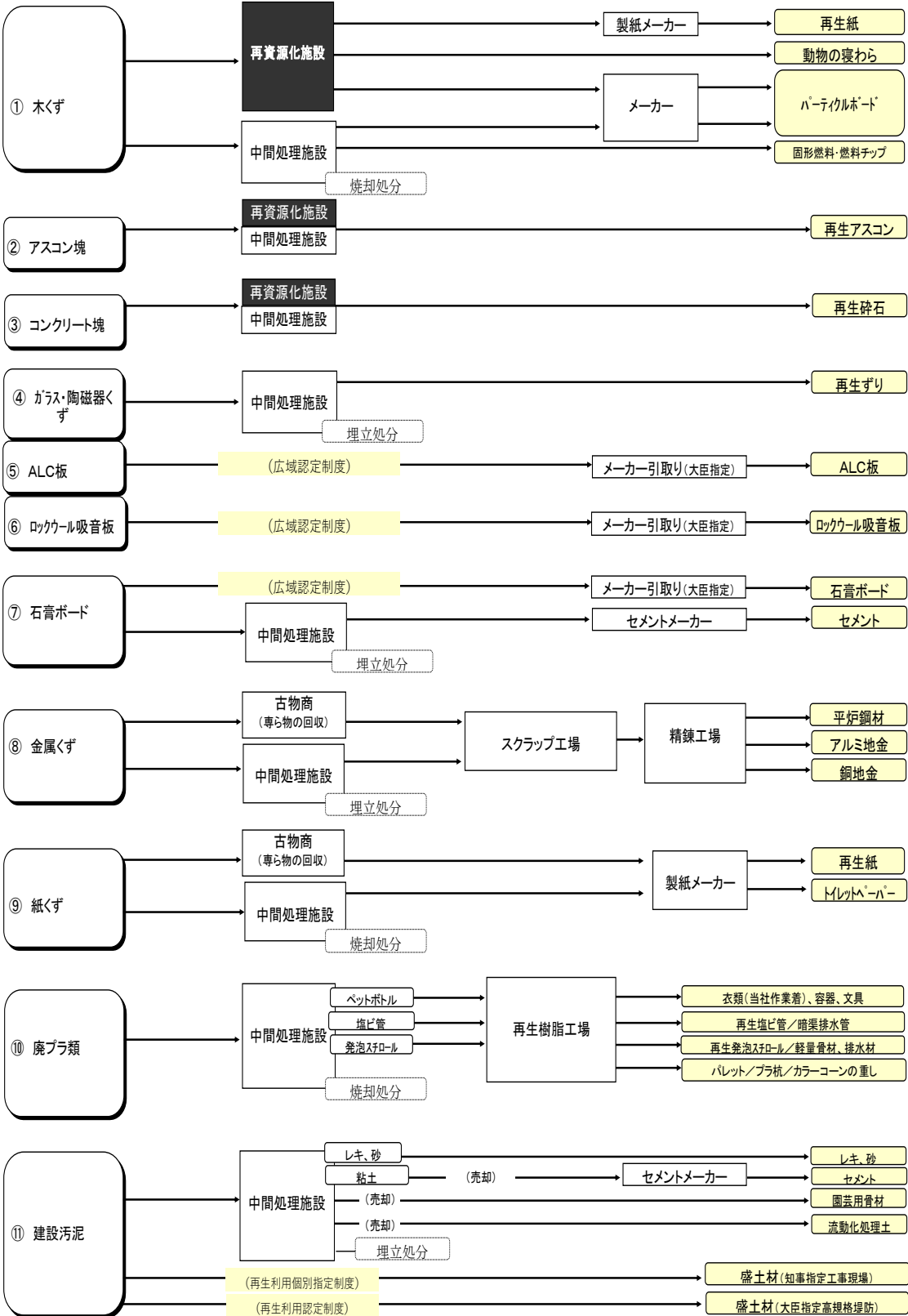
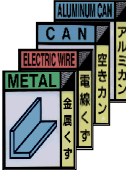
現状:前年度(令和6年度)実績量
計画:今年度(令和7年度)計画量(目標)

単位:トン

産業廃棄物の種類	排出抑制		自ら再生利用を行った(行う)量		自ら行う中間処理				自ら埋立処分又は 海洋投入処分を 行った(行う)量		処理の委託									
	排 出 量				自ら熱回収を 行った(行う)量		自ら中間処理により 減量した(する)量				全 処 理 委 託 量		優良認定処理業者への 処 理 委 託 量		再生利用業者への 処 理 委 託 量		認定熱回収業者への 処 理 委 託 量		認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	
	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画
汚泥	1,128.6	1,015.7	—	—	—	—	—	—	—	—	1,128.6	1,015.7	0.0	0.0	1,128.6	1,015.7	0.0	0.0	0.0	0.0
廃プラスチック類	65.7	59.1	—	—	—	—	—	—	—	—	65.7	59.1	63.2	56.9	65.7	59.1	0.0	0.0	0.0	0.0
紙くず	4.6	4.1	—	—	—	—	—	—	—	—	4.6	4.1	4.6	4.1	4.6	4.1	0.0	0.0	0.0	0.0
木くず	35.2	31.7	—	—	—	—	—	—	—	—	35.2	31.7	35.2	31.7	35.2	31.7	0.0	0.0	0.0	0.0
金属くず	89.9	80.9	—	—	—	—	—	—	—	—	89.9	80.9	89.9	80.9	89.9	80.9	0.0	0.0	0.0	0.0
ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず	163.7	147.3	—	—	—	—	—	—	—	—	163.7	147.3	133.4	120.1	163.7	147.3	0.0	0.0	0.0	0.0
がれき類	237.5	213.8	—	—	—	—	—	—	—	—	237.5	213.8	237.5	213.8	237.5	213.8	0.0	0.0	0.0	0.0
管理型混合廃棄物	148.0	133.2	—	—	—	—	—	—	—	—	148.0	133.2	127.9	115.1	148.0	133.2	0.0	0.0	0.0	0.0
合計	1,873.2	1,685.9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1,873.2	1,685.9	691.7	622.5	1,873.2	1,685.9	0.0	0.0	0.0	0.0

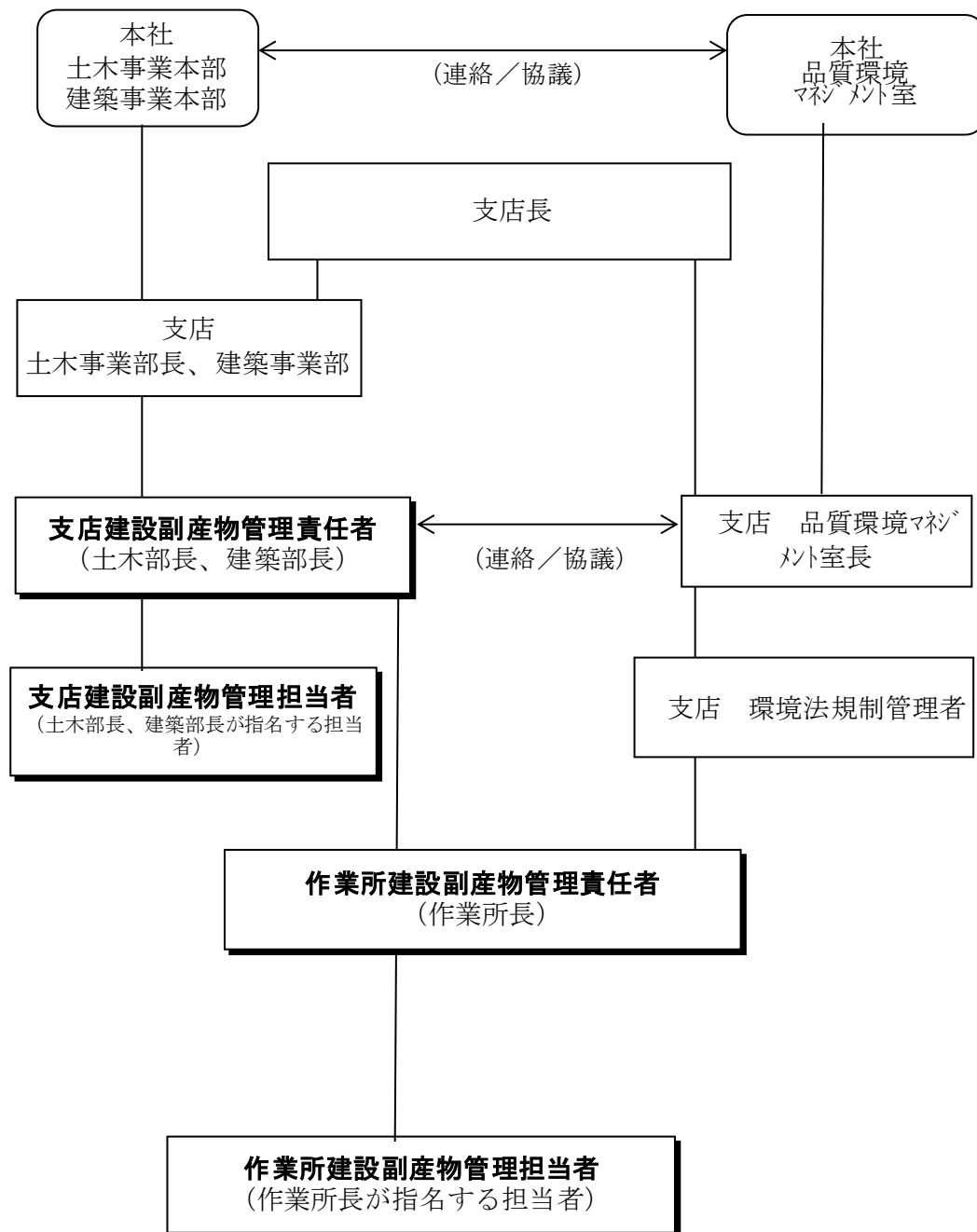
発生排出状況

工種別の廃棄物		
《準備・仮設工事》		
■ (1) 伐開除根工事		
伐採材／除根材	①	
■ (2) 既設構造物撤去工事		
アスコン塊（舗装）	②	
コンクリート塊（擁壁等）	③	
ブロック等（2次製品）	④	
■ (3) 仮設工事		
番線、単管パイプ	⑧	
カラスプレーの空缶	⑧	
電線	⑧	
段ボール	⑨	
ブルーシート／土のう袋	⑩	
発泡スチロール（梱包用）	⑩	
《掘削・基礎工事》		
■ 丁張材、矢板		
PC杭頭／現場打杭頭はつりくず	④	
セメント系固化材のトン袋	④	
廃棄泥水／泥水混り掘削土など	⑪	
（アースドリル／SMW／リパース）		
《躯体工事》		
■ さん木／ばた角		
型枠用合板	①	
ALC版の端材	④⑤	
番線くず、鉄筋端材	⑧	
紙ボイド	⑨	
ブラ面木／ブラ目地棒	⑩	
《建築工事》		
■ (1) 仕上工事		
木工事の木くず	①	
コンクリートなどのはつりくず	④	
タイル／陶器／ガラスの端材	④	
ロックウール吸音板	④⑥	
石膏ボードの端材	⑦	
塗料空缶	⑧	
サッシ端材	⑧	
軽鉄（軽量鉄骨下地）	⑧	
壁紙／クロス	⑩	
吹付工事の養生ビニール	⑩	
コーキング空きチューブ	⑩	
■ (2) 設備・外構・屋根工事		
U字溝、ブロック等の端材	④	
養生材（ガラス繊維）	④	
ダクト端材	⑧	
配管塩ビ端材	⑩	
防水シート	⑩	
《土木工事》		
■ セグメントシール材		
廃棄泥水／泥水混り掘削土など	⑪	
（泥水シールド工法など）		
脱水ケーキ（濁水処理プラント）	⑪	
《一般廃棄物》		
■ ジュース缶（スチール／アルミ）		
新聞紙／コピー用紙	⑨	
コンビニ弁当箱／ペットボトル	⑩	
ゴム手袋	⑩	



別添 2 管理体制図

【別紙1】建設副産物管理体制表



令和7年5月27日

千葉県知事 熊谷 俊人 殿

提出者 〒162-8557
住 所 東京都新宿区津久戸町2-1
氏 名 株式会社熊谷組首都圏支店
専務執行役員支店長 柏原 貴彦
(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)
電話番号 03-4523-3527

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、令和6年度の産業廃棄物
処理計画の実施状況を報告します。

事業場の名称	株式会社熊谷組首都圏支店
事業場の所在地	東京都新宿区津久戸町2-1
事業の種類	D06-総合工事業
産業廃棄物処理計画における計画期間	令和6年4月1日から令和7年3月31日まで

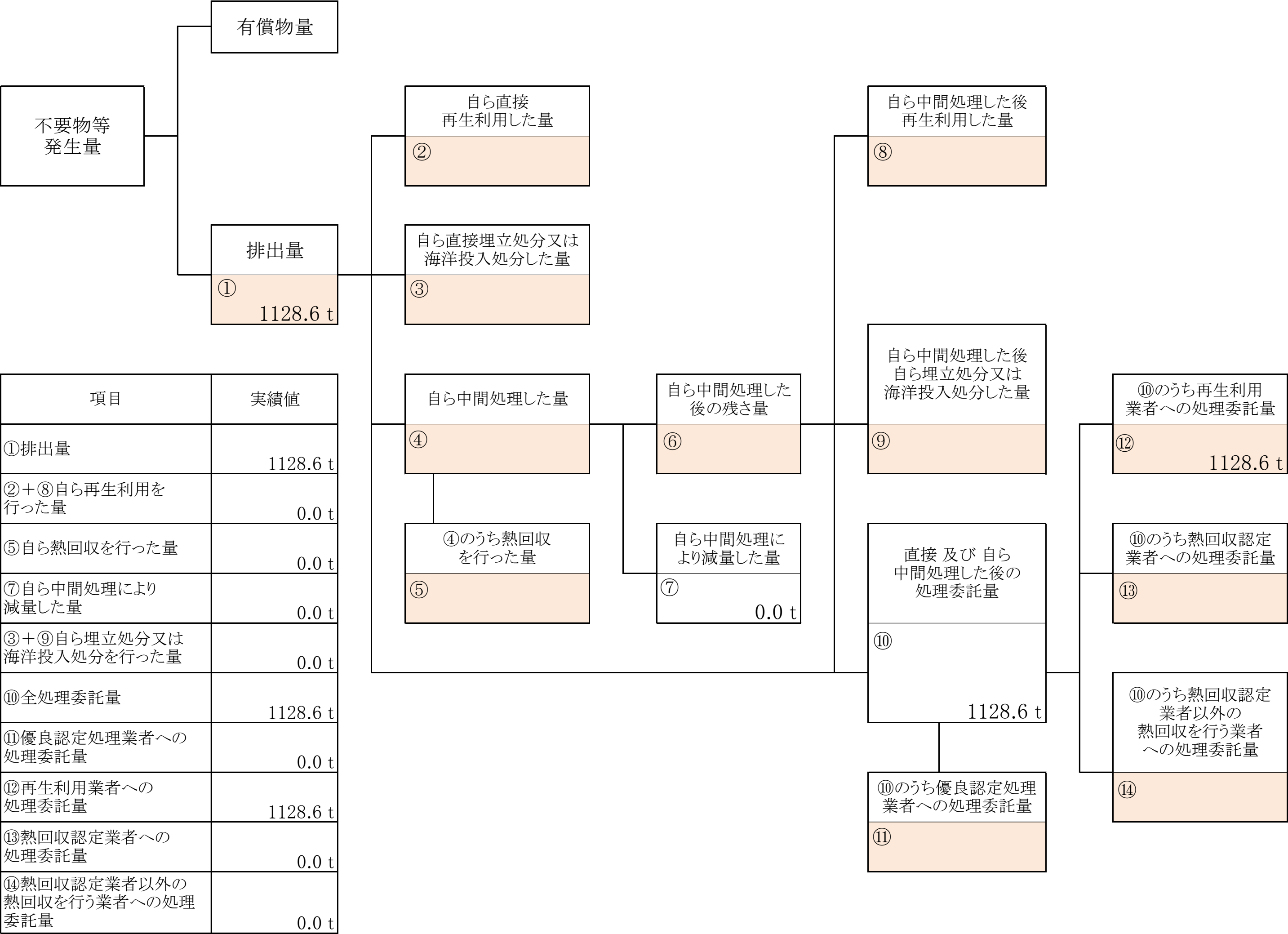
産業廃棄物処理計画における目標値

項目	目標値	項目	目標値
排出量	2688.7 t	全処理委託量	2688.7 t
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0.0 t	優良認定処理業者への処理委託量	2.0 t
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0.0 t	再生利用業者への処理委託量	2688.7 t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0.0 t	認定熱回収業者への処理委託量	0.0 t
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0.0 t	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

※事務処理欄

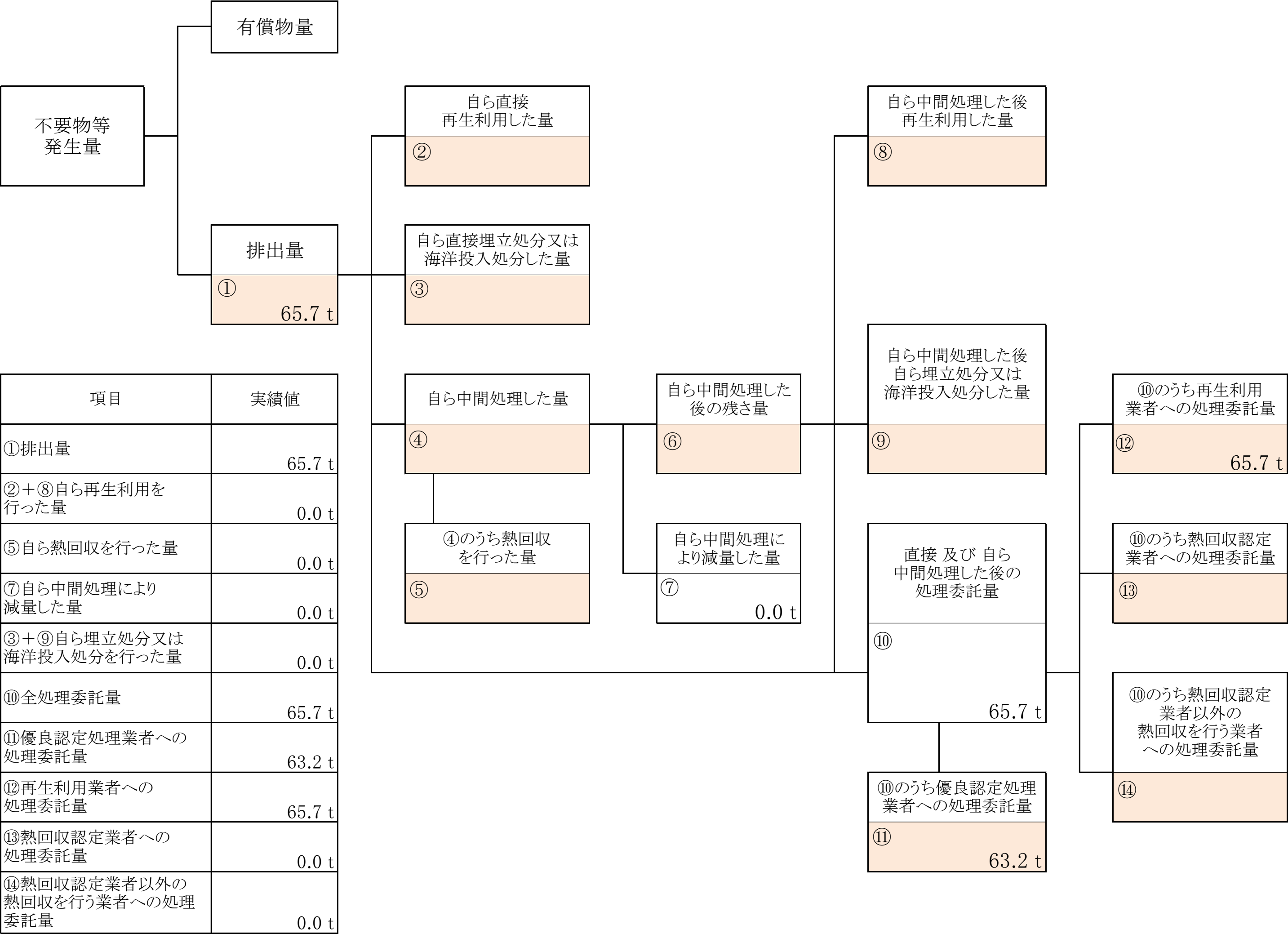
計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: 汚泥)



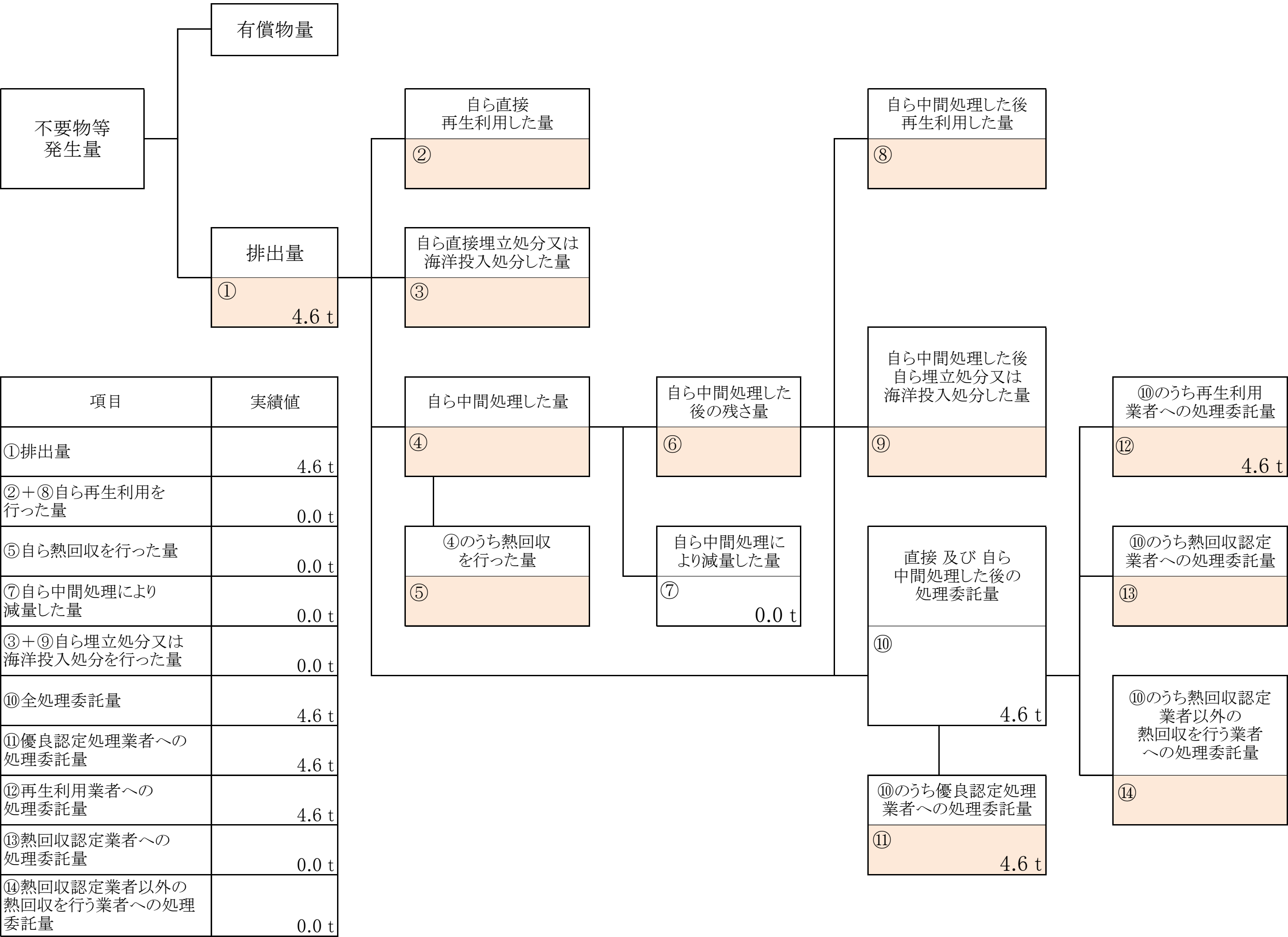
計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: 廃プラスチック類)



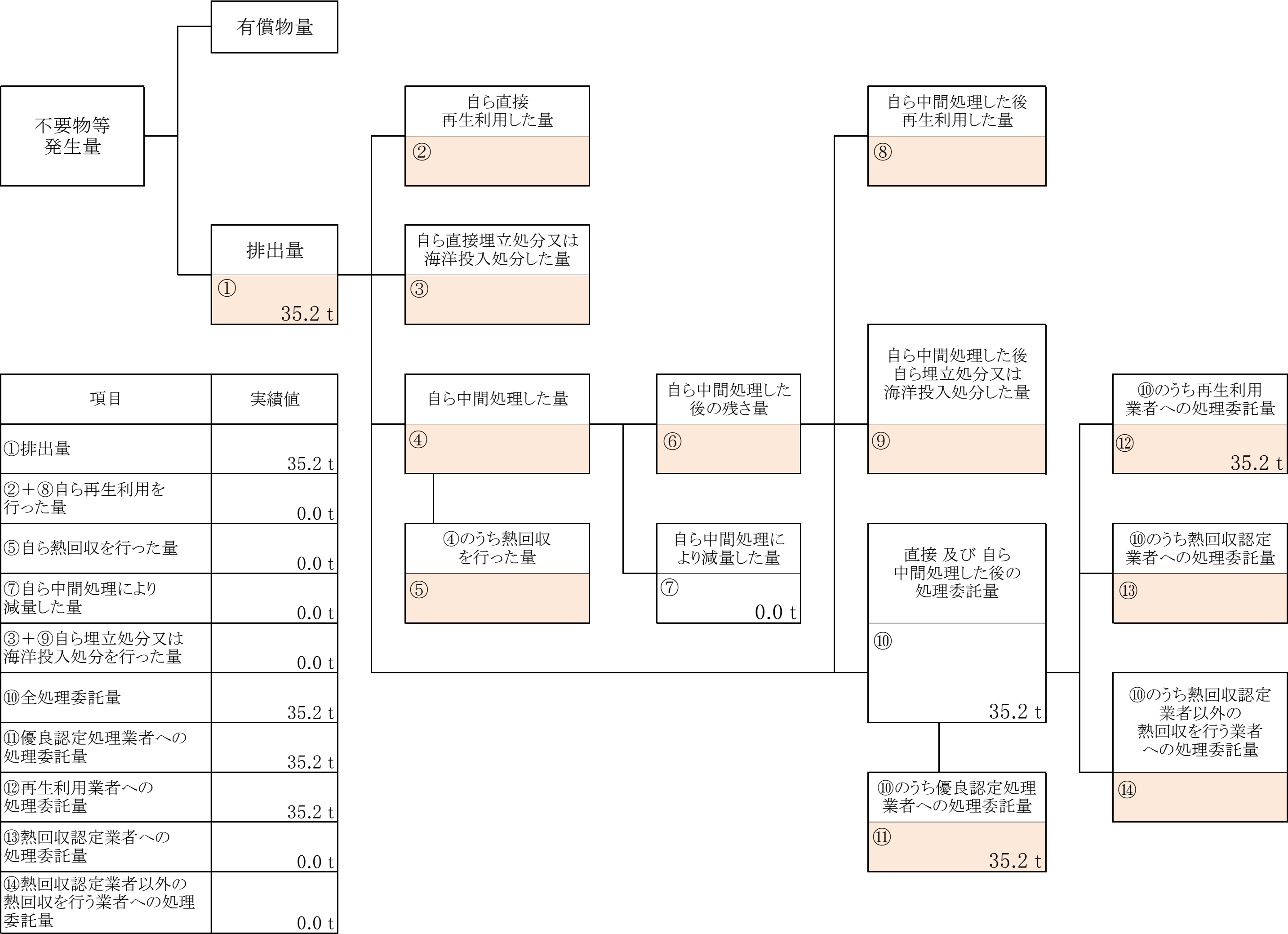
計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: 紙くず)



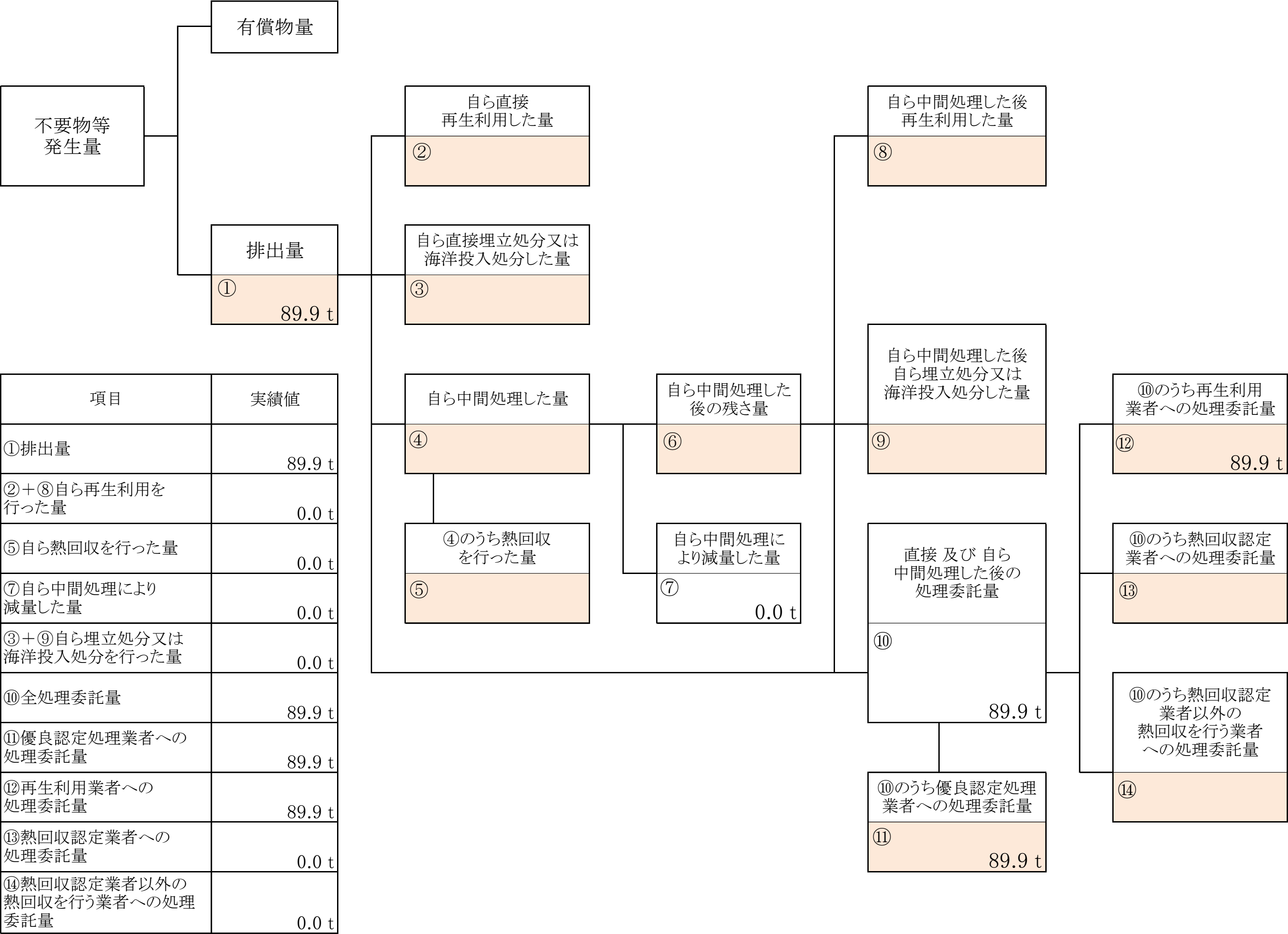
計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: 木くず)



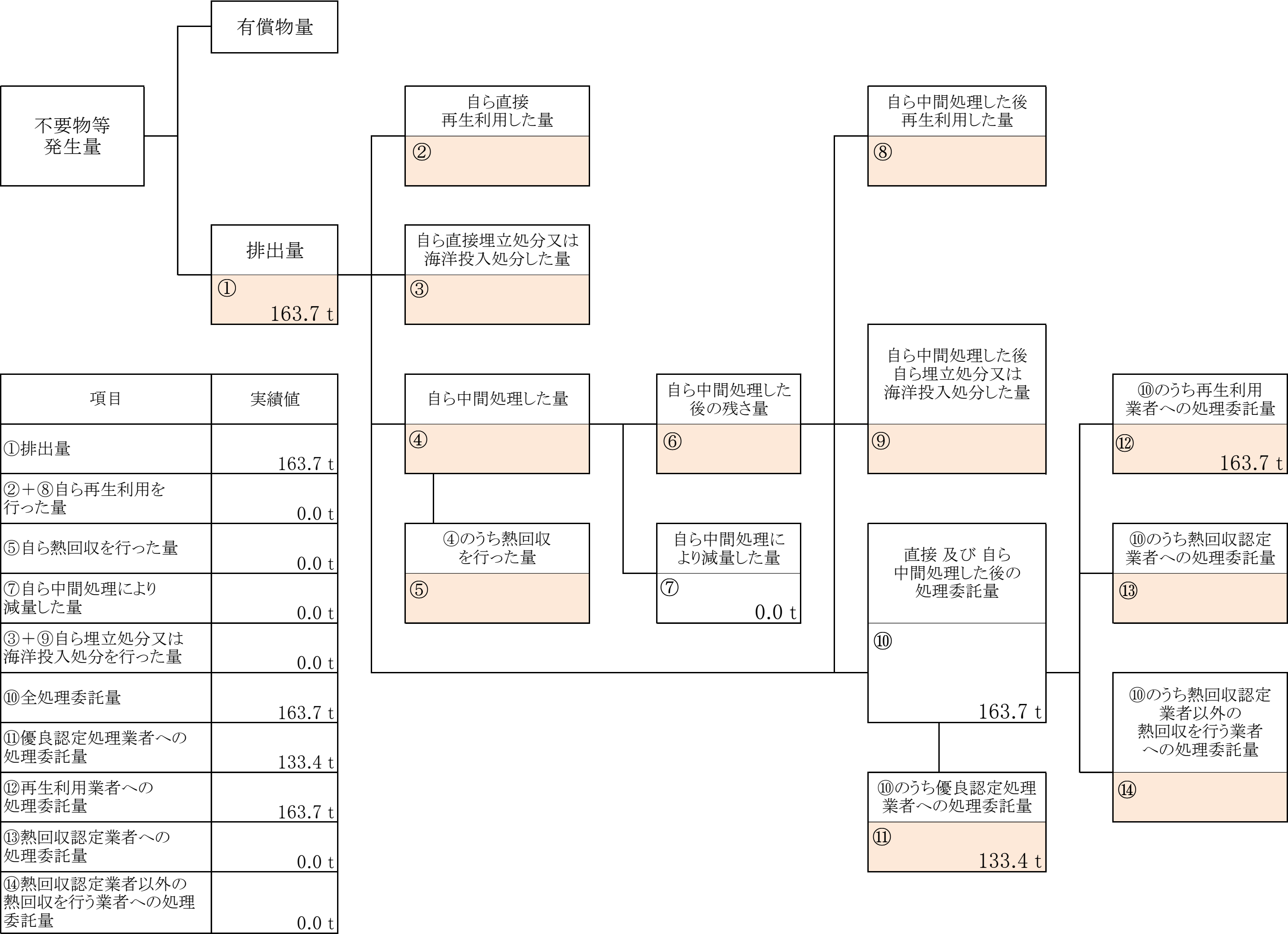
計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: 金属くず)



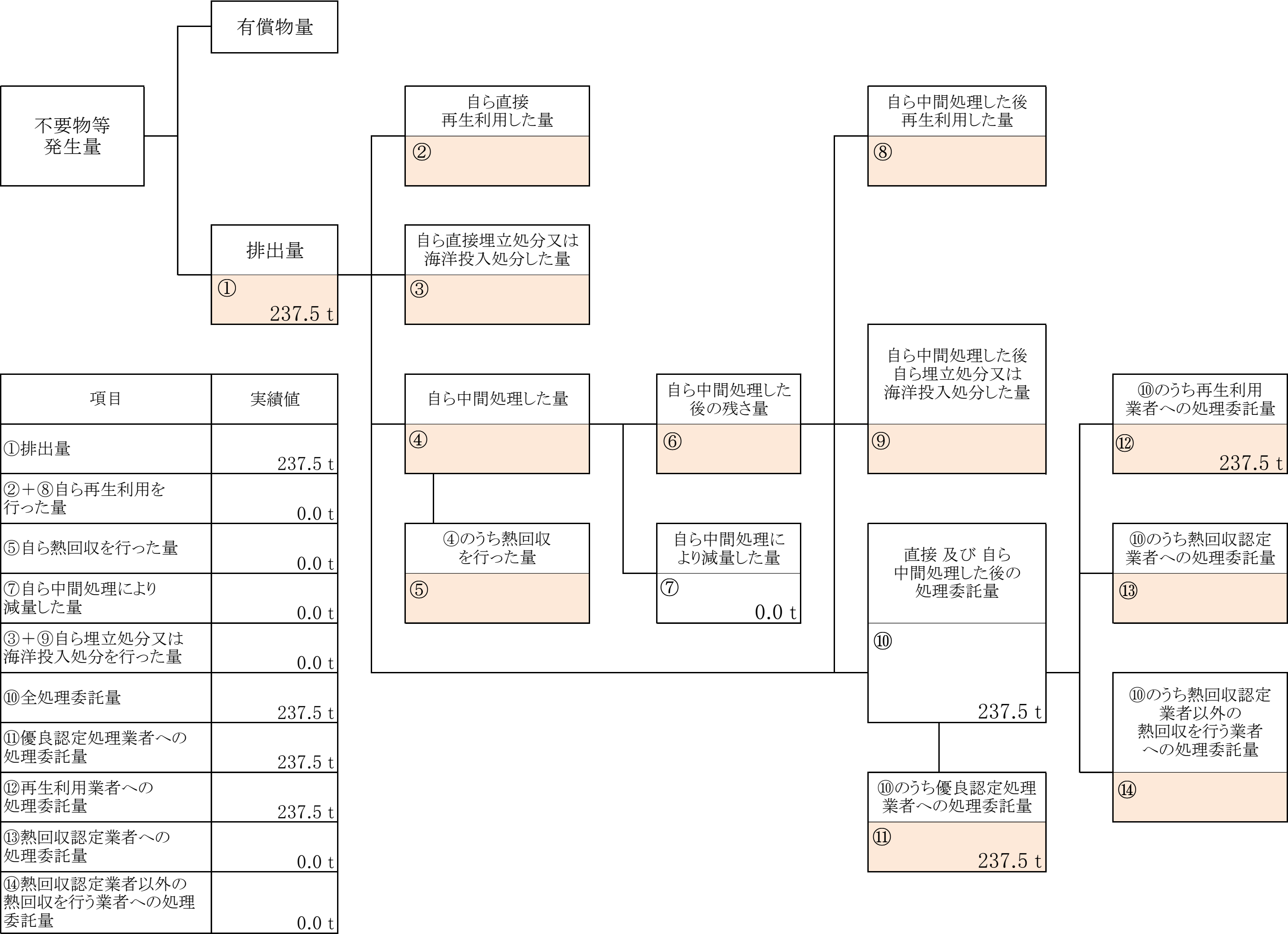
計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず)



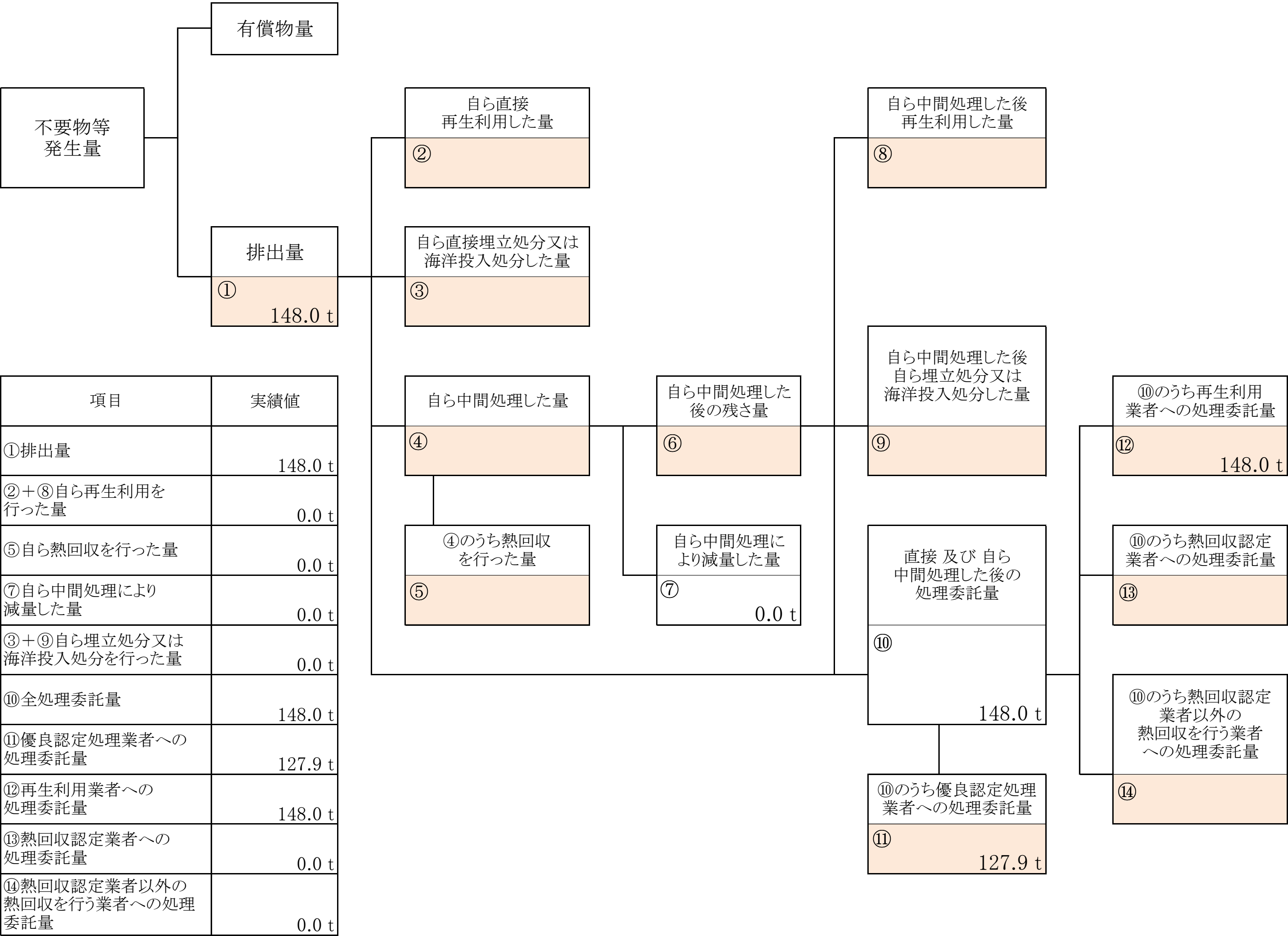
計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: がれき類)



計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: 管理型混合廃棄物)



備考

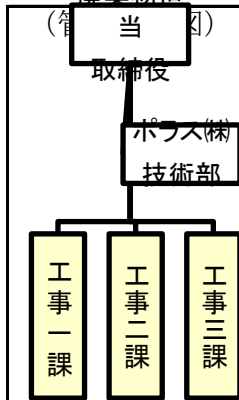
- 1 翌年度の6月30日までに提出すること。
- 2 「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
- 3 「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。
- 4 第2面には、前年度の産業廃棄物処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。
 - (1) ①欄 当該事業場において生じた産業廃棄物の量
 - (2) ②欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量
 - (3) ③欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
 - (4) ④欄 (1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量
 - (5) ⑤欄 (4)の量のうち、熱回収を行った量
 - (6) ⑥欄 自ら中間処理をした後の量
 - (7) ⑦欄 (4)の量から(6)の量を差し引いた量
 - (8) ⑧欄 (6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量
 - (9) ⑨欄 (6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量
 - (10) ⑩欄 中間処理及び最終処分を委託した量
 - (11) ⑪欄 (10)の量のうち、優良認定処理業者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者)への処理委託量
 - (12) ⑫欄 (10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量
 - (13) ⑬欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者)である処理業者への焼却処理委託量
 - (14) ⑭欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量
- 5 第2面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。
- 6 産業廃棄物の種類が2以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第 1 面）

産業廃棄物処理計画書	
令和 7年 6月 16 日	
千葉県知事 殿	
提出者 住 所 埼玉県越谷市南越谷2-14-31 グローバルホーム株式会社 氏 名 代表取締役 中内 晃次郎 (法人にあつては、名称及び代表者の氏名) 電話番号 048-969-6915 廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。	
事業場の名称	グローバルホーム株式会社
事業場の所在地	埼玉県越谷市南越谷2-14-31（千葉県内の各現場）
計画期間	令和 7年 4月 1日から令和 8年 3月 31日まで
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	建設業 総合工事業 木造建築工事業
②事業の規模	完成売上高 90億円
③従業員数	123名 （2025. 5. 20現在）
④産業廃棄物の一連の処理の工程	木くず→破砕→再生利用 廃プラスチック類→圧縮梱包→再生利用 がれき類→破砕→再生利用 紙屑→圧縮梱包→再生利用 金属くず→破砕→再生利用 ガラス陶磁器→破砕→再生利用 混合廃棄物→破砕・圧縮梱包→再生利用

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	金属くず
	排 出 量	45.30 t	37.90 t
	（これまでに実施した取組） ○パネル化率の向上 ○専ら物を筆頭に工事現場での分別 ○端材が発生しない精度の高い積算・木拾い ○余剰材は他現場で転用 ○余剰材が他現場で転用きるよう汎用性の高い資材を選定		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	金属くず
	排 出 量	49.80 t	41.70 t
	（今後実施する予定の取組） 上記①を一層向上させる		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） 解体工事では特定建設資材、新築工事では段ボール・木くず・金属くず・がれき類・石膏ボード・廃プラ（塩素系を除く）の一部を分別し、できるだけ再生委託
②計画	（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） 同上

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項				
【前年度（令和6年度）実績】				
産業廃棄物の種類	ガラス陶磁器等くず	コンクリート片	建設混合廃棄物	紙くず
排 出 量	973.10 t	364.80 t	117.40 t	78.30 t
【目標】				
産業廃棄物の種類	ガラス陶磁器等くず	コンクリート片	建設混合廃棄物	紙くず
排 出 量	1,070.40 t	401.30 t	129.10 t	86.10 t

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項				
【前年度（令和6年度）実績】				
産業廃棄物の種類	木くず	繊維くず	石綿含有産業廃棄物	
排 出 量	224.60 t	0.40 t	3.10 t	－ t
【目標】				
産業廃棄物の種類	木くず	繊維くず	石綿含有産業廃棄物	
排 出 量	247.00 t	0.40 t	3.40 t	－ t

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項				
【前年度（令和6年度）実績】				
産業廃棄物の種類				
排 出 量	- t	- t	- t	- t
【目標】				
産業廃棄物の種類				
排 出 量	- t	- t	- t	- t

(第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	金属くず
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	- t	- t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	金属くず
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	- t	- t
	(今後実施する予定の取組)		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	金属くず
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	- t	- t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	- t	- t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	金属くず
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	- t	- t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	- t	- t
	(今後実施する予定の取組)		

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

【前年度（令和6年度）実績】				
産業廃棄物の種類	ガラス陶磁器等くず	コンクリート片	建設混合廃棄物	紙くず
自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量	－ t	－ t	－ t	－ t
【目標】				
産業廃棄物の種類	ガラス陶磁器等くず	コンクリート片	建設混合廃棄物	紙くず
自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	－ t	－ t	－ t	－ t

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

【前年度（令和6年度）実績】				
産業廃棄物の種類	ガラス陶磁器等くず	コンクリート片	建設混合廃棄物	紙くず
自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量	－ t	－ t	－ t	－ t
自ら中間処理により減 量した産業廃棄物の量	－ t	－ t	－ t	－ t
【目標】				
産業廃棄物の種類	ガラス陶磁器等くず	コンクリート片	建設混合廃棄物	紙くず
自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量	－ t	－ t	－ t	－ t
自ら中間処理により減 量する産業廃棄物の量	－ t	－ t	－ t	－ t

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

【前年度（令和6年度）実績】				
産業廃棄物の種類	木くず	繊維くず	石綿含有産業廃棄物	
自ら再生利用を行った 産 業 廃 棄 物 の 量	- t	- t	- t	- t
【目標】				
産業廃棄物の種類	木くず	繊維くず	石綿含有産業廃棄物	
自ら再生利用を行う 産 業 廃 棄 物 の 量	- t	- t	- t	- t

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

【前年度（令和6年度）実績】				
産業廃棄物の種類	木くず	繊維くず	石綿含有産業廃棄物	
自ら熱回収を行った 産 業 廃 棄 物 の 量	- t	- t	- t	- t
自ら中間処理により減 量した産業廃棄物の量	- t	- t	- t	- t
【目標】				
産業廃棄物の種類	木くず	繊維くず	石綿含有産業廃棄物	
自ら熱回収を行う 産 業 廃 棄 物 の 量	- t	- t	- t	- t
自ら中間処理により減 量する産業廃棄物の量	- t	- t	- t	- t

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

【前年度（令和6年度）実績】				
産業廃棄物の種類				
自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量	- t	- t	- t	- t
【目標】				
産業廃棄物の種類				
自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	- t	- t	- t	- t

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

【前年度（令和6年度）実績】				
産業廃棄物の種類				
自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量	- t	- t	- t	- t
自ら中間処理により減 量した産業廃棄物の量	- t	- t	- t	- t
【目標】				
産業廃棄物の種類				
自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量	- t	- t	- t	- t
自ら中間処理により減 量する産業廃棄物の量	- t	- t	- t	- t

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	金属くず
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	－ t	－ t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	金属くず
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	－ t	－ t
	(今後実施する予定の取組)		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	金属くず
	全処理委託量	45.30 t	37.90 t
	優良認定処理業者 への処理委託量	－ t	－ t
	再生利用業者への 処理委託量	－ t	－ t
	認定熱回収業者 への処理委託量	－ t	－ t
	認定熱回収業者以外 の熱回収を行う業者 への処理委託量	－ t	－ t
	(これまでに実施した取組)		
	解体工事 建り法特定建設資材や金属くずは専門再生業者へ委託 新築工事 木くずや廃プラスチックの一部はRPF製造業者へ、石膏ボードは 広域認定メーカーへ再生委託		

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

【前年度（令和6年度）実績】				
産業廃棄物の種類	ガラス陶磁器等くず	コンクリート片	建設混合廃棄物	紙くず
自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	- t	- t	- t	- t
【目標】				
産業廃棄物の種類	ガラス陶磁器等くず	コンクリート片	建設混合廃棄物	紙くず
自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	- t	- t	- t	- t

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

【前年度（令和6年度）実績】				
産業廃棄物の種類	ガラス陶磁器等くず	コンクリート片	建設混合廃棄物	紙くず
全処理委託量	973.10 t	364.80 t	117.40 t	78.30 t
優良認定処理業者 への処理委託量	- t	- t	- t	- t
再生利用業者への 処理委託量	- t	- t	- t	- t
認定熱回収業者 への処理委託量	- t	- t	- t	- t
認定熱回収業者以外 の熱回収を行う業者 への処理委託量	- t	- t	- t	- t

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

【前年度（令和6年度）実績】				
産業廃棄物の種類	木くず	繊維くず	石綿含有産業廃棄物	
自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	－ t	－ t	－ t	－ t
【目標】				
産業廃棄物の種類	木くず	繊維くず	石綿含有産業廃棄物	
自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	－ t	－ t	－ t	－ t

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

【前年度（令和6年度）実績】				
産業廃棄物の種類	木くず	繊維くず	石綿含有産業廃棄物	
全処理委託量	224.60 t	0.40 t	3.10 t	－ t
優良認定処理業者 への処理委託量	－ t	－ t	－ t	－ t
再生利用業者への 処理委託量	－ t	－ t	－ t	－ t
認定熱回収業者 への処理委託量	－ t	－ t	－ t	－ t
認定熱回収業者以外 の熱回収を行う業者 への処理委託量	－ t	－ t	－ t	－ t

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

【前年度（令和6年度）実績】				
産業廃棄物の種類				
自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	- t	- t	- t	- t
【目標】				
産業廃棄物の種類				
自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	- t	- t	- t	- t

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

【前年度（令和6年度）実績】				
産業廃棄物の種類				
全処理委託量	- t	- t	- t	- t
優良認定処理業者 への処理委託量	- t	- t	- t	- t
再生利用業者への 処理委託量	- t	- t	- t	- t
認定熱回収業者 への処理委託量	- t	- t	- t	- t
認定熱回収業者以外 の熱回収を行う業者 への処理委託量	- t	- t	- t	- t

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	金属くず
	全 処 理 委 託 量	49.80 t	41.70 t
	優良認定処理業者 への処理委託量	- t	- t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	- t	- t
	認定熱回収業者 への処理委託量	- t	- t
	認定熱回収業者以外 の熱回収を行う業者 への処理委託量	- t	- t
	(今後実施する予定の取組) より一層向上させる ①を		
※事務処理欄			

	【目標】				
	産業廃棄物の種類	ガラス陶磁器等くず	コンクリート片	建設混合廃棄物	紙くず
	全 処 理 委 託 量	1,070.40 t	403.00 t	129.10 t	86.10 t
	優良認定処理業者 への処理委託量	- t	- t	- t	- t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	- t	- t	- t	- t
	認定熱回収業者 への処理委託量	- t	- t	- t	- t
	認定熱回収業者以外 の熱回収を行う業者 への処理委託量	- t	- t	- t	- t

	【目標】				
	産業廃棄物の種類	木くず	繊維くず	石綿含有産業廃棄物	
	全 処 理 委 託 量	247.00 t	0.40 t	3.40 t	- t
	優良認定処理業者 への処理委託量	- t	- t	- t	- t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	- t	- t	- t	- t
	認定熱回収業者 への処理委託量	- t	- t	- t	- t
	認定熱回収業者以外 の熱回収を行う業者 への処理委託量	- t	- t	- t	- t

	【目標】				
	産業廃棄物の種類				
	全 処 理 委 託 量	- t	- t	- t	- t
	優良認定処理業者 への処理委託量	- t	- t	- t	- t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	- t	- t	- t	- t
	認定熱回収業者 への処理委託量	- t	- t	- t	- t
	認定熱回収業者以外 の熱回収を行う業者 への処理委託量	- t	- t	- t	- t

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額(前年度実績)、建設業の場合における元請完成工事高(前年度実績)、医療機関の場合における病床数(前年度末時点)等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程(当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。)を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者)への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者)である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

産 業 廃 棄 物 処 理 計 画 書 の 〔 入 力 支 援 用 シ ー ト 〕

提出年度 令和 7 年度

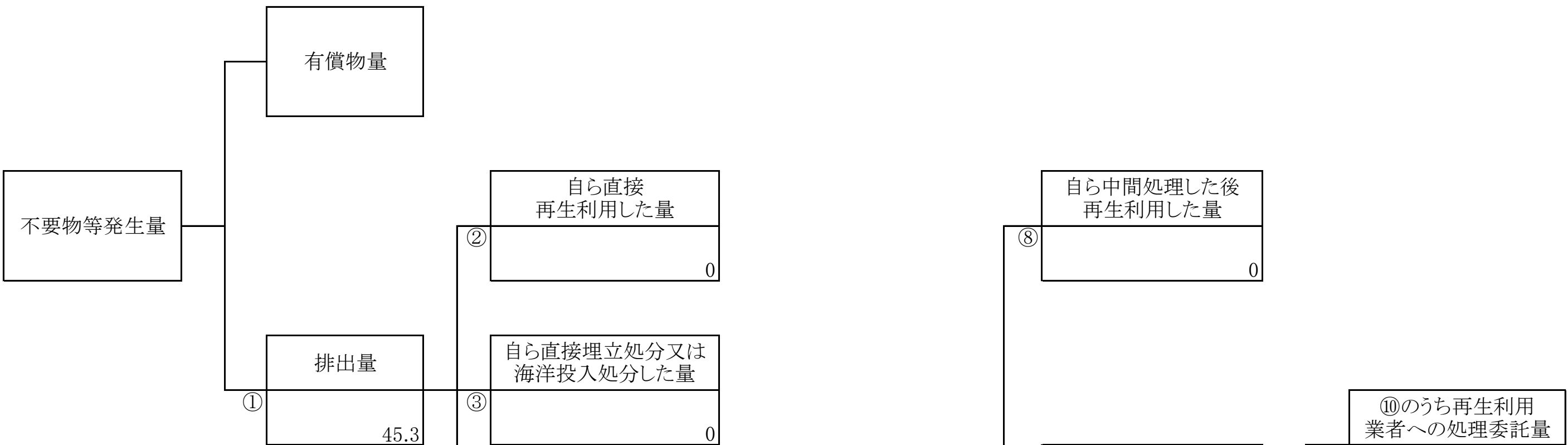
※最下行の名称は任意入力です。

名 称		計 画									
		A 排出量	B 自ら再生利用	C 自ら熱回収を	D 自ら中間処理により	E 自ら埋立処分又は	F 産業廃棄物の	G 優良認定処理業者	H 再生利用業者への	I 認定熱回収業者	J 認定熱回収業者以外の
		(t)	行った量	行った量	減量した量	海洋投入処分を	全処理委託量	への処理委託量(t)	処理委託量(t)	への処理委託量(t)	熱回収業者への処理委託量(t)
		現状／計画	(t)	(t)	(t)	行った量	(t)	(t)	(t)	(t)	(t)
産業廃棄物の種類	前年度実績 ／ 今年度の計画	当該事業場において生じた産業廃棄物の種類ごとの量	Aの量のうち、自ら再生利用した量	Aの量のうち熱回収を行った量	Aの量のうち、自ら中間処理により減量した量	Aの量のうち、自ら埋立処分又は海洋投入処分した量	中間処理及び最終処分を委託した量	Fの量のうち、優良認定処理業者への委託処理量	Fの量のうち、処理業者への再生利用委託量(I、J除く)	Fの量のうち、認定熱回収施設設置者である処理業者への焼却処理委託量	Fの量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量
廃プラスチック類	現状	45.3	-	-	-	-	45.3	-	-	-	-
	計画	49.8	-	-	-	-	49.8	-	-	-	-
金属くず	現状	37.9	-	-	-	-	37.9	-	-	-	-
	計画	41.7	-	-	-	-	41.7	-	-	-	-
ガラス陶磁器等くず	現状	973.1	-	-	-	-	973.1	-	-	-	-
	計画	1070.4	-	-	-	-	1070.4	-	-	-	-
コンクリート片	現状	364.8	-	-	-	-	364.8	-	-	-	-
	計画	401.3	-	-	-	-	403	-	-	-	-
建設混合廃棄物	現状	117.4	-	-	-	-	117.4	-	-	-	-
	計画	129.1	-	-	-	-	129.1	-	-	-	-
紙くず	現状	78.3	-	-	-	-	78.3	-	-	-	-
	計画	86.1	-	-	-	-	86.1	-	-	-	-
木くず	現状	224.6	-	-	-	-	224.6	-	-	-	-
	計画	247	-	-	-	-	247	-	-	-	-
繊維くず	現状	0.4	-	-	-	-	0.4				
	計画	0.4	-	-	-	-	0.4				
石綿含有産業廃棄物	現状	3.1					3.1				
	計画	3.4					3.4				
	現状										
	計画										
	現状										
	計画										
	現状										
	計画										
	現状										
	計画										
	現状										
	計画										
合計	現状	1844.9	0	0	0	0	1844.9	0	0	0	0
	計画	2029.2	0	0	0	0	2030.9	0	0	0	0

産業廃棄物処理計画実施状況報告書			
令和 7年 6月 16日			
千葉県知事 殿			
提出者			
住 所 埼玉県越谷市南越谷2-14-31			
氏 名 グローバルホーム株式会社 代表取締役 中内 晃次郎			
(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)			
電話番号 048-969-6915			
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、令和6年度の産業廃棄物 処理計画の実施状況を報告します。			
事業場の名称	グローバルホーム株式会社		
事業場の所在地	埼玉県越谷市南越谷2-14-31(千葉県内の各現場)		
事業の種類	建設業 総合工事業 木造建築工事業		
産業廃棄物処理計画における 計 画 期 間	令和6年4月1日から令和7年3月31日まで		
産業廃棄物処理計画における目標値			
項目	目標値	項目	目標値
排 出 量	1461.6t	全 処 理 委 託 量	1461.6t
自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	t	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	t
自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量	t	再生利用業者への 処 理 委 託 量	t
自ら中間処理により減量する 産業廃棄物の量	t	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	t
自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	t	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	t
※事務処理欄			

計画の実施状況

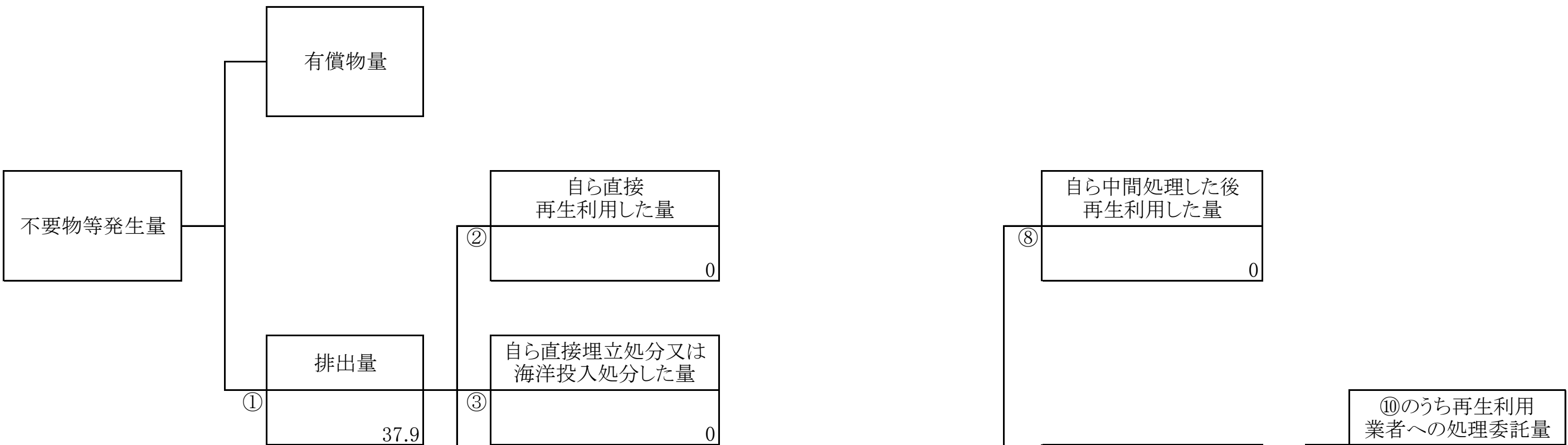
(産業廃棄物の種類：廃プラスチック類)



項目	実績値
①排出量	45.3
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0
⑤自ら熱回収を行った量	0
⑦自ら中間処理により減量した量	0
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0
⑩全処理委託量	45.3
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0
⑫再生利用業者への処理委託量	0
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0

計画の実施状況

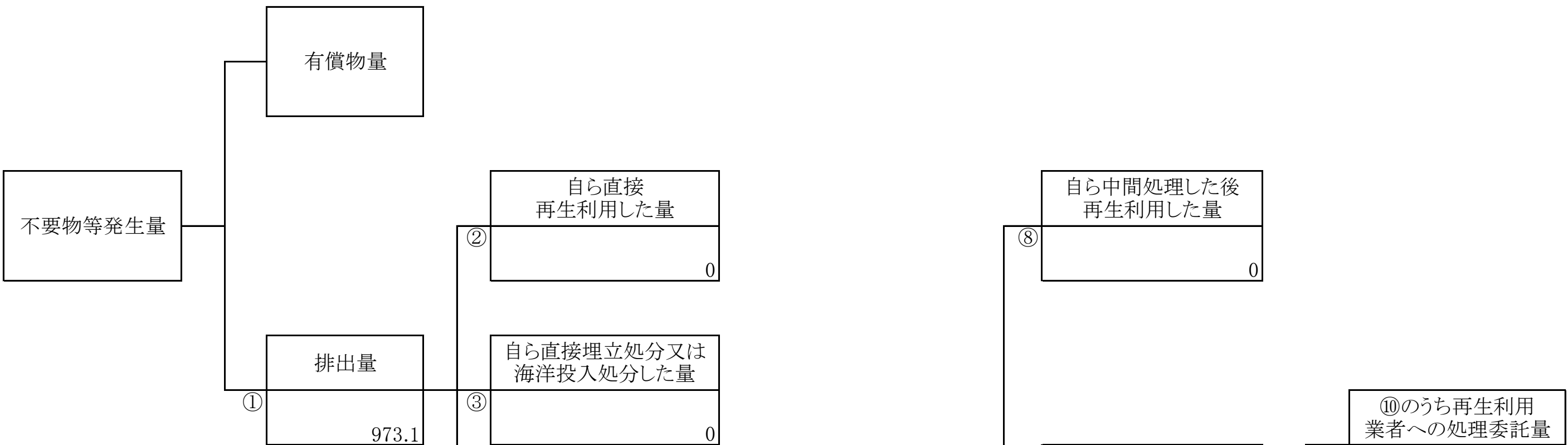
(産業廃棄物の種類：金属くず(水銀関連除く))



項目	実績値
①排出量	37.9
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0
⑤自ら熱回収を行った量	0
⑦自ら中間処理により減量した量	0
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0
⑩全処理委託量	37.9
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0
⑫再生利用業者への処理委託量	0
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0

計画の実施状況

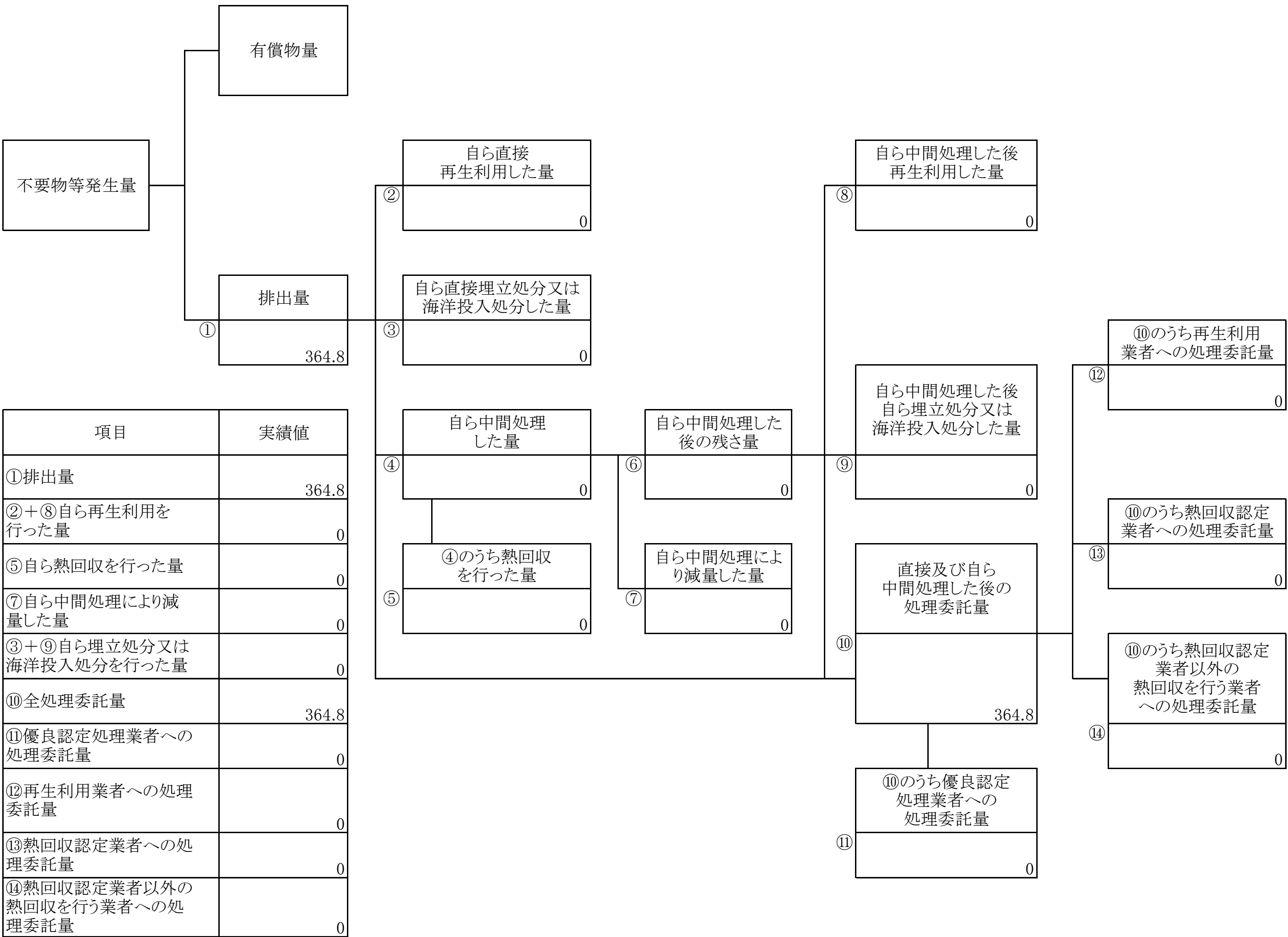
(産業廃棄物の種類：ガラス陶磁器等くず(水銀関連除く))



項目	実績値
①排出量	973.1
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0
⑤自ら熱回収を行った量	0
⑦自ら中間処理により減量した量	0
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0
⑩全処理委託量	973.1
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0
⑫再生利用業者への処理委託量	0
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0

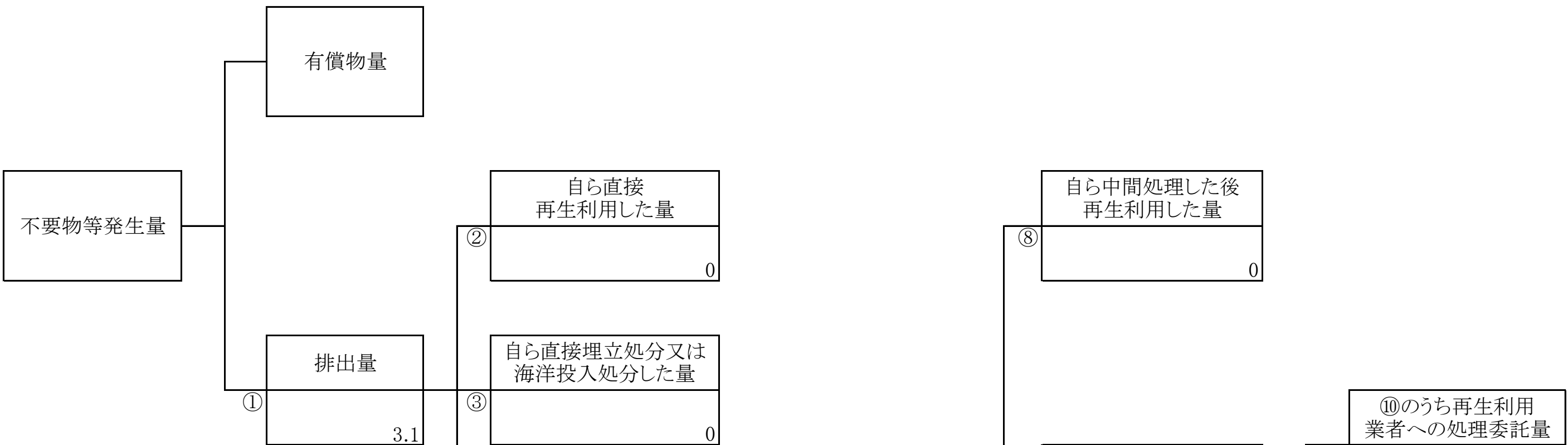
計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: コンクリート片)



計画の実施状況

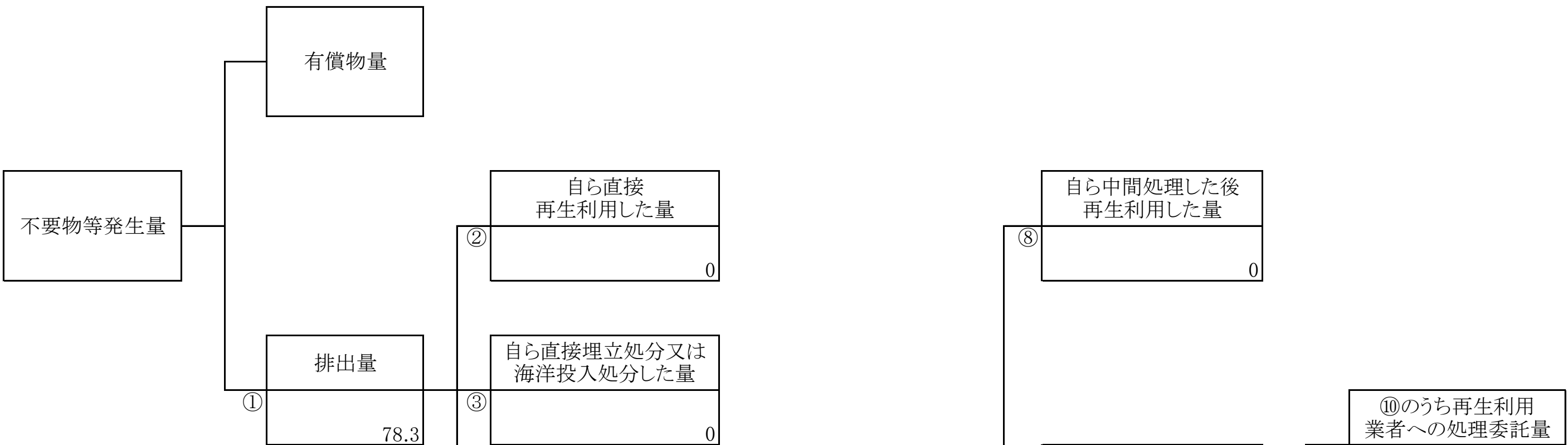
(産業廃棄物の種類：石綿含有産業廃棄物)



項目	実績値
①排出量	3.1
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0
⑤自ら熱回収を行った量	0
⑦自ら中間処理により減量した量	0
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0
⑩全処理委託量	3.1
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0
⑫再生利用業者への処理委託量	0
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0

計画の実施状況

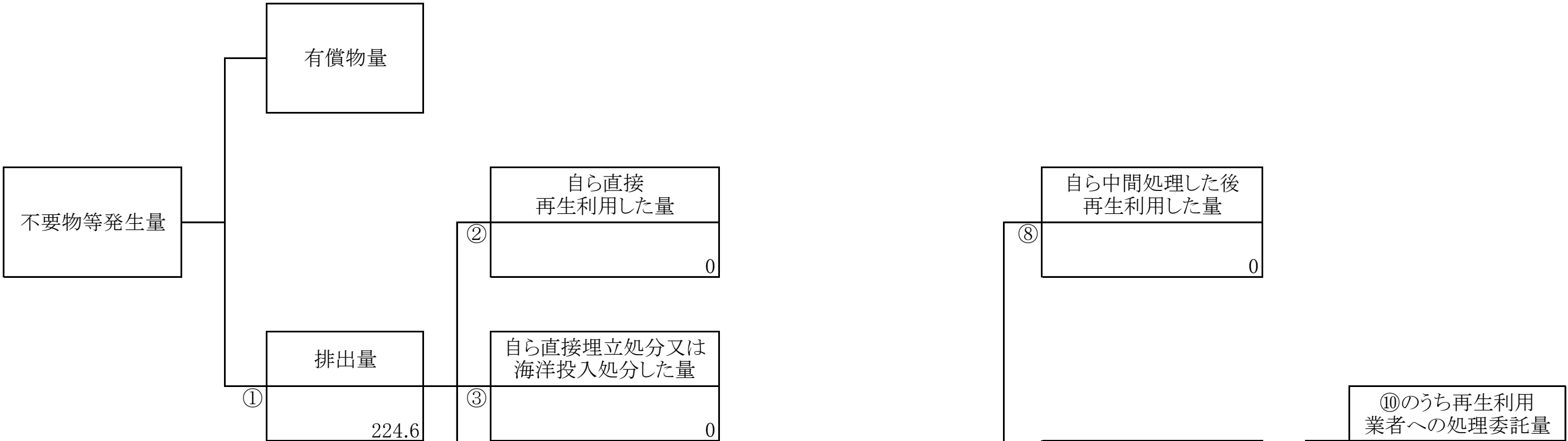
(産業廃棄物の種類：紙くず)



項目	実績値
①排出量	78.3
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0
⑤自ら熱回収を行った量	0
⑦自ら中間処理により減量した量	0
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0
⑩全処理委託量	78.3
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0
⑫再生利用業者への処理委託量	0
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0

計画の実施状況

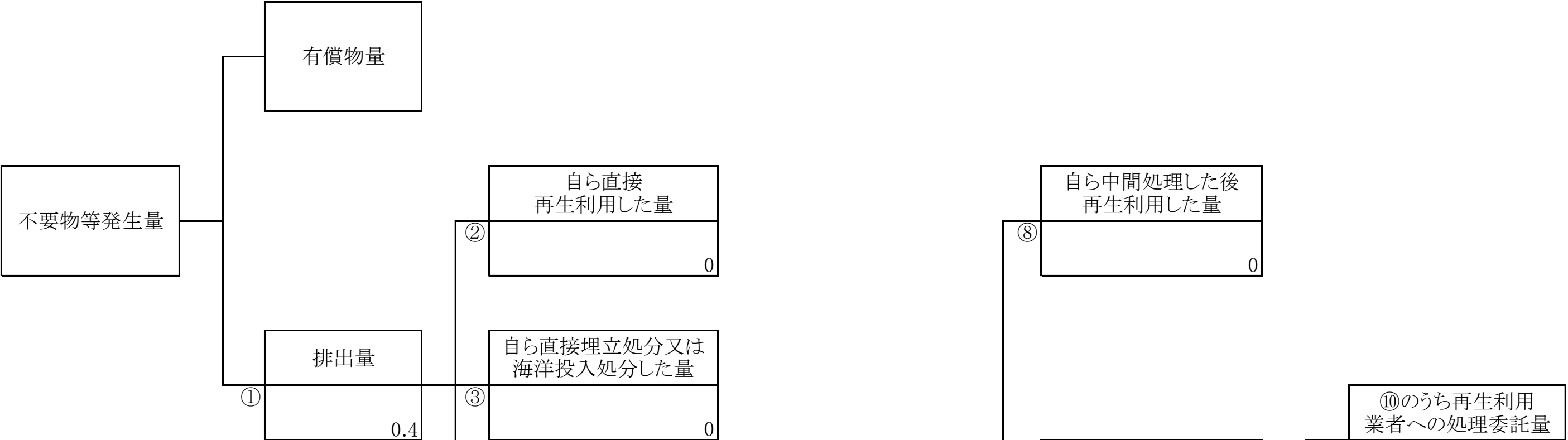
(産業廃棄物の種類：木くず)



項目	実績値
①排出量	224.6
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0
⑤自ら熱回収を行った量	0
⑦自ら中間処理により減量した量	0
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0
⑩全処理委託量	224.6
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0
⑫再生利用業者への処理委託量	0
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0

計画の実施状況

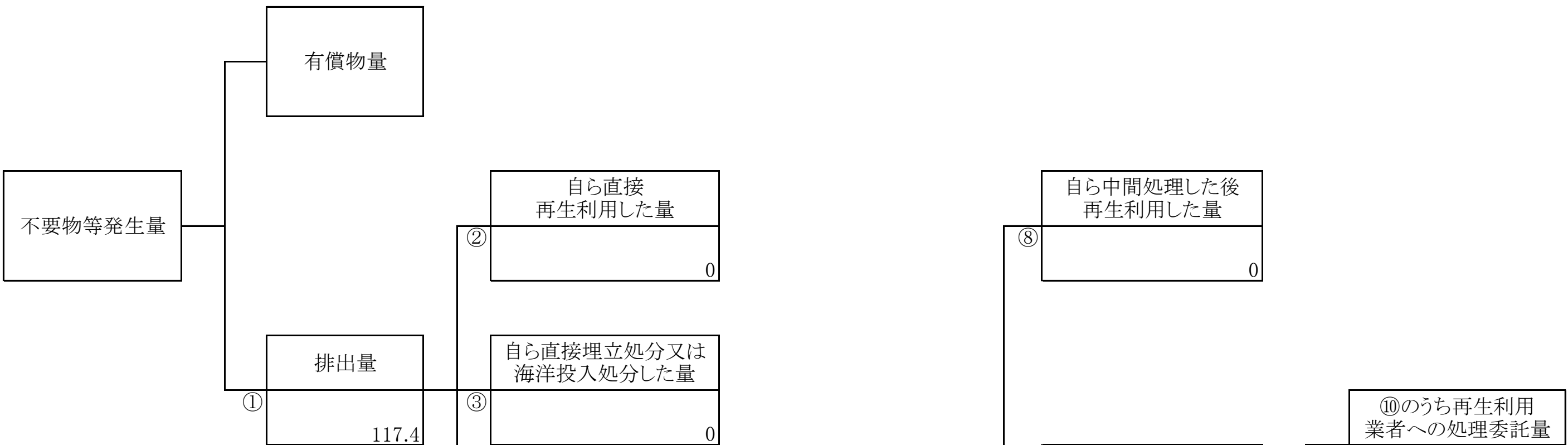
(産業廃棄物の種類：繊維くず)



項目	実績値
①排出量	0.4
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0
⑤自ら熱回収を行った量	0
⑦自ら中間処理により減量した量	0
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0
⑩全処理委託量	0.4
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0
⑫再生利用業者への処理委託量	0
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類：建設混合廃棄物)



項目	実績値
①排出量	117.4
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0
⑤自ら熱回収を行った量	0
⑦自ら中間処理により減量した量	0
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0
⑩全処理委託量	117.4
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0
⑫再生利用業者への処理委託量	0
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0

備考

- 1 翌年度の6月30日までに提出すること。
- 2 「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
- 3 「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。
- 4 第2面には、前年度の産業廃棄物処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。
 - (1) ①欄 当該事業場において生じた産業廃棄物の量
 - (2) ②欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量
 - (3) ③欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
 - (4) ④欄 (1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量
 - (5) ⑤欄 (4)の量のうち、熱回収を行った量
 - (6) ⑥欄 自ら中間処理をした後の量
 - (7) ⑦欄 (4)の量から(6)の量を差し引いた量
 - (8) ⑧欄 (6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量
 - (9) ⑨欄 (6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量
 - (10) ⑩欄 中間処理及び最終処分を委託した量
 - (11) ⑪欄 (10)の量のうち、優良認定処理業者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者)への処理委託量
 - (12) ⑫欄 (10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量
 - (13) ⑬欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者)である処理業者への焼却処理委託量
 - (14) ⑭欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量
- 5 第2面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。
- 6 産業廃棄物の種類が2以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。
- 7 ※欄には、何も記入しないこと。

(第1面)

産業廃棄物処理計画書	
令和7年5月22日	
千葉県知事 殿	
提出者	
住 所 千葉県船橋市宮本4-17-3	
氏 名 京成建設株式会社 土木本部	
土木本部長 川股 敦	
(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)	
電話番号 047-435-6579	
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。	
事業場の名称	京成建設株式会社 土木本部
事業場の所在地	千葉県船橋市宮本4-17-3
計画期間	令和7年4月1日～令和8年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	大分類：建設業 中分類：総合工事業
②事業の規模	前年度完成工事148億9千万円
③従業員数	153名
④産業廃棄物の一連の処理の工程	別添1 処理工程図のとおり

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

別添2 管理体制図のとおり

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙集計表のとおり	—
	排 出 量	t	t
	（これまでに実施した取組） 1. 排出事業所（現場）において、分別収集、集約による排出量の抑制を図った。 2. 排出状況の調査と分析による見直しを実施した。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙集計表のとおり	—
	排 出 量	t	t
	（今後実施する予定の取組） 1. 排出事業所（現場）において、継続して分別収集と集約による排出量の抑制を図る。 2. 今後も継続して、排出状況の調査と分析による見直しを実施する。		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） コンクリート：鉄筋とコンクリートがら アスコン：路盤材とアスコン 木くず：型枠材の木材とくぎの分別をした。
②計画	（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） 混合状態の廃棄物で、再生可能な廃棄物の分別をする。

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量	— t	t
	（これまでに実施した取組） 該当なし。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	— t	t
	（今後実施する予定の取組） 該当なし。		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量	— t	t
	自ら中間処理により減量した 産業廃棄物の量	— t	t
	（これまでに実施した取組） 該当なし。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量	— t	— t
	自ら中間処理により減量する 産業廃棄物の量	— t	— t
	（今後実施する予定の取組） 該当なし。		

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	— t	t
	(これまでに実施した取組) 該当なし。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	— t	t
	(今後実施する予定の取組) 該当なし。		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙集計表のとおり	
	全 処 理 委 託 量	t	t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	t	t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	t	t
	(これまでに実施した取組) 1. 運搬委託業者選定時、許可書及び許可期限、法関係の違反を確認した。 2. 処分先委託業者選定時、許可書及び許可期限、許可品目、処理方法と能力、再生資源化処理の実施の有無等の確認と処理施設の現地確認を実施した。		

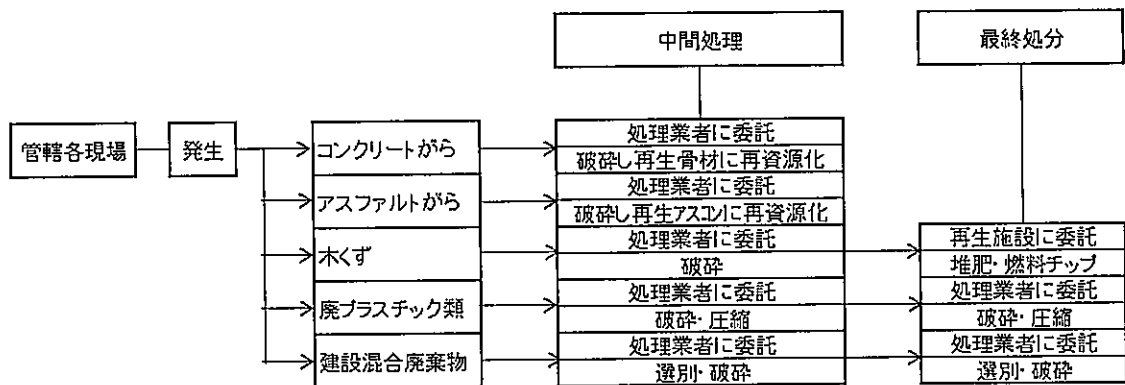
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙集計表のとおり	
	全 処 理 委 託 量	t	t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	t	t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	t	t
	(今後実施する予定の取組) 1. 運搬委託業者選定時、許可書及び許可期限、法関係の違反を確認する。 2. 処分先委託業者選定時、許可書及び許可期限、許可品目、処理方法と能力、再生資源化処理の実施の有無等の確認と処理施設の現地確認を実施する。		
※事務処理欄			

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額(前年度実績)、建設業の場合における元請完成工事高(前年度実績)、医療機関の場合における病床数(前年度末時点)等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程(当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。)を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者)への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者)である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

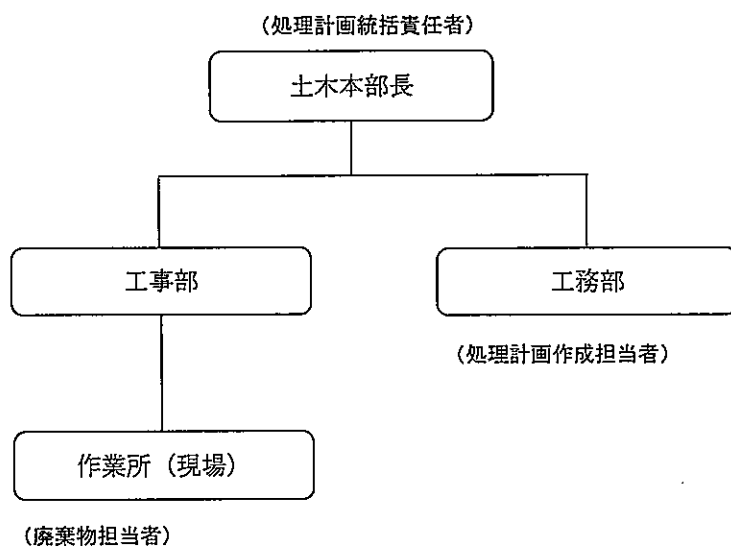
別添 1 処理工程図

産業廃棄物の一連の処理の工程



別添 2 管理体制図

(管理体制図)



[illegible]

[illegible]

（第1面）

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

令和7年5月22日

千葉県知事 殿

提出者

住 所 千葉県船橋市宮本4-17-3

氏 名 京成建設株式会社 土木本部

土木本部長 川股 敦

（法人にあつては、名称及び代表者の氏名）

電話番号 047-435-6579

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、令和6年度の産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

事業場の名称	京成建設株式会社 土木本部		
事業場の所在地	千葉県船橋市宮本4-17-3		
事業の種類	大分類：建設業 中分類：総合工事業		
産業廃棄物処理計画における計画期間	令和6年4月1日～令和7年3月31日		
産業廃棄物処理計画における目標値			
項目	目標値	項目	目標値
排出量	10,343.19 t	全処理委託量	10,343.19 t
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0.00 t	優良認定処理業者への処理委託量	516.68 t
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0.00 t	再生利用業者への処理委託量	10,336.54 t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0.00 t	認定熱回収業者への処理委託量	0.00 t
自ら埋立処分又は海洋投棄処分を行う産業廃棄物の量	0.00 t	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00 t
※事務処理欄			

（日本産業規格 A列4番）

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類汚泥)

(単位: トン)

有償物量

不要物等発生量

排出量

①	31.82

自ら直接利用した量

②	0.00

自ら直接埋め立て処分
又は海洋投入処分した量

③	0.00

自ら中間処理した量

④	0.00

④のうち熱回収を行った量

⑤	0.00

自ら中間処理した
後の残さ量

⑥	0.00

自ら中間処理により
減量した量

⑦	0.00

自ら中間処理した後
再生利用した量

⑧	0.00

自ら中間処理した後
自ら埋立処分
又は海洋投入処分した量

⑨	0.00

直接及び自ら中間処理
した後の処理委託量

⑩	31.82

⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量

⑪	26.40

⑩のうち再生利用業者
への処理委託量

⑫	31.82

⑩のうち熱回収認定業者
への処理委託量

⑬	0.00

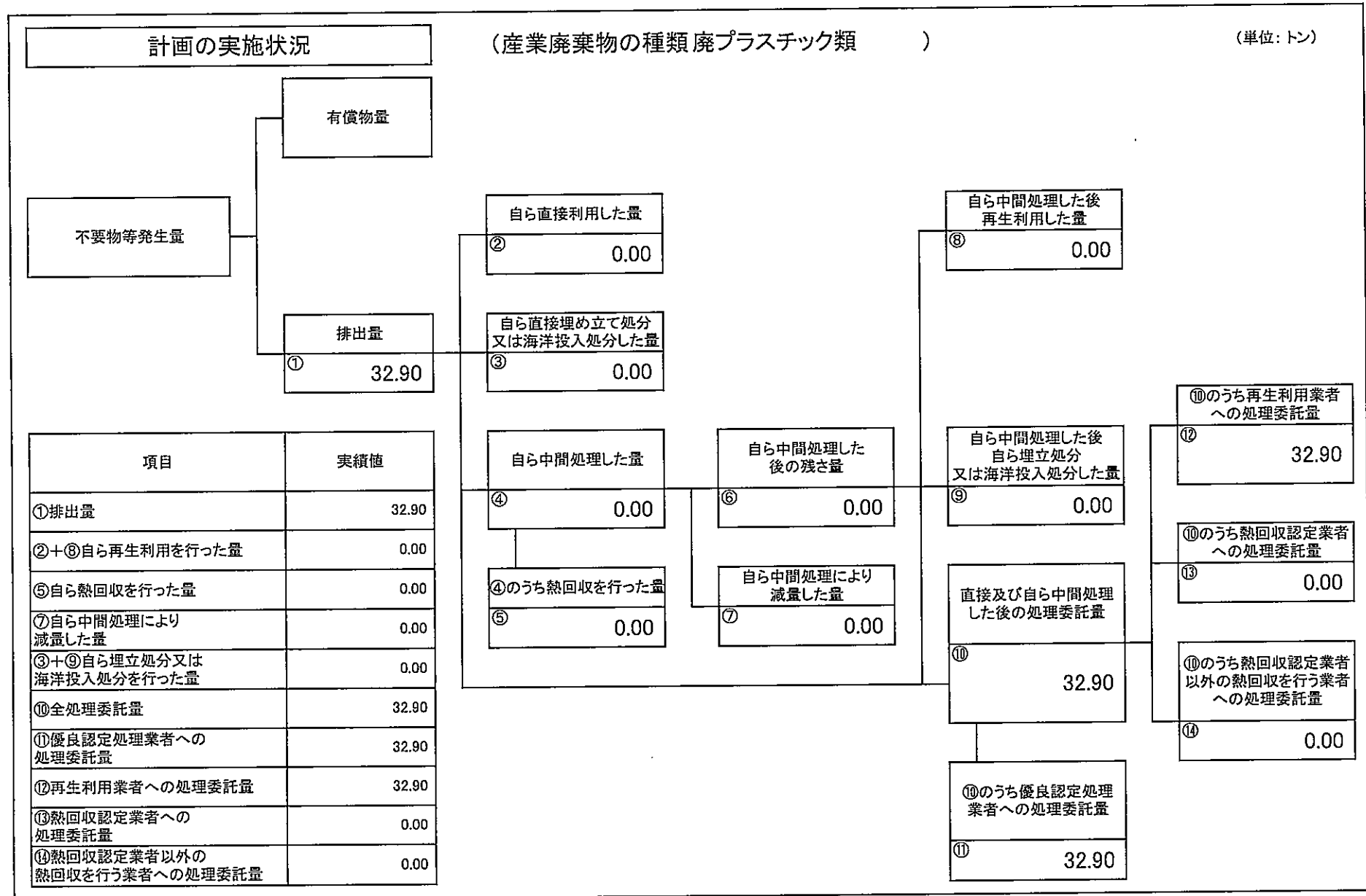
⑩のうち熱回収認定業者
以外の熱回収を行う業者
への処理委託量

⑭	0.00

項目	実績値
①排出量	31.82
②+⑧自ら再生利用を行った量	0.00
⑤自ら熱回収を行った量	0.00
⑦自ら中間処理により減量した量	0.00
③+④自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.00
⑩全処理委託量	31.82
⑪優良認定処理業者への処理委託量	26.40
⑫再生利用業者への処理委託量	31.82
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.00
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00

計画の実施状況		(産業廃棄物の種類 廃油)				(単位: トン)
不要物等発生量						
有償物量						
排出量						
① 1.35		② 0.00	③ 0.00	④ 0.00	⑤ 0.00	⑥ 0.00
		⑦ 0.00	⑧ 0.00	⑨ 0.00	⑩ 1.35	⑪ 0.00
		⑫ 1.35	⑬ 0.00	⑭ 0.00	⑮ 0.00	⑯ 0.00
		⑰ 0.00	⑱ 0.00	⑲ 0.00	⑳ 0.00	㉑ 0.00
		㉒ 0.00	㉓ 0.00	㉔ 0.00	㉕ 0.00	㉖ 0.00
		㉗ 0.00	㉘ 0.00	㉙ 0.00	㉚ 0.00	㉛ 0.00
		㉜ 0.00	㉝ 0.00	㉞ 0.00	㉟ 0.00	㊱ 0.00
		㊲ 0.00	㊳ 0.00	㊴ 0.00	㊵ 0.00	㊶ 0.00
		㊷ 0.00	㊸ 0.00	㊹ 0.00	㊺ 0.00	㊻ 0.00
		㊼ 0.00	㊽ 0.00	㊾ 0.00	㊿ 0.00	㋀ 0.00
		㋁ 0.00	㋂ 0.00	㋃ 0.00	㋄ 0.00	㋅ 0.00
		㋆ 0.00	㋇ 0.00	㋈ 0.00	㋉ 0.00	㋊ 0.00
		㋋ 0.00	㋌ 0.00	㋍ 0.00	㋎ 0.00	㋏ 0.00
		㋐ 0.00	㋑ 0.00	㋒ 0.00	㋓ 0.00	㋔ 0.00
		㋕ 0.00	㋖ 0.00	㋗ 0.00	㋘ 0.00	㋙ 0.00
		㋚ 0.00	㋛ 0.00	㋜ 0.00	㋝ 0.00	㋞ 0.00
		㋟ 0.00	㋠ 0.00	㋡ 0.00	㋢ 0.00	㋣ 0.00
		㋤ 0.00	㋥ 0.00	㋦ 0.00	㋧ 0.00	㋨ 0.00
		㋩ 0.00	㋪ 0.00	㋫ 0.00	㋬ 0.00	㋭ 0.00
		㋮ 0.00	㋯ 0.00	㋰ 0.00	㋱ 0.00	㋲ 0.00
		㋳ 0.00	㋴ 0.00	㋵ 0.00	㋶ 0.00	㋷ 0.00
		㋸ 0.00	㋹ 0.00	㋺ 0.00	㋻ 0.00	㋼ 0.00
		㋽ 0.00	㋾ 0.00	㋿ 0.00	㌀ 0.00	㌁ 0.00
		㌂ 0.00	㌃ 0.00	㌄ 0.00	㌅ 0.00	㌆ 0.00
		㌇ 0.00	㌈ 0.00	㌉ 0.00	㌊ 0.00	㌋ 0.00
		㌌ 0.00	㌍ 0.00	㌎ 0.00	㌏ 0.00	㌐ 0.00
		㌑ 0.00	㌒ 0.00	㌓ 0.00	㌔ 0.00	㌕ 0.00
		㌖ 0.00	㌗ 0.00	㌘ 0.00	㌙ 0.00	㌚ 0.00
		㌛ 0.00	㌜ 0.00	㌝ 0.00	㌞ 0.00	㌟ 0.00
		㌠ 0.00	㌡ 0.00	㌢ 0.00	㌣ 0.00	㌤ 0.00
		㌥ 0.00	㌦ 0.00	㌧ 0.00	㌨ 0.00	㌩ 0.00
		㌪ 0.00	㌫ 0.00	㌬ 0.00	㌭ 0.00	㌮ 0.00
		㌯ 0.00	㌰ 0.00	㌱ 0.00	㌲ 0.00	㌳ 0.00
		㌴ 0.00	㌵ 0.00	㌶ 0.00	㌷ 0.00	㌸ 0.00
		㌹ 0.00	㌺ 0.00	㌻ 0.00	㌼ 0.00	㌽ 0.00
		㌾ 0.00	㌿ 0.00	㍀ 0.00	㍁ 0.00	㍂ 0.00
		㍃ 0.00	㍄ 0.00	㍅ 0.00	㍆ 0.00	㍇ 0.00
		㍈ 0.00	㍉ 0.00	㍊ 0.00	㍋ 0.00	㍌ 0.00
		㍍ 0.00	㍎ 0.00	㍇ 0.00	㍈ 0.00	㍉ 0.00
		㍊ 0.00	㍋ 0.00	㍌ 0.00	㍍ 0.00	㍎ 0.00
		㍏ 0.00	㍐ 0.00	㍑ 0.00	㍒ 0.00	㍓ 0.00
		㍔ 0.00	㍕ 0.00	㍖ 0.00	㍗ 0.00	㍘ 0.00
		㍙ 0.00	㍚ 0.00	㍛ 0.00	㍜ 0.00	㍝ 0.00
		㍞ 0.00	㍟ 0.00	㍼ 0.00	㍠ 0.00	㍡ 0.00
		㍢ 0.00	㍣ 0.00	㍤ 0.00	㍥ 0.00	㍦ 0.00
		㍧ 0.00	㍨ 0.00	㍩ 0.00	㍪ 0.00	㍫ 0.00
		㍬ 0.00	㍭ 0.00	㍮ 0.00	㍯ 0.00	㍰ 0.00
		㍱ 0.00	㍲ 0.00	㍳ 0.00	㍴ 0.00	㍵ 0.00
		㍶ 0.00	㍷ 0.00	㍸ 0.00	㍹ 0.00	㍺ 0.00
		㍻ 0.00	㍼ 0.00	㍽ 0.00	㍾ 0.00	㍿ 0.00
		㏀ 0.00	㏁ 0.00	㏂ 0.00	㏃ 0.00	㏄ 0.00
		㏅ 0.00	㏆ 0.00	㏇ 0.00	㏈ 0.00	㏉ 0.00
		㏊ 0.00	㏋ 0.00	㏌ 0.00	㏍ 0.00	㏎ 0.00
		㏏ 0.00	㏐ 0.00	㏑ 0.00	㏒ 0.00	㏓ 0.00
		㏔ 0.00	㏕ 0.00	㏖ 0.00	㏗ 0.00	㏘ 0.00
		㏙ 0.00	㏚ 0.00	㏛ 0.00	㏜ 0.00	㏝ 0.00
		㏞ 0.00	㏟ 0.00	㏠ 0.00	㏡ 0.00	㏢ 0.00
		㏣ 0.00	㏤ 0.00	㏥ 0.00	㏦ 0.00	㏧ 0.00
		㏨ 0.00	㏩ 0.00	㏪ 0.00	㏫ 0.00	㏬ 0.00
		㏭ 0.00	㏮ 0.00	㏯ 0.00	㏰ 0.00	㏱ 0.00
		㏲ 0.00	㏳ 0.00	㏴ 0.00	㏵ 0.00	㏶ 0.00
		㏷ 0.00	㏸ 0.00	㏹ 0.00	㏺ 0.00	㏻ 0.00
		㏼ 0.00	㏽ 0.00	㏾ 0.00	㏿ 0.00	㐀 0.00
		㐁 0.00	㐂 0.00	㐃 0.00	㐄 0.00	㐅 0.00
		㐆 0.00	㐇 0.00	㐈 0.00	㐉 0.00	㐊 0.00
		㐋 0.00	㐌 0.00	㐍 0.00	㐎 0.00	㐏 0.00
		㐐 0.00	㐑 0.00	㐒 0.00	㐓 0.00	㐔 0.00
		㐕 0.00	㐖 0.00	㐗 0.00	㐘 0.00	㐙 0.00
		㐚 0.00	㐛 0.00	㐜 0.00	㐝 0.00	㐞 0.00
		㐟 0.00	㐠 0.00	㐡 0.00	㐢 0.00	㐣 0.00
		㐤 0.00	㐥 0.00	㐦 0.00	㐧 0.00	㐨 0.00
		㐩 0.00	㐪 0.00	㐫 0.00	㐬 0.00	㐭 0.00
		㐮 0.00	㐯 0.00	㐰 0.00	㐱 0.00	㐲 0.00
		㐳 0.00	㐴 0.00	㐵 0.00	㐶 0.00	㐷 0.00
		㐸 0.00	㐹 0.00	㐺 0.00	㐻 0.00	㐼 0.00
		㐽 0.00	㐾 0.00	㐿 0.00	㑀 0.00	㑁 0.00
		㑂 0.00	㑃 0.00	㑄 0.00	㑅 0.00	㑆 0.00
		㑇 0.00	㑈 0.00	㑉 0.00	㑊 0.00	㑋 0.00
		㑌 0.00	㑍 0.00	㑎 0.00	㑏 0.00	㑐 0.00
		㑑 0.00	㑒 0.00	㑓 0.00	㑔 0.00	㑕 0.00
		㑖 0.00	㑗 0.00	㑘 0.00	㑙 0.00	㑚 0.00
		㑛 0.00	㑜 0.00	㑝 0.00	㑞 0.00	㑟 0.00
		㑠 0.00	㑡 0.00	㑢 0.00	㑣 0.00	㑤 0.00
		㑥 0.00	㑦 0.00	㑧 0.00	㑨 0.00	㑩 0.00
		㑪 0.00	㑫 0.00	㑬 0.00	㑭 0.00	㑮 0.00
		㑯 0.00	㑰 0.00	㑱 0.00	㑲 0.00	㑳 0.00
		㑴 0.00	㑵 0.00	㑶 0.00	㑷 0.00	㑸 0.00
		㑹 0.00	㑺 0.00	㑻 0.00	㑼 0.00	㑽 0.00
		㑾 0.00	㑿 0.00	㒀 0.00	㒁 0.00	㒂 0.00
		㒃 0.00	㒄 0.00	㒅 0.00	㒆 0.00	㒇 0.00
		㒈 0.00	㒉 0.00	㒊 0.00	㒋 0.00	㒌 0.00
		㒍 0.00	㒎 0.00	㒏 0.00	㒐 0.00	㒑 0.00
		㒒 0.00	㒓 0.00	㒔 0.00	㒕 0.00	㒖 0.00
		㒗 0.00	㒘 0.00	㒙 0.00	㒚 0.00	㒛 0.00
		㒜 0.00	㒝 0.00	㒞 0.00	㒟 0.00	㒠 0.00
		㒡 0.00	㒢 0.00	㒣 0.00	㒤 0.00	㒥 0.00
		㒦 0.00	㒧 0.00	㒨 0.00	㒩 0.00	㒪 0.00
		㒫 0.00	㒬 0.00	㒭 0.00	㒮 0.00	㒯 0.00
		㒰 0.00	㒱 0.00	㒲 0.00	㒳 0.00	㒴 0.00
		㒵 0.00	㒶 0.00	㒷 0.00	㒸 0.00	㒹 0.00
		㒺 0.00	㒻 0.00	㒼 0.00	㒽 0.00	㒾 0.00
		㒿 0.00	㓀 0.00	㓁 0.00	㓂 0.00	㓃 0.00
		㓄 0.00	㓅 0.00	㓆 0.00	㓇 0.00	㓈 0.00
		㓉 0.00	㓊 0.00	㓋 0.00	㓌 0.00	㓍 0.00
		㓎 0.00	㓏 0.00	㓐 0.00	㓑 0.00	㓒 0.00
		㓓 0.00	㓔 0.00	㓕 0.00	㓖 0.00	㓗 0.00
		㓘 0.00	㓙 0.00	㓚 0.00	㓛 0.00	㓜 0.00
		㓝 0.00	㓞 0.00	㓟 0.00	㓠 0.00	㓡 0.00
		㓢 0.00	㓣 0.00	㓤 0.00	㓥 0.00	㓦 0.00
		㓧 0.00	㓨 0.00	㓩 0.00	㓪 0.00	㓫 0.00
		㓬 0.00	㓭 0.00	㓮 0.00	㓯 0.00	㓰 0.00
		㓱 0.00	㓲 0.00	㓳 0.00	㓴 0.00	㓵 0.00
		㓶 0.00	㓷 0.00	㓸 0.00	㓹 0.00	㓺 0.00
		㓻 0.00	㓼 0.00	㓽 0.00	㓾 0.00	㓿 0.00
		㔀 0.00	㔁 0.00	㔂 0.00	㔃 0.00	㔄 0.00
		㔅 0.00	㔆 0.00	㔇 0.00	㔈 0.00	㔉 0.00
		㔊 0.00	㔋 0.00	㔌 0.00	㔍 0.00	㔎 0.00
		㔏 0.00	㔐 0.00	㔑 0.00	㔒 0.00	㔓 0.00
		㔔 0.00	㔕 0.00	㔖 0.00	㔗 0.00	㔘 0.00
		㔙 0.00	㔚 0.00	㔛 0.00	㔜 0.00	㔝 0.00
		㔞 0.00	㔟 0.00	㔠 0.00	㔡 0.00	㔢 0.00
		㔣 0.00	㔤 0.00	㔥 0.00	㔦 0.00	㔧 0.00
		㔨 0.00	㔩 0.00	㔪 0.00	㔫 0.00	㔬 0.00
		㔭 0.00	㔮 0.00	㔯 0.00	㔰 0.00	㔱 0.00
		㔲 0.00	㔳 0.00	㔴 0.00	㔵 0.00	㔶 0.00
		㔷 0.00	㔸 0.00	㔹 0.00	㔺 0.00	㔻 0.00
		㔼 0.00	㔽 0.00	㔾 0.00	㔿 0.00	㕀 0.00
		㕁 0.00	㕂 0.00	㕃 0.00	㕄 0.00	㕅 0.00
		㕆 0.00	㕇 0.00	㕈 0.00	㕉 0.00	㕊 0.00
		㕋 0.00	㕌 0.00	㕍 0.00	㕎 0.00	㕏 0.00
		㕐 0.00	㕑 0.00	㕒 0.00	㕓 0.00	㕔 0.00
		㕕 0.00	㕖 0.00	㕗 0.00	㕘 0.00	㕙 0.00
		㕚 0.00	㕛 0.00	㕜 0.00	㕝 0.00	㕞 0.00
		㕟 0.00	㕠 0.00	㕡 0.00	㕢 0.00	㕣 0.00
		㕤 0.00	㕥 0.00	㕦 0.00	㕧 0.00	㕨 0.00
		㕩 0.00	㕪 0.00	㕫 0.00	㕬 0.00	㕭 0.00
		㕮 0.00	㕯 0.00	㕰 0.00	㕱 0.00	㕲 0.00
		㕳 0.00	㕴 0.00	㕵 0.00	㕶 0.00	㕷 0.00
		㕸 0.00	㕹 0.00	㕺 0.00	㕻 0.00	㕼 0.00
		㕽 0.00	㕾 0.00	㕿 0.00	㖀 0.00	㖁 0.00
		㖂 0.00	㖃 0.00	㖄 0.00	㖅 0.00	㖆 0.00
		㖇 0.00	㖈 0.00	㖉 0.00	㖊 0.00	㖋 0.00
		㖌 0.00	㖍 0.00	㖎 0.00	㖏 0.00	㖐 0.00
		㖑 0.00</				

(第2面)



(産業廃棄物の種類紙くず)

(単位: トン)

計画の実施状況

有償物量

不要物等発生量

排出量

①	0.60

自ら直接利用した量

②	0.00

自ら直接埋め立て処分
又は海洋投入処分した量

③	0.00

自ら中間処理した量

④	0.00

④のうち熱回収を行った量

⑤	0.00

自ら中間処理した
後の残さ量

⑥	0.00

自ら中間処理により
減量した量

⑦	0.00

自ら中間処理した後
再生利用した量

⑧	0.00

自ら中間処理した後
自ら埋立処分
又は海洋投入処分した量

⑨	0.00

直接及び自ら中間処理
した後の処理委託量

⑩	0.60

⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量

(11)	0.60

⑩のうち再生利用業者
への処理委託量

⑫	0.60

⑩のうち熱回収認定業者
への処理委託量

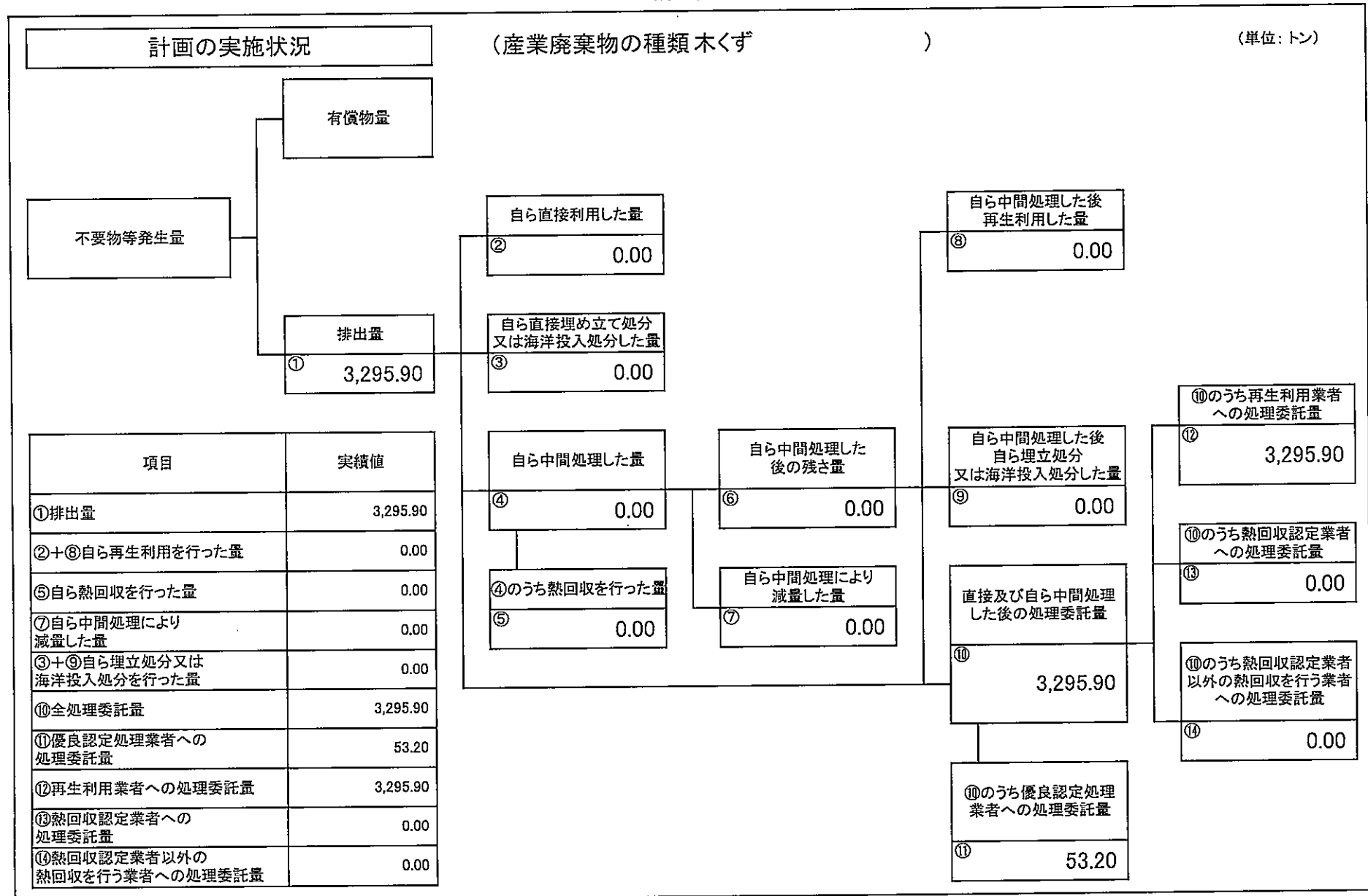
⑬	0.00

⑩のうち熱回収認定業者
以外の熱回収を行う業者
への処理委託量

⑭	0.00

項目	実績値
①排出量	0.60
②+⑧自ら再生利用を行った量	0.00
⑤自ら熱回収を行った量	0.00
⑦自ら中間処理により減量した量	0.00
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.00
⑩全処理委託量	0.60
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.60
⑫再生利用業者への処理委託量	0.60
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.00
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00

(第2面)



(第2面)

(産業廃棄物の種類 金属くず)

(単位: トン)

計画の実施状況

不要物等発生量

有償物量

排出量

① 4.52

② 0.00

③ 0.00

④ 0.00

⑤ 0.00

⑥ 0.00

⑦ 0.00

⑧ 0.00

⑨ 0.00

⑩ 4.52

⑪ 4.52

⑩のうち再生利用業者への処理委託量

⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量

⑩のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量

⑩のうち再生利用業者への処理委託量

⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量

⑩のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量

⑩のうち再生利用業者への処理委託量

⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量

⑩のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量

項目	実績値
①排出量	4.52
②+⑧自ら再生利用を行った量	0.00
⑤自ら熱回収を行った量	0.00
⑦自ら中間処理により減量した量	0.00
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.00
⑩全処理委託量	4.52
⑪優良認定処理業者への処理委託量	4.52
⑬再生利用業者への処理委託量	4.52
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.00
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00

(第2面)

(産業廃棄物の種類 ガラス陶磁器等くず)

(単位: トン)

計画の実施状況

不要物等発生量

有償物量

排出量
① 27.00

自ら直接利用した量
② 0.00

自ら直接埋め立て処分
又は海洋投入処分した量
③ 0.00

自ら中間処理した量
④ 0.00

④のうち熱回収を行った量
⑤ 0.00

自ら中間処理した後の残さ量
⑥ 0.00

自ら中間処理により
減量した量
⑦ 0.00

自ら中間処理した後
再生利用した量
⑧ 0.00

自ら中間処理した後
自ら埋立処分
又は海洋投入処分した量
⑨ 0.00

直接及び自ら中間処理
した後の処理委託量
⑩ 27.00

⑩のうち優良認定処理
業者への処理委託量
⑪ 27.00

⑩のうち再生利用業者
への処理委託量
⑫ 27.00

⑩のうち熱回収認定業者
への処理委託量
⑬ 0.00

⑩のうち熱回収認定業者
以外の熱回収を行う業者
への処理委託量
⑭ 0.00

項目	実績値
①排出量	27.00
②+⑧自ら再生利用を行った量	0.00
⑤自ら熱回収を行った量	0.00
⑦自ら中間処理により 減量した量	0.00
③+⑨自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った量	0.00
⑩全処理委託量	27.00
⑪優良認定処理業者への 処理委託量	27.00
⑫再生利用業者への処理委託量	27.00
⑬熱回収認定業者への 処理委託量	0.00
⑭熱回収認定業者以外の 熱回収を行う業者への処理委託量	0.00

(産業廃棄物の種類 廃石膏ボード)

(単位: トン)

計画の実施状況

不要物等発生量

有償物量

排出量
① 0.45

自ら直接利用した量
② 0.00

自ら直接埋め立て処分
又は海洋投入処分した量
③ 0.00

自ら中間処理した量
④ 0.00

④のうち熱回収を行った量
⑤ 0.00

自ら中間処理した
後の残さ量
⑥ 0.00

自ら中間処理により
減量した量
⑦ 0.00

自ら中間処理した後
再生利用した量
⑧ 0.00

自ら中間処理した後
自ら埋立処分
又は海洋投入処分した量
⑨ 0.00

直接及び自ら中間処理
した後の処理委託量
⑩ 0.45

⑩のうち優良認定処理
業者への処理委託量
⑪ 0.45

⑩のうち再生利用業者
への処理委託量
⑫ 0.45

⑩のうち熱回収認定業者
への処理委託量
⑬ 0.00

⑩のうち熱回収認定業者
以外の熱回収を行う業者
への処理委託量
⑭ 0.00

項目	実績値
①排出量	0.45
②+⑧自ら再生利用を行った量	0.00
⑤自ら熱回収を行った量	0.00
⑦自ら中間処理により 減量した量	0.00
③+⑨自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った量	0.00
⑩全処理委託量	0.45
⑪優良認定処理業者への 処理委託量	0.45
⑫再生利用業者への処理委託量	0.45
⑬熱回収認定業者への 処理委託量	0.00
⑭熱回収認定業者以外の 熱回収を行う業者への処理委託量	0.00

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類コンクリート片)

(単位: トン)

有償物量

不要物等発生量

排出量

①	1,189.07

自ら直接利用した量

②	0.00

自ら直接埋め立て処分
又は海洋投入処分した量

③	0.00

自ら中間処理した量

④	0.00

④のうち熱回収を行った量

⑤	0.00

自ら中間処理した
後の残さ量

⑥	0.00

自ら中間処理により
減量した量

⑦	0.00

自ら中間処理した後
再生利用した量

⑧	0.00

自ら中間処理した後
自ら埋立処分
又は海洋投入処分した量

⑨	0.00

直接及び自ら中間処理
した後の処理委託量

10

1,189.07

⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量

14

⑪	11.86

⑩のうち再生利用業者
への処理委託量

⑫	1,189.07

⑩のうち熱回収認定業者
への処理委託量

(13)	0.00

⑩のうち熱回収認定業者
以外の熱回収を行う業者
への処理委託量

14	0.00

0.00

項目	実績値
①排出量	1,189.07
②+⑧自ら再生利用を行った量	0.00
⑤自ら熱回収を行った量	0.00
⑦自ら中間処理により減量した量	0.00
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.00
⑩全処理委託量	1,189.07
⑪優良認定処理業者への処理委託量	11.86
⑫再生利用業者への処理委託量	1,189.07
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.00
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00

計画の実施状況		(産業廃棄物の種類 アス・コン片)				(単位: トン)																									
不要物等発生量 有償物量		自ら直接利用した量 ② 0.00		自ら中間処理した後 再生利用した量 ⑧ 0.00																											
		排出量 ① 865.68		自ら直接埋め立て処分 又は海洋投入処分した量 ③ 0.00																											
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 20%;">項目</th> <th style="width: 20%;">実績値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①排出量</td> <td style="text-align: right;">865.68</td> </tr> <tr> <td>②+⑧自ら再生利用を行った量</td> <td style="text-align: right;">0.00</td> </tr> <tr> <td>⑤自ら熱回収を行った量</td> <td style="text-align: right;">0.00</td> </tr> <tr> <td>⑦自ら中間処理により減量した量</td> <td style="text-align: right;">0.00</td> </tr> <tr> <td>③+⑥自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量</td> <td style="text-align: right;">0.00</td> </tr> <tr> <td>⑩全処理委託量</td> <td style="text-align: right;">865.68</td> </tr> <tr> <td>⑪優良認定処理業者への処理委託量</td> <td style="text-align: right;">16.92</td> </tr> <tr> <td>⑫再生利用業者への処理委託量</td> <td style="text-align: right;">865.68</td> </tr> <tr> <td>⑬熱回収認定業者への処理委託量</td> <td style="text-align: right;">0.00</td> </tr> <tr> <td>⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量</td> <td style="text-align: right;">0.00</td> </tr> </tbody> </table>		項目	実績値	①排出量	865.68	②+⑧自ら再生利用を行った量	0.00	⑤自ら熱回収を行った量	0.00	⑦自ら中間処理により減量した量	0.00	③+⑥自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.00	⑩全処理委託量	865.68	⑪優良認定処理業者への処理委託量	16.92	⑫再生利用業者への処理委託量	865.68	⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.00	⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00	自ら中間処理した量 ④ 0.00		自ら中間処理した後の残さ量 ⑥ 0.00		自ら中間処理した後 自ら埋立処分 又は海洋投入処分した量 ⑨ 0.00		⑩のうち再生利用業者への処理委託量 ⑫ 865.68	
		項目	実績値																												
		①排出量	865.68																												
		②+⑧自ら再生利用を行った量	0.00																												
		⑤自ら熱回収を行った量	0.00																												
		⑦自ら中間処理により減量した量	0.00																												
		③+⑥自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.00																												
⑩全処理委託量	865.68																														
⑪優良認定処理業者への処理委託量	16.92																														
⑫再生利用業者への処理委託量	865.68																														
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.00																														
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00																														
④のうち熱回収を行った量 ⑤ 0.00		自ら中間処理により減量した量 ⑦ 0.00		直接及び自ら中間処理した後の処理委託量 ⑩ 865.68		⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量 ⑬ 0.00																									
⑩のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量 ⑭ 0.00		⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量 ⑪ 16.92																													

(第2面)

計画の実施状況		(産業廃棄物の種類その他がれき類)		(単位: トン)	
有償物量					
不要物等発生量					
排出量		自ら直接利用した量		自ら中間処理した後 再生利用した量	
① 1,571.16		② 0.00		⑧ 0.00	
		自ら直接埋め立て処分 又は海洋投入処分した量			
		③ 0.00			
		自ら中間処理した量		自ら中間処理した後 自ら埋立処分 又は海洋投入処分した量	
		④ 0.00		⑥ 0.00	
		④のうち熱回収を行った量		⑦ 0.00	
		⑤ 0.00		⑨ 0.00	
		自ら中間処理により 減量した量		直接及び自ら中間処理 した後の処理委託量	
		⑦ 0.00		⑩ 1,571.16	
				⑩のうち再生利用業者 への処理委託量	
				⑫ 1,571.16	
				⑩のうち熱回収認定業者 への処理委託量	
				⑬ 0.00	
				⑩のうち熱回収認定業者 以外の熱回収を行う業者 への処理委託量	
				⑭ 0.00	
				⑩のうち優良認定処理 業者への処理委託量	
				⑪ 2.96	

項目	実績値
①排出量	1,571.16
②+⑧自ら再生利用を行った量	0.00
⑤自ら熱回収を行った量	0.00
⑦自ら中間処理により 減量した量	0.00
③+⑨自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った量	0.00
⑩全処理委託量	1,571.16
⑪優良認定処理業者への 処理委託量	2.96
⑫再生利用業者への処理委託量	1,571.16
⑬熱回収認定業者への 処理委託量	0.00
⑭熱回収認定業者以外の 熱回収を行う業者への処理委託量	0.00

(第2面)

計画の実施状況		(産業廃棄物の種類 建設混合廃棄物(管理型))				(単位: トン)	
有償物量							
不要物等発生量							
排出量		① 117.73					
		自ら直接利用した量		自ら中間処理した後 再生利用した量			
		② 0.00		⑧ 0.00			
		自ら直接埋め立て処分 又は海洋投入処分した量					
		③ 0.00					
		自ら中間処理した量		自ら中間処理した後の残さ量		自ら中間処理した後 自ら埋立処分 又は海洋投入処分した量	
		④ 0.00		⑥ 0.00		⑨ 0.00	
		④のうち熱回収を行った量		自ら中間処理により 減量した量		直接及び自ら中間処理 した後の処理委託量	
		⑤ 0.00		⑦ 0.00		⑩ 117.73	
						⑩のうち再生利用業者 への処理委託量	
						⑫ 117.73	
						⑩のうち熱回収認定業者 への処理委託量	
						⑬ 0.00	
						⑩のうち熱回収認定業者 以外の熱回収を行う業者 への処理委託量	
						⑭ 0.00	
						⑩のうち優良認定処理 業者への処理委託量	
						⑪ 115.13	

項目	実績値
①排出量	117.73
②+⑧自ら再生利用を行った量	0.00
⑤自ら熱回収を行った量	0.00
⑦自ら中間処理により 減量した量	0.00
③+⑨自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った量	0.00
⑩全処理委託量	117.73
⑪優良認定処理業者への 処理委託量	115.13
⑫再生利用業者への処理委託量	117.73
⑬熱回収認定業者への 処理委託量	0.00
⑭熱回収認定業者以外の 熱回収を行う業者への処理委託量	0.00

(第2面)

(産業廃棄物の種類 石綿含有産業廃棄物)

(単位: トン)

計画の実施状況

不要物等発生量

有償物量

排出量

① 7.40

自ら直接利用した量

② 0.00

自ら直接埋め立て処分
又は海洋投入処分した量

③ 0.00

自ら中間処理した量

④ 0.00

④のうち熱回収を行った量

⑤ 0.00

自ら中間処理した後の残さ量

⑥ 0.00

自ら中間処理により
減量した量

⑦ 0.00

自ら中間処理した後
再生利用した量

⑧ 0.00

自ら中間処理した後
自ら埋立処分
又は海洋投入処分した量

⑨ 0.00

直接及び自ら中間処理
した後の処理委託量

⑩ 7.40

⑩のうち優良認定処理
業者への処理委託量

⑪ 7.40

⑩のうち再生利用業者
への処理委託量

⑫ 0.00

⑩のうち熱回収認定業者
への処理委託量

⑬ 0.00

⑩のうち熱回収認定業者
以外の熱回収を行う業者
への処理委託量

⑭ 0.00

項目	実績値
①排出量	7.40
②+⑧自ら再生利用を行った量	0.00
⑤自ら熱回収を行った量	0.00
⑦自ら中間処理により 減量した量	0.00
③+⑨自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った量	0.00
⑩全処理委託量	7.40
⑪優良認定処理業者への 処理委託量	7.40
⑫再生利用業者への処理委託量	0.00
⑬熱回収認定業者への 処理委託量	0.00
⑭熱回収認定業者以外の 熱回収を行う業者への処理委託量	0.00

備考

- 1 翌年度の6月30日までに提出すること。
- 2 「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
- 3 「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。
- 4 第2面には、前年度の産業廃棄物の処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。
 - (1) ①欄 当該事業場において生じた産業廃棄物の量
 - (2) ②欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量
 - (3) ③欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
 - (4) ④欄 (1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量
 - (5) ⑤欄 (4)の量のうち、熱回収を行った量
 - (6) ⑥欄 自ら中間処理をした後の量
 - (7) ⑦欄 (4)の量から(6)の量を差し引いた量
 - (8) ⑧欄 (6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量
 - (9) ⑨欄 (6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量
 - (10) ⑩欄 中間処理及び最終処分を委託した量
 - (11) ⑪欄 (10)の量のうち、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量
 - (12) ⑫欄 (10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量
 - (13) ⑬欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量
 - (14) ⑭欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量
- 5 第2面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。
- 6 産業廃棄物の種類が2以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

（第1面）

産業廃棄物処理計画書	
令和7年5月28日	
千葉県知事 殿	
提出者	
住 所 千葉県船橋市宮本4-17-3	
氏 名 京成建設株式会社 建築本部	
建築本部長 浅田 哲	
（法人にあつては、名称及び代表者の氏名）	
電話番号 047-435-6331	
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。	
事業場の名称	京成建設株式会社 建築本部 千葉県管轄工事
事業場の所在地	千葉県管轄区域内
計画期間	令和7年4月1日～令和8年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	総合工事業
②事業の規模	前年度の元請完成工事高 180億円
③従業員数	150人
④産業廃棄物の一連の処理の工程	別添1 処理工程図のとおり

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

別添 2 管理体制図のとおり

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別添 3 別紙集計表のとおり	—
	排 出 量	t	t
	(これまでに実施した取組) ■環境目標より現状を把握し、建設廃棄物の発生抑制に努める		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別添 3 別紙集計表のとおり	—
	排 出 量	t	t
	(今後実施する予定の取組) ■環境目標より建設廃棄物の発生状況を確認し、計画の見直しを行う		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ■産業廃棄物の種類 燃え殻、建設汚泥、廃油、廃プラスチック、紙くず、段ボール、金属くず、ガラス・コンクリートくず・陶磁器くず、石膏ボード、繊維くず、コンクリートがら、アスコンがら、がれき類、安定型混合廃棄物、管理型混合廃棄物、石綿含有廃棄物、廃石綿等 ■分別に関する取組 ・新築工事、解体工事での分別収集による副産物の再資源化と再資源化材の積極的採用 ・分別率アップによる混合廃棄物の抑制と最終処分場への埋立処理の削減 ・中間処理施設での分別、再資源化率アップへ向けて能力のある処理施設の採用 ・令和6年度新築工事分別率82.3%、解体工事分別率95.5%、全工事分別率88.8%を達成
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ■産業廃棄物の種類 現状に同じ ■分別に関する取組 現状に同じ

(第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら再生利用を行った 産 業 廃 棄 物 の 量	— t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら再生利用を行う 産 業 廃 棄 物 の 量	— t	t
	(今後実施する予定の取組)		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら熱回収を行った 産 業 廃 棄 物 の 量	— t	t
	自ら中間処理により減量した 産 業 廃 棄 物 の 量	— t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量	— t	— t
	自ら中間処理により減量する 産 業 廃 棄 物 の 量	— t	— t
	(今後実施する予定の取組)		

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	— t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	— t	t
	(今後実施する予定の取組)		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別添 3 別紙集計表のとおり	
	全 処 理 委 託 量	t	t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	t	t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
	■廃棄物処理委託業者の評価を行い、法規制遵守・社会ニーズ・再資源化率の高い業者へ処理を委託		

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別添3 別紙集計表のとおり	
	全 処 理 委 託 量	t	t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	t	t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	t	t
	(今後実施する予定の取組) ■現状に同じ		
※事務処理欄			

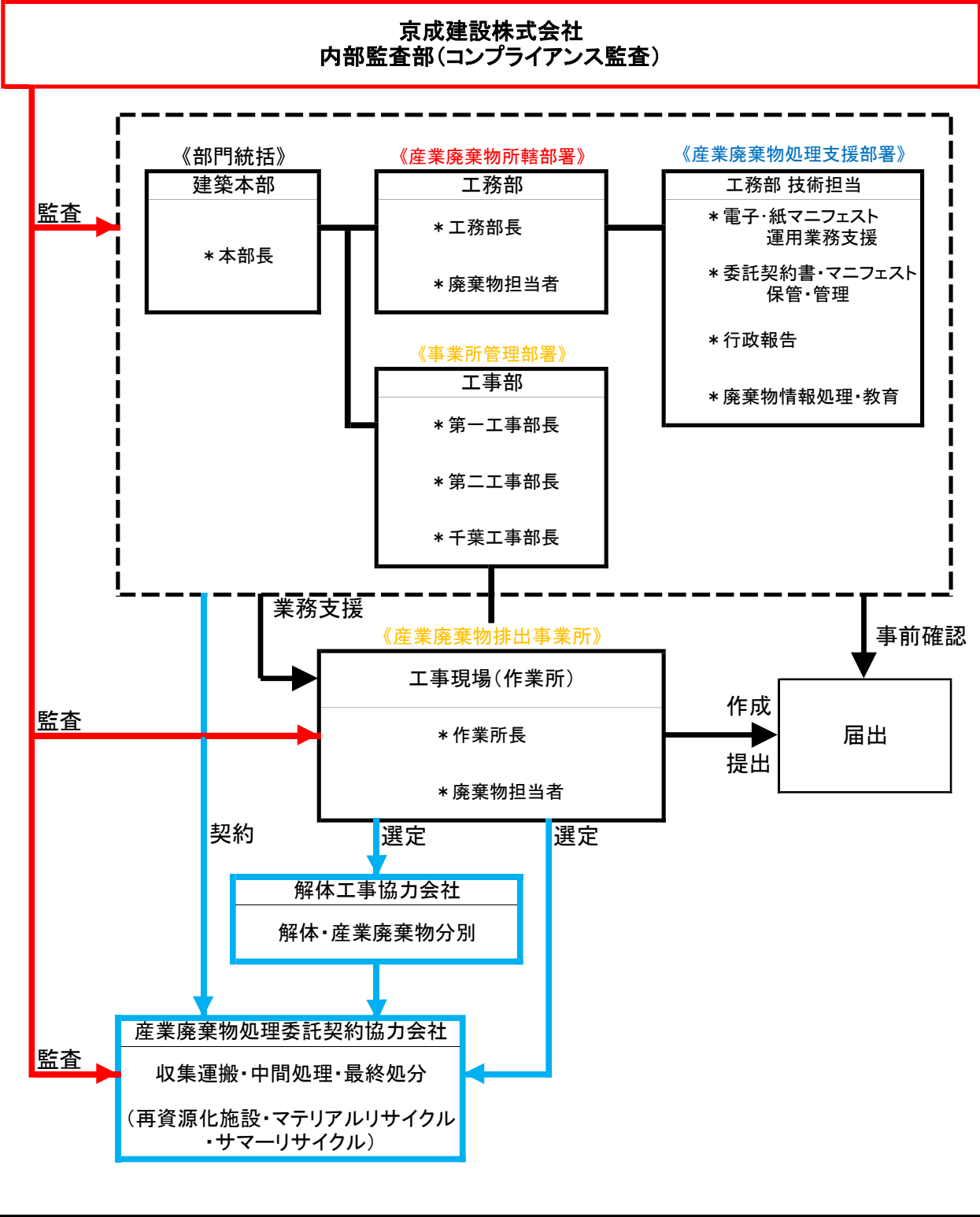
備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額(前年度実績)、建設業の場合における元請完成工事高(前年度実績)、医療機関の場合における病床数(前年度末時点)等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程(当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。)を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者)への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者)である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

産業廃棄物の一連の処理工程



(管理体制図)
京成建設(株)建築本部産業廃棄物管理体制



計畫書 別添3 別紙集計表

[illegible]

計畫書 別添3 別紙集計表

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

[illegible]

（第1面）

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

令和7年5月28日

千葉県知事 殿

提出者

住 所 千葉県船橋市宮本4-17-3

氏 名 京成建設株式会社 建築本部

建築本部長 浅田 哲

（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）

電話番号 047-435-6331

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、令和6年度の産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

事業場の名称	京成建設株式会社 建築本部 千葉県管轄工事		
事業場の所在地	千葉県管轄区域内		
事業の種類	総合工事業		
産業廃棄物処理計画における計画期間	令和6年4月1日～令和7年3月31日		
産業廃棄物処理計画における目標値			
項目	目標値	項目	目標値
排出量	5,482.17 t	全処理委託量	5,482.17 t
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0.00 t	優良認定処理業者への処理委託量	2,187.58 t
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0.00 t	再生利用業者への処理委託量	4,834.08 t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0.00 t	認定熱回収業者への処理委託量	0.00 t
自ら埋立処分又は海洋投棄処分を行う産業廃棄物の量	0.00 t	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00 t
※事務処理欄			

（日本産業規格 A列4番）

(第2面)

計画の実施状況		(産業廃棄物の種類 汚泥)				(単位: トン)			
有償物量 不要物等発生量 排出量		自ら直接利用した量 ② 0.00 自ら直接埋め立て処分又は海洋投入処分した量 ③ 0.00 自ら中間処理した量 ④ 0.00 ④のうち熱回収を行った量 ⑤ 0.00 自ら中間処理した後の残さ量 ⑥ 0.00 自ら中間処理により減量した量 ⑦ 0.00 自ら中間処理した後再生利用した量 ⑧ 0.00 自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量 ⑨ 0.00 直接及び自ら中間処理した後の処理委託量 ⑩ 1,591.48 ⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量 ⑪ 0.00				⑩のうち再生利用業者への処理委託量 ⑫ 1,591.48 ⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量 ⑬ 0.00 ⑩のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量 ⑭ 0.00			
項目	実績値								
①排出量	1,591.48								
②+⑧自ら再生利用を行った量	0.00								
⑤自ら熱回収を行った量	0.00								
⑦自ら中間処理により減量した量	0.00								
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.00								
⑩全処理委託量	1,591.48								
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.00								
⑫再生利用業者への処理委託量	1,591.48								
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.00								
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00								

(第2面)

計画の実施状況		(産業廃棄物の種類 廃プラスチック類)				(単位: トン)																				
不要物等発生量	有償物量	自ら直接利用した量		自ら中間処理した後 再生利用した量																						
	排出量	② 0.00		⑧ 0.00																						
	① 321.56	自ら直接埋め立て処分 又は海洋投入処分した量																								
		③ 0.00																								
<table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>実績値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①排出量</td> <td>321.56</td> </tr> <tr> <td>②+⑧自ら再生利用を行った量</td> <td>0.00</td> </tr> <tr> <td>⑤自ら熱回収を行った量</td> <td>0.00</td> </tr> <tr> <td>⑦自ら中間処理により 減量した量</td> <td>0.00</td> </tr> <tr> <td>③+⑨自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った量</td> <td>0.00</td> </tr> <tr> <td>⑩全処理委託量</td> <td>321.56</td> </tr> <tr> <td>⑪優良認定処理業者への 処理委託量</td> <td>314.38</td> </tr> <tr> <td>⑫再生利用業者への処理委託量</td> <td>321.56</td> </tr> <tr> <td>⑬熱回収認定業者への 処理委託量</td> <td>0.00</td> </tr> <tr> <td>⑭熱回収認定業者以外の 熱回収を行う業者への処理委託量</td> <td>0.00</td> </tr> </tbody> </table>	項目	実績値	①排出量	321.56	②+⑧自ら再生利用を行った量	0.00	⑤自ら熱回収を行った量	0.00	⑦自ら中間処理により 減量した量	0.00	③+⑨自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った量	0.00	⑩全処理委託量	321.56	⑪優良認定処理業者への 処理委託量	314.38	⑫再生利用業者への処理委託量	321.56	⑬熱回収認定業者への 処理委託量	0.00	⑭熱回収認定業者以外の 熱回収を行う業者への処理委託量	0.00	自ら中間処理した量	自ら中間処理した 後の残さ量	自ら中間処理した後 自ら埋立処分 又は海洋投入処分した量	⑩のうち再生利用業者 への処理委託量
	項目	実績値																								
	①排出量	321.56																								
	②+⑧自ら再生利用を行った量	0.00																								
	⑤自ら熱回収を行った量	0.00																								
	⑦自ら中間処理により 減量した量	0.00																								
	③+⑨自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った量	0.00																								
	⑩全処理委託量	321.56																								
⑪優良認定処理業者への 処理委託量	314.38																									
⑫再生利用業者への処理委託量	321.56																									
⑬熱回収認定業者への 処理委託量	0.00																									
⑭熱回収認定業者以外の 熱回収を行う業者への処理委託量	0.00																									
④ 0.00	⑥ 0.00	⑨ 0.00	⑫ 321.56																							
④のうち熱回収を行った量	自ら中間処理により 減量した量		⑩のうち熱回収認定業者 への処理委託量																							
⑤ 0.00	⑦ 0.00		⑬ 0.00																							
		直接及び自ら中間処理 した後の処理委託量	⑩のうち熱回収認定業者 以外の熱回収を行う業者 への処理委託量																							
		⑩ 321.56	⑭ 0.00																							
		⑩のうち優良認定処理 業者への処理委託量																								
		⑪ 314.38																								

(第2面)

計画の実施状況		(産業廃棄物の種類 紙くず)				(単位: トン)																												
不要物等発生量	有償物量	自ら直接利用した量	②	0.00	自ら中間処理した後 再生利用した量	⑧	0.00	⑩のうち再生利用業者 への処理委託量	⑩のうち再生利用業者 への処理委託量	⑫	23.40																							
	排出量	①	23.40	自ら直接埋め立て処分 又は海洋投入処分した量	③	0.00	自ら中間処理した後 自ら埋立処分 又は海洋投入処分した量		⑨	0.00	⑩のうち熱回収認定業者 への処理委託量	⑬	0.00																					
<table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>実績値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①排出量</td> <td>23.40</td> </tr> <tr> <td>②+⑧自ら再生利用を行った量</td> <td>0.00</td> </tr> <tr> <td>⑤自ら熱回収を行った量</td> <td>0.00</td> </tr> <tr> <td>⑦自ら中間処理により 減量した量</td> <td>0.00</td> </tr> <tr> <td>③+⑨自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った量</td> <td>0.00</td> </tr> <tr> <td>⑩全処理委託量</td> <td>23.40</td> </tr> <tr> <td>⑪優良認定処理業者への 処理委託量</td> <td>19.95</td> </tr> <tr> <td>⑫再生利用業者への処理委託量</td> <td>23.40</td> </tr> <tr> <td>⑬熱回収認定業者への 処理委託量</td> <td>0.00</td> </tr> <tr> <td>⑭熱回収認定業者以外の 熱回収を行う業者への処理委託量</td> <td>0.00</td> </tr> </tbody> </table>	項目	実績値	①排出量	23.40	②+⑧自ら再生利用を行った量	0.00	⑤自ら熱回収を行った量	0.00	⑦自ら中間処理により 減量した量	0.00	③+⑨自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った量	0.00	⑩全処理委託量	23.40	⑪優良認定処理業者への 処理委託量	19.95	⑫再生利用業者への処理委託量	23.40	⑬熱回収認定業者への 処理委託量	0.00	⑭熱回収認定業者以外の 熱回収を行う業者への処理委託量	0.00	自ら中間処理した量	④	0.00	自ら中間処理した 後の残さ量	⑥	0.00	直接及び自ら中間処理 した後の処理委託量	⑩	23.40	⑩のうち熱回収認定業者 以外の熱回収を行う業者 への処理委託量	⑭	0.00
	項目	実績値																																
	①排出量	23.40																																
	②+⑧自ら再生利用を行った量	0.00																																
	⑤自ら熱回収を行った量	0.00																																
	⑦自ら中間処理により 減量した量	0.00																																
③+⑨自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った量	0.00																																	
⑩全処理委託量	23.40																																	
⑪優良認定処理業者への 処理委託量	19.95																																	
⑫再生利用業者への処理委託量	23.40																																	
⑬熱回収認定業者への 処理委託量	0.00																																	
⑭熱回収認定業者以外の 熱回収を行う業者への処理委託量	0.00																																	
	④のうち熱回収を行った量	⑤	0.00	自ら中間処理により 減量した量	⑦	0.00	⑩のうち優良認定処理 業者への処理委託量	⑪	19.95																									

(第2面)

計画の実施状況		(産業廃棄物の種類 木くず)				(単位: トン)																												
不要物等発生量	有償物量	自ら直接利用した量	②	0.00	自ら中間処理した後 再生利用した量	⑧	0.00	⑩のうち再生利用業者 への処理委託量	⑩のうち再生利用業者 への処理委託量	⑫	1,685.78																							
	排出量	①	1,685.78	自ら直接埋め立て処分 又は海洋投入処分した量	③	0.00	自ら中間処理した後 自ら埋立処分 又は海洋投入処分した量		⑨	0.00	⑩のうち熱回収認定業者 への処理委託量	⑬	0.00																					
<table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>実績値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①排出量</td> <td>1,685.78</td> </tr> <tr> <td>②+⑧自ら再生利用を行った量</td> <td>0.00</td> </tr> <tr> <td>⑤自ら熱回収を行った量</td> <td>0.00</td> </tr> <tr> <td>⑦自ら中間処理により 減量した量</td> <td>0.00</td> </tr> <tr> <td>③+⑨自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った量</td> <td>0.00</td> </tr> <tr> <td>⑩全処理委託量</td> <td>1,685.78</td> </tr> <tr> <td>⑪優良認定処理業者への 処理委託量</td> <td>1,034.52</td> </tr> <tr> <td>⑫再生利用業者への処理委託量</td> <td>1,685.78</td> </tr> <tr> <td>⑬熱回収認定業者への 処理委託量</td> <td>0.00</td> </tr> <tr> <td>⑭熱回収認定業者以外の 熱回収を行う業者への処理委託量</td> <td>0.00</td> </tr> </tbody> </table>	項目	実績値	①排出量	1,685.78	②+⑧自ら再生利用を行った量	0.00	⑤自ら熱回収を行った量	0.00	⑦自ら中間処理により 減量した量	0.00	③+⑨自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った量	0.00	⑩全処理委託量	1,685.78	⑪優良認定処理業者への 処理委託量	1,034.52	⑫再生利用業者への処理委託量	1,685.78	⑬熱回収認定業者への 処理委託量	0.00	⑭熱回収認定業者以外の 熱回収を行う業者への処理委託量	0.00	自ら中間処理した量	④	0.00	自ら中間処理した 後の残さ量	⑥	0.00	直接及び自ら中間処理 した後の処理委託量	⑩	1,685.78	⑩のうち熱回収認定業者 以外の熱回収を行う業者 への処理委託量	⑭	0.00
	項目	実績値																																
	①排出量	1,685.78																																
	②+⑧自ら再生利用を行った量	0.00																																
	⑤自ら熱回収を行った量	0.00																																
	⑦自ら中間処理により 減量した量	0.00																																
③+⑨自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った量	0.00																																	
⑩全処理委託量	1,685.78																																	
⑪優良認定処理業者への 処理委託量	1,034.52																																	
⑫再生利用業者への処理委託量	1,685.78																																	
⑬熱回収認定業者への 処理委託量	0.00																																	
⑭熱回収認定業者以外の 熱回収を行う業者への処理委託量	0.00																																	
	④のうち熱回収を行った量	⑤	0.00	自ら中間処理により 減量した量	⑦	0.00	⑩のうち優良認定処理 業者への処理委託量	⑪	1,034.52																									

(第2面)

計画の実施状況		(産業廃棄物の種類 繊維くず)				(単位: トン)																												
不要物等発生量	有償物量	自ら直接利用した量	②	0.00	自ら中間処理した後 再生利用した量	⑧	0.00																											
	排出量	①	44.69	自ら直接埋め立て処分 又は海洋投入処分した量	③	0.00																												
<table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>実績値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①排出量</td> <td>44.69</td> </tr> <tr> <td>②+⑧自ら再生利用を行った量</td> <td>0.00</td> </tr> <tr> <td>⑤自ら熱回収を行った量</td> <td>0.00</td> </tr> <tr> <td>⑦自ら中間処理により 減量した量</td> <td>0.00</td> </tr> <tr> <td>③+⑨自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った量</td> <td>0.00</td> </tr> <tr> <td>⑩全処理委託量</td> <td>44.69</td> </tr> <tr> <td>⑪優良認定処理業者への 処理委託量</td> <td>44.69</td> </tr> <tr> <td>⑫再生利用業者への処理委託量</td> <td>44.69</td> </tr> <tr> <td>⑬熱回収認定業者への 処理委託量</td> <td>0.00</td> </tr> <tr> <td>⑭熱回収認定業者以外の 熱回収を行う業者への処理委託量</td> <td>0.00</td> </tr> </tbody> </table>	項目	実績値	①排出量	44.69	②+⑧自ら再生利用を行った量	0.00	⑤自ら熱回収を行った量	0.00	⑦自ら中間処理により 減量した量	0.00	③+⑨自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った量	0.00	⑩全処理委託量	44.69	⑪優良認定処理業者への 処理委託量	44.69	⑫再生利用業者への処理委託量	44.69	⑬熱回収認定業者への 処理委託量	0.00	⑭熱回収認定業者以外の 熱回収を行う業者への処理委託量	0.00	自ら中間処理した量	④	0.00	自ら中間処理した 後の残さ量	⑥	0.00	自ら中間処理した後 自ら埋立処分 又は海洋投入処分した量	⑨	0.00	⑩のうち再生利用業者 への処理委託量	⑫	44.69
	項目	実績値																																
	①排出量	44.69																																
	②+⑧自ら再生利用を行った量	0.00																																
	⑤自ら熱回収を行った量	0.00																																
	⑦自ら中間処理により 減量した量	0.00																																
	③+⑨自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った量	0.00																																
	⑩全処理委託量	44.69																																
⑪優良認定処理業者への 処理委託量	44.69																																	
⑫再生利用業者への処理委託量	44.69																																	
⑬熱回収認定業者への 処理委託量	0.00																																	
⑭熱回収認定業者以外の 熱回収を行う業者への処理委託量	0.00																																	
④のうち熱回収を行った量	⑤	0.00	自ら中間処理により 減量した量	⑦	0.00	直接及び自ら中間処理 した後の処理委託量	⑩	44.69	⑩のうち熱回収認定業者 への処理委託量	⑬	0.00																							
									⑩のうち熱回収認定業者 以外の熱回収を行う業者 への処理委託量	⑭	0.00																							
									⑩のうち優良認定処理 業者への処理委託量	⑪	44.69																							

(第2面)

計画の実施状況		(産業廃棄物の種類 金属くず)				(単位: トン)																				
不要物等発生量	有償物量	自ら直接利用した量		自ら中間処理した後 再生利用した量																						
	排出量	② 0.00		⑧ 0.00																						
	① 137.64	自ら直接埋め立て処分 又は海洋投入処分した量																								
		③ 0.00																								
<table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>実績値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①排出量</td> <td>137.64</td> </tr> <tr> <td>②+⑧自ら再生利用を行った量</td> <td>0.00</td> </tr> <tr> <td>⑤自ら熱回収を行った量</td> <td>0.00</td> </tr> <tr> <td>⑦自ら中間処理により減量した量</td> <td>0.00</td> </tr> <tr> <td>③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量</td> <td>0.00</td> </tr> <tr> <td>⑩全処理委託量</td> <td>137.64</td> </tr> <tr> <td>⑪優良認定処理業者への処理委託量</td> <td>130.86</td> </tr> <tr> <td>⑫再生利用業者への処理委託量</td> <td>137.64</td> </tr> <tr> <td>⑬熱回収認定業者への処理委託量</td> <td>0.00</td> </tr> <tr> <td>⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量</td> <td>0.00</td> </tr> </tbody> </table>	項目	実績値	①排出量	137.64	②+⑧自ら再生利用を行った量	0.00	⑤自ら熱回収を行った量	0.00	⑦自ら中間処理により減量した量	0.00	③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.00	⑩全処理委託量	137.64	⑪優良認定処理業者への処理委託量	130.86	⑫再生利用業者への処理委託量	137.64	⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.00	⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00	自ら中間処理した量	自ら中間処理した後の残さ量	自ら中間処理した後 自ら埋立処分 又は海洋投入処分した量	⑩のうち再生利用業者 への処理委託量
	項目	実績値																								
	①排出量	137.64																								
	②+⑧自ら再生利用を行った量	0.00																								
	⑤自ら熱回収を行った量	0.00																								
	⑦自ら中間処理により減量した量	0.00																								
	③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.00																								
	⑩全処理委託量	137.64																								
⑪優良認定処理業者への処理委託量	130.86																									
⑫再生利用業者への処理委託量	137.64																									
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.00																									
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00																									
④ 0.00	⑥ 0.00	⑨ 0.00	⑫ 137.64																							
④のうち熱回収を行った量	自ら中間処理により 減量した量		⑩のうち熱回収認定業者 への処理委託量																							
⑤ 0.00	⑦ 0.00		⑬ 0.00																							
		直接及び自ら中間処理 した後の処理委託量	⑩のうち熱回収認定業者 以外の熱回収を行う業者 への処理委託量																							
		⑩ 137.64	⑭ 0.00																							
		⑩のうち優良認定処理 業者への処理委託量																								
		⑪ 130.86																								

(第2面)

計画の実施状況		(産業廃棄物の種類 ガラス陶磁器等くず)				(単位: トン)	
不要物等発生量	有償物量						
	排出量						
		①	33.00				
		②	0.00				
		③	0.00				
		④	0.00	⑥	0.00	⑧	0.00
		⑤	0.00	⑦	0.00	⑨	0.00
		⑩	33.00				
		⑪	26.50				
		⑫	33.00				
		⑬	0.00				
		⑭	0.00				

項目	実績値
①排出量	33.00
②+⑧自ら再生利用を行った量	0.00
⑤自ら熱回収を行った量	0.00
⑦自ら中間処理により減量した量	0.00
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.00
⑩全処理委託量	33.00
⑪優良認定処理業者への処理委託量	26.50
⑫再生利用業者への処理委託量	33.00
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.00
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00

(第2面)

計画の実施状況		(産業廃棄物の種類 廃石膏ボード)				(単位: トン)
不要物等発生量	有償物量					
	排出量					
	① 37.98	自ら直接利用した量 ② 0.00				
		自ら直接埋め立て処分 又は海洋投入処分した量 ③ 0.00				
		自ら中間処理した量	自ら中間処理した 後の残さ量	自ら中間処理した後 自ら埋立処分 又は海洋投入処分した量		
		④ 0.00	⑥ 0.00	⑧ 0.00		
		④のうち熱回収を行った量 ⑤ 0.00	自ら中間処理により 減量した量 ⑦ 0.00			
					⑩のうち再生利用業者 への処理委託量 ⑫ 37.98	
					⑩のうち熱回収認定業者 への処理委託量 ⑬ 0.00	
					⑩のうち熱回収認定業者 以外の熱回収を行う業者 への処理委託量 ⑭ 0.00	
					直接及び自ら中間処理 した後の処理委託量 ⑩ 37.98	
					⑩のうち優良認定処理 業者への処理委託量 ⑪ 24.48	

項目	実績値
①排出量	37.98
②+⑧自ら再生利用を行った量	0.00
⑤自ら熱回収を行った量	0.00
⑦自ら中間処理により 減量した量	0.00
③+⑨自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った量	0.00
⑩全処理委託量	37.98
⑪優良認定処理業者への 処理委託量	24.48
⑫再生利用業者への処理委託量	37.98
⑬熱回収認定業者への 処理委託量	0.00
⑭熱回収認定業者以外の 熱回収を行う業者への処理委託量	0.00

(第2面)

計画の実施状況		(産業廃棄物の種類コンクリート片)				(単位: トン)																									
不要物等発生量	有償物量	自ら直接利用した量	②	0.00	自ら中間処理した後 再生利用した量	⑧	0.00	⑩のうち再生利用業者 への処理委託量	⑩のうち熱回収認定業者 への処理委託量	⑬	0.00																				
	排出量	①	968.86	自ら直接埋め立て処分 又は海洋投入処分した量	③	0.00	自ら中間処理した後 自ら埋立処分 又は海洋投入処分した量		⑨	0.00	⑩のうち熱回収認定業者 以外の熱回収を行う業者 への処理委託量	⑭	0.00																		
<table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>実績値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①排出量</td> <td>968.86</td> </tr> <tr> <td>②+⑧自ら再生利用を行った量</td> <td>0.00</td> </tr> <tr> <td>⑤自ら熱回収を行った量</td> <td>0.00</td> </tr> <tr> <td>⑦自ら中間処理により 減量した量</td> <td>0.00</td> </tr> <tr> <td>③+⑨自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った量</td> <td>0.00</td> </tr> <tr> <td>⑩全処理委託量</td> <td>968.86</td> </tr> <tr> <td>⑪優良認定処理業者への 処理委託量</td> <td>241.00</td> </tr> <tr> <td>⑫再生利用業者への処理委託量</td> <td>968.86</td> </tr> <tr> <td>⑬熱回収認定業者への 処理委託量</td> <td>0.00</td> </tr> <tr> <td>⑭熱回収認定業者以外の 熱回収を行う業者への処理委託量</td> <td>0.00</td> </tr> </tbody> </table>	項目	実績値	①排出量	968.86	②+⑧自ら再生利用を行った量	0.00	⑤自ら熱回収を行った量	0.00	⑦自ら中間処理により 減量した量	0.00	③+⑨自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った量	0.00	⑩全処理委託量	968.86	⑪優良認定処理業者への 処理委託量	241.00	⑫再生利用業者への処理委託量	968.86	⑬熱回収認定業者への 処理委託量	0.00	⑭熱回収認定業者以外の 熱回収を行う業者への処理委託量	0.00	自ら中間処理した量	④	0.00	自ら中間処理した 後の残さ量	⑥	0.00	直接及び自ら中間処理 した後の処理委託量	⑩	968.86
	項目	実績値																													
	①排出量	968.86																													
	②+⑧自ら再生利用を行った量	0.00																													
	⑤自ら熱回収を行った量	0.00																													
	⑦自ら中間処理により 減量した量	0.00																													
③+⑨自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った量	0.00																														
⑩全処理委託量	968.86																														
⑪優良認定処理業者への 処理委託量	241.00																														
⑫再生利用業者への処理委託量	968.86																														
⑬熱回収認定業者への 処理委託量	0.00																														
⑭熱回収認定業者以外の 熱回収を行う業者への処理委託量	0.00																														
④のうち熱回収を行った量	⑤	0.00	自ら中間処理により 減量した量	⑦	0.00	⑩のうち優良認定処理 業者への処理委託量	⑪	241.00																							

(第2面)

計画の実施状況		(産業廃棄物の種類アス・コン片)				(単位: トン)																												
不要物等発生量	有償物量	自ら直接利用した量	②	0.00	自ら中間処理した後 再生利用した量	⑧	0.00	⑩のうち再生利用業者 への処理委託量	⑩のうち熱回収認定業者 への処理委託量	⑬	0.00																							
	排出量	①	516.90	自ら直接埋め立て処分 又は海洋投入処分した量	③	0.00	自ら中間処理した後 自ら埋立処分 又は海洋投入処分した量		⑨	0.00	⑩のうち熱回収認定業者 以外の熱回収を行う業者 への処理委託量	⑭	0.00																					
<table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>実績値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①排出量</td> <td>516.90</td> </tr> <tr> <td>②+⑧自ら再生利用を行った量</td> <td>0.00</td> </tr> <tr> <td>⑤自ら熱回収を行った量</td> <td>0.00</td> </tr> <tr> <td>⑦自ら中間処理により 減量した量</td> <td>0.00</td> </tr> <tr> <td>③+⑨自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った量</td> <td>0.00</td> </tr> <tr> <td>⑩全処理委託量</td> <td>516.90</td> </tr> <tr> <td>⑪優良認定処理業者への 処理委託量</td> <td>12.34</td> </tr> <tr> <td>⑫再生利用業者への処理委託量</td> <td>516.90</td> </tr> <tr> <td>⑬熱回収認定業者への 処理委託量</td> <td>0.00</td> </tr> <tr> <td>⑭熱回収認定業者以外の 熱回収を行う業者への処理委託量</td> <td>0.00</td> </tr> </tbody> </table>	項目	実績値	①排出量	516.90	②+⑧自ら再生利用を行った量	0.00	⑤自ら熱回収を行った量	0.00	⑦自ら中間処理により 減量した量	0.00	③+⑨自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った量	0.00	⑩全処理委託量	516.90	⑪優良認定処理業者への 処理委託量	12.34	⑫再生利用業者への処理委託量	516.90	⑬熱回収認定業者への 処理委託量	0.00	⑭熱回収認定業者以外の 熱回収を行う業者への処理委託量	0.00	自ら中間処理した量	④	0.00	自ら中間処理した 後の残さ量	⑥	0.00	直接及び自ら中間処理 した後の処理委託量	⑩	516.90	⑩のうち優良認定処理 業者への処理委託量	⑪	12.34
	項目	実績値																																
	①排出量	516.90																																
	②+⑧自ら再生利用を行った量	0.00																																
	⑤自ら熱回収を行った量	0.00																																
	⑦自ら中間処理により 減量した量	0.00																																
③+⑨自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った量	0.00																																	
⑩全処理委託量	516.90																																	
⑪優良認定処理業者への 処理委託量	12.34																																	
⑫再生利用業者への処理委託量	516.90																																	
⑬熱回収認定業者への 処理委託量	0.00																																	
⑭熱回収認定業者以外の 熱回収を行う業者への処理委託量	0.00																																	
④のうち熱回収を行った量	⑤	0.00	自ら中間処理により 減量した量	⑦	0.00																													

(第2面)

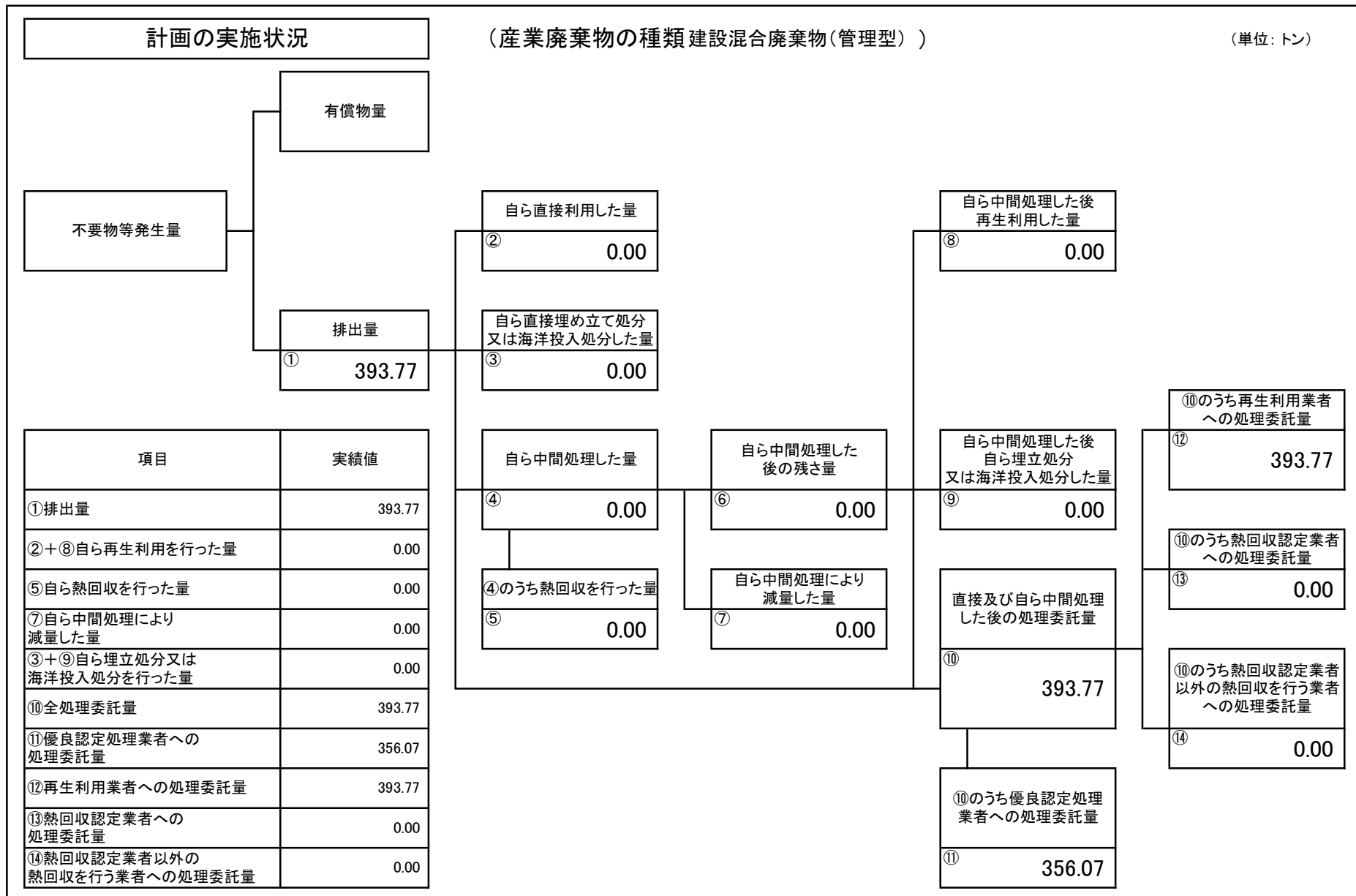
計画の実施状況		(産業廃棄物の種類その他がれき類)				(単位: トン)																				
不要物等発生量	有償物量	自ら直接利用した量		自ら中間処理した後 再生利用した量																						
	排出量	② 0.00		⑧ 0.00																						
	① 580.54	自ら直接埋め立て処分 又は海洋投入処分した量																								
		③ 0.00																								
<table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>実績値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①排出量</td> <td>580.54</td> </tr> <tr> <td>②+⑧自ら再生利用を行った量</td> <td>0.00</td> </tr> <tr> <td>⑤自ら熱回収を行った量</td> <td>0.00</td> </tr> <tr> <td>⑦自ら中間処理により減量した量</td> <td>0.00</td> </tr> <tr> <td>③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量</td> <td>0.00</td> </tr> <tr> <td>⑩全処理委託量</td> <td>580.54</td> </tr> <tr> <td>⑪優良認定処理業者への処理委託量</td> <td>480.75</td> </tr> <tr> <td>⑫再生利用業者への処理委託量</td> <td>580.54</td> </tr> <tr> <td>⑬熱回収認定業者への処理委託量</td> <td>0.00</td> </tr> <tr> <td>⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量</td> <td>0.00</td> </tr> </tbody> </table>	項目	実績値	①排出量	580.54	②+⑧自ら再生利用を行った量	0.00	⑤自ら熱回収を行った量	0.00	⑦自ら中間処理により減量した量	0.00	③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.00	⑩全処理委託量	580.54	⑪優良認定処理業者への処理委託量	480.75	⑫再生利用業者への処理委託量	580.54	⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.00	⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00	自ら中間処理した量	自ら中間処理した後の残さ量	自ら中間処理した後 自ら埋立処分 又は海洋投入処分した量	⑩のうち再生利用業者 への処理委託量
	項目	実績値																								
	①排出量	580.54																								
	②+⑧自ら再生利用を行った量	0.00																								
	⑤自ら熱回収を行った量	0.00																								
	⑦自ら中間処理により減量した量	0.00																								
	③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.00																								
	⑩全処理委託量	580.54																								
⑪優良認定処理業者への処理委託量	480.75																									
⑫再生利用業者への処理委託量	580.54																									
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.00																									
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00																									
④ 0.00	⑥ 0.00	⑨ 0.00	⑫ 580.54																							
④のうち熱回収を行った量	自ら中間処理により 減量した量		⑩のうち熱回収認定業者 への処理委託量																							
⑤ 0.00	⑦ 0.00		⑬ 0.00																							
		直接及び自ら中間処理 した後の処理委託量	⑩のうち熱回収認定業者 以外の熱回収を行う業者 への処理委託量																							
		⑩ 580.54	⑭ 0.00																							
		⑩のうち優良認定処理 業者への処理委託量																								
		⑪ 480.75																								

(第2面)

計画の実施状況		(産業廃棄物の種類 建設混合廃棄物(安定型))				(単位:トン)			
不要物等発生量		有償物量		自ら直接利用した量		自ら中間処理した後 再生利用した量			
		① 13.13		② 0.00		⑧ 0.00			
		排出量		自ら直接埋め立て処分 又は海洋投入処分した量					
		③ 13.13		③ 0.00					
				自ら中間処理した量		自ら中間処理した 後の残さ量		自ら中間処理した後 自ら埋立処分 又は海洋投入処分した量	
				④ 0.00		⑥ 0.00		⑨ 0.00	
				④のうち熱回収を行った量		自ら中間処理により 減量した量		直接及び自ら中間処理 した後の処理委託量	
				⑤ 0.00		⑦ 0.00		⑩ 13.13	
								⑩のうち再生利用業者 への処理委託量	
								⑫ 13.13	
								⑩のうち熱回収認定業者 への処理委託量	
								⑬ 0.00	
								⑩のうち熱回収認定業者 以外の熱回収を行う業者 への処理委託量	
								⑭ 0.00	
								⑩のうち優良認定処理 業者への処理委託量	
								⑪ 6.76	

項目	実績値
①排出量	13.13
②+⑧自ら再生利用を行った量	0.00
⑤自ら熱回収を行った量	0.00
⑦自ら中間処理により 減量した量	0.00
③+⑨自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った量	0.00
⑩全処理委託量	13.13
⑪優良認定処理業者への 処理委託量	6.76
⑫再生利用業者への処理委託量	13.13
⑬熱回収認定業者への 処理委託量	0.00
⑭熱回収認定業者以外の 熱回収を行う業者への処理委託量	0.00

(第2面)



(第2面)

計画の実施状況		(産業廃棄物の種類 石綿含有産業廃棄物)				(単位: トン)																									
不要物等発生量 有償物量		自ら直接利用した量 ② 0.00		自ら中間処理した後 再生利用した量 ⑧ 0.00																											
		排出量 ① 125.12		自ら直接埋め立て処分 又は海洋投入処分した量 ③ 0.00																											
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 30%;">項目</th> <th style="width: 30%;">実績値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①排出量</td> <td style="text-align: right;">125.12</td> </tr> <tr> <td>②+⑧自ら再生利用を行った量</td> <td style="text-align: right;">0.00</td> </tr> <tr> <td>⑤自ら熱回収を行った量</td> <td style="text-align: right;">0.00</td> </tr> <tr> <td>⑦自ら中間処理により 減量した量</td> <td style="text-align: right;">0.00</td> </tr> <tr> <td>③+⑨自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った量</td> <td style="text-align: right;">0.00</td> </tr> <tr> <td>⑩全処理委託量</td> <td style="text-align: right;">125.12</td> </tr> <tr> <td>⑪優良認定処理業者への 処理委託量</td> <td style="text-align: right;">125.12</td> </tr> <tr> <td>⑫再生利用業者への処理委託量</td> <td style="text-align: right;">0.00</td> </tr> <tr> <td>⑬熱回収認定業者への 処理委託量</td> <td style="text-align: right;">0.00</td> </tr> <tr> <td>⑭熱回収認定業者以外の 熱回収を行う業者への処理委託量</td> <td style="text-align: right;">0.00</td> </tr> </tbody> </table>		項目	実績値	①排出量	125.12	②+⑧自ら再生利用を行った量	0.00	⑤自ら熱回収を行った量	0.00	⑦自ら中間処理により 減量した量	0.00	③+⑨自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った量	0.00	⑩全処理委託量	125.12	⑪優良認定処理業者への 処理委託量	125.12	⑫再生利用業者への処理委託量	0.00	⑬熱回収認定業者への 処理委託量	0.00	⑭熱回収認定業者以外の 熱回収を行う業者への処理委託量	0.00	自ら中間処理した量 ④ 0.00		自ら中間処理した 後の残さ量 ⑥ 0.00		自ら中間処理した後 自ら埋立処分 又は海洋投入処分した量 ⑨ 0.00		⑩のうち再生利用業者 への処理委託量 ⑫ 0.00	
		項目	実績値																												
		①排出量	125.12																												
		②+⑧自ら再生利用を行った量	0.00																												
		⑤自ら熱回収を行った量	0.00																												
		⑦自ら中間処理により 減量した量	0.00																												
		③+⑨自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った量	0.00																												
		⑩全処理委託量	125.12																												
⑪優良認定処理業者への 処理委託量	125.12																														
⑫再生利用業者への処理委託量	0.00																														
⑬熱回収認定業者への 処理委託量	0.00																														
⑭熱回収認定業者以外の 熱回収を行う業者への処理委託量	0.00																														
④のうち熱回収を行った量 ⑤ 0.00		自ら中間処理により 減量した量 ⑦ 0.00		直接及び自ら中間処理 した後の処理委託量 ⑩ 125.12		⑩のうち熱回収認定業者 への処理委託量 ⑬ 0.00																									
				⑩のうち熱回収認定業者 以外の熱回収を行う業者 への処理委託量 ⑭ 0.00																											
				⑩のうち優良認定処理 業者への処理委託量 ⑪ 125.12																											

(第2面)

計画の実施状況		(産業廃棄物の種類 水銀使用製品)				(単位: トン)																									
不要物等発生量	有償物量																														
	排出量	①	0.50																												
<table border="1"><thead><tr><th>項目</th><th>実績値</th></tr></thead><tbody><tr><td>①排出量</td><td>0.50</td></tr><tr><td>②+⑧自ら再生利用を行った量</td><td>0.00</td></tr><tr><td>⑤自ら熱回収を行った量</td><td>0.00</td></tr><tr><td>⑦自ら中間処理により減量した量</td><td>0.00</td></tr><tr><td>③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量</td><td>0.00</td></tr><tr><td>⑩全処理委託量</td><td>0.50</td></tr><tr><td>⑪優良認定処理業者への処理委託量</td><td>0.50</td></tr><tr><td>⑫再生利用業者への処理委託量</td><td>0.50</td></tr><tr><td>⑬熱回収認定業者への処理委託量</td><td>0.00</td></tr><tr><td>⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量</td><td>0.00</td></tr></tbody></table>	項目	実績値	①排出量	0.50	②+⑧自ら再生利用を行った量	0.00	⑤自ら熱回収を行った量	0.00	⑦自ら中間処理により減量した量	0.00	③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.00	⑩全処理委託量	0.50	⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.50	⑫再生利用業者への処理委託量	0.50	⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.00	⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00	自ら直接利用した量	②	0.00						
	項目	実績値																													
	①排出量	0.50																													
	②+⑧自ら再生利用を行った量	0.00																													
	⑤自ら熱回収を行った量	0.00																													
	⑦自ら中間処理により減量した量	0.00																													
	③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.00																													
	⑩全処理委託量	0.50																													
	⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.50																													
	⑫再生利用業者への処理委託量	0.50																													
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.00																														
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00																														
	自ら直接埋め立て処分又は海洋投入処分した量	③	0.00																												
	自ら中間処理した量	④	0.00																												
	④のうち熱回収を行った量	⑤	0.00																												
	自ら中間処理した後の残さ量	⑥	0.00																												
	自ら中間処理により減量した量	⑦	0.00																												
	自ら中間処理した後再生利用した量	⑧	0.00																												
	自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量	⑨	0.00																												
	直接及び自ら中間処理した後の処理委託量	⑩	0.50																												
	⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量	⑪	0.50																												
	⑩のうち再生利用業者への処理委託量	⑫	0.50																												
	⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量	⑬	0.00																												
	⑩のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	⑭	0.00																												

(第3面)

備考

- 1 翌年度の6月30日までに提出すること。
- 2 「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
- 3 「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。
- 4 第2面には、前年度の産業廃棄物の処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。
 - (1) ①欄 当該事業場において生じた産業廃棄物の量
 - (2) ②欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量
 - (3) ③欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
 - (4) ④欄 (1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量
 - (5) ⑤欄 (4)の量のうち、熱回収を行った量
 - (6) ⑥欄 自ら中間処理をした後の量
 - (7) ⑦欄 (4)の量から(6)の量を差し引いた量
 - (8) ⑧欄 (6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量
 - (9) ⑨欄 (6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量
 - (10) ⑩欄 中間処理及び最終処分を委託した量
 - (11) ⑪欄 (10)の量のうち、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量
 - (12) ⑫欄 (10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量
 - (13) ⑬欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量
 - (14) ⑭欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量
- 5 第2面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。
- 6 産業廃棄物の種類が2以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

（第1面）

産業廃棄物処理計画書

令和7年 6月30日

千葉県知事

熊谷 俊人 殿



提出者 〒273-0001

住 所 千葉県船橋市市場3丁目17番1号

氏 名 株式会社ケイハイ 代表取締役 船木 隆志

（法人にあつては、名称及び代表者の氏名）

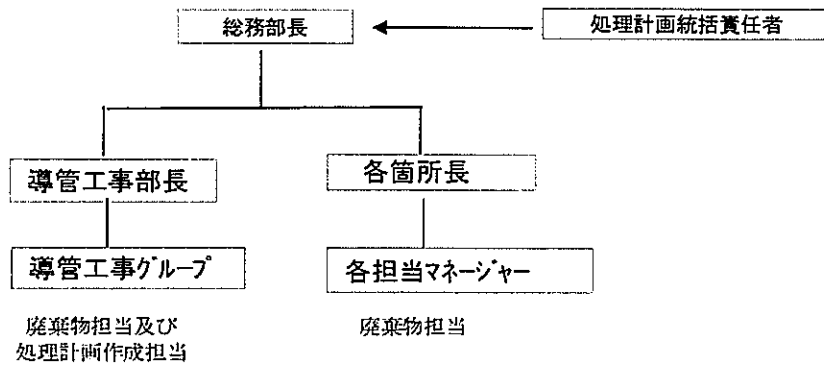
電話番号 047-460-0813

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	千葉県管轄内工事・株式会社ケイハイ
事業場の所在地	千葉県管轄区域内・船橋市市場3-17-1
計画期間	令和7年4月1日から令和8年3月31日まで
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
① 事業の種類	D06-総合工事業
② 事業の規模	137億円（57期）
③ 従業員数	446名（社員363名、外注者83名）※2025年3月現在
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	排出現場 → アスファルト・コンクリートがら/汚泥/ 紙くず/がれき類/建設汚泥/コンクリートがら/ その他がれき類/廃アルカリ混合物/ 廃プラスチック類/路盤廃材/管理型混合廃棄物 → 委託処理 （再生利用） → 委託処理 （最終処分）

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙の通り	
	排出量	t	t
	(これまでに実施した取組) アスファルトがら等の産業廃棄物はガス管理設工事等で排出されるが、適正な工事範囲を計画し、計画以上の廃棄物の排出が発生しない運用を図っている。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙の通り	
	排出量	t	t
	(今後実施する予定の取組) 当社事業で発生するアスファルトがら等の産業廃棄物に対し、工事計画時に適正量を計画し、効率的な施工を行うことにより廃棄物の排出量を抑制することを促進させる。		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) アスファルトがら等の廃棄物に、骨材等の廃棄物が混合しないように分別している。
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 現状と同様に、廃棄物に他の廃棄物が混合しないように分別する。

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙の通り	
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組) 自ら行う産業廃棄物の再生利用の実績は無い		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙の通り	
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組) 自ら行う産業廃棄物の再生利用の計画は無い		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙の通り	
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組) 自ら行う産業廃棄物の再生利用の実績は無い		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙の通り	
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組) 自ら行う産業廃棄物の再生利用の計画は無い		

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙の通り	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	（これまでに実施した取組） 自ら行う産業廃棄物の再生利用の実績は無い		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙の通り	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t
	（今後実施する予定の取組） 自ら行う産業廃棄物の再生利用の計画は無い		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙の通り	
	全処理委託量	t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	（これまでに実施した取組） 当社事業活動により発生するアスファルトがらは、すべて再生利用業者へ処分委託を行っている。 当社事業化t同により発生するその他の廃棄物は、再生できるものはすべて再生利用業者へ処分委託を行っている。		

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙の通り	
	全処理委託量	t	t
	優良認定処理業者への 処理委託量	t	t
	再生利用業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t	t
	(今後実施する予定の取組) 当社事業活動により発生するアスファルトがら等の廃棄物は、 再生処理が出来る処理業者への委託を目指す。		
※事務処理欄			

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1) ①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2) ②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3) ④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項												
①現状	【前年度（令和6年度）実績】											
	産業廃棄物の種類	アスコンがら	汚泥	紙くず	がれき類	建設汚泥	コンクリートがら	その他がれき類	廃アルカリ混合物	廃プラスチック類	路盤廃材	管理型混合廃棄物
	排出量	3075.15 t	4972.81 t	0.6 t	78.9 t	639.96 t	114.7 t	239 t	5073.14 t	7.91 t	127 t	12.23 t
	【目標】											
	産業廃棄物の種類	アスコンがら	汚泥	紙くず	がれき類	建設汚泥	コンクリートがら	その他がれき類	廃アルカリ混合物	廃プラスチック類	路盤廃材	管理型混合廃棄物
②計画	排出量	3000 t	4500 t	0.5 t	75 t	600 t	110 t	220 t	5000 t	7 t	120 t	10 t
	自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項											
①現状	【前年度（令和6年度）実績】											
	産業廃棄物の種類	アスコンがら	汚泥	紙くず	がれき類	建設汚泥	コンクリートがら	その他がれき類	廃アルカリ混合物	廃プラスチック類	路盤廃材	管理型混合廃棄物
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t	t	t	t
	【目標】											
	産業廃棄物の種類	アスコンがら	汚泥	紙くず	がれき類	建設汚泥	コンクリートがら	その他がれき類	廃アルカリ混合物	廃プラスチック類	路盤廃材	管理型混合廃棄物
②計画	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t	t	t	t
	自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項											
①現状	【前年度（令和6年度）実績】											
	産業廃棄物の種類	アスコンがら	汚泥	紙くず	がれき類	建設汚泥	コンクリートがら	その他がれき類	廃アルカリ混合物	廃プラスチック類	路盤廃材	管理型混合廃棄物
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t	t	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t	t	t	t
	【目標】											
②計画	産業廃棄物の種類	アスコンがら	汚泥	紙くず	がれき類	建設汚泥	コンクリートがら	その他がれき類	廃アルカリ混合物	廃プラスチック類	路盤廃材	管理型混合廃棄物
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t	t	t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t	t	t	t

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

令和7年 6 月30日

千葉県知事 熊谷 俊人 殿



提出者 〒273-0001
住 所 千葉県船橋市市場3丁目17番1号
氏 名 株式会社ケイハイ 代表取締役 船木 隆志
(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)
電話番号 047-460-0813

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、令和6年度の産業廃棄物
処理計画の実施状況を報告します。

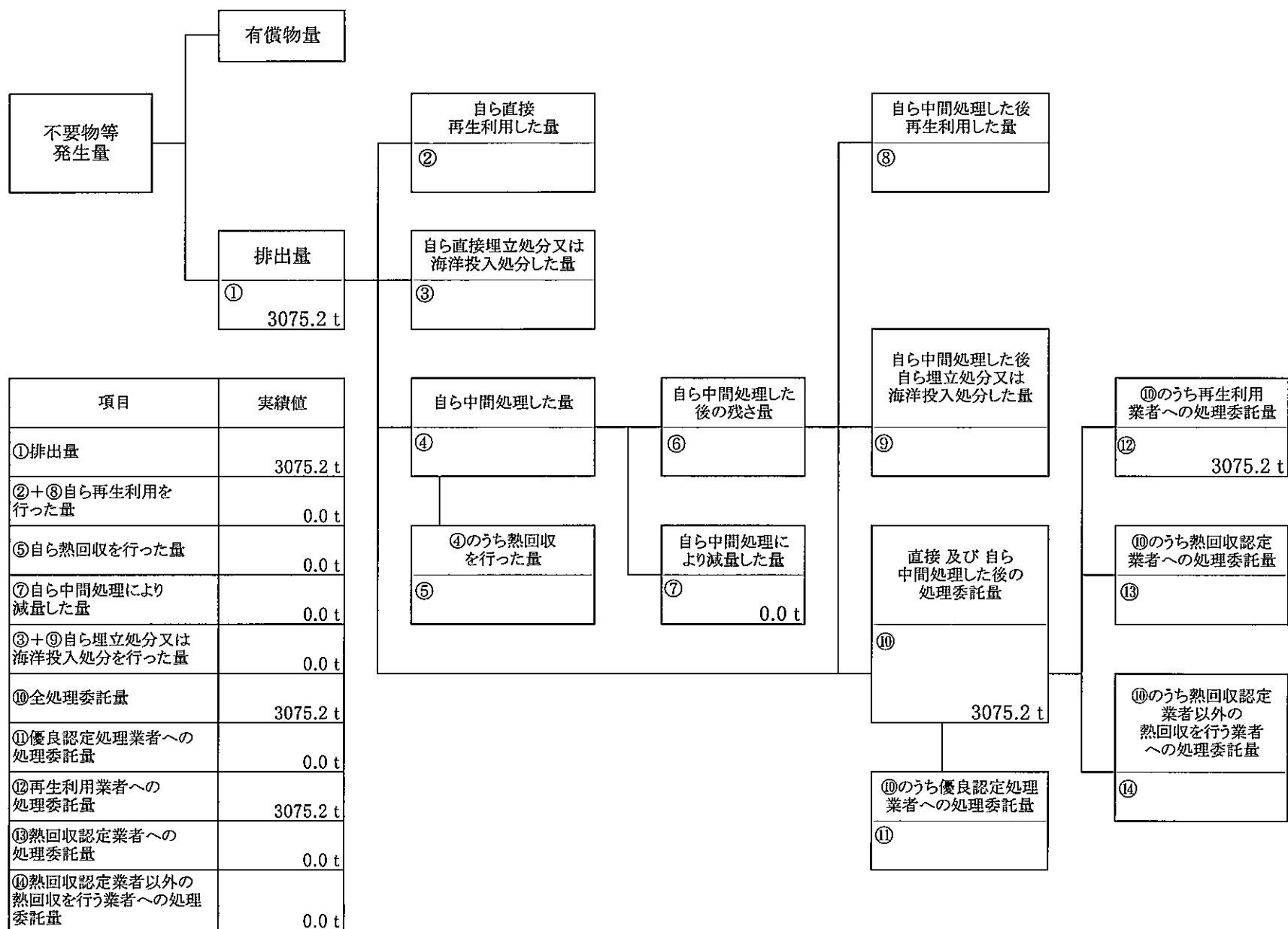
事業場の名称	千葉県管内工事・株式会社ケイハイ
事業場の所在地	千葉県管轄区域内・船橋市市場3-17-1
事業の種類	D06-総合工事業
産業廃棄物処理計画における計画期間	令和6年4月1日から令和7年3月31日まで

産業廃棄物処理計画における目標値

項目	目標値	項目	目標値
排出量	3494.4 t	全処理委託量	3494.4 t
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量		優良認定処理業者への処理委託量	
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量		再生利用業者への処理委託量	3494.4 t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量		認定熱回収業者への処理委託量	
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量		認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	
※事務処理欄			

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: アスファルト・コンクリートがら)



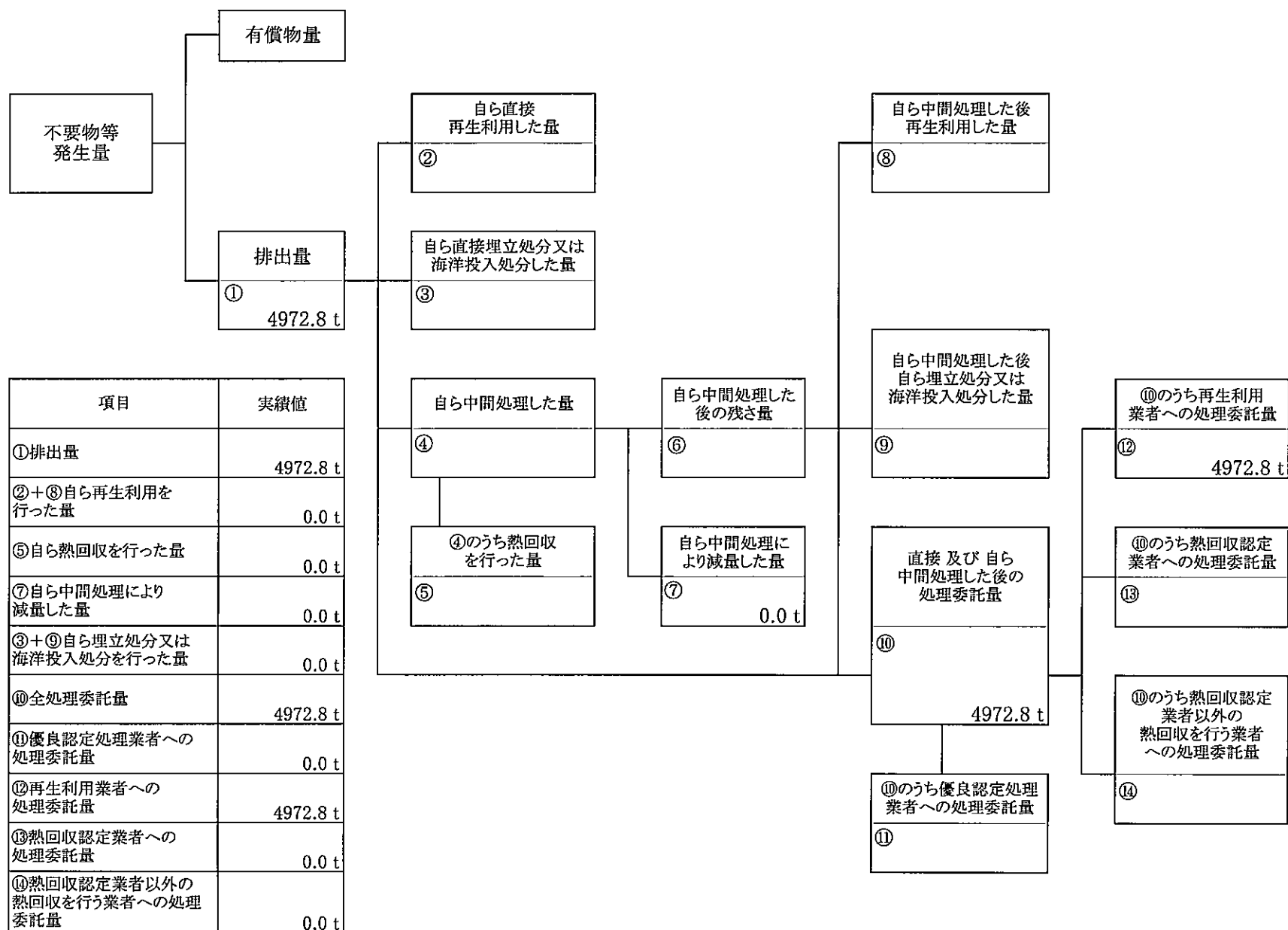
(第2面)

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類:

汚泥

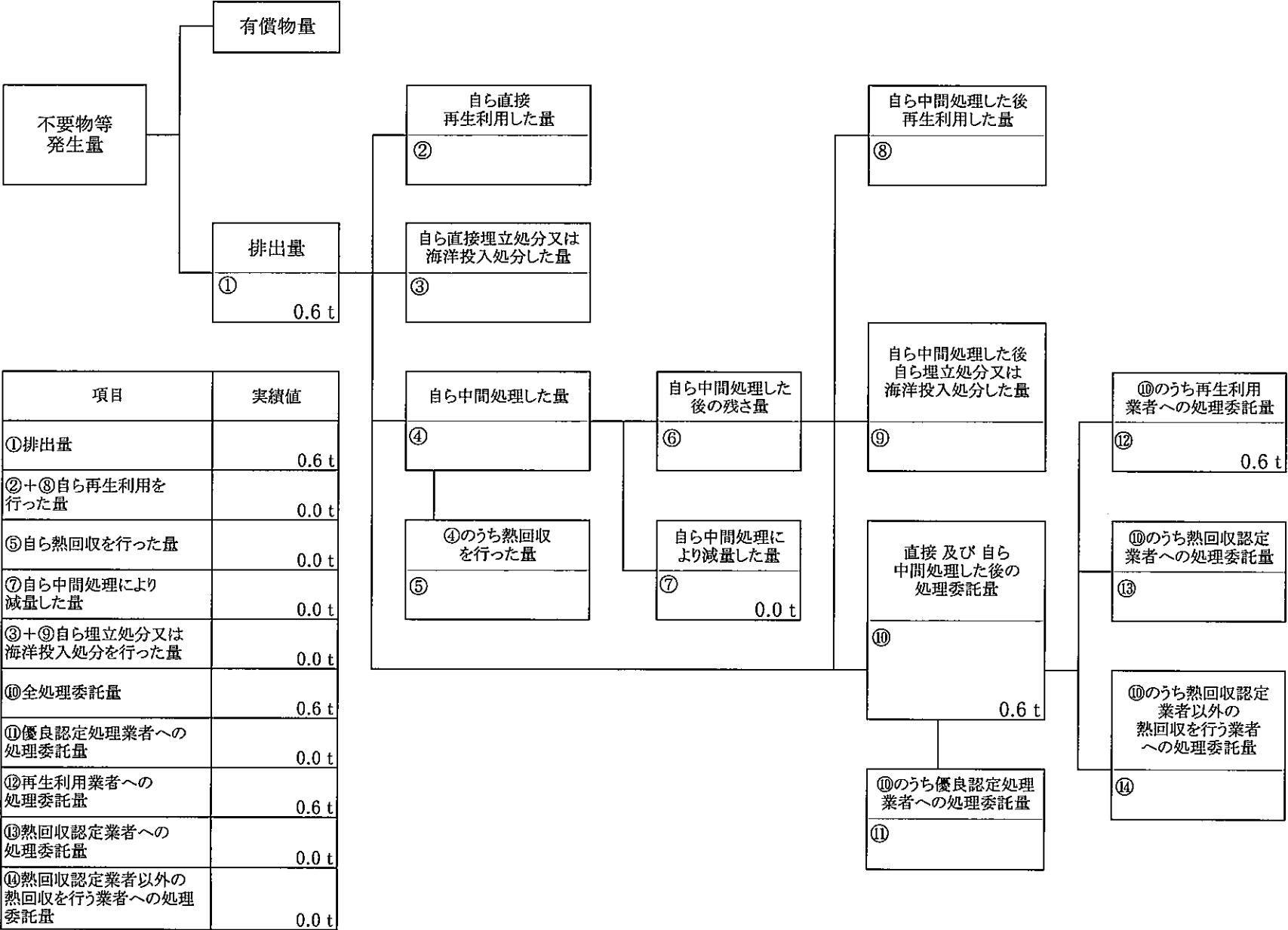
)



(第2面)

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: 紙くず)

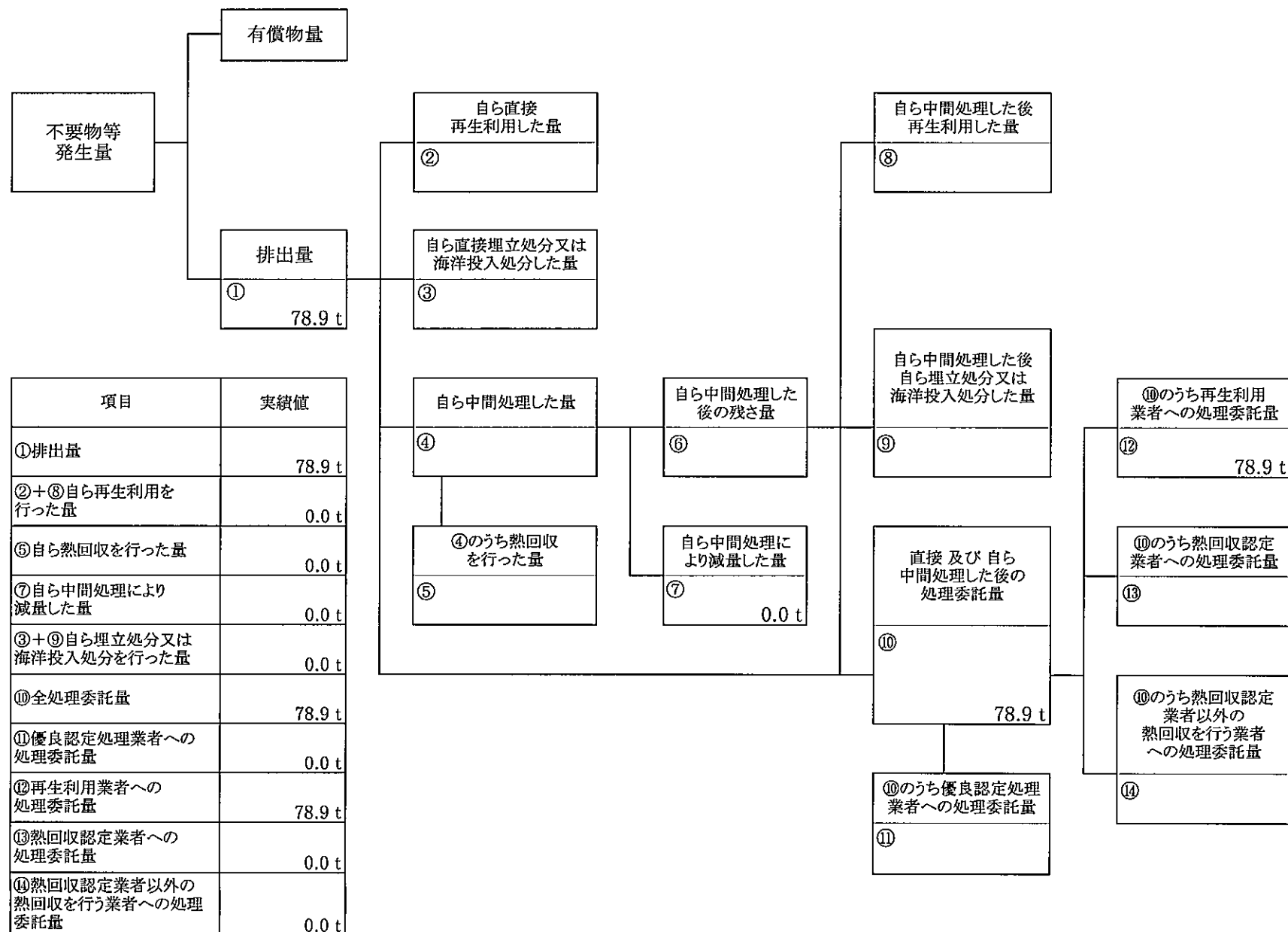


計画の実施状況

(産業廃棄物の種類:

がれき類

)



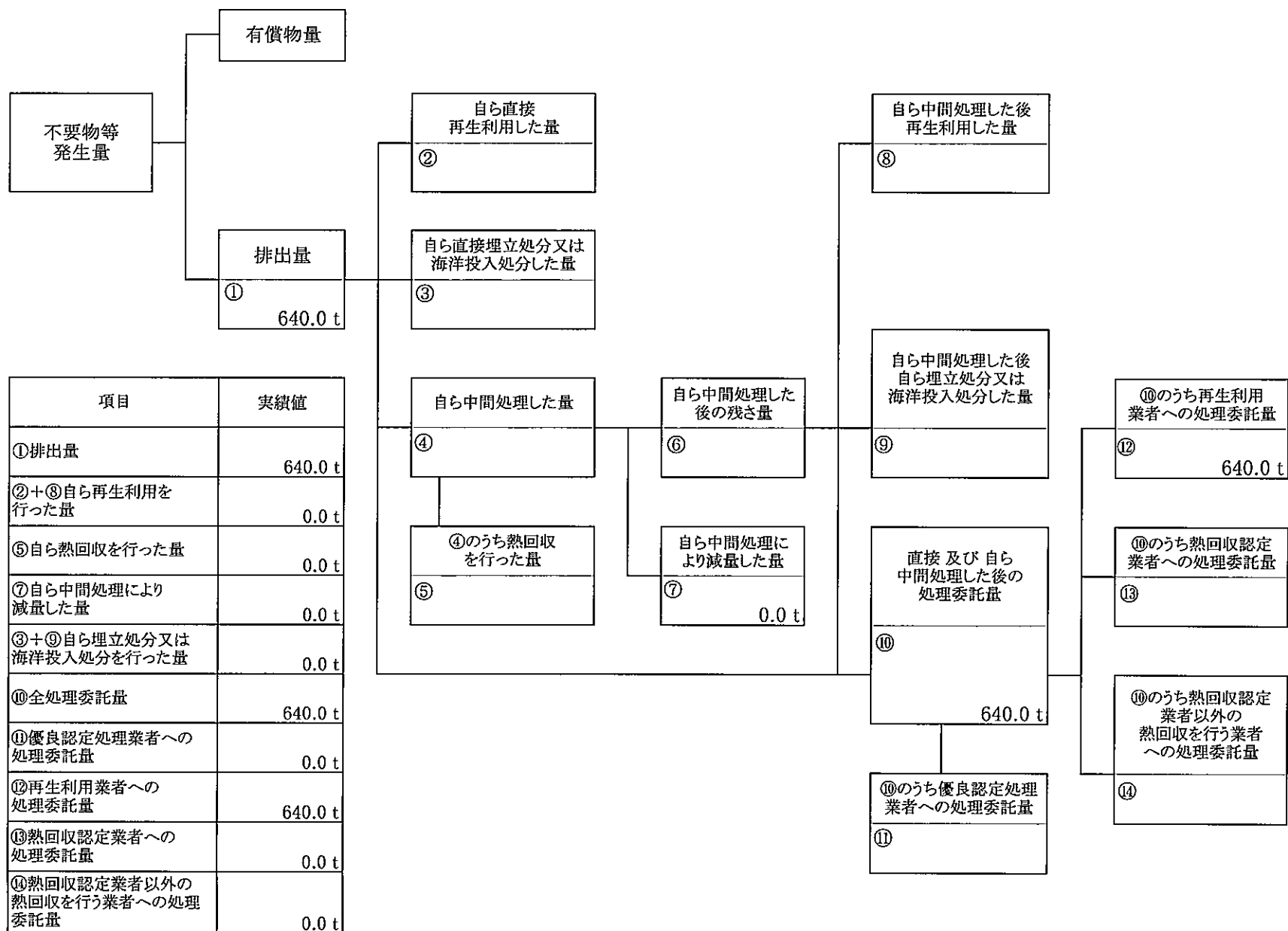
(第2面)

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類:

建設汚泥

)



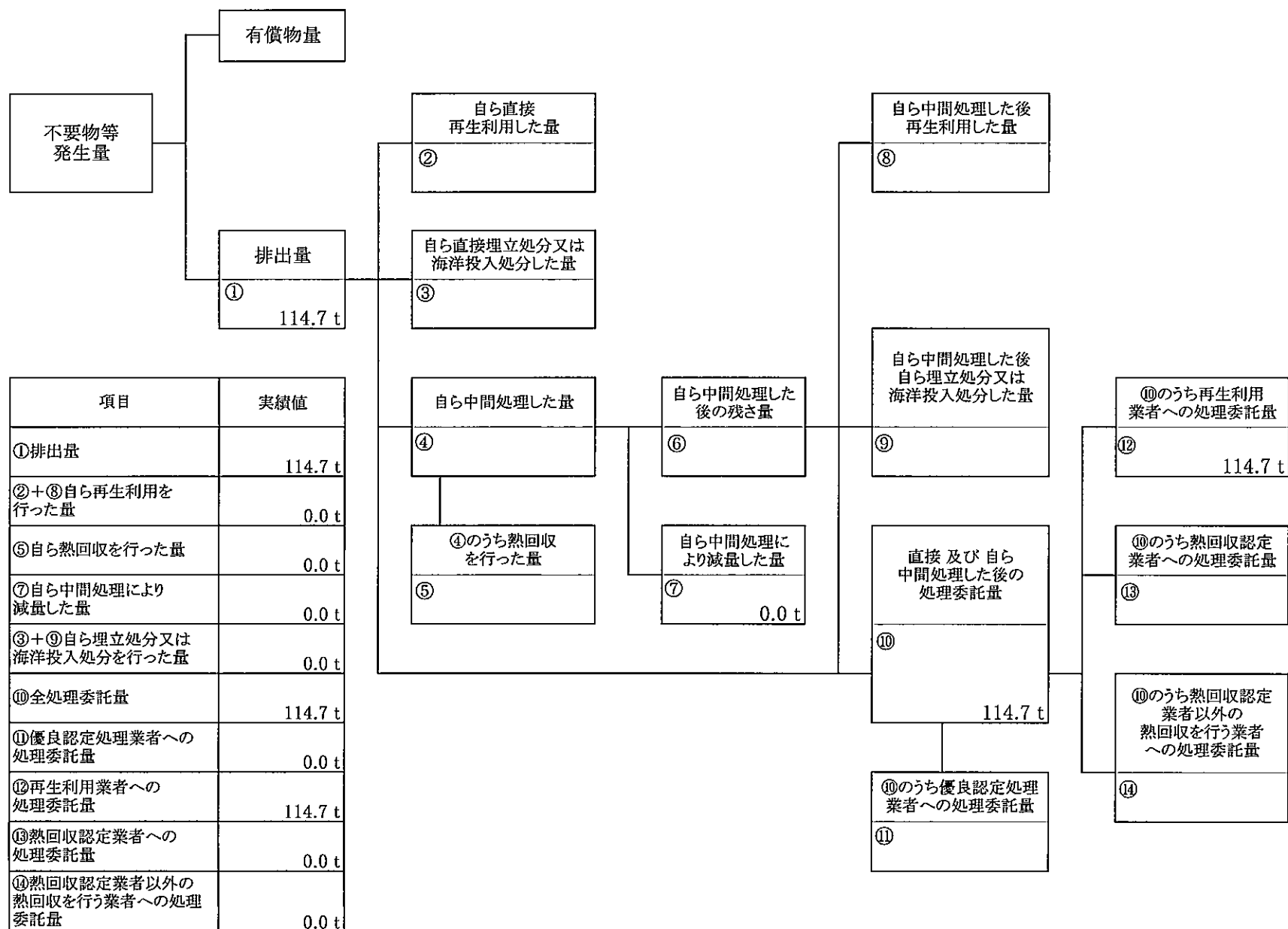
(第2面)

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類:

コンクリートがら

)



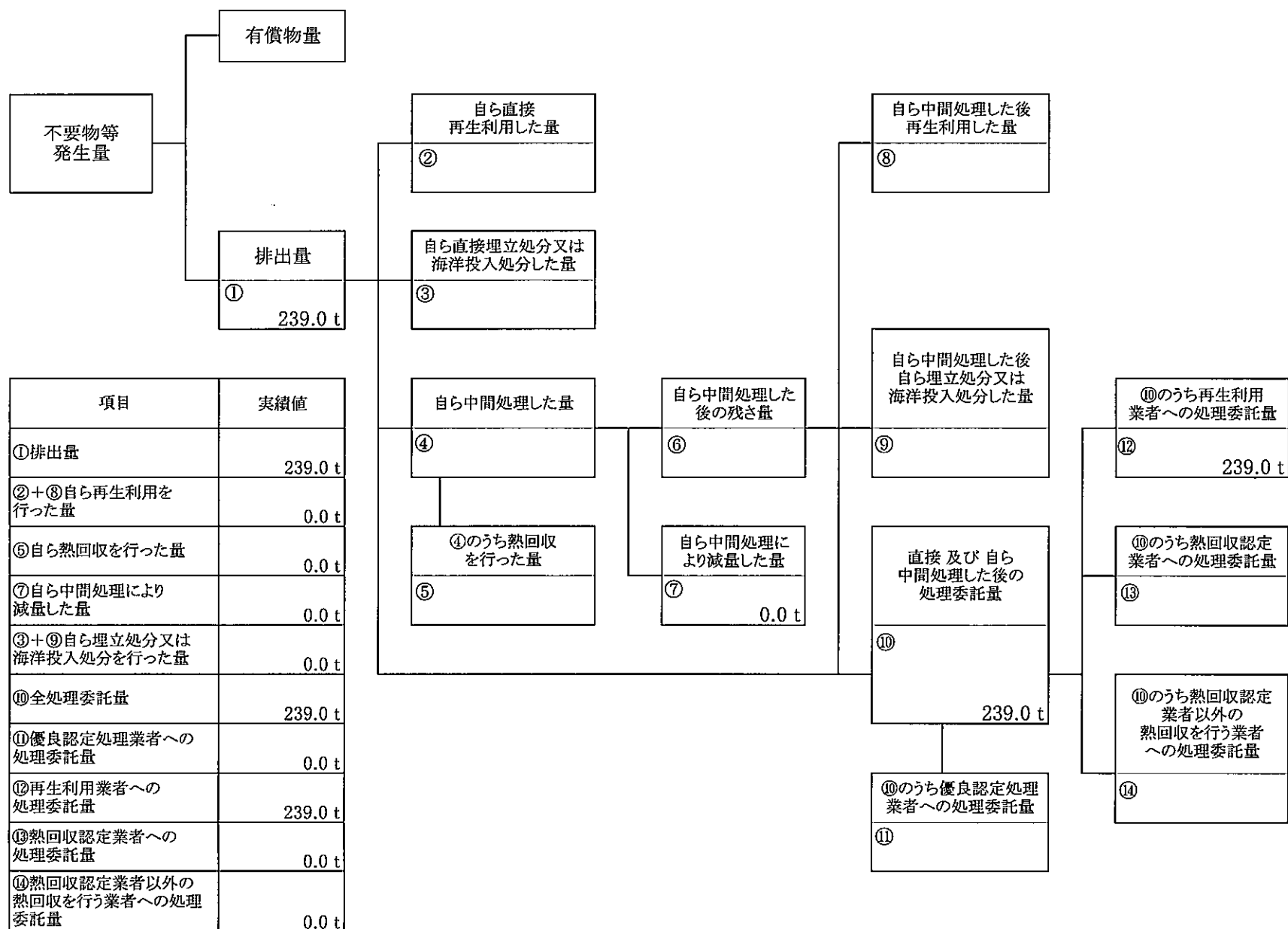
(第2面)

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類:

その他がれき類

)



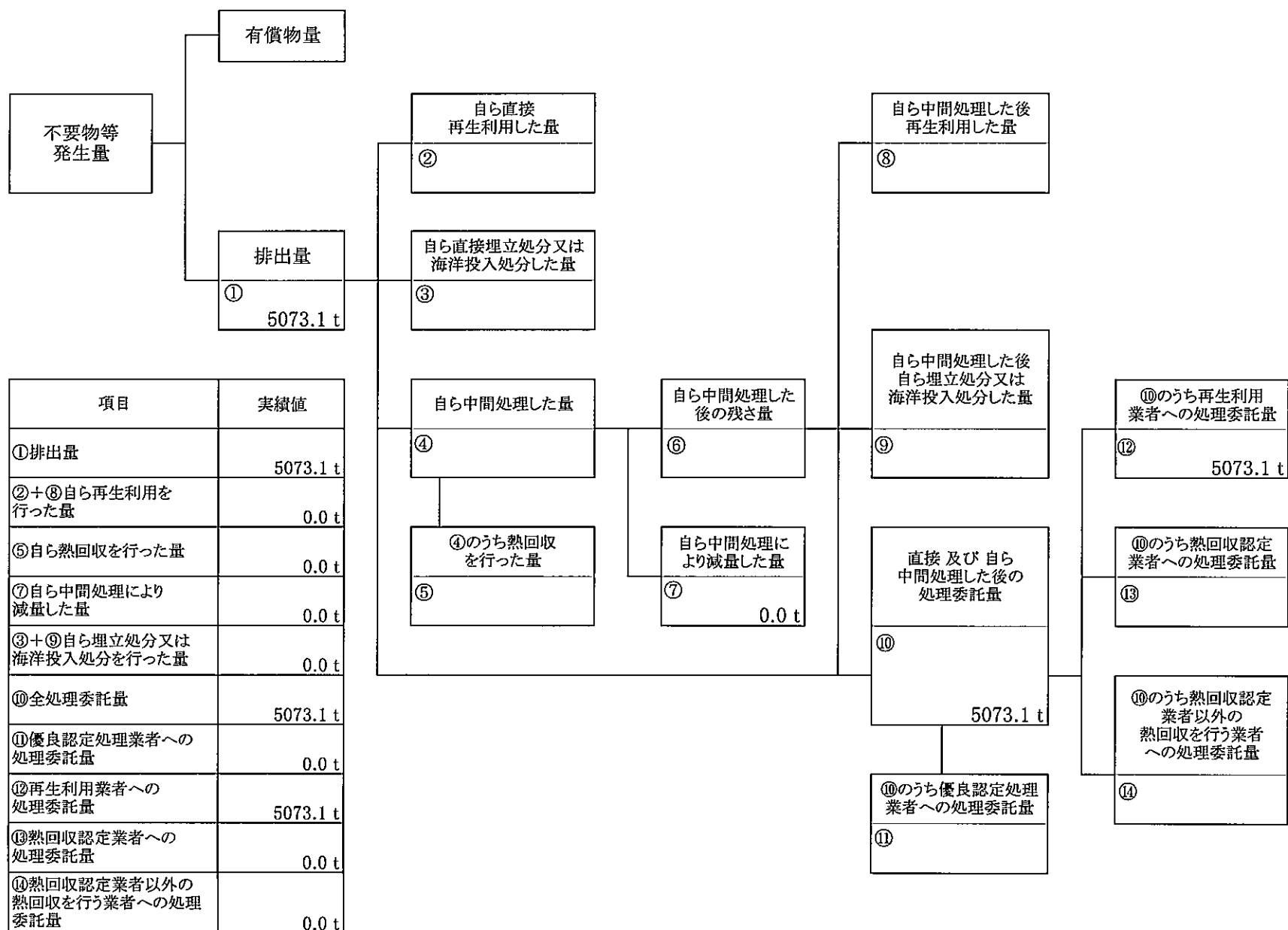
(第2面)

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類:

廃アルカリ混合物

)



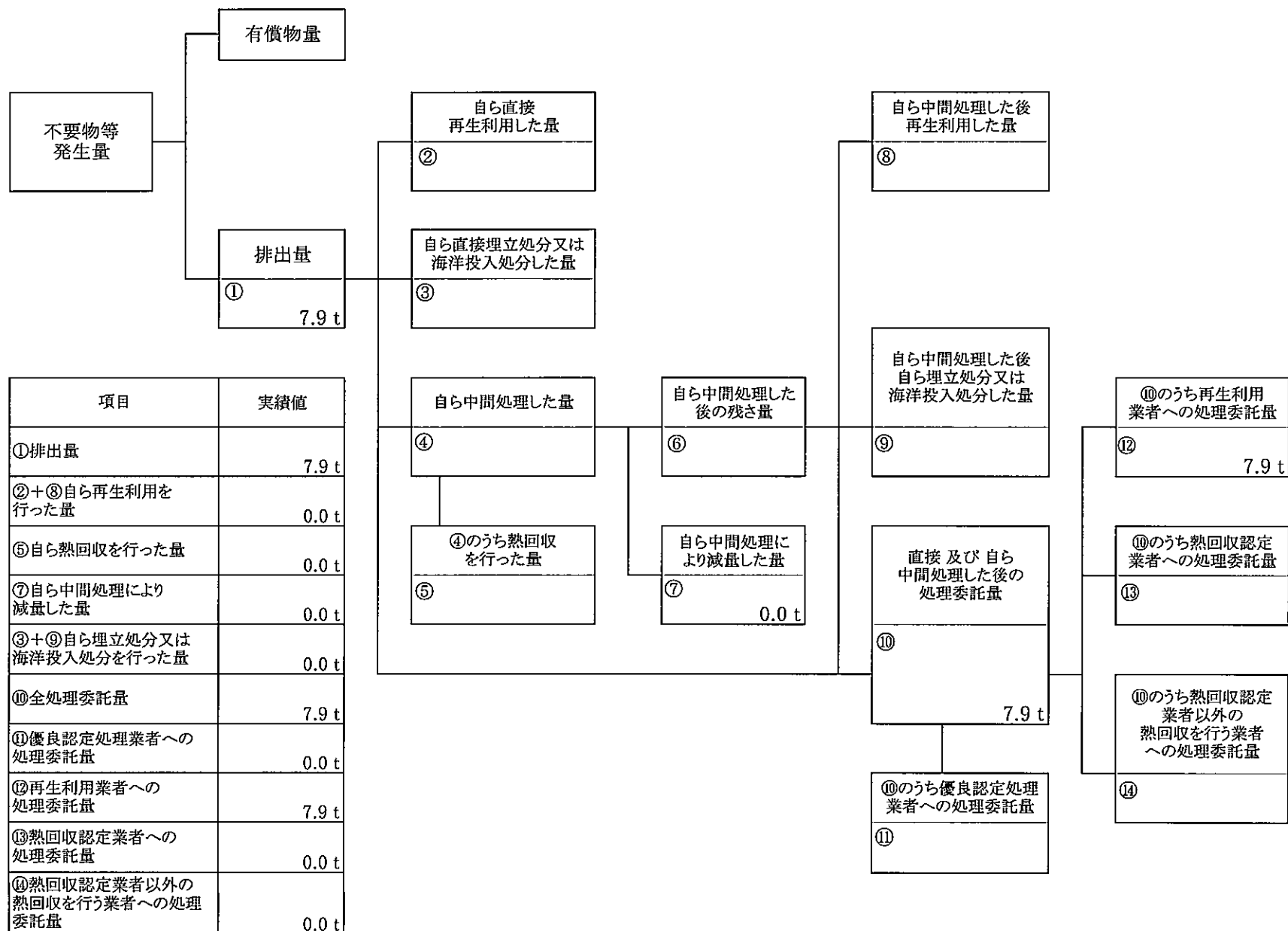
(第2面)

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類:

廃プラスチック類

)



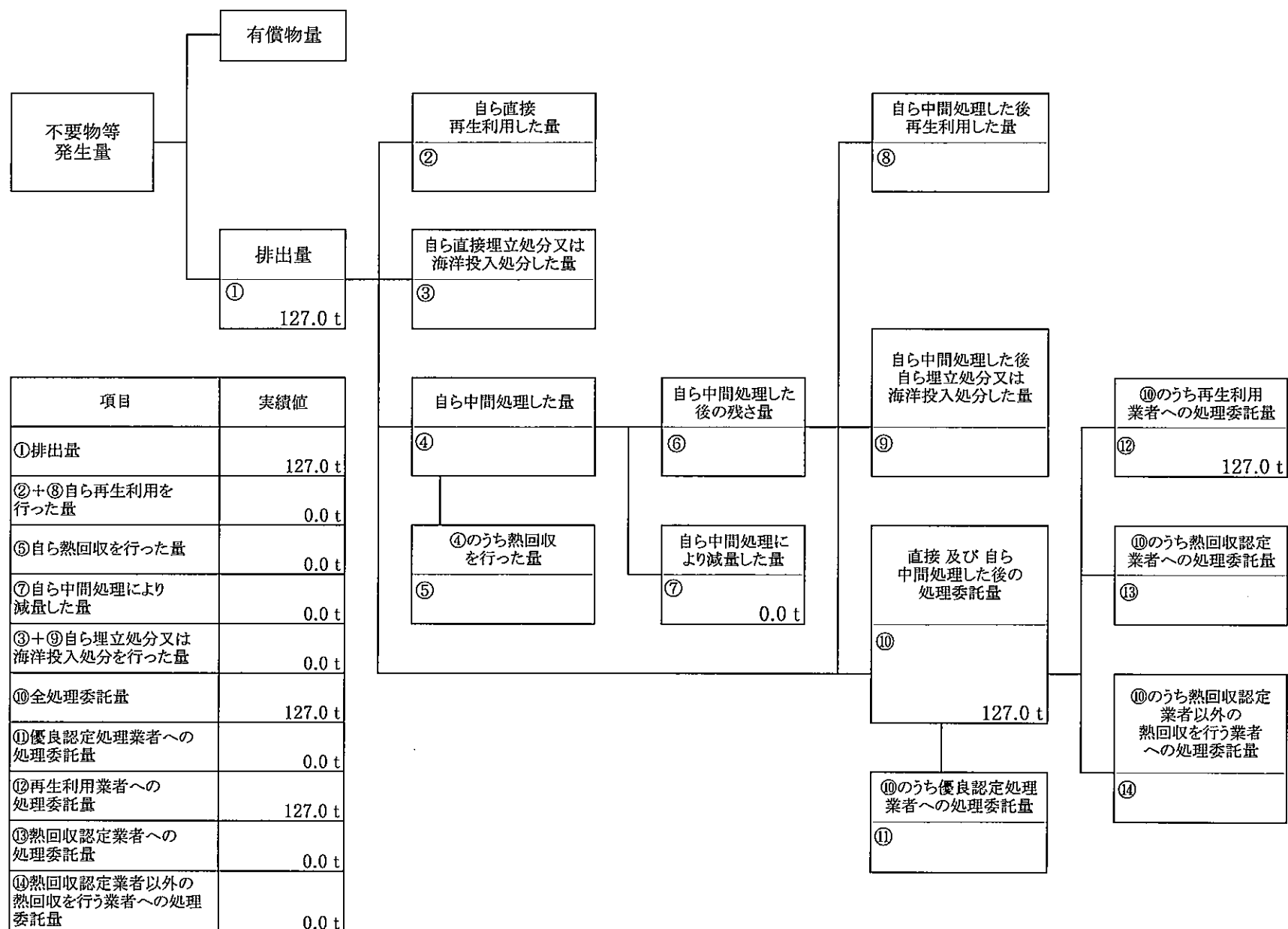
(第2面)

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類:

路盤廃材

)



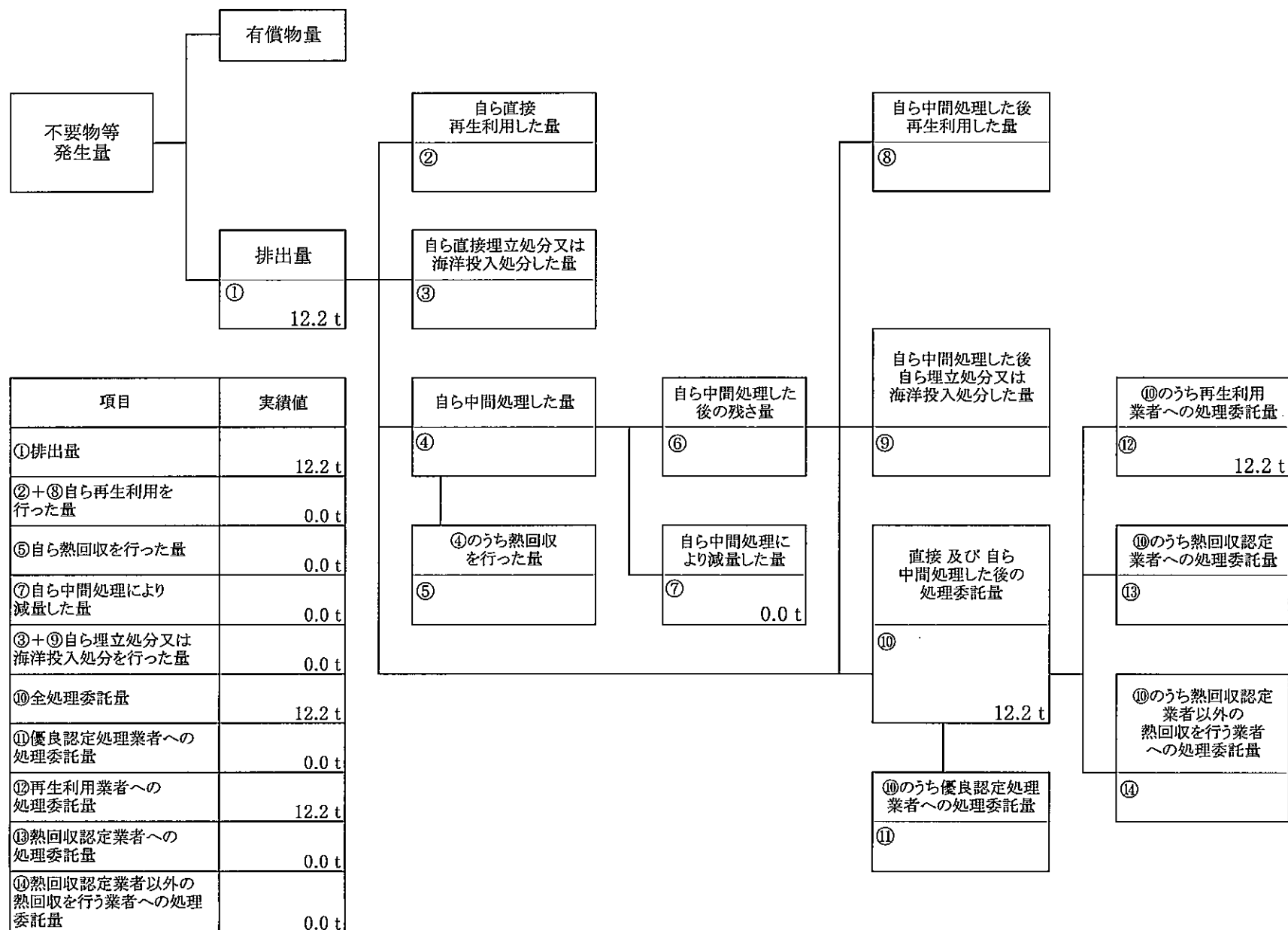
(第2面)

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類:

管理型混合廃棄物

)



(第2面)

備考

- 1 翌年度の6月30日までに提出すること。
- 2 「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
- 3 「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。
- 4 第2面には、前年度の産業廃棄物処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。
 - (1) ①欄 当該事業場において生じた産業廃棄物の量
 - (2) ②欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量
 - (3) ③欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
 - (4) ④欄 (1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量
 - (5) ⑤欄 (4)の量のうち、熱回収を行った量
 - (6) ⑥欄 自ら中間処理をした後の量
 - (7) ⑦欄 (4)の量から(6)の量を差し引いた量
 - (8) ⑧欄 (6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量
 - (9) ⑨欄 (6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量
 - (10) ⑩欄 中間処理及び最終処分を委託した量
 - (11) ⑪欄 (10)の量のうち、優良認定処理業者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者)への処理委託量
 - (12) ⑫欄 (10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量
 - (13) ⑬欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者)である処理業者への焼却処理委託量
 - (14) ⑭欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量
- 5 第2面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。
- 6 産業廃棄物の種類が2以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

特別管理産業廃棄物処理計画実施状況報告書

令和7年6月30日

千葉県知事 熊谷 俊人 殿



提出者 〒273-0001
住 所 千葉県船橋市市場3-17-1
氏 名 株式会社ケイハイ 代表取締役 船木 隆志
(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)
電話番号 047-460-0813

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、令和6年度の特別管理産業
廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

事業場の名称	千葉県管轄内工事・株式会社ケイハイ
事業場の所在地	千葉県管轄区域内・船橋市市場3-17-1
事業の種類	D06ー総合工事業
特別管理産業廃棄物処理計画 における計画期間	令和6年4月1日から令和7年3月31日まで

特別管理産業廃棄物処理計画における目標値

項目	目標値	項目	目標値
排 出 量	360.0 t	全 処 理 委 託 量	360.0 t
自ら再生利用を行う 特別管理産業廃棄物の量		優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	
自ら熱回収を行う 特別管理産業廃棄物の量		再生利用業者への 処 理 委 託 量	360.0 t
自ら中間処理により減量する 特別管理産業廃棄物の量		認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	
自ら埋立処分 を行う 特別管理産業廃棄物の量		認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	

電子情報処理組織の使用に関する事項

特別管理産業廃棄物排出量 (ポリ塩化ビフェニル廃棄物を除く。)	前々年度 前年度
(電子情報処理組織の使用に関して実施した取組)	

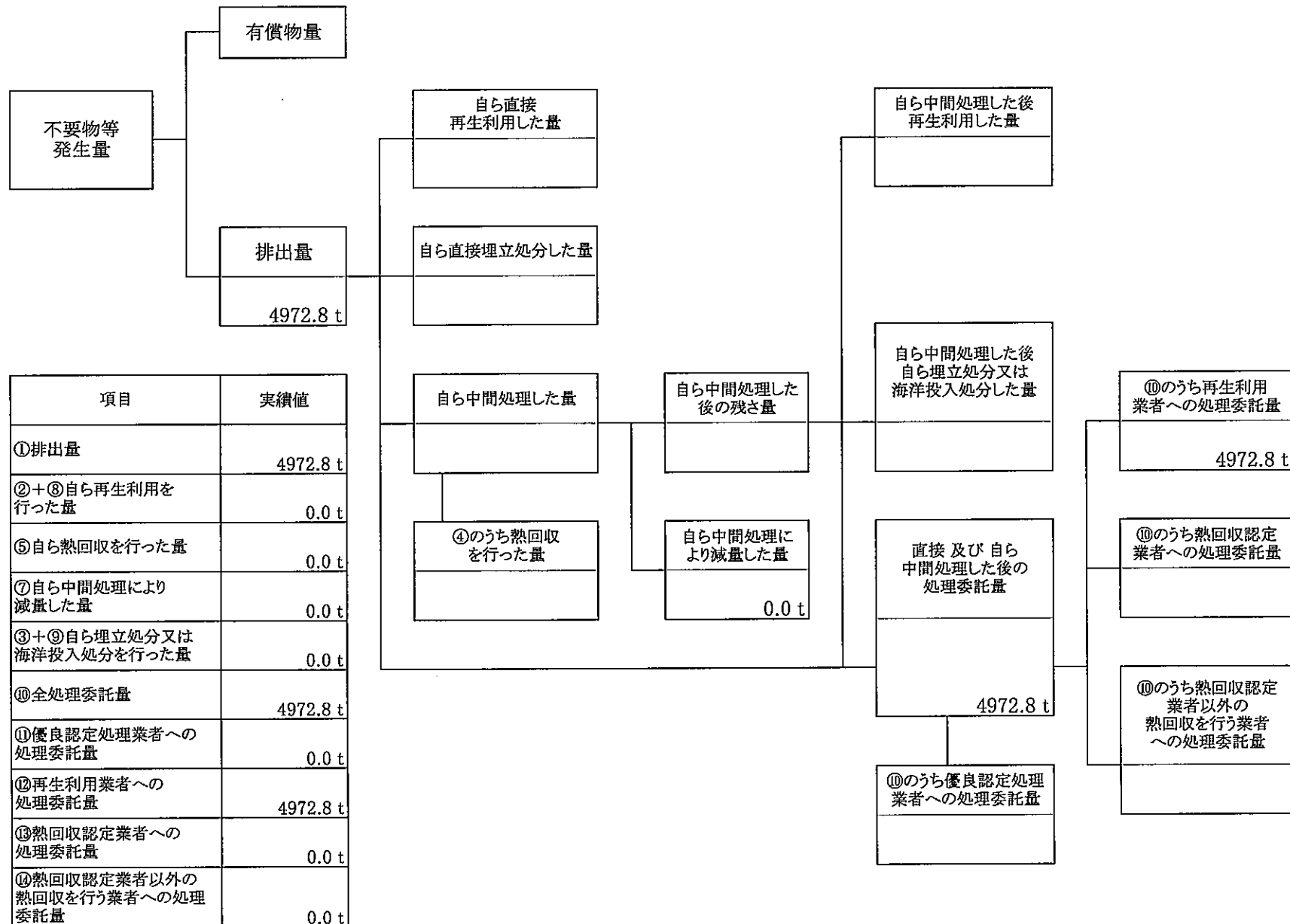
※事務処理欄	

計画の実施状況

(特別管理産業廃棄物の種類:

汚泥

)



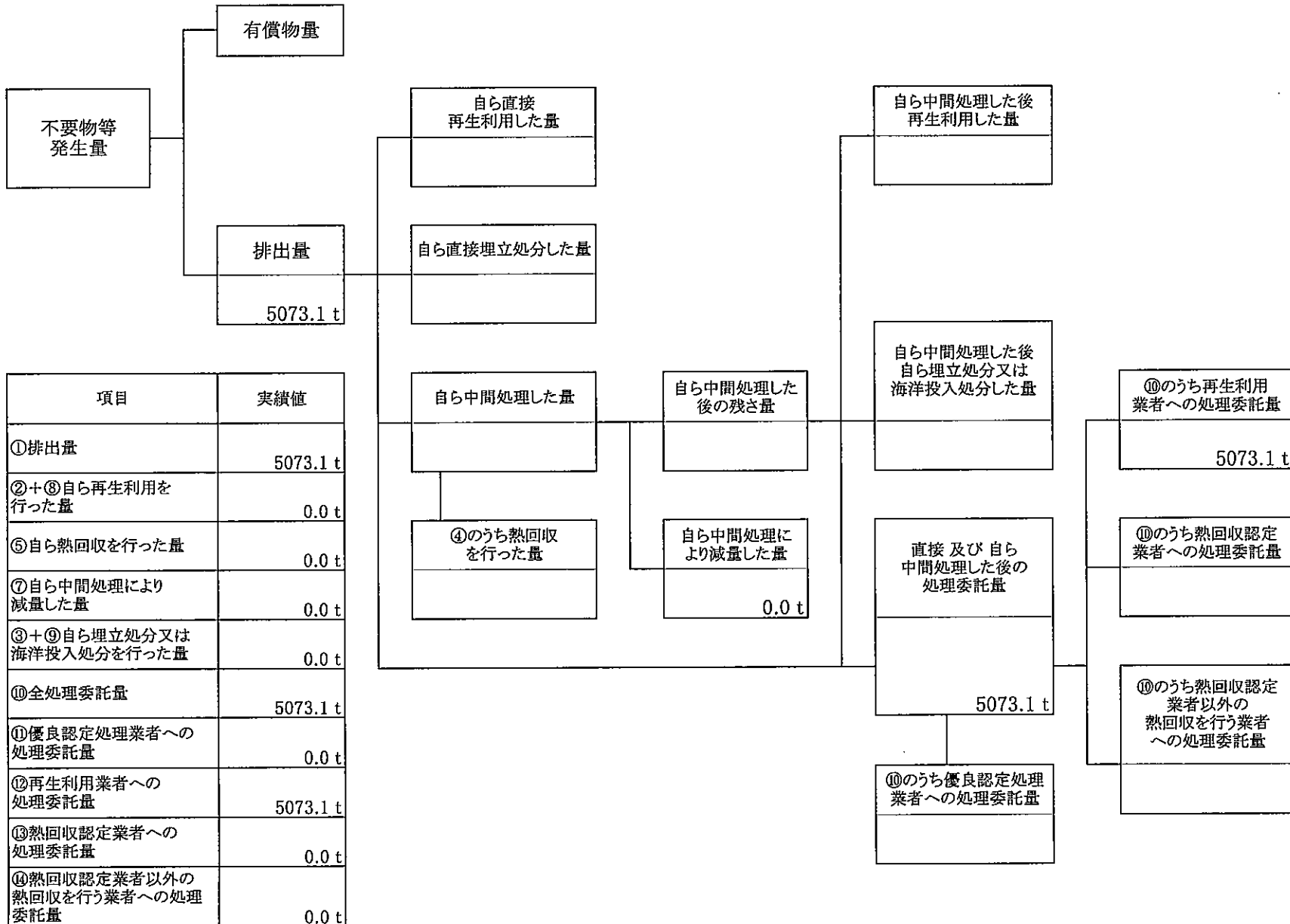
(第2面)

計画の実施状況

(特別管理産業廃棄物の種類:

廃アルカリ

)

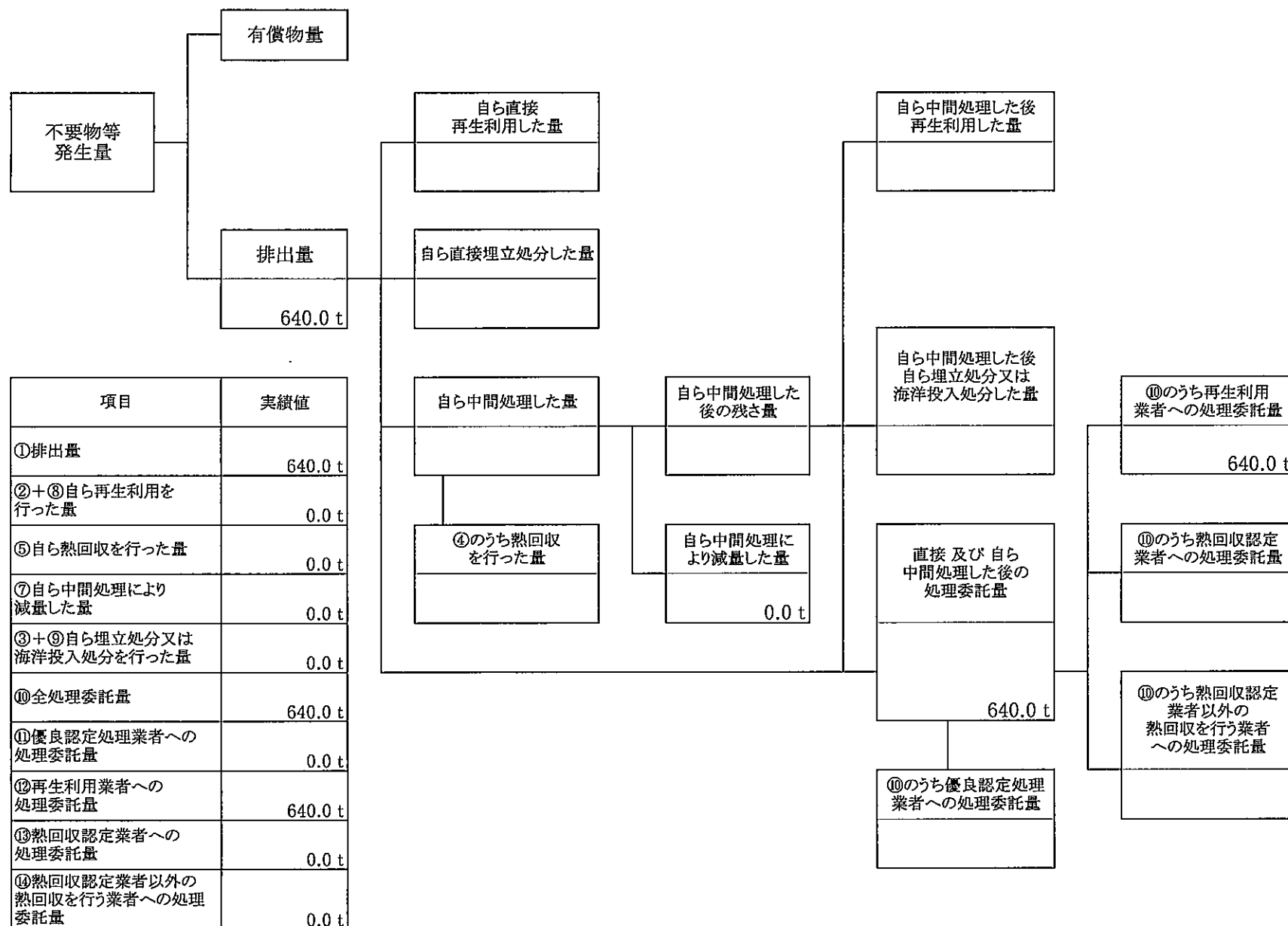


計画の実施状況

(特別管理産業廃棄物の種類:

建設汚泥

)



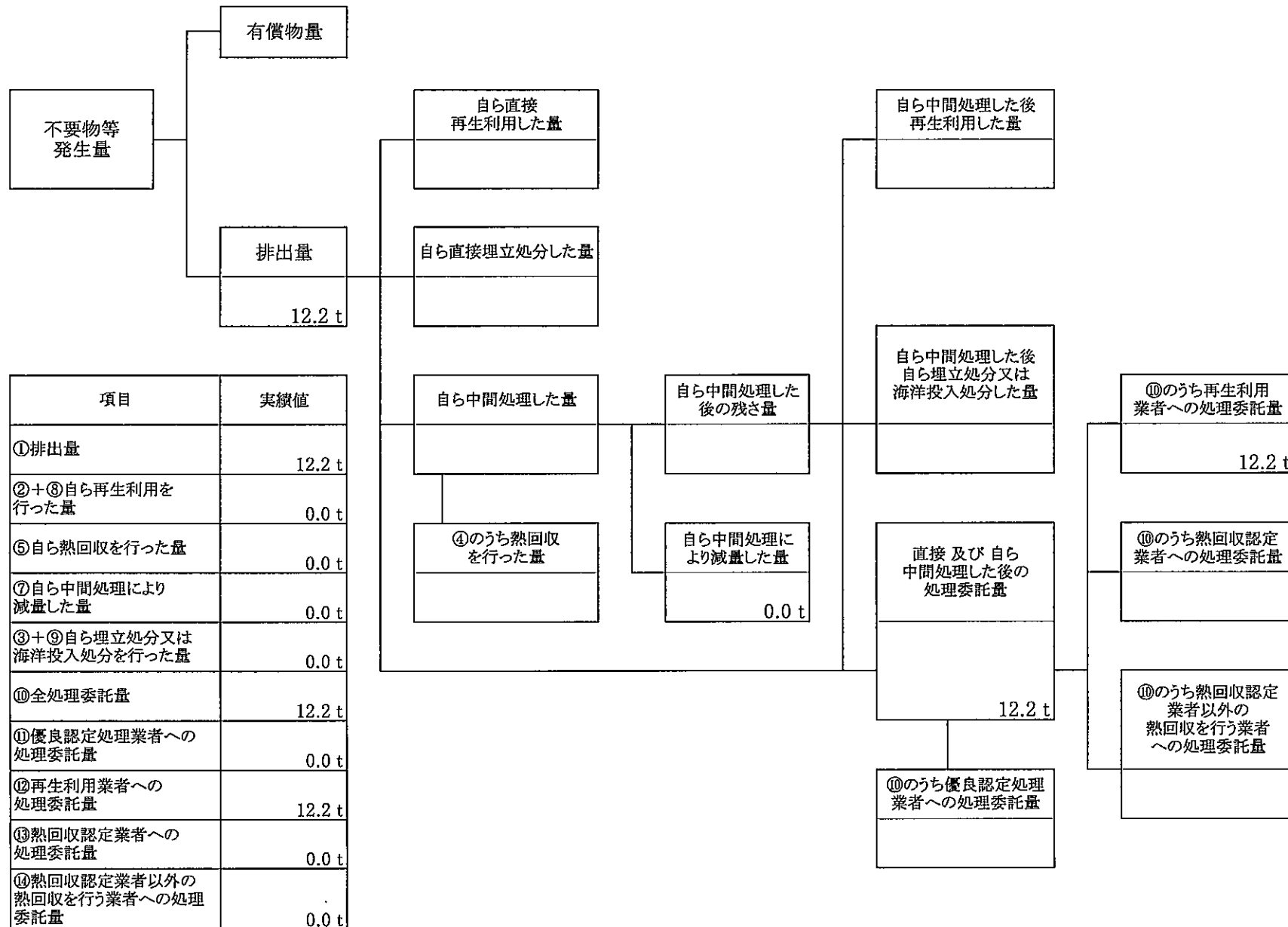
(第2面)

計画の実施状況

(特別管理産業廃棄物の種類:

管理型混合廃棄物

)



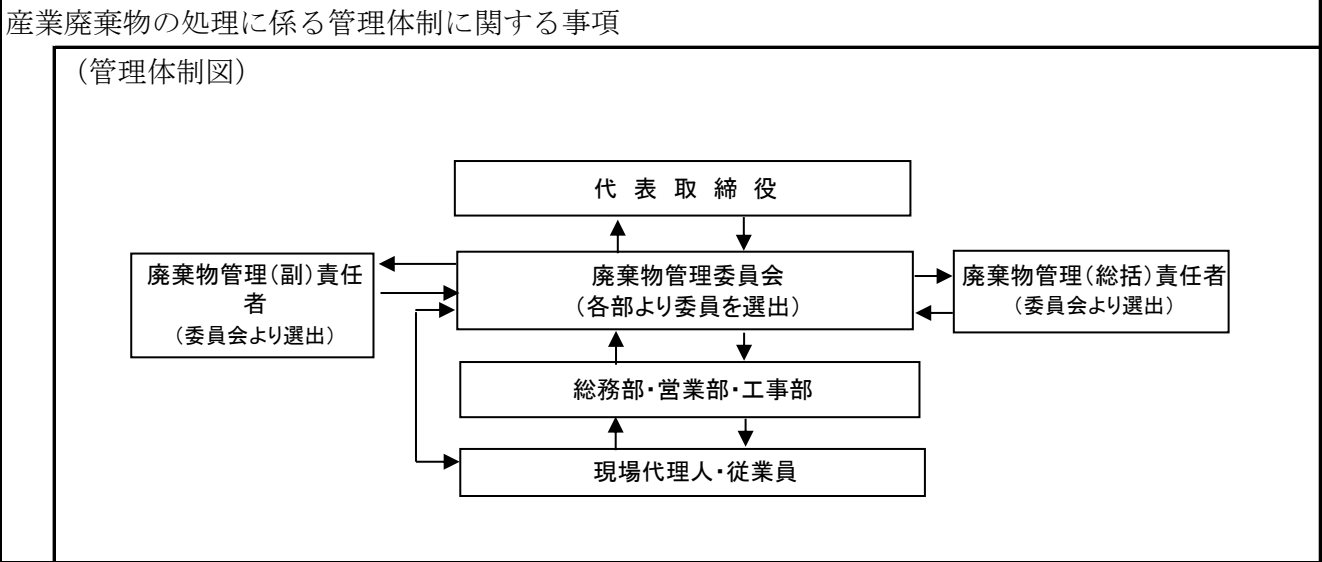
(第2面)

様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第1面）

産業廃棄物処理計画書	
令和7年 6月 12日	
千葉県知事	
熊谷 俊人 殿	
提出者 〒273-0001	
住 所 千葉県船橋市市場5-9-22	
氏 名 京葉都市開発株式会社 代表取締役 酒向 博 (法人にあつては、名称及び代表者の氏名)	
電話番号 047-423-7711	
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。	
事業場の名称	京葉都市開発株式会社
事業場の所在地	千葉県船橋市市場5-9-22
計画期間	令和7年4月1日から令和8年3月31日まで
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
① 事業の種類	D06-総合工事業
② 事業の規模	売上高 3,111百万円
③ 従業員数	56名
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	建設産業廃棄物発生 がれき類 汚泥 廃プラスチック類 木くず ガラス・コンクリート・陶磁器くず 建設混合廃棄物 石綿含有産業廃棄物(がれき類) 石綿含有産業廃棄物 (廃プラスチック類) 水銀使用製品産業廃棄物(蛍光灯) 収集運搬 保管 (分別・再利用) 中間委託処理場 (破碎、圧縮、溶解、 焼却、選別、固化、 中和、脱水、乾燥、) 最終処分場 (埋立) 再資源化 リサイクル

(日本産業規格 A列4番)



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項			
①現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	がれき類	汚泥
	排出量	12741.44 t	30.789 t
	(これまでに実施した取組)		
	・ 廃棄物の分別による排出量抑制 ・ 現場従事者に対して産業廃棄物抑制に関する教育の実施 ・ 余剰材の削減（発注数量確認）		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	がれき類	汚泥
	排出量	10000.0 t	25.0 t
	(今後実施する予定の取組)		
	・ 資材の再利用、転用 ・ 引き続き余剰材の削減（発注数量確認）		

産業廃棄物の分別に関する事項	
①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・ 混合廃棄物は、可能な限り現場内で分別 ・ がれき類は、分別を行い再生資源化施設に排出
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・ 引き続き改修や解体工事で排出される廃棄物を可能な限り種類ごとの分別保管 ・ 上記の保管場所の確保に努める

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
①現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	がれき類	汚泥
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	がれき類	汚泥
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組)		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
①現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	がれき類	汚泥
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	がれき類	汚泥
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組)		

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
①現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	がれき類	汚泥
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	がれき類	汚泥
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組)		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
①現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	がれき類	汚泥
	全処理委託量	12741.44 t	30.789 t
	優良認定処理業者への処理委託量	0.444 t	0 t
	再生利用業者への処理委託量	12740.996 t	30.789 t
	認定熱回収業者への処理委託量	0 t	0 t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	0 t
	(これまでに実施した取組)		
	・委託契約前の廃棄物処分会社の情報確認と現地確認 ・優良認定処理会社との委託契約		

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	がれき類	汚泥
	全処理委託量	10000.0 t	25.0 t
	優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t	0.0 t
	再生利用業者への処理委託量	10000.0 t	25.0 t
	認定熱回収業者への処理委託量	0 t	0 t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組)		
	・優良認定処理会社との委託契約の継続		
	・新規の優良認定処理会社の事前情報調査と現地の確認		
	・電子マニフェストを活用している会社との委託契約		
※事務処理欄			

(第6面)

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1) ①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2) ②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3) ④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項									
	①現状	【前年度（令和6年度）実績】							
		産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	木くず	ガラス・コンクリート・陶磁器くず	建設混合廃棄物	石綿含有産業廃棄物（がれき類）	石綿含有産業廃棄物（廃プラスチック類）	水銀使用製品産業廃棄物（蛍光灯）
		排出量	4.55 t	29.7 t	16.5 t	64.34 t	18.5 t	0.7 t	0.5 t
	②計画	【目標】							
		産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	木くず	ガラス・コンクリート・陶磁器くず	建設混合廃棄物	石綿含有産業廃棄物（がれき類）	石綿含有産業廃棄物（廃プラスチック類）	水銀使用製品産業廃棄物（蛍光灯）
排出量		3.0 t	25.0 t	15.0 t	50.0 t	15.0 t	0.5 t	0.3 t	
自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項									
	①現状	【前年度（令和6年度）実績】							
		産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	木くず	ガラス・コンクリート・陶磁器くず	建設混合廃棄物	石綿含有産業廃棄物（がれき類）	石綿含有産業廃棄物（廃プラスチック類）	水銀使用製品産業廃棄物（蛍光灯）
		自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t
	②計画	【目標】							
		産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	木くず	ガラス・コンクリート・陶磁器くず	建設混合廃棄物	石綿含有産業廃棄物（がれき類）	石綿含有産業廃棄物（廃プラスチック類）	水銀使用製品産業廃棄物（蛍光灯）
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量		0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項									
	①現状	【前年度（令和6年度）実績】							
		産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	木くず	ガラス・コンクリート・陶磁器くず	建設混合廃棄物	石綿含有産業廃棄物（がれき類）	石綿含有産業廃棄物（廃プラスチック類）	水銀使用製品産業廃棄物（蛍光灯）
		自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t
		自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t
	②計画	【目標】							
		産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	木くず	ガラス・コンクリート・陶磁器くず	建設混合廃棄物	石綿含有産業廃棄物（がれき類）	石綿含有産業廃棄物（廃プラスチック類）	水銀使用製品産業廃棄物（蛍光灯）
		自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項									
	②計画	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項								
①現状	【前年度（令和6年度）実績】							
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	木くず	ガラス・コンクリート・陶磁器くず	建設混合廃棄物	石綿含有産業廃棄物（がれき類）	石綿含有産業廃棄物（廃プラスチック類）	水銀使用製品産業廃棄物（蛍光灯）
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t
②計画	【目標】							
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	木くず	ガラス・コンクリート・陶磁器くず	建設混合廃棄物	石綿含有産業廃棄物（がれき類）	石綿含有産業廃棄物（廃プラスチック類）	水銀使用製品産業廃棄物（蛍光灯）
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t
産業廃棄物の処理の委託に関する事項								
①現状	【前年度（令和6年度）実績】							
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	木くず	ガラス・コンクリート・陶磁器くず	建設混合廃棄物	石綿含有産業廃棄物（がれき類）	石綿含有産業廃棄物（廃プラスチック類）	水銀使用製品産業廃棄物（蛍光灯）
	全処理委託量	4.55 t	29.7 t	16.5 t	64.34 t	18.5 t	0.7 t	0.5 t
	優良認定処理業者への処理委託量	4.375 t	29.7 t	16.5 t	22.36 t	18.5 t	0.7 t	0.5 t
	再生利用業者への処理委託量	0.175 t	0 t	0 t	41.98 t	0 t	0 t	0 t
	認定熱回収業者への処理委託量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t
②計画	【目標】							
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	木くず	ガラス・コンクリート・陶磁器くず	建設混合廃棄物	石綿含有産業廃棄物（がれき類）	石綿含有産業廃棄物（廃プラスチック類）	水銀使用製品産業廃棄物（蛍光灯）
	全処理委託量	3.0 t	25.0 t	15.0 t	50.0 t	15.0 t	0.5 t	0.3 t
	優良認定処理業者への処理委託量	3.0 t	25.0 t	15.0 t	20.0 t	15.0 t	0.5 t	0.3 t
	再生利用業者への処理委託量	0.0 t	0.0 t	0.0 t	30.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t
	認定熱回収業者への処理委託量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

令和7年 6月 12日

千葉県知事 熊谷 俊人 殿

提出者 〒273-0001
住 所 千葉県船橋市市場5-9-22
氏 名 京葉都市開発株式会社
代表取締役 酒向 博
電話番号 047-423-7711

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、令和 6 年度の産業廃棄物
処理計画の実施状況を報告します。

事業場の名称	京葉都市開発株式会社
事業場の所在地	千葉県船橋市市場5-9-22
事業の種類	D06-総合工事業
産業廃棄物処理計画における計画期間	令和6年4月1日から令和7年3月31日まで

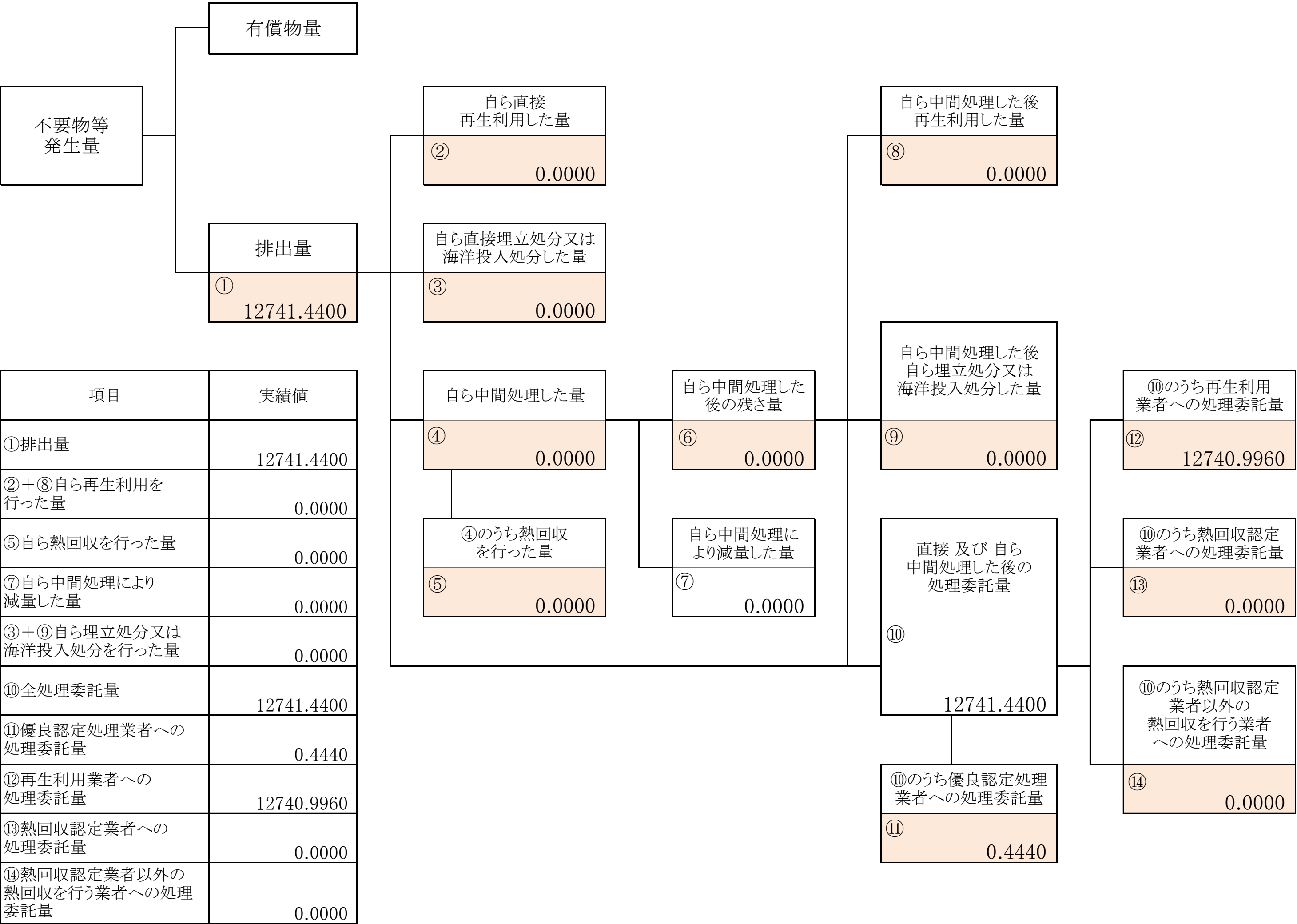
産業廃棄物処理計画における目標値

項目	目標値	項目	目標値
排出量	10672.3 t	全処理委託量	10672.3 t
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0.0 t	優良認定処理業者への処理委託量	1392.3 t
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0.0 t	再生利用業者への処理委託量	9280.0 t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0.0 t	認定熱回収業者への処理委託量	0.0 t
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0.0 t	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

※事務処理欄

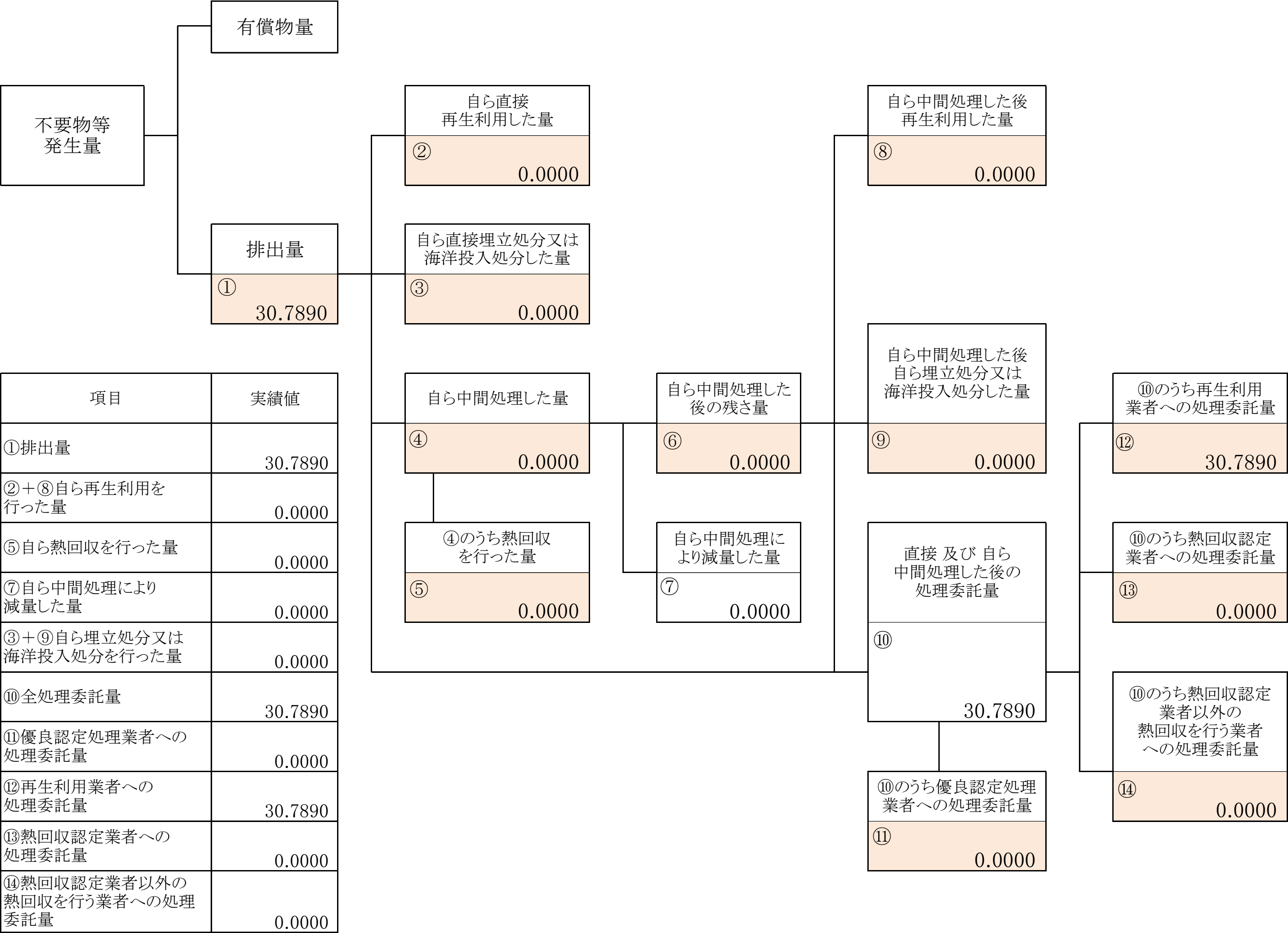
計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: がれき類)



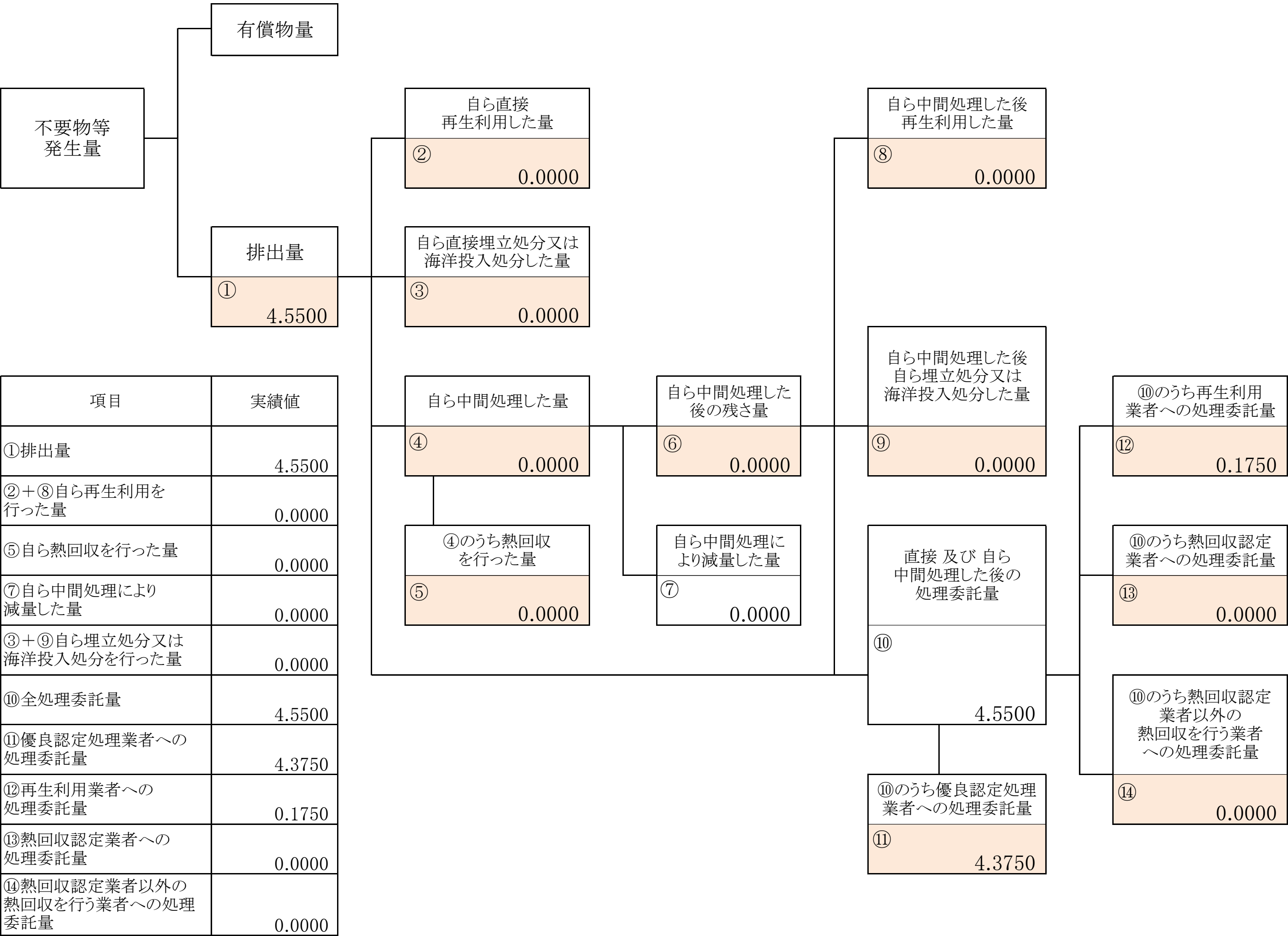
計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: 汚泥)



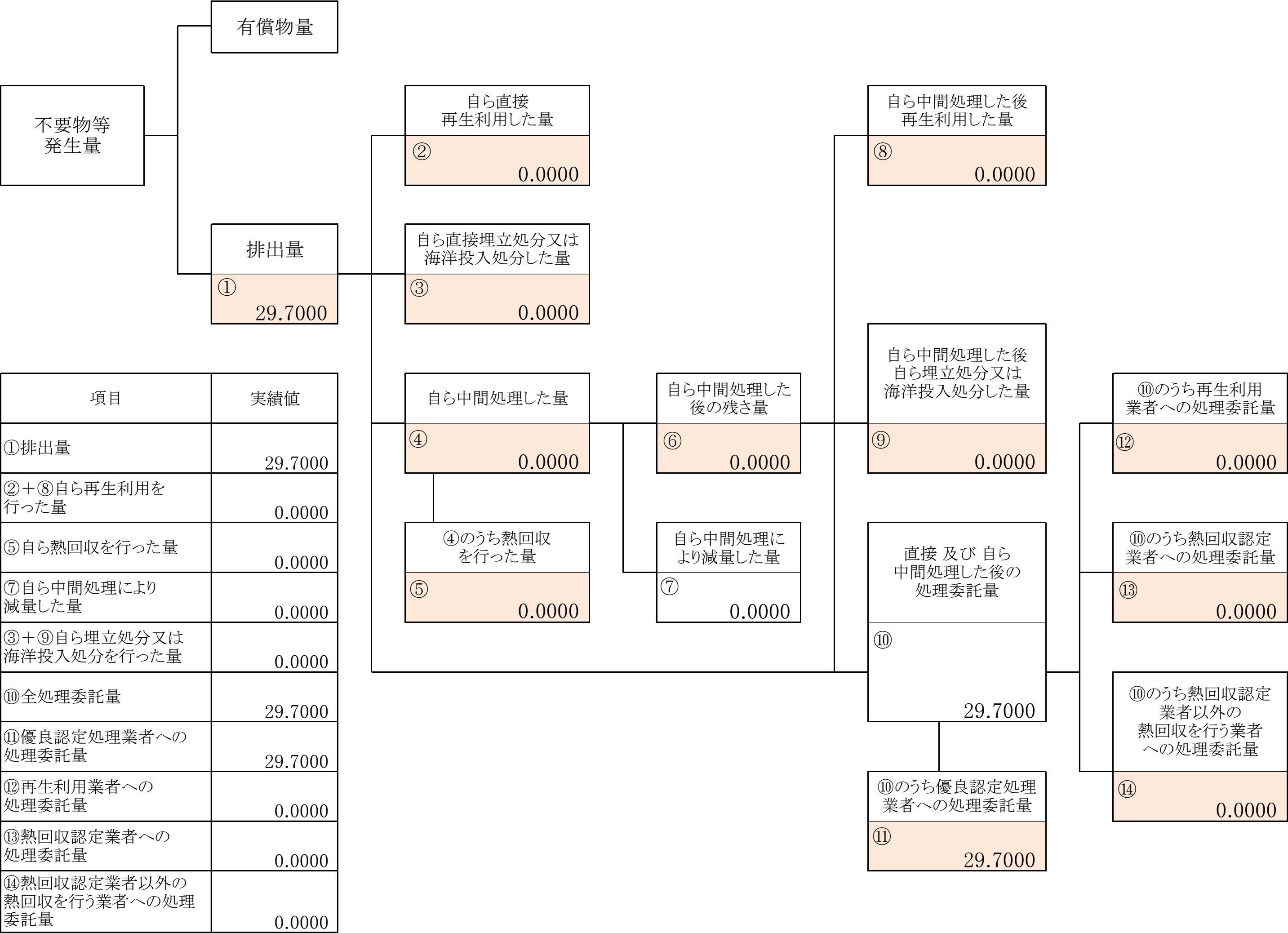
計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: 廃プラスチック類)



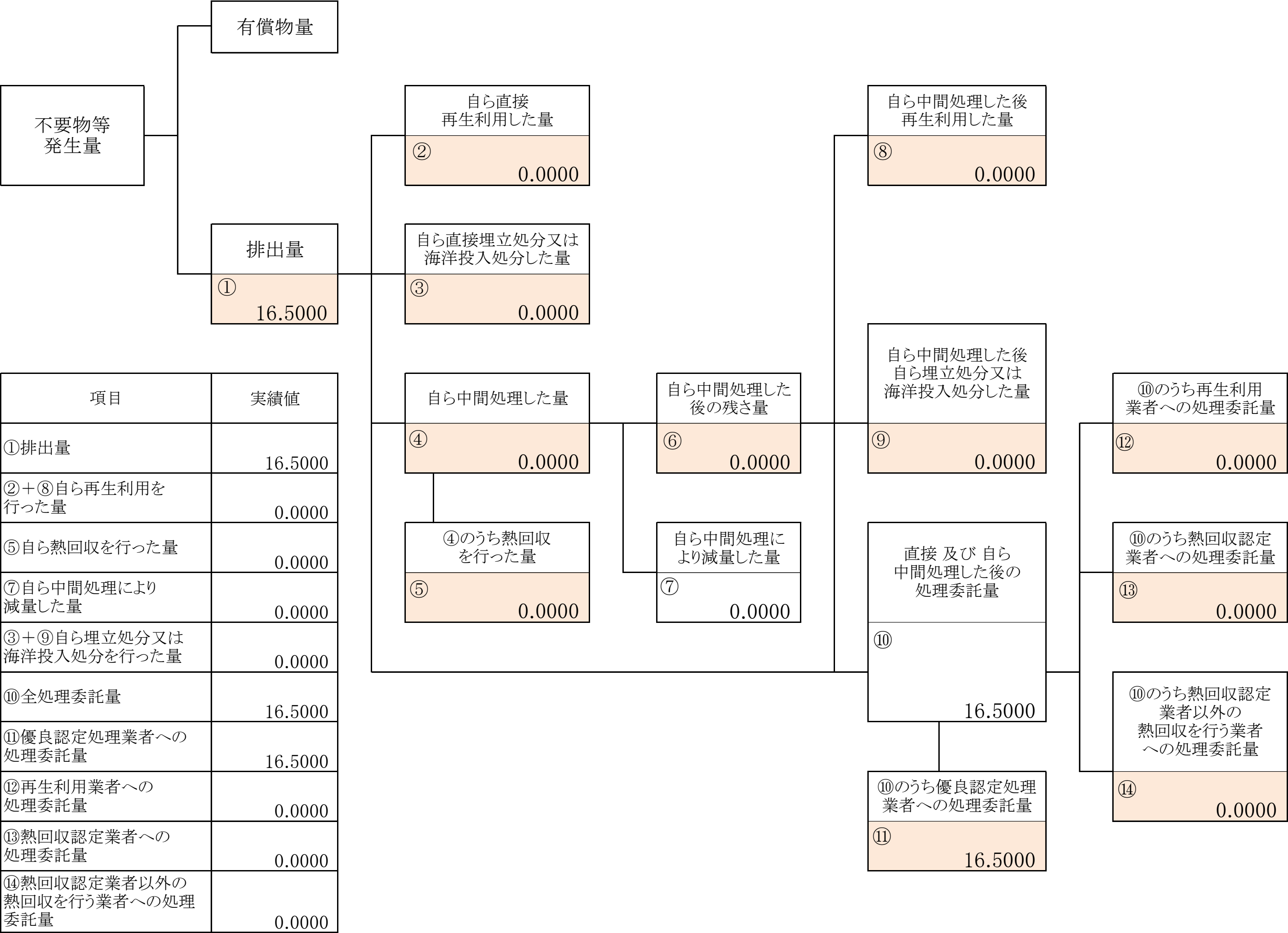
計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: 木くず)



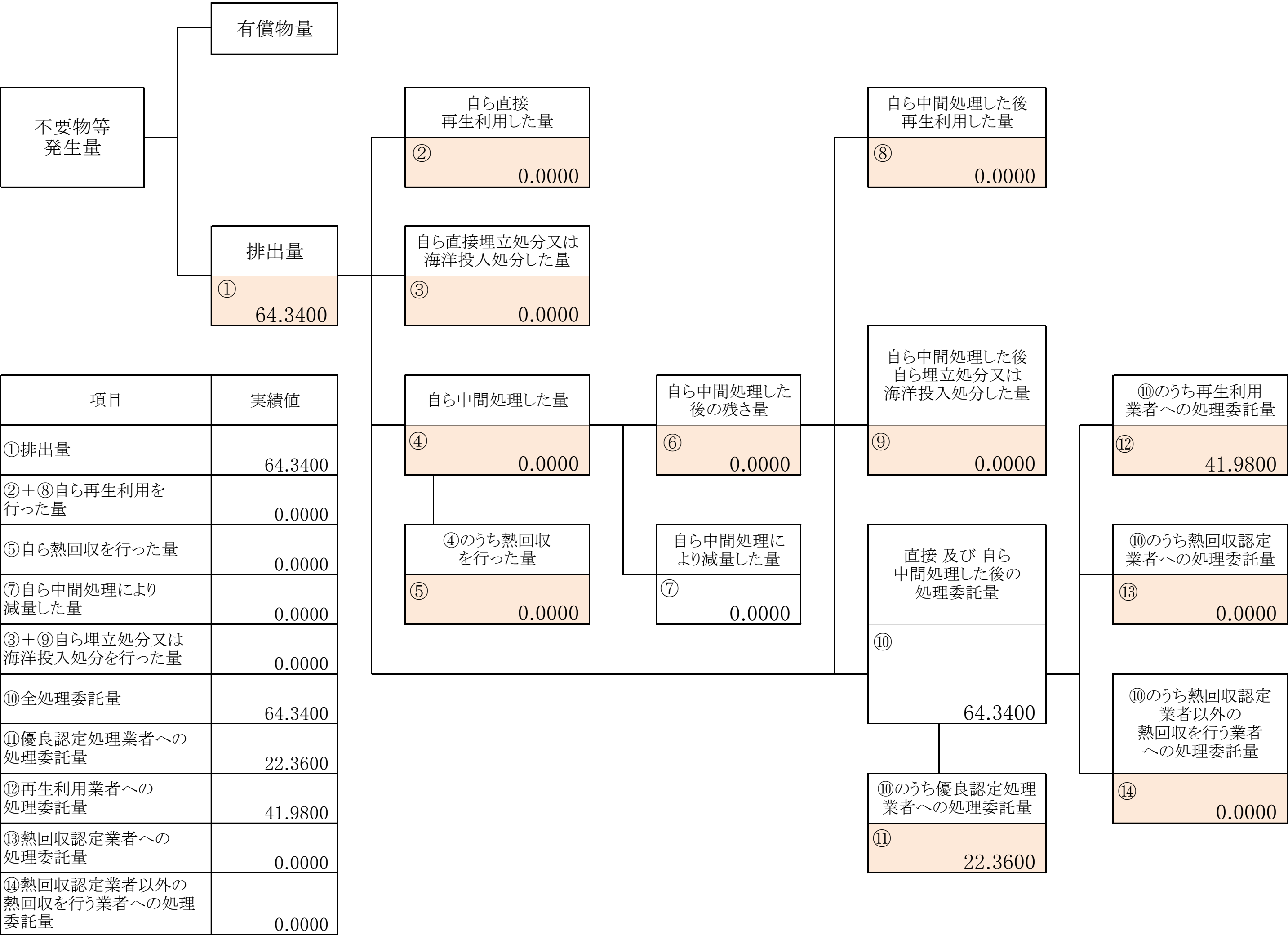
計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: ガラス・コンクリート・陶磁器くず)



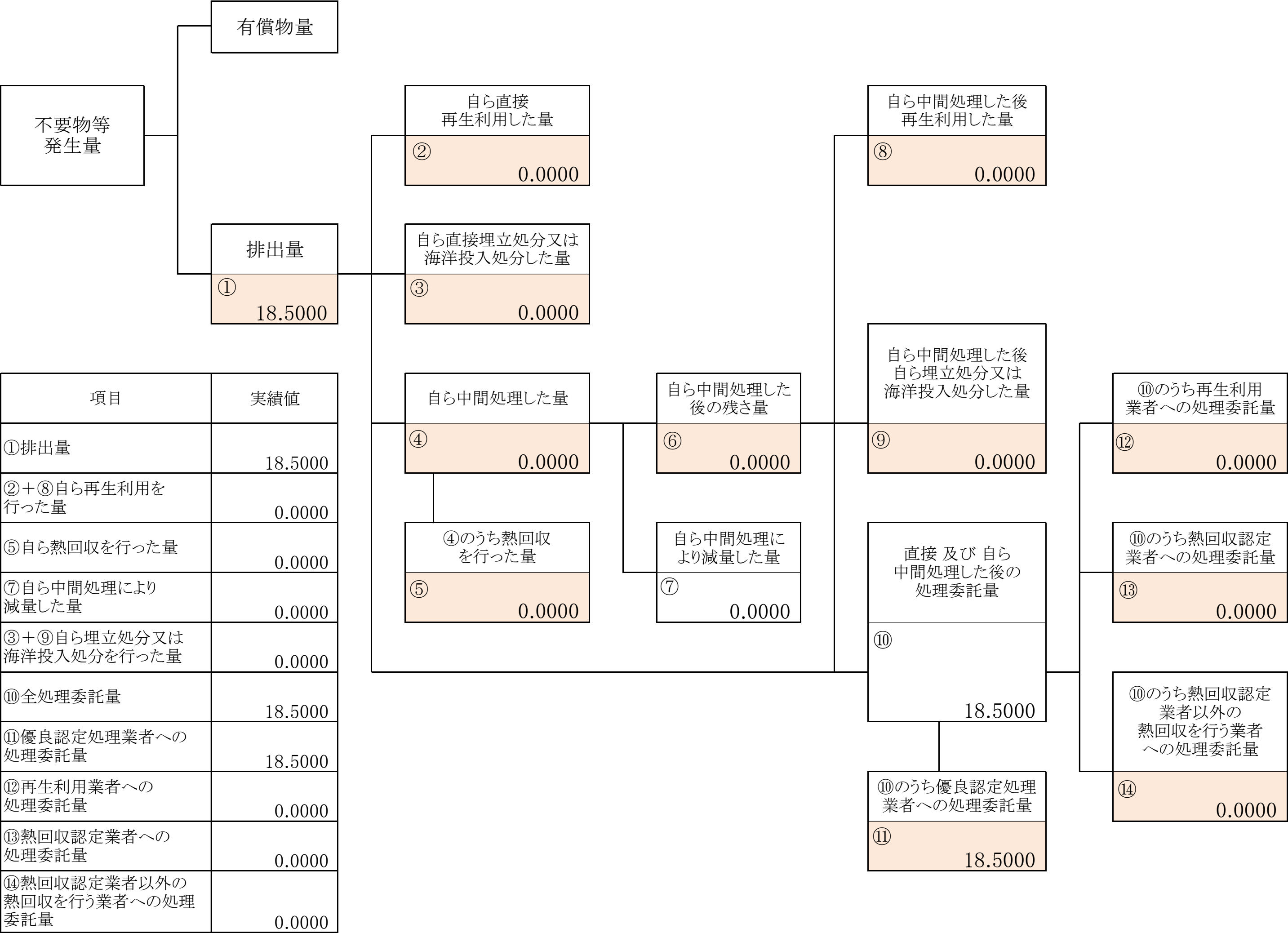
計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: 建設混合廃棄物)



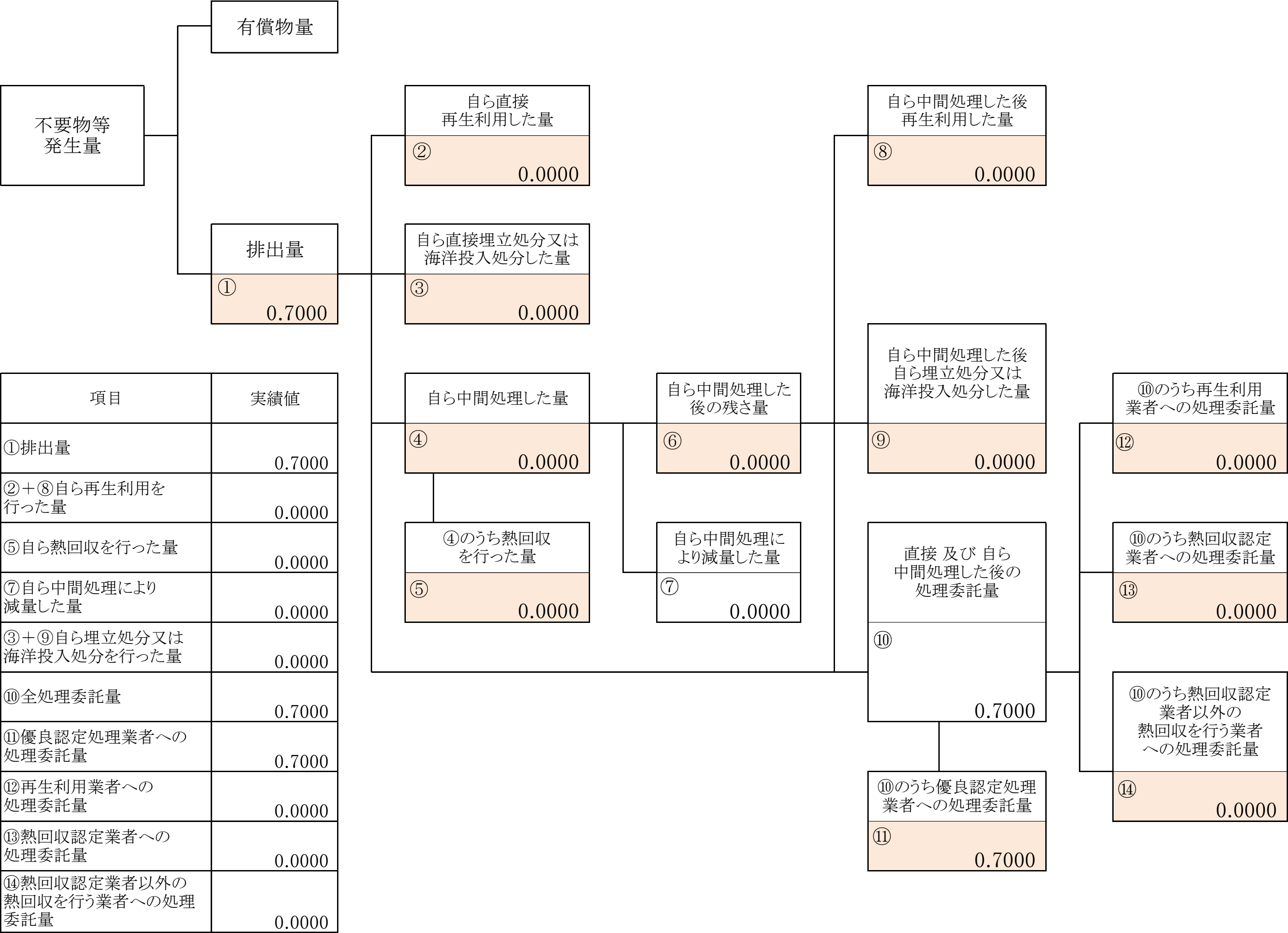
計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: 石綿含有産業廃棄物(がれき類))



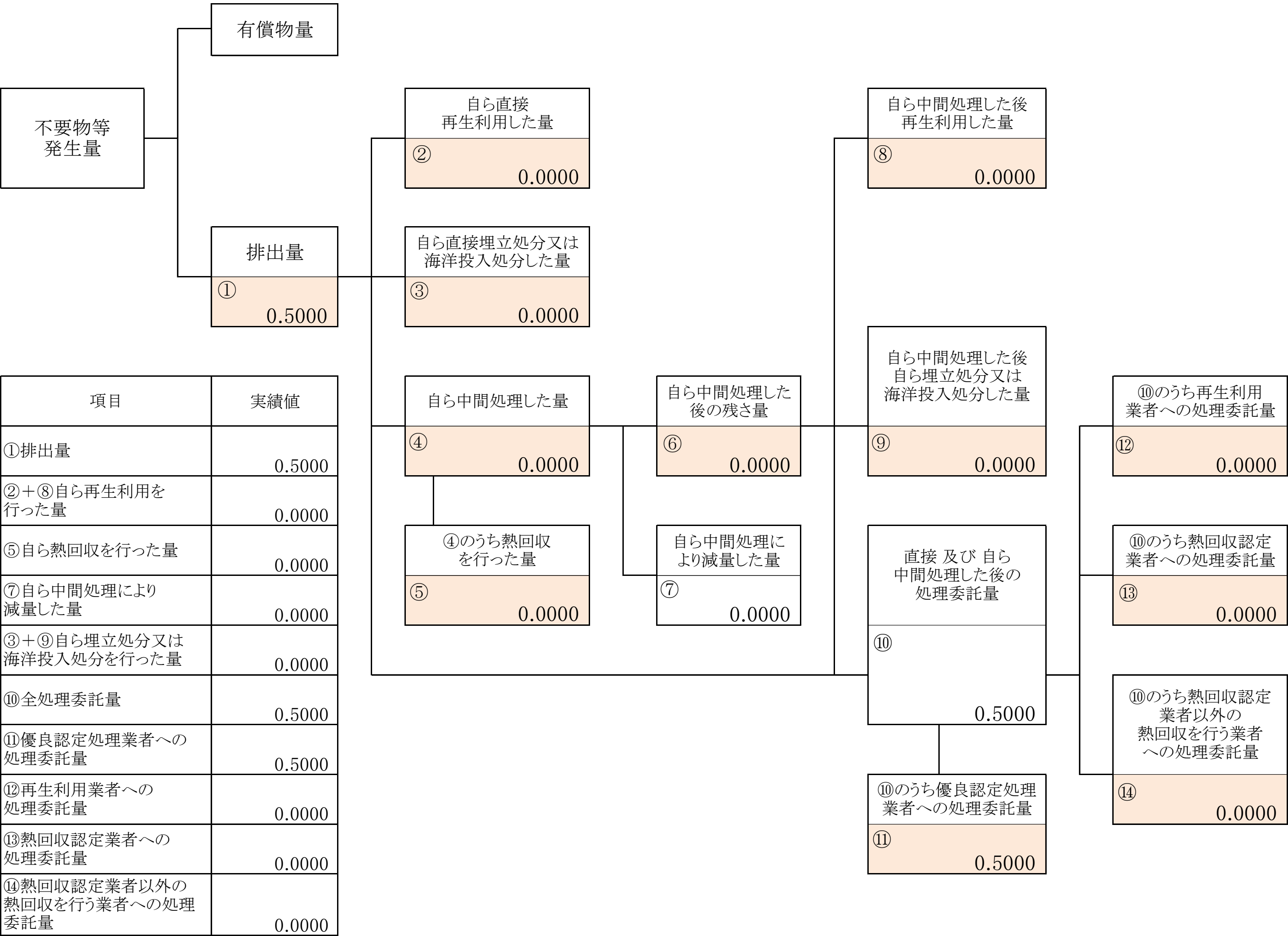
計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: 石綿含有産業廃棄物(廃プラスチック類))



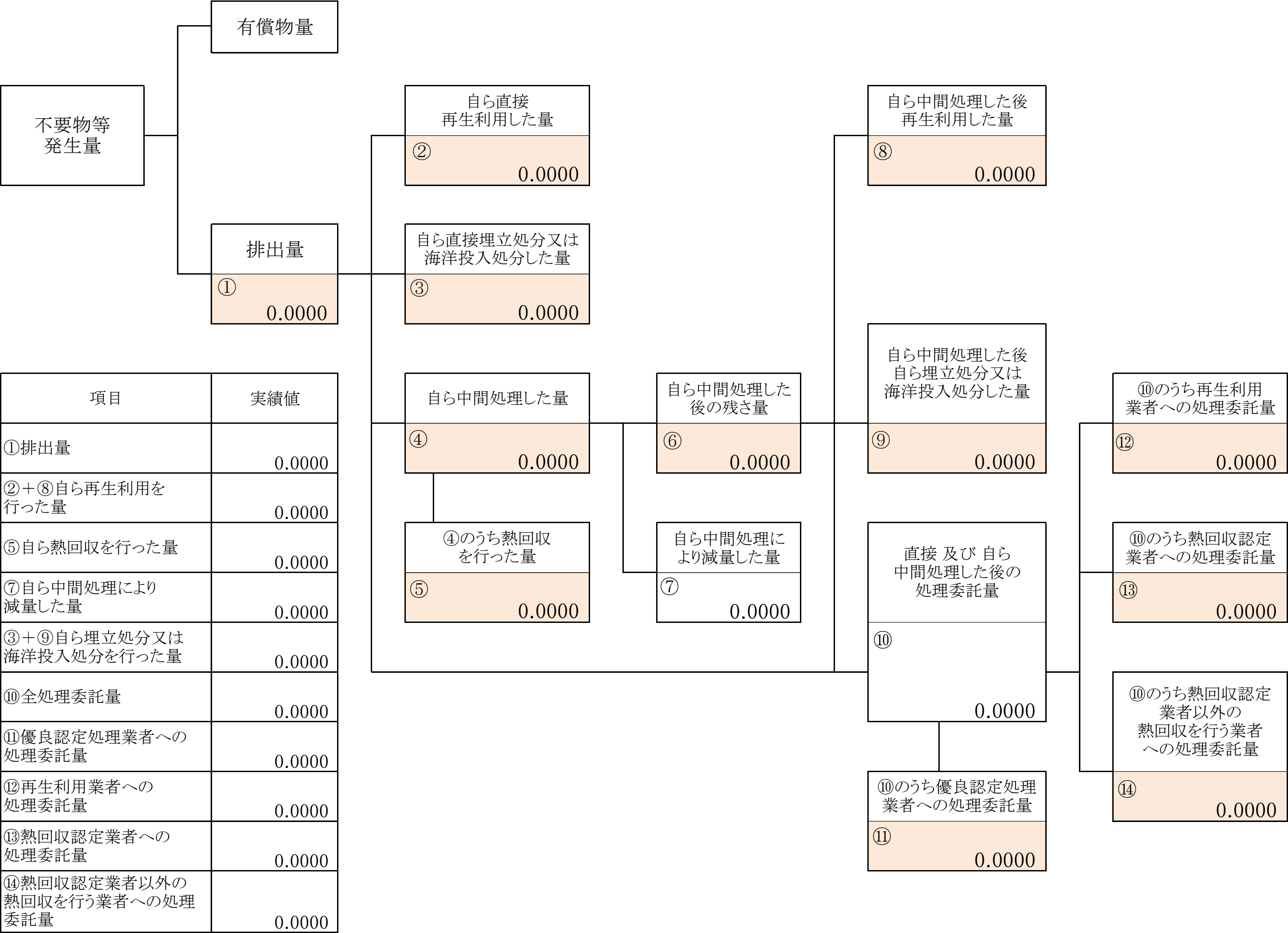
計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: 水銀使用製品産業廃棄物(蛍光灯))



計画の実施状況

(産業廃棄物の種類:)



備考

- 1 翌年度の6月30日までに提出すること。
- 2 「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
- 3 「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。
- 4 第2面には、前年度の産業廃棄物処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。
 - (1) ①欄 当該事業場において生じた産業廃棄物の量
 - (2) ②欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量
 - (3) ③欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
 - (4) ④欄 (1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量
 - (5) ⑤欄 (4)の量のうち、熱回収を行った量
 - (6) ⑥欄 自ら中間処理をした後の量
 - (7) ⑦欄 (4)の量から(6)の量を差し引いた量
 - (8) ⑧欄 (6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量
 - (9) ⑨欄 (6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量
 - (10) ⑩欄 中間処理及び最終処分を委託した量
 - (11) ⑪欄 (10)の量のうち、優良認定処理業者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者)への処理委託量
 - (12) ⑫欄 (10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量
 - (13) ⑬欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者)である処理業者への焼却処理委託量
 - (14) ⑭欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量
- 5 第2面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。
- 6 産業廃棄物の種類が2以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

（第1面）

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

令和7年6月13日

千葉県知事 殿

提出者

住 所 東京都中央区日本橋堀留町1-4-8

氏 名 株式会社建研 東京支店

生源寺智志

（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）

電話番号 03-5651-8219

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、令和6年度の産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

事業場の名称	株式会社建研 東京支店
事業場の所在地	東京都中央区日本橋堀留町1-4-8
事業の種類	総合工事業
産業廃棄物処理計画における計画期間	令和6年4月1日～令和7年3月31日

産業廃棄物処理計画における目標値

項目	目標値	項目	目標値
排出量	1,123.98 t	全処理委託量	1,123.98 t
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0.00 t	優良認定処理業者への処理委託量	0.00 t
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0.00 t	再生利用業者への処理委託量	0.00 t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0.00 t	認定熱回収業者への処理委託量	0.00 t
自ら埋立処分又は海洋投棄処分を行う産業廃棄物の量	0.00 t	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00 t
※事務処理欄			



（日本産業規格 A列4番）

(第2面)

計画の実施状況		(産業廃棄物の種類 廃プラスチック類)				(単位: トン)			
不要物等発生量		有償物量							
排出量		① 4.20		自ら直接利用した量		② 0.00		自ら中間処理した後 再生利用した量	
				自ら直接埋め立て処分 又は海洋投入処分した量		③ 0.00			
				自ら中間処理した量		④ 0.00		自ら中間処理した後 自ら埋立処分 又は海洋投入処分した量	
				④のうち熱回収を行った量		⑤ 0.00		⑥ 0.00	
				自ら中間処理により 減量した量		⑦ 0.00		⑧ 0.00	
								⑨ 0.00	
								⑩のうち再生利用業者 への処理委託量	
								⑫ 0.00	
								⑩のうち熱回収認定業者 への処理委託量	
								⑬ 0.00	
								⑩のうち熱回収認定業者 以外の熱回収を行う業者 への処理委託量	
								⑭ 0.00	
								直接及び自ら中間処理 した後の処理委託量	
								⑩ 4.20	
								⑩のうち優良認定処理 業者への処理委託量	
								⑪ 0.00	

項目	実績値
①排出量	4.20
②+⑧自ら再生利用を行った量	0.00
⑤自ら熱回収を行った量	0.00
⑦自ら中間処理により 減量した量	0.00
③+⑨自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った量	0.00
⑩全処理委託量	4.20
⑪優良認定処理業者への 処理委託量	0.00
⑫再生利用業者への処理委託量	0.00
⑬熱回収認定業者への 処理委託量	0.00
⑭熱回収認定業者以外の 熱回収を行う業者への処理委託量	0.00

(第2面)

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類 木くず)

(単位: トン)

有償物量

不要物等発生量

排出量

①

23.93

自ら直接利用した量

②

0.00

自ら直接埋め立て処分
又は海洋投入処分した量

③

0.00

自ら中間処理した後
再生利用した量

⑧

0.00

項目

実績値

項目	実績値
①排出量	23.93
②+⑧自ら再生利用を行った量	0.00
⑤自ら熱回収を行った量	0.00
⑦自ら中間処理により 減量した量	0.00
③+⑨自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った量	0.00
⑩全処理委託量	23.93
⑪優良認定処理業者への 処理委託量	0.00
⑫再生利用業者への処理委託量	0.00
⑬熱回収認定業者への 処理委託量	0.00
⑭熱回収認定業者以外の 熱回収を行う業者への処理委託量	0.00

自ら中間処理した量

④

0.00

④のうち熱回収を行った量

⑤

0.00

自ら中間処理した
後の残さ量

⑥

0.00

自ら中間処理により
減量した量

⑦

0.00

自ら中間処理した後
自ら埋立処分
又は海洋投入処分した量

⑨

0.00

直接及び自ら中間処理
した後の処理委託量

⑩

23.93

⑩のうち優良認定処理
業者への処理委託量

⑪

0.00

⑩のうち再生利用業者
への処理委託量

⑫

0.00

⑩のうち熱回収認定業者
への処理委託量

⑬

0.00

⑩のうち熱回収認定業者
以外の熱回収を行う業者
への処理委託量

⑭

0.00

(第2面)

計画の実施状況		(産業廃棄物の種類 ガラス陶磁器等くず)				(単位: トン)			
不要物等発生量		有償物量							
排出量		自ら直接利用した量		自ら中間処理した後 再生利用した量					
① 1.00		② 0.00		⑧ 0.00					
		自ら直接埋め立て処分 又は海洋投入処分した量							
		③ 0.00							
		自ら中間処理した量		自ら中間処理した 後の残さ量		自ら中間処理した後 自ら埋立処分 又は海洋投入処分した量		⑩のうち再生利用業者 への処理委託量	
		④ 0.00		⑥ 0.00		⑨ 0.00		⑫ 0.00	
		④のうち熱回収を行った量		自ら中間処理により 減量した量		直接及び自ら中間処理 した後の処理委託量		⑩のうち熱回収認定業者 への処理委託量	
		⑤ 0.00		⑦ 0.00		⑩ 1.00		⑬ 0.00	
						⑩のうち優良認定処理 業者への処理委託量		⑭ 0.00	
						⑪ 0.00			

項目	実績値
①排出量	1.00
②+⑧自ら再生利用を行った量	0.00
⑤自ら熱回収を行った量	0.00
⑦自ら中間処理により 減量した量	0.00
③+⑨自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った量	0.00
⑩全処理委託量	1.00
⑪優良認定処理業者への 処理委託量	0.00
⑫再生利用業者への処理委託量	0.00
⑬熱回収認定業者への 処理委託量	0.00
⑭熱回収認定業者以外の 熱回収を行う業者への処理委託量	0.00

(第2面)

計画の実施状況		(産業廃棄物の種類 廃石膏ボード)				(単位: トン)			
不要物等発生量		有償物量							
排出量		① 14.55		自ら直接利用した量		② 0.00		自ら中間処理した後 再生利用した量	
				自ら直接埋め立て処分 又は海洋投入処分した量		③ 0.00			
項目		実績値		自ら中間処理した量		自ら中間処理した 後の残さ量		自ら中間処理した後 自ら埋立処分 又は海洋投入処分した量	
①排出量		14.55		④ 0.00		⑥ 0.00		⑨ 0.00	
②+⑧自ら再生利用を行った量		0.00		④のうち熱回収を行った量		自ら中間処理により 減量した量		直接及び自ら中間処理 した後の処理委託量	
⑤自ら熱回収を行った量		0.00		⑤ 0.00		⑦ 0.00		⑩ 14.55	
⑦自ら中間処理により 減量した量		0.00						⑩のうち再生利用業者 への処理委託量	
③+⑨自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った量		0.00						⑩のうち熱回収認定業者 への処理委託量	
⑩全処理委託量		14.55						⑩のうち熱回収認定業者 以外の熱回収を行う業者 への処理委託量	
⑪優良認定処理業者への 処理委託量		0.00						⑫ 0.00	
⑫再生利用業者への処理委託量		0.00						⑬ 0.00	
⑬熱回収認定業者への 処理委託量		0.00						⑭ 0.00	
⑭熱回収認定業者以外の 熱回収を行う業者への処理委託量		0.00						⑪ 0.00	

(第2面)

計画の実施状況		(産業廃棄物の種類コンクリート片)				(単位: トン)			
不要物等発生量		有償物量							
排出量		自ら直接利用した量		自ら中間処理した後 再生利用した量					
① 5.33		② 0.00		⑧ 0.00					
		自ら直接埋め立て処分 又は海洋投入処分した量							
		③ 0.00							
		自ら中間処理した量		自ら中間処理した 後の残さ量		自ら中間処理した後 自ら埋立処分 又は海洋投入処分した量		⑩のうち再生利用業者 への処理委託量	
		④ 0.00		⑥ 0.00		⑨ 0.00		⑫ 0.00	
		④のうち熱回収を行った量		自ら中間処理により 減量した量		直接及び自ら中間処理 した後の処理委託量		⑩のうち熱回収認定業者 への処理委託量	
		⑤ 0.00		⑦ 0.00		⑩ 5.33		⑬ 0.00	
								⑩のうち熱回収認定業者 以外の熱回収を行う業者 への処理委託量	
								⑭ 0.00	
						⑩のうち優良認定処理 業者への処理委託量			
						⑪ 0.00			

項目	実績値
①排出量	5.33
②+⑧自ら再生利用を行った量	0.00
⑤自ら熱回収を行った量	0.00
⑦自ら中間処理により 減量した量	0.00
③+⑨自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った量	0.00
⑩全処理委託量	5.33
⑪優良認定処理業者への 処理委託量	0.00
⑫再生利用業者への処理委託量	0.00
⑬熱回収認定業者への 処理委託量	0.00
⑭熱回収認定業者以外の 熱回収を行う業者への処理委託量	0.00

(第2面)

計画の実施状況		(産業廃棄物の種類その他がれき類)				(単位: トン)			
不要物等発生量		有償物量							
排出量		自ら直接利用した量		自ら中間処理した後 再生利用した量					
① 15.54		② 0.00		⑧ 0.00					
		自ら直接埋め立て処分 又は海洋投入処分した量							
		③ 0.00							
		自ら中間処理した量		自ら中間処理した 後の残さ量		自ら中間処理した後 自ら埋立処分 又は海洋投入処分した量		⑩のうち再生利用業者 への処理委託量	
		④ 0.00		⑥ 0.00		⑨ 0.00		⑫ 0.00	
		④のうち熱回収を行った量		自ら中間処理により 減量した量				⑩のうち熱回収認定業者 への処理委託量	
		⑤ 0.00		⑦ 0.00				⑬ 0.00	
						直接及び自ら中間処理 した後の処理委託量		⑩のうち熱回収認定業者 以外の熱回収を行う業者 への処理委託量	
						⑩ 15.54		⑭ 0.00	
						⑩のうち優良認定処理 業者への処理委託量			
						⑪ 0.00			

項目	実績値
①排出量	15.54
②+⑧自ら再生利用を行った量	0.00
⑤自ら熱回収を行った量	0.00
⑦自ら中間処理により 減量した量	0.00
③+⑨自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った量	0.00
⑩全処理委託量	15.54
⑪優良認定処理業者への 処理委託量	0.00
⑫再生利用業者への処理委託量	0.00
⑬熱回収認定業者への 処理委託量	0.00
⑭熱回収認定業者以外の 熱回収を行う業者への処理委託量	0.00

(第3面)

備考

- 1 翌年度の6月30日までに提出すること。
- 2 「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
- 3 「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。
- 4 第2面には、前年度の産業廃棄物の処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。
 - (1) ①欄 当該事業場において生じた産業廃棄物の量
 - (2) ②欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量
 - (3) ③欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
 - (4) ④欄 (1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量
 - (5) ⑤欄 (4)の量のうち、熱回収を行った量
 - (6) ⑥欄 自ら中間処理をした後の量
 - (7) ⑦欄 (4)の量から(6)の量を差し引いた量
 - (8) ⑧欄 (6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量
 - (9) ⑨欄 (6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量
 - (10) ⑩欄 中間処理及び最終処分を委託した量
 - (11) ⑪欄 (10)の量のうち、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量
 - (12) ⑫欄 (10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量
 - (13) ⑬欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量
 - (14) ⑭欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量
- 5 第2面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。
- 6 産業廃棄物の種類が2以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第 1 面）

産業廃棄物処理計画書

令和7年5月27日

千葉県知事
熊谷 俊人 殿

提出者 270-1166
住 所 千葉県我孫子市我孫子 3 丁目 2 2 番
1 6 号
法人名 小池起業株式会社
代表者 小池 新一
（法人にあつては、名称及び代表者の氏名）
電話番号 04-7184-0251

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第 9 項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	小池起業株式会社
事業場の所在地	千葉県我孫子市我孫子 3 丁目 2 2 番 1 6 号 （現場：我孫子市）
計画期間	令和7年4月1日 から 令和8年3月31日

当該事業場において現に行っている事業に関する事項

①事業の種類	大分類： 建設業 中分類： 総合工事業
②事業の規模	元請完成工事高 3 0 8 百万円
③従業員数	1 3 人
④産業廃棄物の 一連の処理の工程	[別紙（処理工程）]

（日本産業規格 A列4番）

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項			
(管理体制図) 「別紙 (管理体制) 」			
産業廃棄物の排出の抑制に関する事項			
①現状	【前年度 (令和6年度) 実績】		
	産業廃棄物の種類	アスファルト・コンクリート殻	コンクリート殻
	排出量	1417 t	13 t
	(これまでに実施した取組) 中間処理施設へ搬入し再資源化に努めている。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	アスファルト・コンクリート殻	コンクリート殻
	排出量	1410 t	10 t
	(今後実施する予定の取組) 今後とも中間処理施設へ搬入し、再資源化に努める。		
産業廃棄物の分別に関する事項			
①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) アスファルト殻、コンクリート殻等、がれき類の種類ごとに分別し、中間処理施設へ搬入し、アスファルト殻については、合材プラントの中間処理施設へ搬入する。その他の廃棄物についても分別し中間処理施設へ搬入し処分する。		
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 今後とも分別して中間処理施設へ搬入し再利用するように努める。		

(第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
①現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	アスファルト・コンクリート殻	コンクリート殻
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	アスファルト・コンクリート殻	コンクリート殻
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組)		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
①現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	アスファルト・コンクリート殻	コンクリート殻
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	アスファルト・コンクリート殻	コンクリート殻
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組)		

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	アスファルト・コンクリート殻	コンクリート殻
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	アスファルト・コンクリート殻	コンクリート殻
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組)		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	アスファルト・コンクリート殻	コンクリート殻
	全 処 理 委 託 量	1417 t	13 t
	優良認定処理業者への処理委託量	0 t	0 t
	再生利用業者への処理委託量	1417 t	13 t
	認定熱回収業者への処理委託量	0 t	0 t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	0 t
	(これまでに実施した取組)		
	中間処理施設へ処理を委託し、再資源化に努めている。		

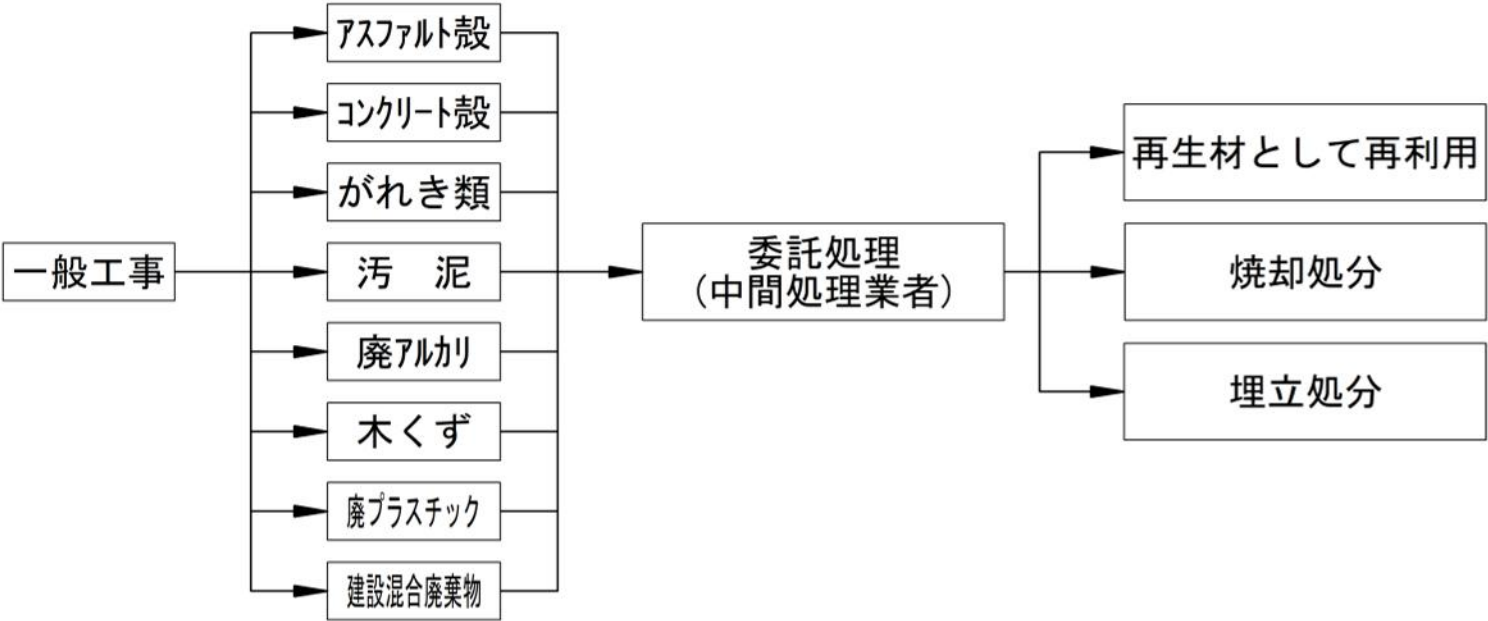
(第5面)

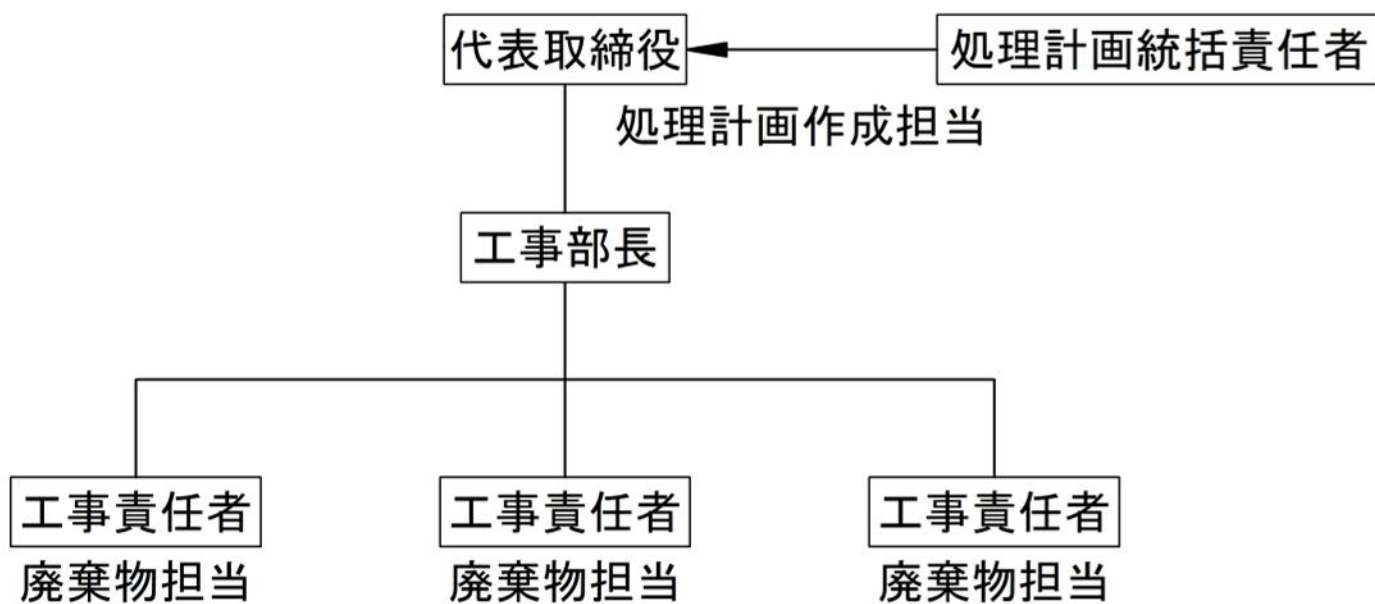
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	アスファルト・コンクリート殻	コンクリート殻
	全 処 理 委 託 量	1410 t	10 t
	優良認定処理業者への処理委託量	0 t	0 t
	再生利用業者への処理委託量	1410 t	10 t
	認定熱回収業者への処理委託量	0 t	0 t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組)		
	今後とも中間処理施設へ処理を委託し、再資源化に努める。		
	※事務処理欄		

(第6面)

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1) ①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2) ②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3) ④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。





産業廃棄物の排出の抑制に関する事項									
①現状	【前年度（令和6年度）実績】								
	産業廃棄物の種類	がれき類	汚泥	廃アルカリ	木くず	廃プラスチック	建設混合廃棄物		
	排 出 量	529 t	6.6 t	10.5 t	0.8 t	2.1 t	0.1 t	t	t
	【目標】								
②計画	産業廃棄物の種類	がれき類	汚泥	廃アルカリ	木くず	廃プラスチック	建設混合廃棄物		
	排 出 量	520 t	6 t	10 t	0.5 t	2 t	0.1 t	t	t
自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項									
①現状	【前年度（令和6年度）実績】								
	産業廃棄物の種類	がれき類	汚泥	廃アルカリ	木くず	廃プラスチック	建設混合廃棄物		
	自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	t	t
	【目標】								
②計画	産業廃棄物の種類	がれき類	汚泥	廃アルカリ	木くず	廃プラスチック	建設混合廃棄物		
	自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	t	t
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項									
①現状	【前年度（令和6年度）実績】								
	産業廃棄物の種類	がれき類	汚泥	廃アルカリ	木くず	廃プラスチック	建設混合廃棄物		
	自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	t	t
	自ら中間処理により減量した 産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	t	t
②計画	【目標】								
	産業廃棄物の種類	がれき類	汚泥	廃アルカリ	木くず	廃プラスチック	建設混合廃棄物		
	自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	t	t
	自ら中間処理により減量する 産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	t	t

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項									
①現状	【前年度（令和6年度）実績】								
	産業廃棄物の種類	がれき類	汚泥	廃アルカリ	木くず	廃プラスチック	建設混合廃棄物		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	t	t
②計画	【目標】								
	産業廃棄物の種類	がれき類	汚泥	廃アルカリ	木くず	廃プラスチック	建設混合廃棄物		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	t	t
産業廃棄物の処理の委託に関する事項									
①現状	【前年度（令和6年度）実績】								
	産業廃棄物の種類	がれき類	汚泥	廃アルカリ	木くず	廃プラスチック	建設混合廃棄物		
	全処理委託量	529 t	6.6 t	10.5 t	0.8 t	2.1 t	0.1 t	t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	0 t	6.6 t	0 t	0.8 t	2.1 t	0.1 t	t	t
	再生利用業者への処理委託量	529 t	6.6 t	10.5 t	0.8 t	2.1 t	0.1 t	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	t	t
②計画	【目標】								
	産業廃棄物の種類	がれき類	汚泥	廃アルカリ	木くず	廃プラスチック	建設混合廃棄物		
	全処理委託量	520 t	6 t	10 t	0.5 t	2 t	0.1 t	t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	0 t	6 t	0 t	0.5 t	2 t	0.1 t	t	t
	再生利用業者への処理委託量	520 t	6 t	10 t	0.5 t	2 t	0.1 t	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	t	t

(第1面)

産業廃棄物処理計画実施状況報告書			
令和7年8月9日			
千葉県知事 熊谷 俊人 殿			
提出者 270-1166			
住所 千葉県我孫子市我孫子3丁目22番16号			
法人名 小池起業株式会社			
代表者 小池 新一			
(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)			
電話番号 04-7184-0251			
産業廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、令和 6 年度の産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。			
事業場の名称	小池起業株式会社		
事業場の所在地	千葉県我孫子市我孫子3丁目22番16号 (現場:我孫子市)		
事業の種類	大分類 建設業 中分類 総合工事業		
産業廃棄物処理計画における計画期間	令和6年4月1日 から 令和7年3月31日		
産業廃棄物処理計画における目標値			
項目	目標値	項目	目標値
排出量	3469 t	全処理委託量	3469 t
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0 t	優良認定処理業者への処理委託量	1 t
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0 t	再生利用業者への処理委託量	3469 t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0 t	認定熱回収業者への処理委託量	0 t
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0 t	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t

N0.1

(第2面)

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類:

アスファルト・コンクリート殻)

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

不要物等発生量	有償物量		②自ら直接再生利用した量	⑧自ら中間処理した後再生利用した量																						
			0.0 t	0.0 t																						
	①排出量		③自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量																							
	1417.0t		0.0 t																							
<table><thead><tr><th>項目</th><th>実績値</th></tr></thead><tbody><tr><td>①排出量</td><td>1417.0 t</td></tr><tr><td>②+⑧自ら再生利用を行った量</td><td>0.0 t</td></tr><tr><td>⑤自ら熱回収を行った量</td><td>0.0 t</td></tr><tr><td>⑦自ら中間処理により減量した量</td><td>0.0 t</td></tr><tr><td>③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量</td><td>0.0 t</td></tr><tr><td>⑩全処理委託量</td><td>1417.0 t</td></tr><tr><td>⑪優良認定処理業者への処理委託量</td><td>0.0 t</td></tr><tr><td>⑫再生利用業者への処理委託量</td><td>1417.0 t</td></tr><tr><td>⑬熱回収認定業者への処理委託量</td><td>0.0 t</td></tr><tr><td>⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量</td><td>0.0 t</td></tr></tbody></table>	項目	実績値	①排出量	1417.0 t	②+⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t	⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t	⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t	③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t	⑩全処理委託量	1417.0 t	⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t	⑫再生利用業者への処理委託量	1417.0 t	⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t	⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t	④自ら中間処理した量	⑥自ら中間処理した後の残さ量	⑨自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量	⑫ ⑩のうち再生利用業者への処理委託量
	項目	実績値																								
	①排出量	1417.0 t																								
	②+⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t																								
	⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t																								
	⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t																								
	③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t																								
	⑩全処理委託量	1417.0 t																								
	⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t																								
	⑫再生利用業者への処理委託量	1417.0 t																								
	⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t																								
	⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t																								
		0.0 t	0.0 t	0.0t	1417.0 t																					
		⑤ ④のうち熱回収を行った量	⑦自ら中間処理により減量した量		⑬ ⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量																					
	0.0 t	0.0 t		0.0 t																						
			⑩直接及び自ら中間処理した後の処理委託量	⑭ ⑩のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量																						
			1417.0 t																							
			⑪ ⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量																							
			0.0 t	0.0 t																						

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: コンクリート殻)

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

不要物等発生量

有償物量

②自ら直接再生利用した量
0.0 t

③自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量
0.0 t

⑧自ら中間処理した後再生利用した量
0.0 t

①排出量
13.0t

④自ら中間処理した量
0.0 t

⑥自ら中間処理した後の残さ量
0.0 t

⑨自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
0.0t

⑤ ④のうち熱回収を行った量
0.0 t

⑦自ら中間処理により減量した量
0.0 t

⑩直接及び自ら中間処理した後の処理委託量
13.0 t

⑪ ⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量
0.0 t

⑫ ⑩のうち再生利用業者への処理委託量
13.0 t

⑬ ⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量
0.0 t

⑭ ⑩のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量
0.0 t

項目	実績値
①排出量	13.0 t
②+⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	13.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	13.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: がれき類)

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

不要物等発生量

有償物量

②自ら直接再生利用した量
0.0 t

③自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量
0.0 t

⑧自ら中間処理した後再生利用した量
0.0 t

①排出量
529.0t

④自ら中間処理した量
0.0 t

⑥自ら中間処理した後の残さ量
0.0 t

⑨自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
0.0t

⑤ ④のうち熱回収を行った量
0.0 t

⑦自ら中間処理により減量した量
0.0 t

⑩直接及び自ら中間処理した後の処理委託量
529.0 t

⑪ ⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量
0.0 t

⑫ ⑩のうち再生利用業者への処理委託量
529.0 t

⑬ ⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量
0.0 t

⑭ ⑩のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量
0.0 t

項目	実績値
①排出量	529.0 t
②+⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	529.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	529.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類：汚泥)

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

不要物等発生量

有償物量

②自ら直接再生利用した量
0.0 t

③自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量
0.0 t

⑧自ら中間処理した後再生利用した量
0.0 t

①排出量
6.6t

④自ら中間処理した量
0.0 t

⑥自ら中間処理した後の残さ量
0.0 t

⑨自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
0.0t

⑤ ④のうち熱回収を行った量
0.0 t

⑦自ら中間処理により減量した量
0.0 t

⑩直接及び自ら中間処理した後の処理委託量
6.6 t

⑪ ⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量
6.6 t

⑫ ⑩のうち再生利用業者への処理委託量
6.6 t

⑬ ⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量
0.0 t

⑭ ⑩のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量
0.0 t

項目	実績値
①排出量	6.6 t
②+⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	6.6 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	6.6 t
⑫再生利用業者への処理委託量	6.6 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: 廃アルカリ)

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

不要物等発生量

有償物量

②自ら直接再生利用した量
0.0 t

③自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量
0.0 t

④自ら中間処理した量
0.0 t

⑤ ④のうち熱回収を行った量
0.0 t

⑥自ら中間処理した後の残さ量
0.0 t

⑦自ら中間処理により減量した量
0.0 t

⑧自ら中間処理した後再生利用した量
0.0 t

⑨自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
0.0 t

⑩直接及び自ら中間処理した後の処理委託量
10.5 t

⑪ ⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量
0.0 t

⑫ ⑩のうち再生利用業者への処理委託量
10.5 t

⑬ ⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量
0.0 t

⑭ ⑩のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量
0.0 t

①排出量
10.5t

項目	実績値
①排出量	10.5 t
②+⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	10.5 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	10.5 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: 木くず)

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

不要物等発生量

有償物量

②自ら直接再生利用した量
0.0 t

③自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量
0.0 t

④自ら中間処理した量
0.0 t

⑤ ④のうち熱回収を行った量
0.0 t

⑥自ら中間処理した後の残さ量
0.0 t

⑦自ら中間処理により減量した量
0.0 t

⑧自ら中間処理した後再生利用した量
0.0 t

⑨自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
0.0 t

⑩直接及び自ら中間処理した後の処理委託量
0.8 t

⑪ ⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量
0.8 t

⑫ ⑩のうち再生利用業者への処理委託量
0.8 t

⑬ ⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量
0.0 t

⑭ ⑩のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量
0.0 t

①排出量
0.8 t

項目	実績値
①排出量	0.8 t
②+⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.8 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.8 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.8 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: 廃プラスチック)

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

不要物等発生量

有償物量

②自ら直接再生利用した量
0.0 t

③自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量
0.0 t

④自ら中間処理した量
0.0 t

⑤ ④のうち熱回収を行った量
0.0 t

⑥自ら中間処理した後の残さ量
0.0 t

⑦自ら中間処理により減量した量
0.0 t

⑧自ら中間処理した後再生利用した量
0.0 t

⑨自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
0.0 t

⑩直接及び自ら中間処理した後の処理委託量
2.1 t

⑪ ⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量
2.1 t

⑫ ⑩のうち再生利用業者への処理委託量
2.1 t

⑬ ⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量
0.0 t

⑭ ⑩のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量
0.0 t

①排出量
2.1 t

項目	実績値
①排出量	2.1 t
②+⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	2.1 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	2.1 t
⑫再生利用業者への処理委託量	2.1 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: 建設混合廃棄物)

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

不要物等発生量

有償物量

②自ら直接再生利用した量
0.0 t

③自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量
0.0 t

⑧自ら中間処理した後再生利用した量
0.0 t

①排出量
0.1 t

④自ら中間処理した量
0.0 t

⑥自ら中間処理した後の残さ量
0.0 t

⑨自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
0.0 t

⑤自ら熱回収を行った量
0.0 t

⑦自ら中間処理により減量した量
0.0 t

⑩直接及び自ら中間処理した後の処理委託量
0.1 t

⑪ ⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量
0.1 t

⑫ ⑩のうち再生利用業者への処理委託量
0.1 t

⑬ ⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量
0.0 t

⑭ ⑩のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量
0.0 t

項目	実績値
①排出量	0.1 t
②+⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.1 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.1 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.1 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

備考

- 1 翌年度の6月30日までに提出すること。
- 2 「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
- 3 「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。
- 4 第2面には、前年度の産業廃棄物処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。
 - (1) ①欄 当該事業場において生じた産業廃棄物の量
 - (2) ②欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量
 - (3) ③欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
 - (4) ④欄 (1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量
 - (5) ⑤欄 (4)の量のうち、熱回収を行った量
 - (6) ⑥欄 自ら中間処理をした後の量
 - (7) ⑦欄 (4)の量から(6)の量を差し引いた量
 - (8) ⑧欄 (6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量
 - (9) ⑨欄 (6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量
 - (10) ⑩欄 中間処理及び最終処分を委託した量
 - (11) ⑪欄 (10)の量のうち、優良認定処理業者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者)への処理委託量
 - (12) ⑫欄 (10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量
 - (13) ⑬欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者)である処理業者への焼却処理委託量
 - (14) ⑭欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量
- 5 第2面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。
- 6 産業廃棄物の種類が2以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。

様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第 1 面）

産業廃棄物処理計画書

令和7年6月30日

千葉県知事
熊谷 俊人 殿

提出者 270-1609
住 所 千葉県印西市若萩1-2-2
法人名 高秀建設株式会社
代表者 平山 健太
（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）
電話番号 0476-36-4442

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	高秀建設株式会社		
事業場の所在地	千葉県印西市若萩一丁目 2 番地 2		
計画期間	令和7年4月1日	から	令和8年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項			
①事業の種類	大分類：	建設業	中分類： 総合工事業
②事業の規模	前年度の完成工事高 1 5 億		
③従業員数	1 5 名		
④産業廃棄物の 一連の処理の工程	現場～委託先運搬～中間処理施設（合材外の再資源化施設）		

（日本産業規格 A列4番）

(第2面)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項			
(管理体制図) 社長→産業廃棄物処理担当者→各作業所→産業廃棄物処理担当者			
産業廃棄物の排出の抑制に関する事項			
①現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	アスファルト・コンクリート殻	
	排出量	5468.1 t	t
	(これまでに実施した取組) 公共工事に関する工事が主であるため各発注機関の仕様書に従い適切に産業廃棄物の排出を行っている		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	アスファルト・コンクリート殻	
	排出量	3000 t	t
	(今後実施する予定の取組) 上記の取組みを継続実施する		
産業廃棄物の分別に関する事項			
①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) アスコン殻、コン殻、がれき類、目視による分別		
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) アスコン殻、コン殻、がれき類、目視による確認		

(第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
①現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	アスファルト・コンクリート殻	
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	アスファルト・コンクリート殻	
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
①現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	アスファルト・コンクリート殻	
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	アスファルト・コンクリート殻	
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
①現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	アスファルト・コンクリート殻	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	アスファルト・コンクリート殻	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
①現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	アスファルト・コンクリート殻	
	全 処 理 委 託 量	5468.1 t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	5468.1 t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
	リサイクル率が高く優良評価の認定を受けた委託業者の選定		

(第5面)

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	アスファルト・コンクリート殻	
	全 処 理 委 託 量	3000 t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	3000 t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	(今後実施する予定の取組) 上記の取組みを継続実施する		
	※事務処理欄		

(第6面)

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1) ①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2) ②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3) ④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

(第1面)

産業廃棄物処理計画実施状況報告書			
令和7年6月30日			
千葉県知事 熊谷 俊人 殿			
提出者 270-1609			
住所 千葉県印西市若萩1-2-2			
法人名 高秀建設株式会社			
代表者 平山 健太			
(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)			
電話番号 0476-36-4442			
産業廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、令和 6 年度の産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。			
事業場の名称	高秀建設株式会社		
事業場の所在地	千葉県印西市若萩一丁目2番地2		
事業の種類	大分類 建設業 中分類 総合工事業		
産業廃棄物処理計画における計画期間	令和6年4月1日 から 令和7年3月31日		
産業廃棄物処理計画における目標値			
項目	目標値	項目	目標値
排出量	1000 t	全処理委託量	1000 t
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	優良認定処理業者への処理委託量	t
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	再生利用業者への処理委託量	1000 t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	認定熱回収業者への処理委託量	t
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t

N0.1

(第2面)

計画の実施状況 (産業廃棄物の種類: アスコン殻)

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

不要物等発生量

有償物量

②自ら直接再生利用した量

③自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量

④自ら中間処理した量

⑤ ④のうち熱回収を行った量

⑥自ら中間処理した後の残さ量

⑦自ら中間処理により減量した量

⑧自ら中間処理した後再生利用した量

⑨自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量

⑩直接及び自ら中間処理した後の処理委託量

⑪ ⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量

⑫ ⑩のうち再生利用業者への処理委託量

⑬ ⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量

⑭ ⑩のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量

項目	実績値
①排出量	5468.1 t
②+⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	5468.1 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	5468.1 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

備考

- 1 翌年度の6月30日までに提出すること。
- 2 「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
- 3 「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。
- 4 第2面には、前年度の産業廃棄物処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。
 - (1) ①欄 当該事業場において生じた産業廃棄物の量
 - (2) ②欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量
 - (3) ③欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
 - (4) ④欄 (1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量
 - (5) ⑤欄 (4)の量のうち、熱回収を行った量
 - (6) ⑥欄 自ら中間処理をした後の量
 - (7) ⑦欄 (4)の量から(6)の量を差し引いた量
 - (8) ⑧欄 (6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量
 - (9) ⑨欄 (6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量
 - (10) ⑩欄 中間処理及び最終処分を委託した量
 - (11) ⑪欄 (10)の量のうち、優良認定処理業者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者)への処理委託量
 - (12) ⑫欄 (10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量
 - (13) ⑬欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者)である処理業者への焼却処理委託量
 - (14) ⑭欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量
- 5 第2面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。
- 6 産業廃棄物の種類が2以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。

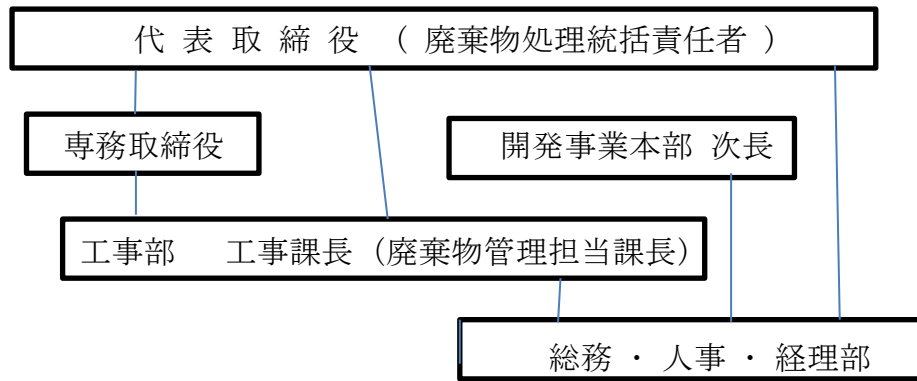
様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第1面）

産業廃棄物処理計画書	
令和 7年 6月 20日	
千葉県知事 殿	
提出者 住 所 東京都足立区鹿浜2丁目35番12号 氏 名 幸信テクノ株式会社 代表取締役 瀧口 幸寿 (法人にあっては、名称及び代表者の氏名) 電話番号 03-5856-9200	
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。	
事業場の名称	幸信テクノ株式会社
事業場の所在地	東京都足立区鹿浜2丁目35番12号
計画期間	令和7年4月1日から令和8年3月31日まで
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	職種別工事業
②事業の規模	元請完成工事高 968,245千万円
③従業員数	13人
④産業廃棄物の一連の処理の工程	がれき類 →破碎 (委託) →再生砕石として再利用 (委託) 木くず →破碎 (委託) →チップ、製紙原料として再利用 (委託) ガラス陶磁器くず→破碎 (委託) →再生砕石、再生砂等 再利用 (委託) 廃プラスチック類 →破碎・減容 (委託) →塩ビ管原料他として再利用 (委託) 〃 →破碎、圧縮・減容 (委託) →RPF固型燃料他として再利用 (委託) 〃 →最終処分場で埋立処分 (委託) 混合廃棄物→破碎・切断・圧縮梱包 (委託) →RPFとして再利用 (委託) 繊維くず→破碎・切断・圧縮梱包 (委託) →RPFとして再利用 (委託) 石綿含有産業廃棄物→積替え保管→最終処分・埋立 (委託)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	ガラス陶磁器等くず
	排出量	1.05 t	44.60 t
	(これまでに実施した取組) 梱包材や養生材を過剰にせず、必要最小限としている。 分別をより細分化している。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	ガラス陶磁器等くず
	排出量	- t	20.00 t
	(今後実施する予定の取組) 発生抑制に関する社内研修を定期的実施する。 廃棄物の分別を徹底し、再利用を推進する。		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) がれき類、木くずについて分別している。 石綿含有産業廃棄物については、他と混じらないように注意している。
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 廃プラスチック類、紙くず、繊維くず、金属くず、ガラス陶磁器くずについても分別を徹底する。

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項				
【前年度（令和6年度）実績】				
産業廃棄物の種類	コンクリート片	石綿含有産業廃棄物	木くず	繊維くず
排 出 量	6,912.45 t	1.00 t	74.85 t	0.23 t
(これまでに実施した取組)				
梱包材や養生材を過剰にせず、必要最小限としている。				
分別をより細分化している。				
【目標】				
産業廃棄物の種類	コンクリート片	石綿含有産業廃棄物	木くず	繊維くず
排 出 量	3,000.00 t	- t	40.00 t	- t
(今後実施する予定の取組)				
発生抑制に関する社内研修を定期的実施する。				
廃棄物の分別を徹底し、再利用を推進する。				

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項				
【前年度（令和6年度）実績】				
産業廃棄物の種類	建設混合廃棄物	紙くず	鋳さい	廃石綿等
排 出 量	87.12 t	－ t	－ t	－ t
【目標】				
産業廃棄物の種類	建設混合廃棄物	紙くず	鋳さい	廃石綿等
排 出 量	40.00 t	－ t	－ t	－ t

(第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
①現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	ガラス陶磁器等くず
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	- t	- t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	ガラス陶磁器等くず
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	- t	- t
	(今後実施する予定の取組)		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
①現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	ガラス陶磁器等くず
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	- t	- t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	- t	- t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	ガラス陶磁器等くず
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	- t	- t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	- t	- t
	(今後実施する予定の取組)		

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

【前年度（令和6年度）実績】

産業廃棄物の種類	コンクリート片	石綿含有産業廃棄物	木くず	繊維くず
自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量	- t	- t	- t	- t

【目標】

産業廃棄物の種類	コンクリート片	石綿含有産業廃棄物	木くず	繊維くず
自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	- t	- t	- t	- t

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

【前年度（令和6年度）実績】

産業廃棄物の種類	コンクリート片	石綿含有産業廃棄物	木くず	繊維くず
自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量	- t	- t	- t	- t
自ら中間処理により減 量した産業廃棄物の量	- t	- t	- t	- t

【目標】

産業廃棄物の種類	コンクリート片	石綿含有産業廃棄物	木くず	繊維くず
自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量	- t	- t	- t	- t
自ら中間処理により減 量する産業廃棄物の量	- t	- t	- t	- t

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

【前年度（令和6年度）実績】

産業廃棄物の種類	建設混合廃棄物	紙くず	鋳さい	廃石綿等
自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量	- t	- t	- t	- t

【目標】

産業廃棄物の種類	建設混合廃棄物	紙くず	鋳さい	廃石綿等
自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	- t	- t	- t	- t

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

【前年度（令和6年度）実績】

産業廃棄物の種類	建設混合廃棄物	紙くず	鋳さい	廃石綿等
自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量	- t	- t	- t	- t
自ら中間処理により減 量した産業廃棄物の量	- t	- t	- t	- t

【目標】

産業廃棄物の種類	建設混合廃棄物	紙くず	鋳さい	廃石綿等
自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量	- t	- t	- t	- t
自ら中間処理により減 量する産業廃棄物の量	- t	- t	- t	- t

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	ガラス陶磁器等くず
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	- t	- t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	ガラス陶磁器等くず
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	- t	- t
	(今後実施する予定の取組)		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	ガラス陶磁器等くず
	全処理委託量	1.05 t	44.60 t
	優良認定処理業者 への処理委託量	- t	40.29 t
	再生利用業者への 処理委託量	1.05 t	44.60 t
	認定熱回収業者 への処理委託量	- t	- t
	認定熱回収業者以外 の熱回収を行う業者 への処理委託量	- t	- t
	(これまでに実施した取組) 委託基準に基づき、委託可能な処理業者を選定している。 委託業務に関する社内チェックを定期的の実施している。		

(第4面)－2

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

【前年度（令和6年度）実績】

産業廃棄物の種類	コンクリート片	石綿含有産業廃棄物	木くず	繊維くず
自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	－ t	－ t	－ t	－ t

【目標】

産業廃棄物の種類	コンクリート片	石綿含有産業廃棄物	木くず	繊維くず
自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	－ t	－ t	－ t	－ t

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

【前年度（令和6年度）実績】

産業廃棄物の種類	コンクリート片	石綿含有産業廃棄物	木くず	繊維くず
全処理委託量	6,912.45 t	1.00 t	74.85 t	0.23 t
優良認定処理業者 への処理委託量	16.75 t	1.00 t	74.85 t	0.23 t
再生利用業者への 処理委託量	6,912.45 t	1.00 t	74.85 t	0.23 t
認定熱回収業者 への処理委託量	－ t	－ t	－ t	－ t
認定熱回収業者以外 の熱回収を行う業者 への処理委託量	－ t	－ t	－ t	－ t

(これまでに実施した取組)

委託基準に基づき、委託可能な処理業者を選定している。
委託業務に関する社内チェックを定期的の実施している。

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

【前年度（令和6年度）実績】

産業廃棄物の種類	建設混合廃棄物	紙くず	鋳さい	廃石綿等
自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	－ t	－ t	－ t	－ t

【目標】

産業廃棄物の種類	建設混合廃棄物	紙くず	鋳さい	廃石綿等
自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	－ t	－ t	－ t	－ t

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

【前年度（令和6年度）実績】

産業廃棄物の種類	建設混合廃棄物	紙くず	鋳さい	廃石綿等
全処理委託量	87.12 t	－ t	－ t	－ t
優良認定処理業者 への処理委託量	68.64 t	－ t	－ t	－ t
再生利用業者への 処理委託量	87.12 t	－ t	－ t	－ t
認定熱回収業者 への処理委託量	－ t	－ t	－ t	－ t
認定熱回収業者以外 の熱回収を行う業者 への処理委託量	－ t	－ t	－ t	－ t

(第5面)

	②計画	【目標】		
		産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	ガラス陶磁器等くず
		全処理委託量	- t	20.00 t
		優良認定処理業者への処理委託量	- t	15.00 t
		再生利用業者への処理委託量	- t	20.00 t
		認定熱回収業者への処理委託量	- t	- t
		認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	- t	- t
		(今後実施する予定の取組) 委託した処分場棟の現地確認を定期的を実施する。 出来るだけ、優良認定処理業者から選定する。		
	※事務処理欄			

【目標】				
産業廃棄物の種類	コンクリート片	石綿含有産業廃棄物	木くず	繊維くず
全 処 理 委 託 量	3,000.00 t	- t	40.00 t	- t
優良認定処理業者 への処理委託量	1,200.00 t	- t	40.00 t	- t
再生利用業者への 処 理 委 託 量	3,000.00 t	- t	40.00 t	- t
認定熱回収業者 への処理委託量	- t	- t	- t	- t
認定熱回収業者以外 の熱回収を行う業者 への処理委託量	- t	- t	- t	- t
(今後実施する予定の取組) 委託した処分場棟の現地確認を定期的を実施する。 出来るだけ、優良認定処理業者から選定する。				

【目標】				
産業廃棄物の種類	建設混合廃棄物	紙くず	鋳さい	廃石綿等
全 処 理 委 託 量	40.00 t	- t	- t	- t
優良認定処理業者 への処理委託量	35.00 t	- t	- t	- t
再生利用業者への 処 理 委 託 量	40.00 t	- t	- t	- t
認定熱回収業者 への処理委託量	- t	- t	- t	- t
認定熱回収業者以外 の熱回収を行う業者 への処理委託量	- t	- t	- t	- t

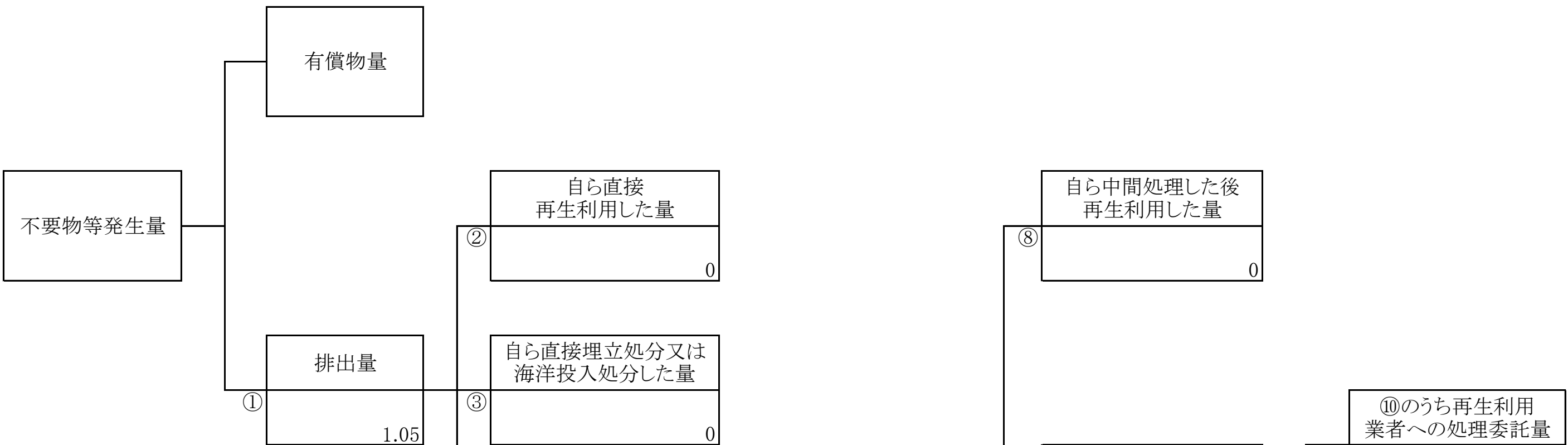
備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額(前年度実績)、建設業の場合における元請完成工事高(前年度実績)、医療機関の場合における病床数(前年度末時点)等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程(当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。)を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者)への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者)である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

産業廃棄物処理計画実施状況報告書			
千葉県知事 殿		令和6年 6月 20日	
提出者 住 所 東京都足立区鹿浜2丁目35番12号 氏 名 幸信テクノ株式会社 代表取締役 瀧口 幸寿 (法人にあつては、名称及び代表者の氏名) 電話番号 03-5856-9200			
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、令和5年度の産業廃棄物 処理計画の実施状況を報告します。			
事業場の名称	幸信テクノ株式会社		
事業場の所在地	東京都足立区鹿浜2-35-12		
事業の種類	職種別工事業 D-07		
産業廃棄物処理計画における 計 画 期 間	令和6年4月1日から令和7年3月31日まで		
産業廃棄物処理計画における目標値			
項目	目標値	項目	目標値
排 出 量	2805t	全 処 理 委 託 量	2805t
自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	t	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	1775t
自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量	t	再生利用業者への 処 理 委 託 量	2805t
自ら中間処理により減量する 産業廃棄物の量	t	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	t
自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	t	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	t
※事務処理欄			

計画の実施状況

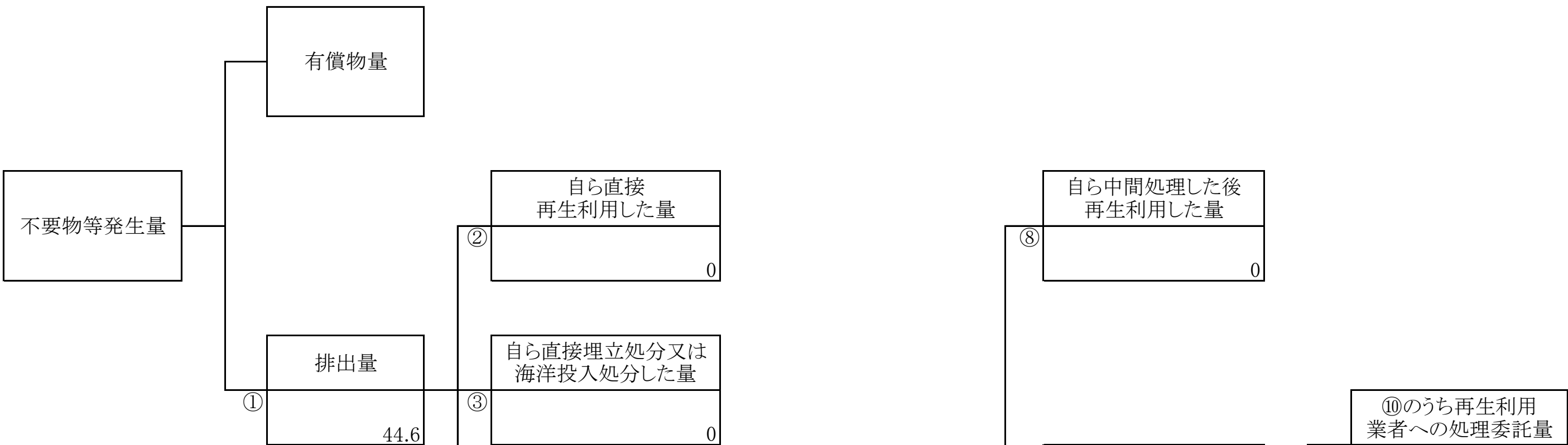
(産業廃棄物の種類：廃プラスチック類)



項目	実績値
①排出量	1.05
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0
⑤自ら熱回収を行った量	0
⑦自ら中間処理により減量した量	0
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0
⑩全処理委託量	1.05
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0
⑫再生利用業者への処理委託量	1.05
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0

計画の実施状況

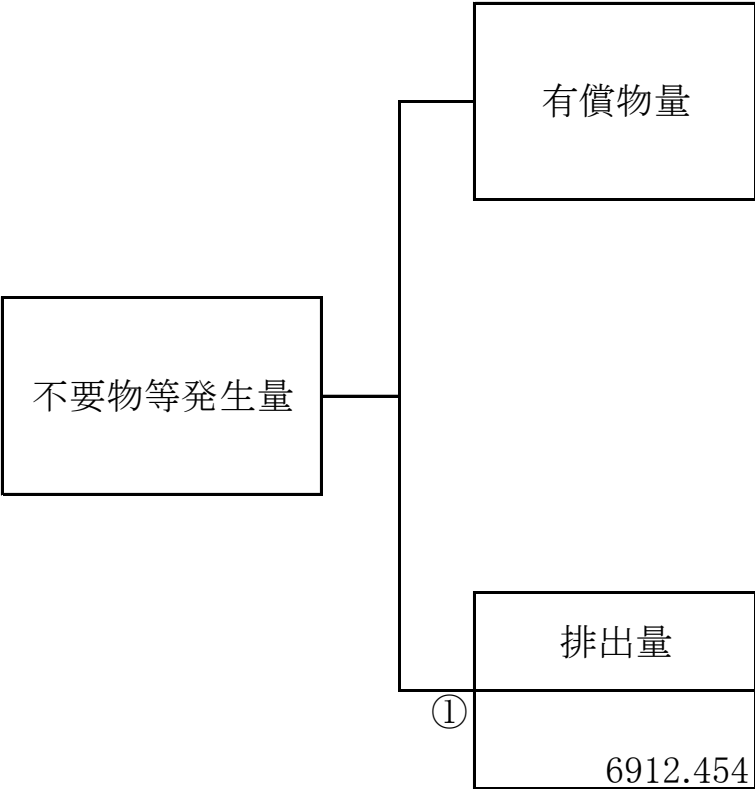
(産業廃棄物の種類：ガラス陶磁器等くず(水銀関連除く))



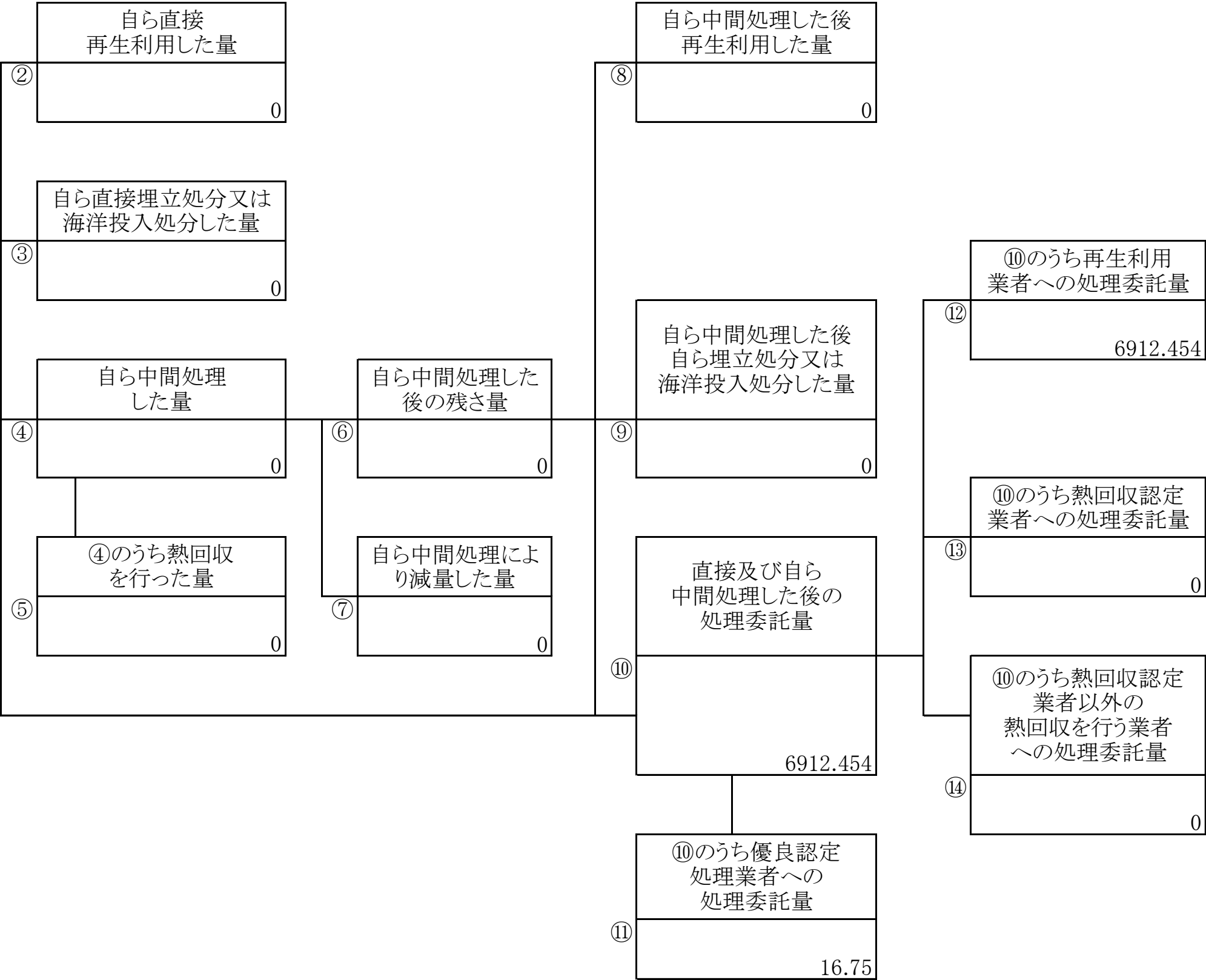
項目	実績値
①排出量	44.6
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0
⑤自ら熱回収を行った量	0
⑦自ら中間処理により減量した量	0
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0
⑩全処理委託量	44.6
⑪優良認定処理業者への処理委託量	40.29
⑫再生利用業者への処理委託量	44.6
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類：コンクリート片)

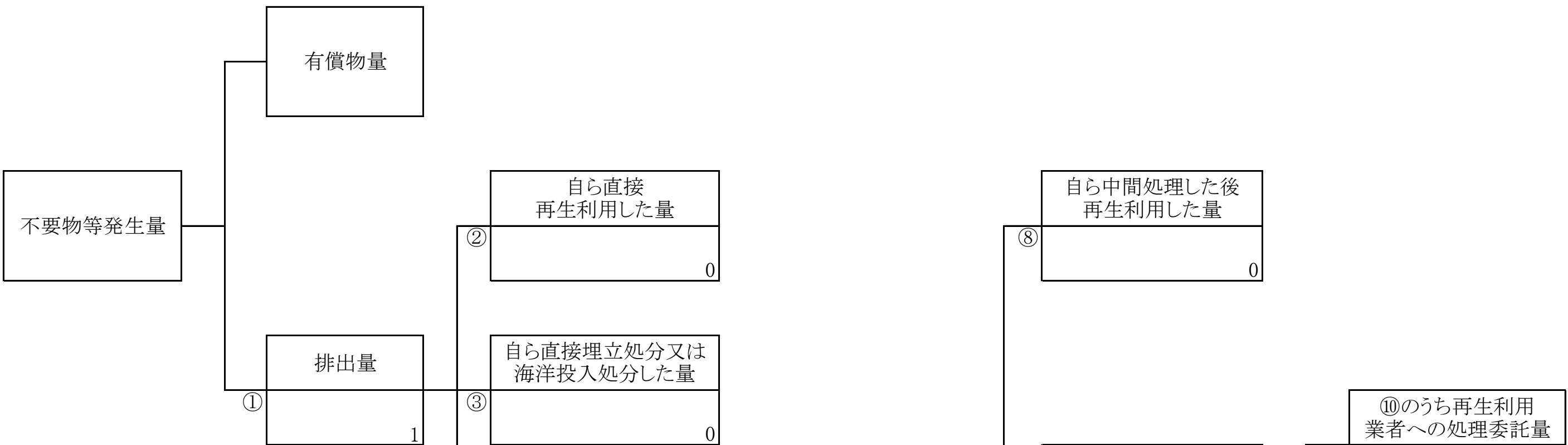


項目	実績値
①排出量	6912.454
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0
⑤自ら熱回収を行った量	0
⑦自ら中間処理により減量した量	0
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0
⑩全処理委託量	6912.454
⑪優良認定処理業者への処理委託量	16.75
⑫再生利用業者への処理委託量	6912.454
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0



計画の実施状況

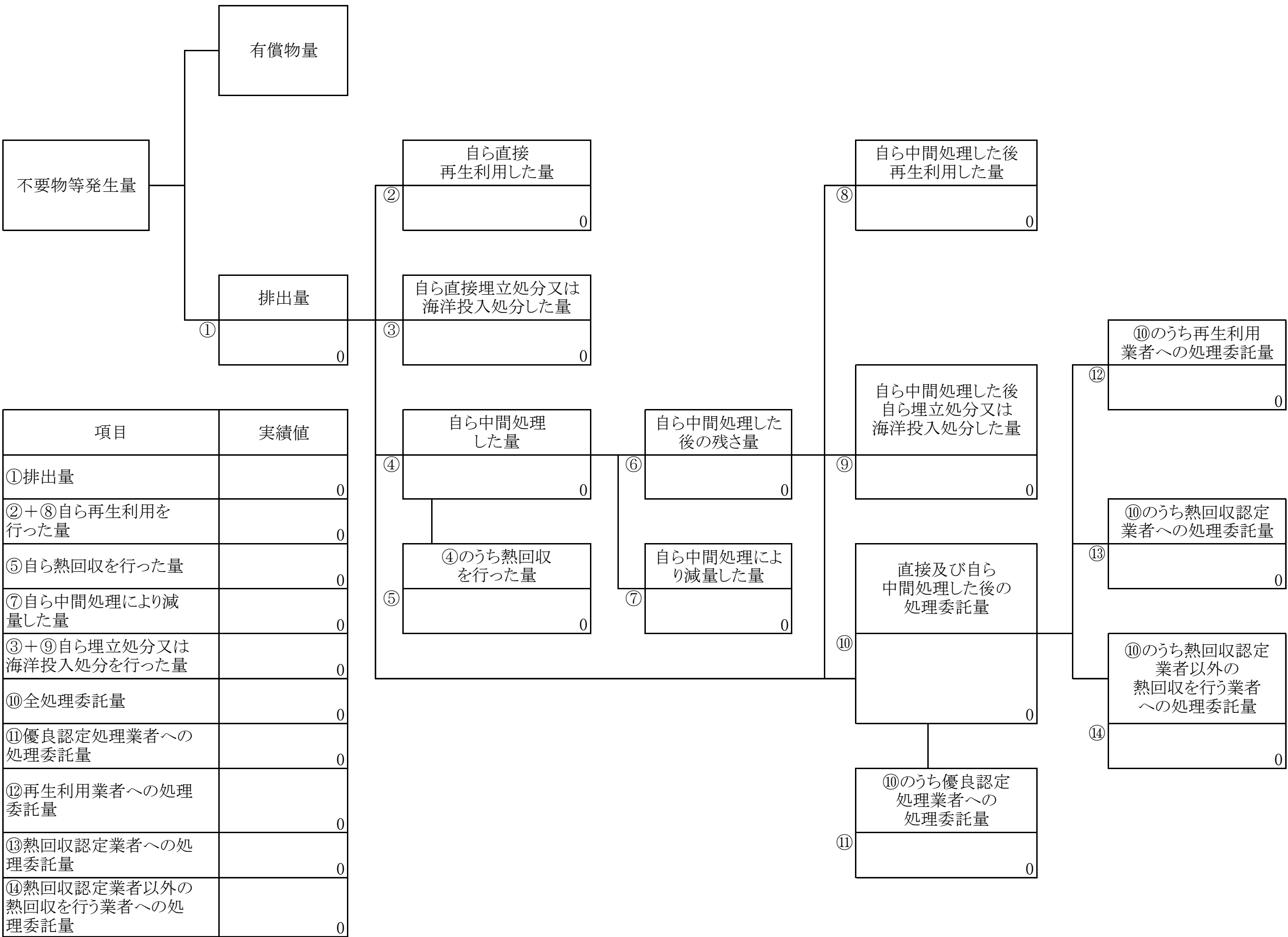
(産業廃棄物の種類：石綿含有産業廃棄物)



項目	実績値
①排出量	1
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0
⑤自ら熱回収を行った量	0
⑦自ら中間処理により減量した量	0
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0
⑩全処理委託量	1
⑪優良認定処理業者への処理委託量	1
⑫再生利用業者への処理委託量	1
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0

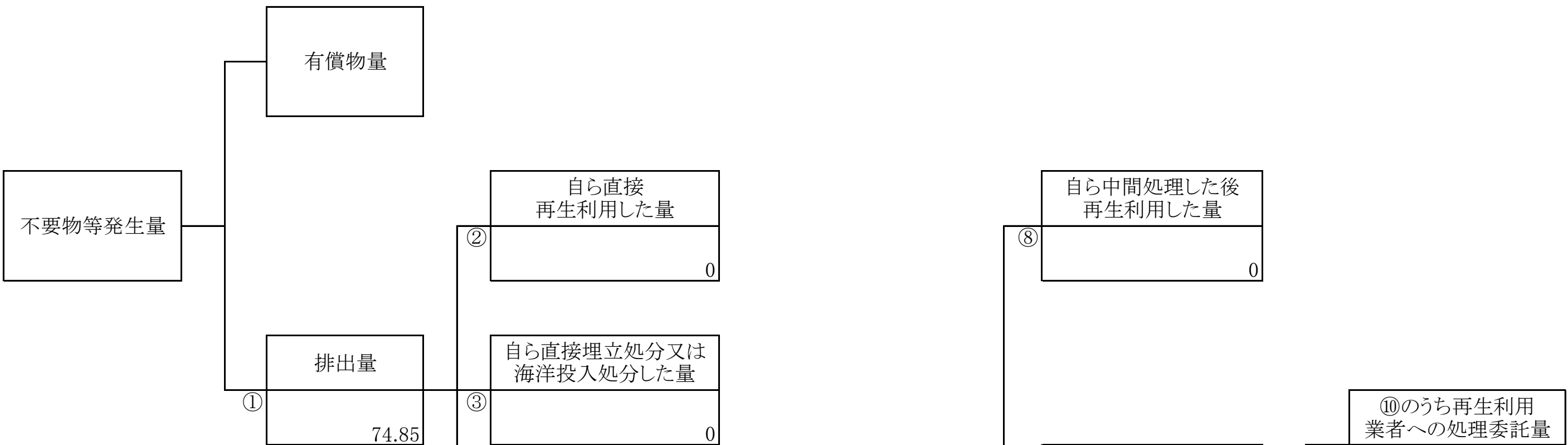
計画の実施状況

(産業廃棄物の種類：紙くず)



計画の実施状況

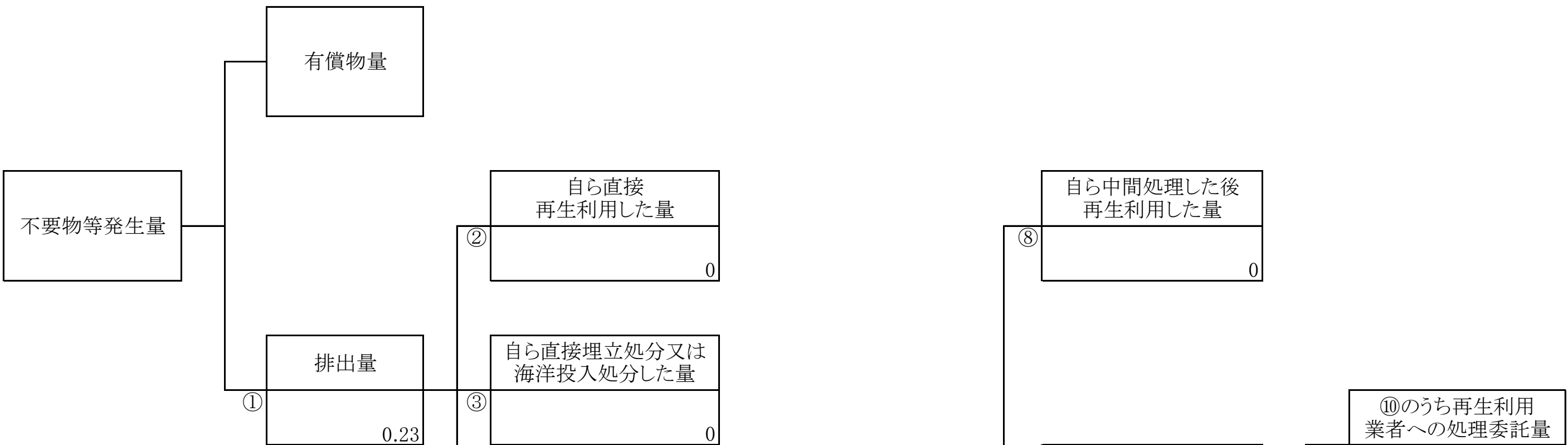
(産業廃棄物の種類：木くず)



項目	実績値
①排出量	74.85
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0
⑤自ら熱回収を行った量	0
⑦自ら中間処理により減量した量	0
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0
⑩全処理委託量	74.85
⑪優良認定処理業者への処理委託量	74.85
⑫再生利用業者への処理委託量	74.85
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0

計画の実施状況

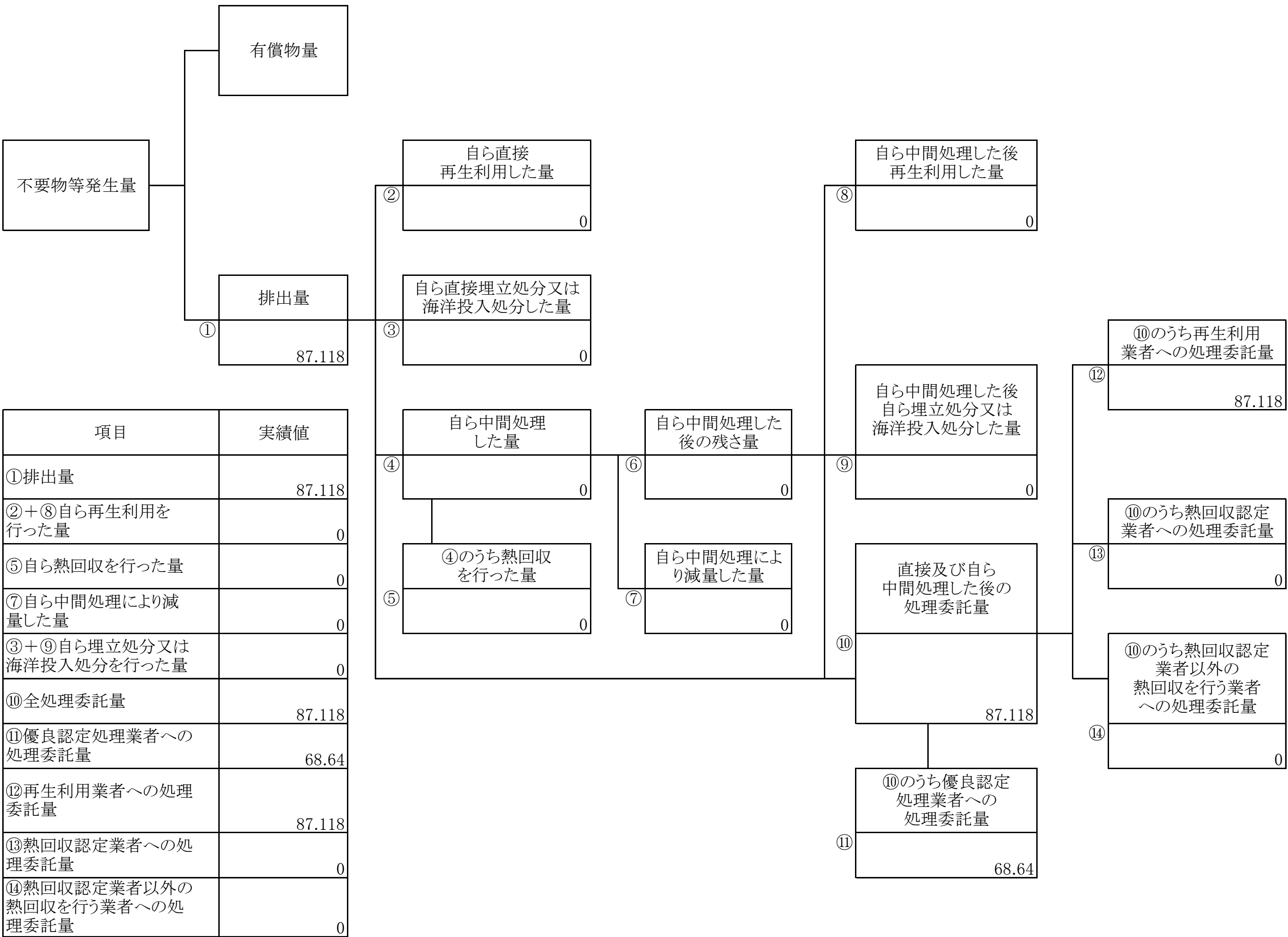
(産業廃棄物の種類：繊維くず)



項目	実績値
①排出量	0.23
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0
⑤自ら熱回収を行った量	0
⑦自ら中間処理により減量した量	0
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0
⑩全処理委託量	0.23
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.23
⑫再生利用業者への処理委託量	0.23
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0

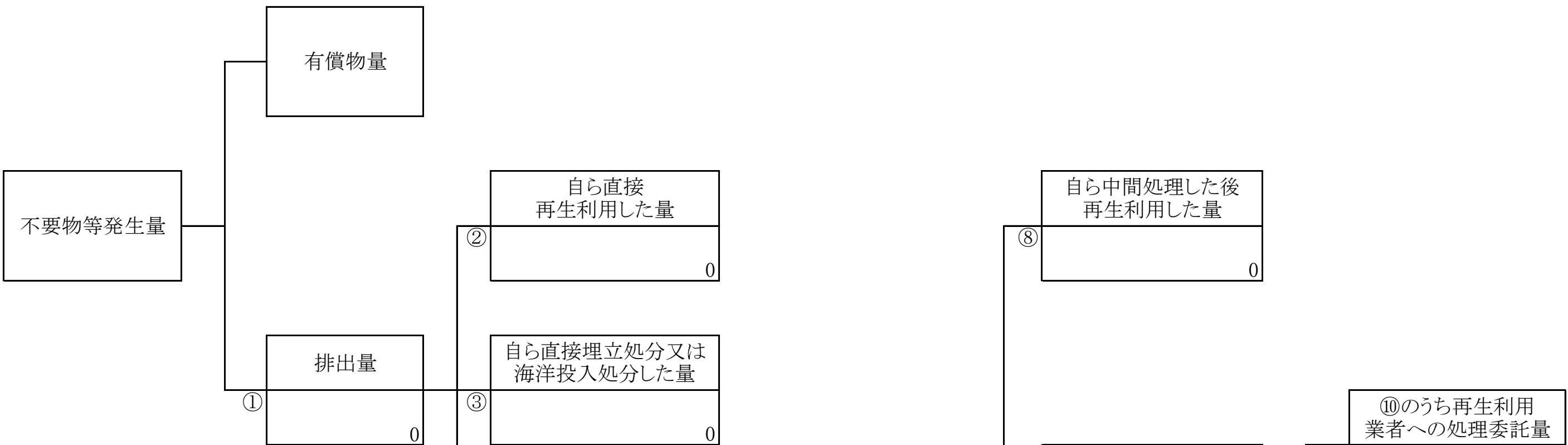
計画の実施状況

(産業廃棄物の種類：建設混合廃棄物)



計画の実施状況

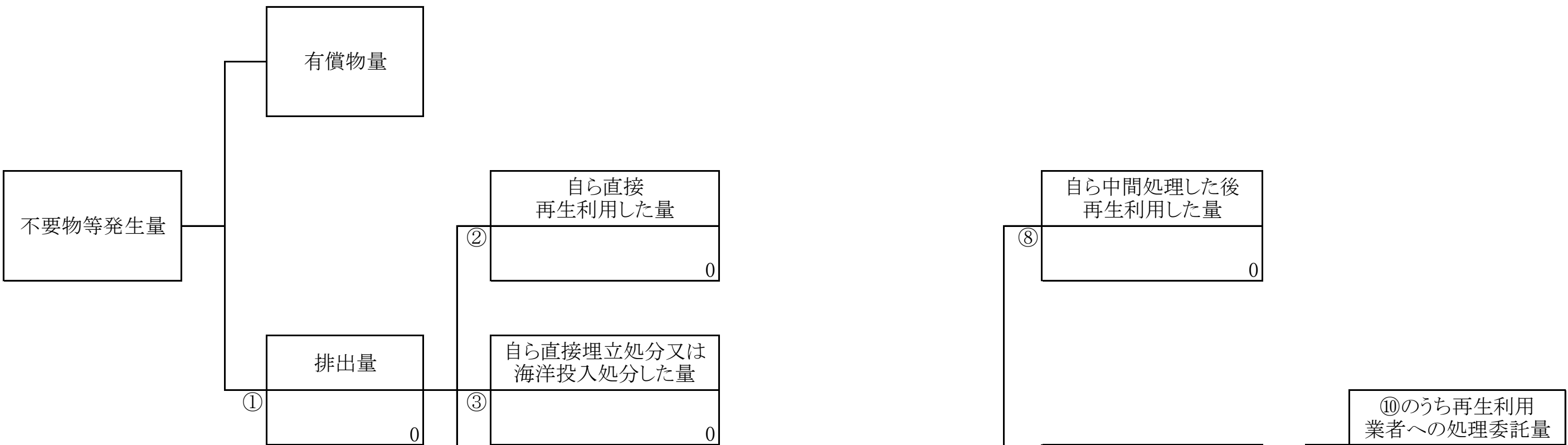
(産業廃棄物の種類：廃石綿等)



項目	実績値
①排出量	0
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0
⑤自ら熱回収を行った量	0
⑦自ら中間処理により減量した量	0
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0
⑩全処理委託量	0
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0
⑫再生利用業者への処理委託量	0
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0

計画の実施状況

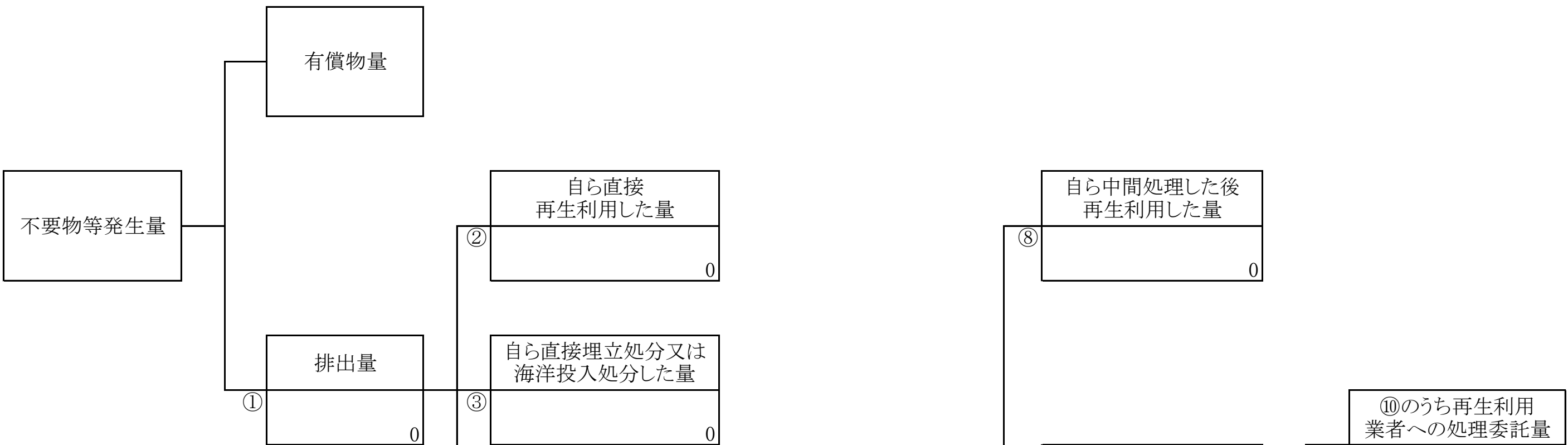
(産業廃棄物の種類： 鋳さい(水銀関連除く))



項目	実績値
①排出量	0
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0
⑤自ら熱回収を行った量	0
⑦自ら中間処理により減量した量	0
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0
⑩全処理委託量	0
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0
⑫再生利用業者への処理委託量	0
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0

計画の実施状況

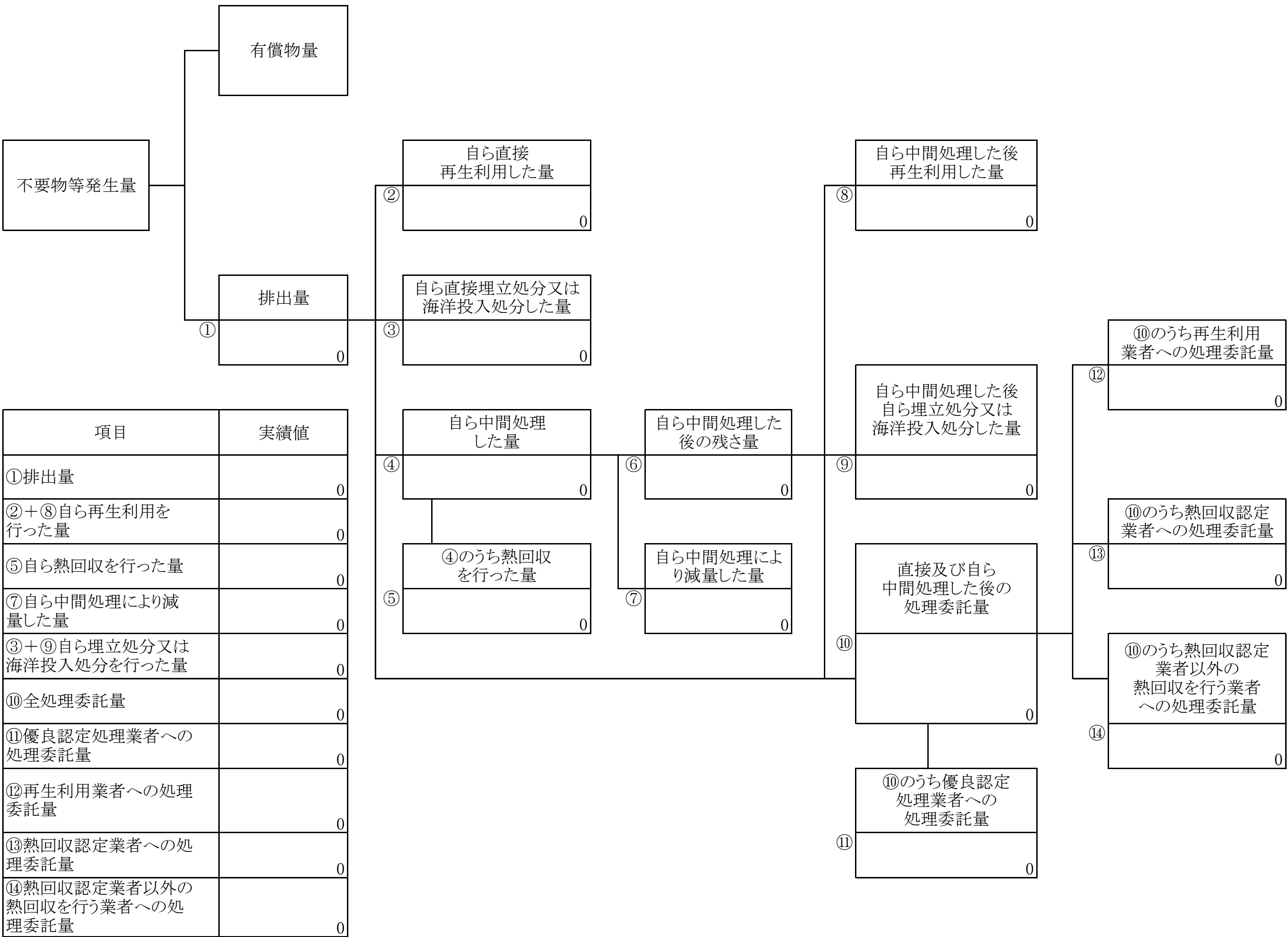
(産業廃棄物の種類：廃油)



項目	実績値
①排出量	0
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0
⑤自ら熱回収を行った量	0
⑦自ら中間処理により減量した量	0
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0
⑩全処理委託量	0
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0
⑫再生利用業者への処理委託量	0
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0

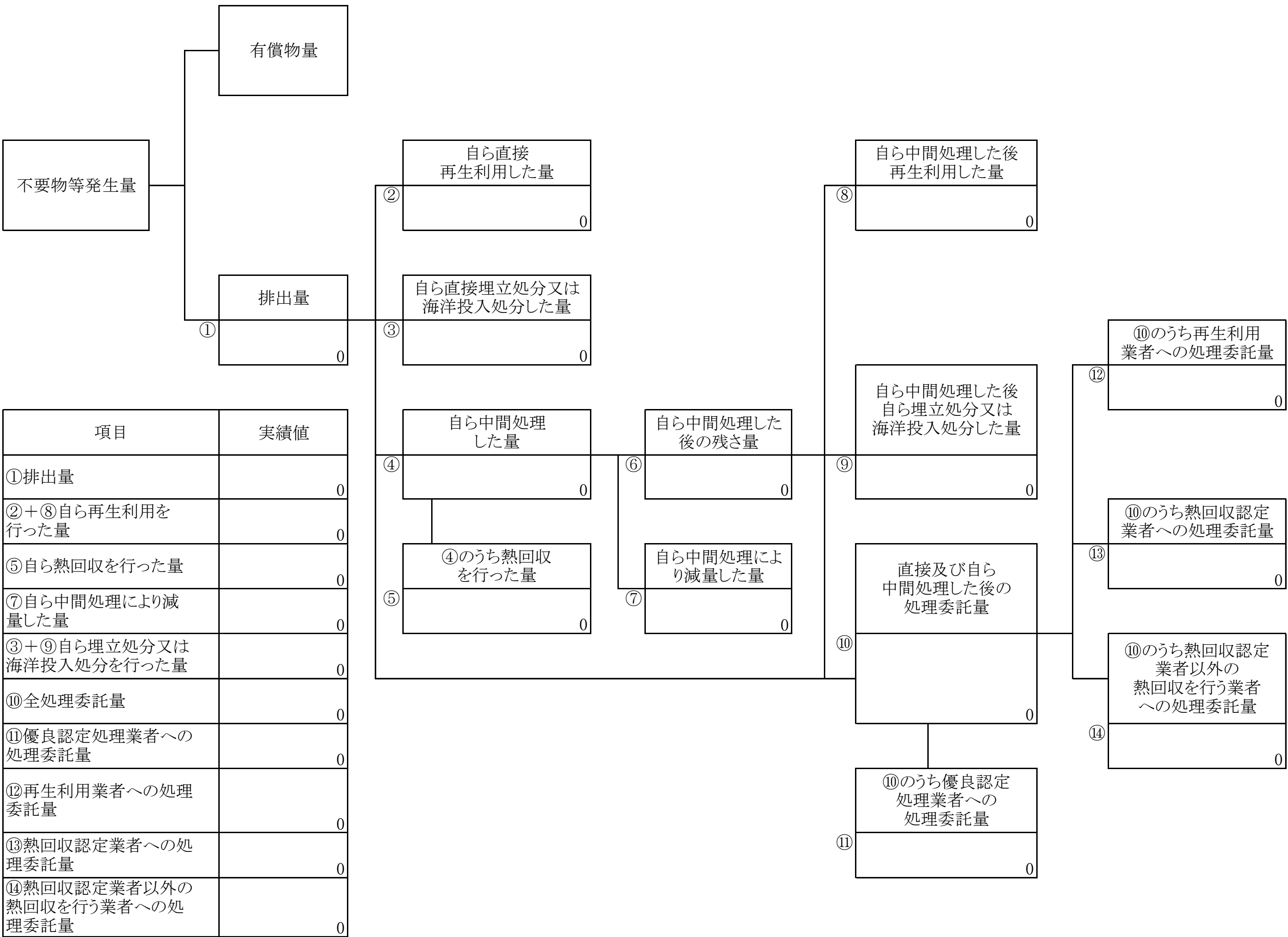
計画の実施状況

(産業廃棄物の種類：廃アルカリ(水銀関連除く))



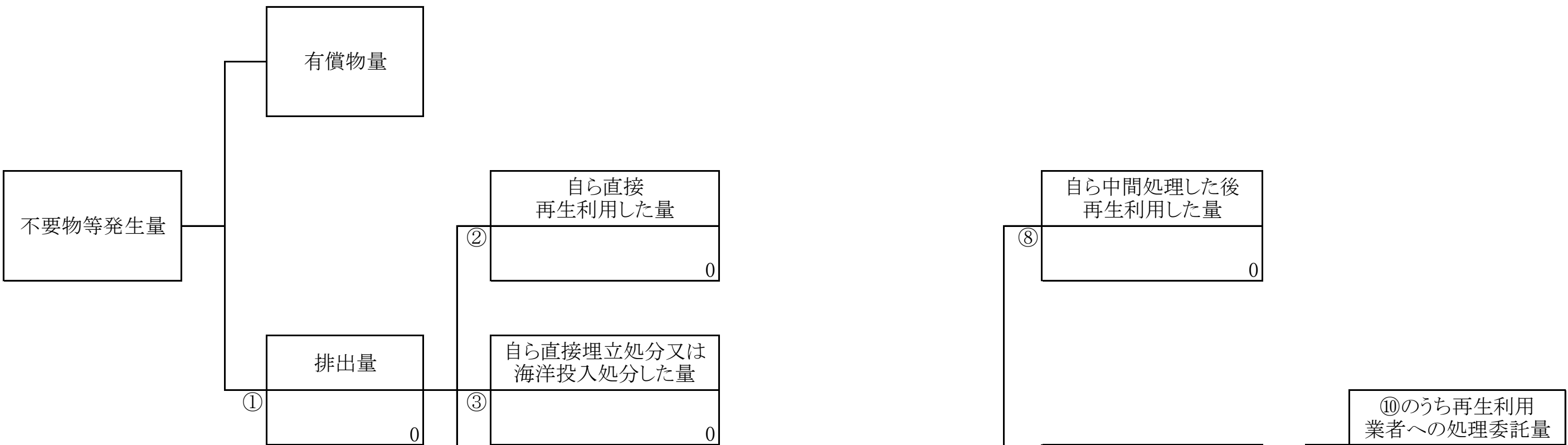
計画の実施状況

(産業廃棄物の種類：燃え殻(水銀関連除く))



計画の実施状況

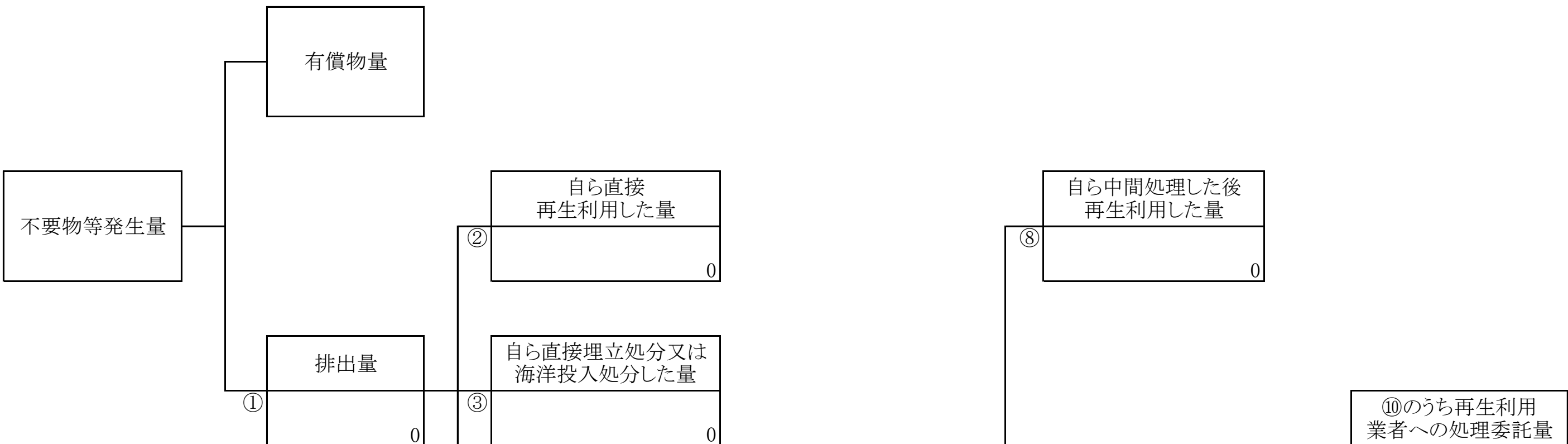
(産業廃棄物の種類： 0)



項目	実績値
①排出量	0
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0
⑤自ら熱回収を行った量	0
⑦自ら中間処理により減量した量	0
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0
⑩全処理委託量	0
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0
⑫再生利用業者への処理委託量	0
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0

計画の実施状況

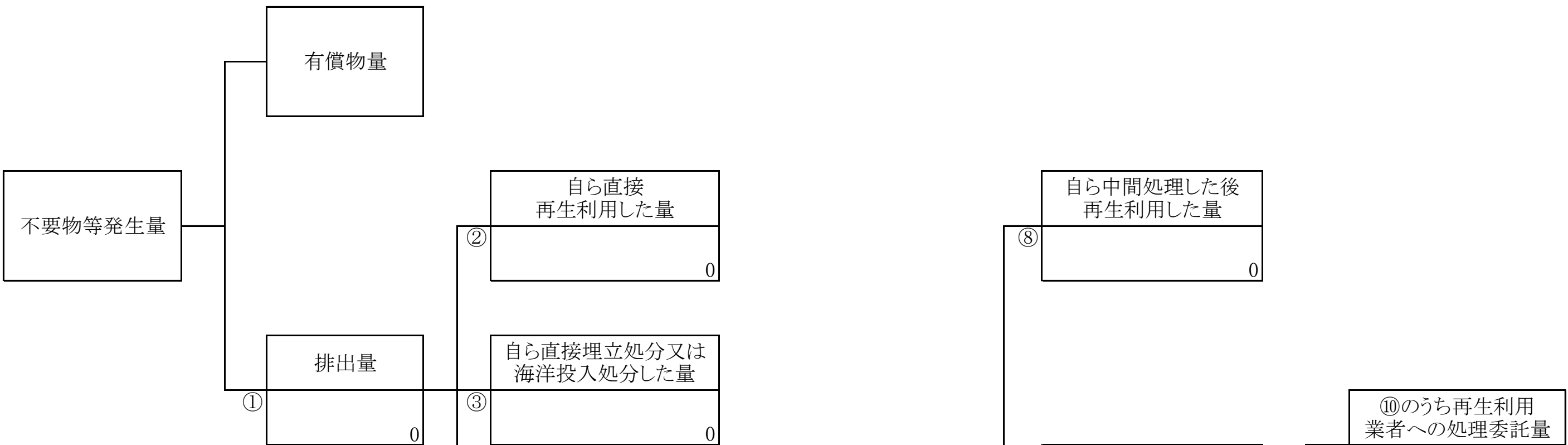
(産業廃棄物の種類：燃え殻(水銀含有ばいじん等))



項目	実績値
①排出量	0
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0
⑤自ら熱回収を行った量	0
⑦自ら中間処理により減量した量	0
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0
⑩全処理委託量	0
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0
⑫再生利用業者への処理委託量	0
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0

計画の実施状況

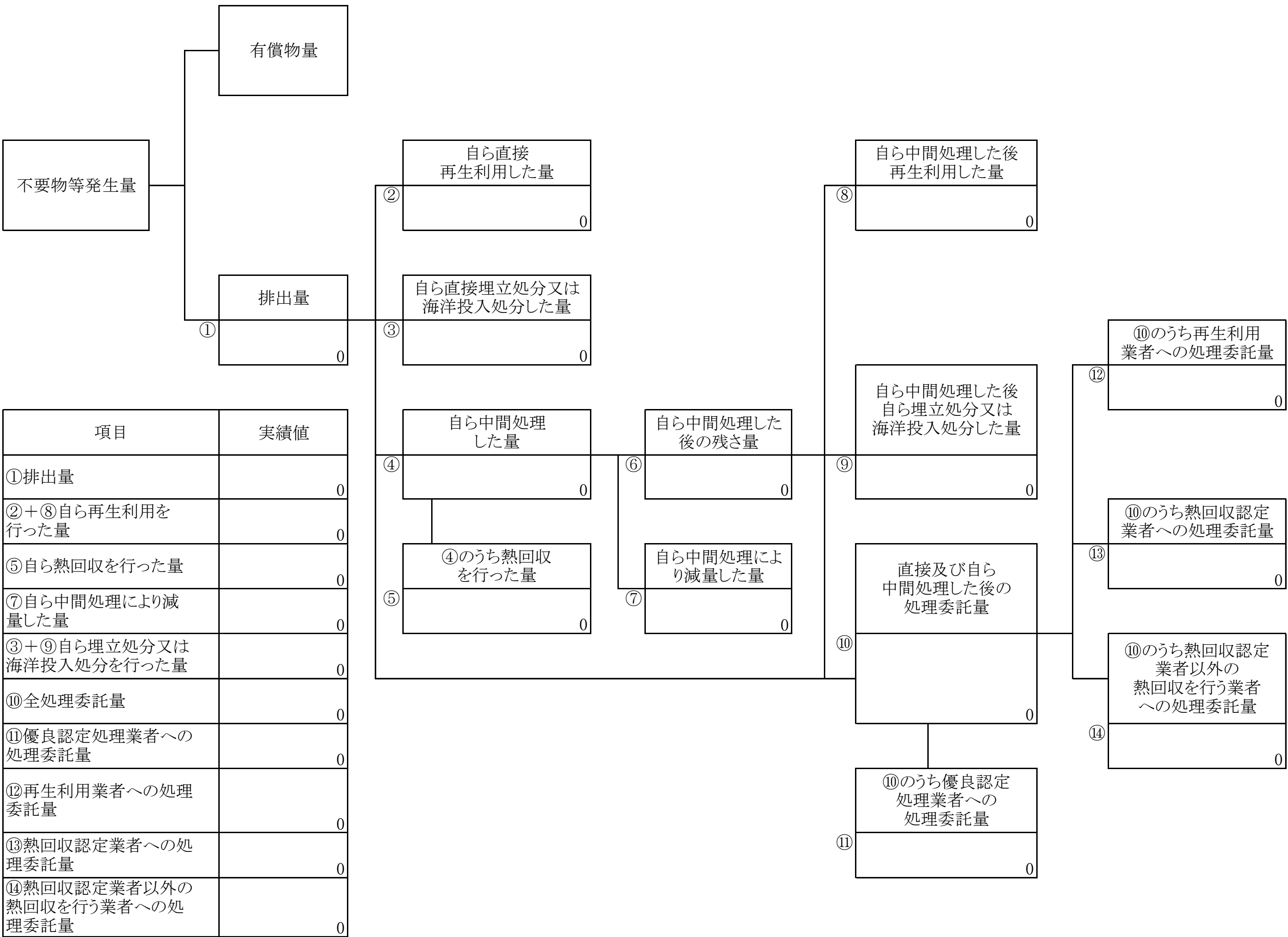
(産業廃棄物の種類：上水汚泥)



項目	実績値
①排出量	0
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0
⑤自ら熱回収を行った量	0
⑦自ら中間処理により減量した量	0
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0
⑩全処理委託量	0
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0
⑫再生利用業者への処理委託量	0
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0

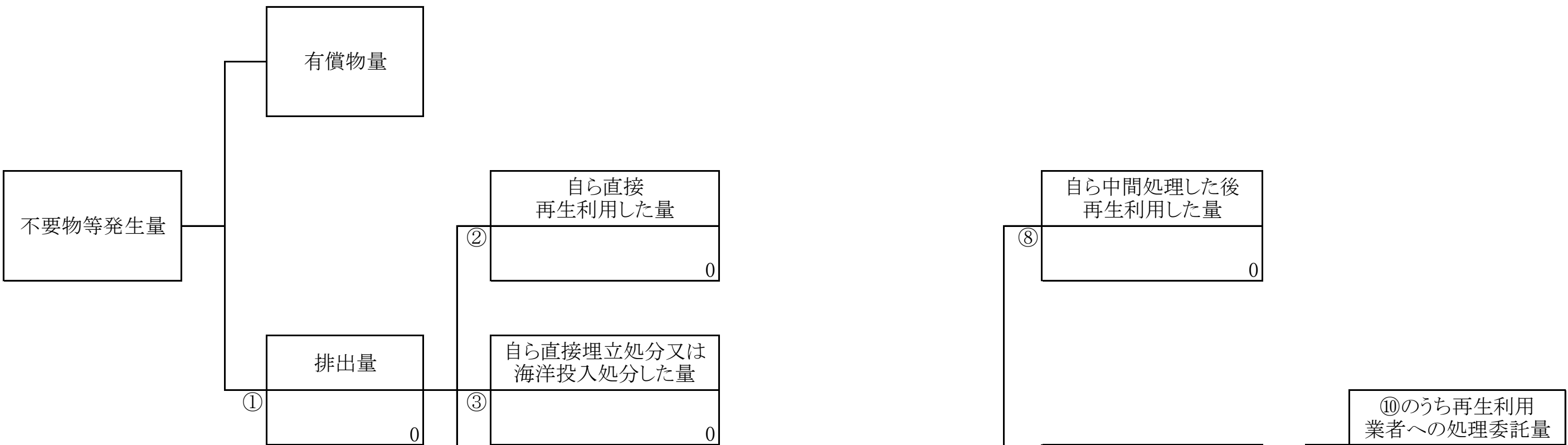
計画の実施状況

(産業廃棄物の種類：下水汚泥)



計画の実施状況

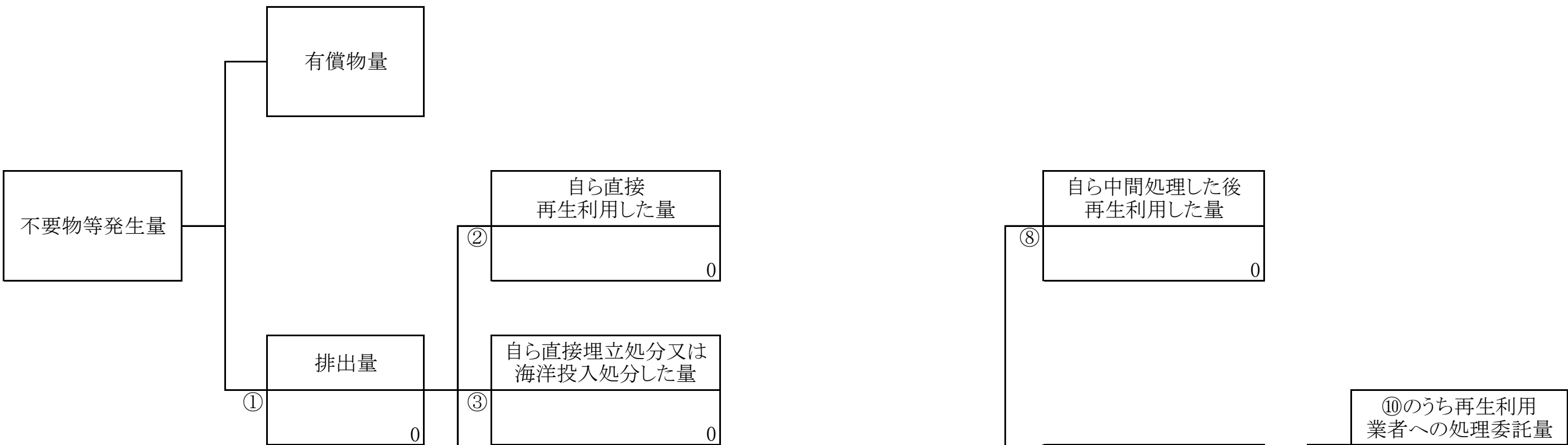
(産業廃棄物の種類：建設汚泥(水銀関連除く))



項目	実績値
①排出量	0
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0
⑤自ら熱回収を行った量	0
⑦自ら中間処理により減量した量	0
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0
⑩全処理委託量	0
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0
⑫再生利用業者への処理委託量	0
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0

計画の実施状況

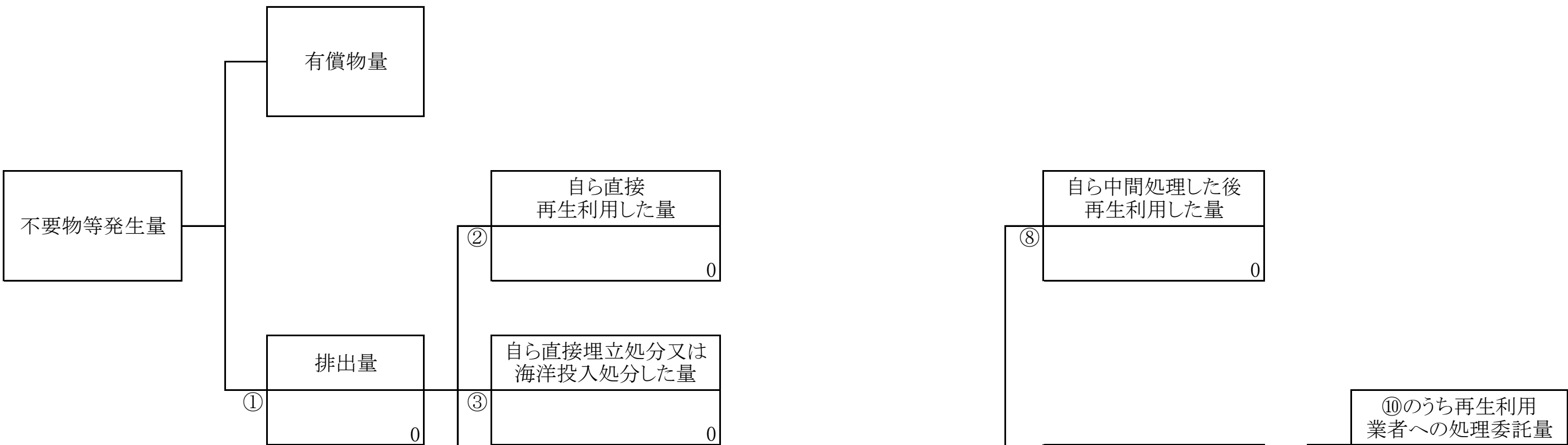
(産業廃棄物の種類：建設汚泥(水銀含有ばいじん等))



項目	実績値
①排出量	0
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0
⑤自ら熱回収を行った量	0
⑦自ら中間処理により減量した量	0
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0
⑩全処理委託量	0
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0
⑫再生利用業者への処理委託量	0
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0

計画の実施状況

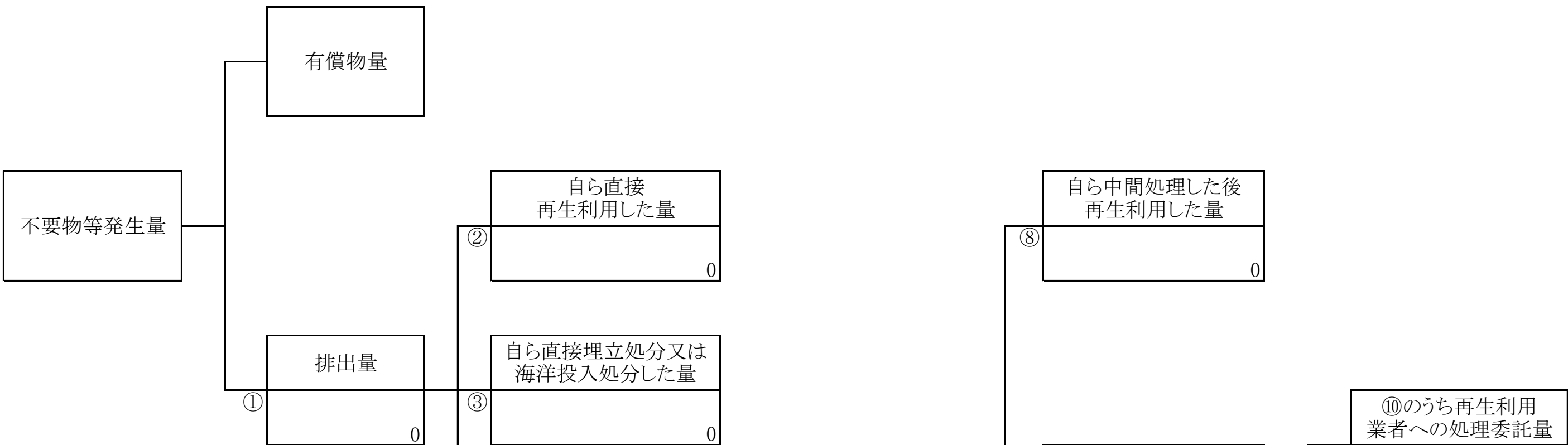
(産業廃棄物の種類：その他の汚泥(水銀関連除く))



項目	実績値
①排出量	0
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0
⑤自ら熱回収を行った量	0
⑦自ら中間処理により減量した量	0
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0
⑩全処理委託量	0
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0
⑫再生利用業者への処理委託量	0
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0

計画の実施状況

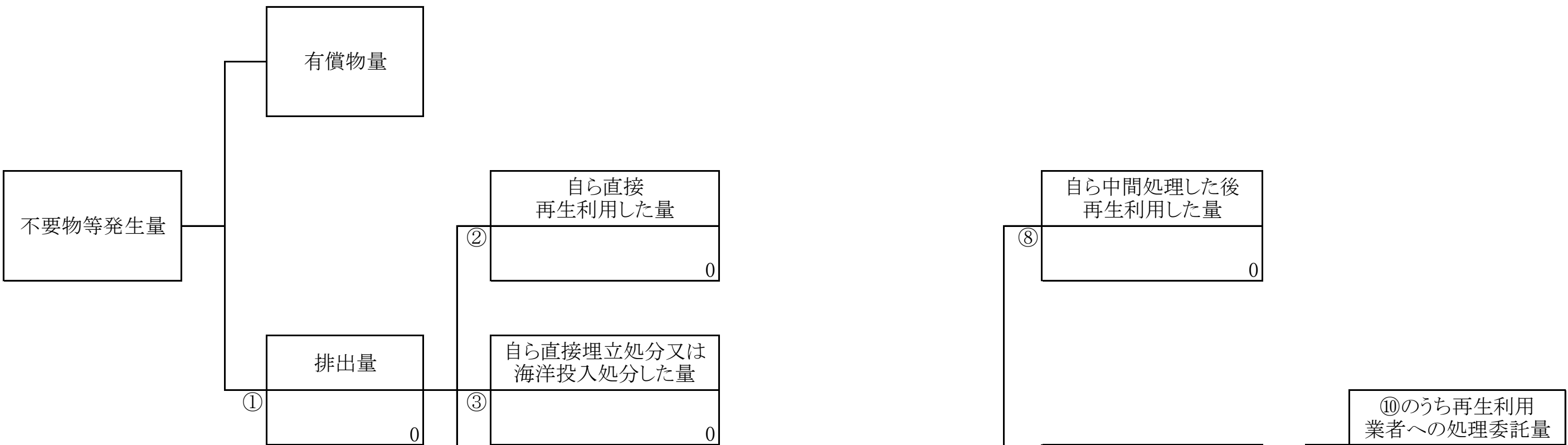
(産業廃棄物の種類：その他汚泥(水銀含有ばいじん等))



項目	実績値
①排出量	0
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0
⑤自ら熱回収を行った量	0
⑦自ら中間処理により減量した量	0
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0
⑩全処理委託量	0
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0
⑫再生利用業者への処理委託量	0
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0

計画の実施状況

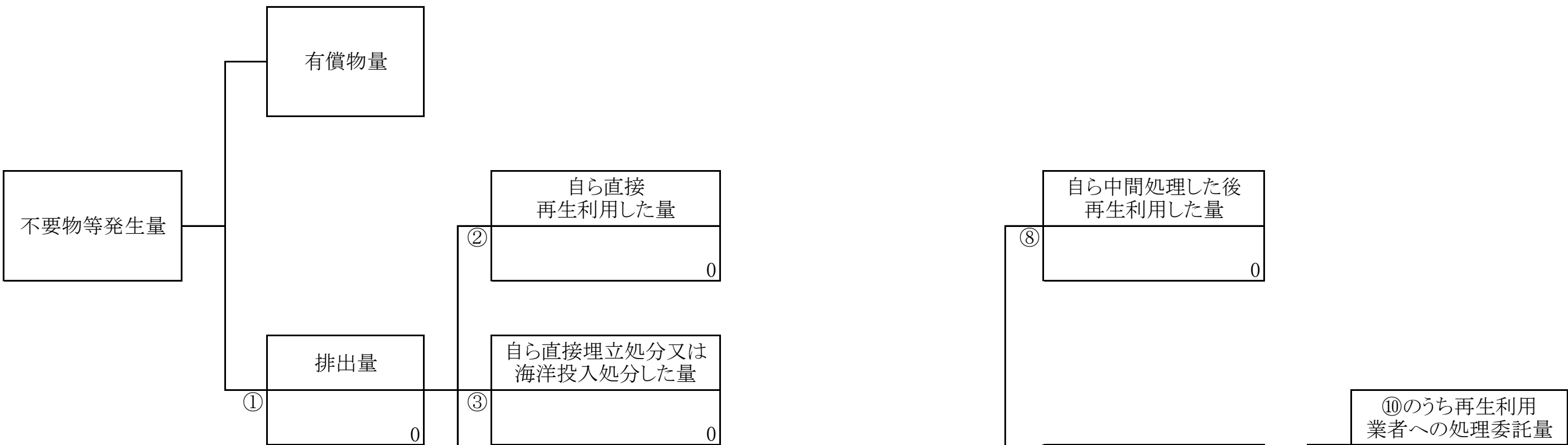
(産業廃棄物の種類：廃酸(水銀関連除く))



項目	実績値
①排出量	0
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0
⑤自ら熱回収を行った量	0
⑦自ら中間処理により減量した量	0
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0
⑩全処理委託量	0
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0
⑫再生利用業者への処理委託量	0
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0

計画の実施状況

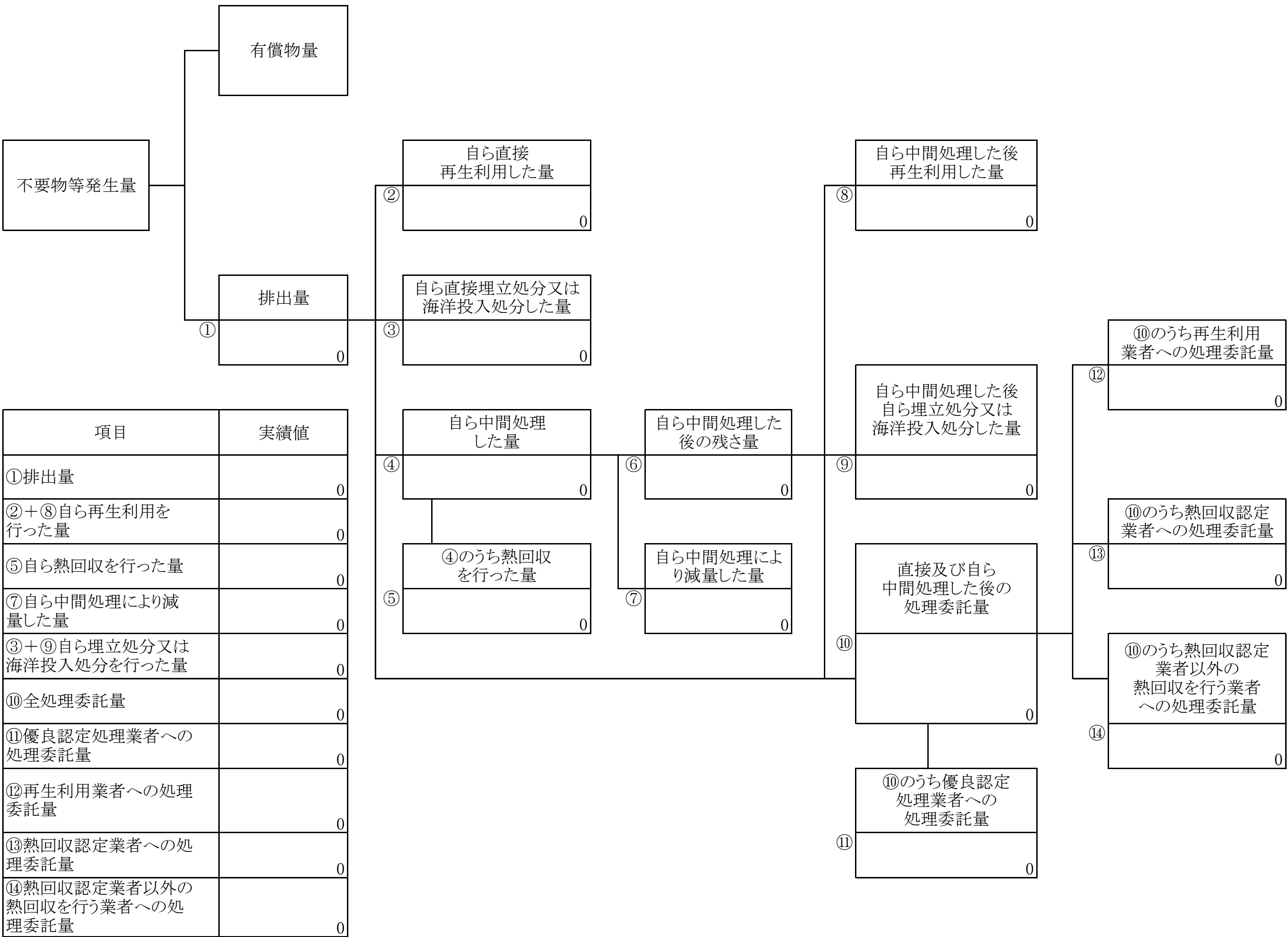
(産業廃棄物の種類：廃酸(水銀含有ばいじん等))



項目	実績値
①排出量	0
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0
⑤自ら熱回収を行った量	0
⑦自ら中間処理により減量した量	0
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0
⑩全処理委託量	0
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0
⑫再生利用業者への処理委託量	0
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0

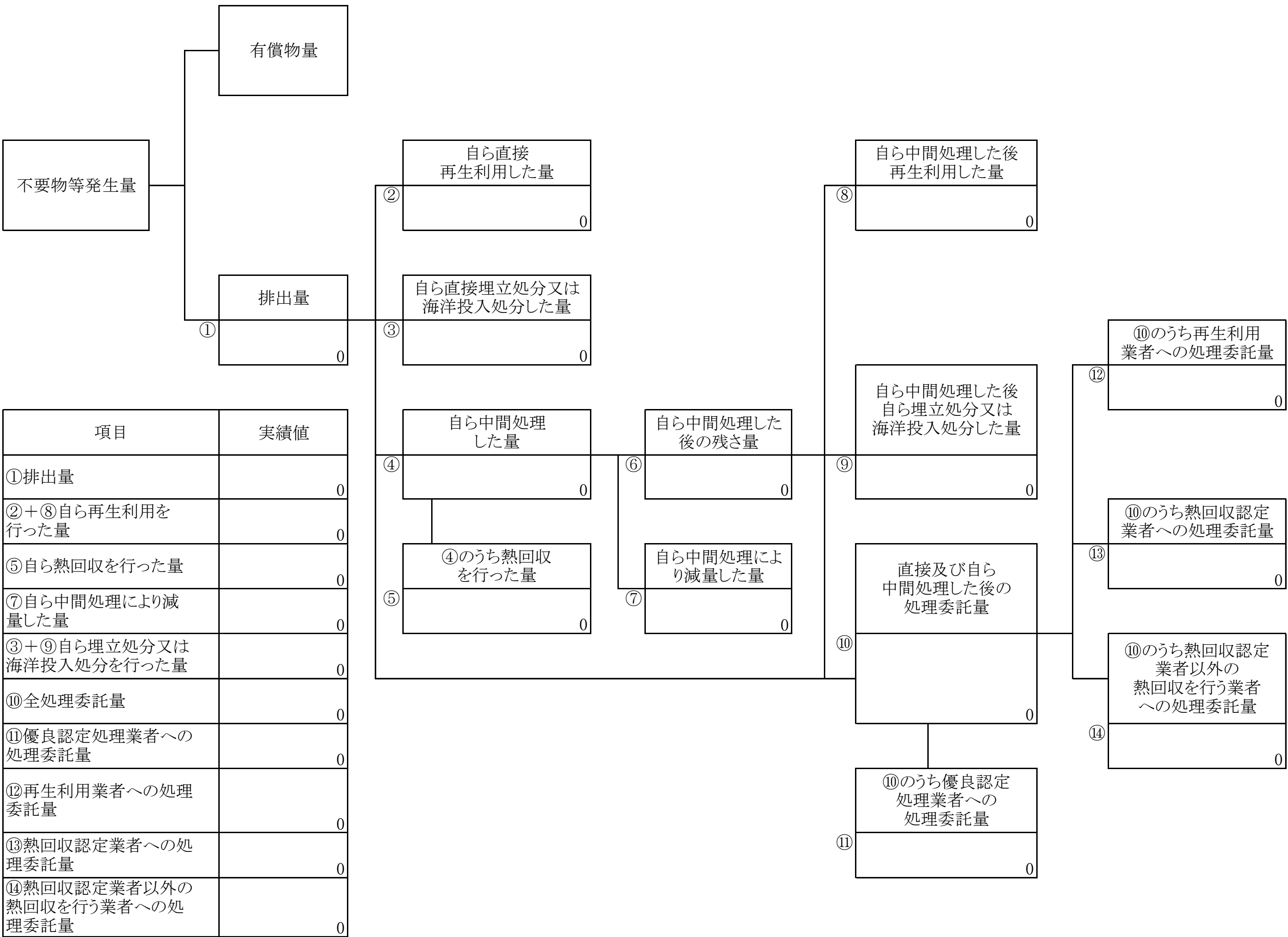
計画の実施状況

(産業廃棄物の種類：廃アルカリ(水銀含有ばいじん等))



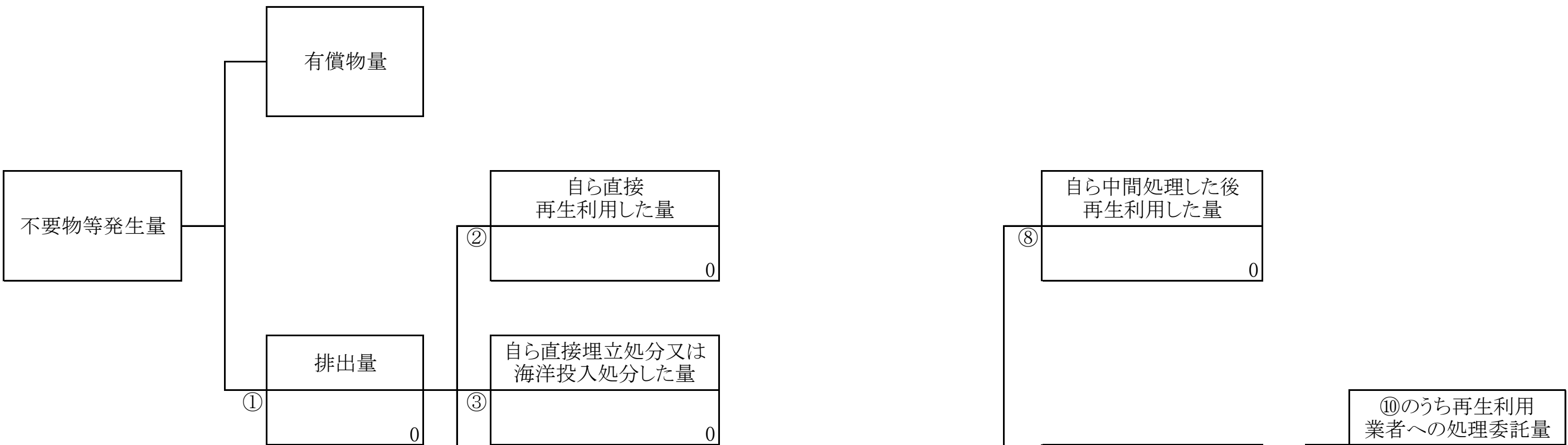
計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: ゴムくず)



計画の実施状況

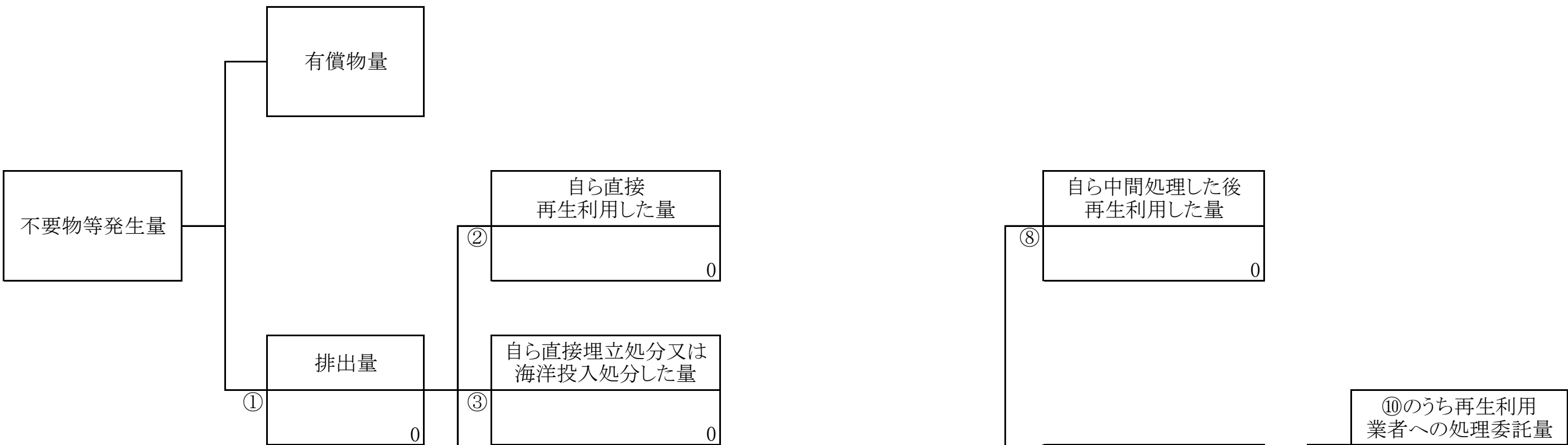
(産業廃棄物の種類：金属くず(水銀関連除く))



項目	実績値
①排出量	0
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0
⑤自ら熱回収を行った量	0
⑦自ら中間処理により減量した量	0
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0
⑩全処理委託量	0
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0
⑫再生利用業者への処理委託量	0
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0

計画の実施状況

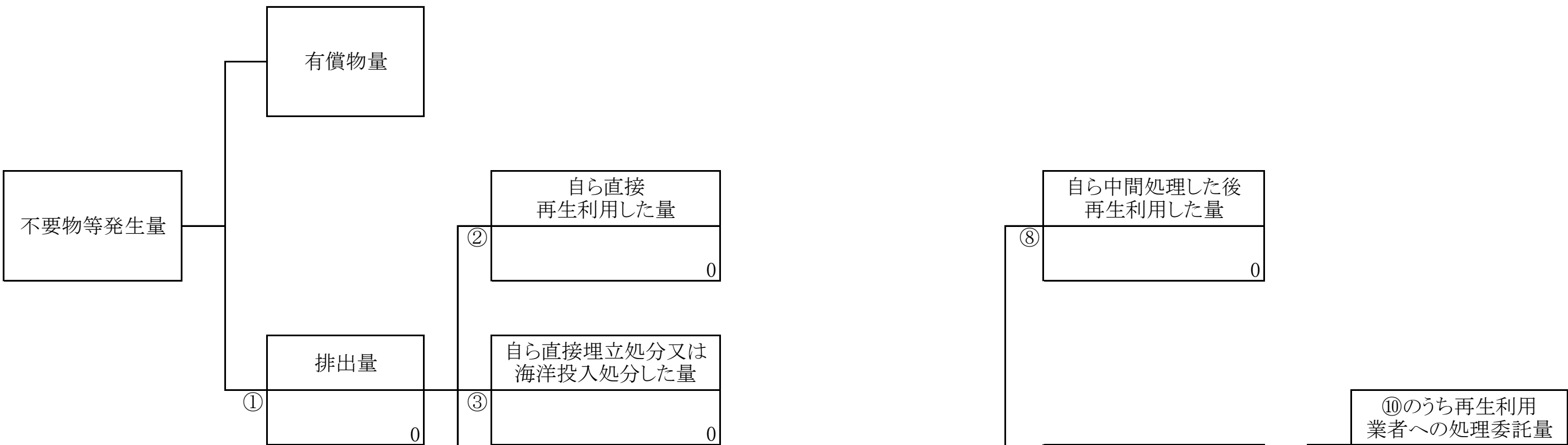
(産業廃棄物の種類：金属くず(水銀使用製品産業廃棄物))



項目	実績値
①排出量	0
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0
⑤自ら熱回収を行った量	0
⑦自ら中間処理により減量した量	0
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0
⑩全処理委託量	0
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0
⑫再生利用業者への処理委託量	0
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0

計画の実施状況

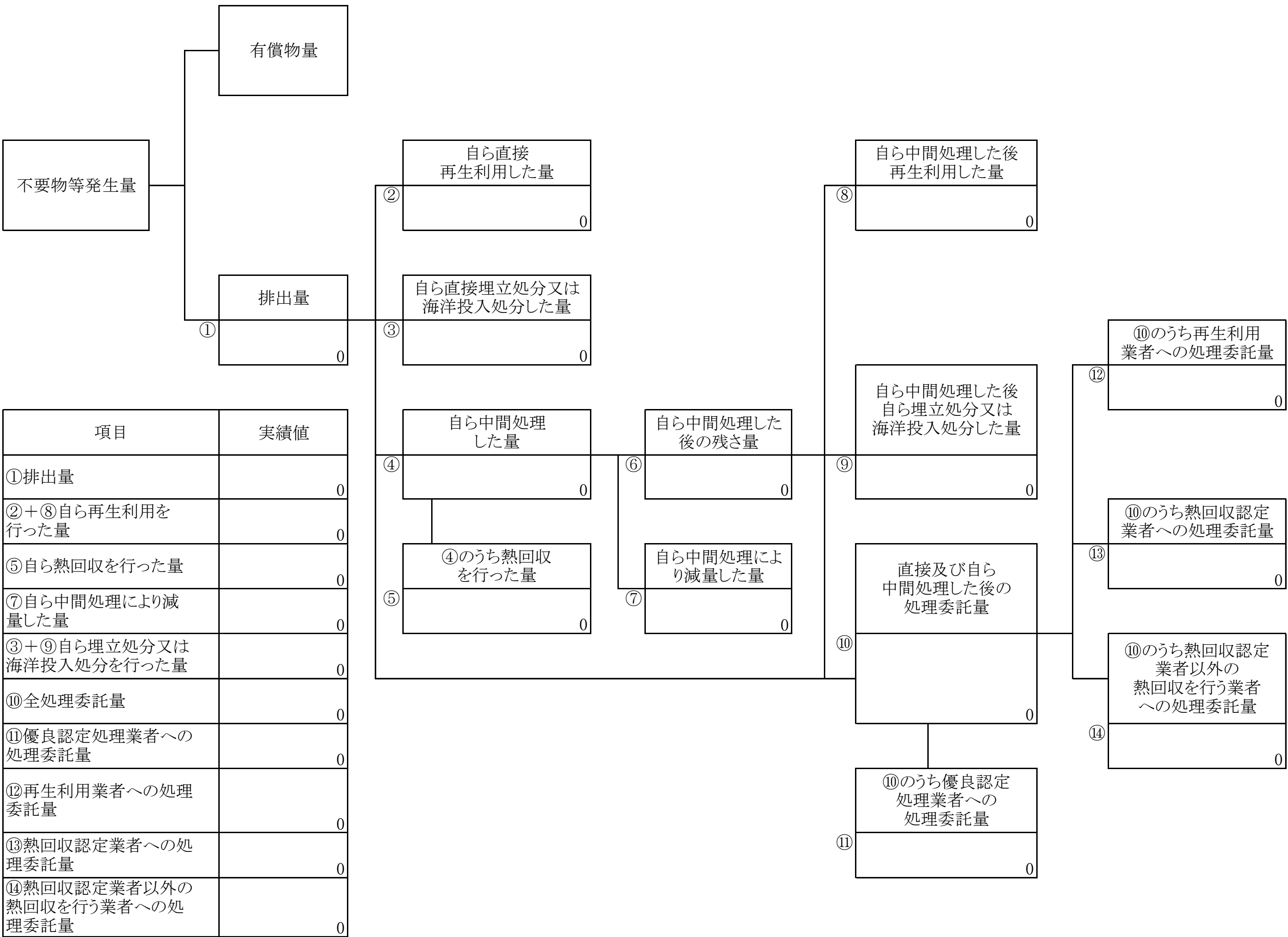
(産業廃棄物の種類：ガラス陶磁器等くず(水銀使用製品産業廃棄物))



項目	実績値
①排出量	0
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0
⑤自ら熱回収を行った量	0
⑦自ら中間処理により減量した量	0
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0
⑩全処理委託量	0
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0
⑫再生利用業者への処理委託量	0
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0

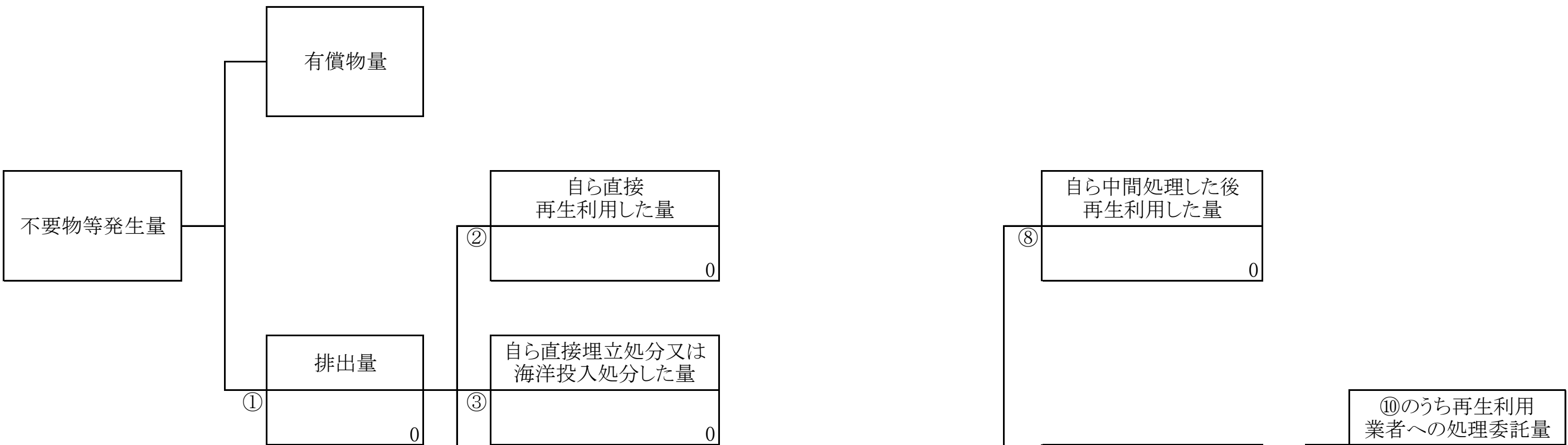
計画の実施状況

(産業廃棄物の種類： 鉍さい(水銀含有ばいじん等))



計画の実施状況

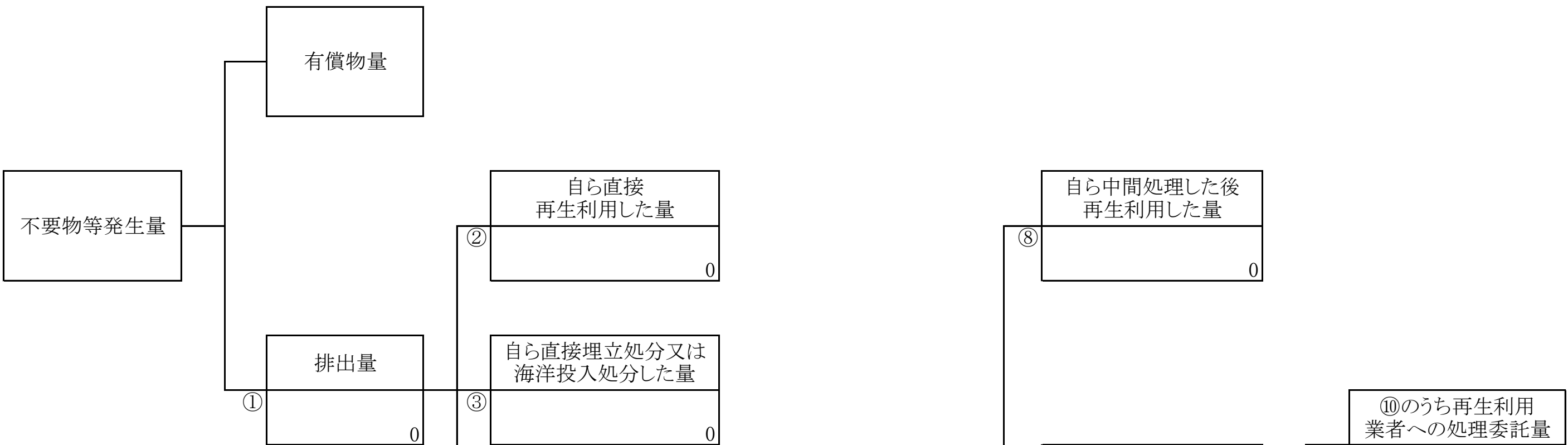
(産業廃棄物の種類：廃アスファルト)



項目	実績値
①排出量	0
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0
⑤自ら熱回収を行った量	0
⑦自ら中間処理により減量した量	0
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0
⑩全処理委託量	0
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0
⑫再生利用業者への処理委託量	0
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0

計画の実施状況

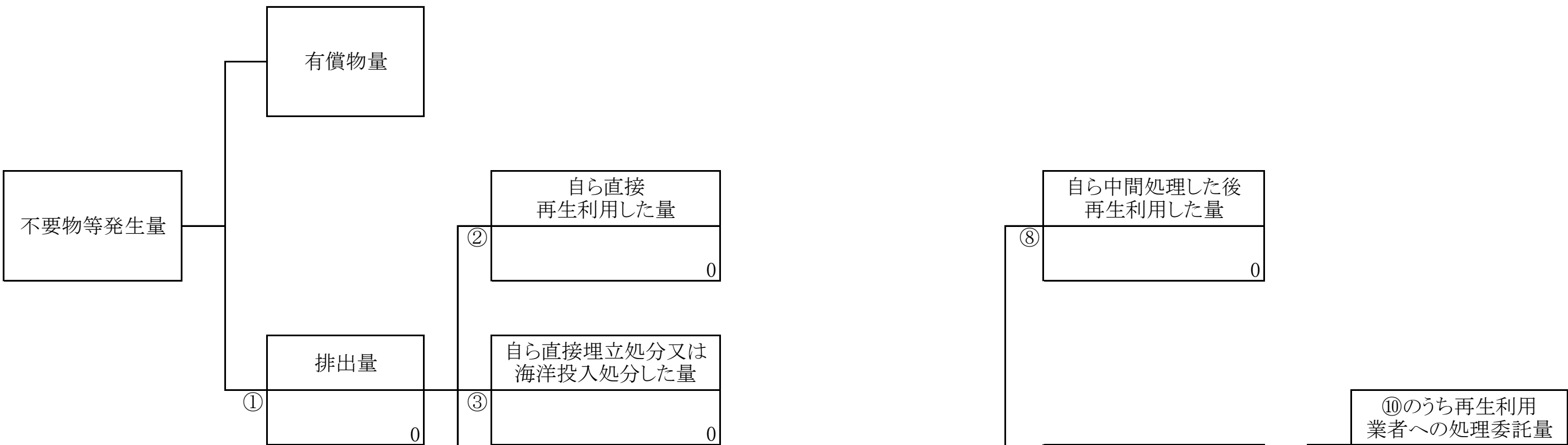
(産業廃棄物の種類：レンガ破片など)



項目	実績値
①排出量	0
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0
⑤自ら熱回収を行った量	0
⑦自ら中間処理により減量した量	0
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0
⑩全処理委託量	0
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0
⑫再生利用業者への処理委託量	0
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0

計画の実施状況

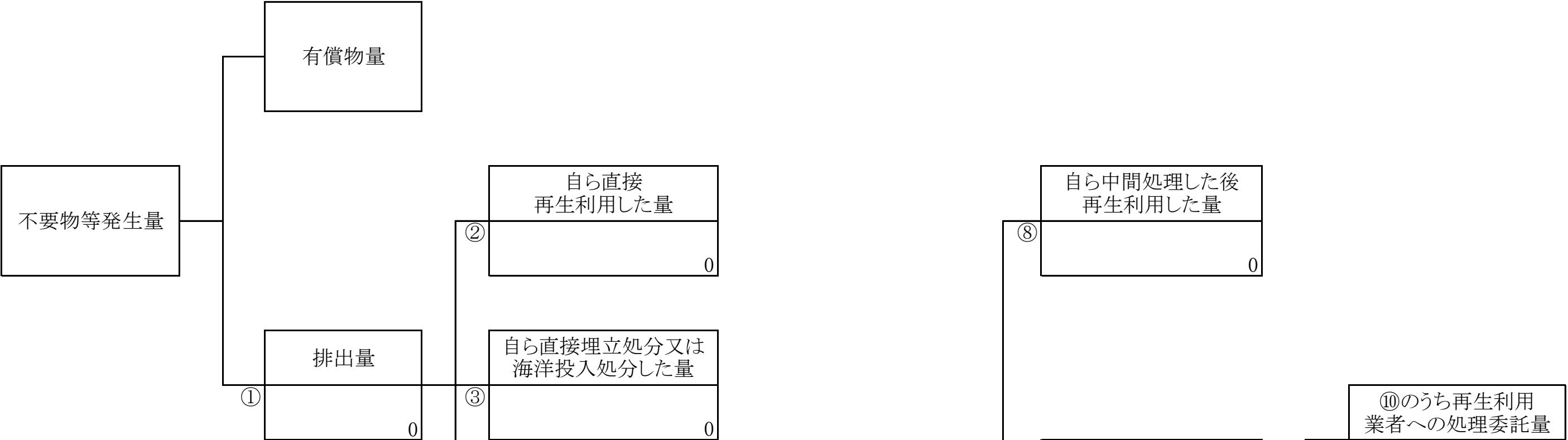
(産業廃棄物の種類：ばいじん(水銀関連除く))



項目	実績値
①排出量	0
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0
⑤自ら熱回収を行った量	0
⑦自ら中間処理により減量した量	0
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0
⑩全処理委託量	0
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0
⑫再生利用業者への処理委託量	0
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0

計画の実施状況

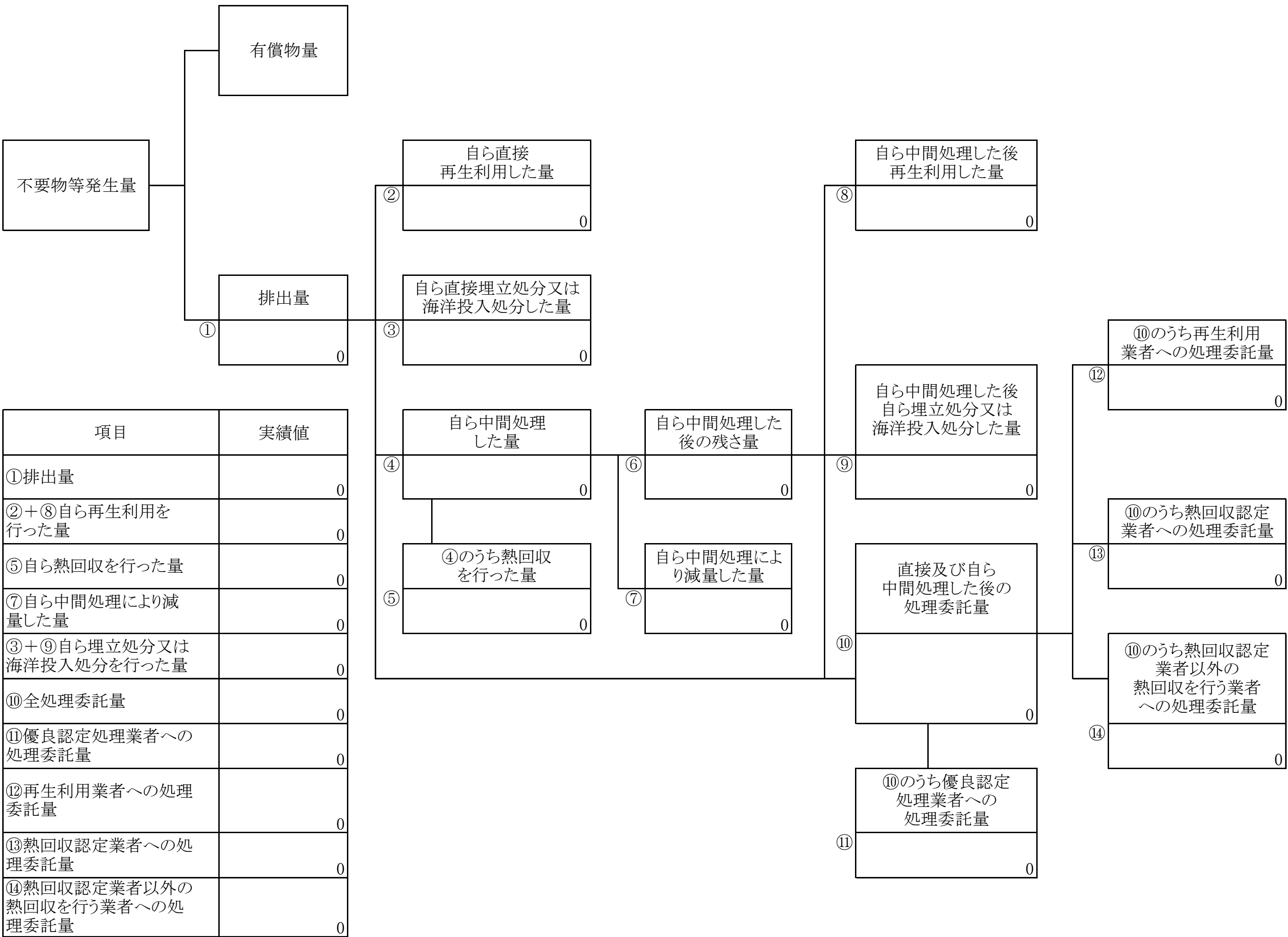
(産業廃棄物の種類：ばいじん(水銀含有ばいじん等))



項目	実績値
①排出量	0
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0
⑤自ら熱回収を行った量	0
⑦自ら中間処理により減量した量	0
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0
⑩全処理委託量	0
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0
⑫再生利用業者への処理委託量	0
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0

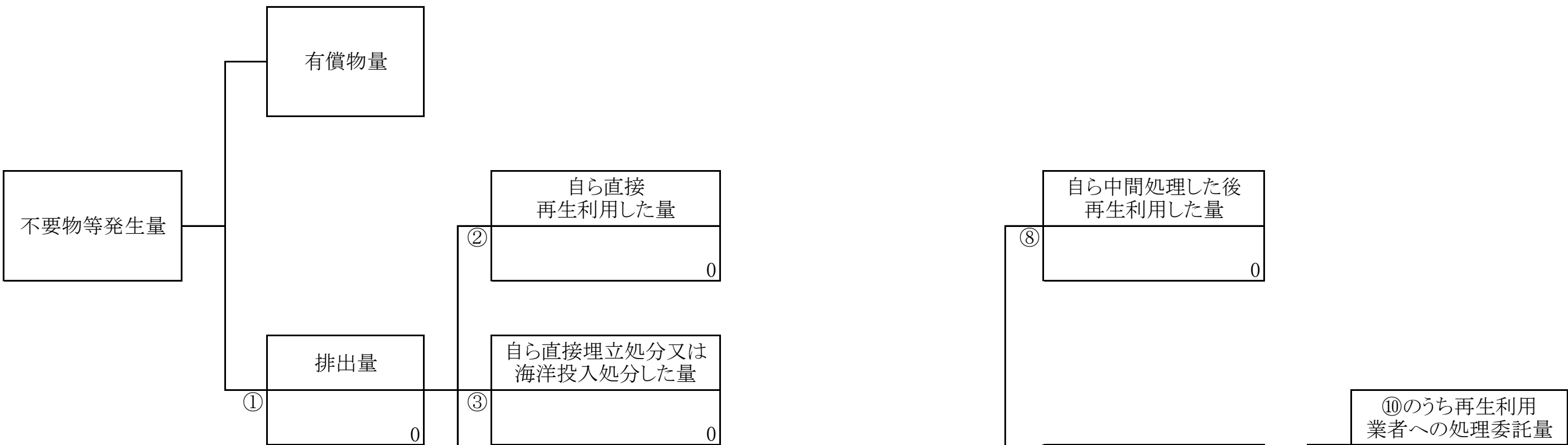
計画の実施状況

(産業廃棄物の種類：動植物性残さ)



計画の実施状況

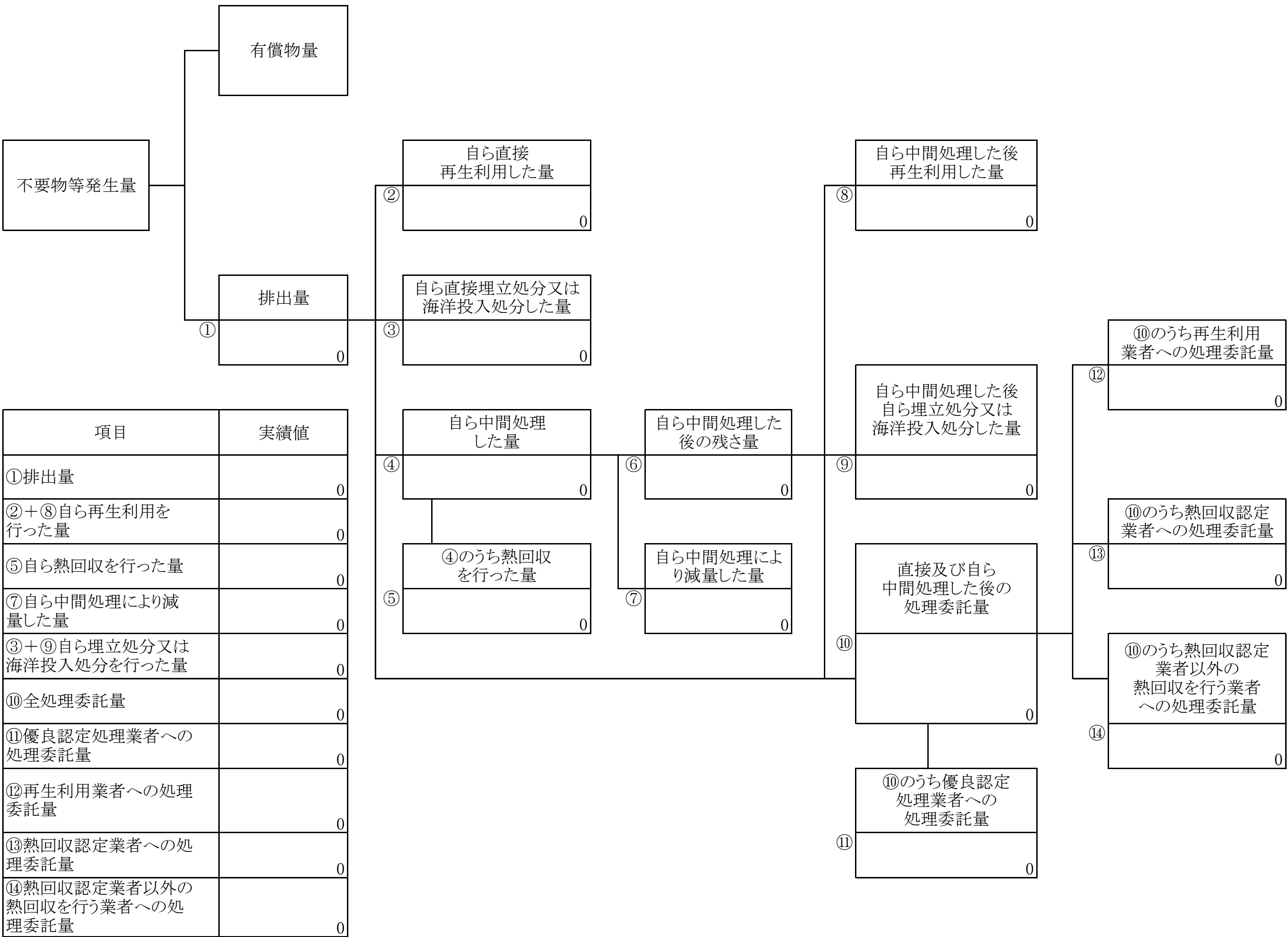
(産業廃棄物の種類：動物系固形不要物)



項目	実績値
①排出量	0
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0
⑤自ら熱回収を行った量	0
⑦自ら中間処理により減量した量	0
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0
⑩全処理委託量	0
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0
⑫再生利用業者への処理委託量	0
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0

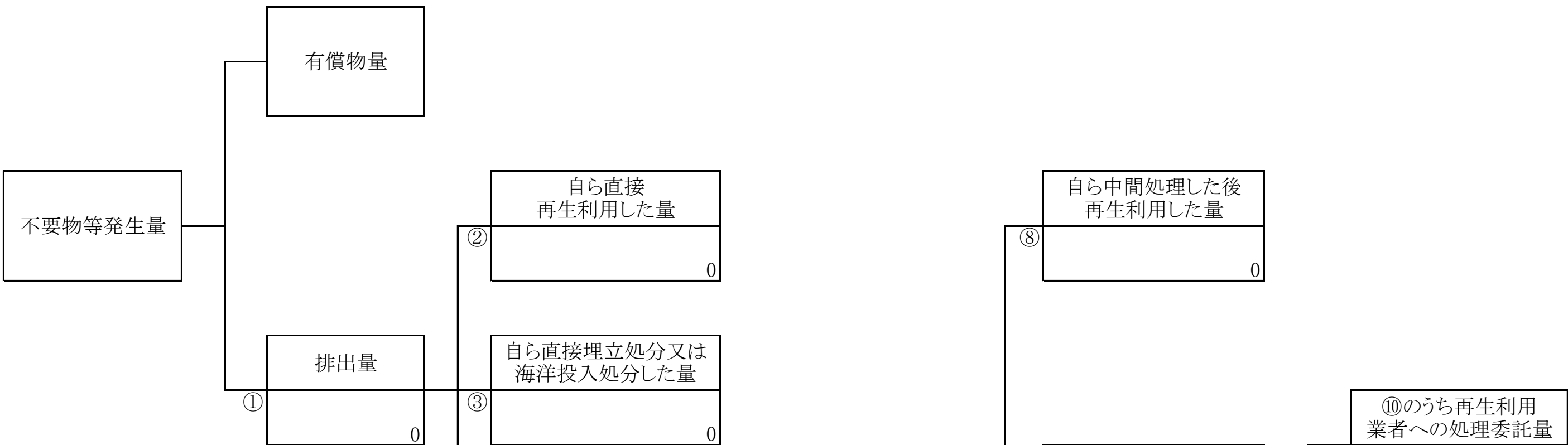
計画の実施状況

(産業廃棄物の種類：動物のふん尿)



計画の実施状況

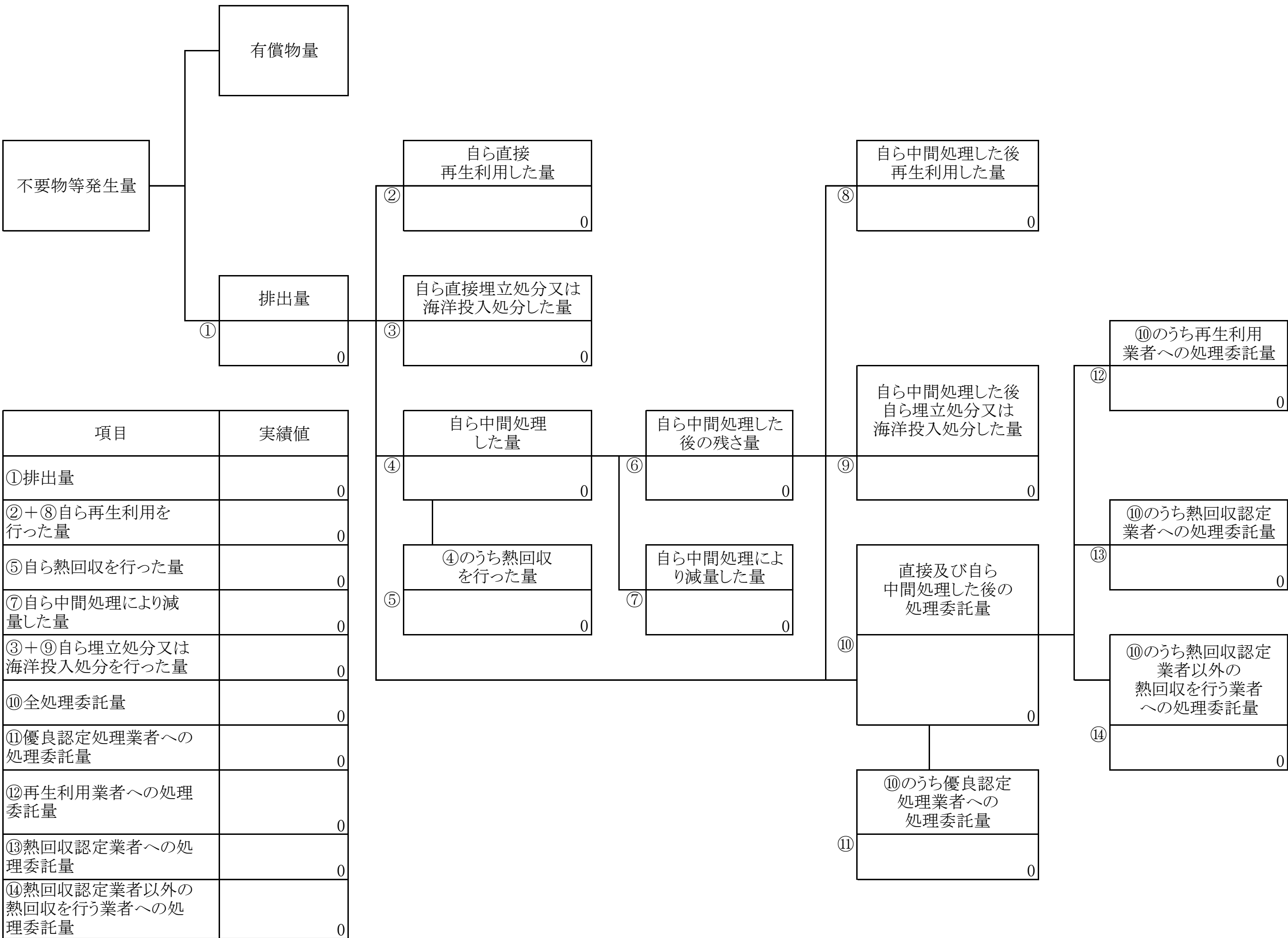
(産業廃棄物の種類：動物の死体)



項目	実績値
①排出量	0
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0
⑤自ら熱回収を行った量	0
⑦自ら中間処理により減量した量	0
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0
⑩全処理委託量	0
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0
⑫再生利用業者への処理委託量	0
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0

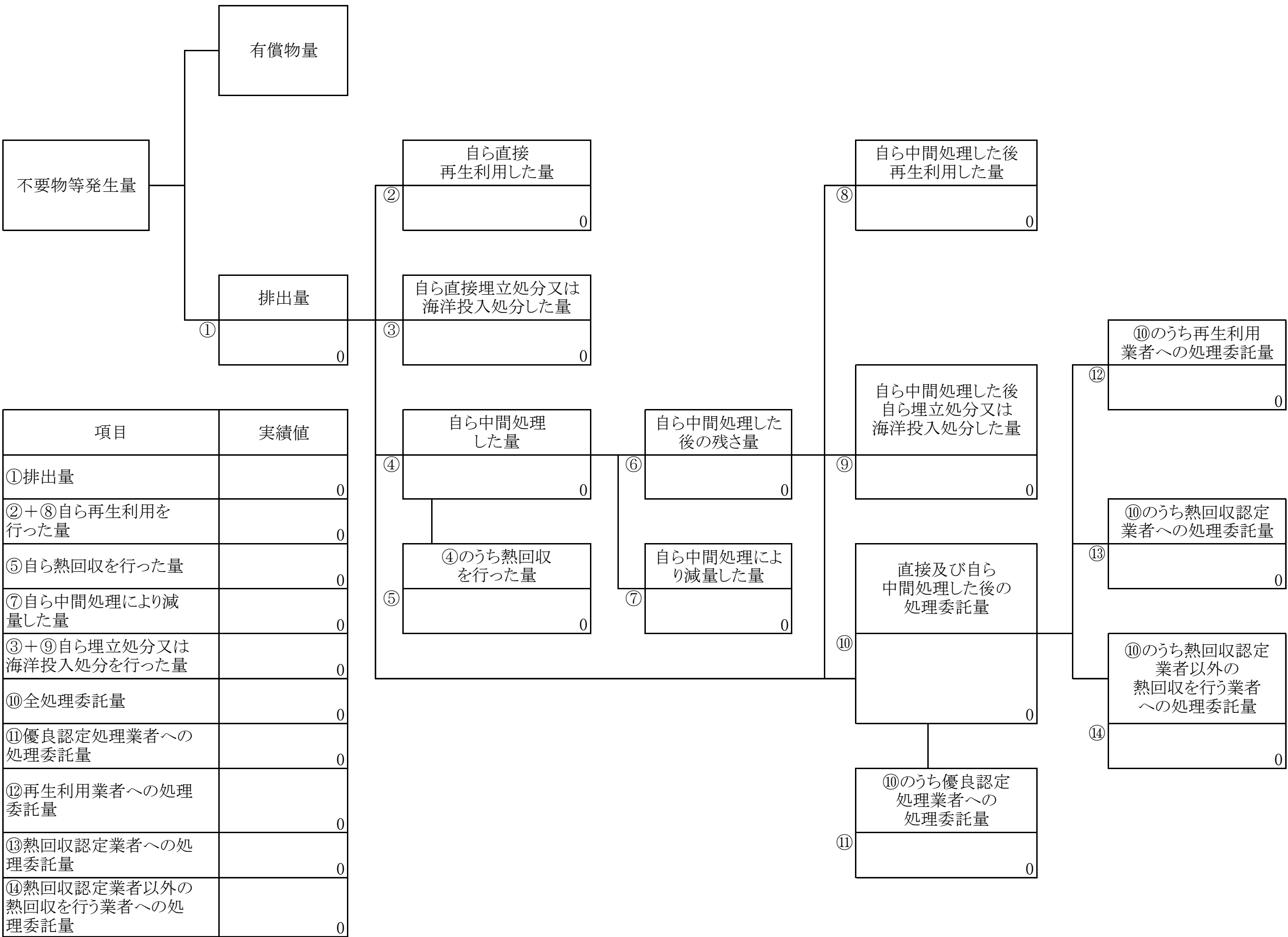
計画の実施状況

(産業廃棄物の種類：政令13号物(上記廃棄物の処理物であってこれらに該当しない))



計画の実施状況

(産業廃棄物の種類： 0)



備考

- 1 翌年度の6月30日までに提出すること。
- 2 「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
- 3 「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。
- 4 第2面には、前年度の産業廃棄物処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。
 - (1) ①欄 当該事業場において生じた産業廃棄物の量
 - (2) ②欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量
 - (3) ③欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
 - (4) ④欄 (1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量
 - (5) ⑤欄 (4)の量のうち、熱回収を行った量
 - (6) ⑥欄 自ら中間処理をした後の量
 - (7) ⑦欄 (4)の量から(6)の量を差し引いた量
 - (8) ⑧欄 (6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量
 - (9) ⑨欄 (6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量
 - (10) ⑩欄 中間処理及び最終処分を委託した量
 - (11) ⑪欄 (10)の量のうち、優良認定処理業者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者)への処理委託量
 - (12) ⑫欄 (10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量
 - (13) ⑬欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者)である処理業者への焼却処理委託量
 - (14) ⑭欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量
- 5 第2面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。
- 6 産業廃棄物の種類が2以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。
- 7 ※欄には、何も記入しないこと。

様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第 1 面）

産業廃棄物処理計画書

令和7年6月9日

千葉県知事
熊谷 俊人 殿

提出者 260-0017
住 所 千葉県千葉市中央区要町1-29 JR千葉現業ビル 2F
法人名 株式会社交通建設 執行役員千葉支店長
代表者 栗田 穰
（法人にあつては、名称及び代表者の氏名）
電話番号 043-207-5760

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	株式会社交通建設 千葉支店		
事業場の所在地	千葉県千葉市中央区要町1-29 JR千葉現業ビル2F		
計画期間	令和7年4月1日	から	令和8年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項			
①事業の種類	大分類：	建設業	中分類： D06－総合工事業
②事業の規模	元請完成工事高 8,600百万円		
③従業員数	126名		
④産業廃棄物の一連の処理の工程	別紙（処理工程）		

（日本産業規格 A列4番）

(第2面)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項			
(管理体制図) 別紙 (管理体制)			
産業廃棄物の排出の抑制に関する事項			
①現状	【前年度 (令和6年度) 実績】		
	産業廃棄物の種類	アスファルト・コンクリートがら	
	排出量	223.36 t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	アスファルト・コンクリートがら	
	排出量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
産業廃棄物の分別に関する事項			
①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)		
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)		

(第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
①現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	アスファルト・コンクリートが ら	
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	アスファルト・コンクリートが ら	
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
①現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	アスファルト・コンクリートが ら	
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	アスファルト・コンクリートが ら	
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
①現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	アスファルト・コンクリートが ら	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分 を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	アスファルト・コンクリートが ら	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分 を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
①現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	アスファルト・コンクリートが ら	
	全 処 理 委 託 量	t	t
	優良認定処理業者への処理 委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託 量	t	t
	認定熱回収業者への処理委 託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回 収を行う業者への処理委託 量	t	t
	(これまでに実施した取組)		

(第5面)

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	アスファルト・コンクリートが ら	
	全 処 理 委 託 量	t	t
	優良認定処理業者への処理 委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託 量	t	t
	認定熱回収業者への処理委 託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回 収を行う業者への処理委託 量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
※事務処理欄			

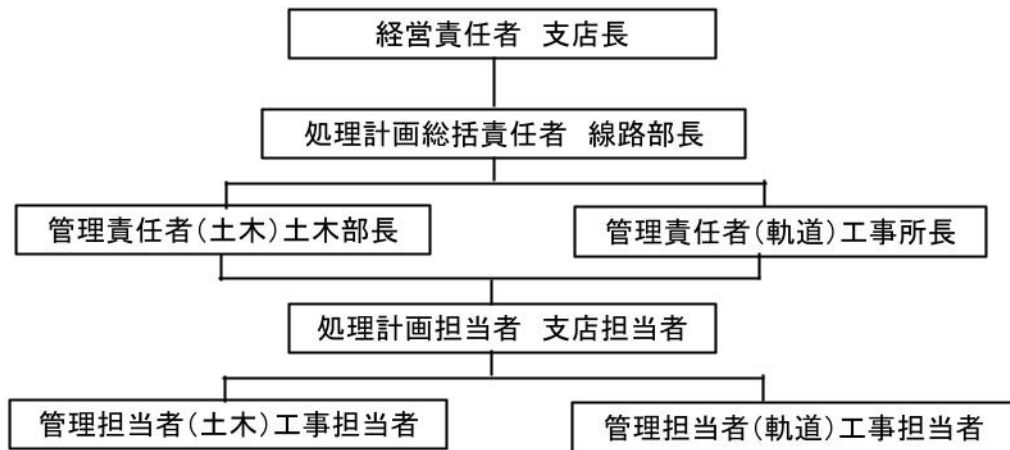
(第6面)

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1) ①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2) ②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3) ④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

軌道工事	レール交換	廃油	—— 再生処理業に委託して、蒸留・油水分離し再資源化
		廃プラスチック類	—— 再生処理業に委託して、再資源化・埋立
	マクラギ交換	紙くず	—— 再生処理業に委託して、再資源化
		木くず	—— 再生処理業に委託して、再資源化
	道床交換	ゴムくず	—— 再生処理業に委託して、再資源化・埋立
		金属くず	—— 再生処理業に委託して、再資源化
	踏切工事	ガラス・コンクリート・陶磁器くず	—— 再生処理業に委託して、選別し再資源化・破碎・埋立
		コンクリートがら	—— 再生処理業に委託して、再生砕石として再資源化
	軌道修繕	アスファルト・コンクリートがら	—— 再生処理業に委託して、再生砕石として再資源化
		がれき類	—— 再生処理業に委託して、選別し再資源化・破碎・埋立
	機械作業	建設混合廃棄物	—— 再生処理業に委託して、選別し再資源化・破碎・埋立
		管理型混合廃棄物	—— 再生処理業に委託して、選別し再資源化・破碎・埋立
		安定型混合廃棄物	—— 再生処理業に委託して、混合し再資源化・埋立
		汚泥	—— 再生処理業に委託して、選別し再資源化・埋立

土木工事	横断管路新設			
	橋脚根固工新設	汚泥	—	再生処理業に委託して、選別し再資源化・埋立
	こ線橋側壁修繕			
	乗降場舗装修繕	廃プラスチック類	—	再生処理業に委託して、再資源化・埋立
	乗降場笠石修繕			
	警告ブロック改良	木くず	—	再生処理業に委託して、再資源化
	こ線橋修繕工事			
	高欄改良工事	金属くず	—	再生処理業に委託して、再資源化
	桁補修工事			
	さくがき新設	ガラス・コンクリート・陶磁器くず	—	再生処理業に委託して、選別し再資源化・破碎・埋立
	排水こう新設			
	のり面工修繕			
	作業用通路修繕	コンクリートがら	—	再生処理業に委託して、再生砕石として再資源化
	排水とい修繕			
	伏び改良工事	アスファルト・コンクリートがら	—	再生処理業に委託して、再生砕石として再資源化
	ホーム桁改良			
	耐震補強工事	がれき類	—	再生処理業に委託して、選別し再資源化・破碎・埋立
	旅客通路修繕			
	伏び調査	安定型混合廃棄物	—	再生処理業に委託して、混合し再資源化・埋立
	土留壁工事			
	排水溝浚渫	管理型混合廃棄物	—	再生処理業に委託して、混合し再資源化・埋立
	のり面工新設			



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項							
①現状	【前年度(令和6年度)実績】						
	産業廃棄物の種類	アスファルト・コンクリートがら	安定型混合廃棄物	汚泥	紙くず	ガラス・コンクリート・陶磁器くず	がれき類
	排出量	223.36t	5.80t	47.00t	2.04t	20.83t	4,500.27t
	産業廃棄物の種類	がれき類(石綿含有産業廃棄物)	管理型混合廃棄物	木くず	金属くず	コンクリートがら	建設混合廃棄物
	排出量	22.00t	8.06t	443.19t	60.90t	304.46t	0.07t
	産業廃棄物の種類	廃酸	廃プラスチック類	廃油			
	排出量	0.03t	94.05t	1.57t			
	(これまでに実施した取組) ・工法の改善を実施。						
②計画	【目標】						
	産業廃棄物の種類	アスファルト・コンクリートがら	安定型混合廃棄物	汚泥	紙くず	ガラス・コンクリート・陶磁器くず	がれき類
	排出量	212.00t	6.00t	45.00t	2.00t	20.00t	4,275.00t
	産業廃棄物の種類	がれき類(石綿含有産業廃棄物)	管理型混合廃棄物	木くず	金属くず	コンクリートがら	建設混合廃棄物
	排出量	21.00t	8.00t	421.00t	58.00t	289.00t	0.00t
	産業廃棄物の種類	廃酸	廃プラスチック類	廃油			
	排出量	0.00t	89.00t	1.00t			
	(今後実施する予定の取組) ・前年度以上に工法の改善を実施。						

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度(令和6年度)実績】						
	産業廃棄物の種類	アスファルト・コンクリートがら	安定型混合廃棄物	汚泥	紙くず	ガラス・コンクリート・陶磁器くず	がれき類
	全処理委託量	223.36t	5.80t	47.00t	2.04t	20.83t	4,500.27t
	優良認定処理業者への処理委託量	-	-	-	金属くず	コンクリートがら	-
	再生利用業者への処理委託量	223.36t	5.80t	47.00t	2.04t	20.83t	4,500.27t
	認定熱回収業者への処理委託量	-	-	-	-	-	-
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	-	-	-	-	-	-
	産業廃棄物の種類	がれき類(石綿含有産業廃棄物)	管理型混合廃棄物	木くず	金属くず	コンクリートがら	建設混合廃棄物
	全処理委託量	22.00t	8.06t	443.19t	60.90t	304.46t	0.07t
	優良認定処理業者への処理委託量	-	-	-	-	-	-
	再生利用業者への処理委託量	22.00t	8.06t	443.19t	60.90t	304.46t	0.07t
	認定熱回収業者への処理委託量	-	-	-	-	-	-
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	-	-	-	-	-	-
	産業廃棄物の種類	廃酸	廃プラスチック類	廃油			
	全処理委託量	0.03t	94.05t	1.57t			
	優良認定処理業者への処理委託量	-	-	-			
	再生利用業者への処理委託量	0.03t	94.05t	1.57t			
	認定熱回収業者への処理委託量	-	-	-			
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	-	-	-			
	(これまでに実施した取組)						
	・委託基準に則った業者の選定及び書面による契約の実施						

産業廃棄物の処理の委託に関する事項							
②計画	【目標】						
	産業廃棄物の種類	アスファルト・コンクリートがら	安定型混合廃棄物	汚泥	紙くず	ガラス・コンクリート・陶磁器くず	がれき類
	全処理委託量	212.00t	6.00t	45.00t	2.00t	20.00t	4,275.00t
	優良認定処理業者への処理委託量	-	-	-	金属くず	コンクリートがら	-
	再生利用業者への処理委託量	212.00t	6.00t	45.00t	2.00t	20.00t	4,275.00t
	認定熱回収業者への処理委託量	-	-	-	-	-	-
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	-	-	-	-	-	-
	産業廃棄物の種類	がれき類(石綿含有産業廃棄物)	管理型混合廃棄物	木くず	金属くず	コンクリートがら	建設混合廃棄物
	全処理委託量	21.00t	8.00t	421.00t	58.00t	289.00t	0.00t
	優良認定処理業者への処理委託量	-	-	-	-	-	-
	再生利用業者への処理委託量	21.00t	8.00t	421.00t	58.00t	289.00t	0.00t
	認定熱回収業者への処理委託量	-	-	-	-	-	-
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	-	-	-	-	-	-
	産業廃棄物の種類	廃酸	廃プラスチック類	廃油			
	全処理委託量	0.00t	89.00t	1.00t			
	優良認定処理業者への処理委託量	-	-	-			
	再生利用業者への処理委託量	0.00t	89.00t	1.00t			
	認定熱回収業者への処理委託量	-	-	-			
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	-	-	-			
	(今後実施する予定の取組)						
・可能な限り優良認定事業者から委託先を選定する。 ・再生利用、熱回収が可能な廃棄物については再利用業者、熱回収業者へ処理を委託する。 ・委託処理業者には定期的に現地確認を実施する。							

(第1面)

産業廃棄物処理計画実施状況報告書			
令和7年6月9日			
千葉県知事 熊谷 俊人 殿			
提出者 260-0017			
住所 千葉県千葉市中央区要町1-29 JR千葉現業ビル2F			
法人名 株式会社交通建設 執行役員千葉支店長			
代表者 栗田 穰			
(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)			
電話番号 043-207-5760			
産業廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、令和6年度の産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。			
事業場の名称	株式会社交通建設 千葉支店		
事業場の所在地	千葉県千葉市中央区要町1-29 JR千葉現業ビル2F		
事業の種類	大分類 建設業 中分類 D06ー総合工事業		
産業廃棄物処理計画における計画期間	令和6年4月1日 から 令和7年3月31日		
産業廃棄物処理計画における目標値			
項目	目標値	項目	目標値
排出量	5029 t	全処理委託量	5029 t
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	優良認定処理業者への処理委託量	t
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	再生利用業者への処理委託量	5029 t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	認定熱回収業者への処理委託量	t
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t

N0.1

(第2面)

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: アスファルト・コンクリートがら)

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

不要物等発生量	有償物量		②自ら直接再生利用した量	⑧自ら中間処理した後再生利用した量	
	①排出量	223.4t	③自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量		
			④自ら中間処理した量	⑥自ら中間処理した後の残さ量	
			⑤④のうち熱回収を行った量	⑦自ら中間処理により減量した量	
項目		実績値	⑨自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量	⑩直接及び自ら中間処理した後の処理委託量	⑫⑩のうち再生利用業者への処理委託量
①排出量		223.4 t			223.4 t
②+⑧自ら再生利用を行った量		0.0 t			
⑤自ら熱回収を行った量		0.0 t			⑬⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量
⑦自ら中間処理により減量した量		0.0 t		0.0 t	
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量		0.0 t			
⑩全処理委託量		223.4 t		223.4 t	⑭⑩のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量
⑪優良認定処理業者への処理委託量		0.0 t			
⑫再生利用業者への処理委託量		223.4 t		⑪⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量	
⑬熱回収認定業者への処理委託量		0.0 t			
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量		0.0 t			

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: 安定型混合廃棄物)

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

不要物等発生量

有償物量

②自ら直接再生利用した量

③自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量

④自ら中間処理した量

⑤ ④のうち熱回収を行った量

⑥自ら中間処理した後の残さ量

⑦自ら中間処理により減量した量

⑧自ら中間処理した後再生利用した量

⑨自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量

⑩直接及び自ら中間処理した後の処理委託量

⑪ ⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量

⑫ ⑩のうち再生利用業者への処理委託量

⑬ ⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量

⑭ ⑩のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量

項目	実績値
①排出量	5.8 t
②+⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	5.8 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	5.8 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: 汚泥)

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

不要物等発生量

有償物量

②自ら直接再生利用した量

③自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量

④自ら中間処理した量

⑤ ④のうち熱回収を行った量

⑥自ら中間処理した後の残さ量

⑦自ら中間処理により減量した量

⑧自ら中間処理した後再生利用した量

⑨自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量

⑩直接及び自ら中間処理した後の処理委託量

⑪ ⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量

⑫ ⑩のうち再生利用業者への処理委託量

⑬ ⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量

⑭ ⑩のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量

項目	実績値
①排出量	47.0 t
②+⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	47.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	47.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: 紙くず)

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

不要物等発生量

有償物量

②自ら直接再生利用した量

③自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量

④自ら中間処理した量

⑤ ④のうち熱回収を行った量

⑥自ら中間処理した後の残さ量

⑦自ら中間処理により減量した量

⑧自ら中間処理した後再生利用した量

⑨自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量

⑩直接及び自ら中間処理した後の処理委託量

⑪ ⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量

⑫ ⑩のうち再生利用業者への処理委託量

⑬ ⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量

⑭ ⑩のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量

項目	実績値
①排出量	2.0 t
②+⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	2.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	2.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.5

(第2面)

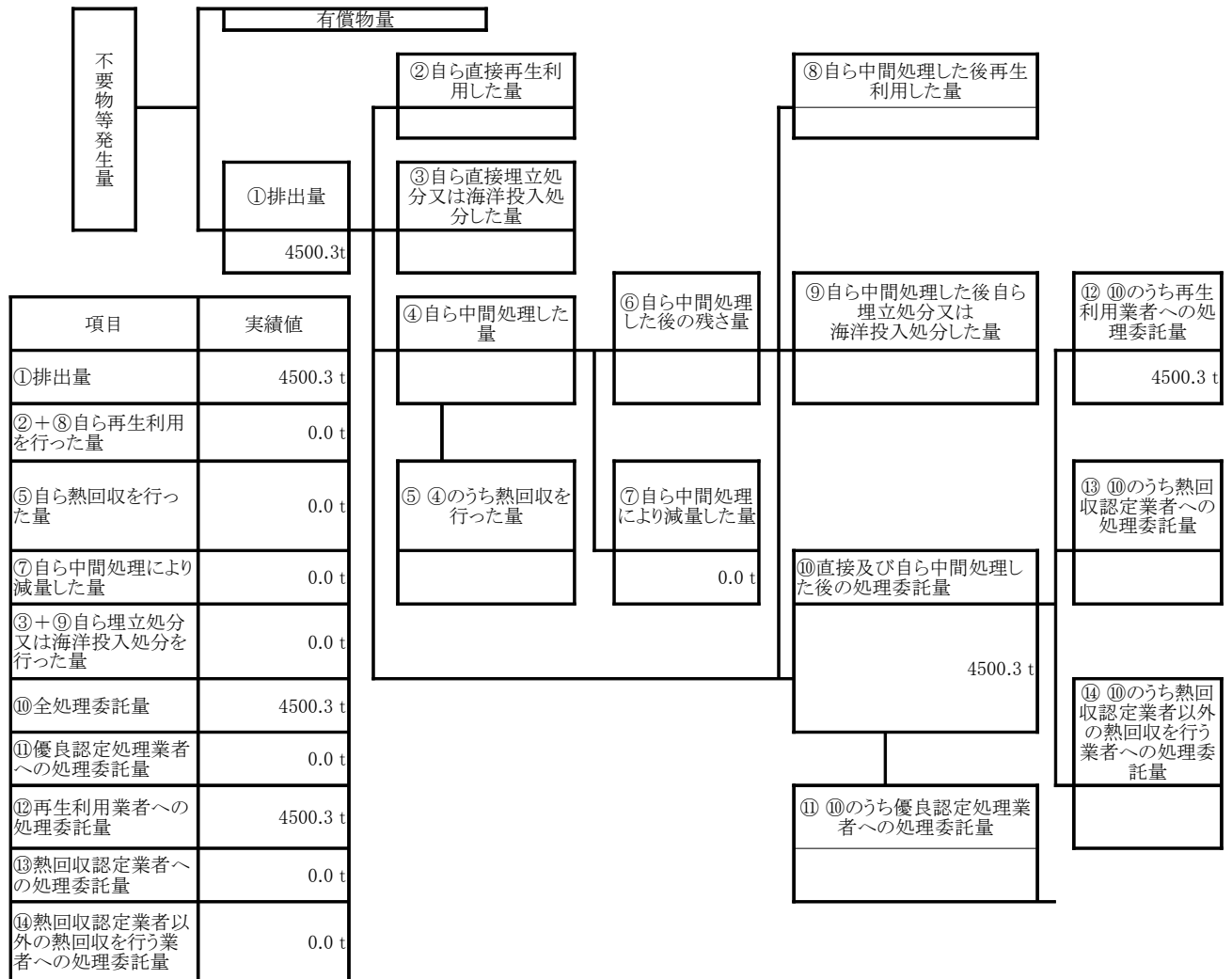
計画の実施状況

(産業廃棄物の種類:

がれき類

)

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。



計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: **ガラス・コンクリート・陶磁器くず**)

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

不要物等発生量

有償物量

②自ら直接再生利用した量

③自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量

④自ら中間処理した量

⑤ ④のうち熱回収を行った量

⑥自ら中間処理した後の残さ量

⑦自ら中間処理により減量した量

⑧自ら中間処理した後再生利用した量

⑨自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量

⑩直接及び自ら中間処理した後の処理委託量

⑪ ⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量

⑫ ⑩のうち再生利用業者への処理委託量

⑬ ⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量

⑭ ⑩のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量

項目	実績値
①排出量	20.8 t
②+⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	20.8 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	20.8 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: がれき類(石綿含有産業廃棄物))

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

不要物等発生量

有償物量

②自ら直接再生利用した量

③自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量

④自ら中間処理した量

⑤ ④のうち熱回収を行った量

⑥自ら中間処理した後の残さ量

⑦自ら中間処理により減量した量

⑧自ら中間処理した後再生利用した量

⑨自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量

⑩直接及び自ら中間処理した後の処理委託量

⑪ ⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量

⑫ ⑩のうち再生利用業者への処理委託量

⑬ ⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量

⑭ ⑩のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量

項目	実績値
①排出量	22.0 t
②+⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	22.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	22.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: 管理型混合廃棄物)

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

不要物等発生量

有償物量

②自ら直接再生利用した量

③自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量

④自ら中間処理した量

⑤ ④のうち熱回収を行った量

⑥自ら中間処理した後の残さ量

⑦自ら中間処理により減量した量

⑧自ら中間処理した後再生利用した量

⑨自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量

⑩直接及び自ら中間処理した後の処理委託量

⑪ ⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量

⑫ ⑩のうち再生利用業者への処理委託量

⑬ ⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量

⑭ ⑩のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量

項目	実績値
①排出量	8.1 t
②+⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	8.1 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	8.1 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: 木くず)

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

不要物等発生量

有償物量

②自ら直接再生利用した量

③自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量

④自ら中間処理した量

⑤ ④のうち熱回収を行った量

⑥自ら中間処理した後の残さ量

⑦自ら中間処理により減量した量

⑧自ら中間処理した後再生利用した量

⑨自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量

⑩直接及び自ら中間処理した後の処理委託量

⑪ ⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量

⑫ ⑩のうち再生利用業者への処理委託量

⑬ ⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量

⑭ ⑩のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量

項目	実績値
①排出量	443.2 t
②+⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	443.2 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	443.2 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: 金属くず)

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

不要物等発生量

有償物量

②自ら直接再生利用した量

③自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量

④自ら中間処理した量

⑤ ④のうち熱回収を行った量

⑥自ら中間処理した後の残さ量

⑦自ら中間処理により減量した量

⑧自ら中間処理した後再生利用した量

⑨自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量

⑩直接及び自ら中間処理した後の処理委託量

⑪ ⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量

⑫ ⑩のうち再生利用業者への処理委託量

⑬ ⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量

⑭ ⑩のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量

項目	実績値
①排出量	60.9 t
②+⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	60.9 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	60.9 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: コンクリートがら)

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

不要物等発生量

有償物量

②自ら直接再生利用した量

⑧自ら中間処理した後再生利用した量

①排出量

304.5t

③自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量

④自ら中間処理した量

⑥自ら中間処理した後の残さ量

⑨自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量

⑤④のうち熱回収を行った量

⑦自ら中間処理により減量した量

0.0 t

⑩直接及び自ら中間処理した後の処理委託量

304.5 t

⑪⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量

⑫⑩のうち再生利用業者への処理委託量

304.5 t

⑬⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量

⑭⑩のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量

項目	実績値
①排出量	304.5 t
②+⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	304.5 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	304.5 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: 建設混合廃棄物)

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

不要物等発生量

有償物量

②自ら直接再生利用した量

③自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量

④自ら中間処理した量

⑤ ④のうち熱回収を行った量

⑥自ら中間処理した後の残さ量

⑦自ら中間処理により減量した量

⑧自ら中間処理した後再生利用した量

⑨自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量

⑩直接及び自ら中間処理した後の処理委託量

⑪ ⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量

⑫ ⑩のうち再生利用業者への処理委託量

⑬ ⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量

⑭ ⑩のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量

項目	実績値
①排出量	0.1 t
②+⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.1 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.1 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: 廃酸)

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

不要物等発生量

有償物量

②自ら直接再生利用した量

③自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量

④自ら中間処理した量

⑤ ④のうち熱回収を行った量

⑥自ら中間処理した後の残さ量

⑦自ら中間処理により減量した量

⑧自ら中間処理した後再生利用した量

⑨自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量

⑩直接及び自ら中間処理した後の処理委託量

⑪ ⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量

⑫ ⑩のうち再生利用業者への処理委託量

⑬ ⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量

⑭ ⑩のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量

項目	実績値
①排出量	0.0 t
②+⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	0.0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: 廃プラスチック類)

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

不要物等発生量

有償物量

②自ら直接再生利用した量

③自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量

④自ら中間処理した量

⑤ ④のうち熱回収を行った量

⑥自ら中間処理した後の残さ量

⑦自ら中間処理により減量した量

⑧自ら中間処理した後再生利用した量

⑨自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量

⑩直接及び自ら中間処理した後の処理委託量

⑪ ⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量

⑫ ⑩のうち再生利用業者への処理委託量

⑬ ⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量

⑭ ⑩のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量

項目	実績値
①排出量	94.1 t
②+⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	94.1 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	94.1 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

N0.15

(第2面)

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: 廃油)

※単位はtです。半角数字のみ入力してください。

不要物等発生量

有償物量

②自ら直接再生利用した量

③自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量

④自ら中間処理した量

⑤ ④のうち熱回収を行った量

⑥自ら中間処理した後の残さ量

⑦自ら中間処理により減量した量

⑧自ら中間処理した後再生利用した量

⑨自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量

⑩直接及び自ら中間処理した後の処理委託量

⑪ ⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量

⑫ ⑩のうち再生利用業者への処理委託量

⑬ ⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量

⑭ ⑩のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量

項目	実績値
①排出量	1.6 t
②+⑧自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩全処理委託量	1.6 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	1.6 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

備考

- 1 翌年度の6月30日までに提出すること。
- 2 「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
- 3 「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。
- 4 第2面には、前年度の産業廃棄物処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。
 - (1) ①欄 当該事業場において生じた産業廃棄物の量
 - (2) ②欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量
 - (3) ③欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
 - (4) ④欄 (1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量
 - (5) ⑤欄 (4)の量のうち、熱回収を行った量
 - (6) ⑥欄 自ら中間処理をした後の量
 - (7) ⑦欄 (4)の量から(6)の量を差し引いた量
 - (8) ⑧欄 (6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量
 - (9) ⑨欄 (6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量
 - (10) ⑩欄 中間処理及び最終処分を委託した量
 - (11) ⑪欄 (10)の量のうち、優良認定処理業者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者)への処理委託量
 - (12) ⑫欄 (10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量
 - (13) ⑬欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者)である処理業者への焼却処理委託量
 - (14) ⑭欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量
- 5 第2面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。
- 6 産業廃棄物の種類が2以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。

（第1面）

産業廃棄物処理計画書	
令和7年5月27日	
千葉県知事 殿	
提出者	
住 所 東京都中央区日本橋本町一丁目 9 番 1 号	
氏 名 株式会社鴻池組東京本店	
取締役専務執行役員本店長 安居院徳重	
（法人にあつては、名称及び代表者の氏名）	
電話番号 03-5201-7570	
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。	
事業場の名称	株式会社鴻池組東京本店
事業場の所在地	東京都中央区日本橋本町一丁目 9 番 1 号
計画期間	令和7年4月1日～令和8年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	総合工事業
②事業の規模	972億円（令和6年度完成工事高）
③従業員数	490人（令和7年3月31日現在）
④産業廃棄物の一連の処理の工程	別添1 処理工程図のとおり

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項			
(管理体制図) 別添 2 管理体制図のとおり			
産業廃棄物の排出の抑制に関する事項			
①現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙集計表のとおり	—
	排 出 量	t	t
	(これまでに実施した取組) ・省梱包、無梱包の依頼 ・再利用可能な梱包材の使用依頼 ・工事事務所での加工を減らし、工場で加工させ端材の発生抑制 ・チップ等リサイクルの推進 ・工法を検討し、極力産廃物が発生しない工法の採用を施主に提案		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙集計表のとおり	—
	排 出 量	t	t
	(今後実施する予定の取組) ・これまでに実施した取組をさらに推進する。 ・推進するための教育を行う。		
産業廃棄物の分別に関する事項			
①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・「別添 1 処理工程図」に記載の廃棄物をコンテナボックス等により分別を実施		
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・これまでに実施した取組を更に推進する。 ・推進するための教育を行う。		

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
①現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら再生利用を行った 産 業 廃 棄 物 の 量	— t	t
	(これまでに実施した取組) ・ 該当なし		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら再生利用を行う 産 業 廃 棄 物 の 量	— t	t
	(今後実施する予定の取組) ・ 予定なし		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
①現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら熱回収を行った 産 業 廃 棄 物 の 量	— t	t
	自ら中間処理により減量した 産 業 廃 棄 物 の 量	— t	t
	(これまでに実施した取組) ・ 該当なし		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量	— t	— t
	自ら中間処理により減量する 産 業 廃 棄 物 の 量	— t	— t
	(今後実施する予定の取組) ・ 予定なし		

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	— t	t
	（これまでに実施した取組） ・該当なし		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	— t	t
	（今後実施する予定の取組） ・予定なし		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

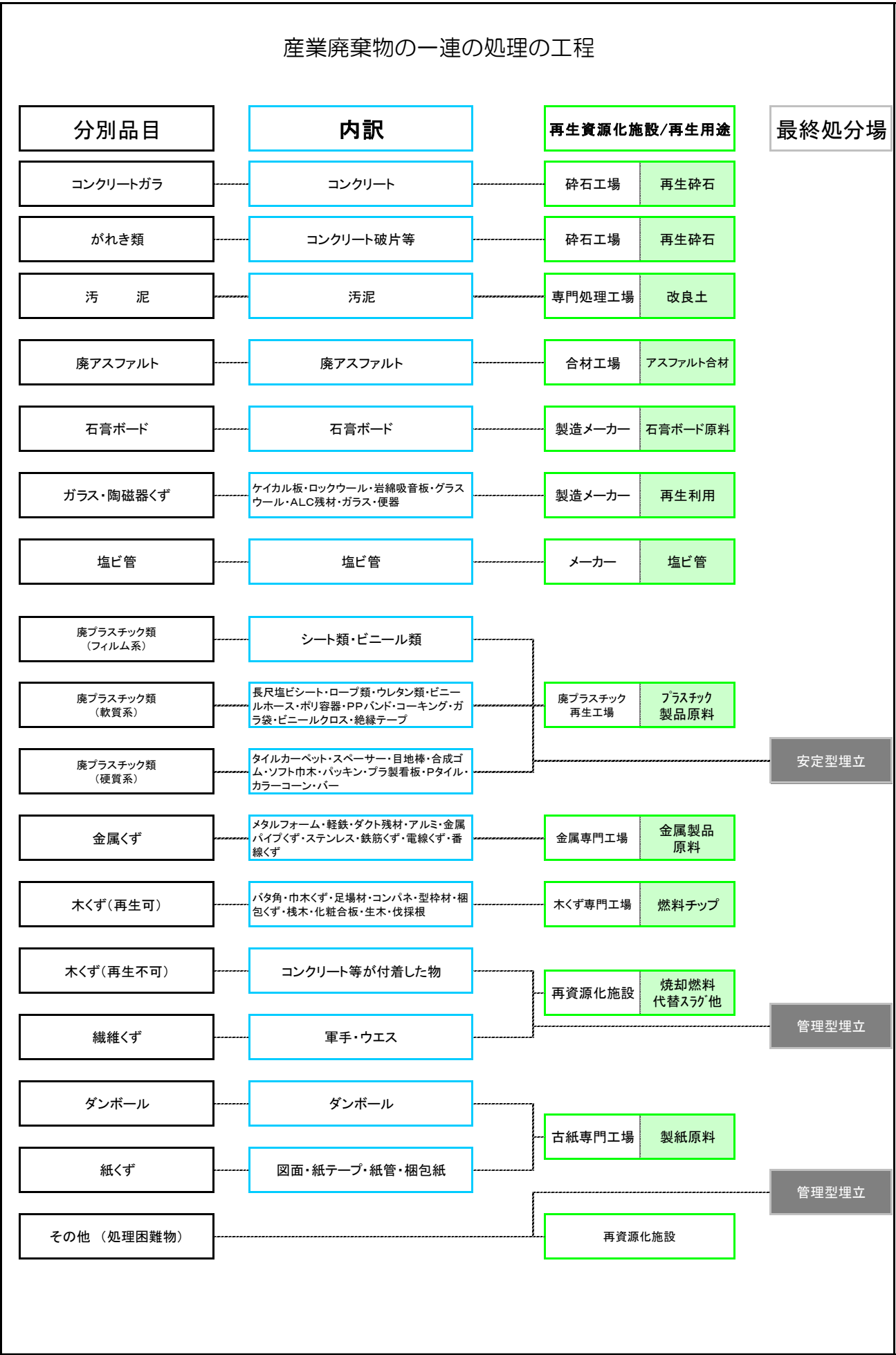
①現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙集計表のとおり	
	全 処 理 委 託 量	t	t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	t	t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	t	t
	（これまでに実施した取組） ・委託基準に基づき処理を委託 ・委託契約書締結前に店内で審査を実施 ・委託契約実績業者の記録		

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙集計表のとおり	
	全 処 理 委 託 量	t	t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	t	t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	t	t
	(今後実施する予定の取組) ・委託基準に基づき処分を委託する ・委託契約書締結前に店内で審査を実施する。 ・処分会社の施設の視察を行い、委託契約実績業者を審査し見直す。		
※事務処理欄			

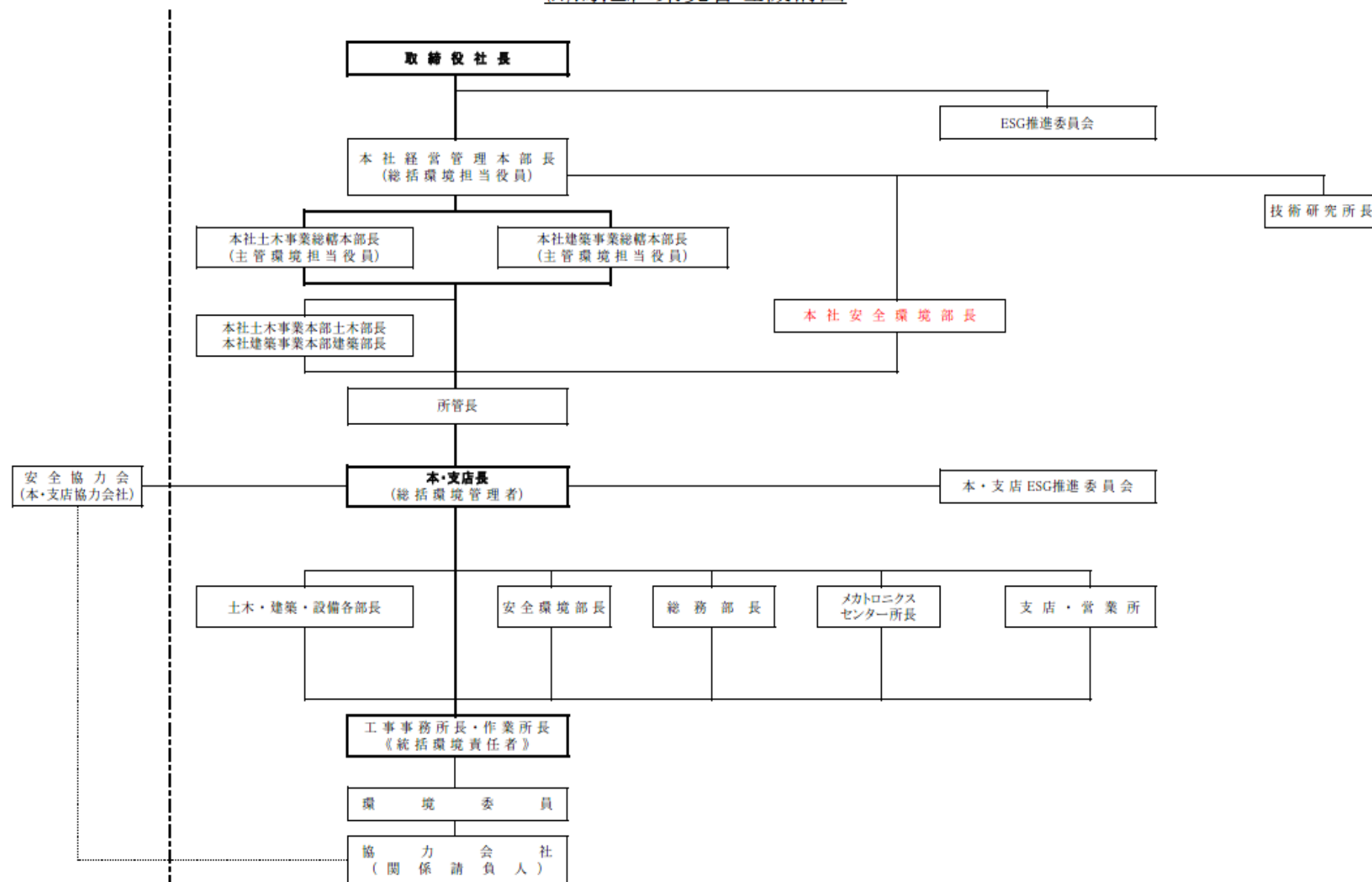
備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額(前年度実績)、建設業の場合における元請完成工事高(前年度実績)、医療機関の場合における病床数(前年度末時点)等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程(当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。)を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者)への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者)である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

別添 1 処理工程図



(株)鴻池組環境管理機構図



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項																		
①現状	【前年度（令和6年度）実績】																	
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック類	紙くず	木くず	金属くず	ガラス陶磁器等くず	廃石膏ボード	コンクリート片	アス・コン片	その他がれき類	建設混合廃棄物（管理型）	石綿含有産業廃棄物					
	排 出 量	1,783.48 t	162.41 t	2.70 t	99.20 t	2,140.13 t	13.50 t	0.15 t	6,921.20 t	550.02 t	5,128.61 t	71.37 t	159.24 t					
②計画	【目標】																	
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック類	紙くず	木くず	金属くず	ガラス陶磁器等くず	廃石膏ボード	コンクリート片	アス・コン片	その他がれき類	建設混合廃棄物（管理型）	石綿含有産業廃棄物					
	排 出 量	1,605.13 t	146.17 t	2.43 t	89.28 t	1,926.12 t	12.15 t	0.14 t	6,229.08 t	495.02 t	4,615.75 t	64.23 t	143.31 t					
自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項																		
①現状	【前年度（令和6年度）実績】																	
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック類	紙くず	木くず	金属くず	ガラス陶磁器等くず	廃石膏ボード	コンクリート片	アス・コン片	その他がれき類	建設混合廃棄物（管理型）	石綿含有産業廃棄物					
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t					
②計画	【目標】																	
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック類	紙くず	木くず	金属くず	ガラス陶磁器等くず	廃石膏ボード	コンクリート片	アス・コン片	その他がれき類	建設混合廃棄物（管理型）	石綿含有産業廃棄物					
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t					
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項																		
①現状	【前年度（令和6年度）実績】																	
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック類	紙くず	木くず	金属くず	ガラス陶磁器等くず	廃石膏ボード	コンクリート片	アス・コン片	その他がれき類	建設混合廃棄物（管理型）	石綿含有産業廃棄物					
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t					
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t					
②計画	【目標】																	
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック類	紙くず	木くず	金属くず	ガラス陶磁器等くず	廃石膏ボード	コンクリート片	アス・コン片	その他がれき類	建設混合廃棄物（管理型）	石綿含有産業廃棄物					
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t					
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t					

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項																		
①現状	【前年度（令和6年度）実績】																	
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック類	紙くず	木くず	金属くず	ガラス陶磁器等くず	廃石膏ボード	コンクリート片	アス・コン片	その他がれき類	建設混合廃棄物（管理型）	石綿含有産業廃棄物					
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t					
②計画	【目標】																	
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック類	紙くず	木くず	金属くず	ガラス陶磁器等くず	廃石膏ボード	コンクリート片	アス・コン片	その他がれき類	建設混合廃棄物（管理型）	石綿含有産業廃棄物					
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t					
産業廃棄物の処理の委託に関する事項																		
①現状	【前年度（令和6年度）実績】																	
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック類	紙くず	木くず	金属くず	ガラス陶磁器等くず	廃石膏ボード	コンクリート片	アス・コン片	その他がれき類	建設混合廃棄物（管理型）	石綿含有産業廃棄物					
	全処理委託量	1,783.48 t	162.41 t	2.70 t	99.20 t	2,140.13 t	13.50 t	0.15 t	6,921.20 t	550.02 t	5,128.61 t	71.37 t	159.24 t					
	優良認定処理業者への処理委託量	27.66 t	162.41 t	2.70 t	47.58 t	1.13 t	13.50 t	0.15 t	3,233.40 t	0.00 t	8.88 t	71.37 t	0.00 t					
	再生利用業者への処理委託量	1,783.48 t	162.41 t	2.70 t	99.20 t	2,140.13 t	13.50 t	0.15 t	6,921.20 t	550.02 t	5,128.61 t	71.37 t	0.00 t					
	認定熱回収業者への処理委託量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t					
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t					
②計画	【目標】																	
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック類	紙くず	木くず	金属くず	ガラス陶磁器等くず	廃石膏ボード	コンクリート片	アス・コン片	その他がれき類	建設混合廃棄物（管理型）	石綿含有産業廃棄物					
	全処理委託量	1,605.13 t	146.17 t	2.43 t	89.28 t	1,926.12 t	12.15 t	0.14 t	6,229.08 t	495.02 t	4,615.75 t	64.23 t	143.31 t					
	優良認定処理業者への処理委託量	24.89 t	146.17 t	2.43 t	42.82 t	1.02 t	12.15 t	0.14 t	2,910.06 t	0.00 t	7.99 t	64.23 t	0.00 t					
	再生利用業者への処理委託量	1,605.13 t	146.17 t	2.43 t	89.28 t	1,926.12 t	12.15 t	0.14 t	6,229.08 t	495.02 t	4,615.75 t	64.23 t	0.00 t					
	認定熱回収業者への処理委託量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t					
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t					

（第1面）

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

令和7年5月27日

千葉県知事 殿

提出者

住 所 東京都中央区日本橋本町一丁目 9 番 1 号

氏 名 株式会社鴻池組東京本店

取締役専務執行役員本店長 安居院徳重
（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）

電話番号 03－5201－7570

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、令和6年度の産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

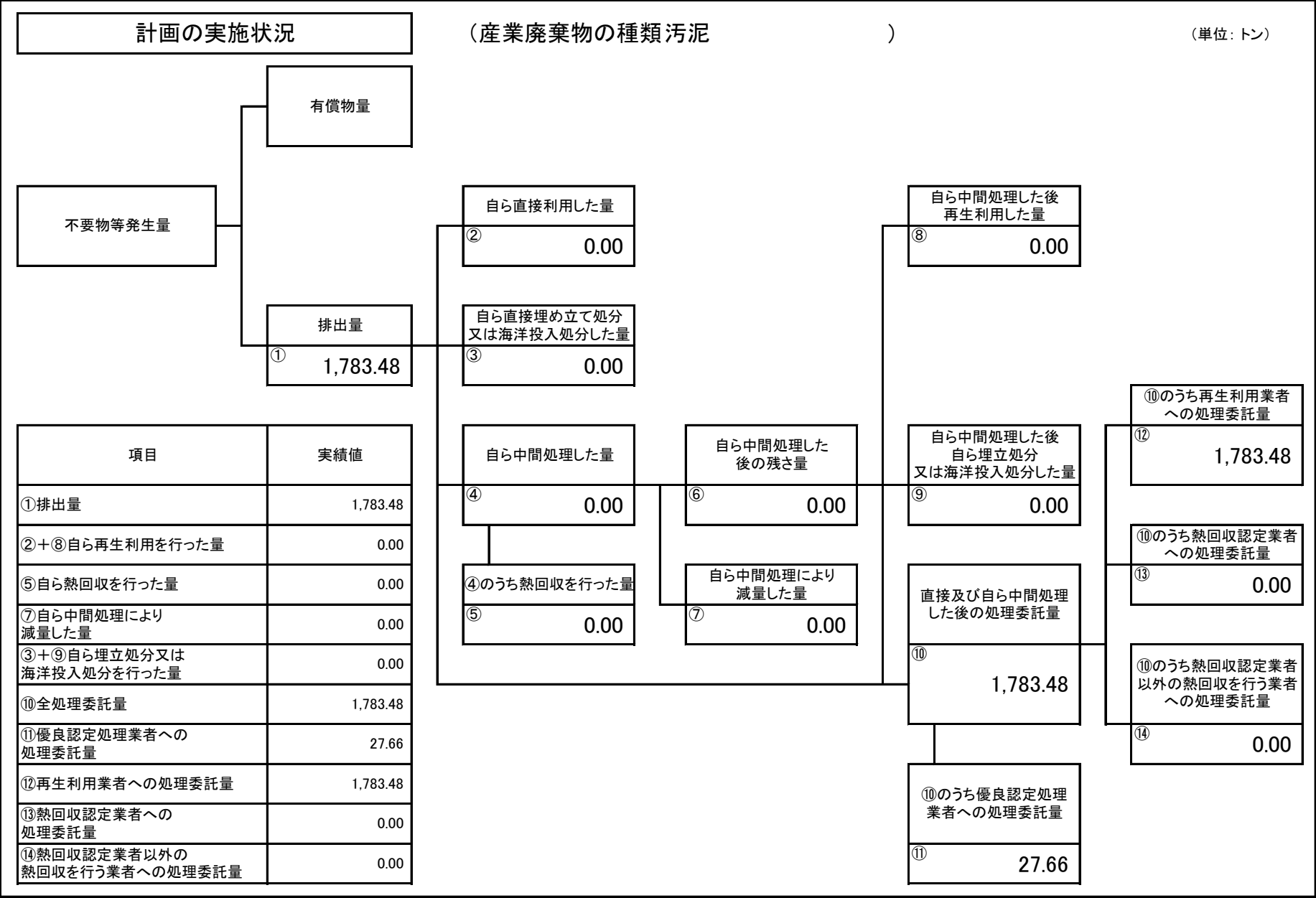
事業場の名称	株式会社鴻池組東京本店
事業場の所在地	東京都中央区日本橋本町一丁目 9 番 1 号
事業の種類	総合工事業
産業廃棄物処理計画における計画期間	令和6年4月1日～令和7年3月31日

産業廃棄物処理計画における目標値

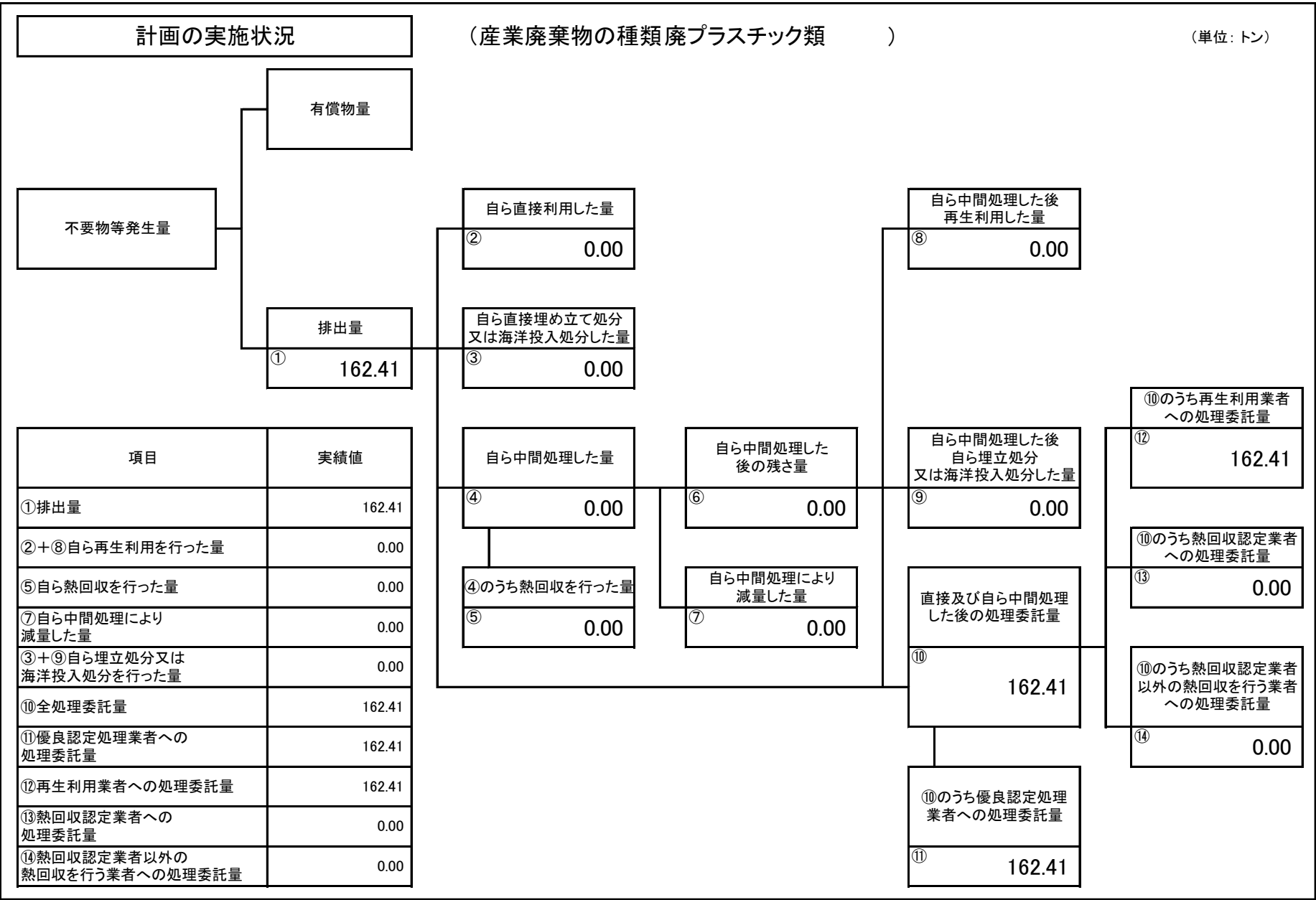
項目	目標値	項目	目標値
排出量	11,889.00 t	全処理委託量	11,889.00 t
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0.00 t	優良認定処理業者への処理委託量	478.00 t
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0.00 t	再生利用業者への処理委託量	11,889.00 t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0.00 t	認定熱回収業者への処理委託量	0.00 t
自ら埋立処分又は海洋投棄処分を行う産業廃棄物の量	0.00 t	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00 t
※事務処理欄			

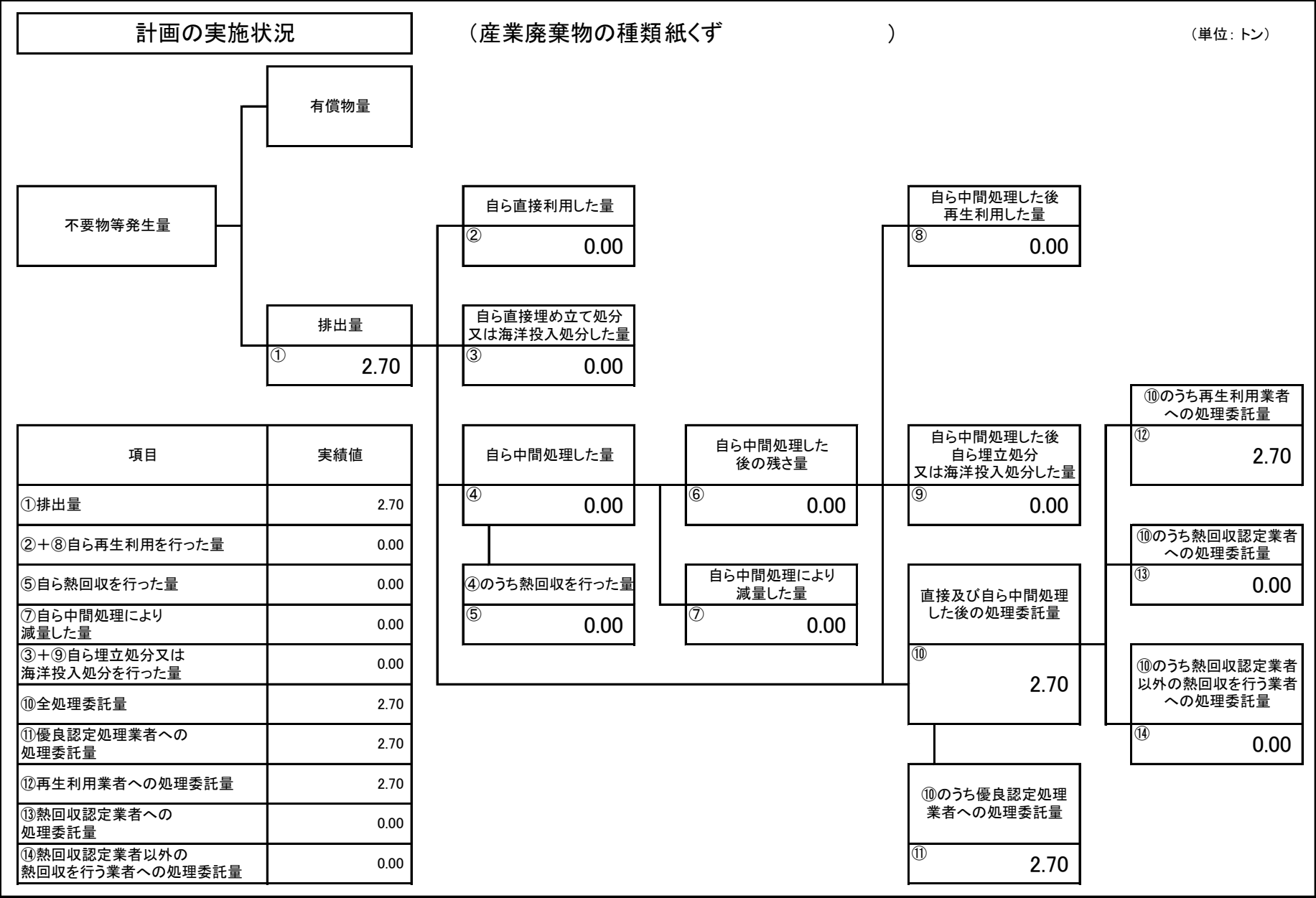
（日本産業規格 A列4番）

(第2面)

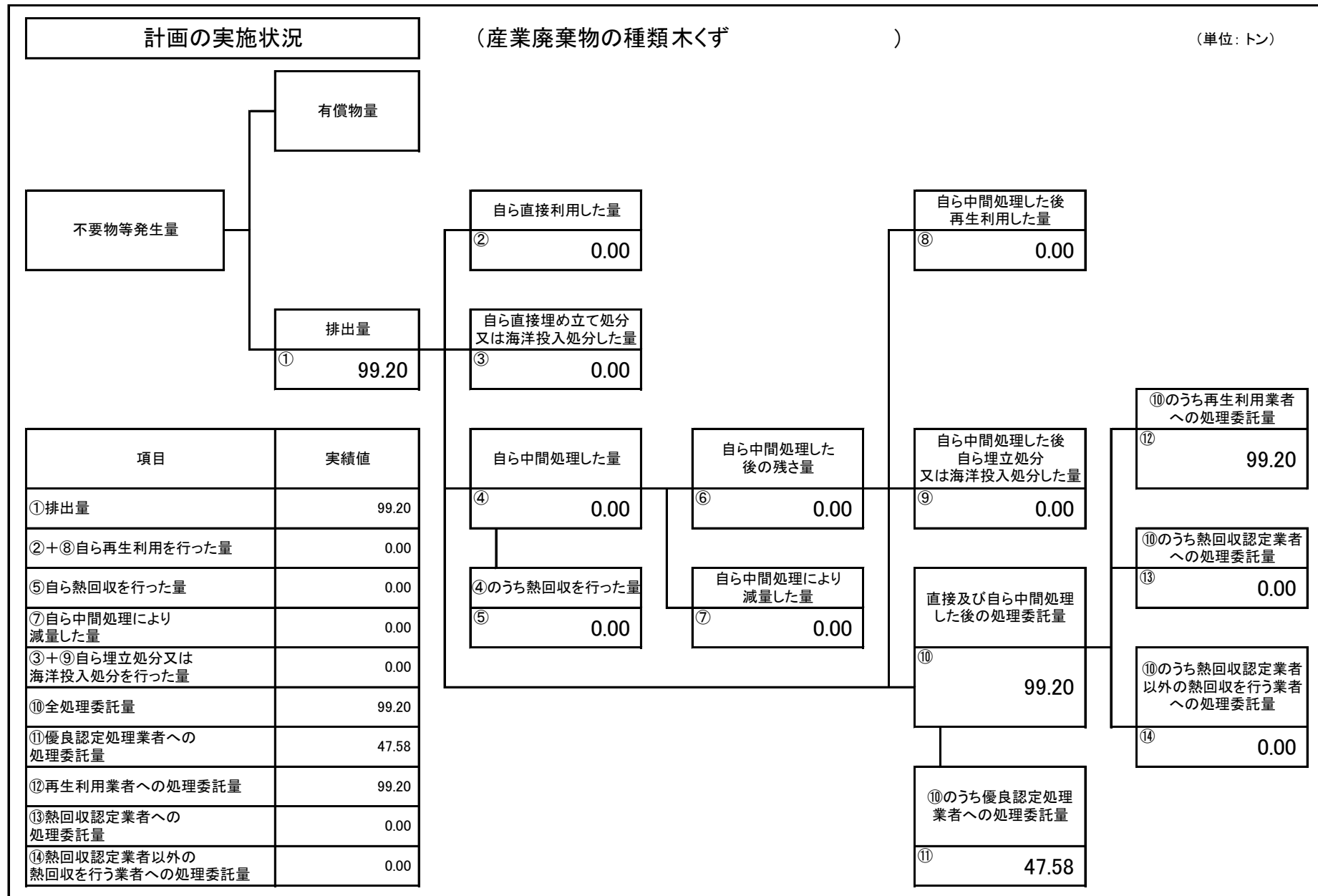


(第2面)

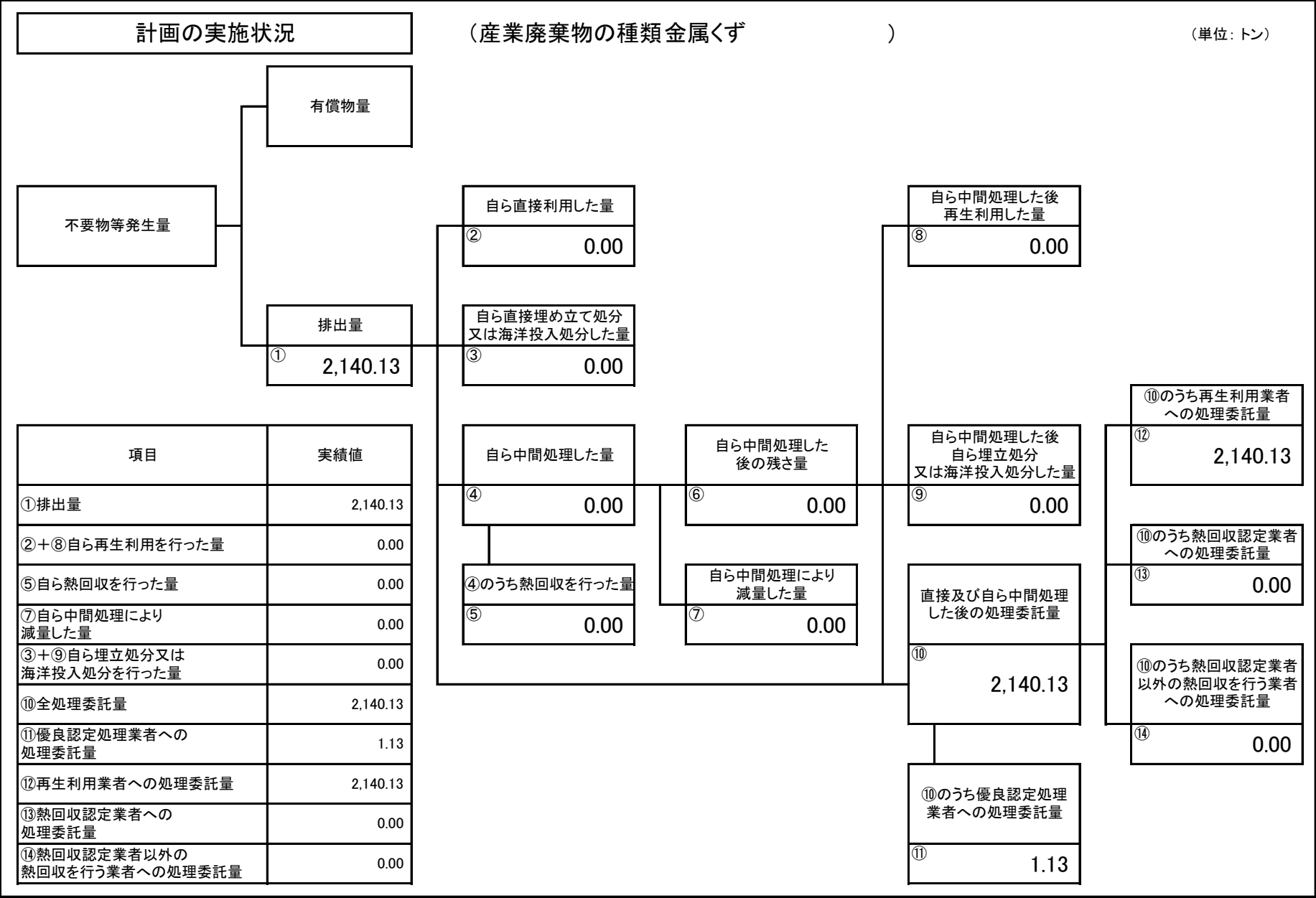




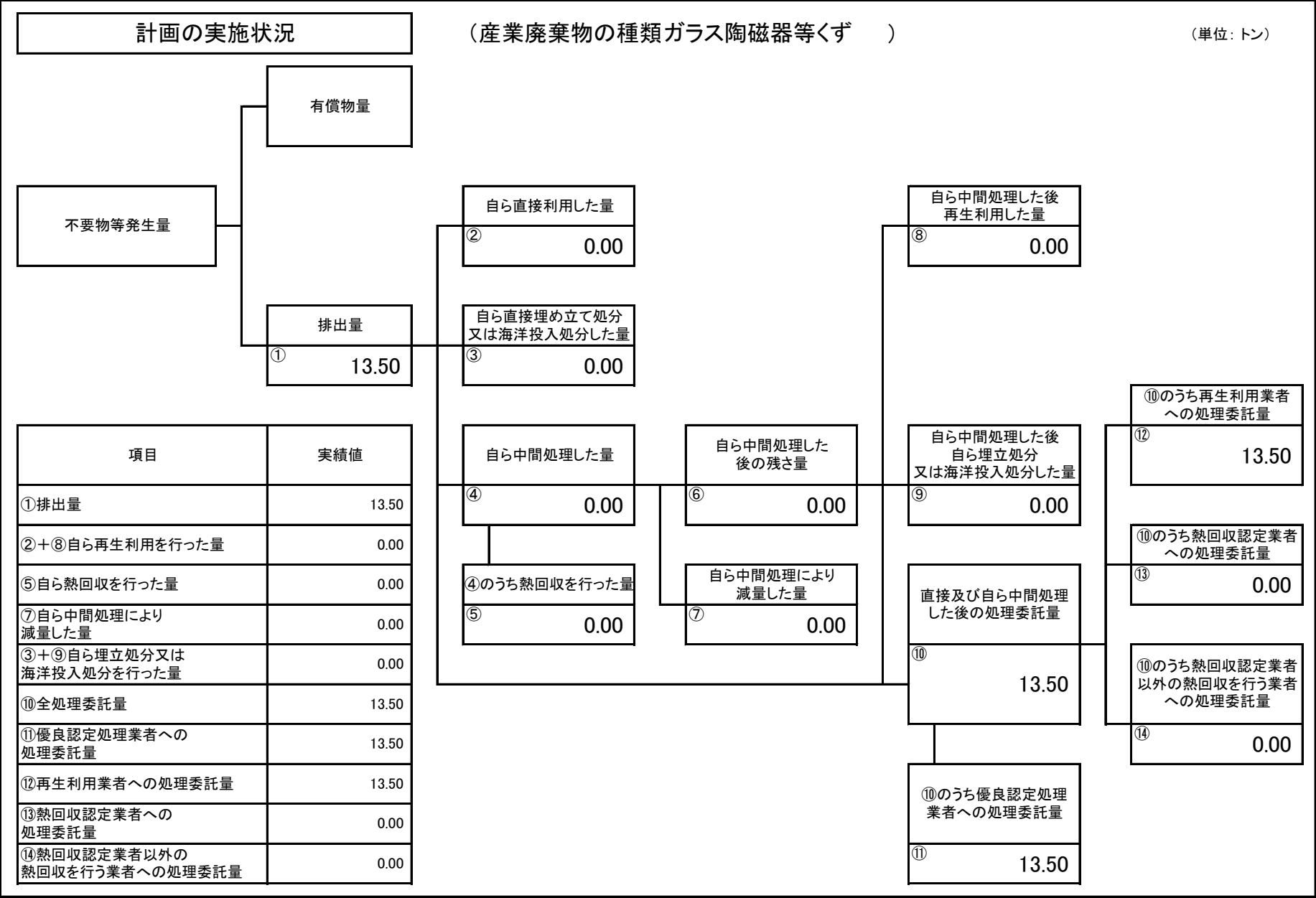
(第2面)



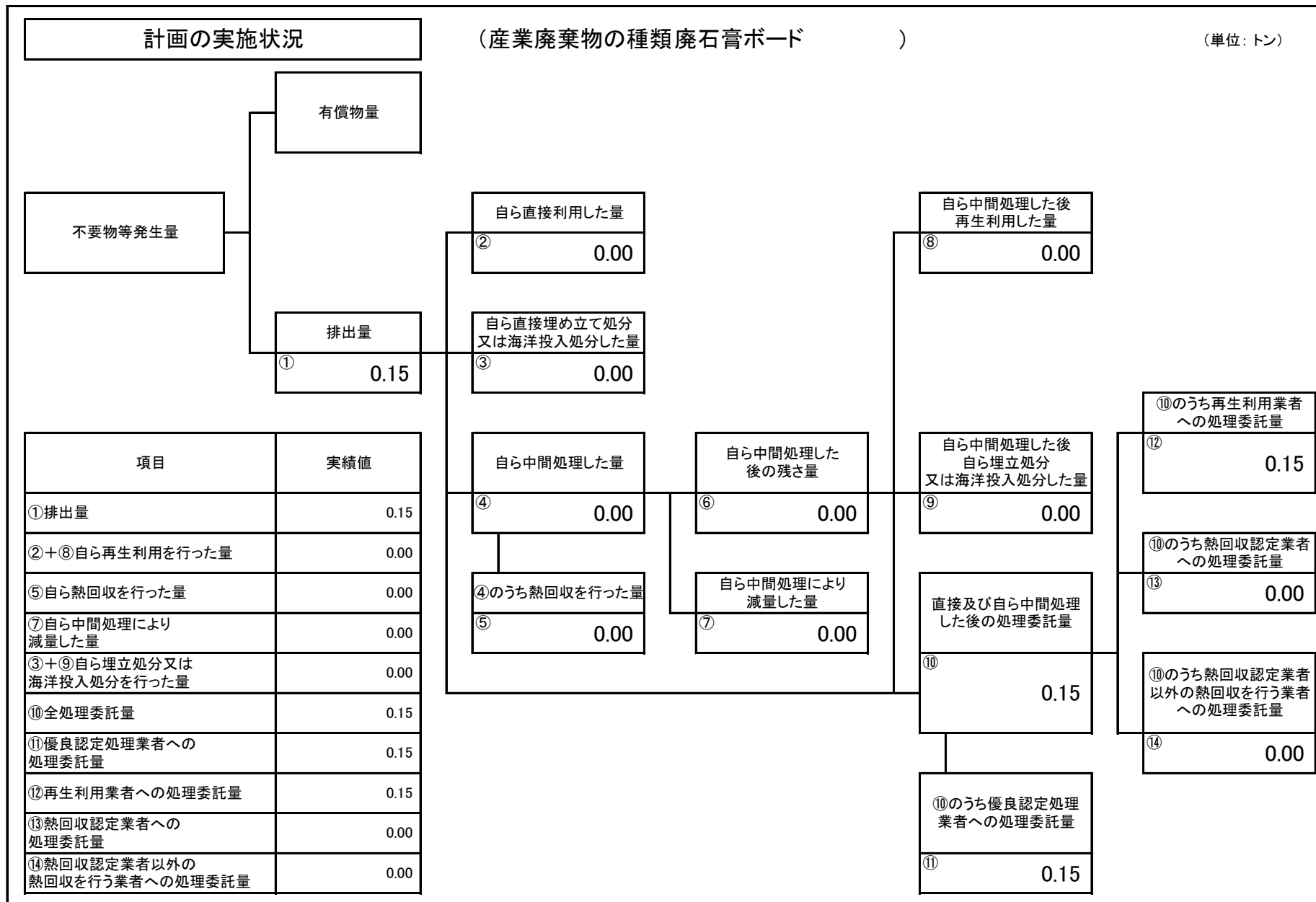
(第2面)



(第2面)



(第2面)



(第2面)

計画の実施状況

有償物量

不要物等発生量

排出量

①6,921.20

(産業廃棄物の種類コンクリート片)

(単位: トン)

②0.00

③0.00

④0.00

⑤0.00

⑥0.00

⑦0.00

⑧0.00

⑨0.00

⑩6,921.20

⑪3,233.40

⑩のうち再生利用業者への処理委託量

⑫6,921.20

⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量

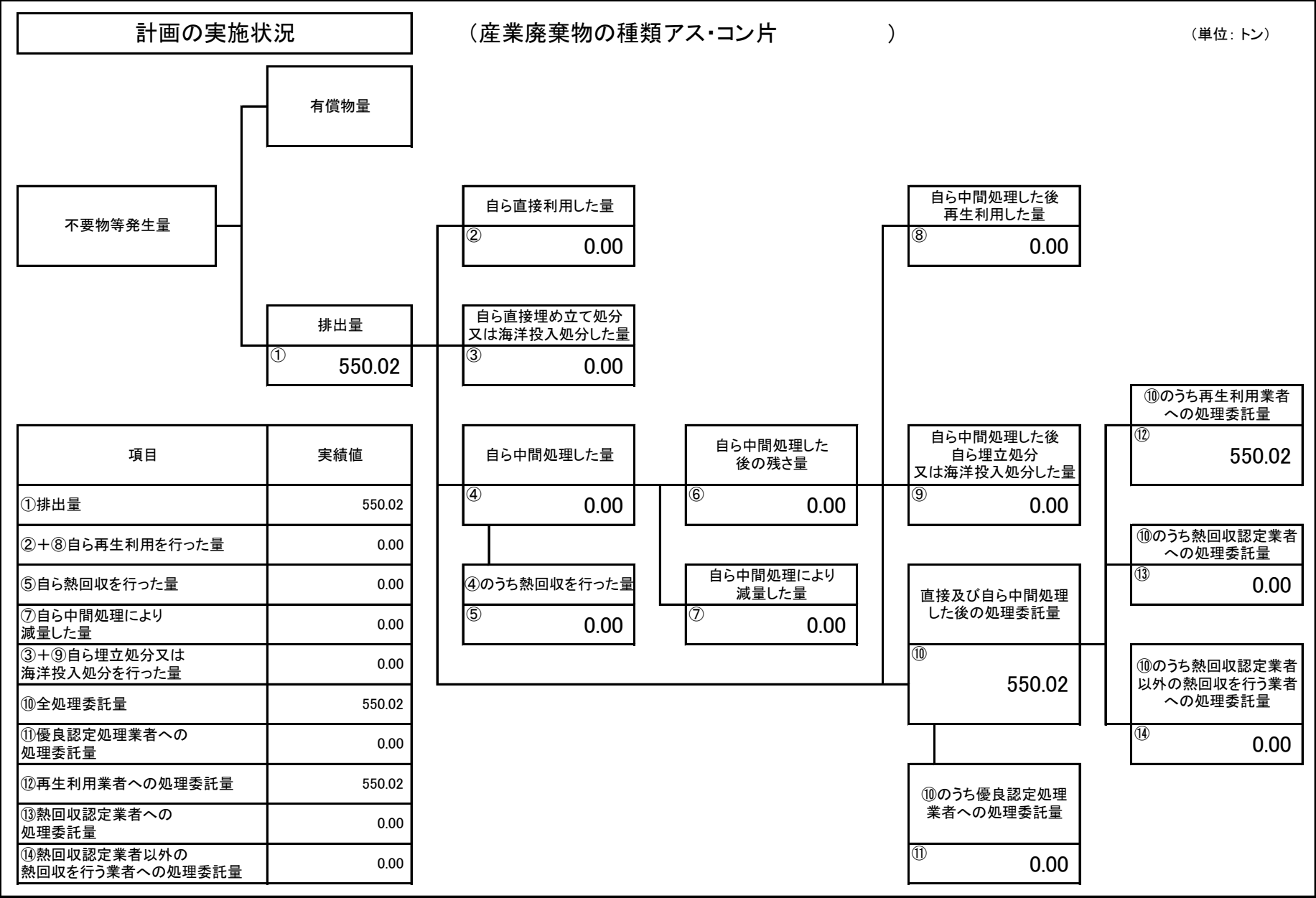
⑬0.00

⑩のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量

⑭0.00

項目	実績値
①排出量	6,921.20
②+⑧自ら再生利用を行った量	0.00
⑤自ら熱回収を行った量	0.00
⑦自ら中間処理により減量した量	0.00
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.00
⑩全処理委託量	6,921.20
⑪優良認定処理業者への処理委託量	3,233.40
⑫再生利用業者への処理委託量	6,921.20
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.00
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00

(第2面)



(第2面)

計画の実施状況

有償物量

不要物等発生量

排出量

①5,128.61

(産業廃棄物の種類その他がれき類)

(単位: トン)

②0.00

③0.00

④0.00

⑤0.00

⑥0.00

⑦0.00

⑧0.00

⑨0.00

⑩5,128.61

⑪8.88

⑩のうち再生利用業者への処理委託量

⑫5,128.61

⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量

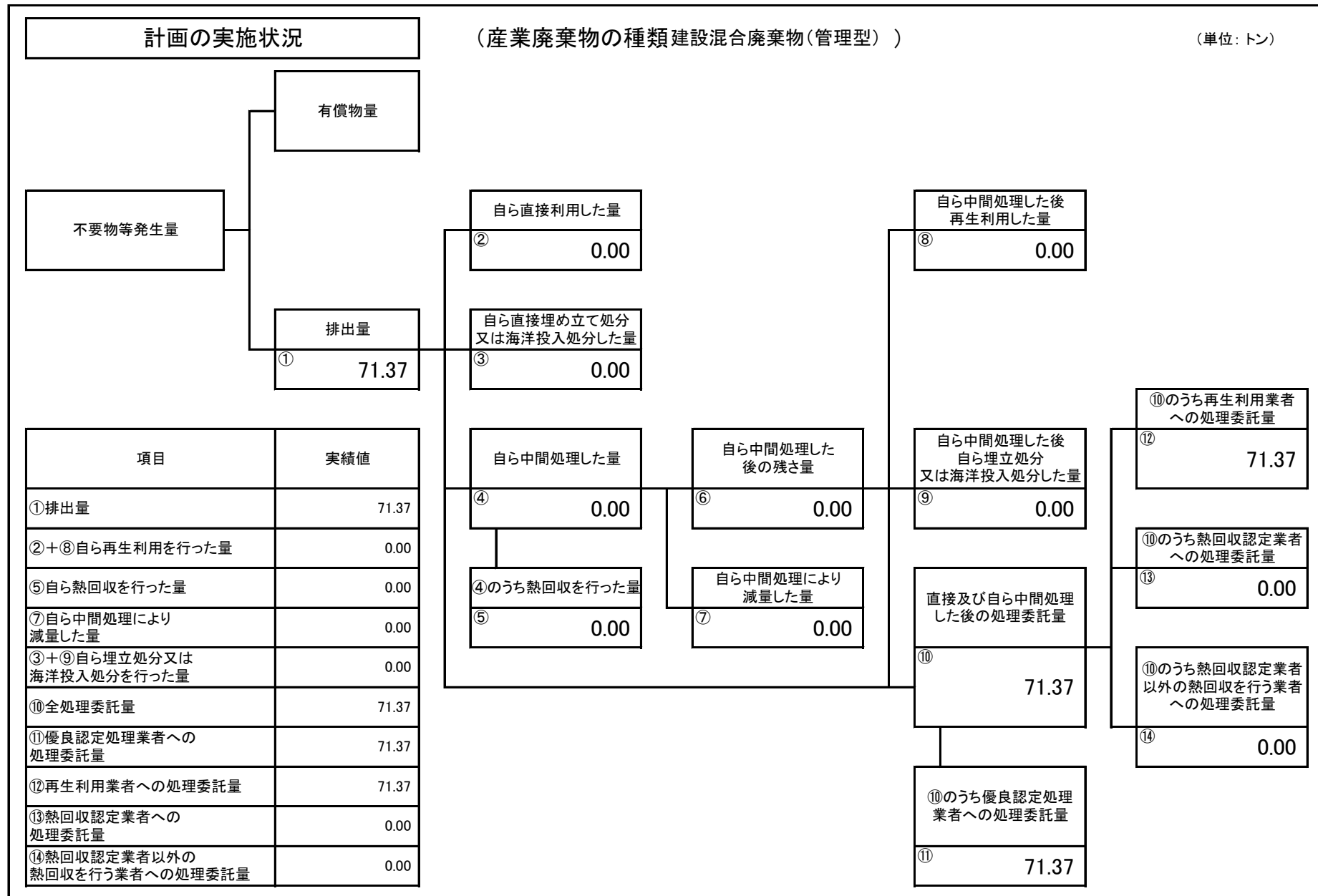
⑬0.00

⑩のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量

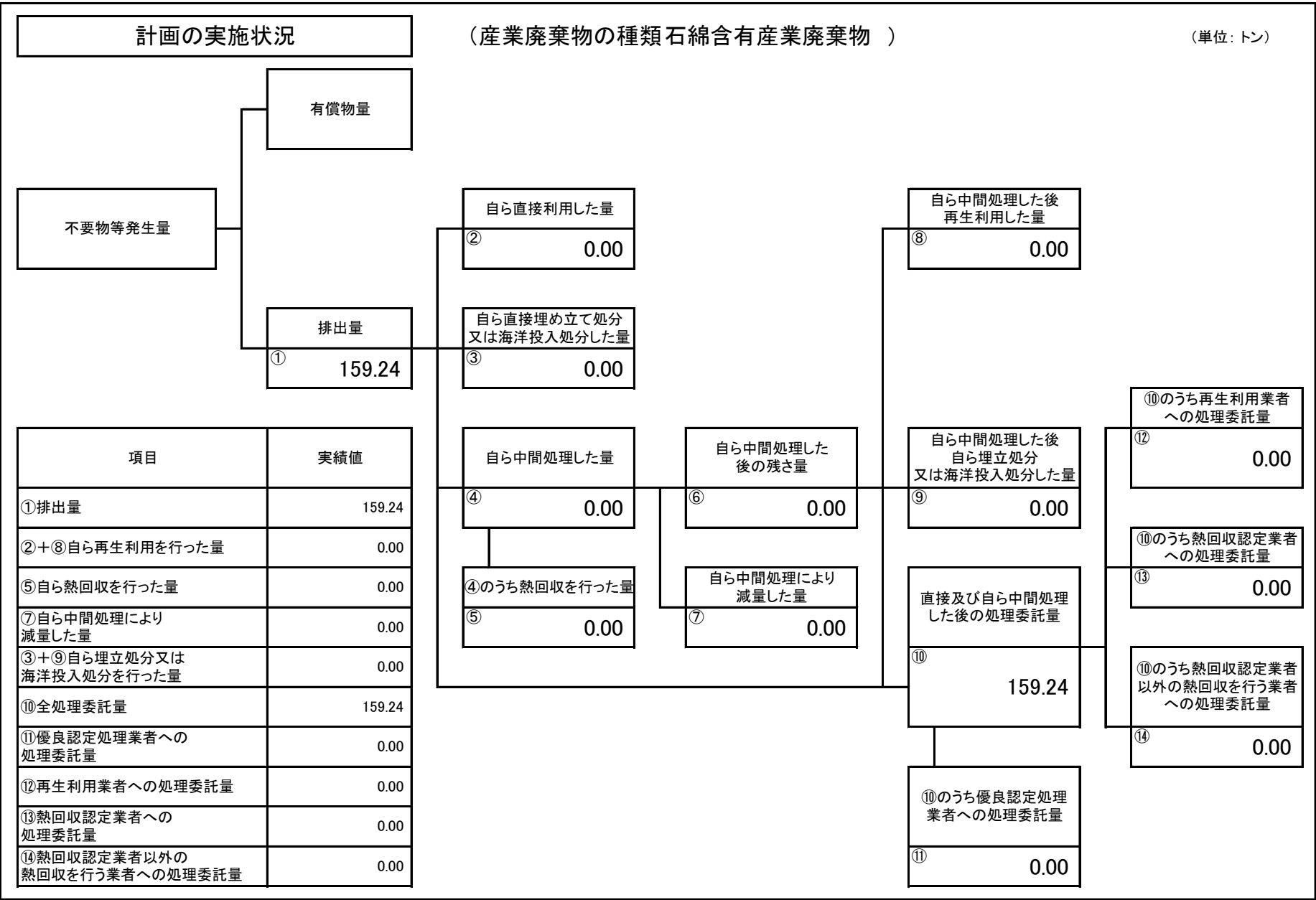
⑭0.00

項目	実績値
①排出量	5,128.61
②+⑧自ら再生利用を行った量	0.00
⑤自ら熱回収を行った量	0.00
⑦自ら中間処理により減量した量	0.00
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.00
⑩全処理委託量	5,128.61
⑪優良認定処理業者への処理委託量	8.88
⑫再生利用業者への処理委託量	5,128.61
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.00
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00

(第2面)



(第2面)



(第3面)

備考

- 1 翌年度の6月30日までに提出すること。
- 2 「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
- 3 「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。
- 4 第2面には、前年度の産業廃棄物の処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。
 - (1) ①欄 当該事業場において生じた産業廃棄物の量
 - (2) ②欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量
 - (3) ③欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
 - (4) ④欄 (1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量
 - (5) ⑤欄 (4)の量のうち、熱回収を行った量
 - (6) ⑥欄 自ら中間処理をした後の量
 - (7) ⑦欄 (4)の量から(6)の量を差し引いた量
 - (8) ⑧欄 (6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量
 - (9) ⑨欄 (6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量
 - (10) ⑩欄 中間処理及び最終処分を委託した量
 - (11) ⑪欄 (10)の量のうち、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量
 - (12) ⑫欄 (10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量
 - (13) ⑬欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量
 - (14) ⑭欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量
- 5 第2面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。
- 6 産業廃棄物の種類が2以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

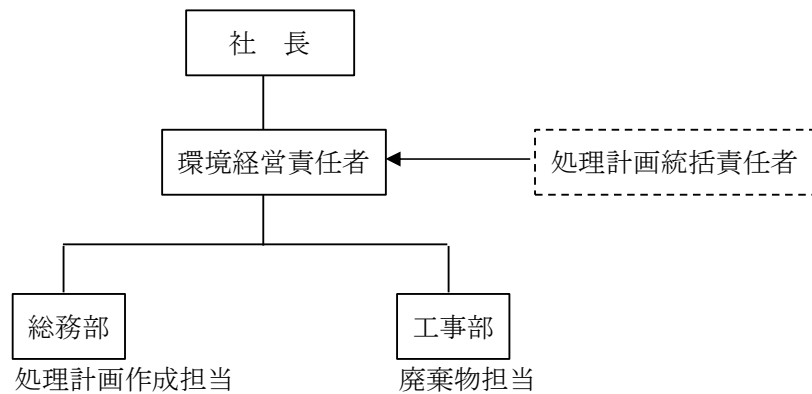
様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第1面）

産業廃棄物処理計画書	
令和7年 6月30日	
千葉県知事	
熊谷 俊人 殿	
提出者 〒271-0054	
住 所 千葉県松戸市中根長津町25番地	
氏 名 呉光塗装株式会社 代表取締役 奥野 真一	
(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)	
電話番号 047-365-1531	
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。	
事業場の名称	呉光塗装株式会社
事業場の所在地	〒271-0054 千葉県松戸市中根長津町25番地（現場：八千代市）
計画期間	令和7年4月1日から令和8年3月31日まで
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
① 事業の種類	D06－総合工事業
② 事業の規模	元請完成工事高 4,057,201千円
③ 従業員数	50人（正社員44人、役員6人）
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	別紙1の通り

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	汚泥(有害)	アルカリ汚泥
	排出量	1.53 t	0.22 t
	(これまでに実施した取組) 緻密な材料計算・計画的な資材搬入の徹底により余剰材による産業廃棄物の排出を抑制している。 民間工事現場に於いては、再利用可能な部材の再利用を提案し産業廃棄物の排出を抑制している。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	汚泥(有害)	アルカリ汚泥
	排出量	1.25 t	0.15 t
	(今後実施する予定の取組) 引き続き、余剰材による産業廃棄物の排出を抑制する。 引き続き、再利用可能な部材の再利用を提案していく。		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 種類：汚泥・廃油・廃プラスチック類・木くず・金属くず・紙くず・ガラコン陶・がれき類・コンクリート殻・石綿含有産業廃棄物 取組：廃材置場の整理整頓・分別表示板設置・全作業員への教育
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 種類：上記の通り 取組：上記の通り分別徹底の教育を継続し、引き続き建設混合廃棄物の削減を継続していく

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	汚泥(有害)	アルカリ汚泥
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	汚泥(有害)	アルカリ汚泥
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組)		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	汚泥(有害)	アルカリ汚泥
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0 t	0 t
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	汚泥(有害)	アルカリ汚泥
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0 t	0 t

(第4面)

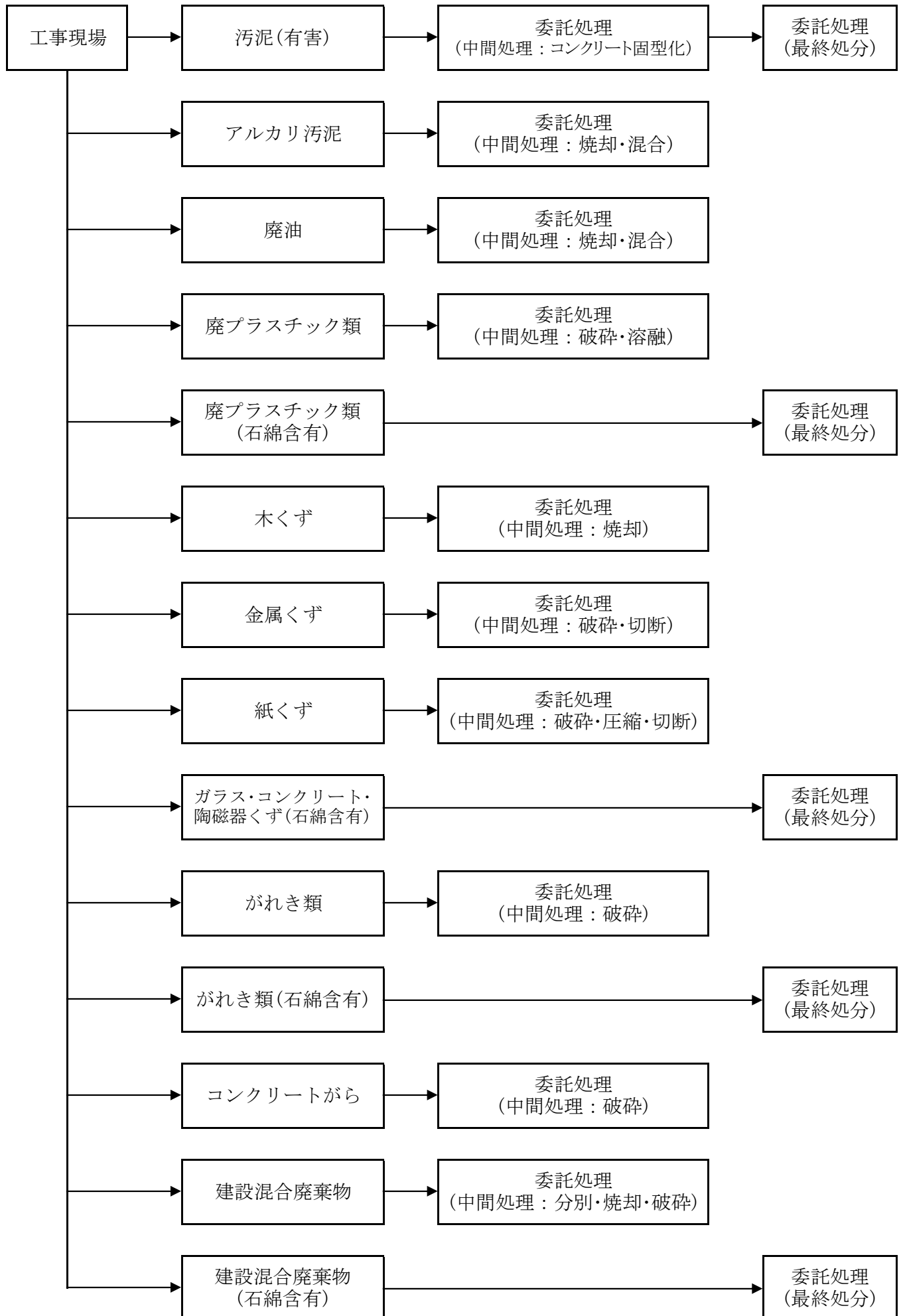
自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	汚泥(有害)	アルカリ汚泥
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(これまでに実施した取組)		
	—		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	汚泥(有害)	アルカリ汚泥
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組)		
	—		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	汚泥(有害)	アルカリ汚泥
	全処理委託量	1.53 t	0.22 t
	優良認定処理業者への処理委託量	1.53 t	0.22 t
	再生利用業者への処理委託量	0 t	0 t
	認定熱回収業者への処理委託量	0 t	0 t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	0 t
	(これまでに実施した取組)		
	可能な限り優良認定処理業者に処理を委託している。		

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	汚泥(有害)	アルカリ汚泥
	全処理委託量	1.25 t	0.15 t
	優良認定処理業者への 処理委託量	1.25 t	0.15 t
	再生利用業者への 処理委託量	0 t	0 t
	認定熱回収業者への 処理委託量	0 t	0 t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組)		
	引き続き、可能な限り優良認定処理業者に処理を委託する。		
※事務処理欄			



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（令和6年度）実績】													
	産業廃棄物の種類	廃油	廃プラスチック類	廃プラスチック類 (石綿含有)	木くず	金属くず	紙くず	ガラコン陶 (石綿含有)	がれき類	がれき類 (石綿含有)	コンクリート殻	建設混合 廃棄物	建設混合廃棄物 (石綿含有)	
	排 出 量	29.4 t	207.495 t	5.25 t	17.875 t	16.95 t	10.2 t	4 t	851.74 t	11.1 t	1.48 t	79.56 t	3.12 t	
②計画	【目標】													
	産業廃棄物の種類	廃油	廃プラスチック類	廃プラスチック類 (石綿含有)	木くず	金属くず	紙くず	ガラコン陶 (石綿含有)	がれき類	がれき類 (石綿含有)	コンクリート殻	建設混合 廃棄物	建設混合廃棄物 (石綿含有)	
	排 出 量	28 t	200 t	5 t	16 t	16 t	9.5 t	3 t	850 t	9 t	1.2 t	70 t	3 t	

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項							

[illegible]

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

[illegible]

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

[illegible]

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

[illegible]

（第1面）

産業廃棄物処理計画書	
令和7年6月11日	
千葉県知事 殿	
提出者	
住 所 東京都文京区後楽2-6-1 住友不動産飯田橋ファーストタワー33F	
氏 名 五洋建設株式会社 東京土木支店	
常務執行役員東京土木支店長 近藤 敬士	
(法人にあっては、名称及び代表者の氏名)	
電話番号 03-3817-8693	
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。	
事業場の名称	五洋建設株式会社 東京土木支店・東京建築支店
事業場の所在地	東京都文京区後楽2-6-1 住友不動産飯田橋ファーストタワー33F
計画期間	令和7年4月1日～令和8年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	建設業
②事業の規模	2024年度完工 1,793億円
③従業員数	724人
④産業廃棄物の一連の処理の工程	別添1 処理工程図のとおり

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

別添2 管理体制図のとおり

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙集計表のとおり	—
	排 出 量	t	t
	（これまでに実施した取組） ・ 打ち込み型枠、システム型枠、鋼製型枠などの採用による使用済み型枠材の発生抑制及び熱帯材型枠の転用促進。 ・ 現場に搬入される資材の梱包材の削減及び過剰梱包の抑制。 ・ コンクリート塊の現場内での再資源化・自ら利用の促進		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙集計表のとおり	—
	排 出 量	t	t
	（今後実施する予定の取組） これまでの取り組みは継続実施 ・ PC化による熱帯型枠材使用の削減。 ・ 建設汚泥の場内再資源化及び場内利用の促進。		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） ・ 安定型産業廃棄物及びそれ以外の産業廃棄物並びに有害物質含有廃棄物等の分別。 ・ 再資源化が可能な産業廃棄物については、再資源化施設の受け入れ条件を勘案して分別。旧BCSで決めた14種類分別を基本とする。
②計画	（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） これまでの取り組みは継続実施 ・ 混合廃棄物排出量の削減を重点に指導していく。 ・ 廃プラを重点に、委託する中間処理施設が再資源化しやすくなる現場での分別を検討する。

(第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量	— t	t
	（これまでに実施した取組） ・コンクリート塊の現場内での再資源化・自ら利用の促進。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	— t	t
	（今後実施する予定の取組） これまでの取り組みは継続実施 ・建設汚泥の場内再資源化及び場内利用の促進。		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量	— t	t
	自ら中間処理により減量した 産業廃棄物の量	— t	t
	（これまでに実施した取組） 自ら中間処理を行うことは無い		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量	— t	— t
	自ら中間処理により減量する 産業廃棄物の量	— t	— t
	（今後実施する予定の取組） 自ら中間処理を行う計画は無い		

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	— t	t
	（これまでに実施した取組） 自ら産業廃棄物の埋め立て処分等を行うことは無い		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	— t	t
	（今後実施する予定の取組） 自ら産業廃棄物の埋め立て処分等を行う計画は無い		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

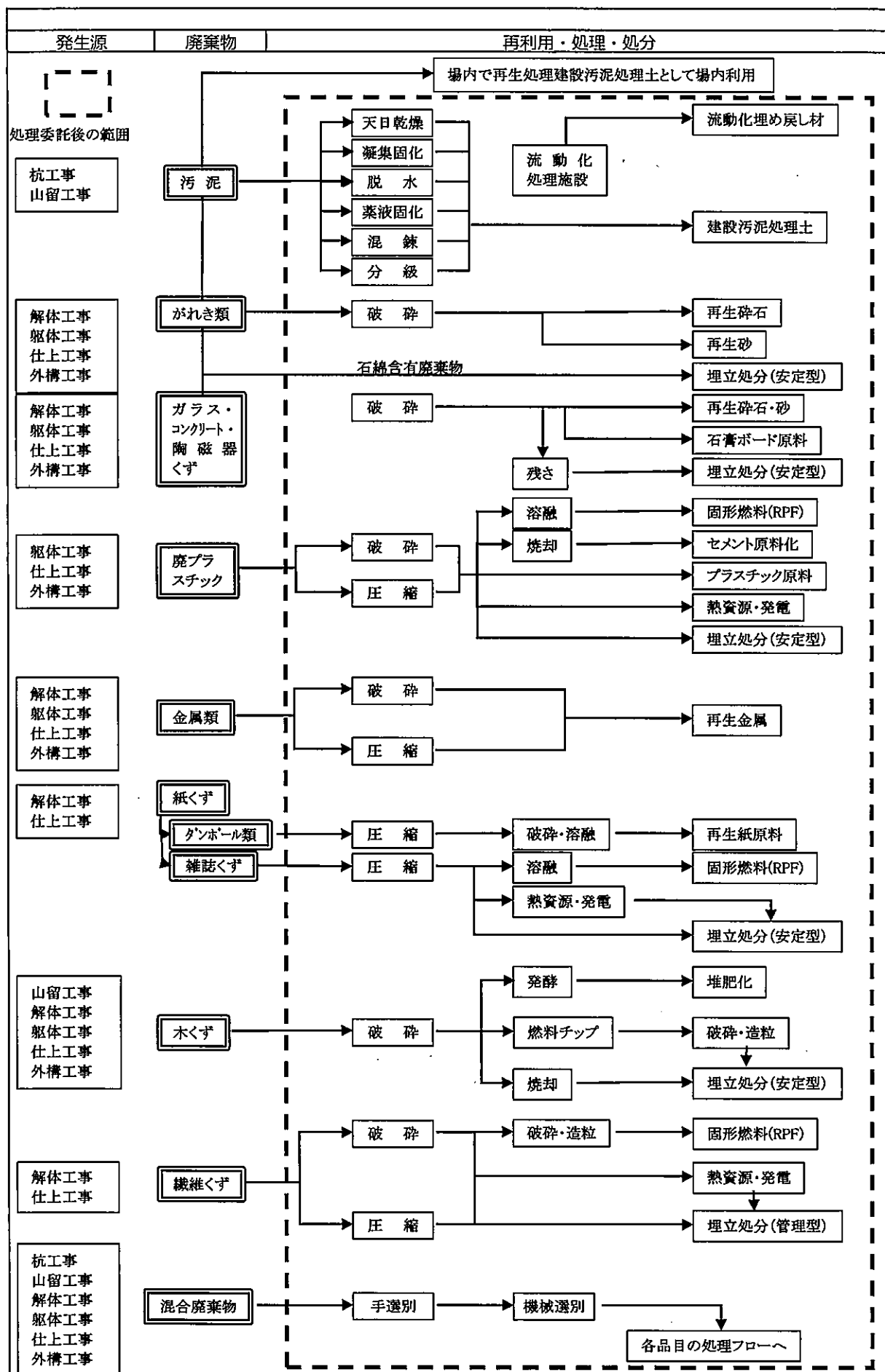
①現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙集計表のとおり	
	全 処 理 委 託 量	t	t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	t	t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	t	t
	（これまでに実施した取組） ・混合廃棄物の再資源化の推進と適正処理のための施設を有する中間処理施設への委託。 ・委託契約前時点での処理施設の管理状況情報収集。 ・委託契約書記載事項の店社での確認及び指導。 ・電子マニフェスト利用可能業者への処理委託の推進。		

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙集計表のとおり	
	全 処 理 委 託 量	t	t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	t	t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	t	t
	(今後実施する予定の取組) これまでの取り組みは継続実施 ・処理委託施設の現地確認頻度の向上。 ・処理マテリアルフローを明確に公表し、有価売却先や数量まで見える化している処理業者との連携。 ・2次修理委託先の処理に関しても単純焼却では無く、サーマル・マテリアルリサイクルの割合が高い等高レベルでの再資源化を実施している処理業者に優先して委託するように指導する。 ・委託契約書の電子化推進		
	※事務処理欄		

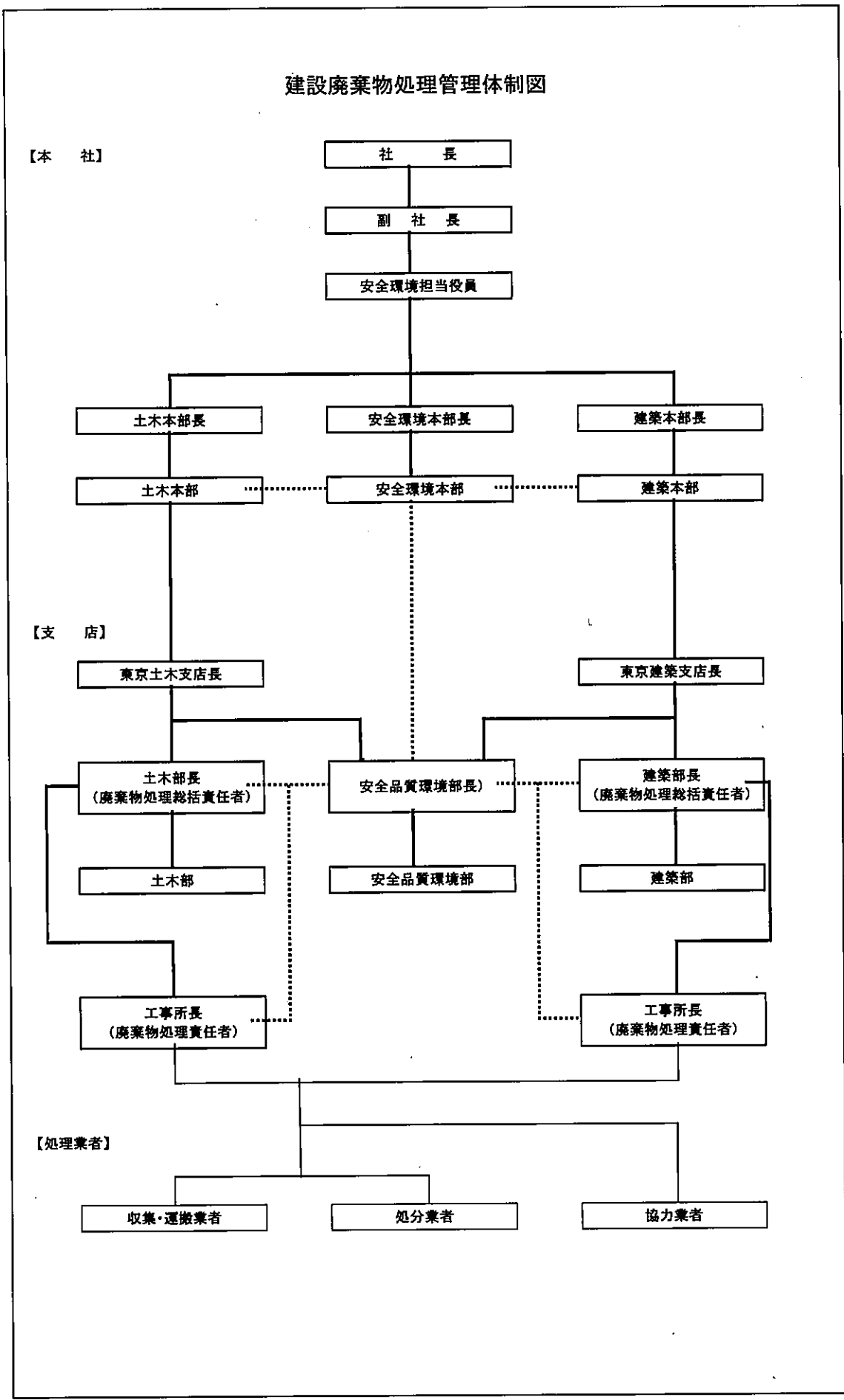
備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額(前年度実績)、建設業の場合における元請完成工事高(前年度実績)、医療機関の場合における病床数(前年度末時点)等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程(当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。)を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者)への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者)である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

別添 1 処理工程図



別添2 管理体制図



[illegible]

① 行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

[illegible]

（第1面）

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

令和7年6月11日

千葉県知事 殿

提出者

住 所 東京都文京区後楽2-6-1 住友不動産飯田橋ファーストタワー33F

氏 名 五洋建設株式会社 東京土木支店

常務執行役員東京土木支店長 近藤 敬士
(法人にあっては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 03-3817-8693

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、令和6年度の産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

事業場の名称	五洋建設株式会社 東京土木支店・東京建築支店
事業場の所在地	東京都文京区後楽2-6-1 住友不動産飯田橋ファーストタワー33F
事業の種類	建設業
産業廃棄物処理計画における計画期間	令和6年4月1日～令和7年3月31日

産業廃棄物処理計画における目標値

項目	目標値	項目	目標値
排出量	7,107.30 t	全処理委託量	7,107.30 t
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0.00 t	優良認定処理業者への処理委託量	1,532.10 t
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0.00 t	再生利用業者への処理委託量	7,099.11 t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0.00 t	認定熱回収業者への処理委託量	0.00 t
自ら埋立処分又は海洋投棄処分を行う産業廃棄物の量	0.00 t	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00 t
※事務処理欄			

（日本産業規格 A列4番）

計画の実施状況		(産業廃棄物の種類 汚泥)		(単位: トン)	
不要物等発生量		有償物量			
排出量		自ら直接利用した量		自ら中間処理した後 再生利用した量	
① 22,454.17		② 0.00		⑧ 0.00	
		自ら直接埋め立て処分 又は海洋投入処分した量			
		③ 0.00			
		自ら中間処理した量		自ら中間処理した後 自ら埋立処分 又は海洋投入処分した量	
		④ 0.00		⑥ 0.00	
		④のうち熱回収を行った量		自ら中間処理により 減量した量	
		⑤ 0.00		⑦ 0.00	
				直接及び自ら中間処理 した後の処理委託量	
				⑩ 22,454.17	
				⑩のうち再生利用業者 への処理委託量	
				⑫ 22,454.17	
				⑩のうち熱回収認定業者 への処理委託量	
				⑬ 0.00	
				⑩のうち熱回収認定業者 以外の熱回収を行う業者 への処理委託量	
				⑭ 0.00	
				⑩のうち優良認定処理 業者への処理委託量	
				⑪ 0.11	

項目	実績値
①排出量	22,454.17
②+⑧自ら再生利用を行った量	0.00
⑤自ら熱回収を行った量	0.00
⑦自ら中間処理により 減量した量	0.00
③+⑨自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った量	0.00
⑩全処理委託量	22,454.17
⑪優良認定処理業者への 処理委託量	0.11
⑫再生利用業者への処理委託量	22,454.17
⑬熱回収認定業者への 処理委託量	0.00
⑭熱回収認定業者以外の 熱回収を行う業者への処理委託量	0.00

(第2面)

計画の実施状況		(産業廃棄物の種類 廃油)				(単位: トン)																									
有償物量 不要物等発生量																															
排出量 ① 0.93		自ら直接利用した量 ② 0.00		自ら中間処理した後 再生利用した量 ⑧ 0.00																											
		自ら直接埋め立て処分 又は海洋投入処分した量 ③ 0.00																													
		自ら中間処理した量 ④ 0.00		自ら中間処理した 後の残さ量 ⑥ 0.00		自ら中間処理した後 自ら埋立処分 又は海洋投入処分した量 ⑨ 0.00		⑩のうち再生利用業者 への処理委託量 ⑫ 0.93																							
		④のうち熱回収を行った量 ⑤ 0.00		自ら中間処理により 減量した量 ⑦ 0.00		直接及び自ら中間処理 した後の処理委託量 ⑩ 0.93		⑩のうち熱回収認定業者 への処理委託量 ⑬ 0.00																							
						⑩のうち熱回収認定業者 以外の熱回収を行う業者 への処理委託量 ⑭ 0.00																									
						⑩のうち優良認定処理 業者への処理委託量 ⑪ 0.93																									
<table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>実績値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①排出量</td> <td>0.93</td> </tr> <tr> <td>②+⑧自ら再生利用を行った量</td> <td>0.00</td> </tr> <tr> <td>⑤自ら熱回収を行った量</td> <td>0.00</td> </tr> <tr> <td>⑦自ら中間処理により 減量した量</td> <td>0.00</td> </tr> <tr> <td>③+⑨自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った量</td> <td>0.00</td> </tr> <tr> <td>⑩全処理委託量</td> <td>0.93</td> </tr> <tr> <td>⑪優良認定処理業者への 処理委託量</td> <td>0.93</td> </tr> <tr> <td>⑫再生利用業者への処理委託量</td> <td>0.93</td> </tr> <tr> <td>⑬熱回収認定業者への 処理委託量</td> <td>0.00</td> </tr> <tr> <td>⑭熱回収認定業者以外の 熱回収を行う業者への処理委託量</td> <td>0.00</td> </tr> </tbody> </table>		項目	実績値	①排出量	0.93	②+⑧自ら再生利用を行った量	0.00	⑤自ら熱回収を行った量	0.00	⑦自ら中間処理により 減量した量	0.00	③+⑨自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った量	0.00	⑩全処理委託量	0.93	⑪優良認定処理業者への 処理委託量	0.93	⑫再生利用業者への処理委託量	0.93	⑬熱回収認定業者への 処理委託量	0.00	⑭熱回収認定業者以外の 熱回収を行う業者への処理委託量	0.00								
項目	実績値																														
①排出量	0.93																														
②+⑧自ら再生利用を行った量	0.00																														
⑤自ら熱回収を行った量	0.00																														
⑦自ら中間処理により 減量した量	0.00																														
③+⑨自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った量	0.00																														
⑩全処理委託量	0.93																														
⑪優良認定処理業者への 処理委託量	0.93																														
⑫再生利用業者への処理委託量	0.93																														
⑬熱回収認定業者への 処理委託量	0.00																														
⑭熱回収認定業者以外の 熱回収を行う業者への処理委託量	0.00																														

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類 廃アルカリ)

(単位: トン)

有償物量

不要物等発生量

排出量

①

0.45

自ら直接利用した量

②

0.00

自ら直接埋め立て処分
又は海洋投入処分した量

③

0.00

自ら中間処理した後
再生利用した量

⑧

0.00

自ら中間処理した量

④

0.00

自ら中間処理した
後の残さ量

⑥

0.00

自ら中間処理した後
自ら埋立処分
又は海洋投入処分した量

⑨

0.00

⑩のうち再生利用業者
への処理委託量

⑫

0.45

⑩のうち熱回収認定業者
への処理委託量

⑬

0.00

⑩のうち熱回収認定業者
以外の熱回収を行う業者
への処理委託量

⑭

0.00

項目	実績値
①排出量	0.45
②+⑧自ら再生利用を行った量	0.00
⑤自ら熱回収を行った量	0.00
⑦自ら中間処理により 減量した量	0.00
③+⑨自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った量	0.00
⑩全処理委託量	0.45
⑪優良認定処理業者への 処理委託量	0.45
⑫再生利用業者への処理委託量	0.45
⑬熱回収認定業者への 処理委託量	0.00
⑭熱回収認定業者以外の 熱回収を行う業者への処理委託量	0.00

④のうち熱回収を行った量

⑤

0.00

自ら中間処理により
減量した量

⑦

0.00

直接及び自ら中間処理
した後の処理委託量

⑩

0.45

⑩のうち優良認定処理
業者への処理委託量

⑪

0.45

(第2面)

計画の実施状況		(産業廃棄物の種類 廃プラスチック類)				(単位: トン)																							
不要物等発生量 有償物量 排出量 ① 174.11		自ら直接利用した量 ② 0.00		自ら中間処理した後 再生利用した量 ⑧ 0.00																									
		自ら直接埋め立て処分 又は海洋投入処分した量 ③ 0.00																											
		自ら中間処理した量 ④ 0.00		自ら中間処理した 後の残さ量 ⑥ 0.00		自ら中間処理した後 自ら埋立処分 又は海洋投入処分した量 ⑨ 0.00																							
		④のうち熱回収を行った量 ⑤ 0.00		自ら中間処理により 減量した量 ⑦ 0.00		⑩のうち再生利用業者 への処理委託量 ⑫ 174.11																							
				直接及び自ら中間処理 した後の処理委託量 ⑩ 174.11		⑩のうち熱回収認定業者 への処理委託量 ⑬ 0.00																							
				⑩のうち熱回収認定業者 以外の熱回収を行う業者 への処理委託量 ⑭ 0.00																									
<table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>実績値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①排出量</td> <td>174.11</td> </tr> <tr> <td>②+⑧自ら再生利用を行った量</td> <td>0.00</td> </tr> <tr> <td>⑤自ら熱回収を行った量</td> <td>0.00</td> </tr> <tr> <td>⑦自ら中間処理により 減量した量</td> <td>0.00</td> </tr> <tr> <td>③+⑨自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った量</td> <td>0.00</td> </tr> <tr> <td>⑩全処理委託量</td> <td>174.11</td> </tr> <tr> <td>⑪優良認定処理業者への 処理委託量</td> <td>171.91</td> </tr> <tr> <td>⑫再生利用業者への処理委託量</td> <td>174.11</td> </tr> <tr> <td>⑬熱回収認定業者への 処理委託量</td> <td>0.00</td> </tr> <tr> <td>⑭熱回収認定業者以外の 熱回収を行う業者への処理委託量</td> <td>0.00</td> </tr> </tbody> </table>		項目	実績値	①排出量	174.11	②+⑧自ら再生利用を行った量	0.00	⑤自ら熱回収を行った量	0.00	⑦自ら中間処理により 減量した量	0.00	③+⑨自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った量	0.00	⑩全処理委託量	174.11	⑪優良認定処理業者への 処理委託量	171.91	⑫再生利用業者への処理委託量	174.11	⑬熱回収認定業者への 処理委託量	0.00	⑭熱回収認定業者以外の 熱回収を行う業者への処理委託量	0.00			⑩のうち優良認定処理 業者への処理委託量 ⑪ 171.91			
項目	実績値																												
①排出量	174.11																												
②+⑧自ら再生利用を行った量	0.00																												
⑤自ら熱回収を行った量	0.00																												
⑦自ら中間処理により 減量した量	0.00																												
③+⑨自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った量	0.00																												
⑩全処理委託量	174.11																												
⑪優良認定処理業者への 処理委託量	171.91																												
⑫再生利用業者への処理委託量	174.11																												
⑬熱回収認定業者への 処理委託量	0.00																												
⑭熱回収認定業者以外の 熱回収を行う業者への処理委託量	0.00																												

(第2面)

計画の実施状況		(産業廃棄物の種類 紙くず)				(単位: トン)
不要物等発生量	有償物量	自ら直接利用した量 ② 0.00	自ら中間処理した量 ④ 0.00	自ら中間処理した後の残さ量 ⑥ 0.00	自ら中間処理した後 再生利用した量 ⑧ 0.00	
	排出量 ① 19.95	自ら直接埋め立て処分 又は海洋投入処分した量 ③ 0.00	④のうち熱回収を行った量 ⑤ 0.00	自ら中間処理により 減量した量 ⑦ 0.00	自ら中間処理した後 自ら埋立処分 又は海洋投入処分した量 ⑨ 0.00	⑩のうち再生利用業者 への処理委託量 ⑫ 19.95
項目	実績値				直接及び自ら中間処理 した後の処理委託量 ⑩ 19.95	⑩のうち熱回収認定業者 への処理委託量 ⑬ 0.00
①排出量	19.95					⑩のうち熱回収認定業者 以外の熱回収を行う業者 への処理委託量 ⑭ 0.00
②+⑧自ら再生利用を行った量	0.00					
⑤自ら熱回収を行った量	0.00					
⑦自ら中間処理により 減量した量	0.00					
③+⑨自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った量	0.00					
⑩全処理委託量	19.95					
⑪優良認定処理業者への 処理委託量	19.20				⑩のうち優良認定処理 業者への処理委託量 ⑪ 19.20	
⑫再生利用業者への処理委託量	19.95					
⑬熱回収認定業者への 処理委託量	0.00					
⑭熱回収認定業者以外の 熱回収を行う業者への処理委託量	0.00					

(第2面)

計画の実施状況		(産業廃棄物の種類 木くず)		(単位: トン)				
不要物等発生量	有償物量	自ら直接利用した量	②	0.00	自ら中間処理した後 再生利用した量	⑧	0.00	
	排出量	自ら直接埋め立て処分 又は海洋投入処分した量	③	0.00				
	①	220.00						
項目	実績値	自ら中間処理した量	④	0.00	自ら中間処理した 後の残さ量	⑥	0.00	
①排出量	220.00							
②+⑧自ら再生利用を行った量	0.00							
⑤自ら熱回収を行った量	0.00	④のうち熱回収を行った量	⑤	0.00	自ら中間処理により 減量した量	⑦	0.00	
⑦自ら中間処理により 減量した量	0.00							
③+⑨自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った量	0.00							
⑩全処理委託量	220.00				自ら中間処理した後 自ら埋立処分 又は海洋投入処分した量	⑨	0.00	
⑪優良認定処理業者への 処理委託量	213.75							
⑫再生利用業者への処理委託量	220.00				直接及び自ら中間処理 した後の処理委託量	⑩	220.00	
⑬熱回収認定業者への 処理委託量	0.00							
⑭熱回収認定業者以外の 熱回収を行う業者への処理委託量	0.00							
							⑩のうち再生利用業者 への処理委託量	
							⑫	220.00
							⑩のうち熱回収認定業者 への処理委託量	
							⑬	0.00
							⑩のうち熱回収認定業者 以外の熱回収を行う業者 への処理委託量	
							⑭	0.00
							⑩のうち優良認定処理 業者への処理委託量	
							⑪	213.75

(第2面)

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類 金属くず)

(単位: トン)

有償物量

不要物等発生量

排出量

① 16.27

自ら直接利用した量

② 0.00

自ら直接埋め立て処分
又は海洋投入処分した量

③ 0.00

自ら中間処理した後
再生利用した量

⑧ 0.00

自ら中間処理した量

④ 0.00

自ら中間処理した
後の残さ量

⑥ 0.00

自ら中間処理した後
自ら埋立処分
又は海洋投入処分した量

⑨ 0.00

⑩のうち再生利用業者
への処理委託量

⑫ 16.27

⑩のうち熱回収認定業者
への処理委託量

⑬ 0.00

⑩のうち熱回収認定業者
以外の熱回収を行う業者
への処理委託量

⑭ 0.00

自ら中間処理により
減量した量

⑦ 0.00

直接及び自ら中間処理
した後の処理委託量

⑩ 16.27

⑩のうち優良認定処理
業者への処理委託量

⑪ 15.82

項目	実績値
①排出量	16.27
②+⑧自ら再生利用を行った量	0.00
⑤自ら熱回収を行った量	0.00
⑦自ら中間処理により 減量した量	0.00
③+⑨自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った量	0.00
⑩全処理委託量	16.27
⑪優良認定処理業者への 処理委託量	15.82
⑫再生利用業者への処理委託量	16.27
⑬熱回収認定業者への 処理委託量	0.00
⑭熱回収認定業者以外の 熱回収を行う業者への処理委託量	0.00

④のうち熱回収を行った量

⑤ 0.00

(第2面)

計画の実施状況		(産業廃棄物の種類 ガラス陶磁器等くず)				(単位: トン)	
有償物量 不要物等発生量		自ら直接利用した量 ② 0.00					
排出量 ① 105.70		自ら直接埋め立て処分 又は海洋投入処分した量 ③ 0.00		自ら中間処理した後 再生利用した量 ⑧ 0.00			
		自ら中間処理した量 ④ 0.00		自ら中間処理した 後の残さ量 ⑥ 0.00		自ら中間処理した後 自ら埋立処分 又は海洋投入処分した量 ⑨ 0.00	
		④のうち熱回収を行った量 ⑤ 0.00		自ら中間処理により 減量した量 ⑦ 0.00		⑩のうち再生利用業者 への処理委託量 ⑫ 105.70	
				直接及び自ら中間処理 した後の処理委託量 ⑩ 105.70		⑩のうち熱回収認定業者 への処理委託量 ⑬ 0.00	
				⑩のうち熱回収認定業者 以外の熱回収を行う業者 への処理委託量 ⑭ 0.00			
				⑩のうち優良認定処理 業者への処理委託量 ⑪ 105.70			

項目	実績値
①排出量	105.70
②+⑧自ら再生利用を行った量	0.00
⑤自ら熱回収を行った量	0.00
⑦自ら中間処理により 減量した量	0.00
③+⑨自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った量	0.00
⑩全処理委託量	105.70
⑪優良認定処理業者への 処理委託量	105.70
⑫再生利用業者への処理委託量	105.70
⑬熱回収認定業者への 処理委託量	0.00
⑭熱回収認定業者以外の 熱回収を行う業者への処理委託量	0.00

(第2面)

計画の実施状況		(産業廃棄物の種類 廃石膏ボード)				(単位: トン)	
不要物等発生量		有償物量					
排出量		① 89.25					
② 0.00		③ 0.00					
④ 0.00		⑤ 0.00					
⑥ 0.00		⑦ 0.00					
⑧ 0.00		⑨ 0.00					
⑩ 89.25		⑪ 85.65					
⑫ 89.25		⑬ 0.00					
⑭ 0.00		⑮ 0.00					

項目	実績値
①排出量	89.25
②+⑧自ら再生利用を行った量	0.00
⑤自ら熱回収を行った量	0.00
⑦自ら中間処理により減量した量	0.00
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.00
⑩全処理委託量	89.25
⑪優良認定処理業者への処理委託量	85.65
⑫再生利用業者への処理委託量	89.25
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.00
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00

(第2面)

計画の実施状況		(産業廃棄物の種類コンクリート片)				(単位: トン)			
有償物量 不要物等発生量 排出量 ① 2,556.00		自ら直接利用した量 ② 0.00 自ら直接埋め立て処分又は海洋投入処分した量 ③ 0.00 自ら中間処理した量 ④ 0.00 ④のうち熱回収を行った量 ⑤ 0.00 自ら中間処理した後の残さ量 ⑥ 0.00 自ら中間処理により減量した量 ⑦ 0.00 自ら中間処理した後再生利用した量 ⑧ 0.00 自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量 ⑨ 0.00 直接及び自ら中間処理した後の処理委託量 ⑩ 2,556.00 ⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量 ⑪ 1,317.12				⑩のうち再生利用業者への処理委託量 ⑫ 2,556.00 ⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量 ⑬ 0.00 ⑩のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量 ⑭ 0.00			
項目	実績値								
①排出量	2,556.00								
②+⑧自ら再生利用を行った量	0.00								
⑤自ら熱回収を行った量	0.00								
⑦自ら中間処理により減量した量	0.00								
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.00								
⑩全処理委託量	2,556.00								
⑪優良認定処理業者への処理委託量	1,317.12								
⑫再生利用業者への処理委託量	2,556.00								
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.00								
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00								

(第2面)

計画の実施状況		(産業廃棄物の種類アス・コン片)				(単位: トン)							
不要物等発生量		有償物量											
排出量		① 737.24		自ら直接利用した量		② 0.00		自ら中間処理した後再生利用した量		⑧ 0.00			
				自ら直接埋め立て処分又は海洋投入処分した量		③ 0.00							
				自ら中間処理した量		④ 0.00		自ら中間処理した後の残さ量		⑥ 0.00			
				④のうち熱回収を行った量		⑤ 0.00		自ら中間処理により減量した量		⑦ 0.00			
								自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量		⑨ 0.00			
								直接及び自ら中間処理した後の処理委託量		⑩ 737.24			
										⑩のうち再生利用業者への処理委託量		⑫ 737.24	
										⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量		⑬ 0.00	
										⑩のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量		⑭ 0.00	
										⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量		⑮ 111.74	

項目	実績値
①排出量	737.24
②+⑧自ら再生利用を行った量	0.00
⑤自ら熱回収を行った量	0.00
⑦自ら中間処理により減量した量	0.00
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.00
⑩全処理委託量	737.24
⑪優良認定処理業者への処理委託量	111.74
⑫再生利用業者への処理委託量	737.24
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.00
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00

(第2面)

計画の実施状況		(産業廃棄物の種類その他がれき類)				(単位: トン)					
有償物量 不要物等発生量 排出量 ① 489.22		自ら直接利用した量 ② 0.00 自ら直接埋め立て処分又は海洋投入処分した量 ③ 0.00		自ら中間処理した量 ④ 0.00 ④のうち熱回収を行った量 ⑤ 0.00		自ら中間処理した後の残さ量 ⑥ 0.00 自ら中間処理により減量した量 ⑦ 0.00		自ら中間処理した後再生利用した量 ⑧ 0.00 自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量 ⑨ 0.00 直接及び自ら中間処理した後の処理委託量 ⑩ 489.22 ⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量 ⑪ 235.32		⑩のうち再生利用業者への処理委託量 ⑫ 489.22 ⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量 ⑬ 0.00 ⑩のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量 ⑭ 0.00	
項目	実績値										
①排出量	489.22										
②+⑧自ら再生利用を行った量	0.00										
⑤自ら熱回収を行った量	0.00										
⑦自ら中間処理により減量した量	0.00										
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.00										
⑩全処理委託量	489.22										
⑪優良認定処理業者への処理委託量	235.32										
⑫再生利用業者への処理委託量	489.22										
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.00										
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00										

(第2面)

(産業廃棄物の種類 建設混合廃棄物(管理型))

(単位: トン)

計画の実施状況

不要物等発生量

有償物量

排出量

項目	実績値
①排出量	176.15
②+⑧自ら再生利用を行った量	0.00
⑤自ら熱回収を行った量	0.00
⑦自ら中間処理により減量した量	0.00
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.00
⑩全処理委託量	176.15
⑪優良認定処理業者への処理委託量	161.85
⑫再生利用業者への処理委託量	176.15
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.00
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00

自ら直接利用した量

② 0.00

自ら直接埋め立て処分又は海洋投入処分した量

③ 0.00

自ら中間処理した量

④ 0.00

④のうち熱回収を行った量

⑤ 0.00

自ら中間処理した後の残さ量

⑥ 0.00

自ら中間処理により減量した量

⑦ 0.00

自ら中間処理した後再生利用した量

⑧ 0.00

自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量

⑨ 0.00

直接及び自ら中間処理した後の処理委託量

⑩ 176.15

⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量

⑪ 161.85

⑩のうち再生利用業者への処理委託量

⑫ 176.15

⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量

⑬ 0.00

⑩のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量

⑭ 0.00

備考

- 1 翌年度の6月30日までに提出すること。
- 2 「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
- 3 「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。
- 4 第2面には、前年度の産業廃棄物の処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。
 - (1) ①欄 当該事業場において生じた産業廃棄物の量
 - (2) ②欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量
 - (3) ③欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
 - (4) ④欄 (1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量
 - (5) ⑤欄 (4)の量のうち、熱回収を行った量
 - (6) ⑥欄 自ら中間処理をした後の量
 - (7) ⑦欄 (4)の量から(6)の量を差し引いた量
 - (8) ⑧欄 (6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量
 - (9) ⑨欄 (6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量
 - (10) ⑩欄 中間処理及び最終処分を委託した量
 - (11) ⑪欄 (10)の量のうち、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量
 - (12) ⑫欄 (10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量
 - (13) ⑬欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量
 - (14) ⑭欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量
- 5 第2面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。
- 6 産業廃棄物の種類が2以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

